様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月29日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　261-0023

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟10階

法人名　株式会社アイ工務店 千葉エリア

代表者　白木澤 拓也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-441-5470

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アイ工務店 千葉支社、千葉南支社(県域内の工事)
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟10階
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	66億
③従業員数	110人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場→収集運搬→中間処理→再生資源 工事現場→収集運搬→埋め立て処分

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

エリア統括部長→建設部長→現場監督員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
排出量	590.4 t	316 t

（これまでに実施した取組）

適正な出荷数量の精度を上げる。
別紙に他廃棄物種類添付。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
排出量	885.6 t	474 t

（今後実施する予定の取組）

適正な出荷数量の精度を上げる。
別紙に他廃棄物種類添付。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃プラスチック・紙くず・木くず・鉄くず・石膏ボードの分別に取り組んでいる。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物を排出しないよう、分別に取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ー		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ー		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ー		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ー		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

―

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	紙くず
全処理委託量		590.4 t	316 t
	優良認定処理業者への処理委託量	275.3 t	123.9 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

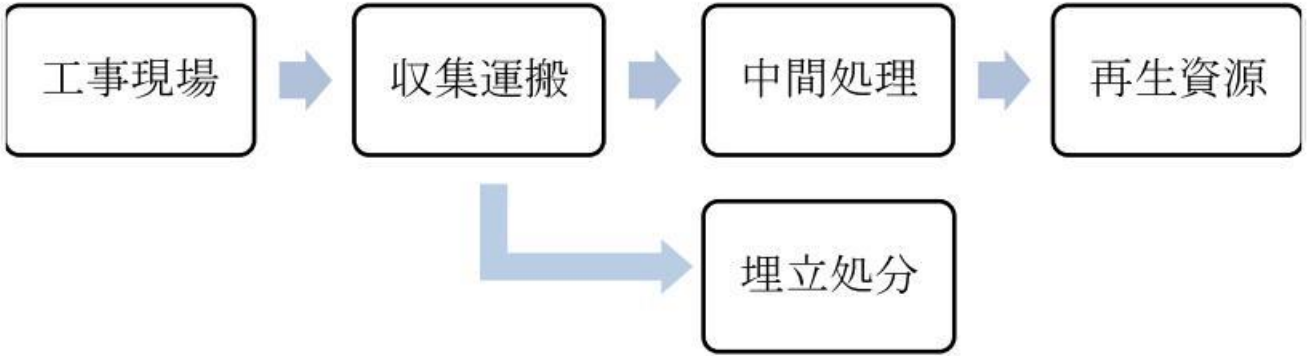
「木くず」について、再生資源として販売している処分業者へ委託している。

また、「紙くず」の一部については、再生資源として販売している処分業者へ委託している。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>885..60 t</td><td>474 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>523.07 t</td><td>235.41 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
前年度通りに対応を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



（管理体制図）

別紙 産業廃棄物処理計画書(第2面～第5面)

単位:トン(t)

①現状【前年度(令和6年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類												排出量合計
		廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず コンクリートくず 陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型含む）		
産業廃棄物の排出の 抑制に関する事項														
①現状	排出量	590.40	316.00	756.30	0.50	144.10	477.80	148.90	27.30	121.80	23.00	5.20		2611.30
②計画	排出量	885.60	474.00	1134.45	0.75	216.15	716.70	223.35	40.95	182.70	34.50	7.80		3916.95
自ら行う産業廃棄物の 再生利用に関する事項														
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量													0.00
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量													0.00
自ら行う産業廃棄物の 中間処理に関する事項														
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量													0.00
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量													0.00
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量													0.00
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量													0.00
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った													0.00
	産業廃棄物の量													0.00
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う													0.00
	産業廃棄物の量													0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状	全処理委託量	590.40	316.00	756.30	0.50	144.10	477.80	148.90	27.30	121.80	23.00	5.20		2611.30
	優良認定処理業者への処理委託量	275.30	123.90	341.80	0.20	39.10	212.60	66.00	15.10	3.00	1.60	7.40		1086.00
	再生利用業者への処理委託量													0.00
	認定熱回収業者への処理委託量													0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量													0.00
②計画	全処理委託量	885.60	474.00	1134.45	0.75	216.15	716.70	223.35	40.95	182.70	34.50	7.80		3708.78
	優良認定処理業者への処理委託量	523.07	235.41	649.42	0.38	74.29	403.94	125.40	28.69	5.70	3.04	14.06		2063.40
	再生利用業者への処理委託量													0.00
	認定熱回収業者への処理委託量													0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量													0.00

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月29日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　261-0023

住所　千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟10階

法人名 株式会社アイ工務店 千葉エリア

代表者 白木澤 拓也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-441-5470

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社アイ工務店 千葉支社、千葉南支社(県域内の工事)
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟10階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

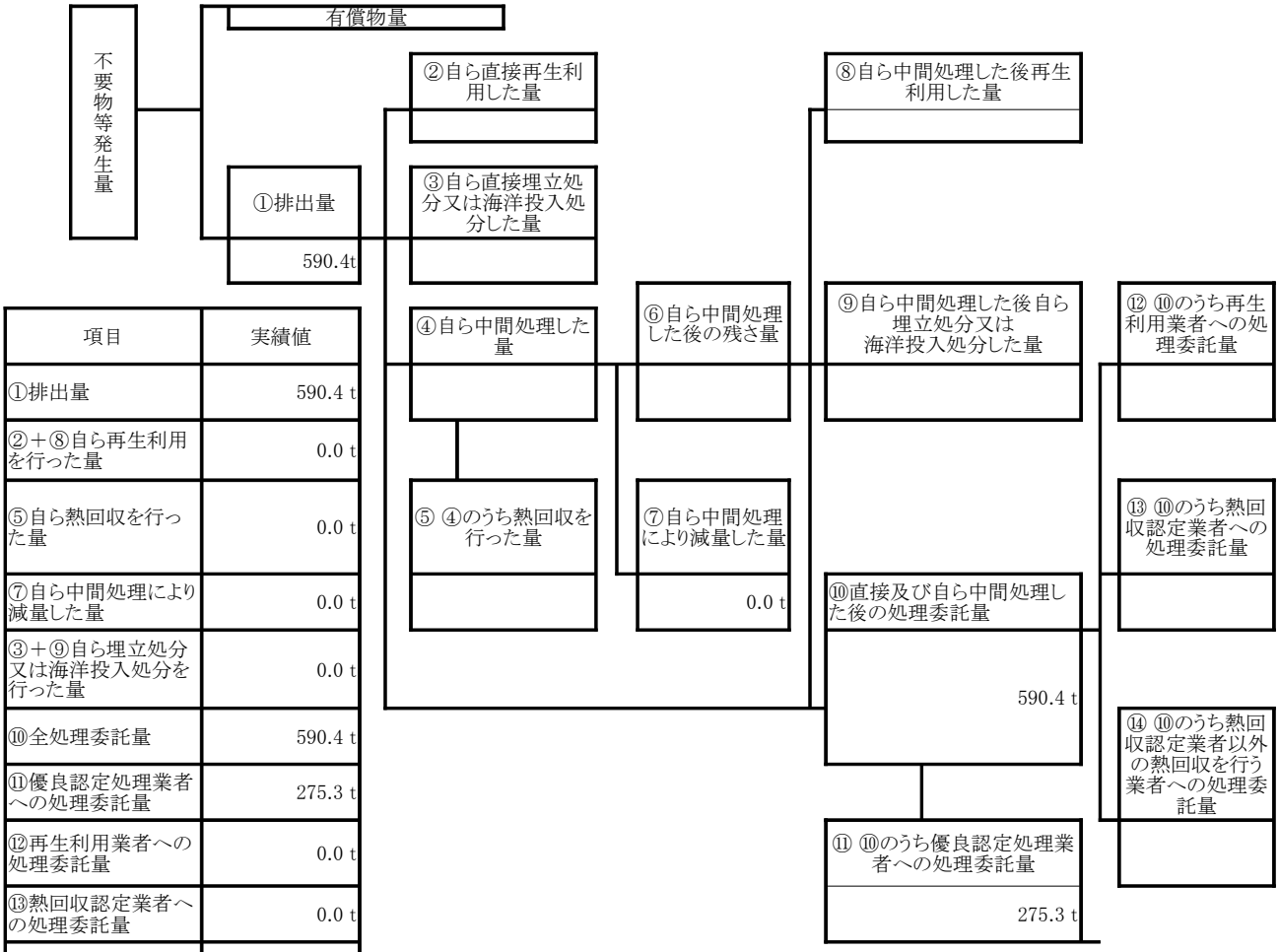
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1031.6 t	全処理委託量	1031.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	515.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



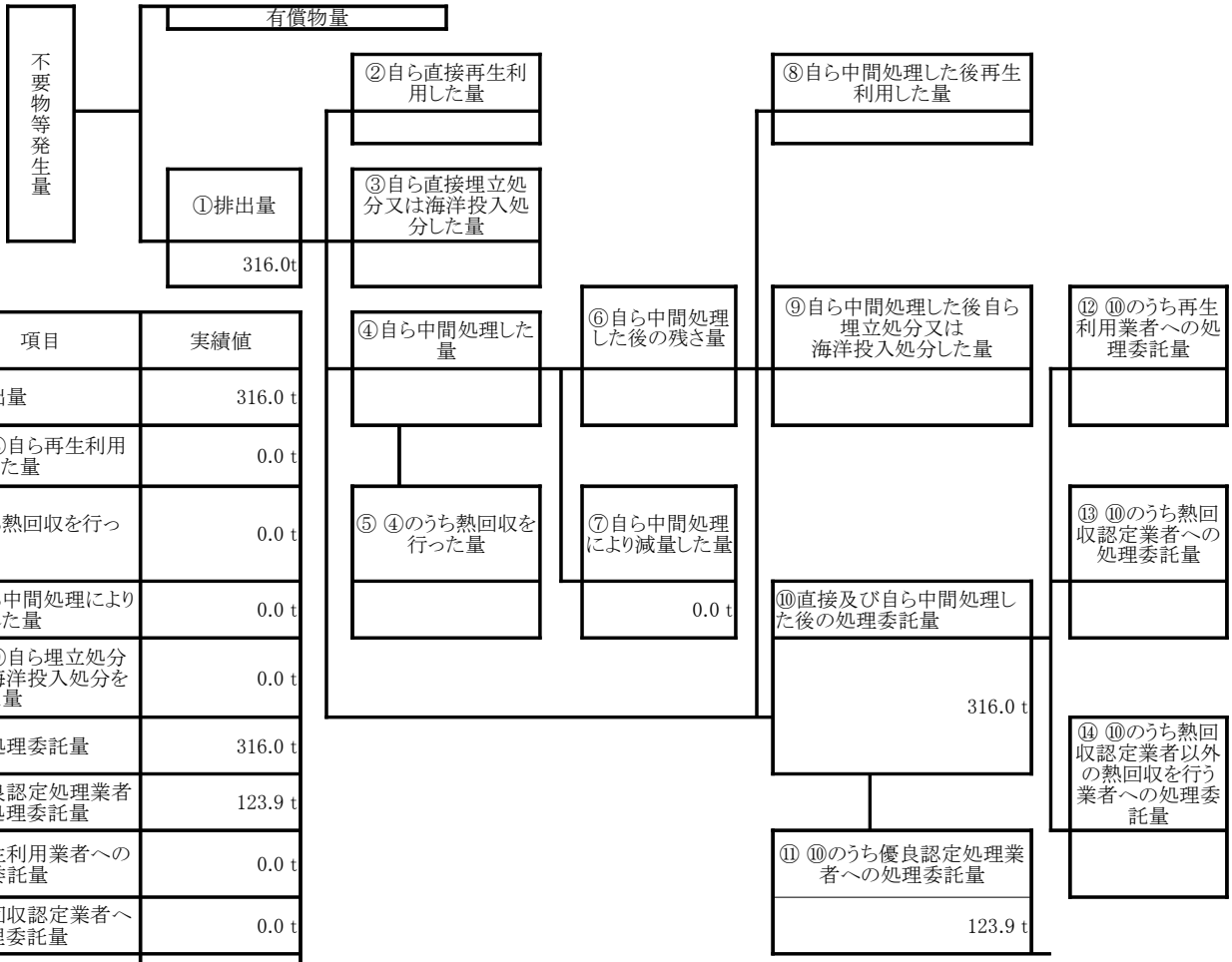
項目	実績値
①排出量	590.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	590.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	275.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



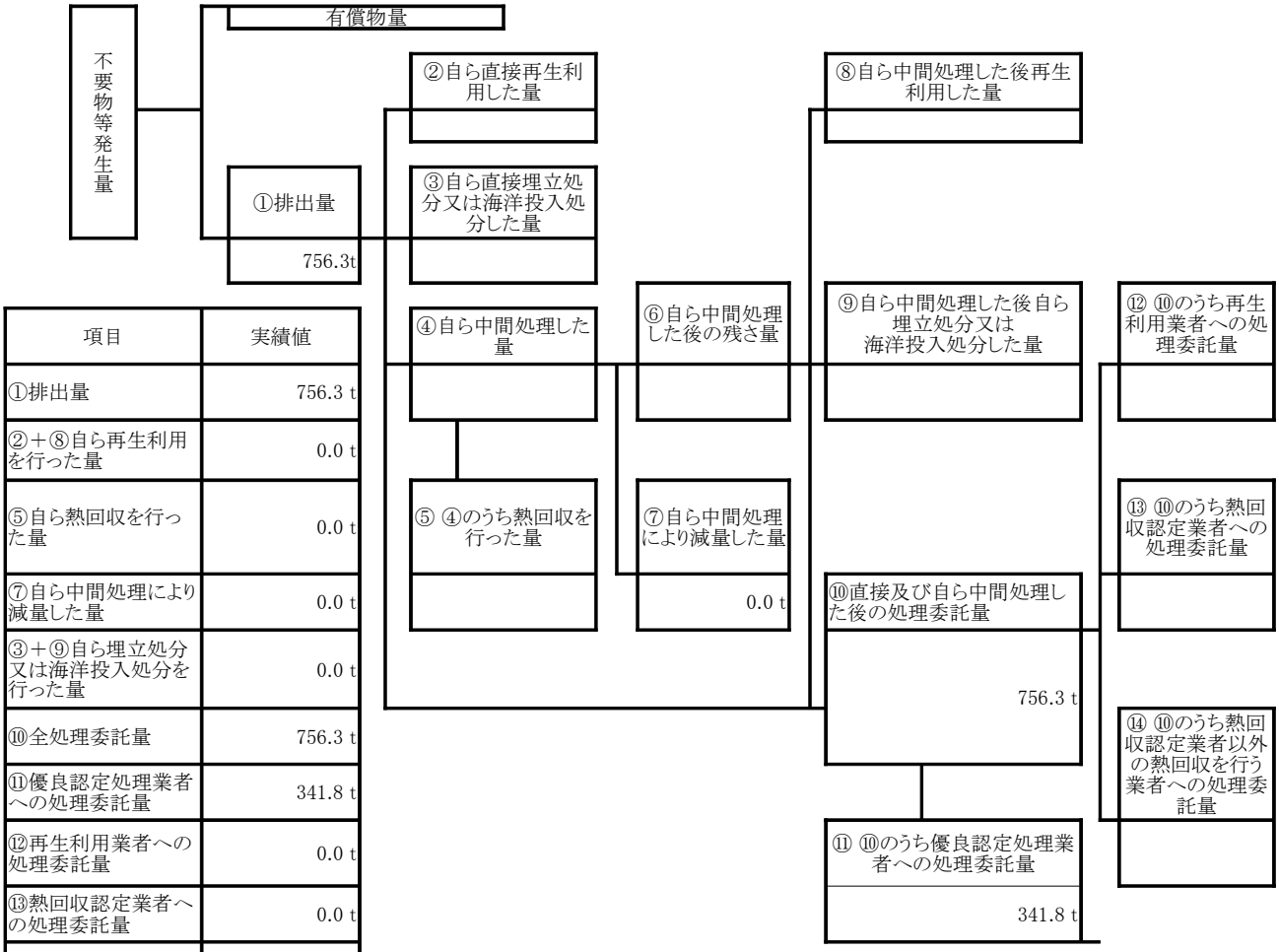
項目	実績値
①排出量	316.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	316.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	123.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

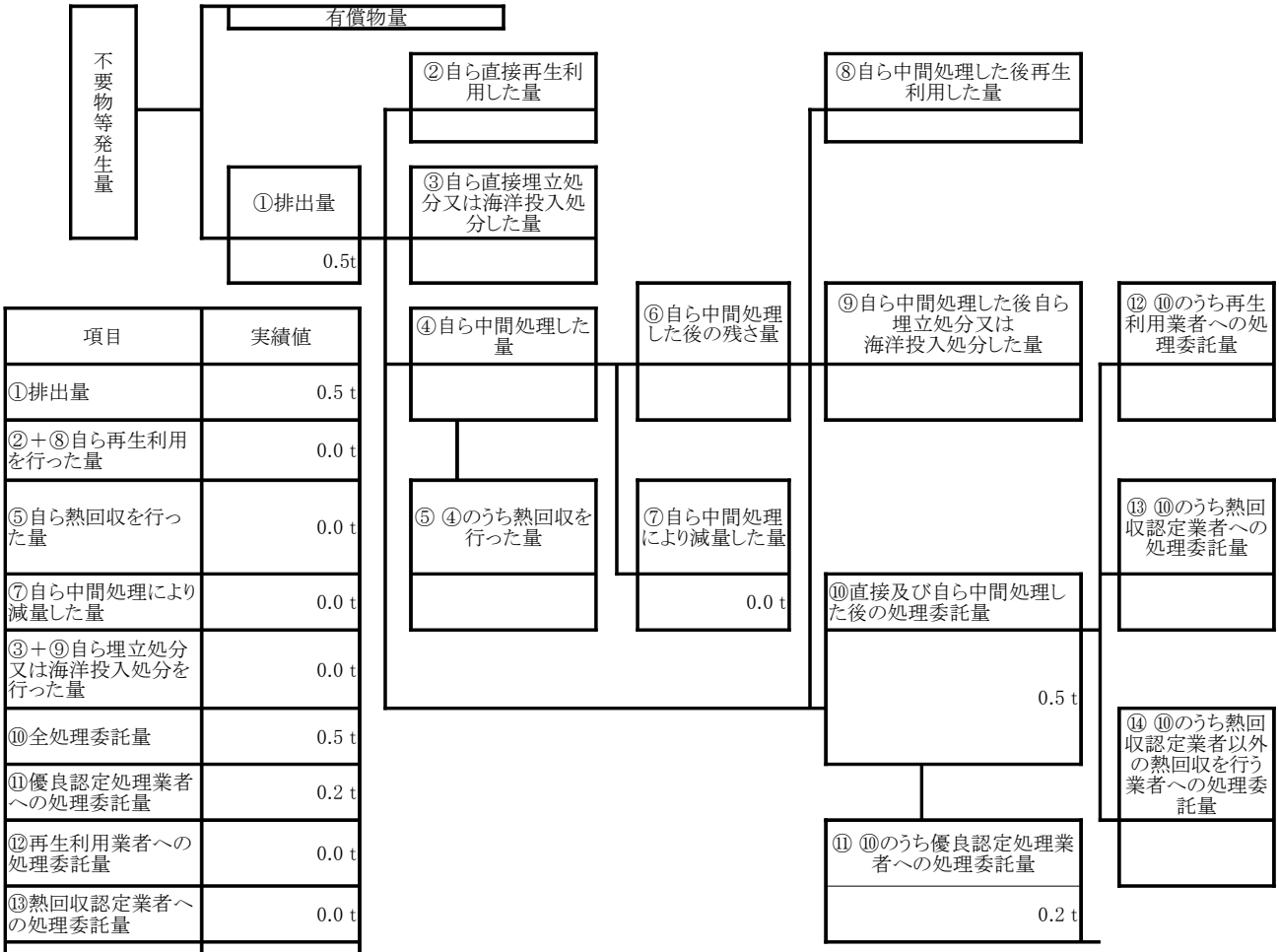


項目	実績値
①排出量	756.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	756.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	341.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



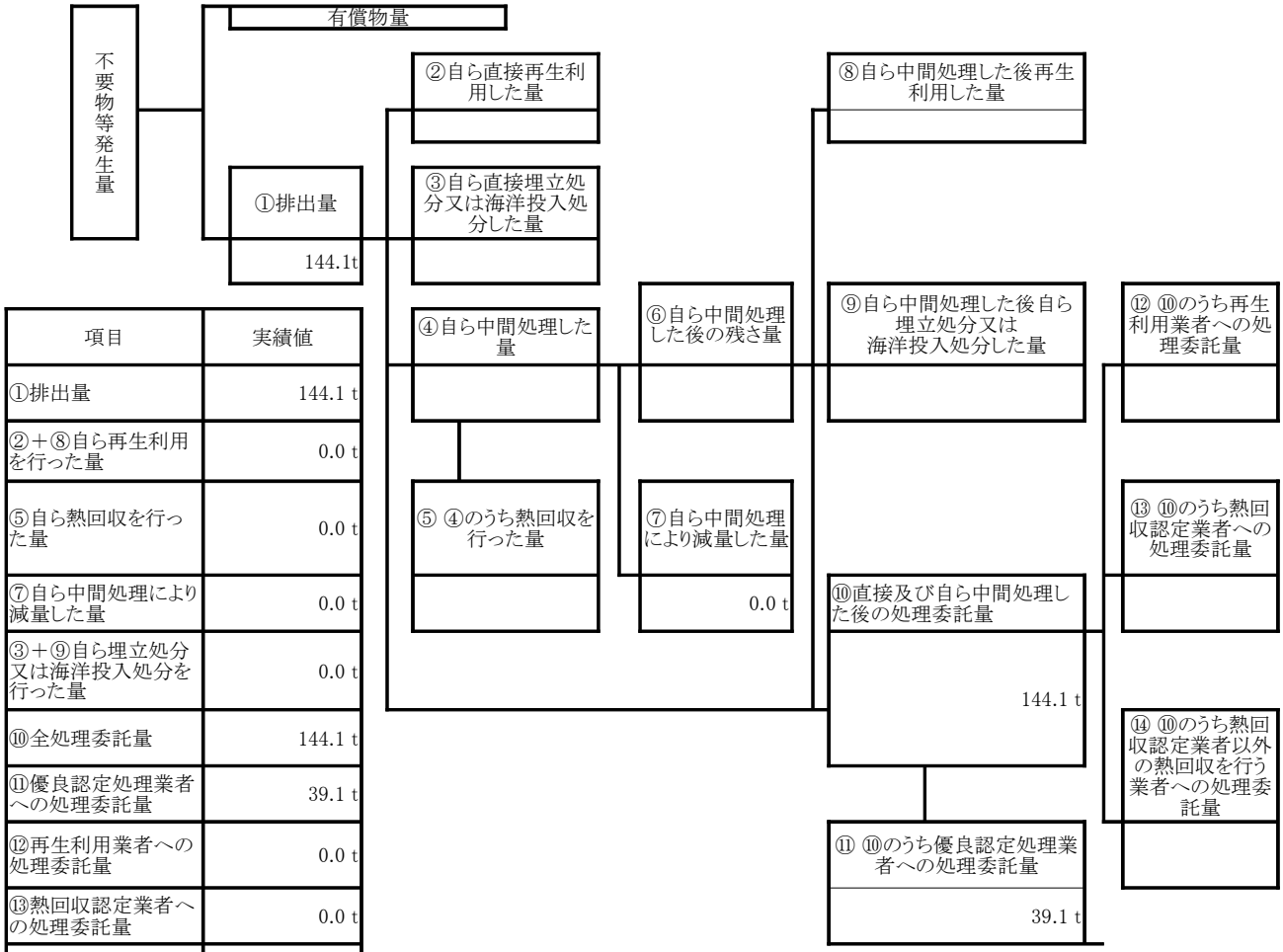
項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

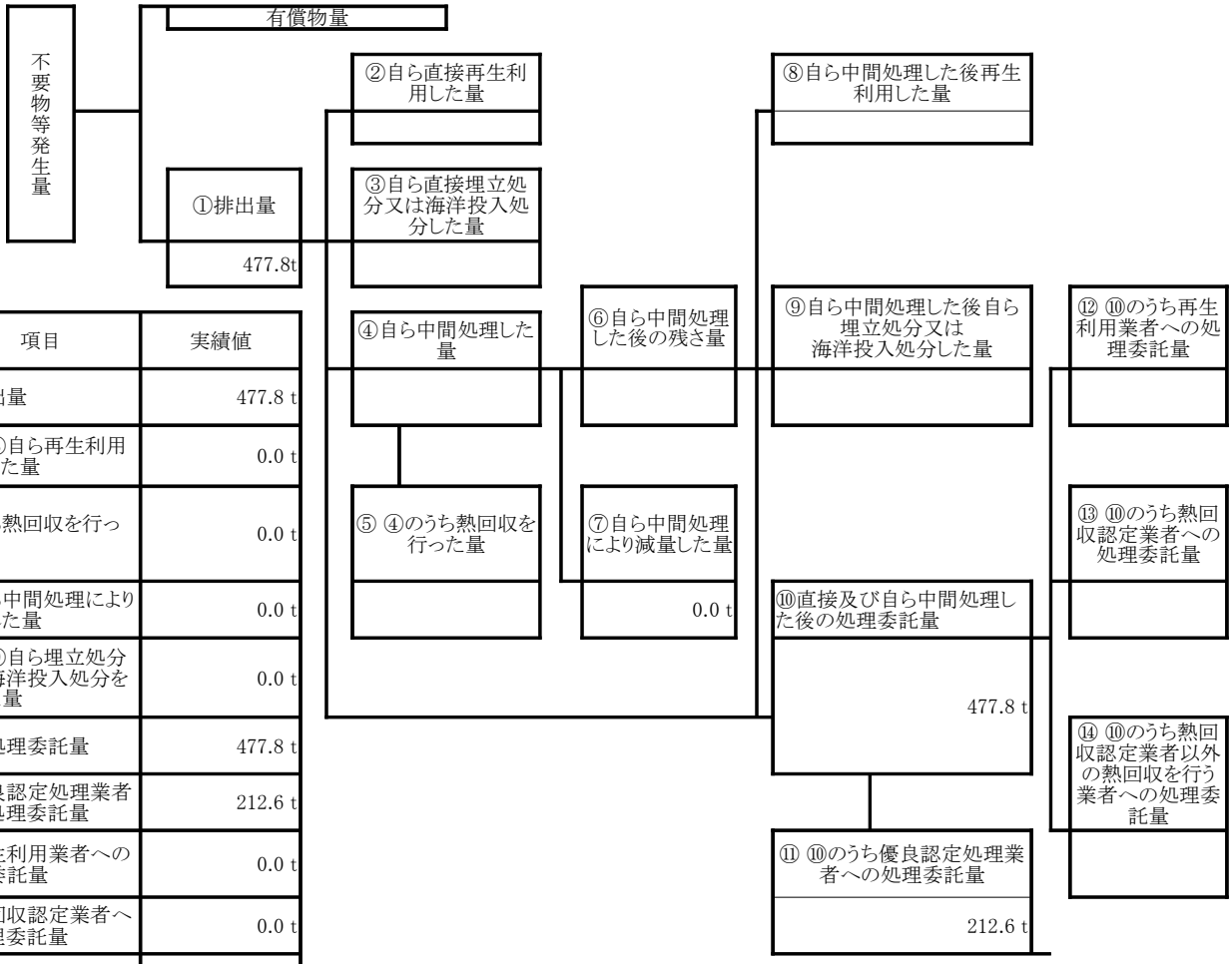


項目	実績値
①排出量	144.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	144.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

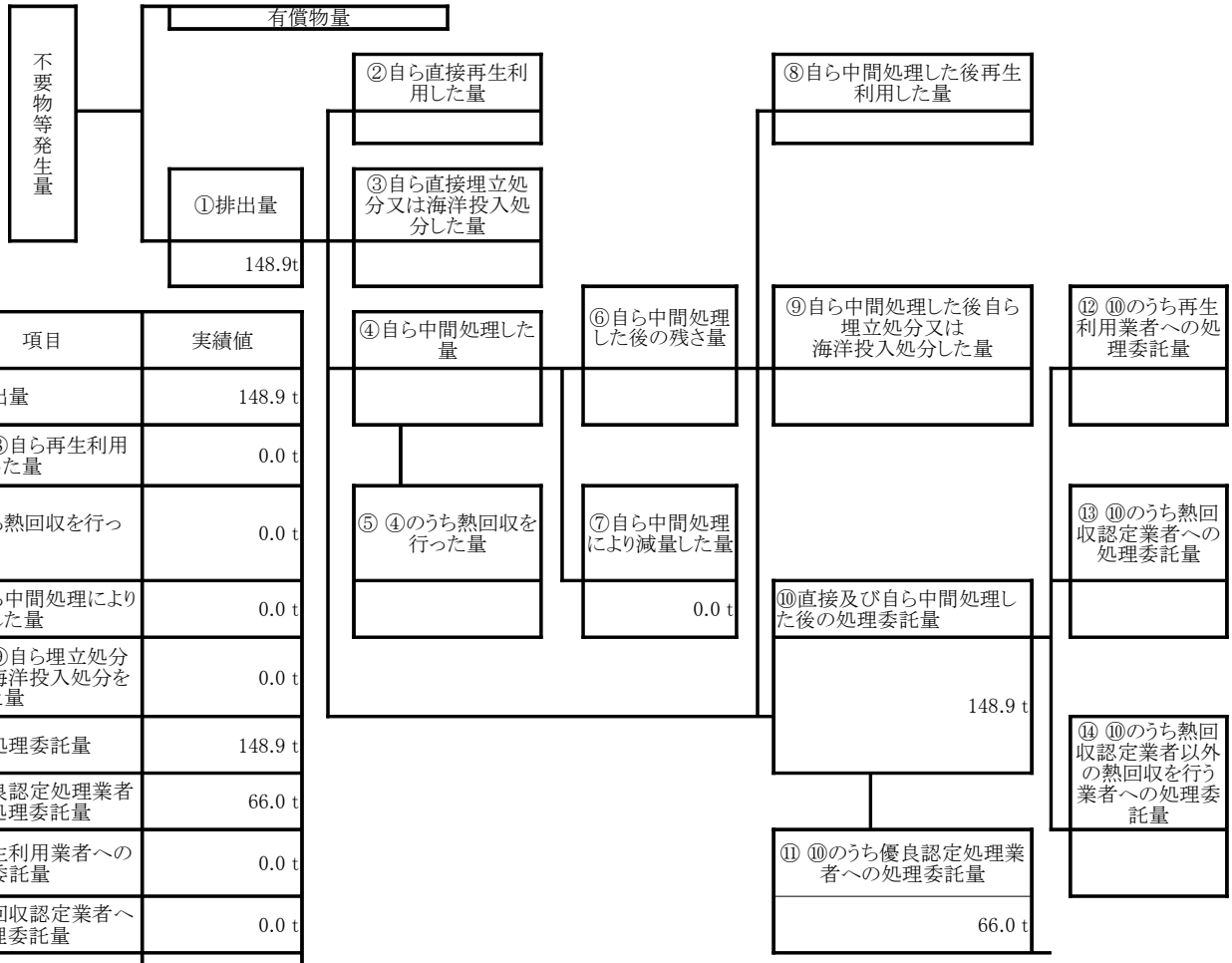


項目	実績値
①排出量	477.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	477.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	212.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



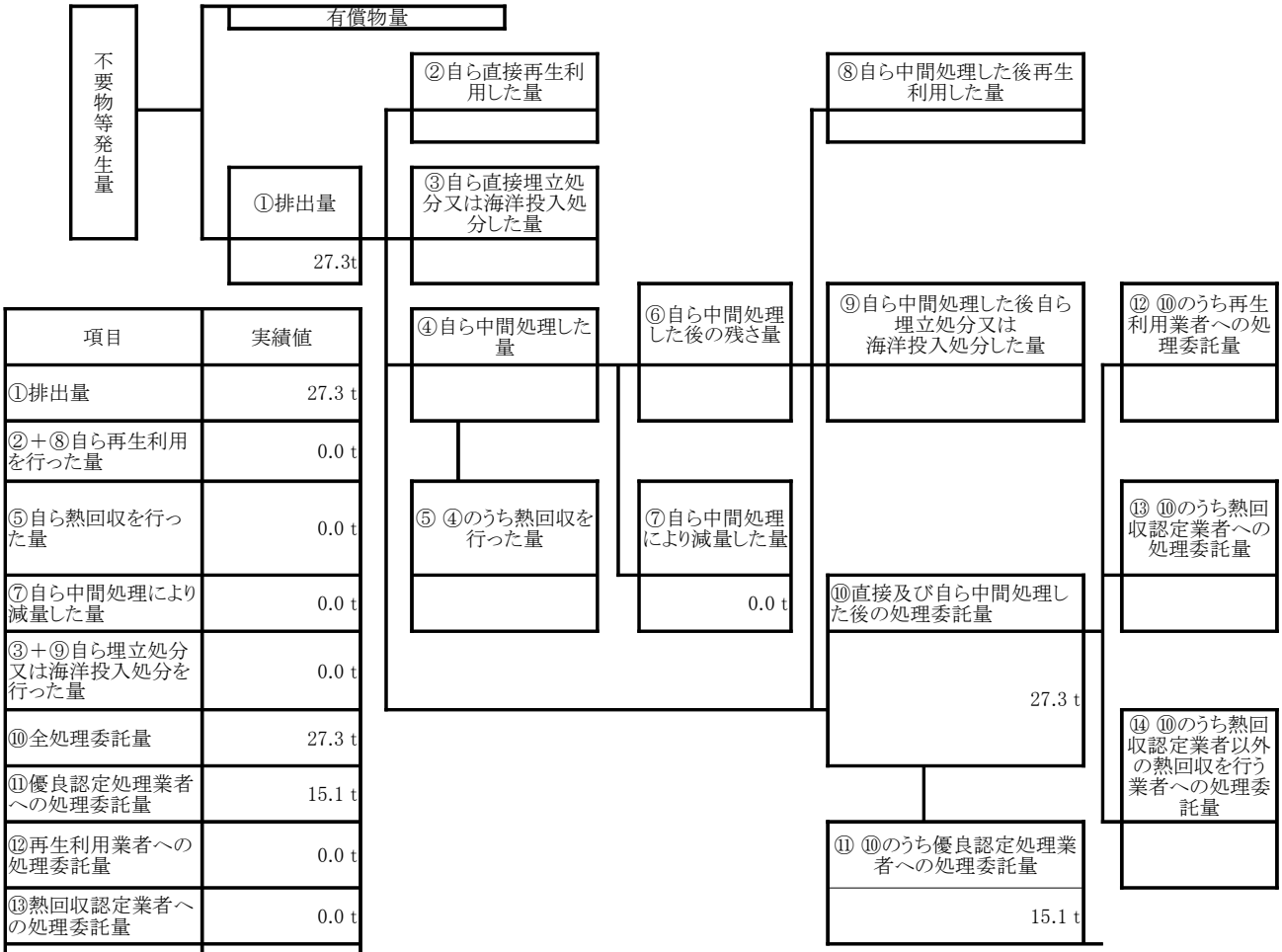
項目	実績値
①排出量	148.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

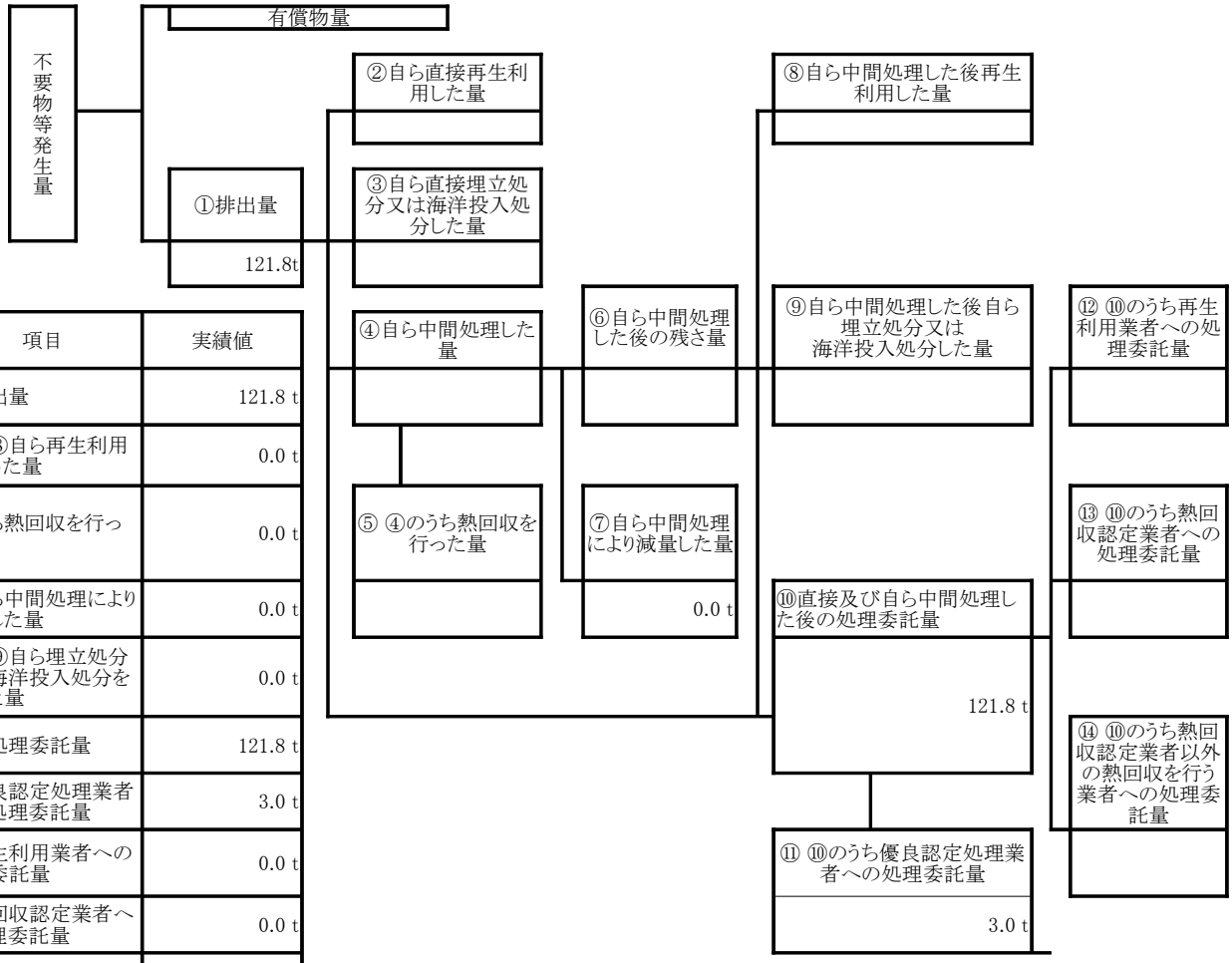


項目	実績値
①排出量	27.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

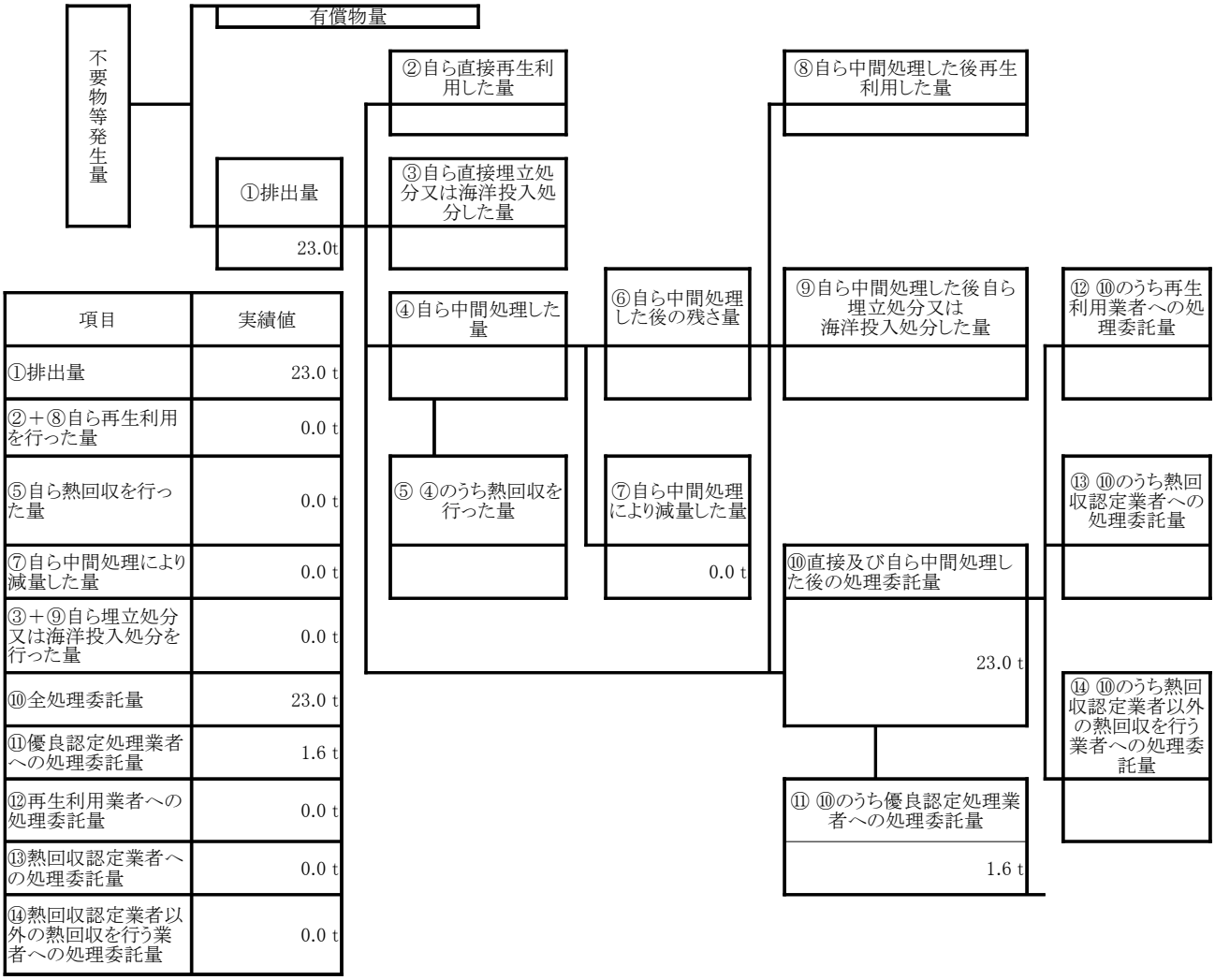


項目	実績値
①排出量	121.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	121.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物(安定型のみ)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

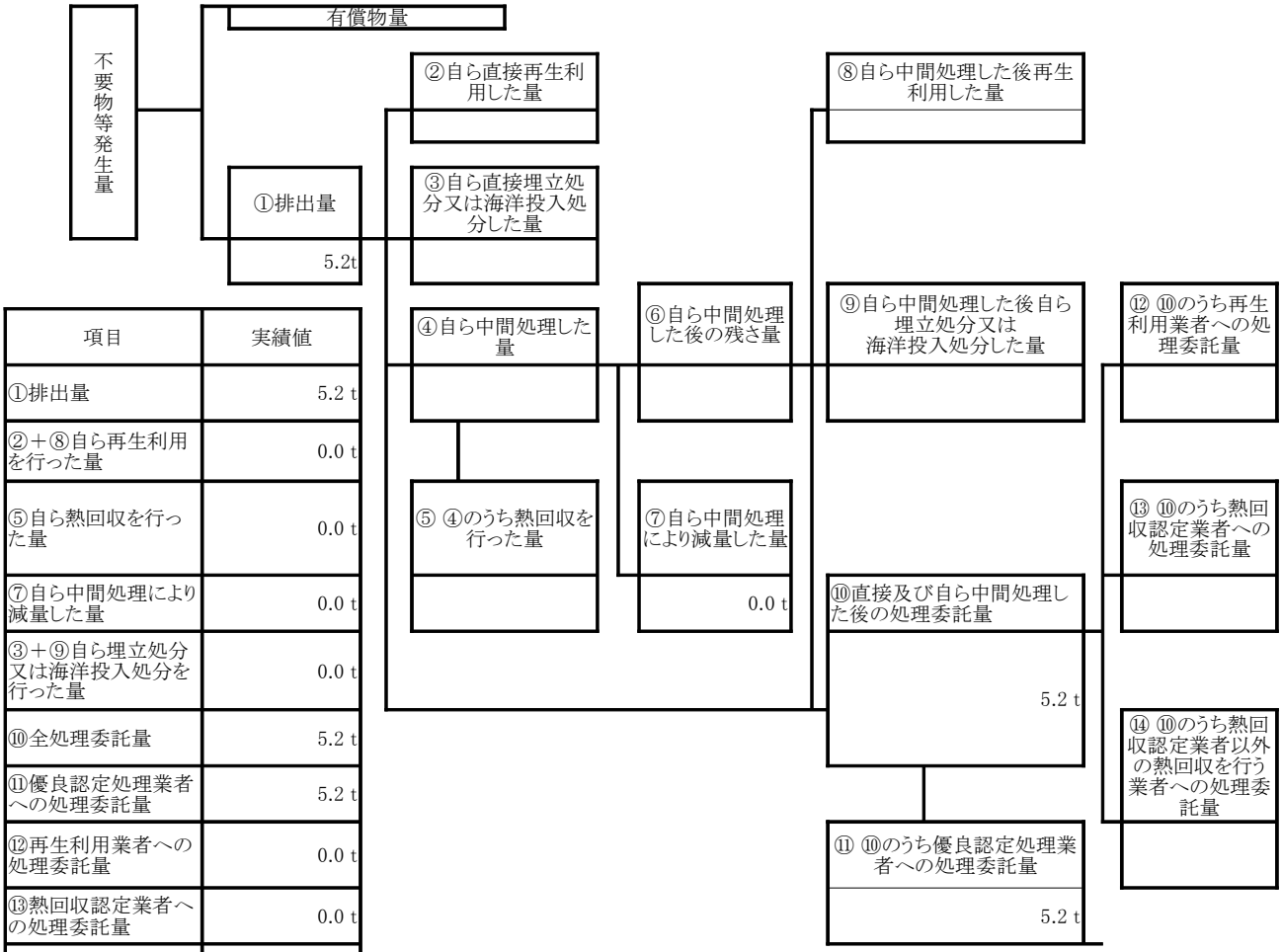


項目	実績値
①排出量	23.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**混合廃棄物(管理型含む)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	5.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　5日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104－0044
住 所　東京都中央区明石町8－1聖路加タワー7階
氏 名　アイサワ工業(株)東京支店 常務取締役支店長　早川　辰也
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03－4216－8160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ｱｲｻﾜ工業(株)　東京支店
事業場の所在地	東京都中央区明石町8－1聖路加タワー7階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

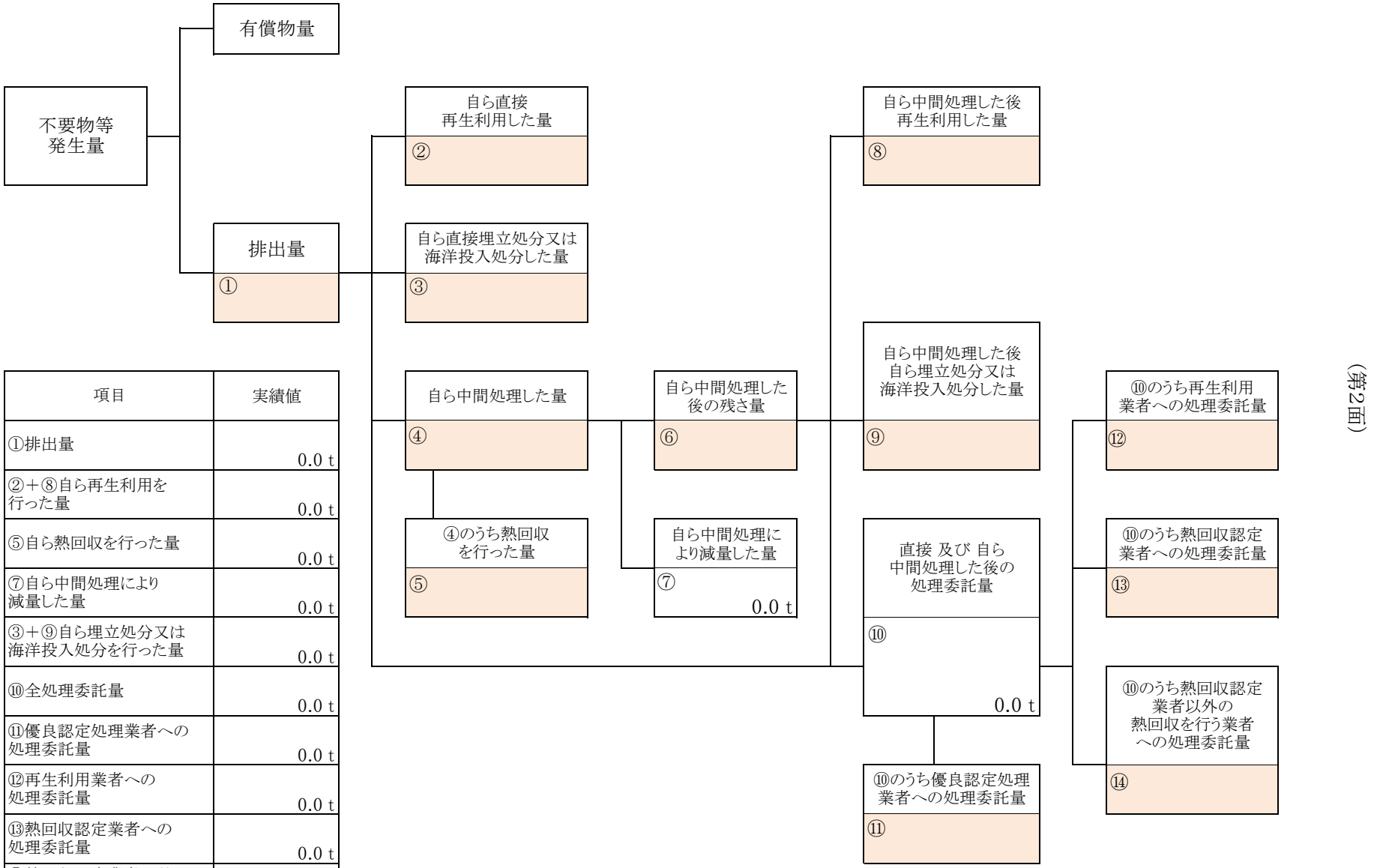
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0 t	全処理委託量	0.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

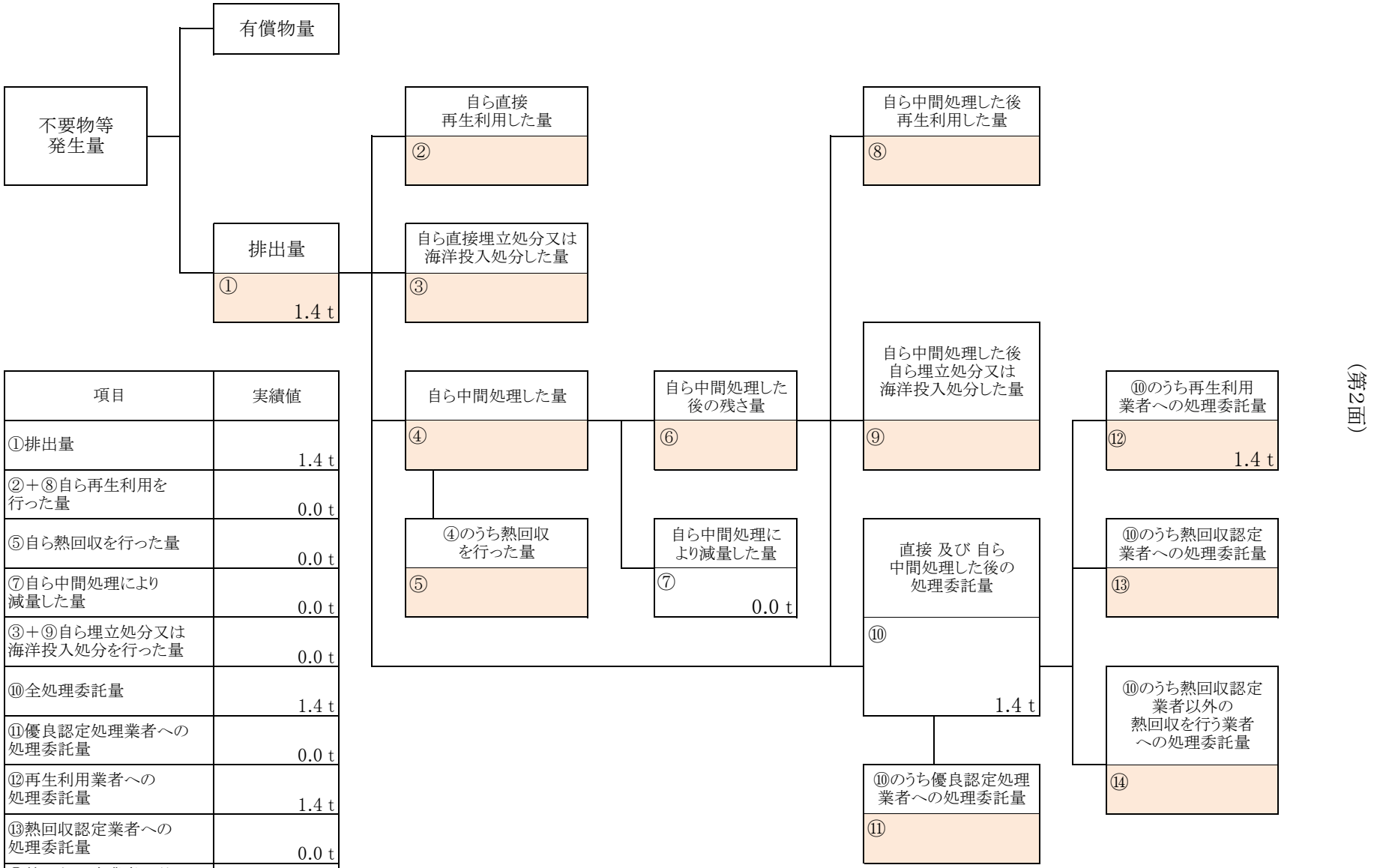


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

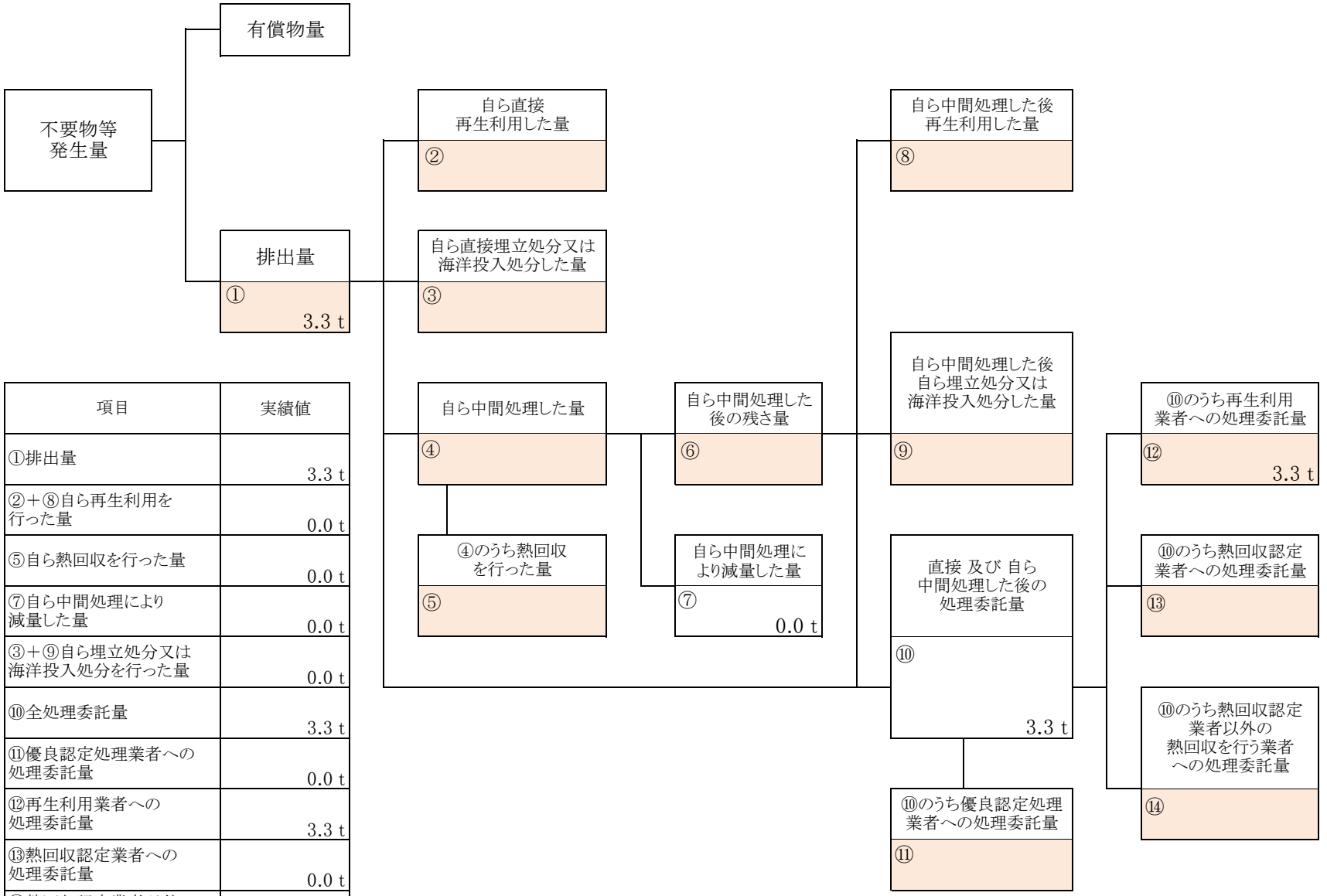


項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

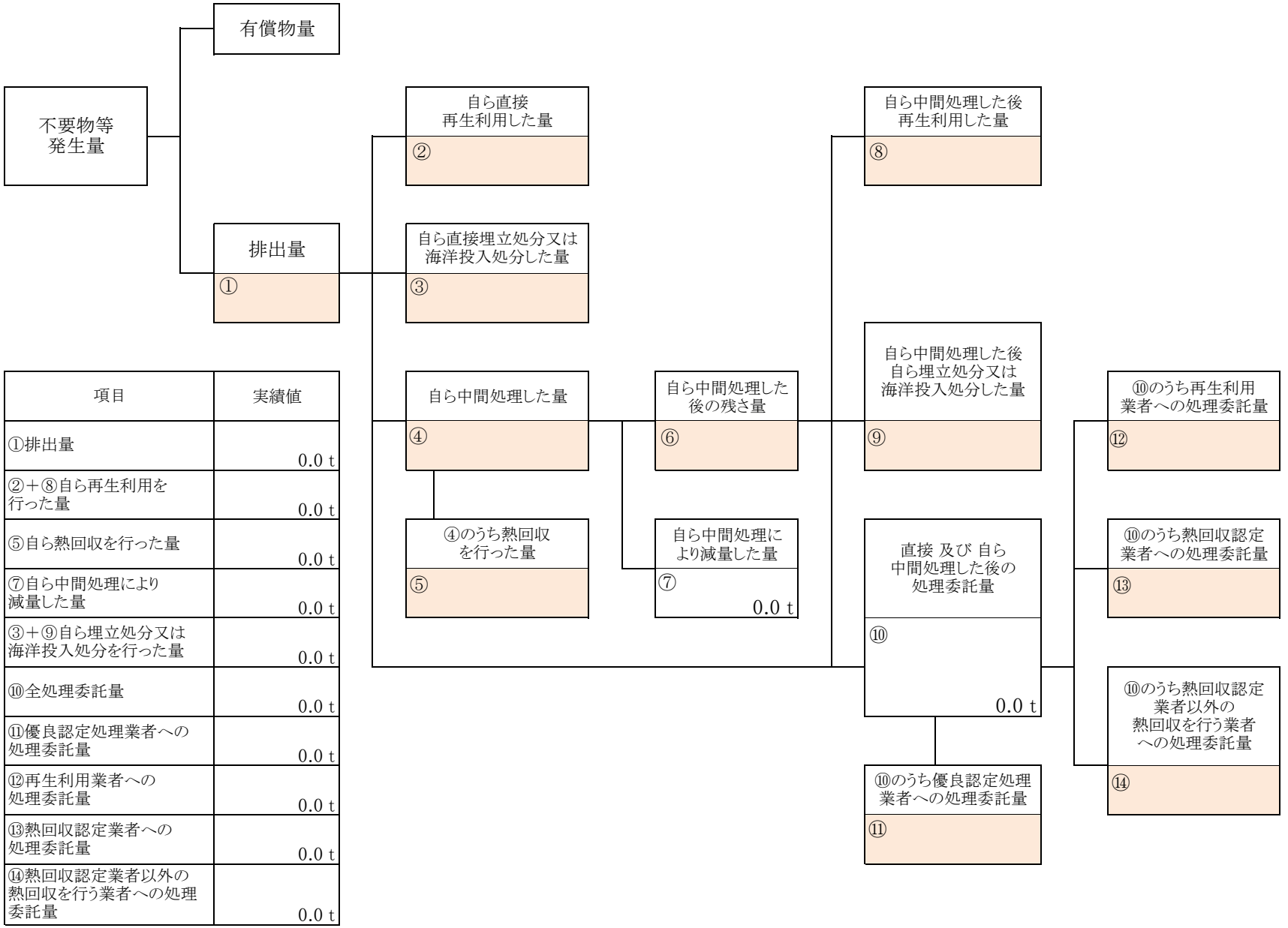


項目	実績値
①排出量	3.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート片）

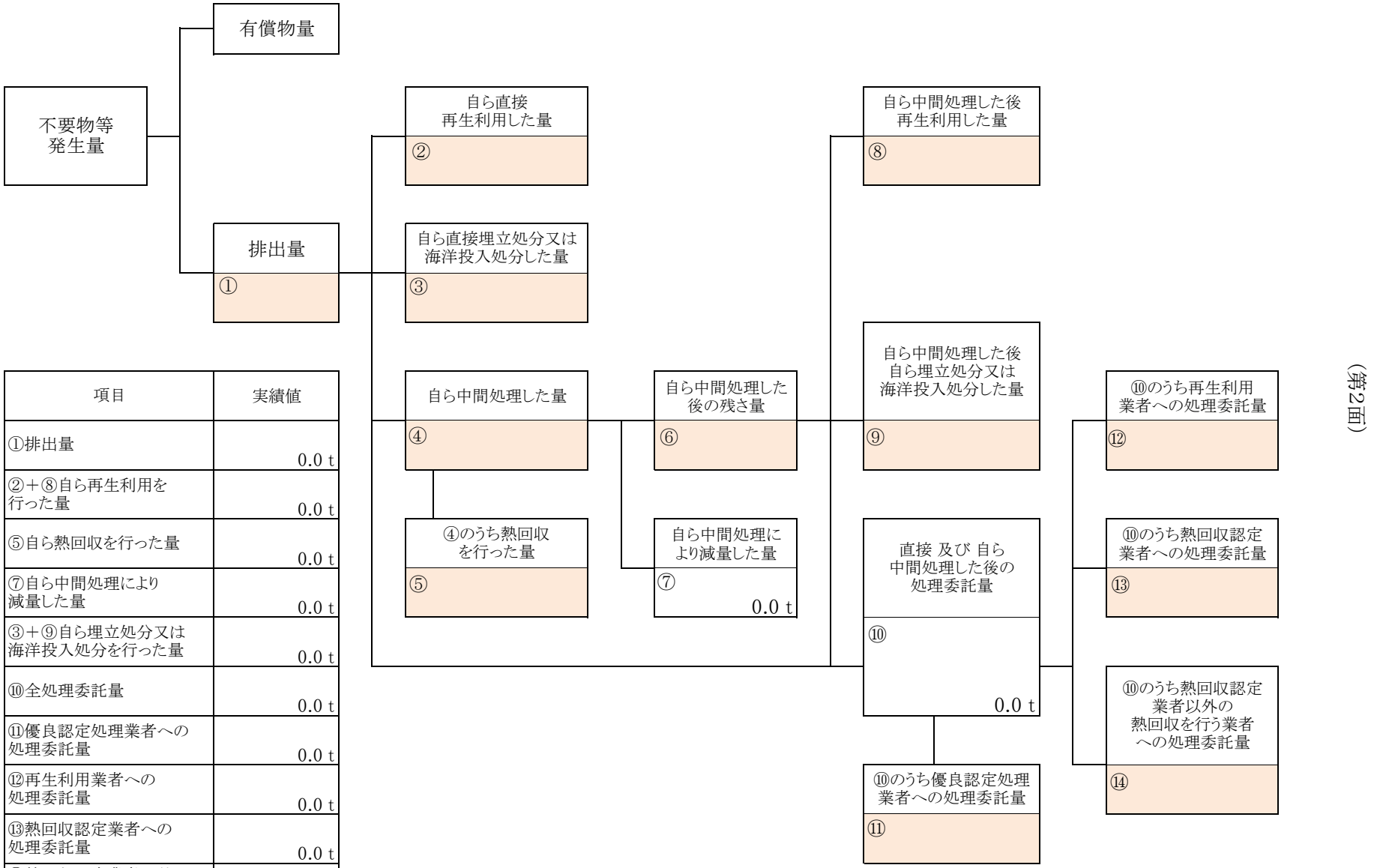


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アスファルト**）

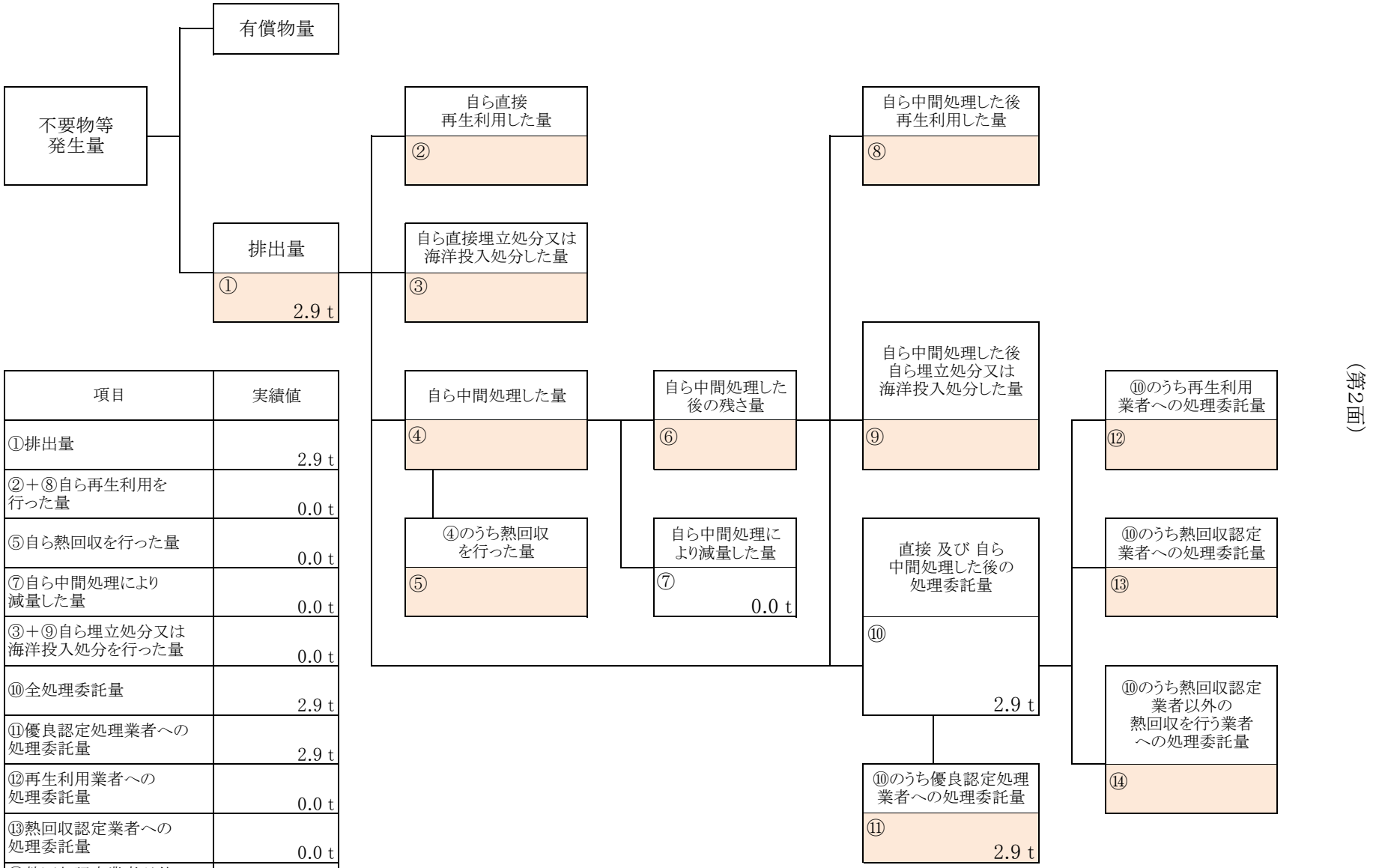


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**レンガ破片など**）

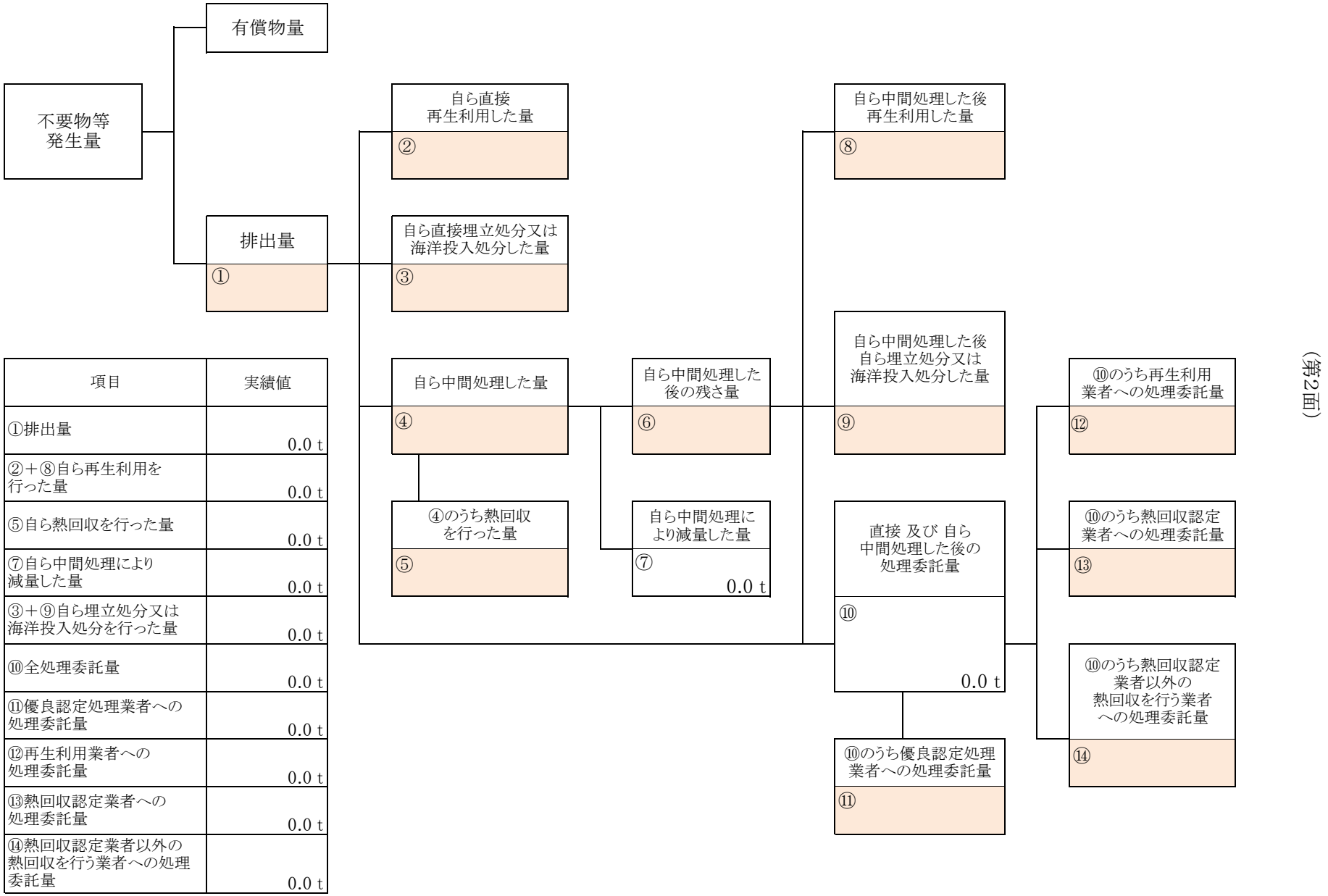


項目	実績値
①排出量	2.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器等くず**）

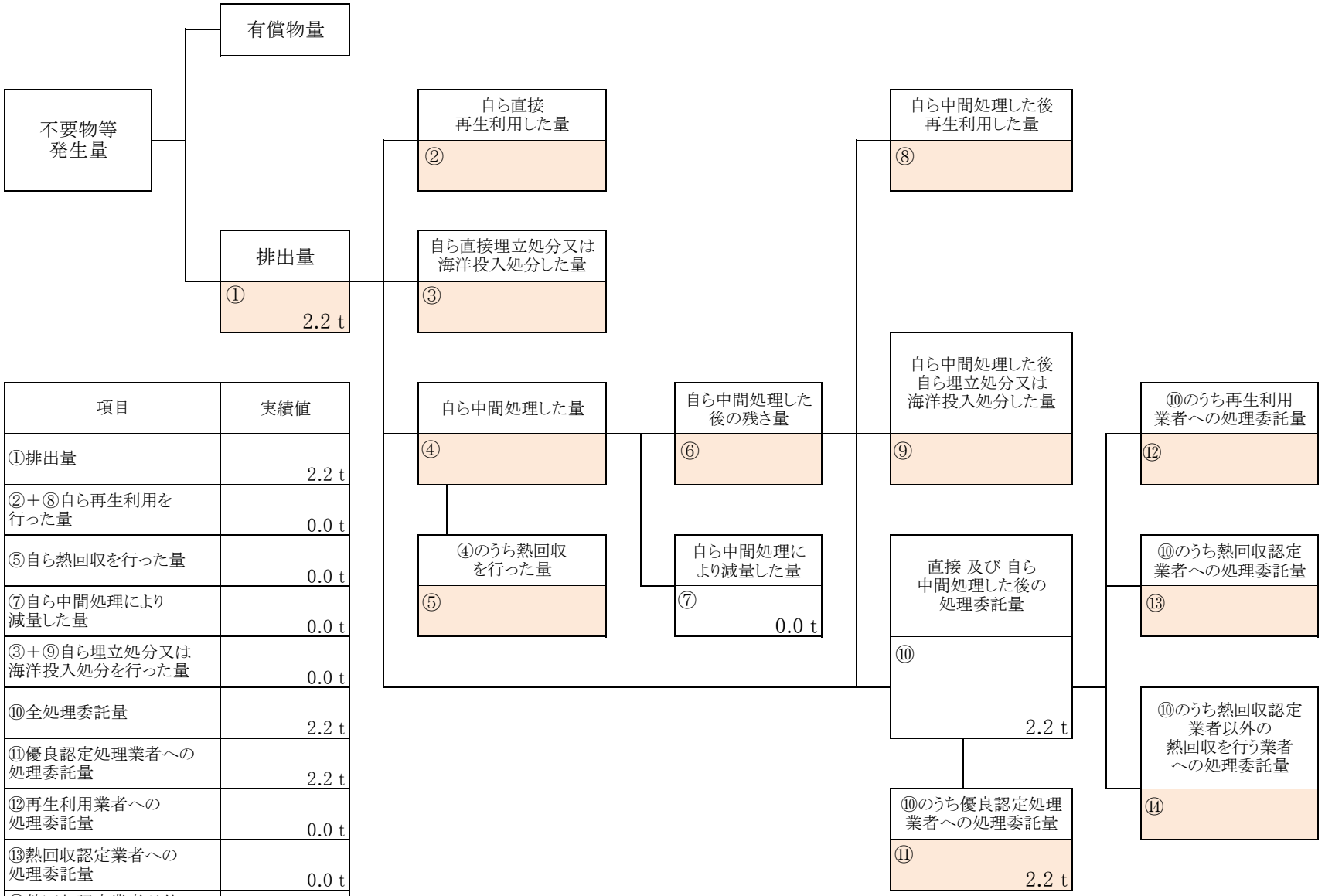


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

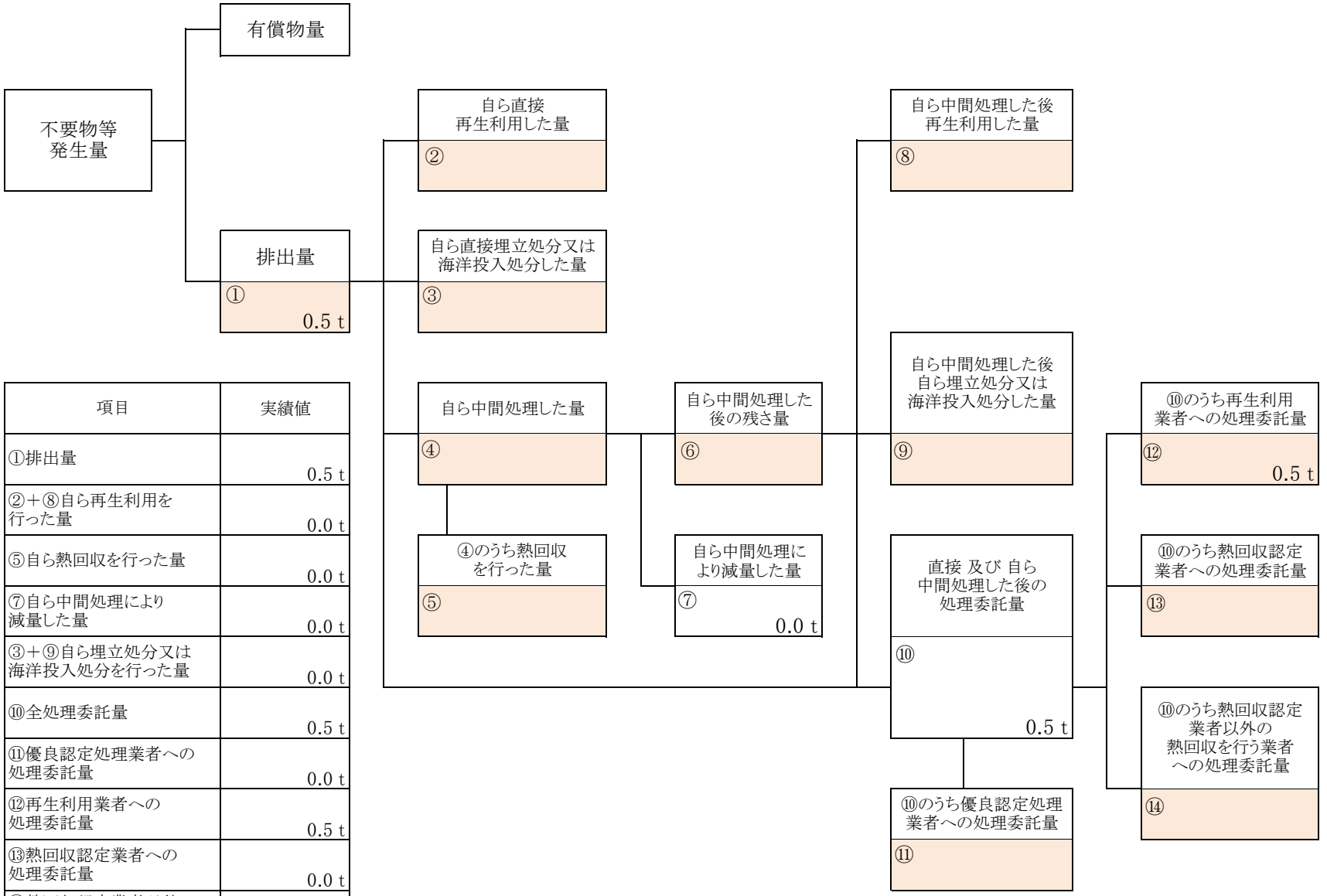


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

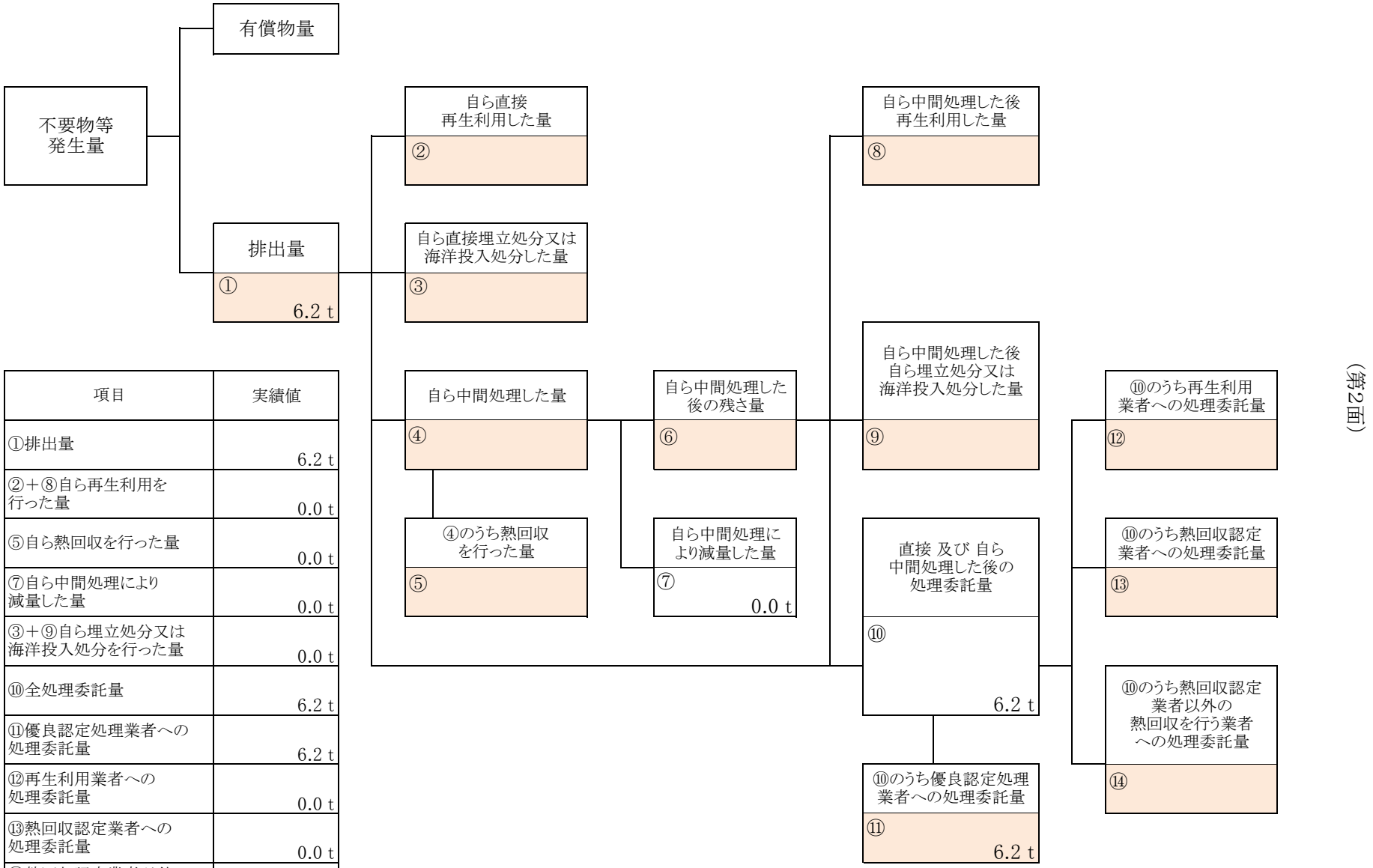


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

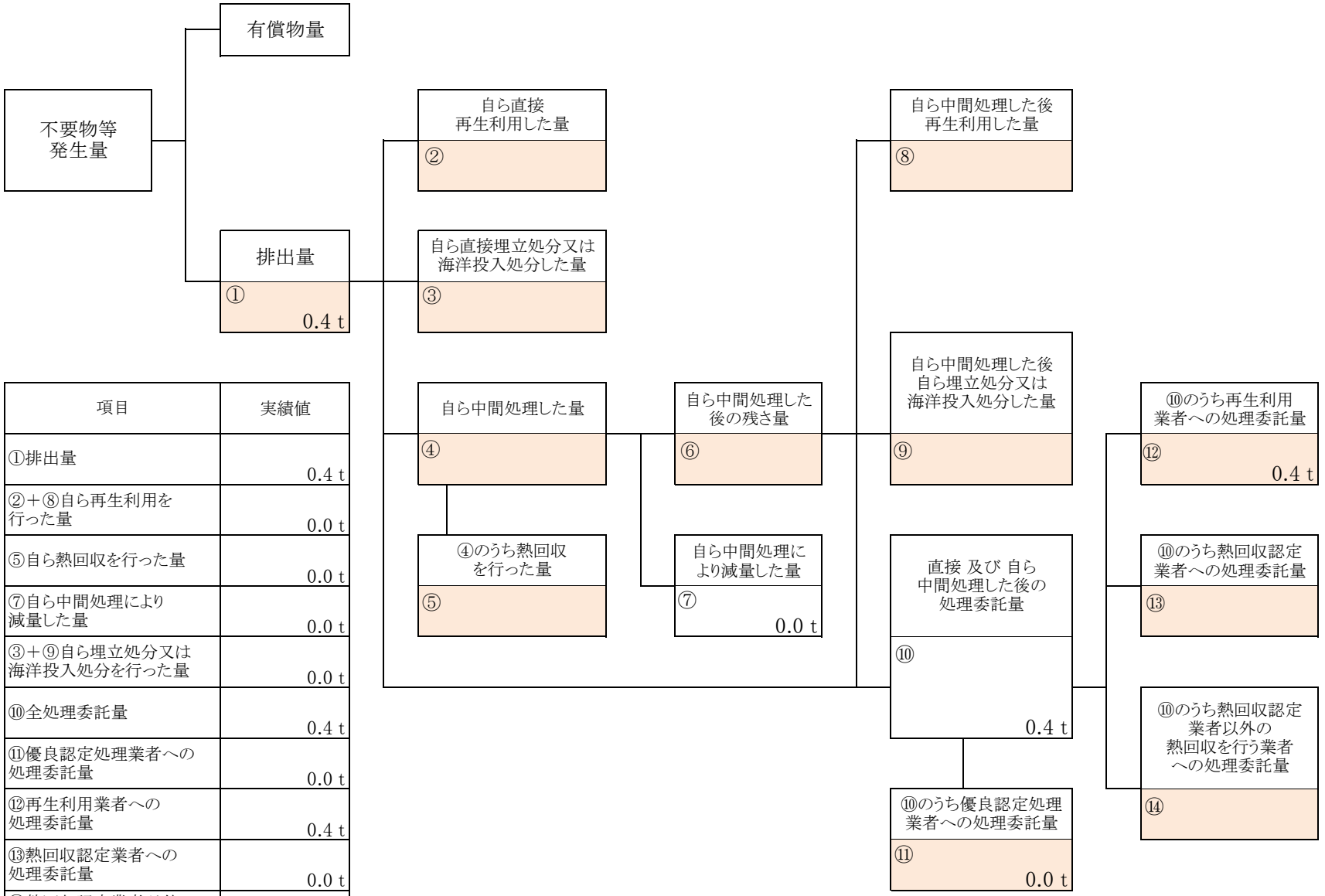


項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃石膏ボード**）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-2842

住　所　千葉県鴨川市江見青木８６番地の１

法人名　青木総業株式会社

代表者　小篠 隆

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7096-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	青木総業株式会社
事業場の所在地	千葉県鴨川市江見青木86番地の１
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	１０億円
③従業員数	27人（正社員24人　非常勤3人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙様式１

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙様式２

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙様式３参照	
	排出量	20632 t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物は適正に分別し、産業廃棄物施設へ処理を委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙様式３参照	
	排出量	6031 t	t
	（今後実施する予定の取組） コンクリートがら、アスファルトがらは当該現場の路盤材等に使用、もしくは近接現場にて利用し、産業廃棄物処理施設への持込量を削減する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類は（コンクリートがら・アスファルトがら・その他）に分別する。 石綿含有産業廃棄物については、他の廃棄物に混入しないように確実に分別・保管を実施する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引続き上記通り、分別・保管を徹底する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙様式３参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙様式３参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙様式３参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙様式３参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙様式３参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙様式３参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

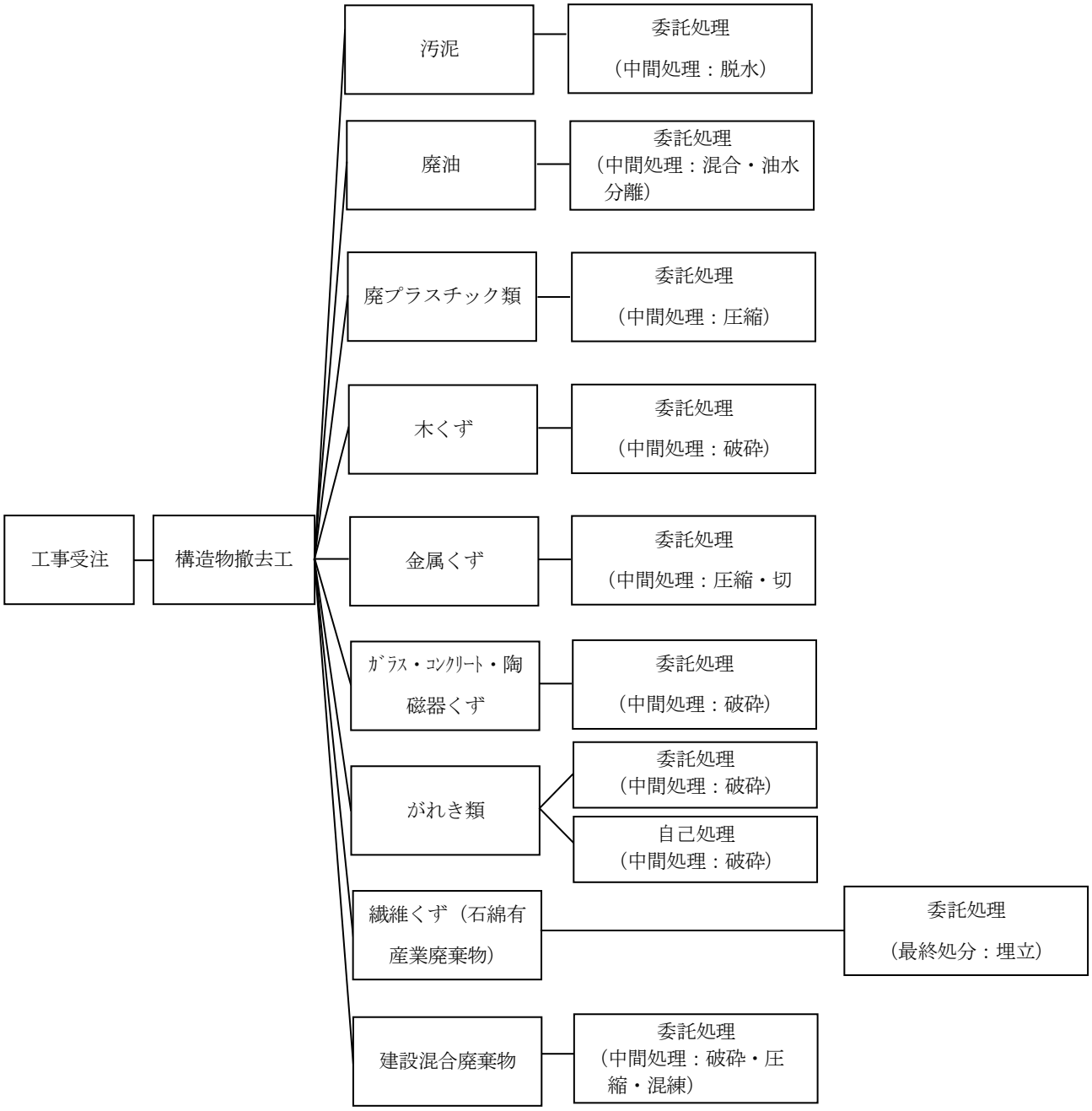
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙様式３参照	
	全処理委託量	20632 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20632 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物を種類別に分別し、産業廃棄物処理施設に委託している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙様式３参照</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>6031 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>6031 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これまでどおり、産業廃棄物を種類別に分別し、産業廃棄物処理施設に委託するが、混合廃棄物はより細かく分別する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

（別紙様式１）


工事受注
構造物撤去工
汚泥
委託処理
（中間処理：脱水）
廃油
委託処理
（中間処理：混合・油水分離）
廃プラスチック類
委託処理
（中間処理：圧縮）
木くず
委託処理
（中間処理：破砕）
金属くず
委託処理
（中間処理：圧縮・切
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず
委託処理
（中間処理：破砕）
がれき類
委託処理
（中間処理：破砕）
自己処理
（中間処理：破砕）
繊維くず（石綿有産業廃棄物）
委託処理
（最終処分：埋立）
建設混合廃棄物
委託処理
（中間処理：破砕・圧縮・混練）

別紙様式３

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		排　出　量	85 t	113.6 t	676.9 t	650.2 t	17192.6 t	1347.7 t	237.6 t	217 t	6.5 t	14.9 t	90.5 t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		排　出　量	1 t	50 t	20 t	300 t	5000 t	500 t	50 t	50 t	0 t	10 t	50 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
全処理委託量	85 t	113.6 t	676.9 t	650.2 t	17192.6 t	1347.7 t	237.6 t	217 t	6.5 t	14.9 t	90.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	85 t	113.6 t	676.9 t	650.2 t	17192.6 t	1347.7 t	237.6 t	217 t	6.5 t	14.9 t	90.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	コンクリートがら	ルト・コンクリ	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙くず	繊維くず（石綿含有）	建設混合廃棄物
全処理委託量	1 t	50 t	20 t	300 t	5000 t	500 t	50 t	50 t	0 t	10 t	50 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月9日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-2842

住所 千葉県鴨川市江見青木86番地の1

法人名 青木総業株式会社

代表者 小篠 隆

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7096-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	青木総業株式会社
事業場の所在地	千葉県鴨川市江見青木86番地の1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

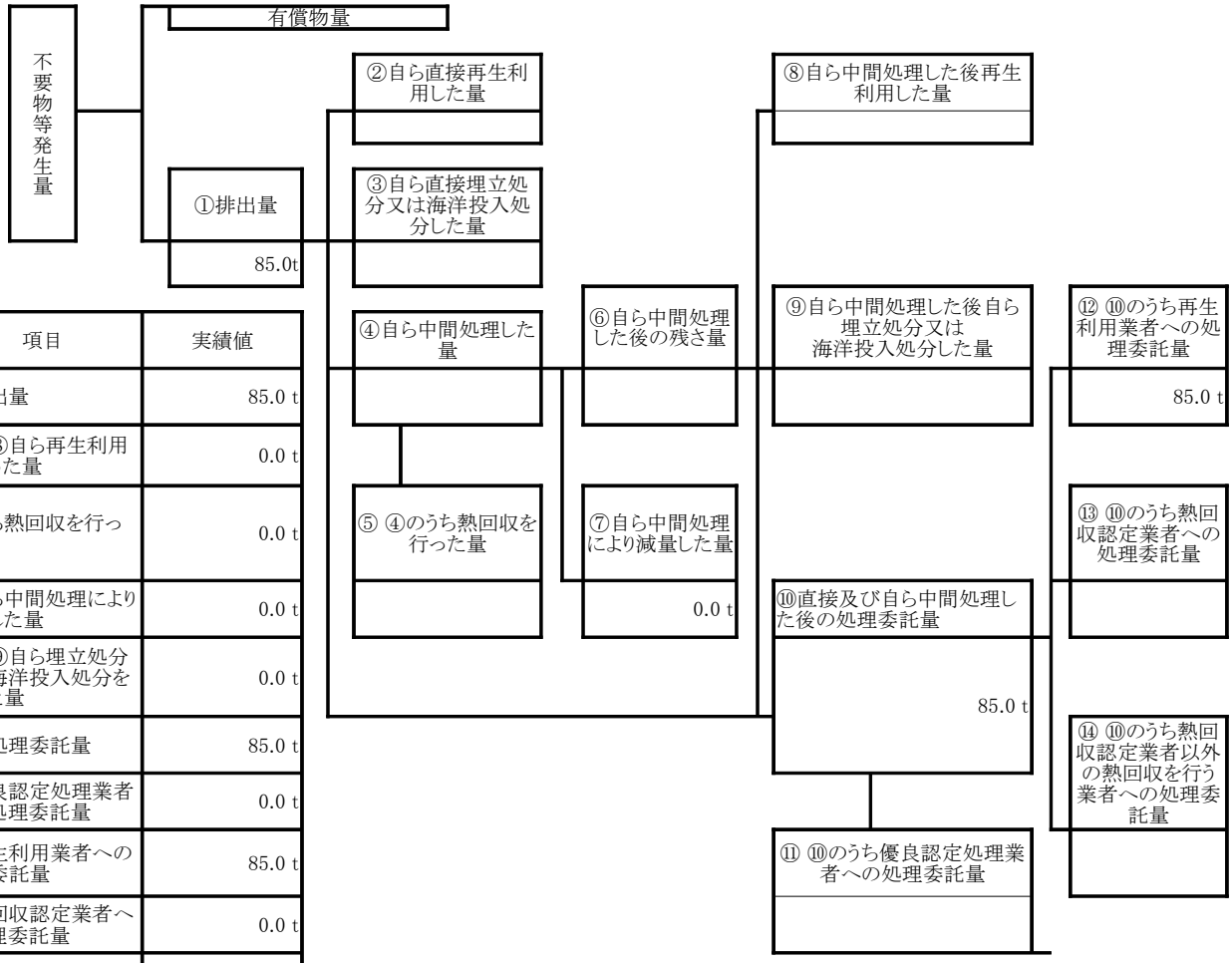
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6031 t	全処理委託量	6031 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	6031 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

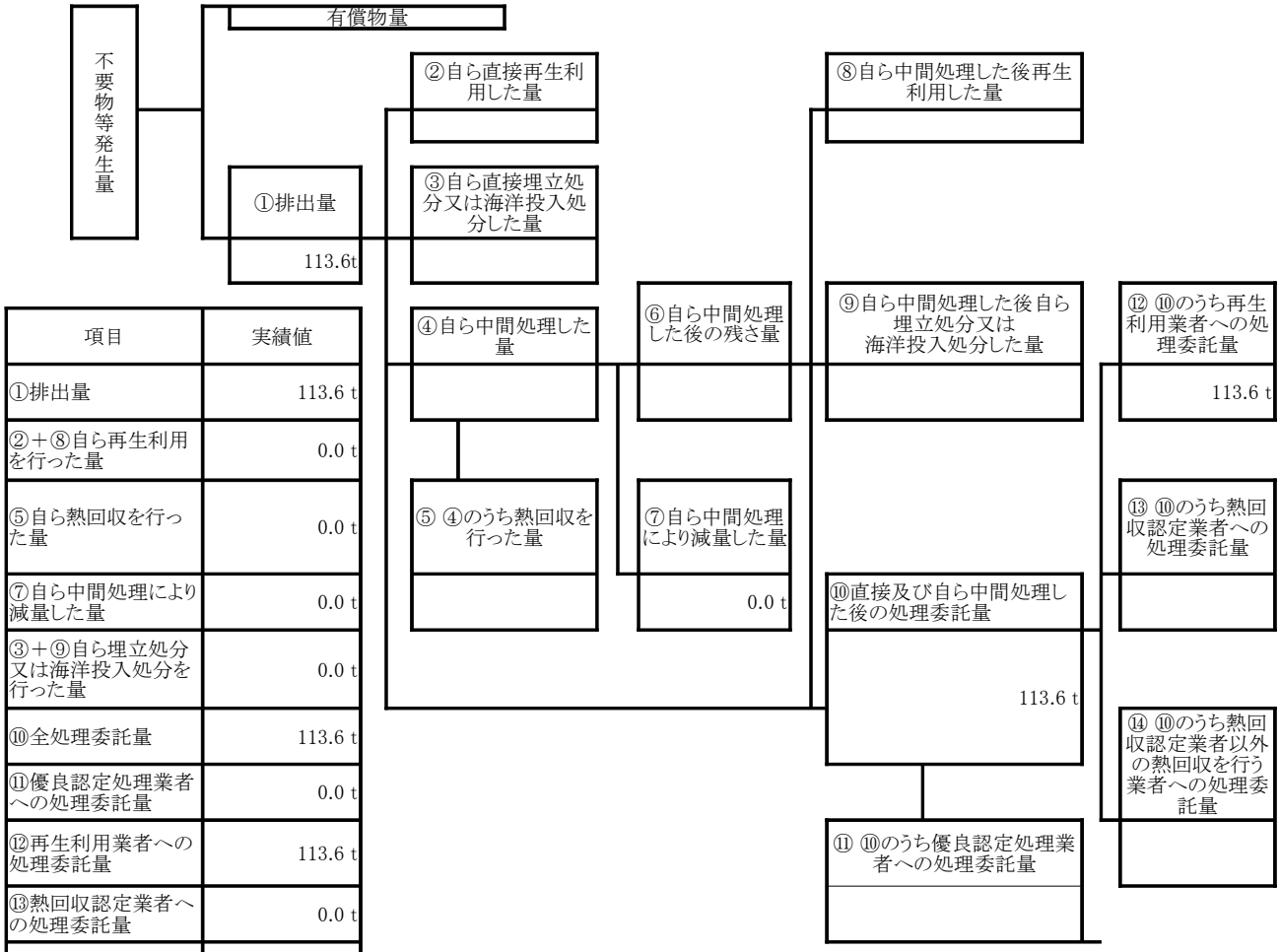


項目	実績値
①排出量	85.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	85.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



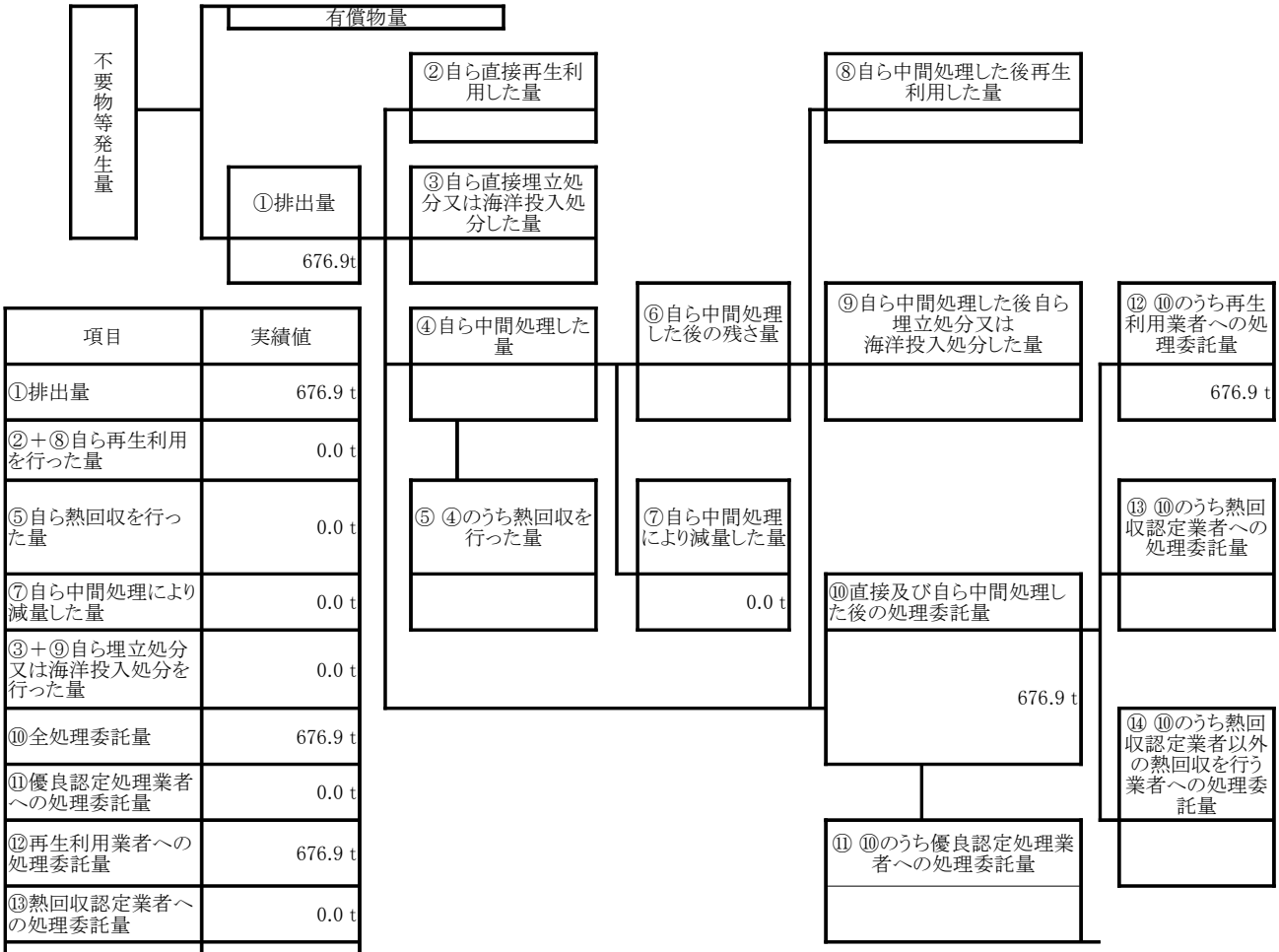
項目	実績値
①排出量	113.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	113.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	113.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

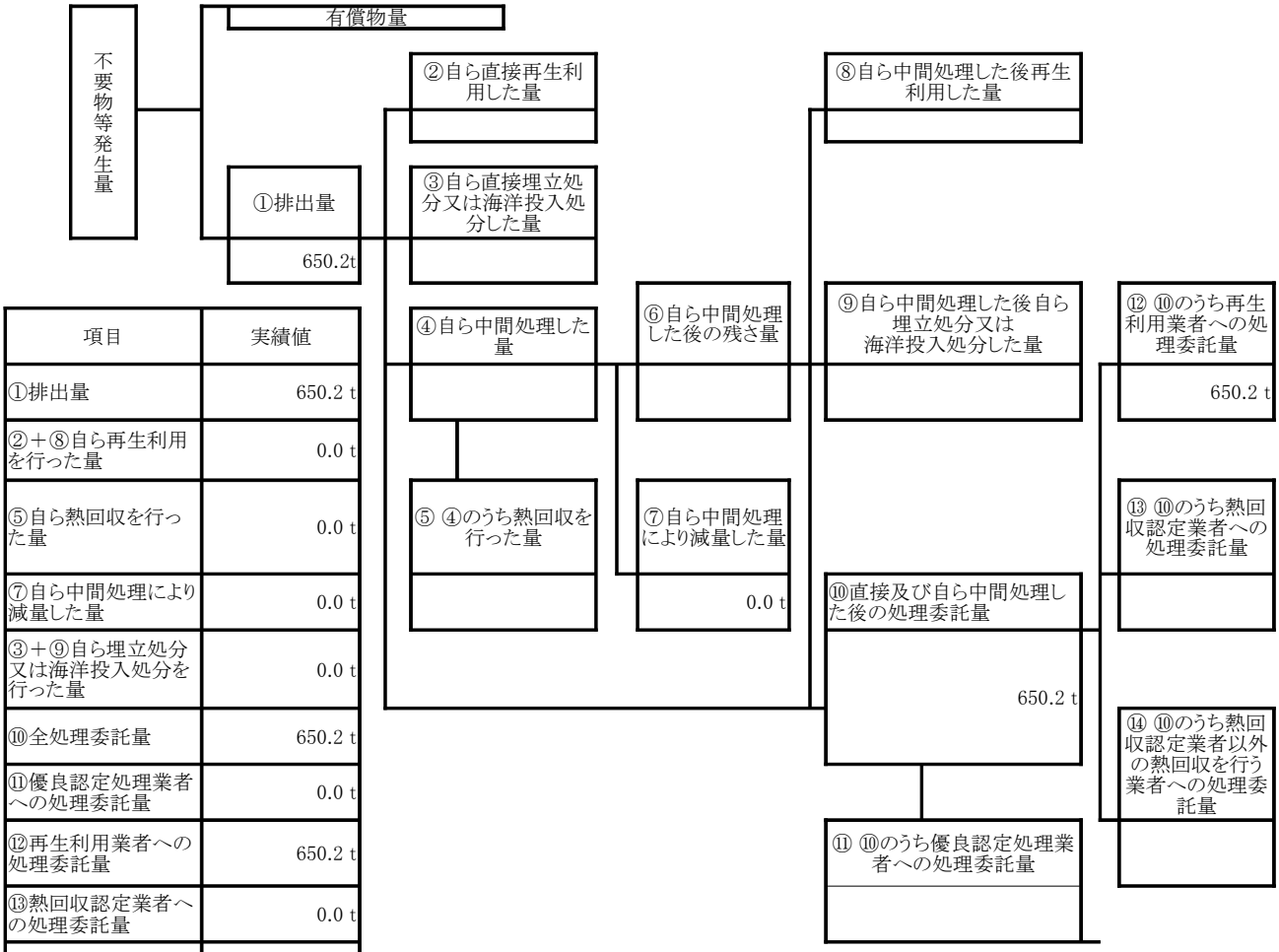


項目	実績値
①排出量	676.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	676.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	676.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



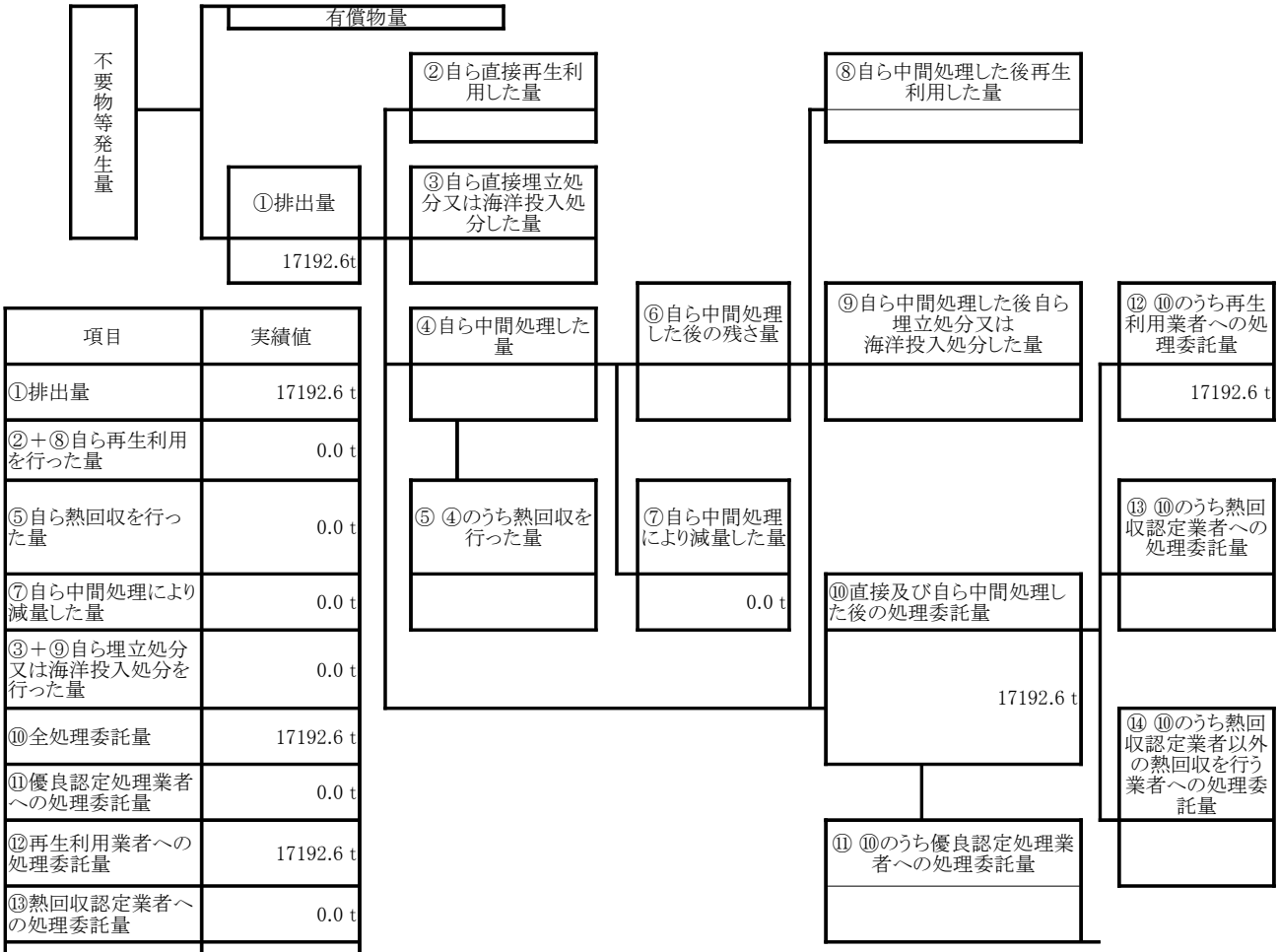
項目	実績値
①排出量	650.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	650.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	650.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



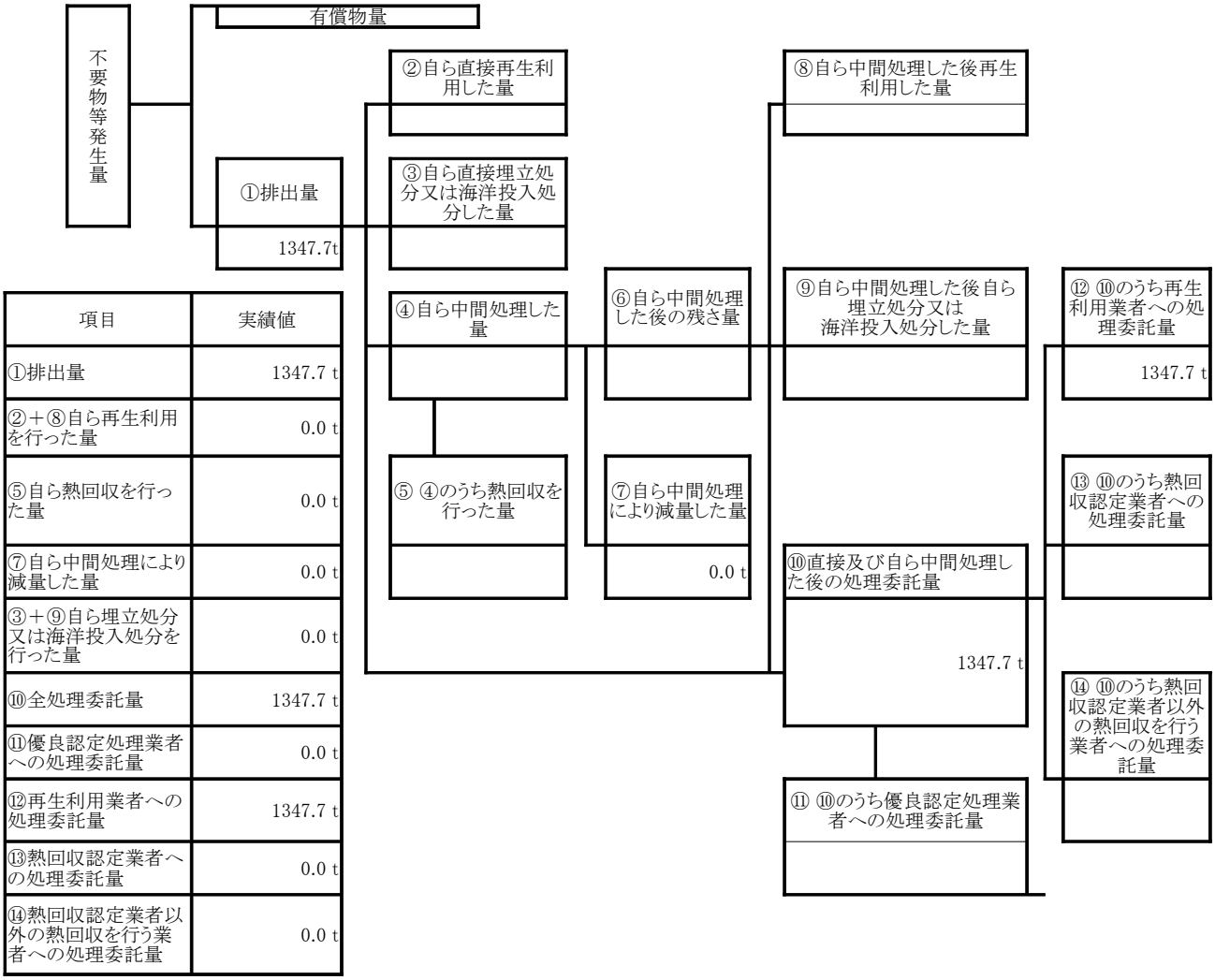
項目	実績値
①排出量	17192.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17192.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17192.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

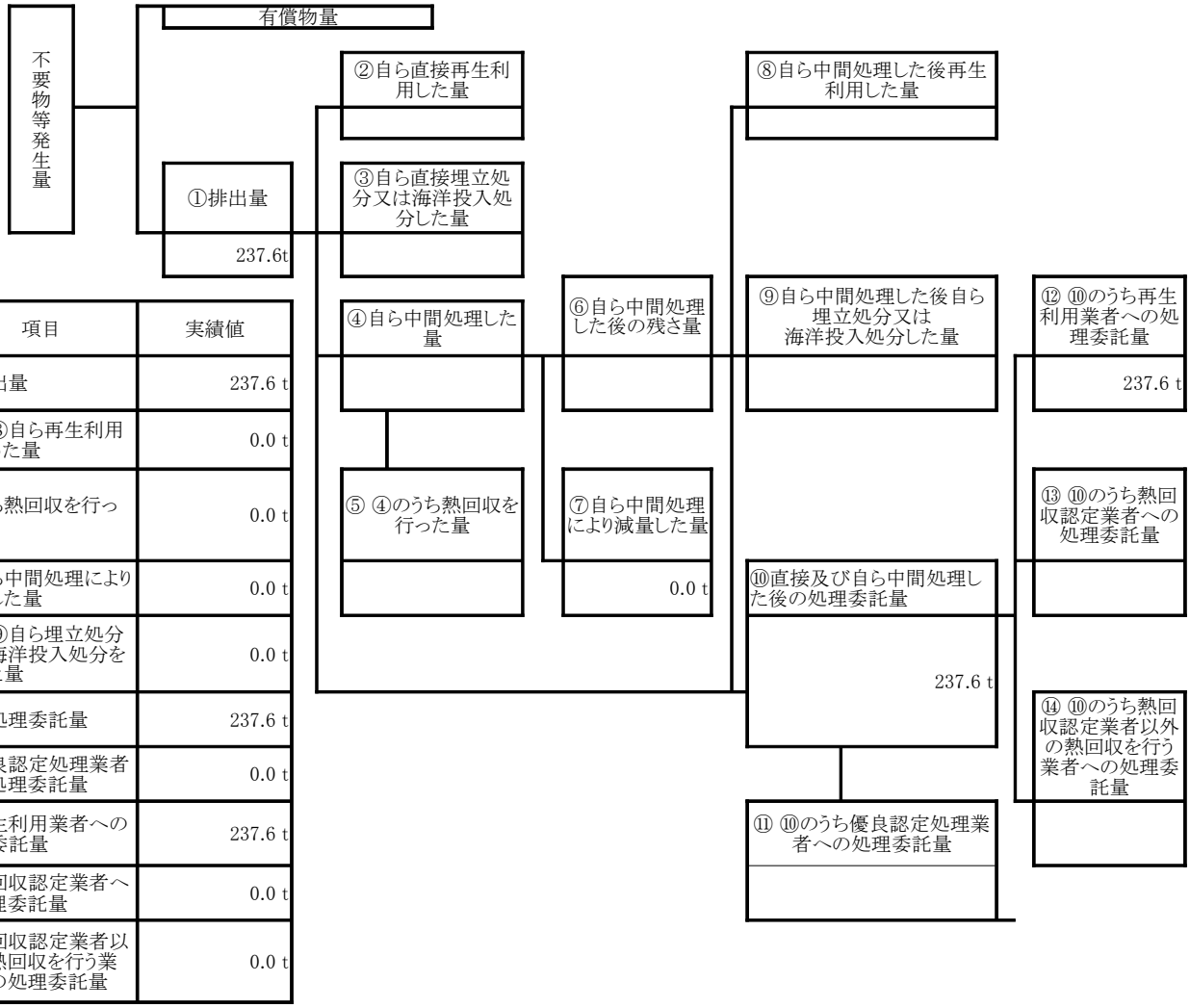


項目	実績値
①排出量	1347.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1347.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1347.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



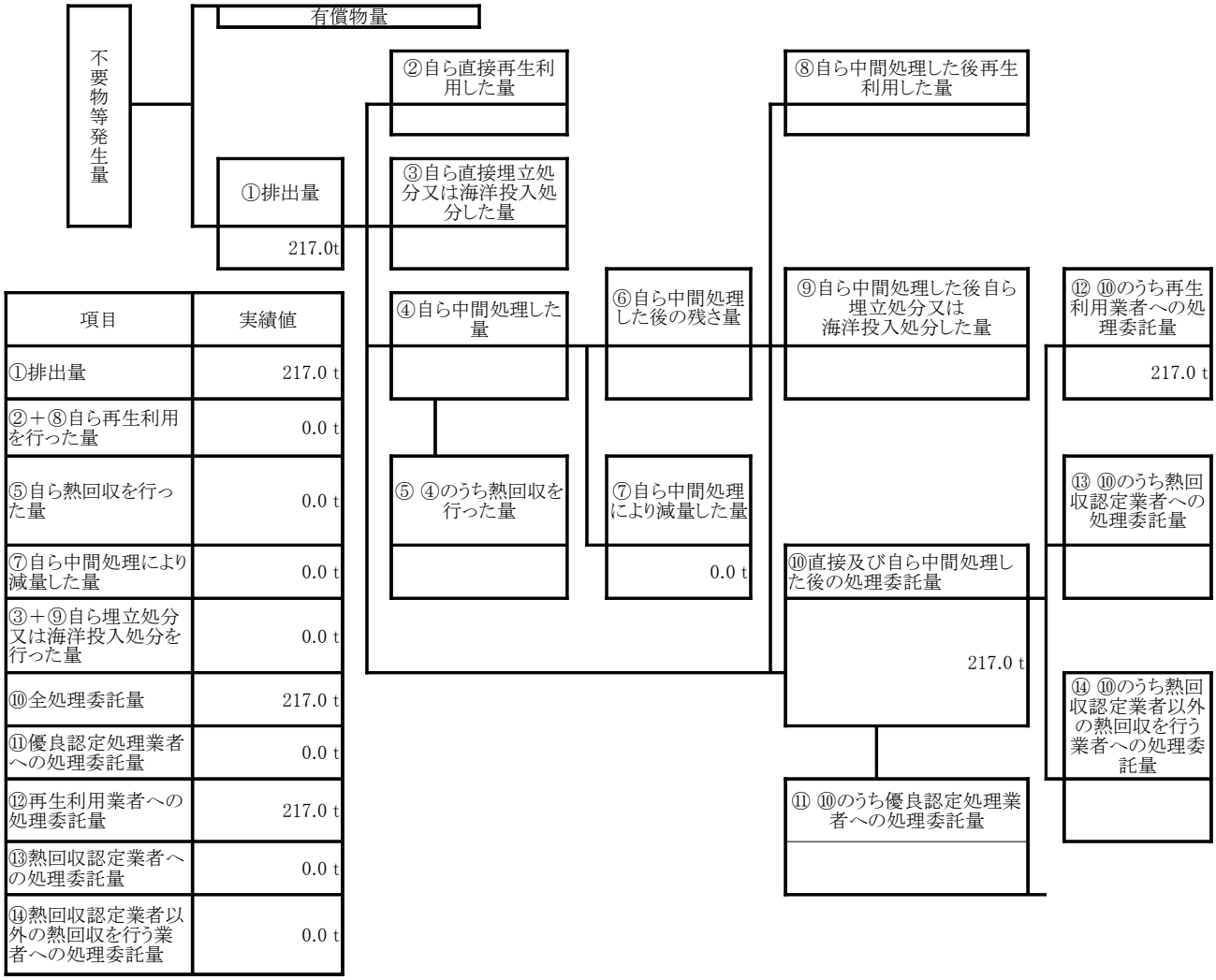
項目	実績値
①排出量	237.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	237.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	237.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

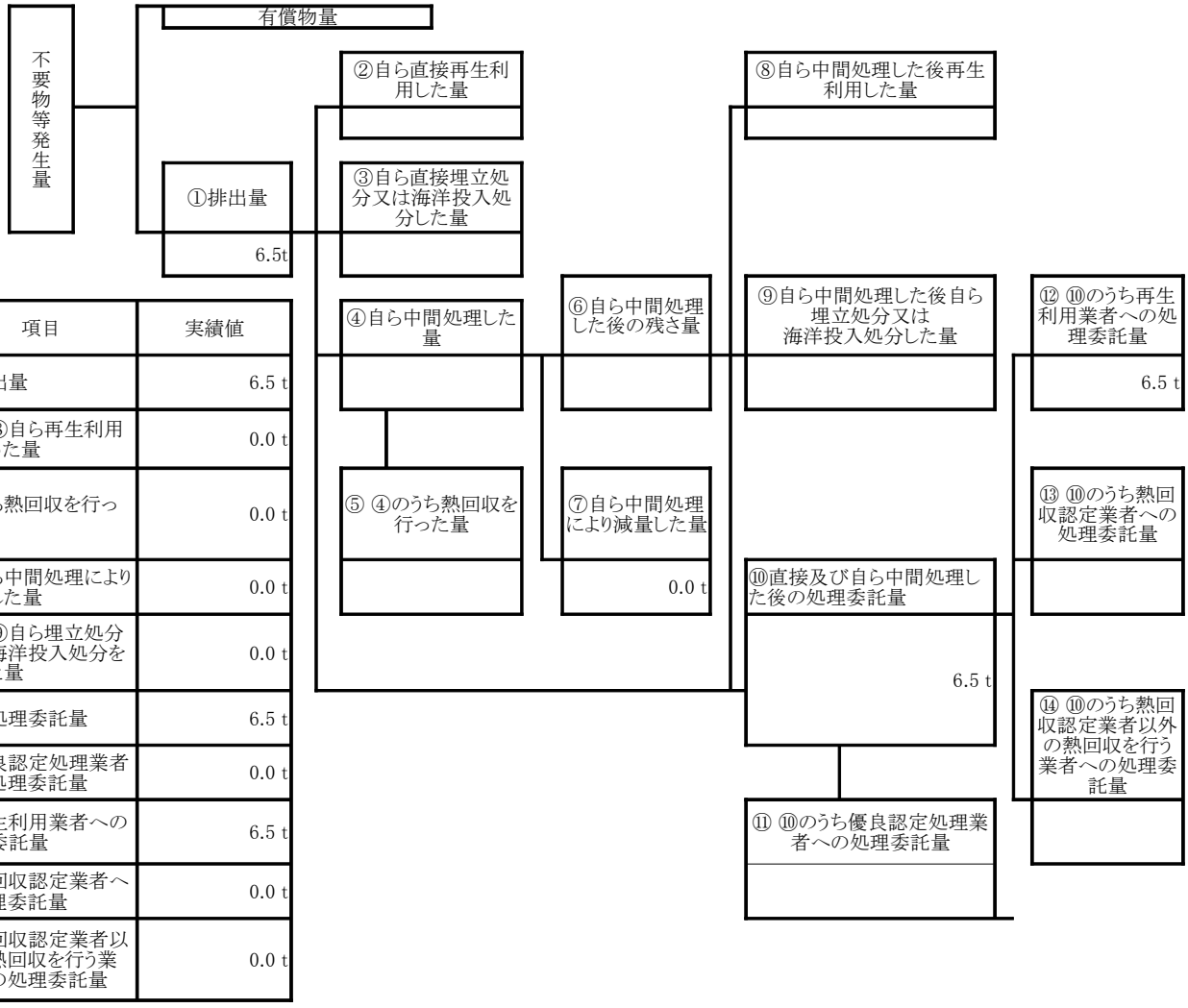


項目	実績値
①排出量	217.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	217.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	217.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

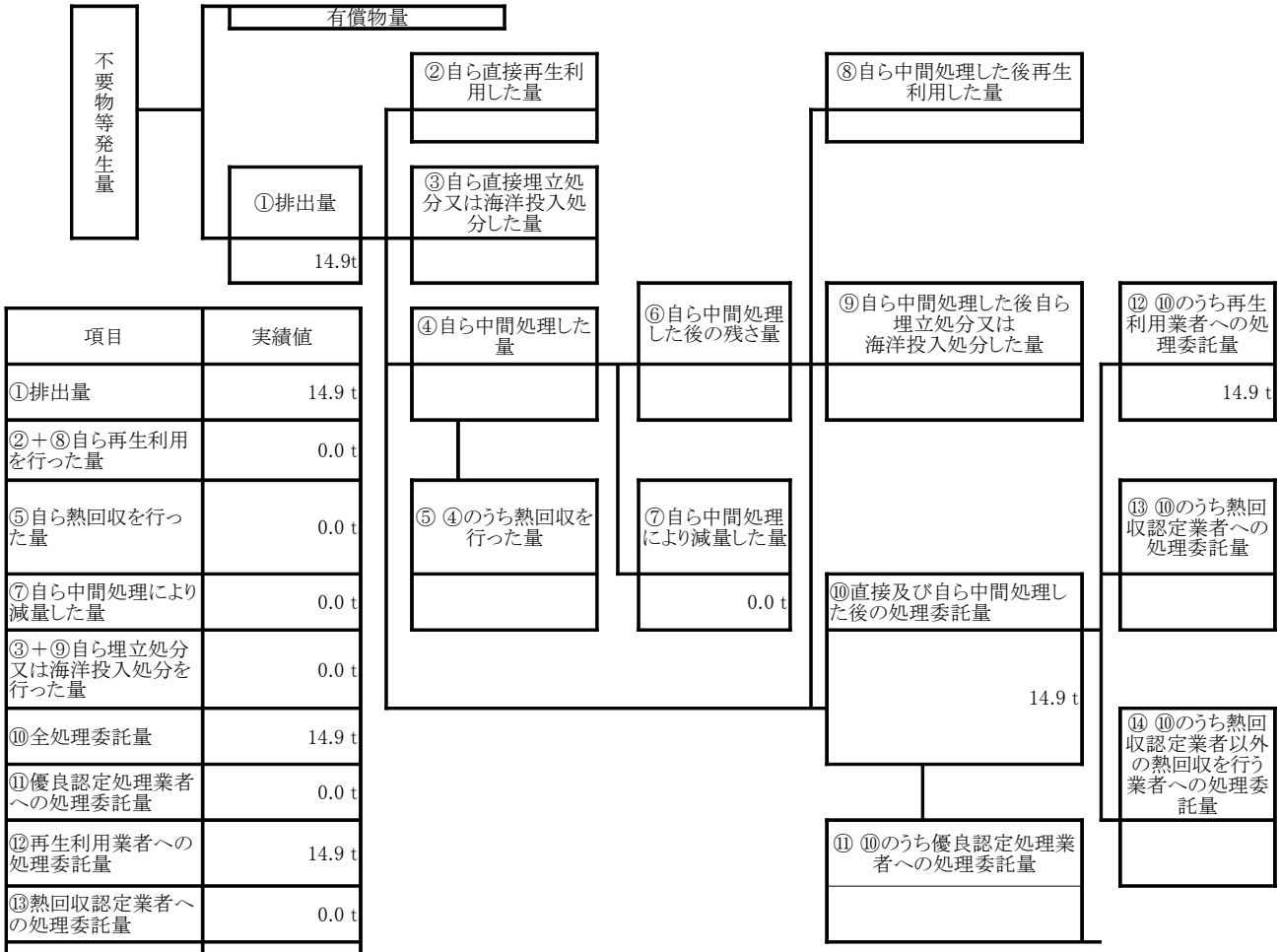


項目	実績値
①排出量	6.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**繊維くず（石綿含有）**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

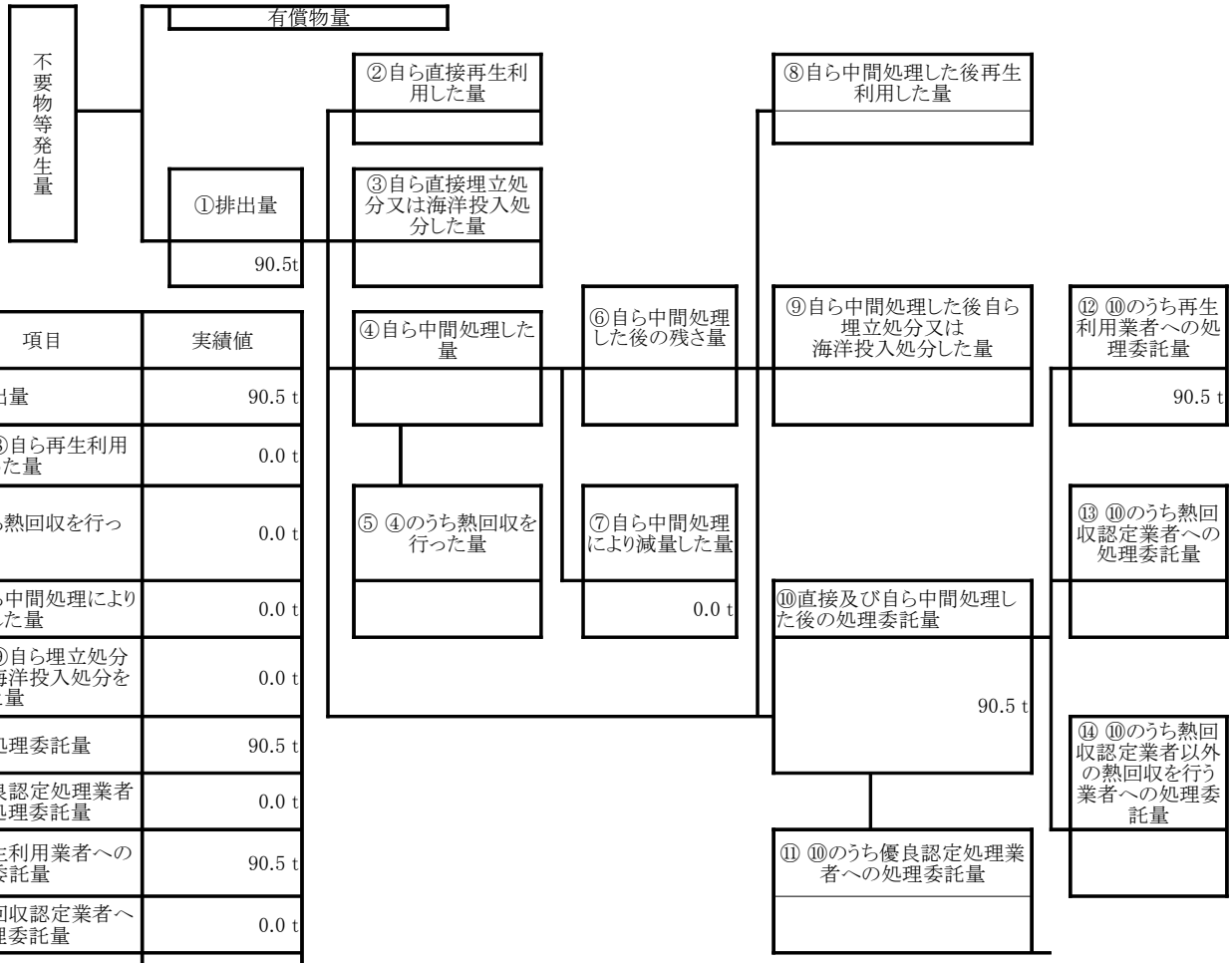


項目	実績値
①排出量	14.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	90.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	90.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	90.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月　13日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-2221

住　所　千葉県松戸市紙敷612-3

氏　名　秋元興業株式会社
代表取締役　秋元　宏美

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-392-9300

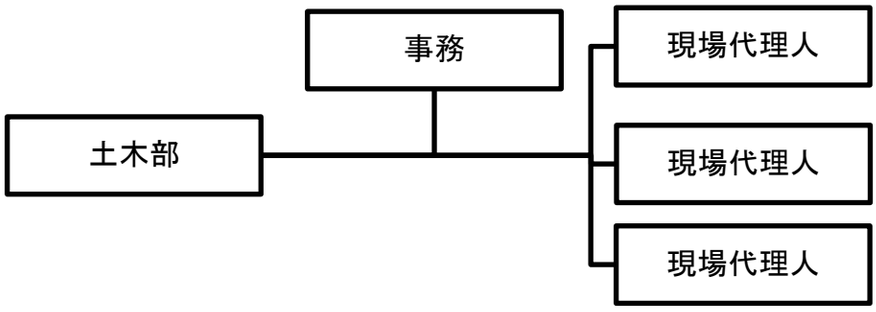
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	秋元興業株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市612-3
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上工事高　457,169千円
③　従業員数	15人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 産廃運搬 → 委託処理(再生利用業者で処理)

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	排出量	1609.15 t	32.1 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の内容と量による。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	排出量	1600 t	30 t
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の内容と量による。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルトがら、コンクリートがら、路盤廃材の分別を行い、 再生処理工場に搬出する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状を維持する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
全処理委託量	1609.15 t	32.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	1609.15 t	32.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

受注工事の内容と量による。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		全処理委託量＿	1600 t	30 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	30 t
		再生利用業者への処理委託量	1600 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 受注工事の内容と量による。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		排　出　量	459　t	3.38　t	4.42　t	0.6　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		排　出　量	450　t	3　t	4　t	0　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
	全処理委託量	459 t	3.38 t	4.42 t	0.6 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	0.6 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	459 t	3.38 t	4.42 t	0.6 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥	木くず				
	全処理委託量	450 t	3 t	4 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	450 t	3 t	4 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 5 月 13日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-2221
住 所　千葉県松戸市紙敷612-3
氏 名　秋元興業株式会社
（法人にあ 代表取締役　秋元宏美
電話番号 047-392-9300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	秋元興業株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市紙敷612-3（現場：松戸市・流山市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

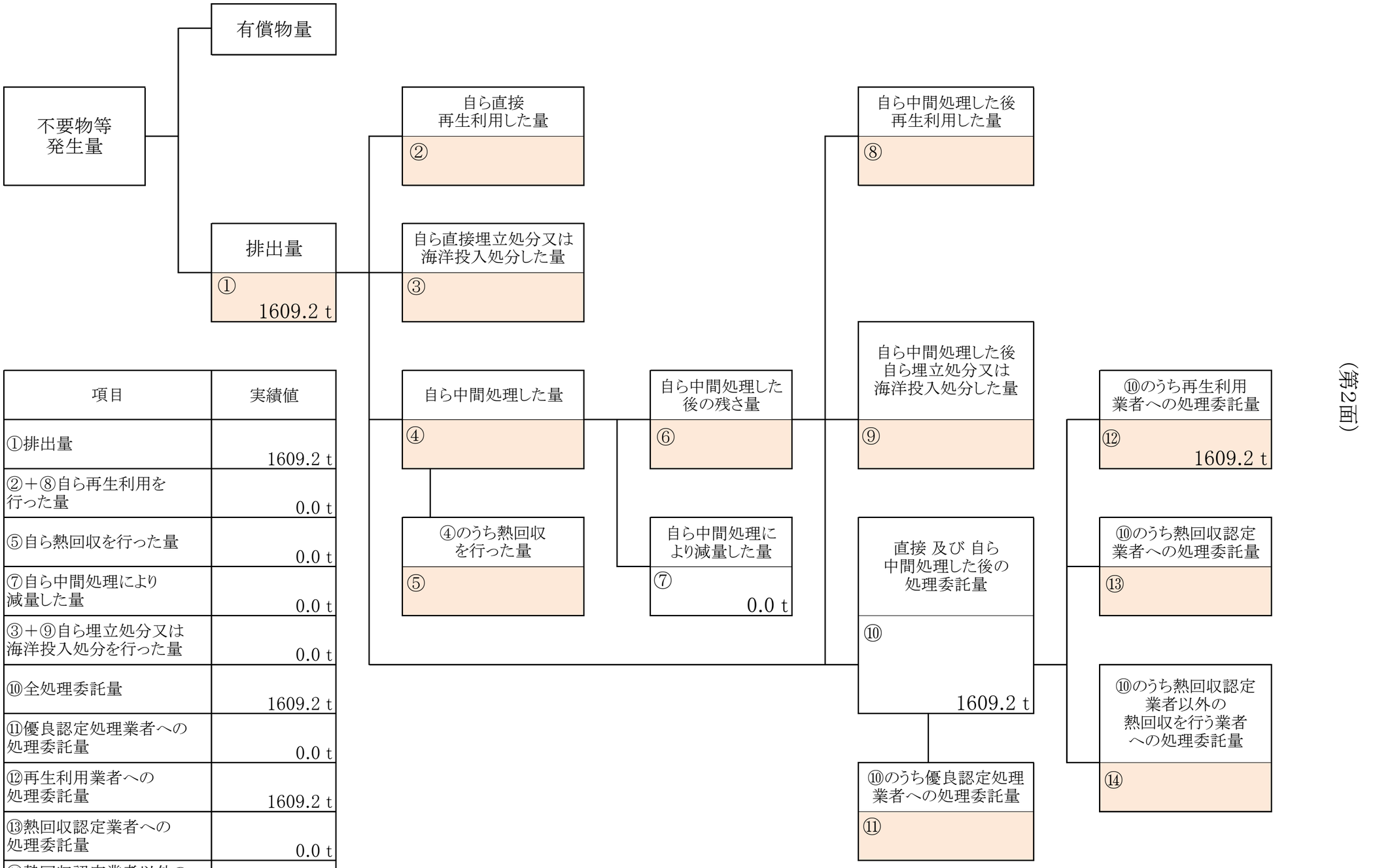
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2723.0 t	全処理委託量	2723.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	23.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2723.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

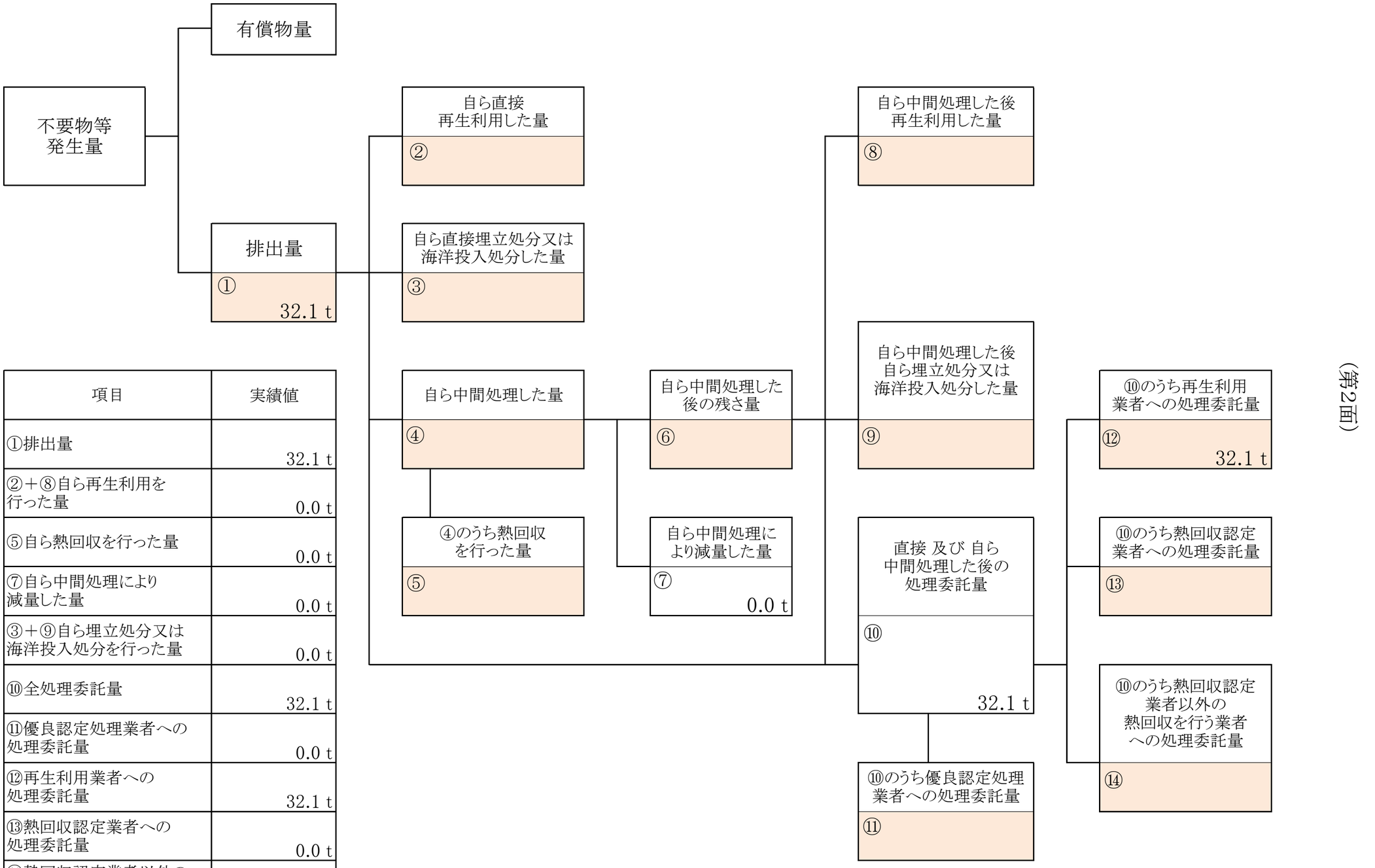


項目	実績値
①排出量	1609.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1609.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1609.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

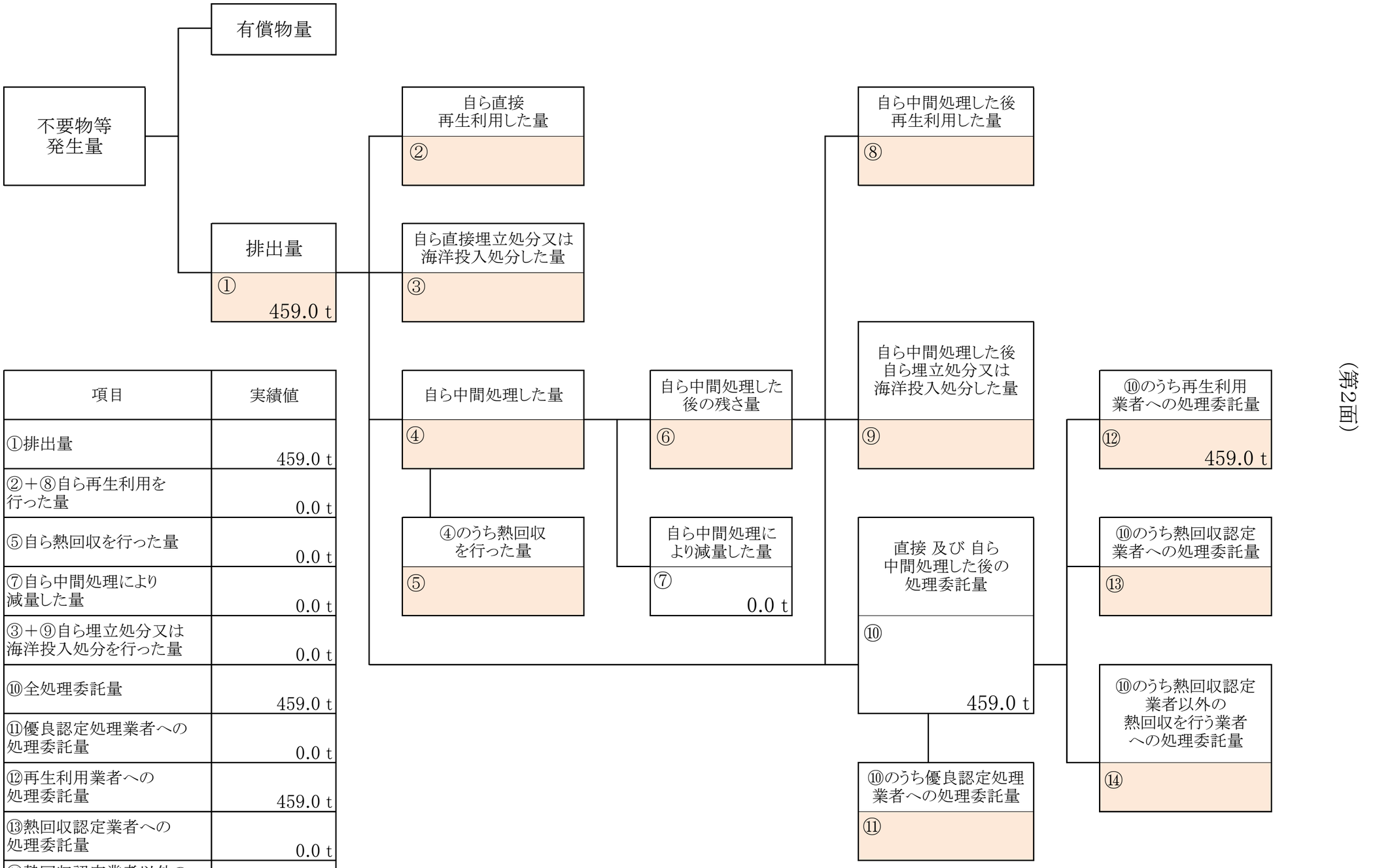


項目	実績値
①排出量	32.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

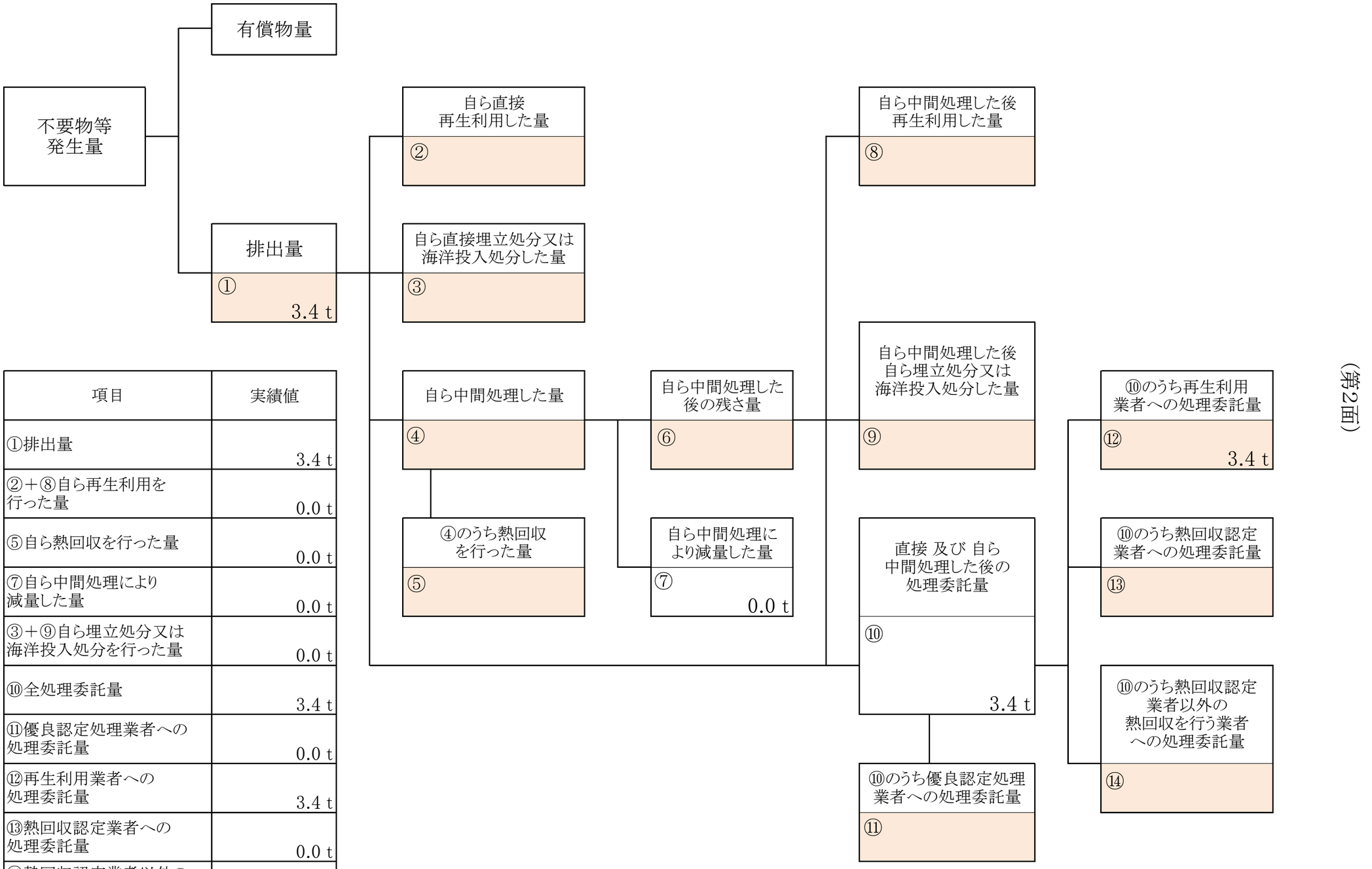


項目	実績値
①排出量	459.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	459.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	459.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

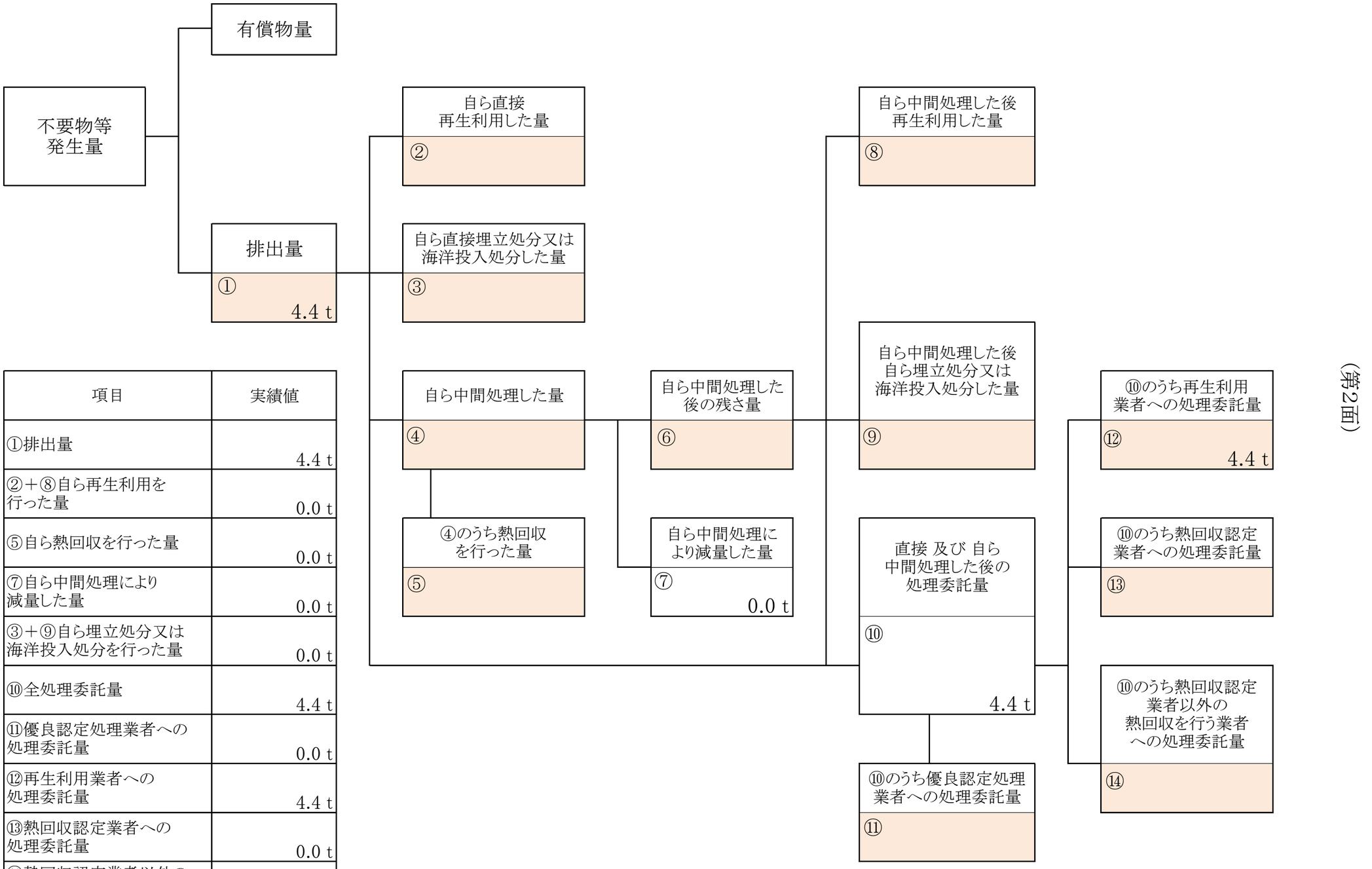


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

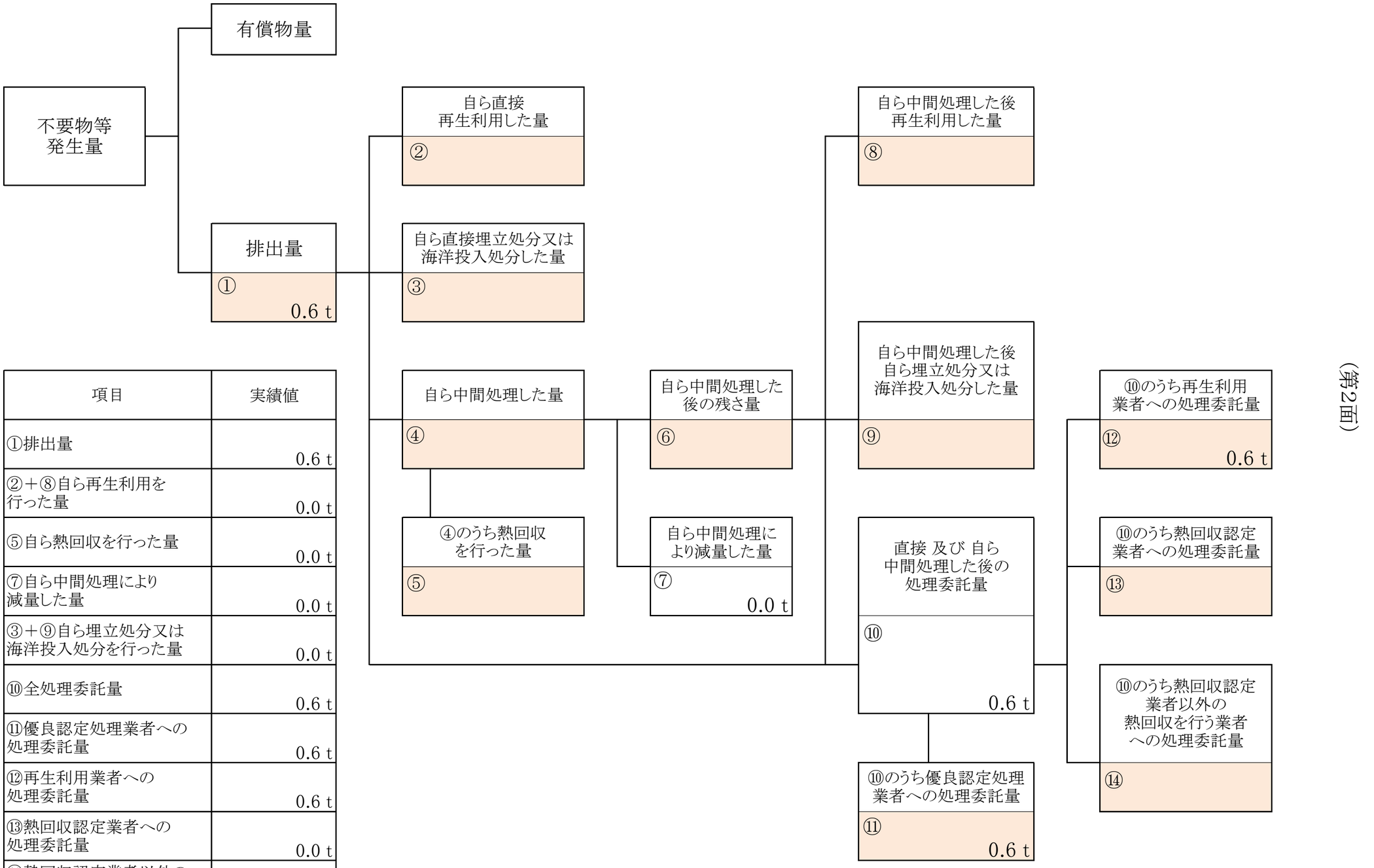


項目	実績値
①排出量	4.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒140-0013

住　所　東京都品川区南大井3-28-3
（大森プラザビル）

氏　名　株式会社淺川組　東京支店

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）　常務取締役支店長　石川　雅英

電話番号　03-3768-4651

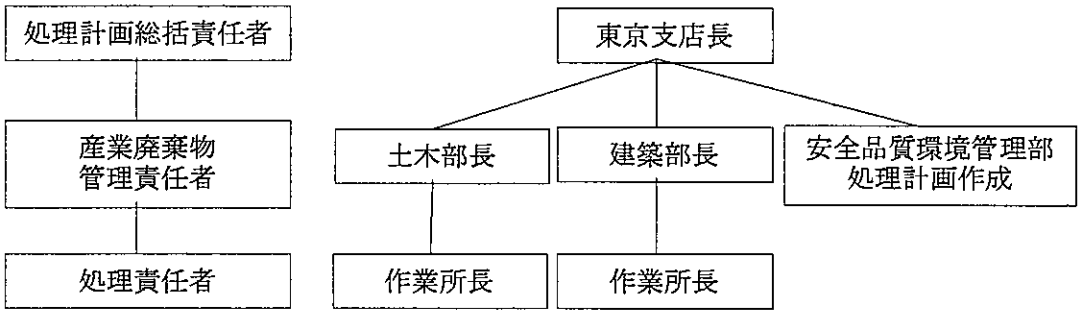
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社淺川組　東京支店
事業場の所在地	東京都品川区南大井3-28-3　（大森プラザビル）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	千葉県内での元請完成工事高　3,117,082千円（前年度実績）
③従業員数	100人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
排　出　量	3,403.70　t	732.31　t

（これまでに実施した取組）
①搬入資機材の梱包は簡略に、又、かご、コンテナを活用する
②工事現場で3Rへの取組みに、減量化を啓蒙する（ポスター他）
③搬出量の把握を実測する
④有価物、再使用、再利用可能品を分別する
⑤加工済みの資材を使用することで現場加工を減らす

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
排　出　量	1,750.00　t	400.00　t

（今後実施する予定の取組）
①関係者の「搬出の抑制」意識を向上させる活動を行う
　○いままでの取組みについての現状、成果等を広報する
　○各作業所で新たな取組みや実施中の充実化を図る
②排出量抑制に分別意識の向上効果が有効との認識を高める

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
①種類　特定建設資材、廃ボード、段ボール、金属くず
②取組　保管容器の個別化、個別保管容器のイラスト等での表示

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
①種類　廃プラスチック類
②取組　保管容器の小型化等で分別容器設置場所の確保

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	3,403.70 t	732.31 t
優良認定処理業者への処理委託量	7.70 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	3,403.70 t	732.31 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

①優良に認定処理業者への委託
②搬出量の実測計量へ協力依頼
③再生処理実施業者の処理委託
④電子マニフェスト採用業者への委託

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	1,750.00 t	400.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	5.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	1,750.00 t	400.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
①これまでに実施した取組の継続
②これまで実施中の取組実績の向上を図る
③処理を委託する処理業者との意見交換を行い排出に反映させる

※事務処理欄

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	排　出　量	389.00 t	46.00 t	11.56 t	0.57 t	226.01 t	1.35 t	49.98 t	227.05 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	排　出　量	200.00 t	25.00 t	6.00 t	0.30 t	120.00 t	0.70 t	25.00 t	120.00 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	389.00 t	46.00 t	11.56 t	0.57 t	226.01 t	1.35 t	49.98 t	227.05 t
	優良認定処理業者への処理委託量	－ t	46.00 t	9.63 t	0.57 t	225.90 t	1.35 t	33.79 t	196.34 t
	再生利用業者への処理委託量	389.00 t	46.00 t	11.56 t	0.57 t	226.01 t	1.35 t	49.98 t	227.05 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	200.00 t	25.00 t	6.00 t	0.30 t	120.00 t	0.70 t	25.00 t	120.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	－ t	25.00 t	5.00 t	0.30 t	120.00 t	0.70 t	20.00 t	110.00 t
	再生利用業者への処理委託量	200.00 t	25.00 t	6.00 t	0.30 t	120.00 t	0.70 t	25.00 t	120.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		排　出　量	35.19 t	0.15 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		排　出　量	18.00 t	0.10 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類							
	全処理委託量	35.19 t	0.15 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	35.19 t	0.01 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類							
	全処理委託量	18.00 t	0.10 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	18.00 t	0.01 t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t	t	t	t	t	

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理工程（別紙－１）

作業所種類		種類	委託処理 中間処理場	処分方法
基盤整備	→	コンクリートがら	→ 破砕	再生利用　路盤材
		アスファルトがら	→ 破砕	再生利用　路盤材
		金属くず	→ 破砕　分別	再生利用
		廃プラスチック類	→ 破砕　分別	燃料、再生原料
		がれき類	→ 破砕　分別	再生利用　路盤材
		木くず	→ 破砕　分別	燃料チップ、焼却
建物建設	→	コンクリートがら	→ 破砕	再生利用　路盤材
		アスファルトがら	→ 破砕	再生利用　路盤材
		金属くず	→ 破砕　分別	再生利用
		木くず	→ 破砕　分別	燃料チップ、焼却
		紙くず	→ 破砕　分別	再生利用、焼却
		繊維くず	→ 破砕　分別	再生利用、焼却
		廃プラスチック類	→ 破砕　分別	燃料、再生原料
		廃石膏ボード	→ 破砕、分離	再生利用
		混合廃棄物（安定型）	→ 選別、破砕	再生利用
		混合廃棄物（管理型）	→ 選別、破砕	再生利用
建物解体・改修	→	ガラス・陶磁器くず	→ 破砕、選別	再生利用
		がれき類（石綿含有）	→	埋立処分
		廃プラスチック類 （石綿含有）	→	埋立処分
		ガラス・陶磁器 （石綿含有）	→	埋立処分
建設汚泥	→	汚泥	→ 脱水	再生利用

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒140-0013
住 所　東京都品川区南大井3-28-3(大森プラザビル)
氏 名　株式会社淺川組 東京支店
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）　常務取締役支店長 石川 雅英
電話番号　03-3768-4651

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社淺川組 東京支店
事業場の所在地	東京都品川区南大井3-28-3（大森プラザビル）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

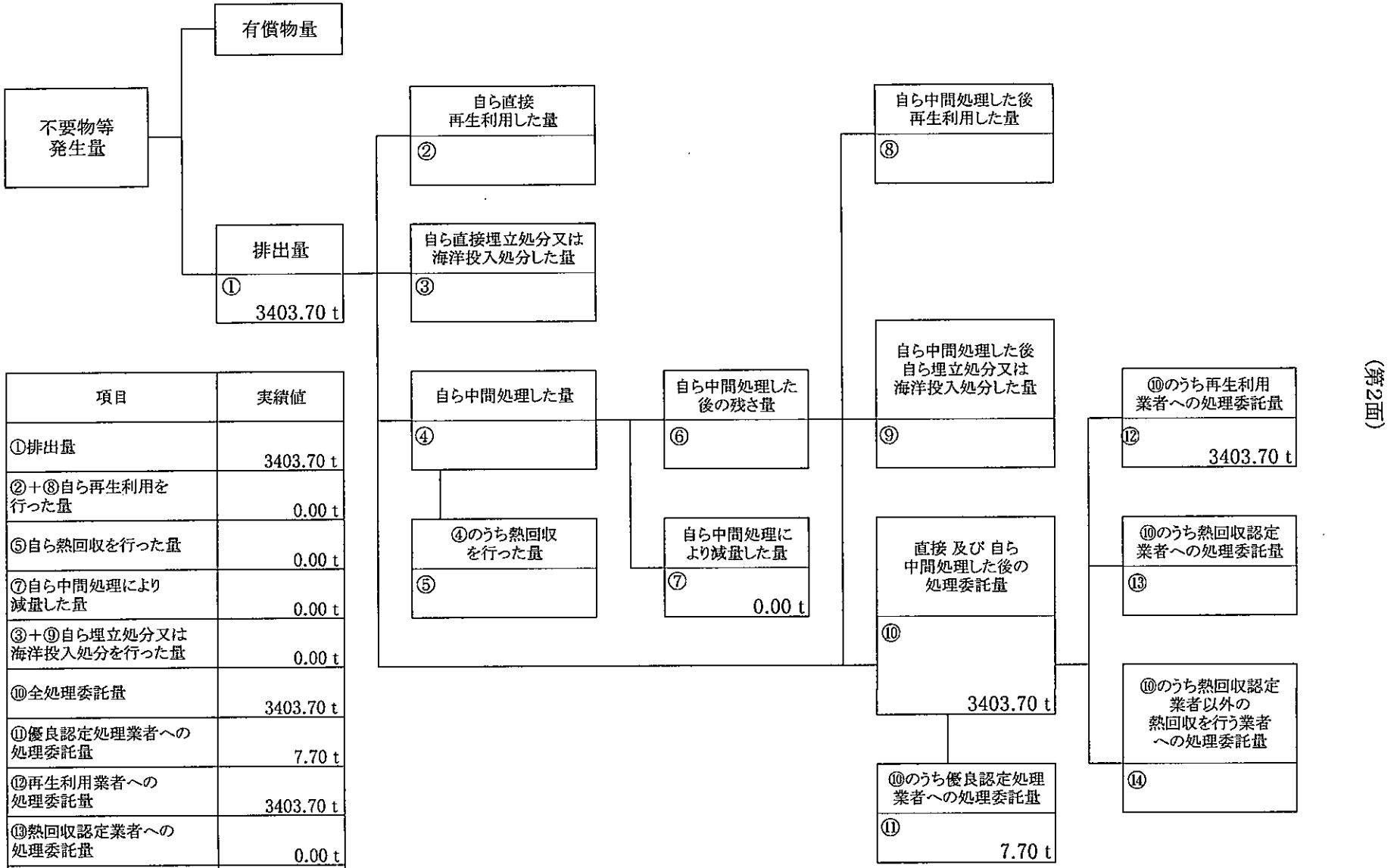
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3836.39 t	全処理委託量	3836.39 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1195.37 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3786.35 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリート片　　）

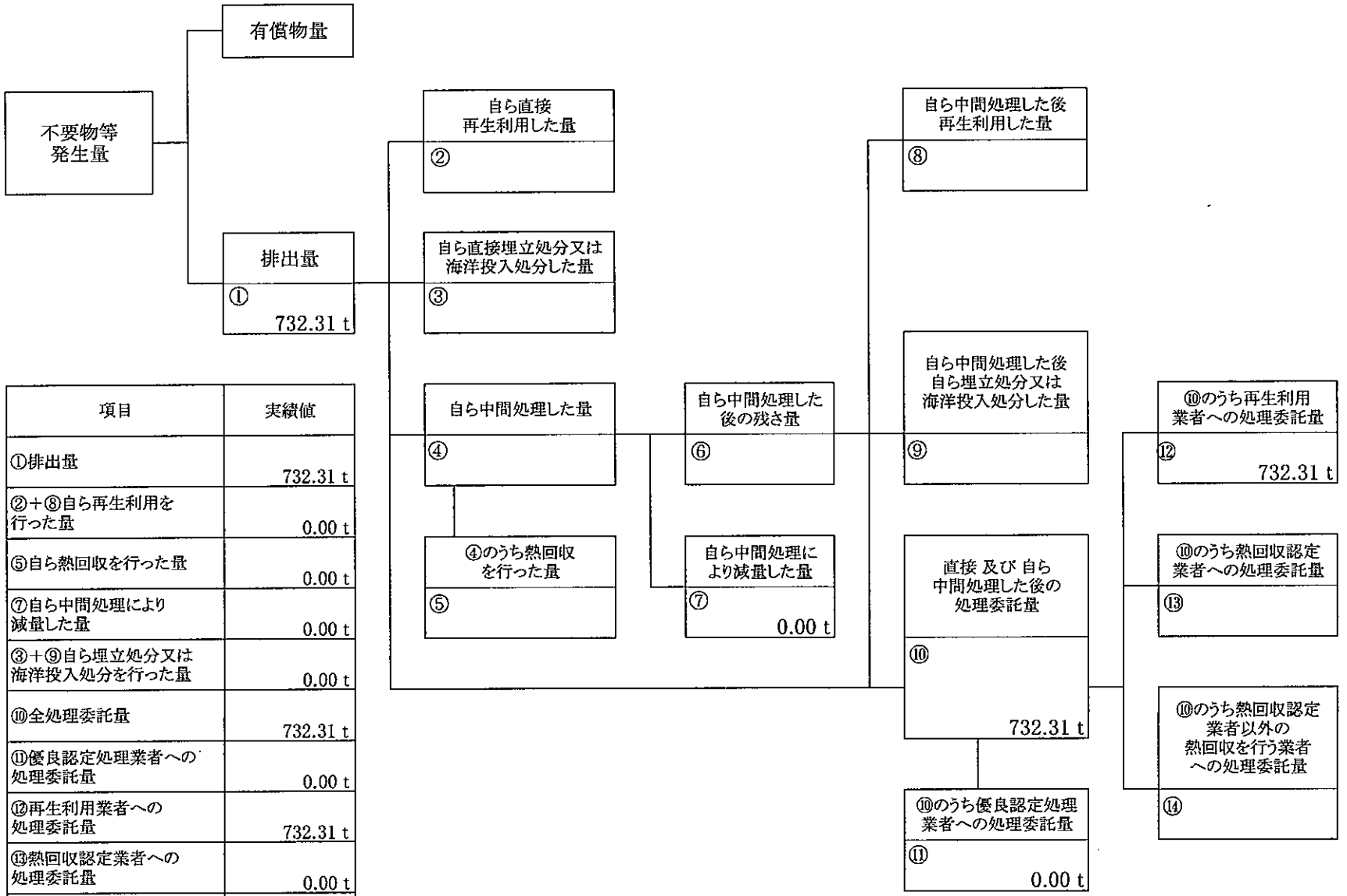


項目	実績値
①排出量	3403.70 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3403.70 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.70 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3403.70 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃アスファルト　）

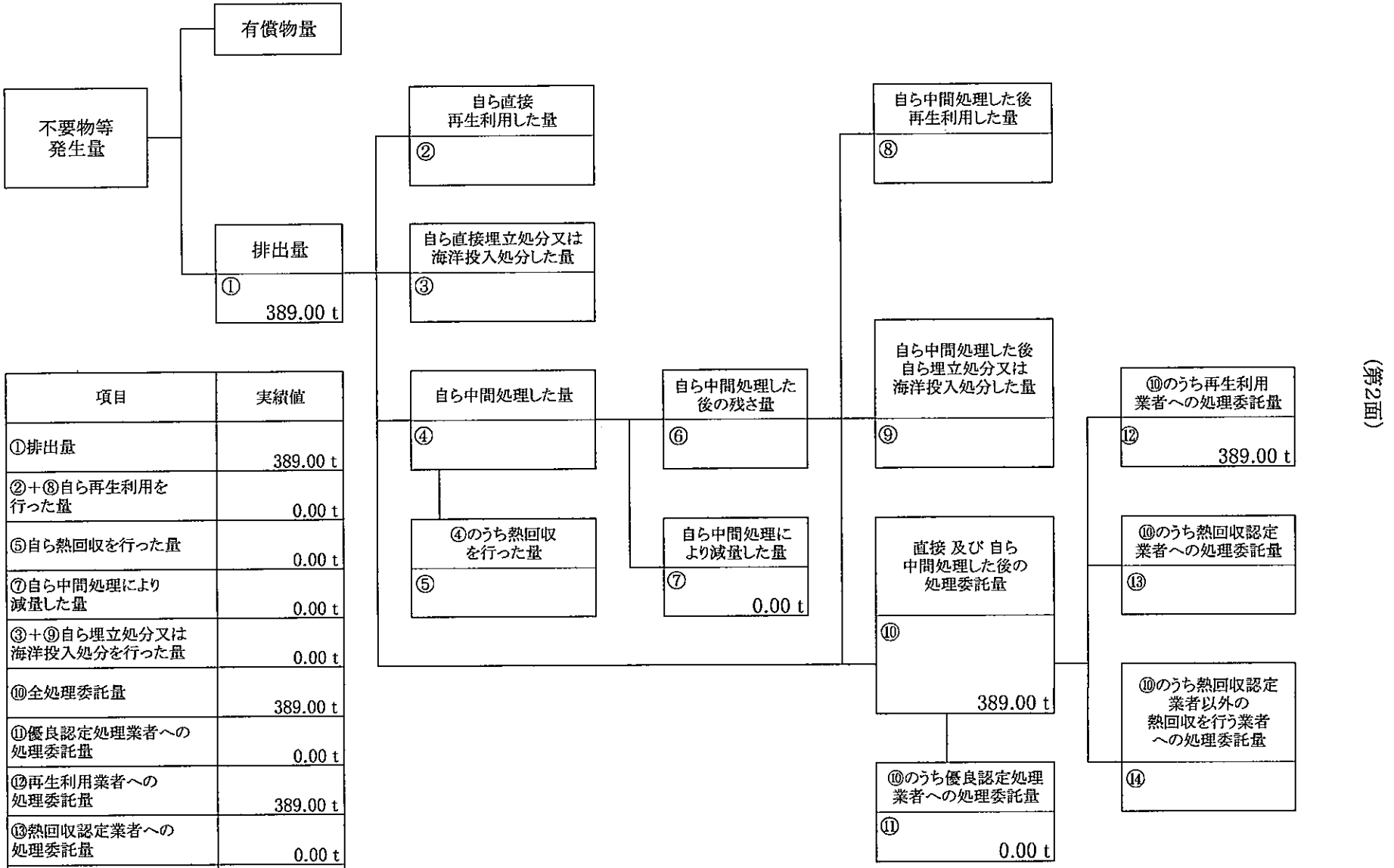


項目	実績値
①排出量	732.31 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	732.31 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	732.31 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　レンガ破片など　　）

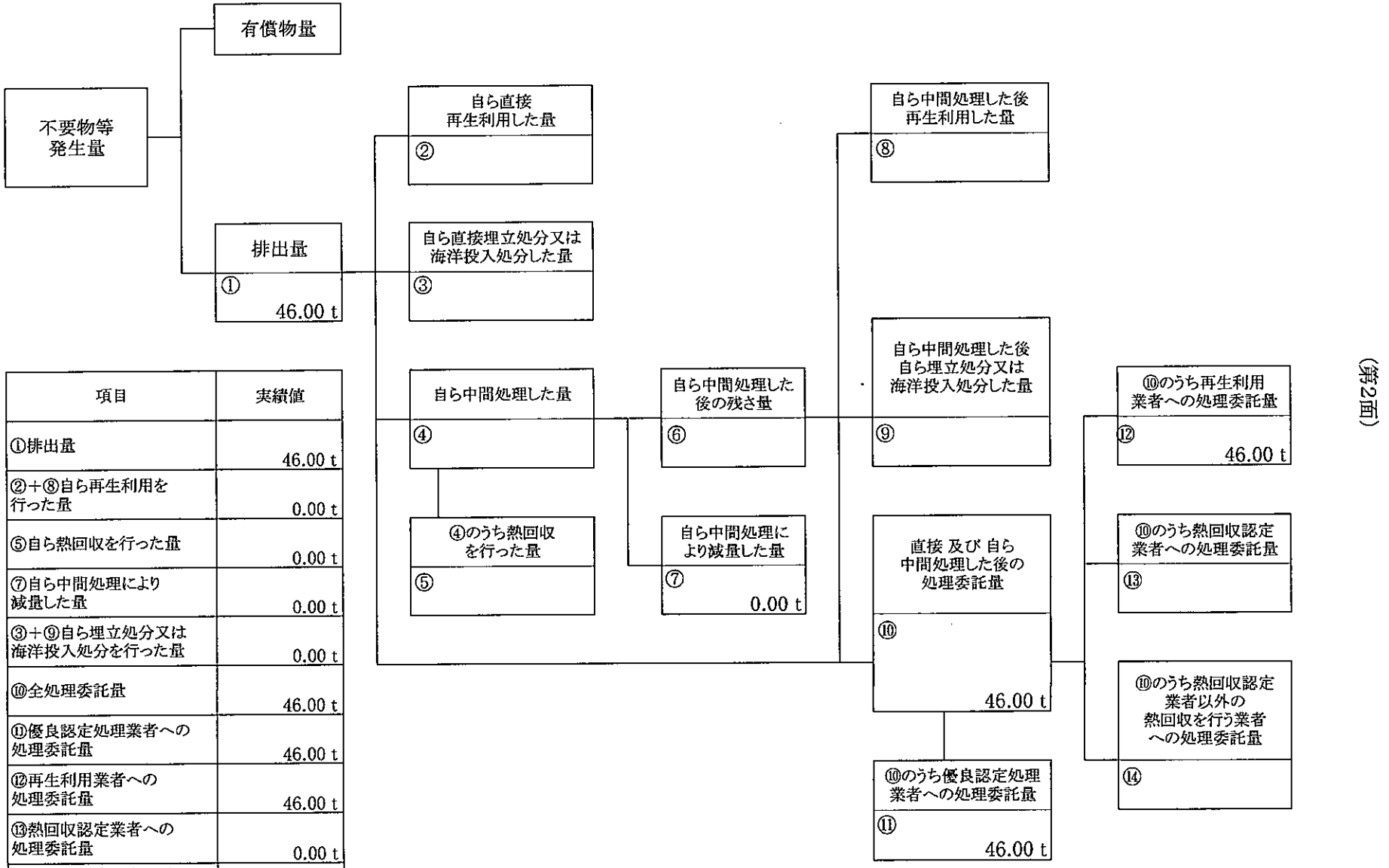


項目	実績値
①排出量	389.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	389.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	389.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　ガラス陶磁器等くず　　）

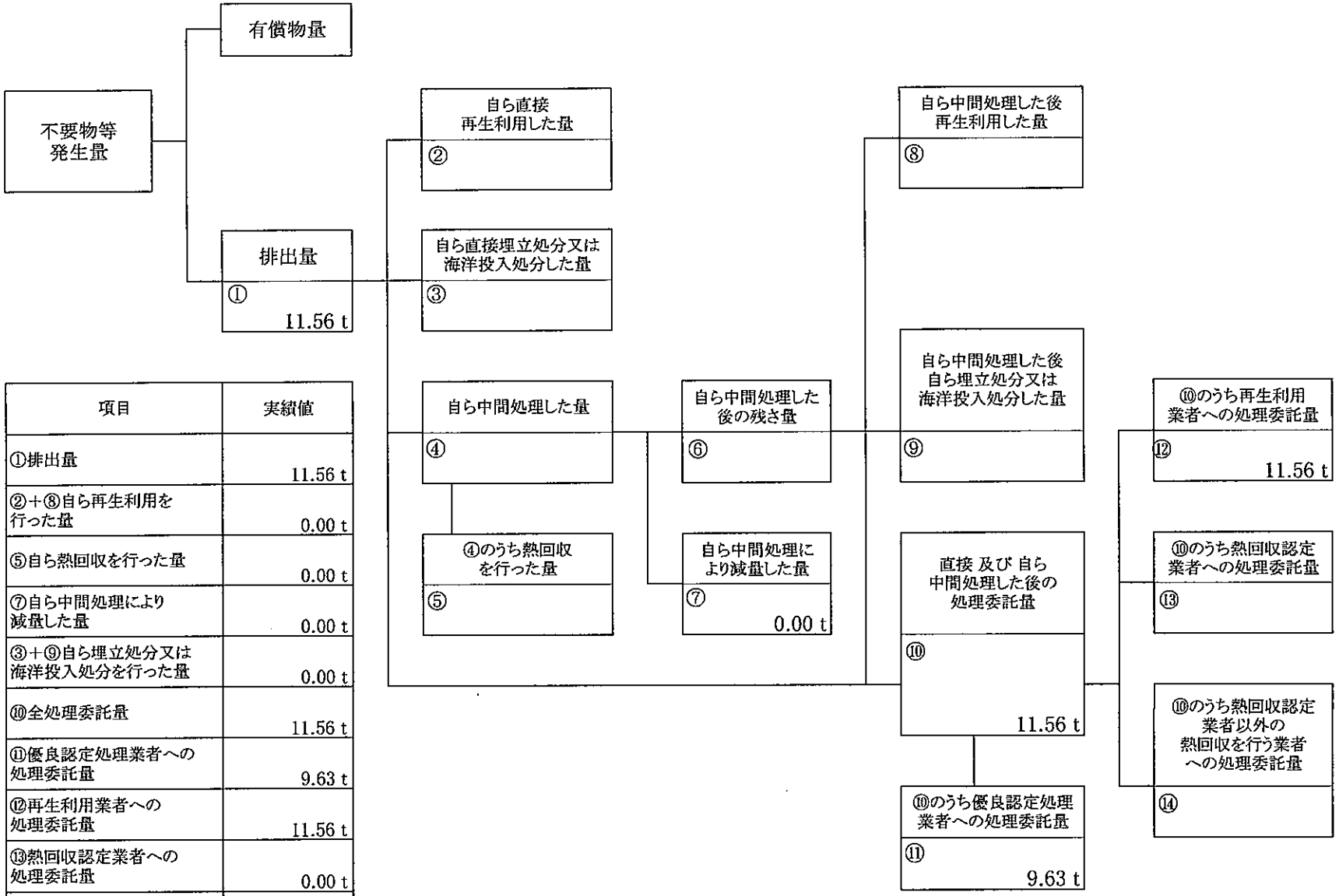


項目	実績値
①排出量	46.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	46.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

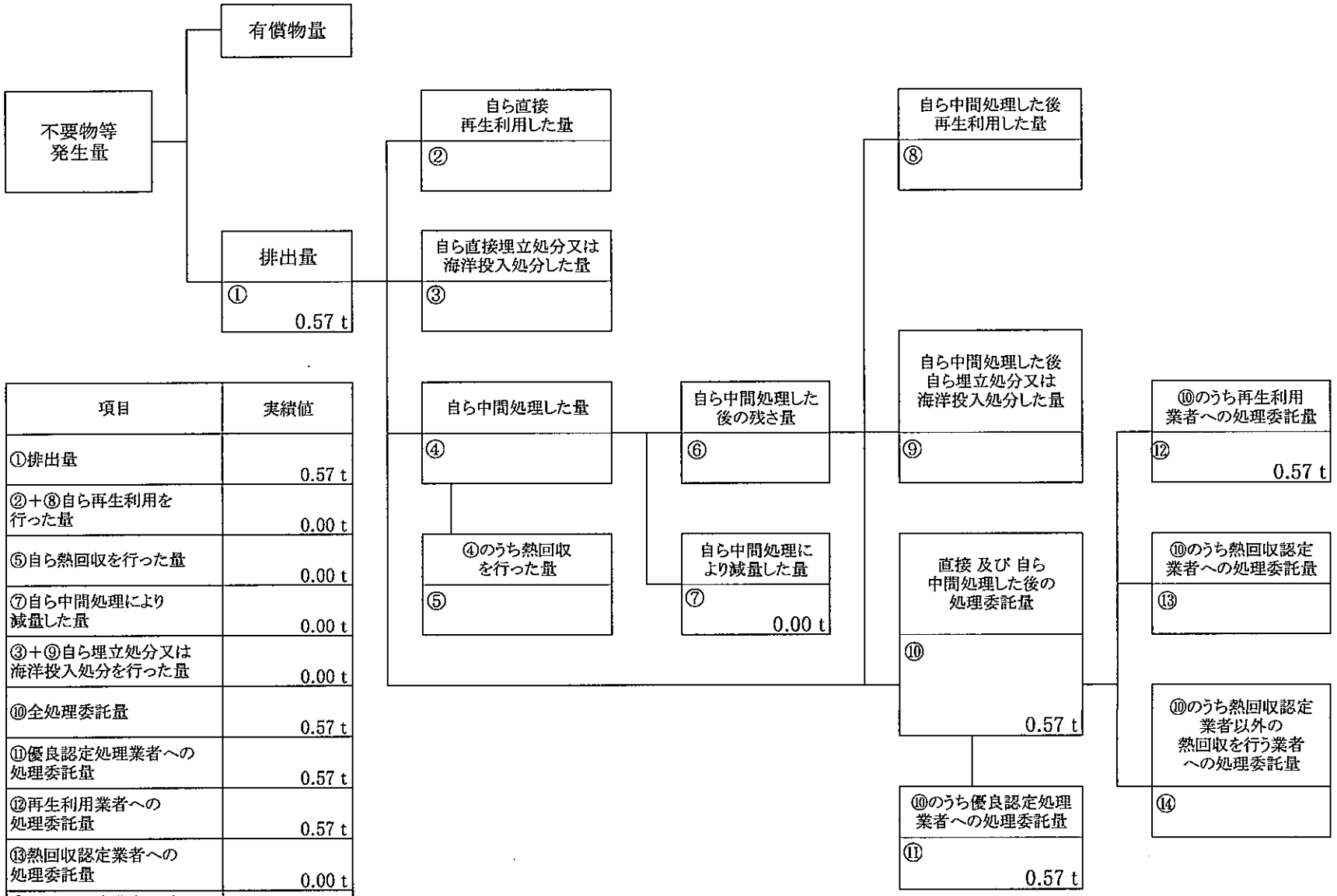


項目	実績値
①排出量	11.56 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	11.56 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.63 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.56 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

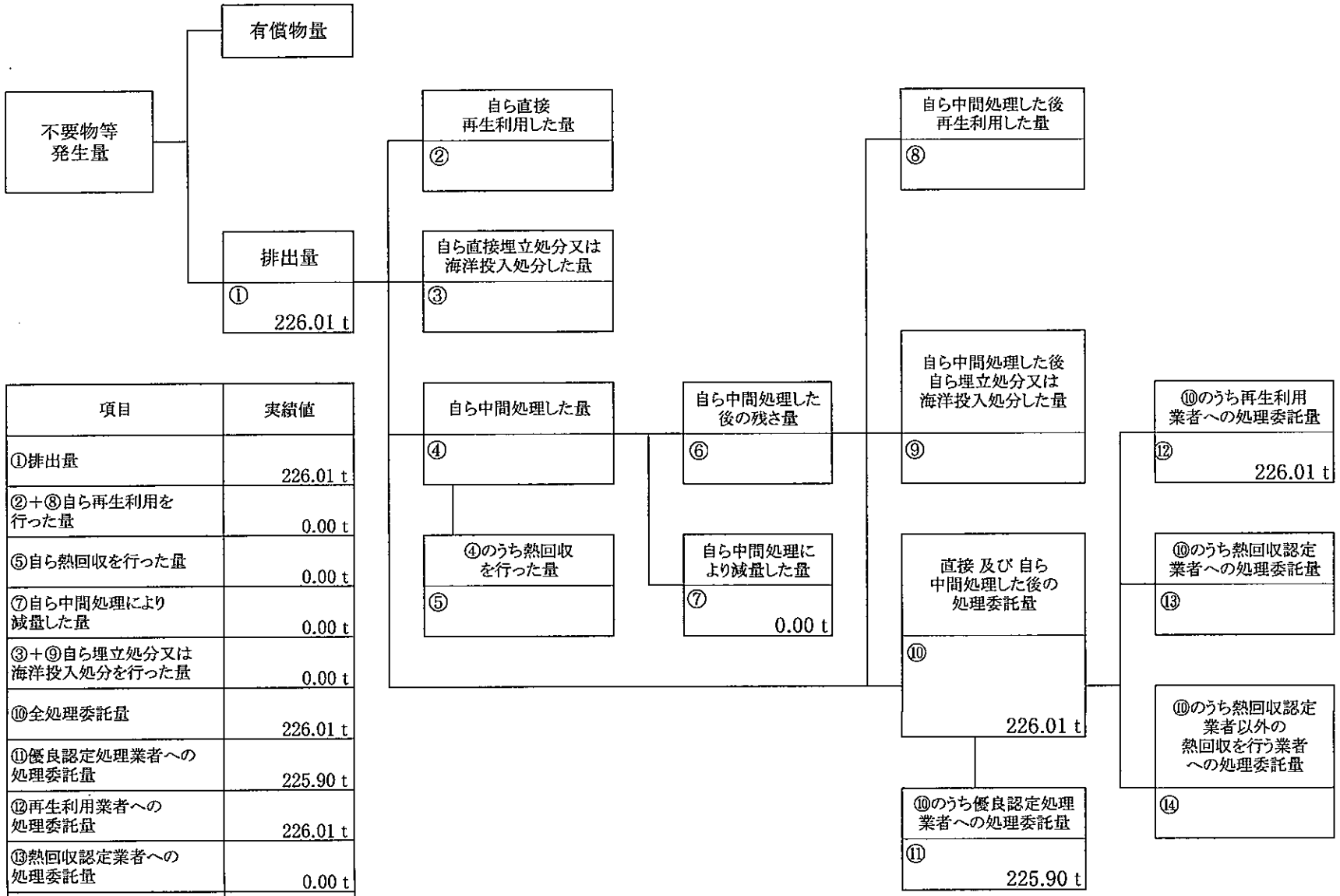


項目	実績値
①排出量	0.57 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.57 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.57 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.57 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　建設汚泥　　）

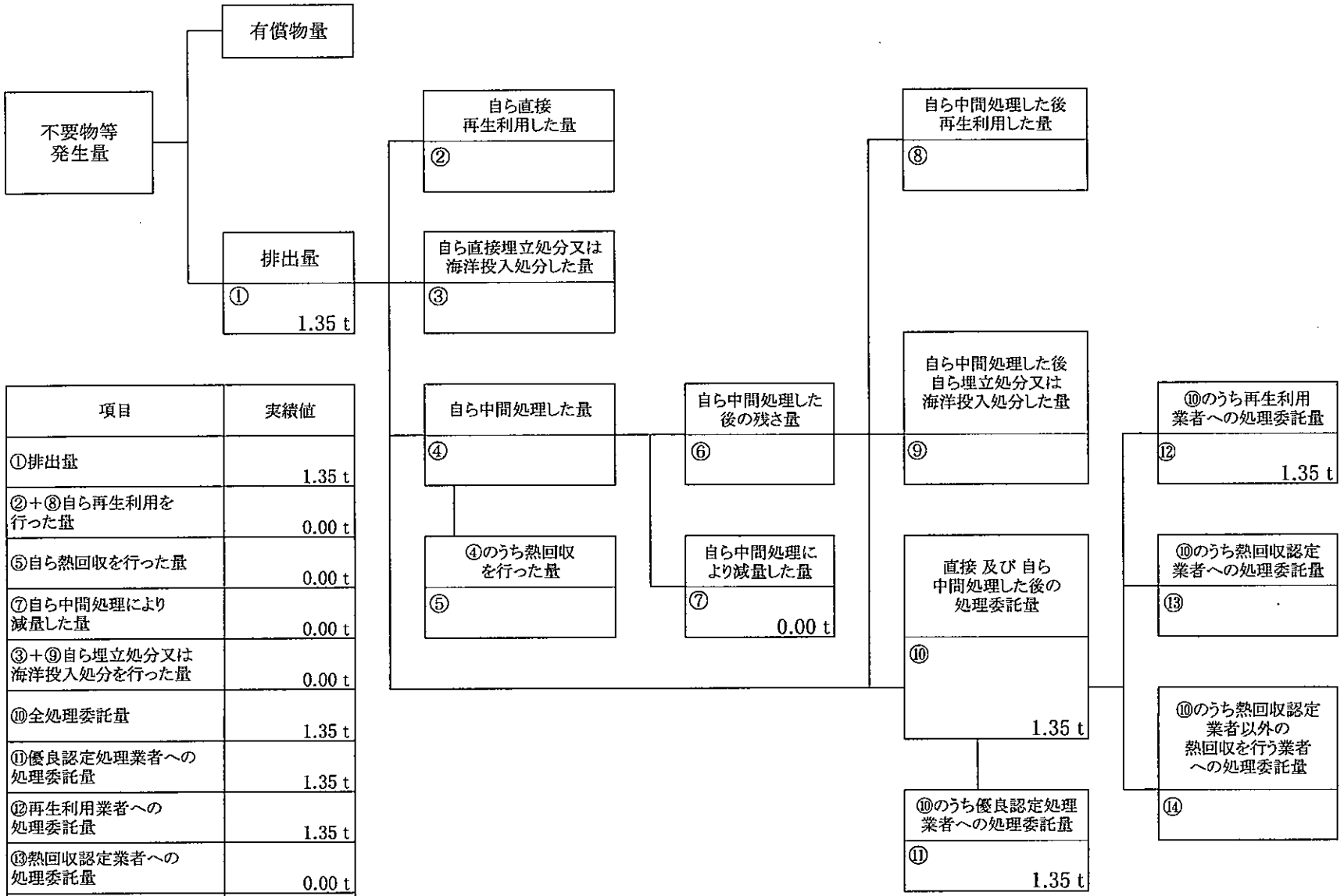


項目	実績値
①排出量	226.01 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	226.01 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	225.90 t
⑫再生利用業者への処理委託量	226.01 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

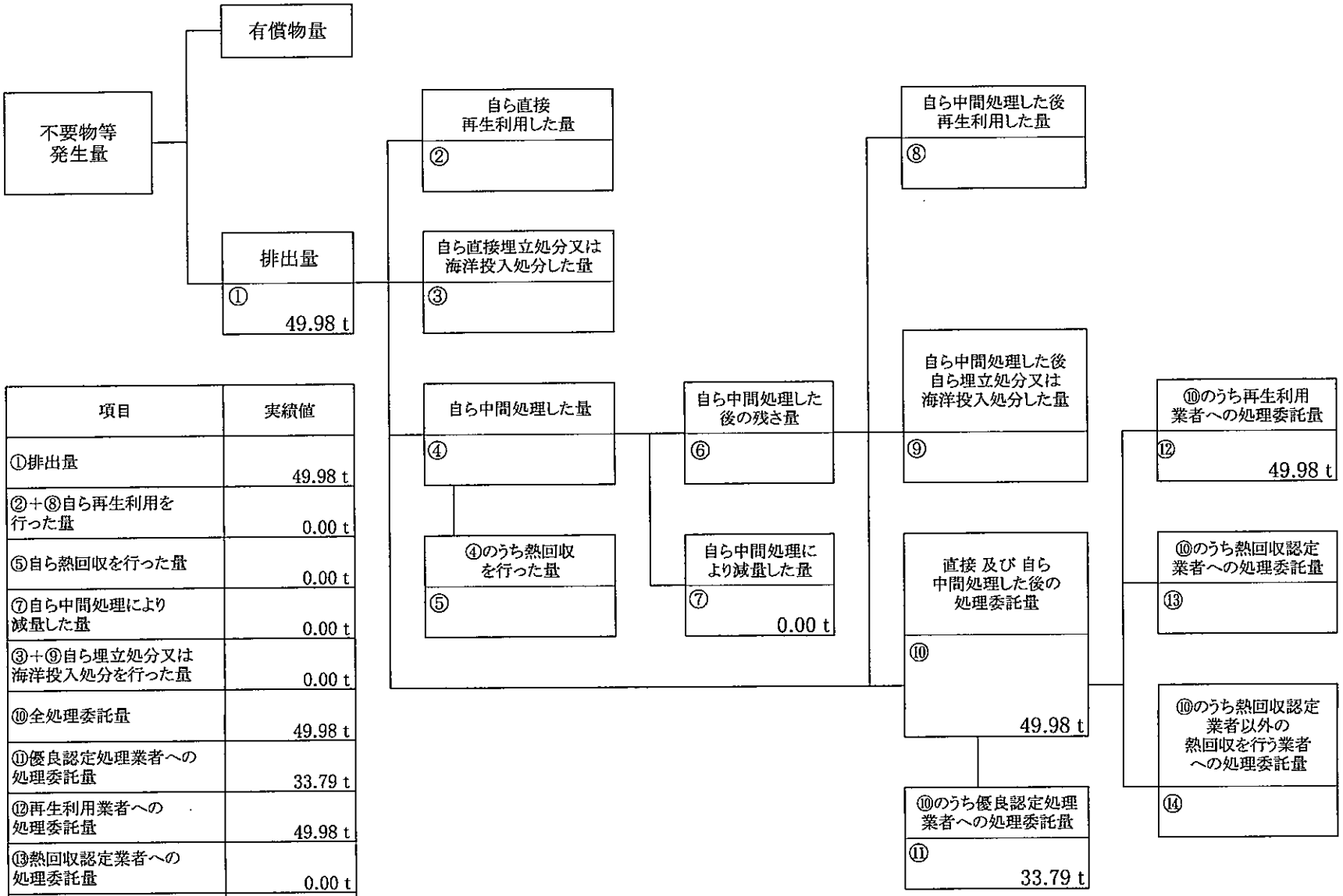


項目	実績値
①排出量	1.35 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.35 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.35 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.35 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

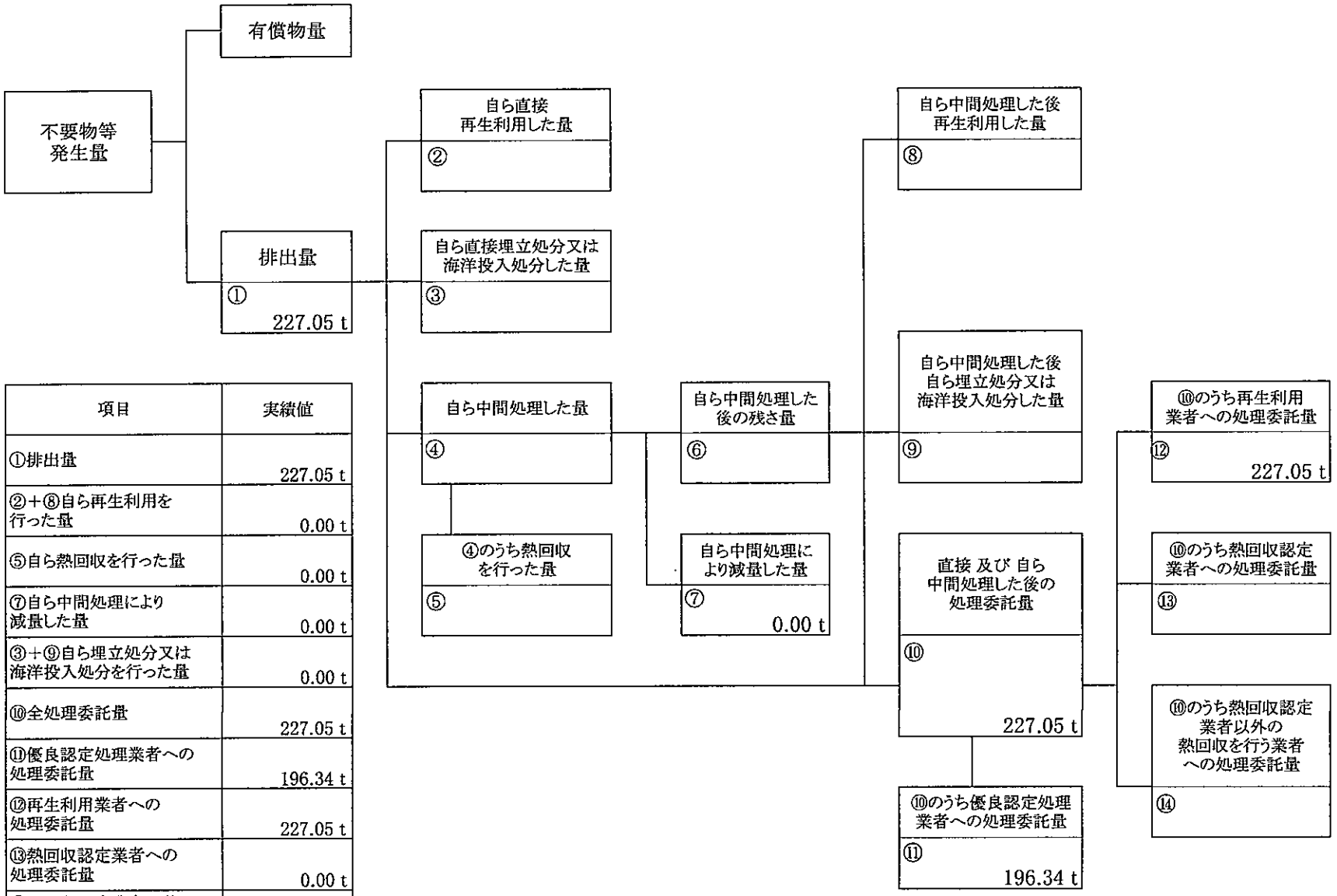


項目	実績値
①排出量	49.98 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	49.98 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.79 t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.98 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　建設混合廃棄物　　）

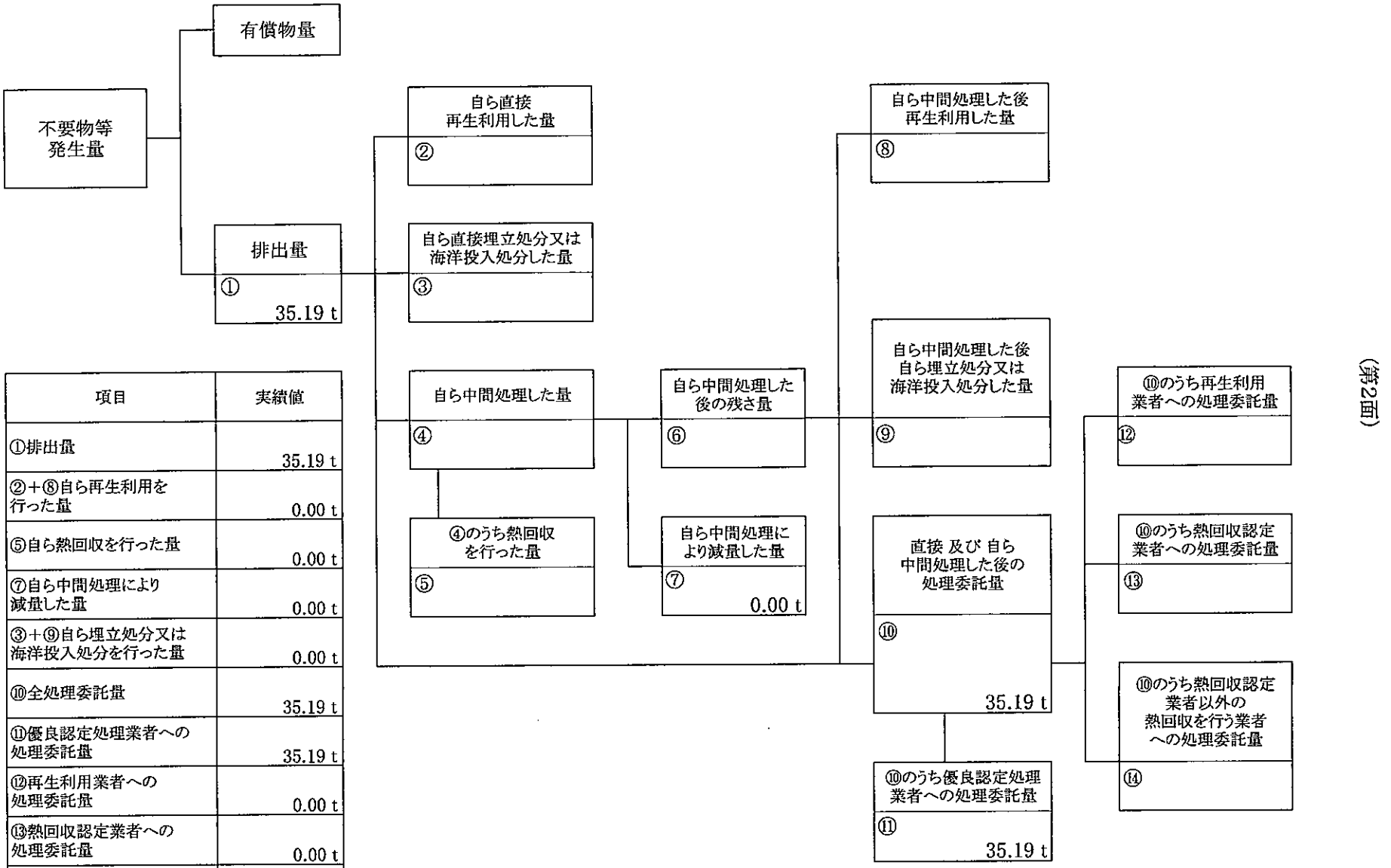


項目	実績値
①排出量	227.05 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	227.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	196.34 t
⑫再生利用業者への処理委託量	227.05 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産業廃棄物　）

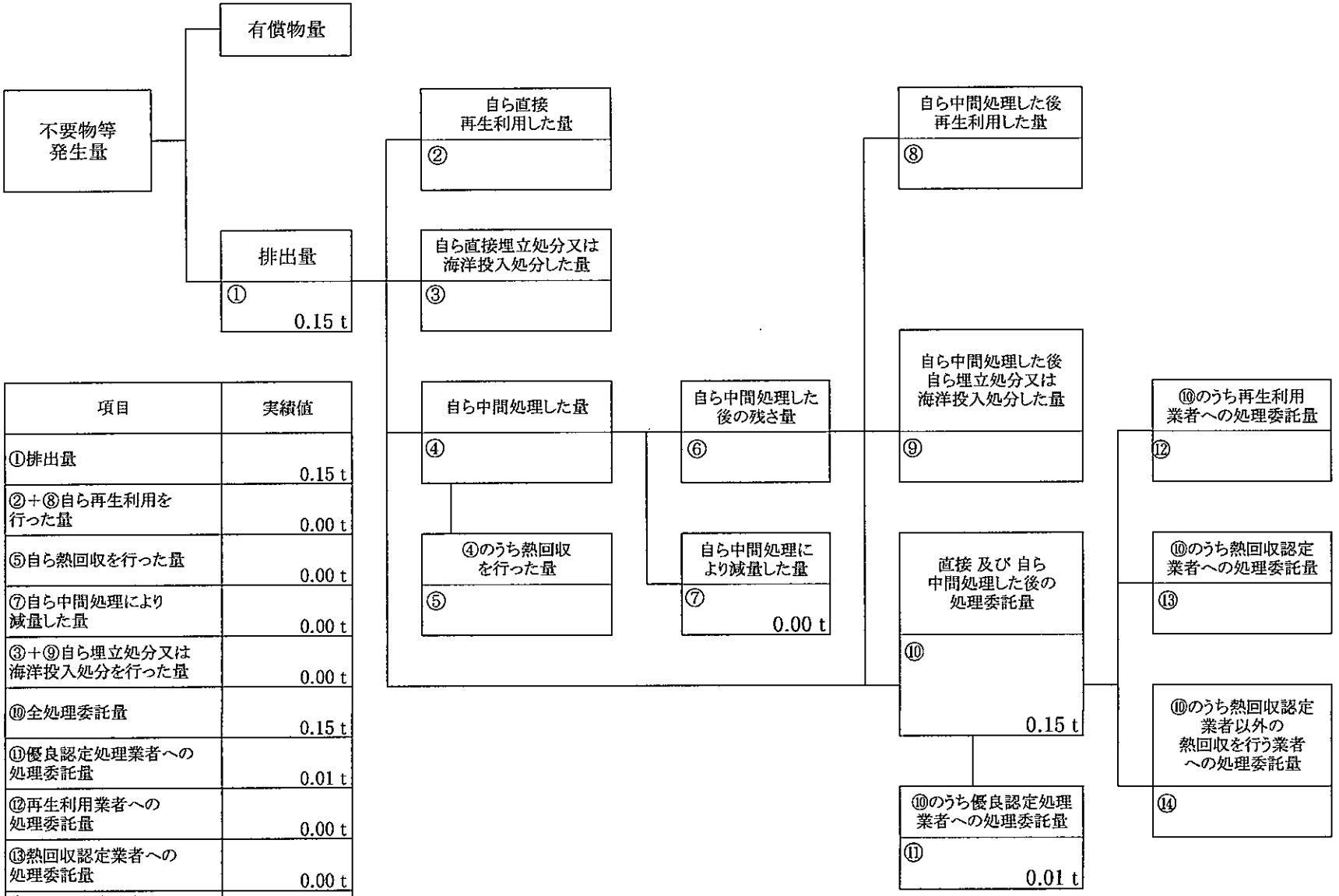


項目	実績値
①排出量	35.19 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	35.19 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.19 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃蛍光ランプ類　　）



項目	実績値
①排出量	0.15 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.15 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる　　提出者

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　108-0023

住所　東京都港区芝浦2丁目15-6 オアーゼ芝浦MJビル

法人名 株式会社 淺沼組 東京本店

代表者 執行役員本店長 小田嶋勝利

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 [redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 淺沼組 東京本店
事業場の所在地	東京都港区芝浦2丁目15番6号
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

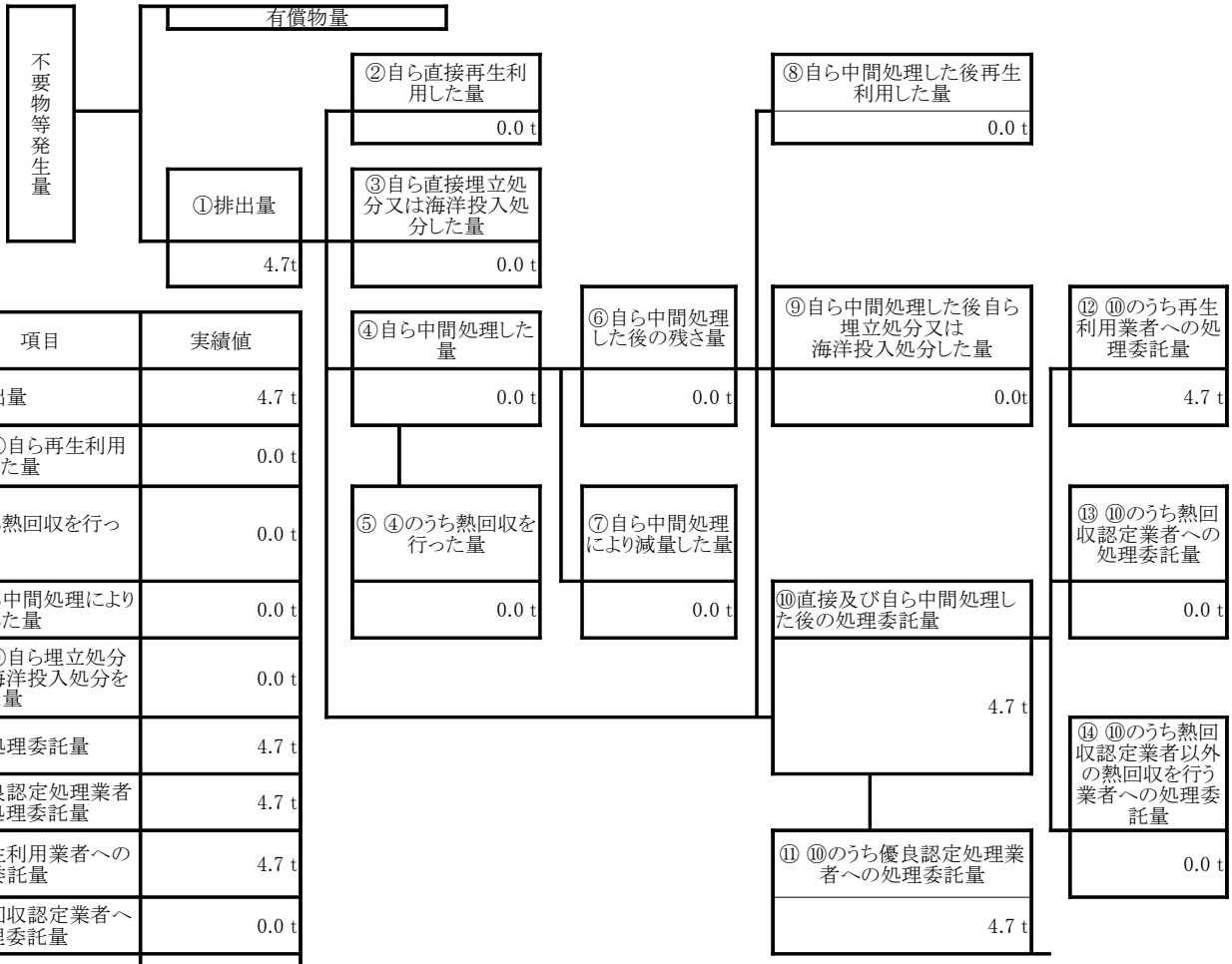
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1233.63 t	全処理委託量	1233.63 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	822.56 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1228.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

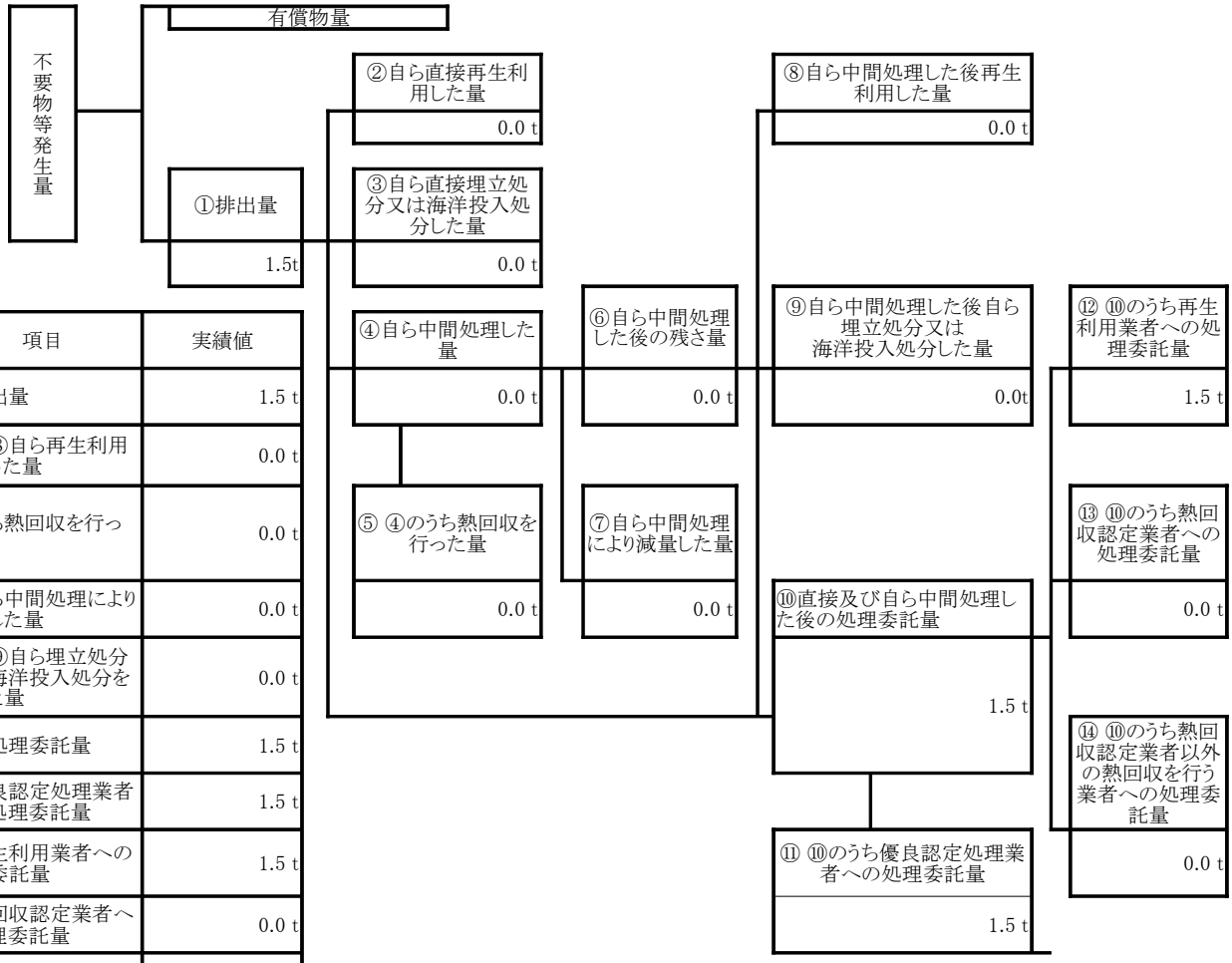


項目	実績値
①排出量	4.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

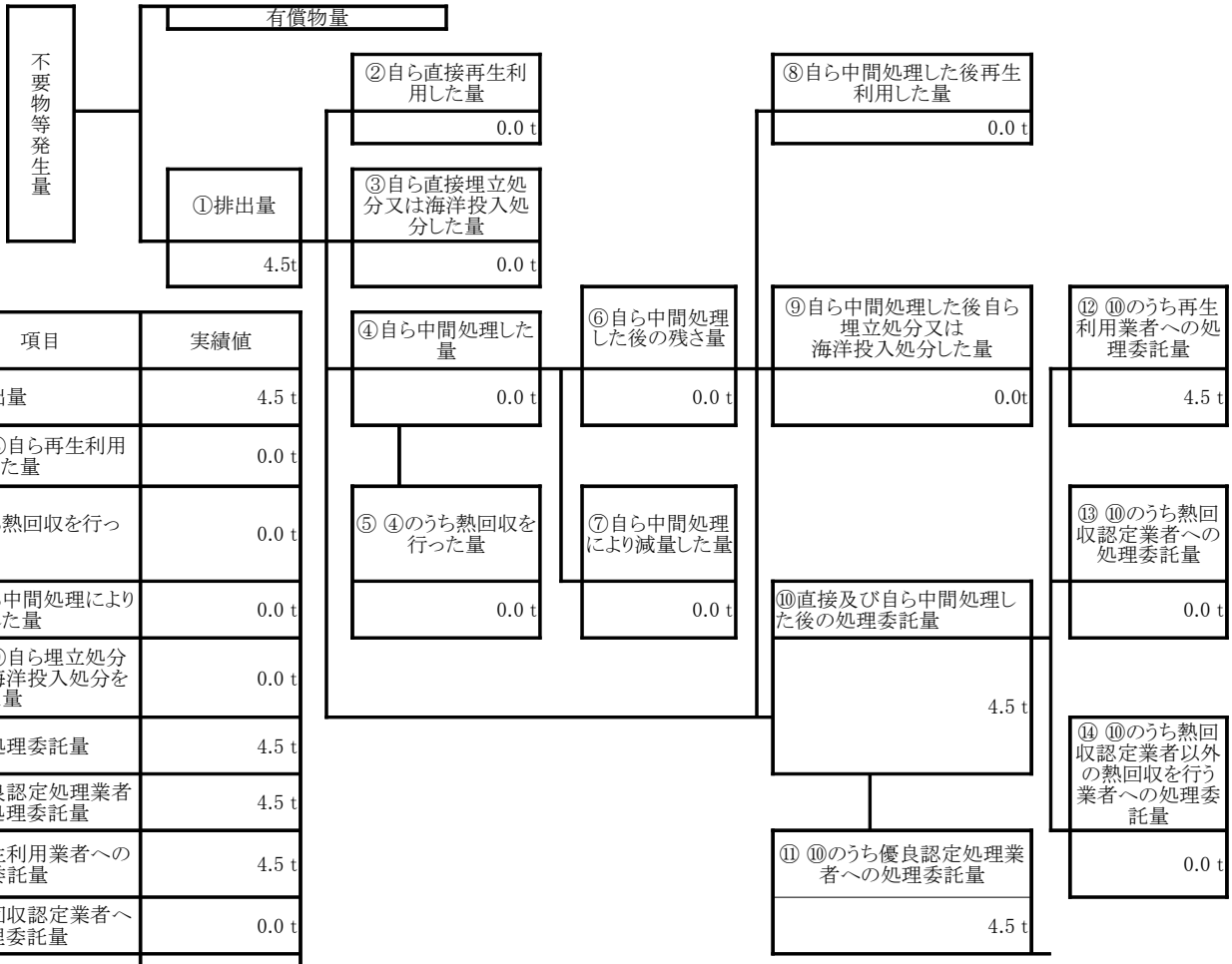


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

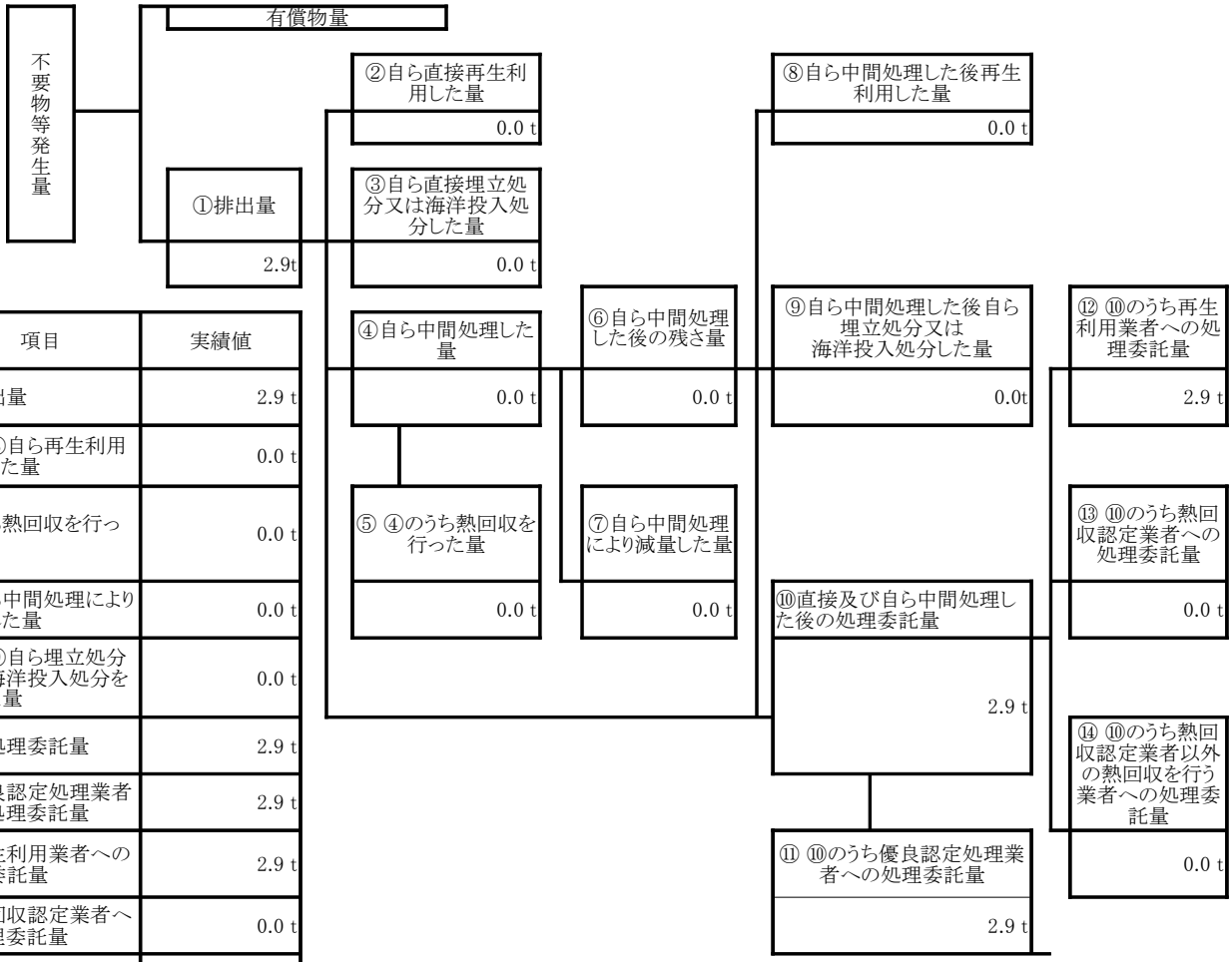


項目	実績値
①排出量	4.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

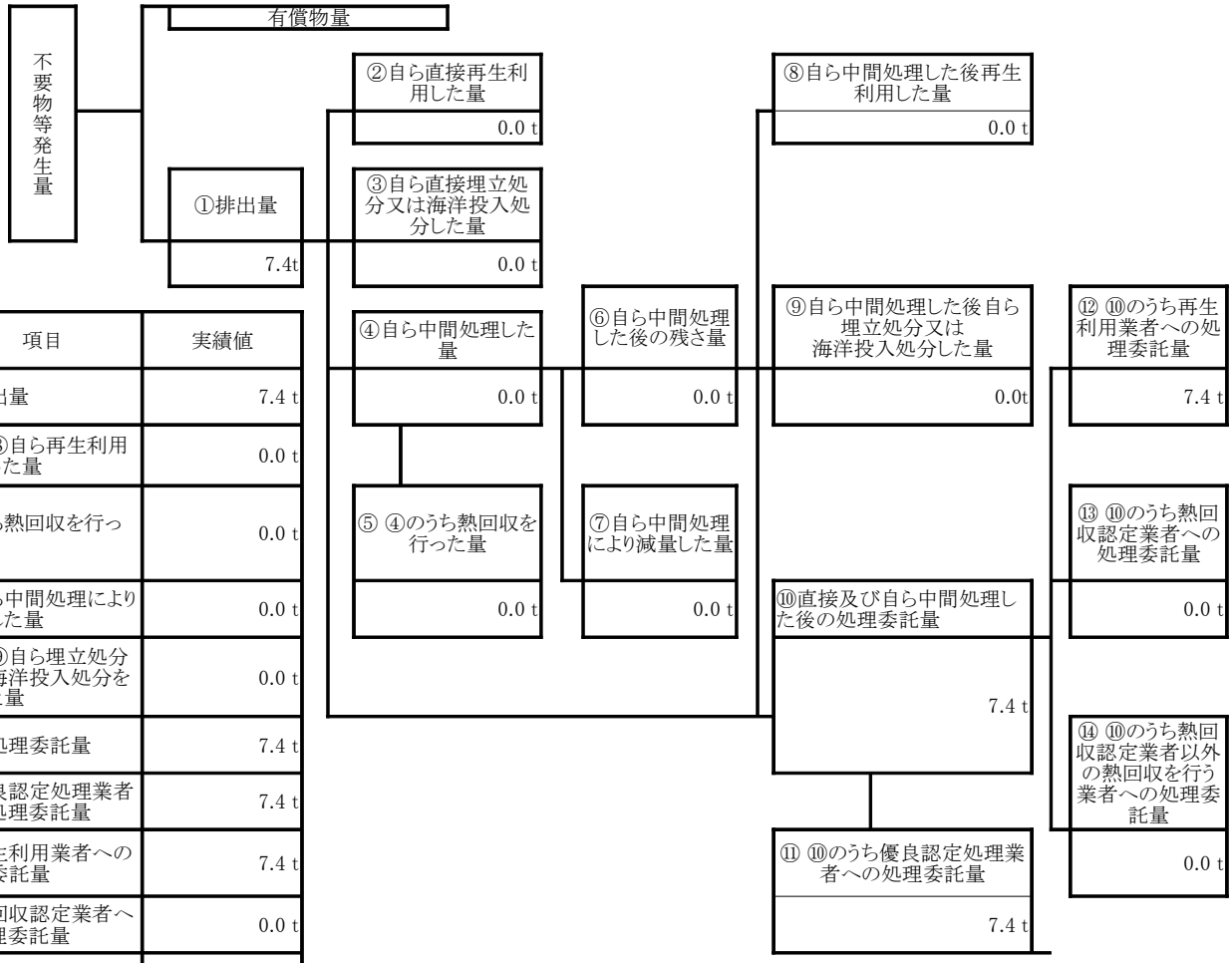


項目	実績値
①排出量	2.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



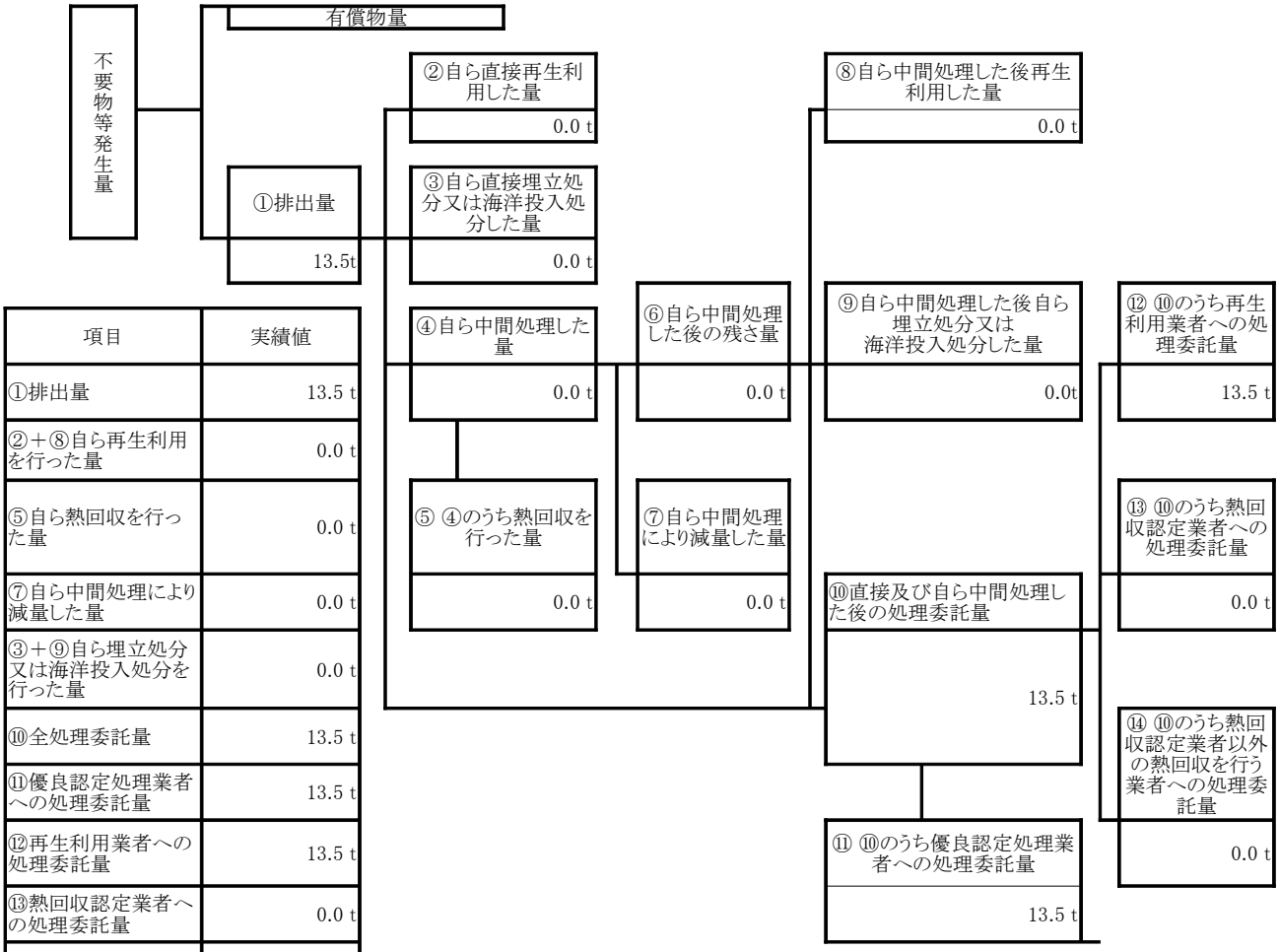
項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

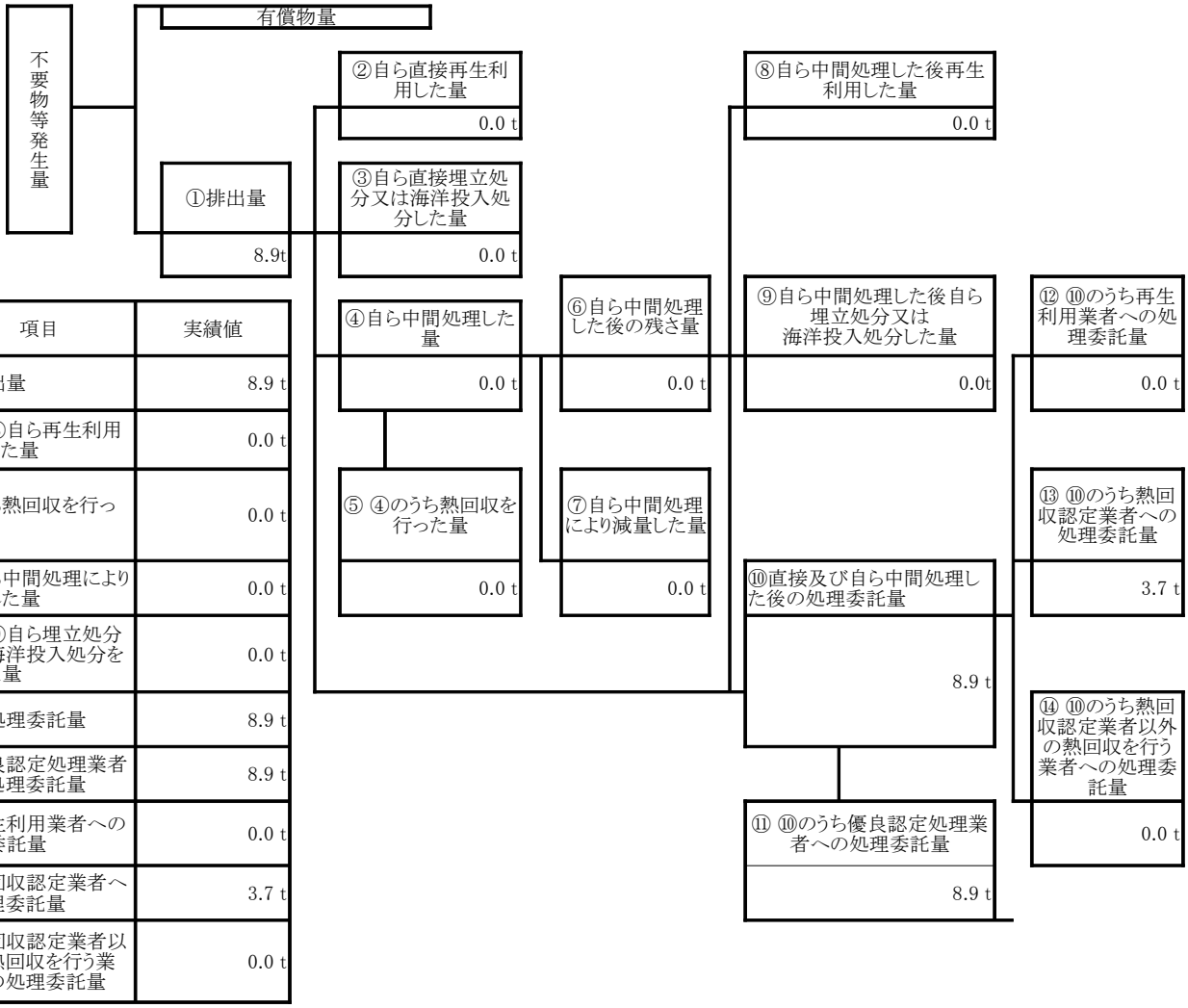


項目	実績値
①排出量	13.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	8.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒110-0014
住 所　東京都台東区北上野2丁目8番7号
氏 名　株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
建設事業部 事業部長　伊東 高士
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-5246-4163

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 建設事業部
事業場の所在地	東京都台東区北上野2丁目8番7号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

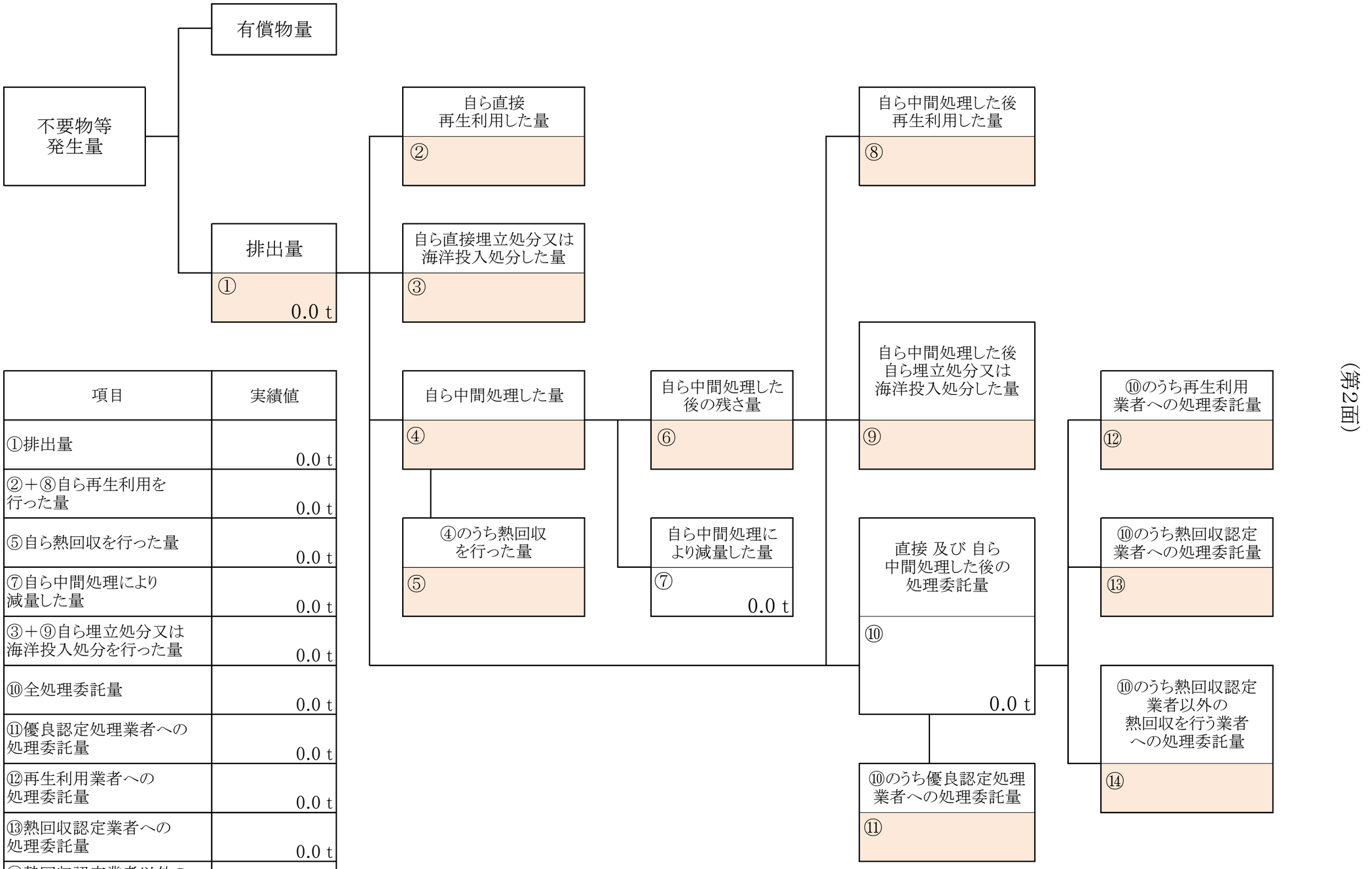
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3017.3 t	全処理委託量	3017.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1160.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3017.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：なし）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　20日

千葉県知事

熊谷　俊人　殿

提出者　〒151-0061

住　所　渋谷区初台1-53-6初台光山ビル2F

氏　名　旭化成ホームズ株式会社施工本部
建設部長　荒谷　篤

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5308-4006

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社施工本部建設部
事業場の所在地	東京都渋谷区初台１－５３－６初台光山ビル２階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②　事業の規模	元請完工高：1,474億円
③　従業員数	561人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙２参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	83.7 t	33.9 t

（これまでに実施した取組）
別紙３参照

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	80 t	32 t

（今後実施する予定の取組）
別紙３参照

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙３参照

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙３参照

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	11.5 t	31.6 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	10 t	30 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	72.3 t	2.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.5 t	0.2 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	49.5 t	2.2 t

（これまでに実施した取組）

別紙３参照

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類＿ 廃プラスチック類 / 紙くず 全処理委託量＿ 70.0 t / 2.0 t 優良認定処理業者への処理委託量 25.0 t / 0.5 t 再生利用業者への処理委託量 0.0 t / 0.0 t 認定熱回収業者への処理委託量 0.0 t / 0.0 t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 45.0 t / 2.0 t （今後実施する予定の取組） 別紙３参照
※事務処理欄		

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		排　　出　　量	353.7　t	2.0　t	43.3　t	323.5　t	279.4　t	2885.1　t	48.0　t	71.3　t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		排　　出　　量	335.0　t	1.9　t	41.0　t	307.0　t	265.0　t	2740.0　t	45.5　t	68.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	7.1　t	0.0　t	14.3　t	52.3　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5.0　t	0.0　t	14.0　t	50.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
全処理委託量	346.6 t	2.0 t	29.0 t	271.2 t	279.4 t	2885.1 t	48.0 t	71.3 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	304.6 t	1.6 t	0.8 t	193.9 t	212.1 t	377.8 t	2.2 t	46.7 t	t
再生利用業者への処理委託量	250.7 t	0.0 t	6.8 t	4.2 t	58.5 t	2764.9 t	43.0 t	0.0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	234.3 t	1.9 t	0.0 t	17.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

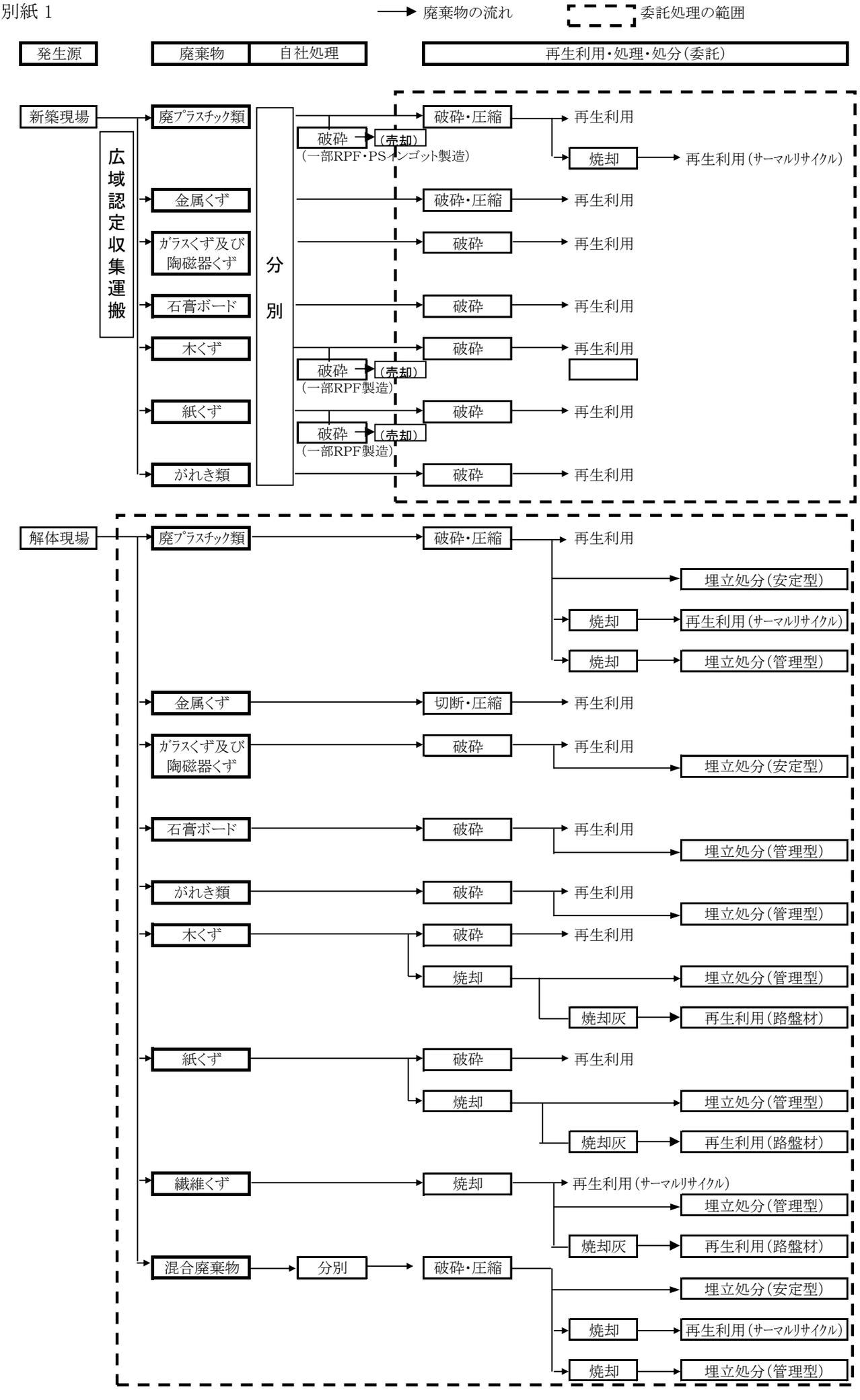
②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	その他がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	混合廃棄物	
全処理委託量	330.0 t	1.9 t	27 t	257 t	265 t	2740.0 t	45.5 t	68 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	290.0 t	1.5 t	0.75 t	185 t	201 t	360.0 t	2.1 t	44.5 t	t
再生利用業者への処理委託量	240.0 t	0.00 t	6.6 t	4 t	55 t	2625.0 t	41.0 t	0.0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.00 t	0.00 t	0 t	0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	220.0 t	1.8 t	0.00 t	16 t	0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

別紙1

別紙 1


廃棄物の流れ
委託処理の範囲
発生源
廃棄物
自社処理
再生利用・処理・処分(委託)
新築現場
広域認定収集運搬
廃プラスチック類
金属くず
ガラスくず及び陶磁器くず
石膏ボード
木くず
紙くず
がれき類
分別
破砕
(売却)
(一部RPF・PSインゴット製造)
(一部RPF製造)
破砕・圧縮
焼却
再生利用
再生利用(サーマルリサイクル)
解体現場
埋立処分(安定型)
埋立処分(管理型)
切断・圧縮
焼却灰
再生利用(路盤材)
繊維くず
混合廃棄物

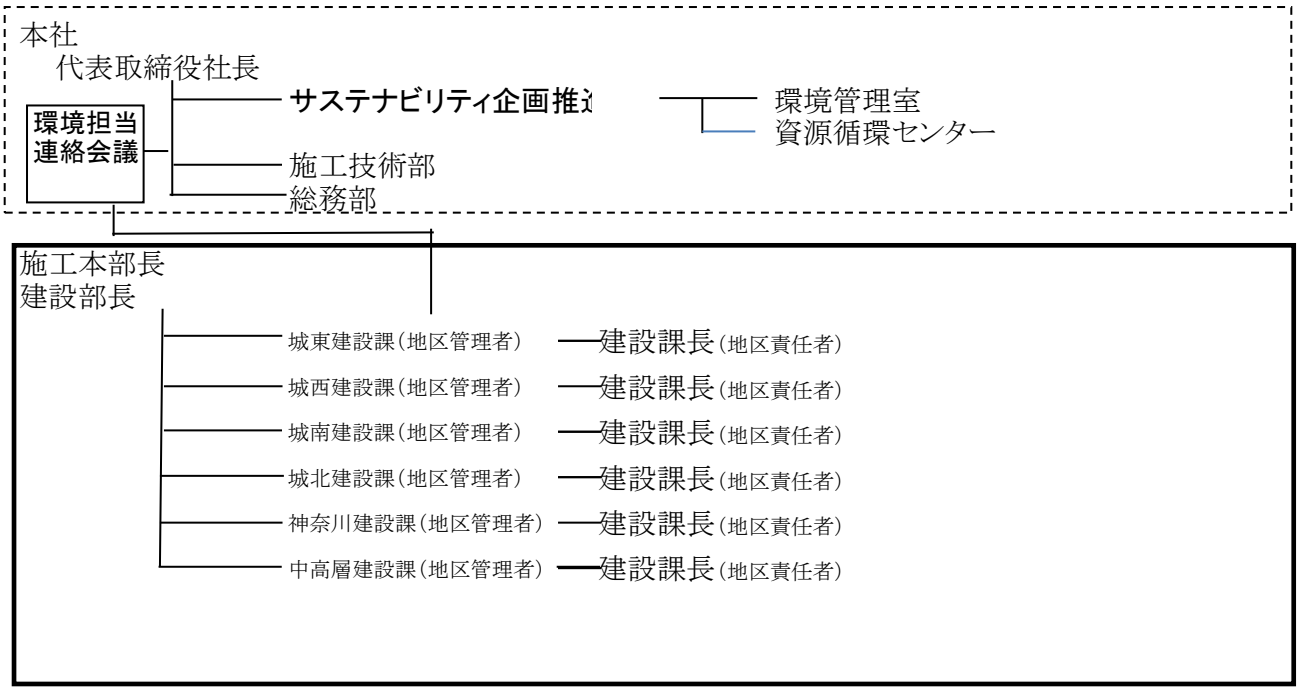
別紙2

＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

管理体制図

担当者		役割
総括管理者	施工本部長	中央建設廃棄物処理管理者のもとで、地区の処理を統括管理する。
副統括管理者	建設部長	総括管理者の職務を補佐し、建設廃棄物処理担当と共に建設処理資源化再利用の現場指導、中間処理業者・収集運搬業者への指示育成並びに適正処理の総括にあたる。
地区責任者 （建設課長）	城東建設課 城西建設課 城南建設課 城北建設課 神奈川建設課 中高層建設課	担当地区の処理責任者として適正処理の実際を管理する。 ・　工事長、処理業者の指導 ・　資源化、減量化の実施推進 ・　廃棄物適正処理の管理
産業廃棄物管理担当	建設部技術一課	・　廃棄物処理計画の作成 ・　廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・　処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ・　委託契約の締結 ・　産業廃棄物及び特別産業廃棄物管理票の交付、管 ・　処理実績の集計・把握 ・　監督官庁への各種報告 ・　工事担当・業者の指導教育その他支援活動

廃棄物管理組織図



別紙3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、木くず、紙くず	新築工事 ・広域認定活用による、余剰材FB・拾い出し適正化 ・梱包の削減・簡易化、リターナブル梱包・通い箱の実施 ・屋根パネルのプレハブ化・木質パネルなど部材プレファブ化 ・資材の適正搬入 ・石膏ボード余剰材の使いまわし推進 ・養生材の使いまわし推進 ・床養生材のリース化 ・余剰材・残材・端材の削減、適正化 ・将来の増改築・リフォーム・解体時できるだけ廃棄物が出ない部材・部品・製品としての商品開発	新築工事 ・重量測定により実態重量の把握と対策検討継続 ・重量測定にあわせ職種別発生量の把握・ファードバックと対策の継続 ・資材の適正搬入の推進 ・屋根瓦のプレカット化

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	分別している産業廃棄物の種類及び分類に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分類に関する取組
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、木くず、紙くず	新築工事 ・現場分別排出 25分別の実施、自社資源循環センターでの60分別、ゼロエミッション継続 ・職種別分別早見表の作成と配布 ・現場に分別表の掲示 ・現場巡回による分別指導	新築工事 ・職方の分別に対する意識強化と25分別の徹底 ・自社資源循環センターでの適正分別の更なる推進、ケミカルリサイクルの実証実験 ・自社資源循環センターでの分別不備事例のフィードバックと水平展開
	解体工事 ・現場巡回による分別解体指導 ・解体工事店別の混合廃棄物の発生量の分析と指導	解体工事 ・左記内容の継続

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	自社資源循環センターにRPF製造機・溶融機を設置し、RPF・PSインゴットを販売	サテライトでのPSインゴット設置を拡大

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	同センターで60分別しゼロエミッション＝100%リサイクルを継続	分別精度向上とにより、マテリアル・ケミカルリサイクル率を向上させる

＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	新築は該当なし 解体での廃石綿等の適正処理	新築は該当なし 解体での廃石綿等の適正処理

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、木くず、紙くず	解体工事 ・収集運搬業者・中間処理業者・最終処分業者視察 ・リサイクルの高い処分場持込への切替	解体工事 ・左記内容の継続 ・現場分別解体精度の向上

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒151-0061
住 所　渋谷区初台1-53-6初台光山ビル2F
氏 名　旭化成ホームズ株式会社施工本部
建設部長 荒谷 篤
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社施工本部建設部
事業場の所在地	東京都渋谷区初台1－53－6初台光山ビル2階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

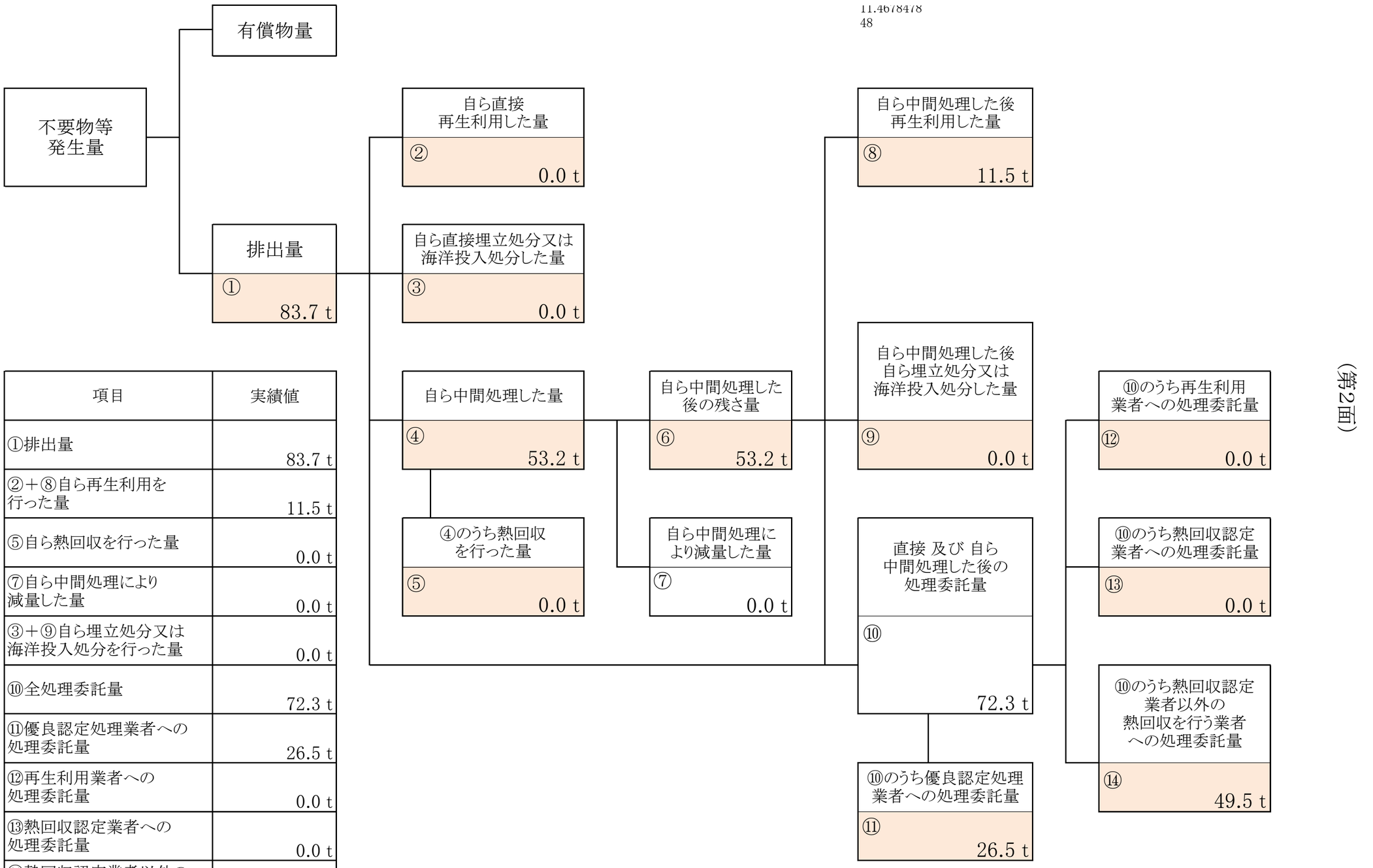
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2195.5 t	全処理委託量	2178.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	17.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	941.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1935.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	243.3 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

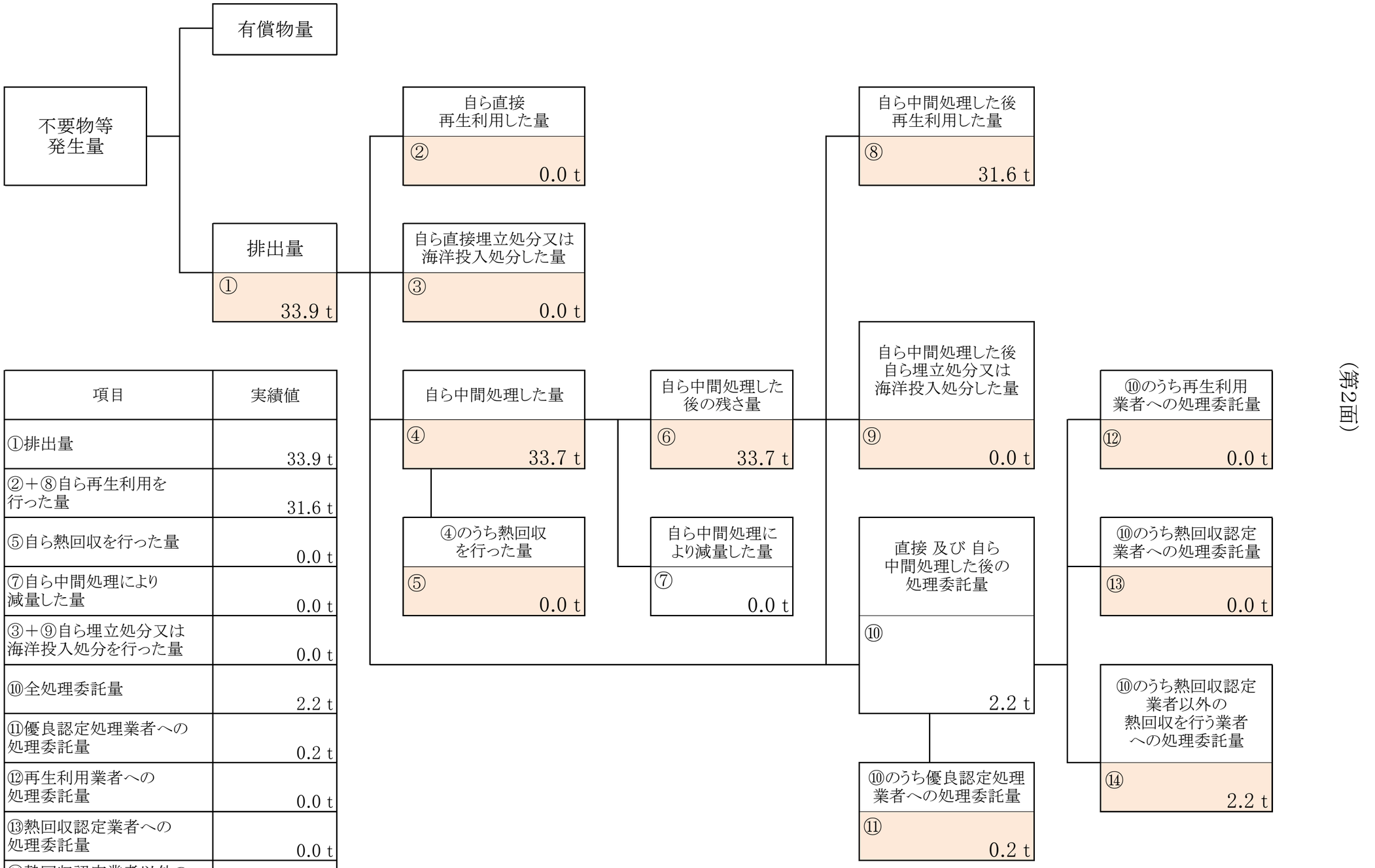


項目	実績値
①排出量	83.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	11.5 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	72.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	49.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

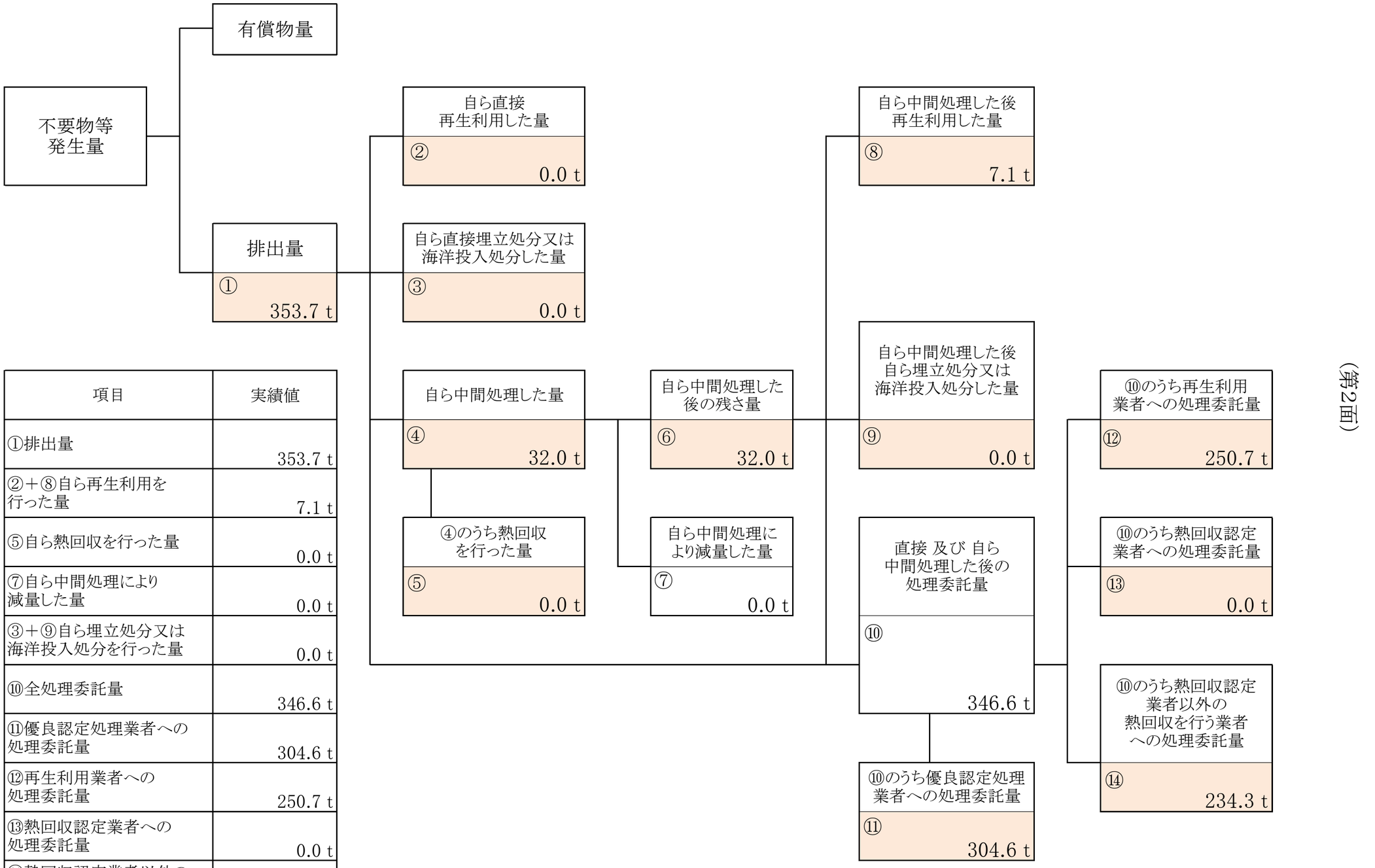


項目	実績値
①排出量	33.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	31.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

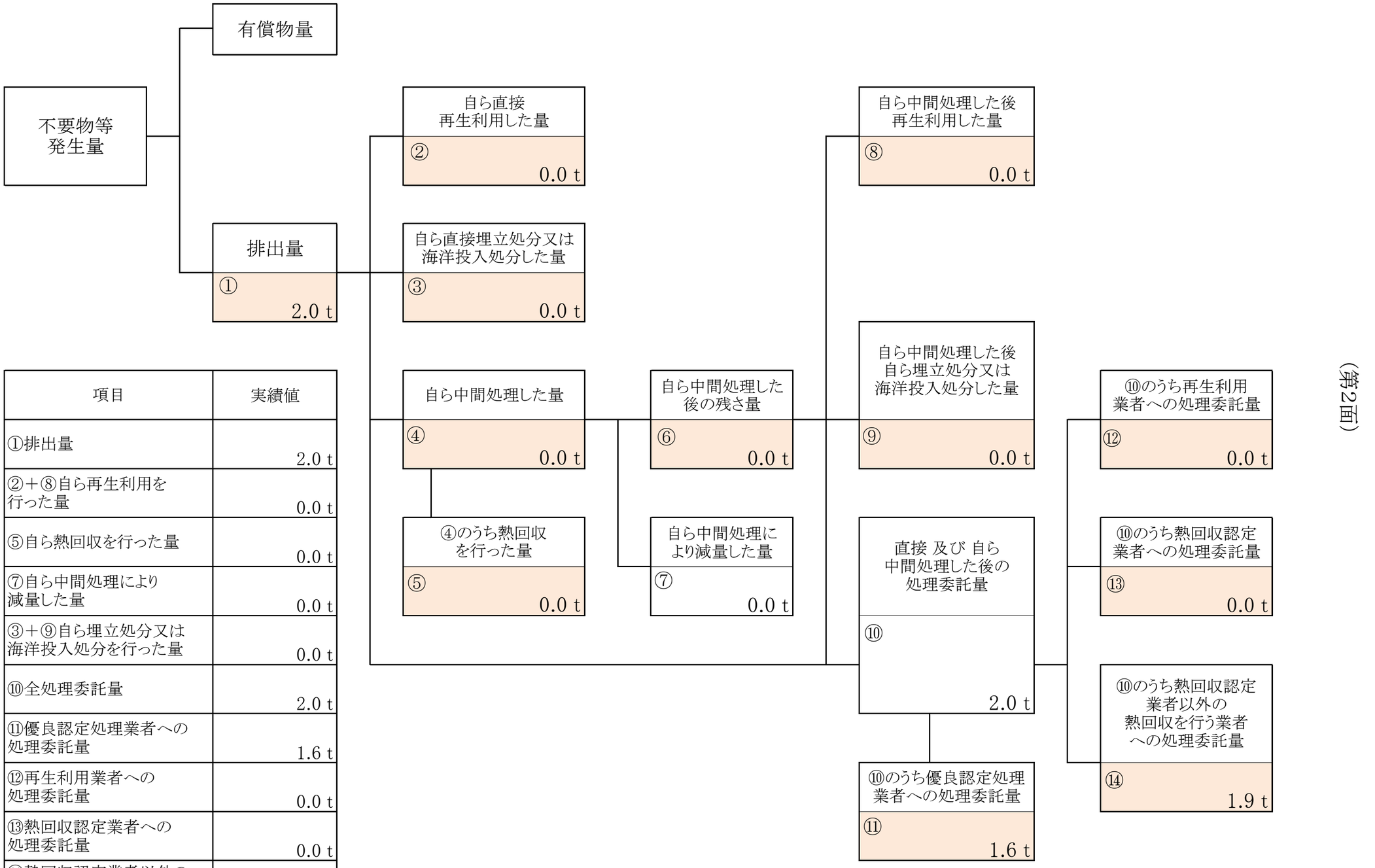


項目	実績値
①排出量	353.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	7.1 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	346.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	304.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	250.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	234.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

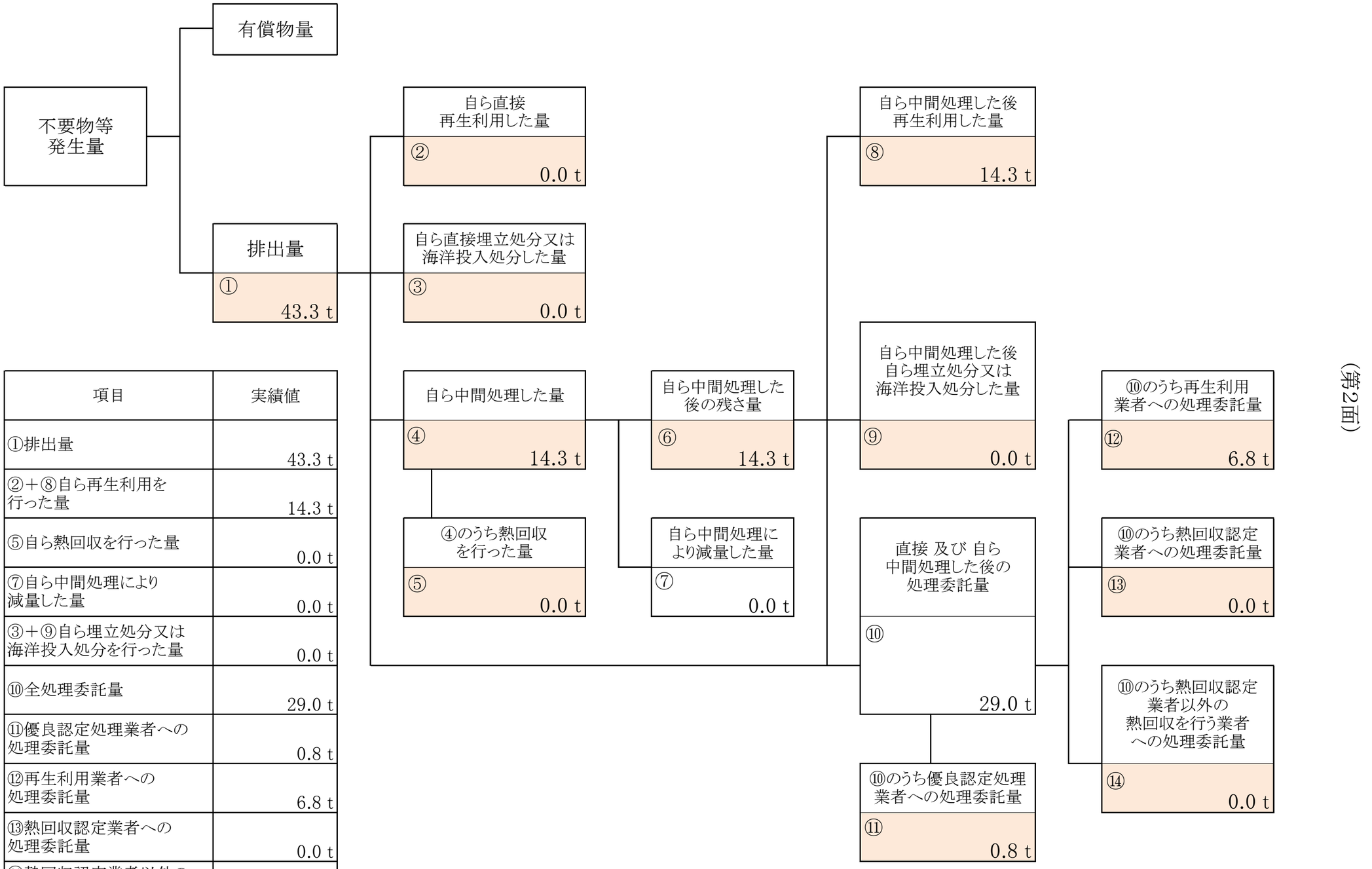


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

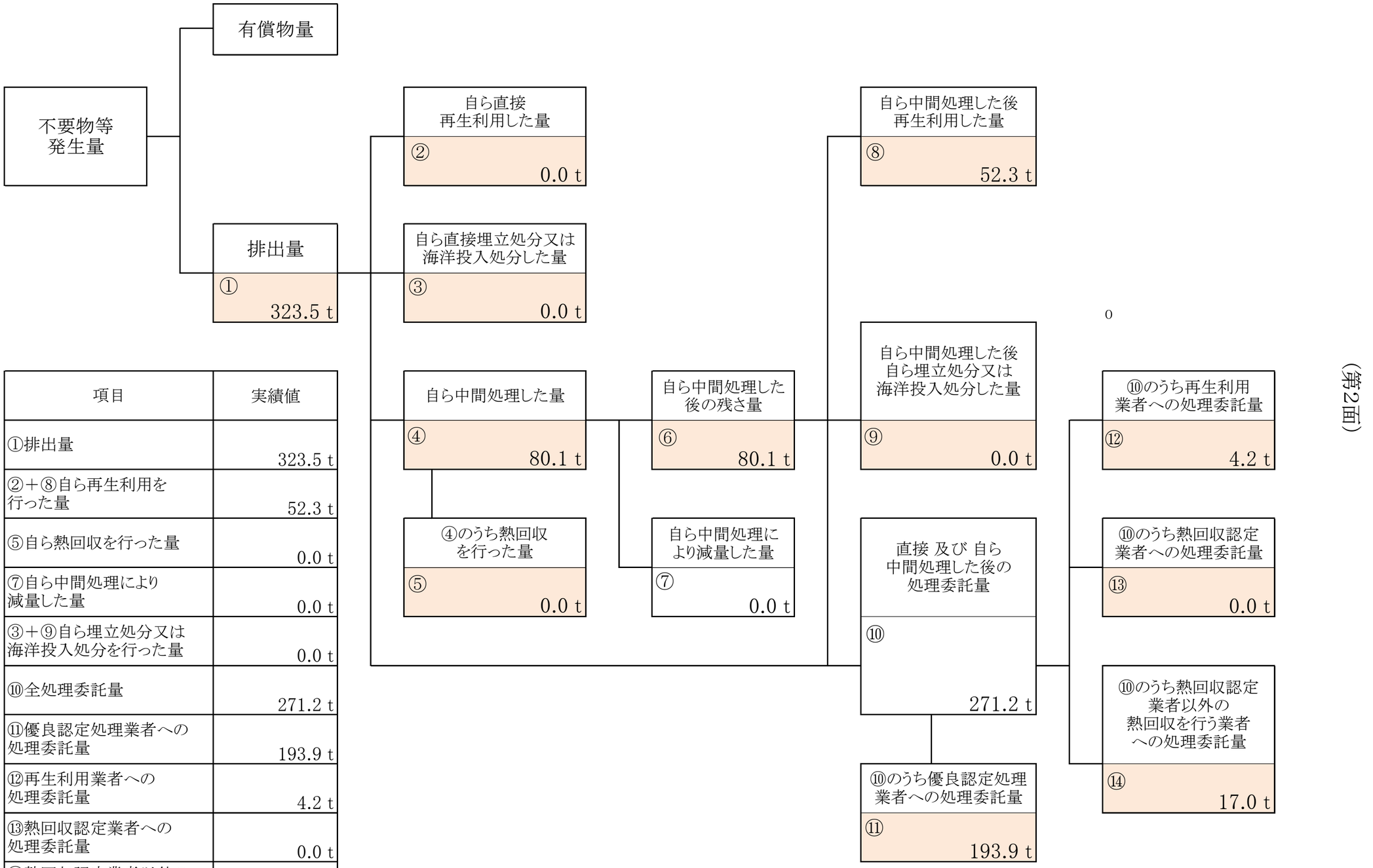


項目	実績値
①排出量	43.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	14.3 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）



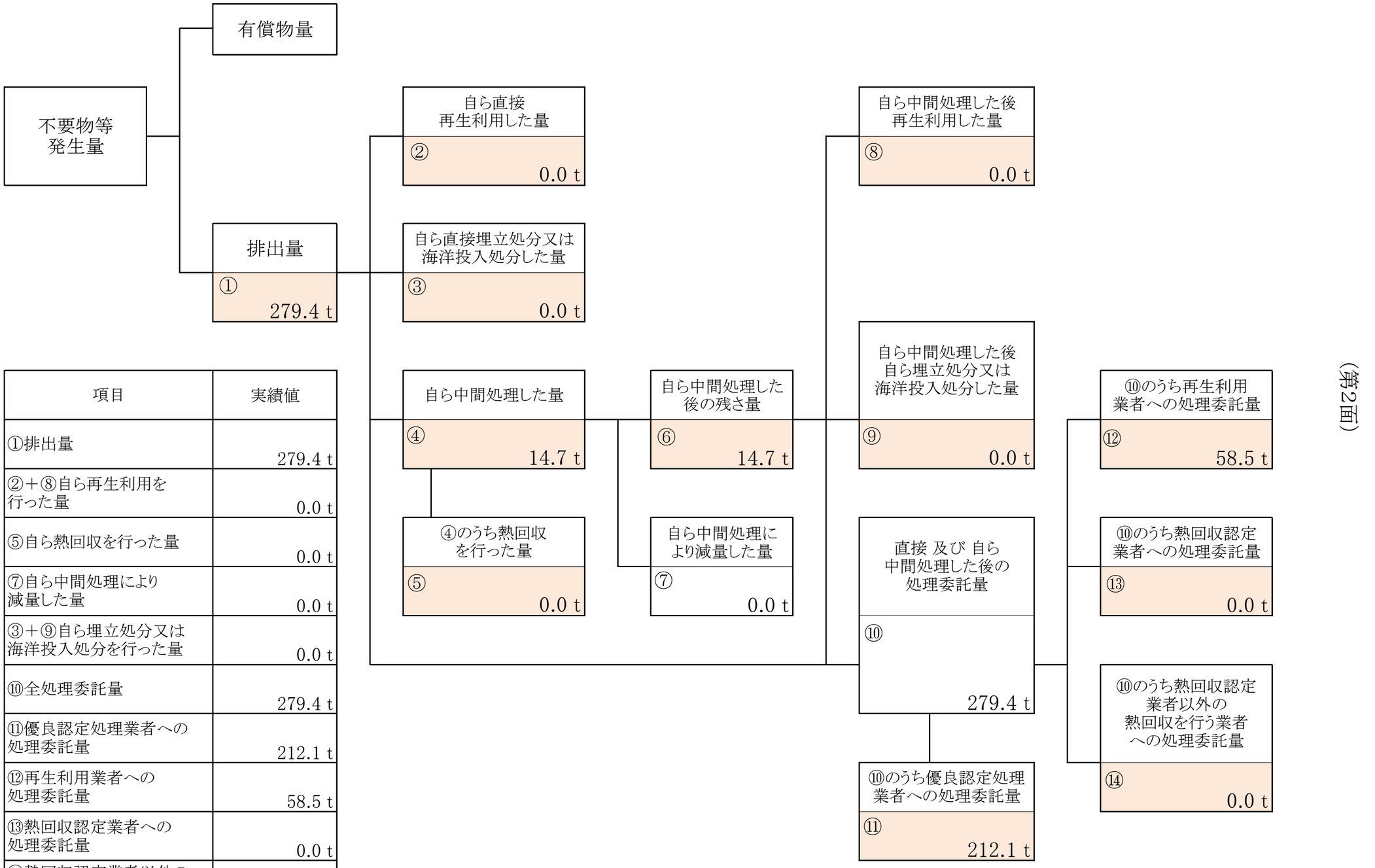
項目	実績値
①排出量	323.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	52.3 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	271.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	193.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	17.0 t

0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

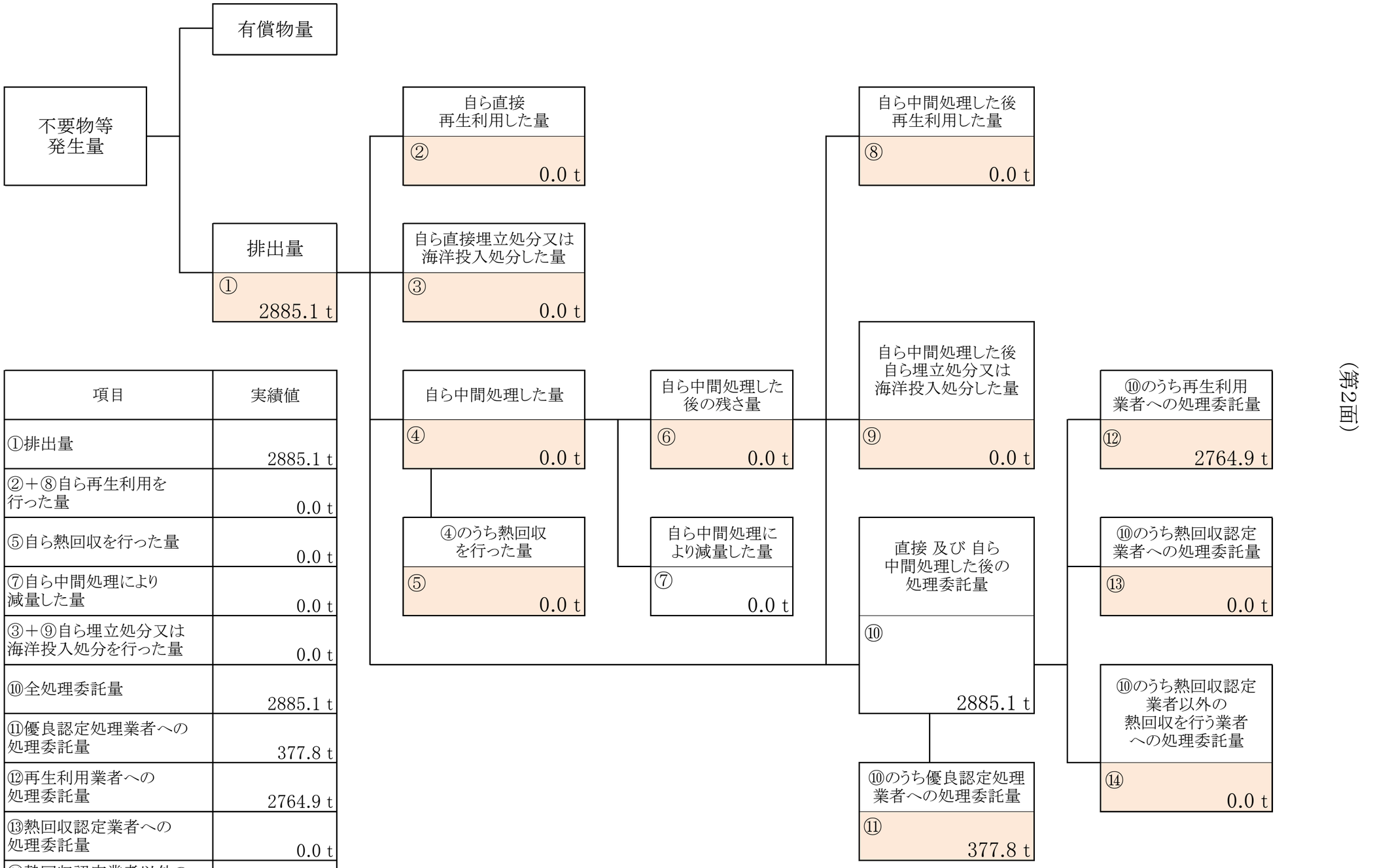


項目	実績値
①排出量	279.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	279.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	212.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	58.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**コンクリート破片**）

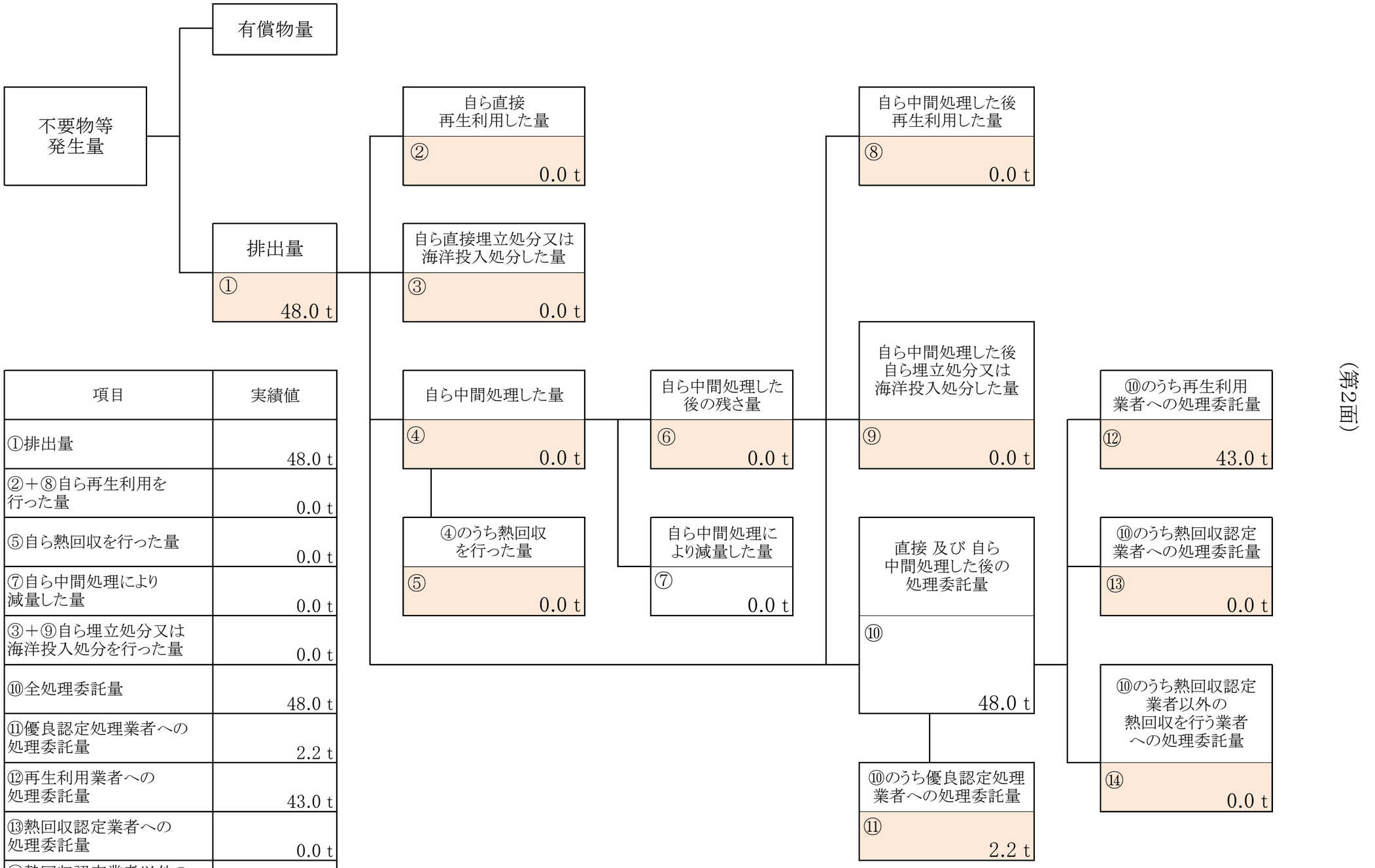


項目	実績値
①排出量	2885.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2885.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	377.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2764.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリート破片）

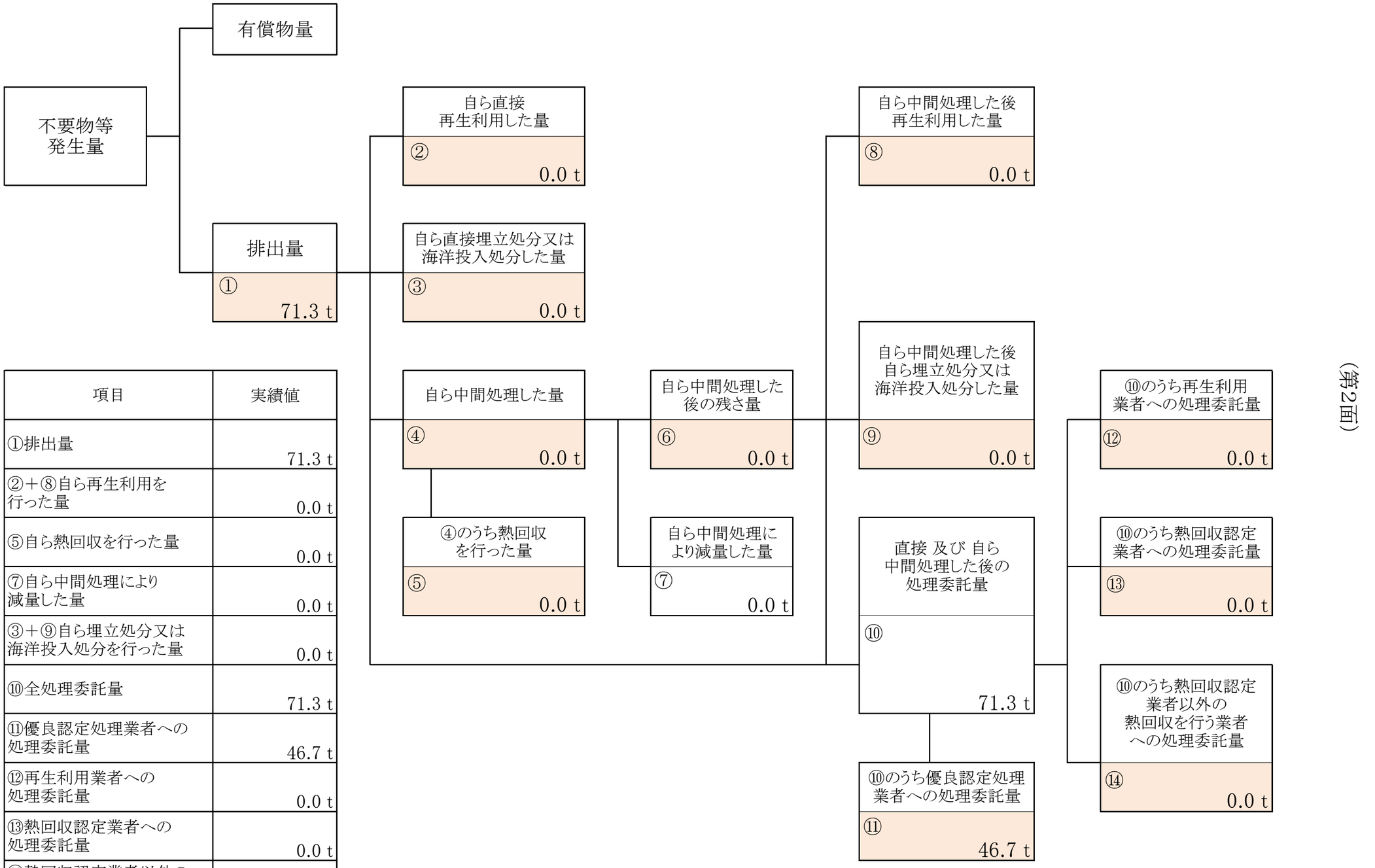


項目	実績値
①排出量	48.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	48.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	71.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	71.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
旭化成ホームズ株式会社
住宅事業千葉・茨城本部
氏 名 千葉・茨城本部長 山本 寿彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-212-7182

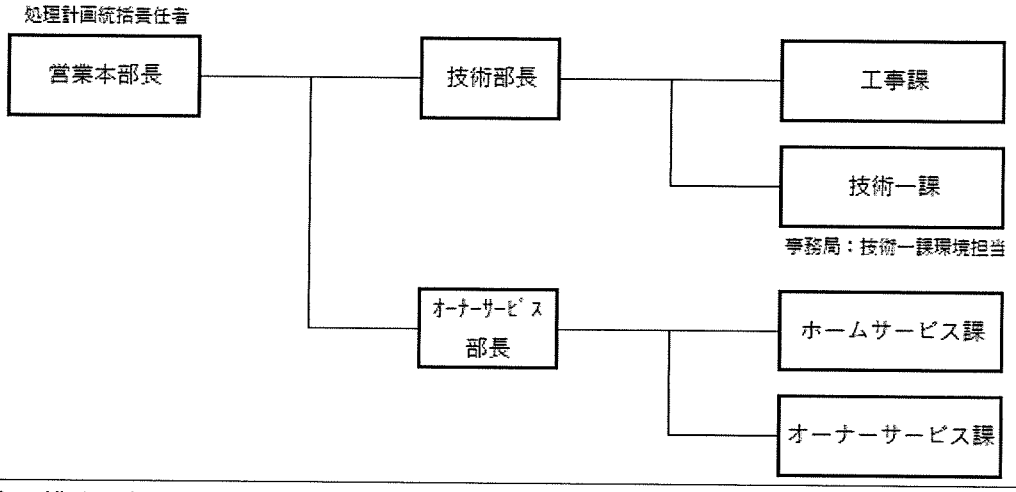
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社 住宅事業千葉・茨城本部
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
計画期間	令和7年4月～令和8年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：建築工事業（木造建築工事業を除く）
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 357億円
③ 従業員数	338人（正社員 292人、常勤関係職員 46人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

（日本工業規格 A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　令和 6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙	
排　出　量	7167.5ｔ	

（これまでに実施した取組）

別紙

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙	
排　出　量	7064.0ｔ	

（今後実施する予定の取組）

別紙

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・回収した廃棄物の実態確認、適正分別指導
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現場パトロールによる排出状況確認、適正分別指導

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>307.1ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>322.4ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（　令和 6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	6860.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1552.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2688.9 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>6741.6ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1574.5ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2629.0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

旭化成ホームズ株式会社 住宅事業千葉・茨城本部 産業廃棄物 処理工程

工事	工事現場	中間処理	再生	最終処分
解体工事	がれき類	破砕	再生砕石	安定型・管理型 ※非飛散性石綿含有産業廃棄物のみ、 安定・管理型へ現場より直送
	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	破砕	再生砕石	安定型・管理型
	廃プラスチック	破砕・圧縮・溶解	固形燃料	安定型・管理型
	金属くず	破砕・圧縮	製鉄原料	—
	紙くず	破砕・焼却	製鉄原料	管理型
	木くず	破砕・焼却	再生資源化	管理型
	繊維くず	破砕・焼却	再生資源化	管理型
	廃石膏ボード	破砕・選別	石膏ボード原料	管理型
	混合廃棄物	破砕・選別・焼却	再生資源化	安定型・管理型
	建設汚泥	凝集固化・脱水	改良土	—
新築工事	広域認定制度を利用し、自社処理施設（資源循環センター）で再資源化			

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】単位：t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
排出量	4486.2	388.1	249.1	106.4	106.3	1352.4	8.7	299.0	171.3	－

（これまでに実施した取組）

・現場への搬入部材量調整・在庫部材の利用
・部材加工後の使用可能な端材のリユース

②計画

【目標】単位：t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
排出量	4430.0	380.0	240.0	100.0	102.0	1340.0	8.0	295.0	169.0	－

（今後実施する予定の取組）

・現場へのプレカット部材搬入、搬入材量の調整
・工程ごとの排出状況確認、下請工事店への削減指導

別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和6 年度）実績】単位：t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	130.2	36.7	63.7	76.5	0.0	0.0	0.0	－

（これまでに実施した取組）

・当社　資源循環センターの再生能力向上

②計画

【目標】単位：t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	136.7	38.5	66.9	80.3	0.0	0.0	0.0	－

（今後実施する予定の取組）

・当社　資源循環センターへの搬入割合向上

※「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」及び「自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は無い為、未添付と致します。

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 6 年度）実績】単位:t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
全処理委託量	4486.2	388.1	118.9	69.7	42.6	1275.9	8.7	299.0	171.3	－
優良認定処理業者への処理委託量	936.1	0.0	14.5	31.2	1.4	509.2	0.3	18.8	41.3	－
再生利用業者への処理委託量	1510.7	103.6	86.8	24.5	42.4	791.5	1.4	125.8	2.1	－
認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（これまでに実施した取組）
・分別の促進により再生業者への委託量向上
・優良認定処理業者への委託推進

②計画

【目標】単位:t

産業廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	－
全処理委託量	4430.0	380.0	103.3	61.5	35.1	1259.7	8.0	295.0	169.0	－
優良認定処理業者への処理委託量	950.0	0.0	15.0	32.0	1.5	510.0	1.0	20.0	45.0	－
再生利用業者への処理委託量	1520.0	110.0	87.0	25.0	30.0	700.0	2.0	130.0	25.0	－
認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（今後実施する予定の取組）
・分別の促進による混合廃棄物の削減
・優良認定処理業者への委託推進

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
氏 名　旭化成ホームズ株式会社 住宅事業千葉・茨城本部
千葉・茨城本部長　山本 寿彦

電話番号　043-212-7182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社 住宅事業千葉・茨城本部
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
事業の種類	大分類:建設業　　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月～令和7年3月

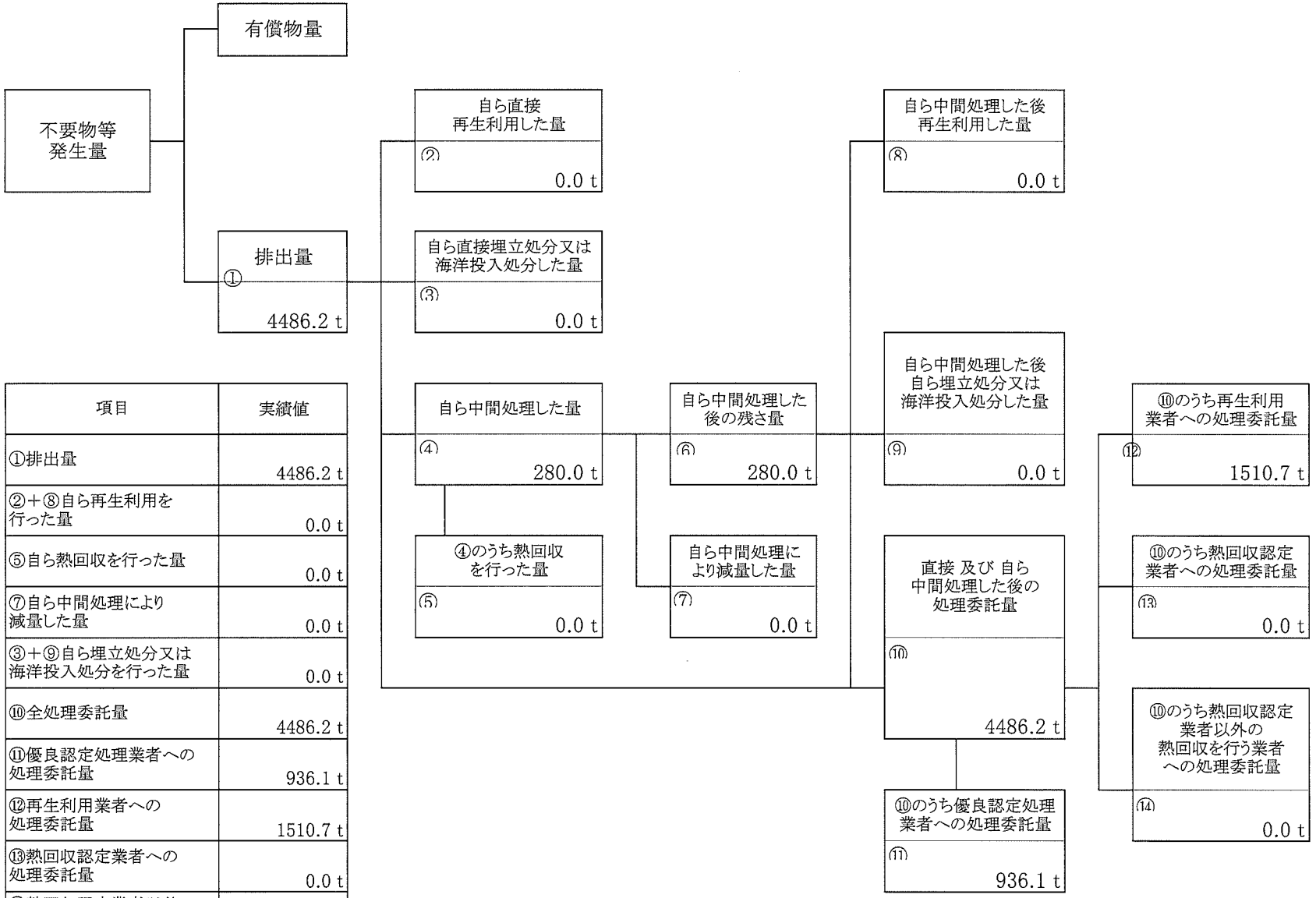
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	9572.0 t	全処理委託量	9258.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	313.8 t	優良認定処理業者への処理委託量	1127.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1836.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

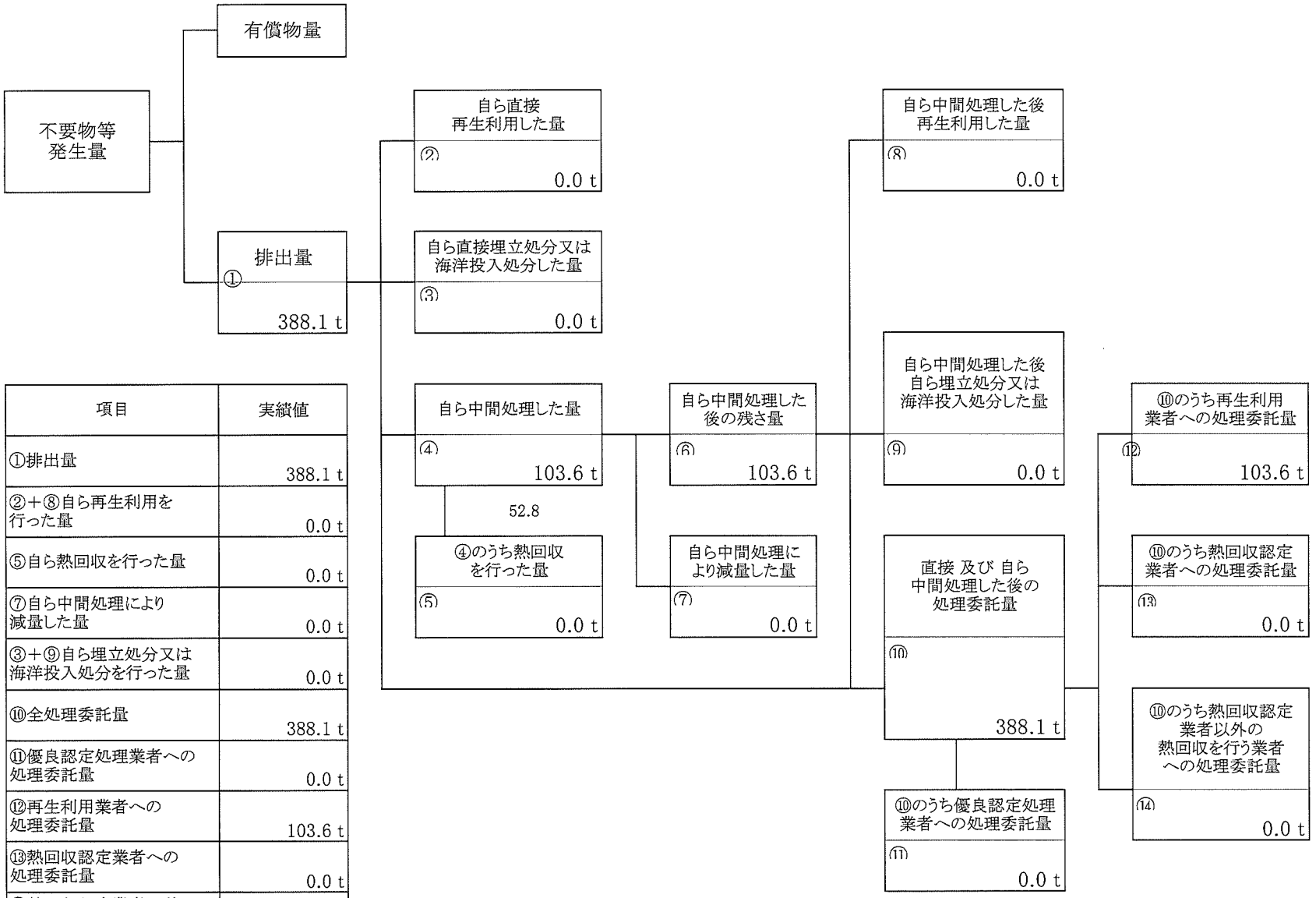


項目	実績値
①排出量	4486.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4486.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	936.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1510.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

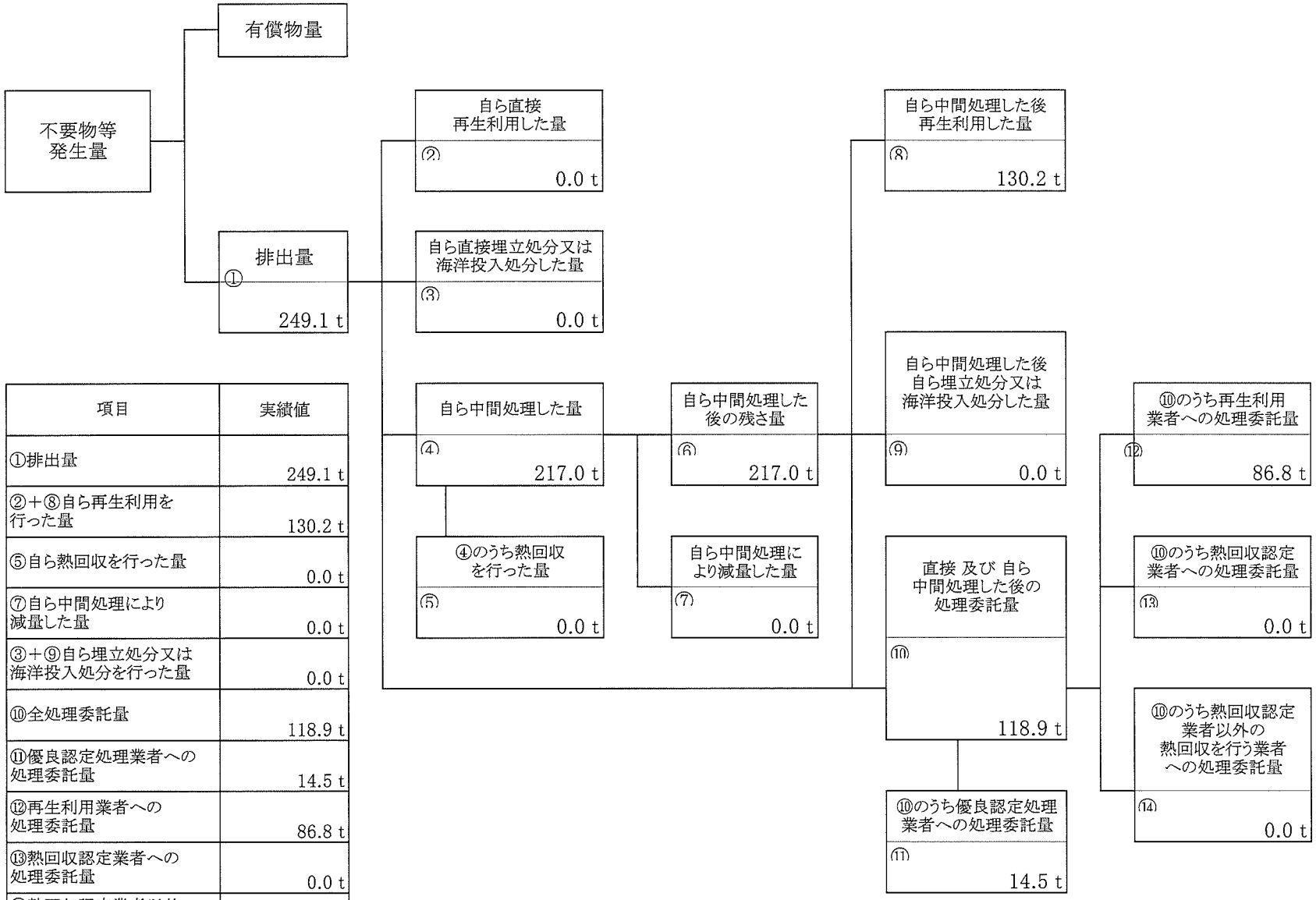


項目	実績値
①排出量	388.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	388.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

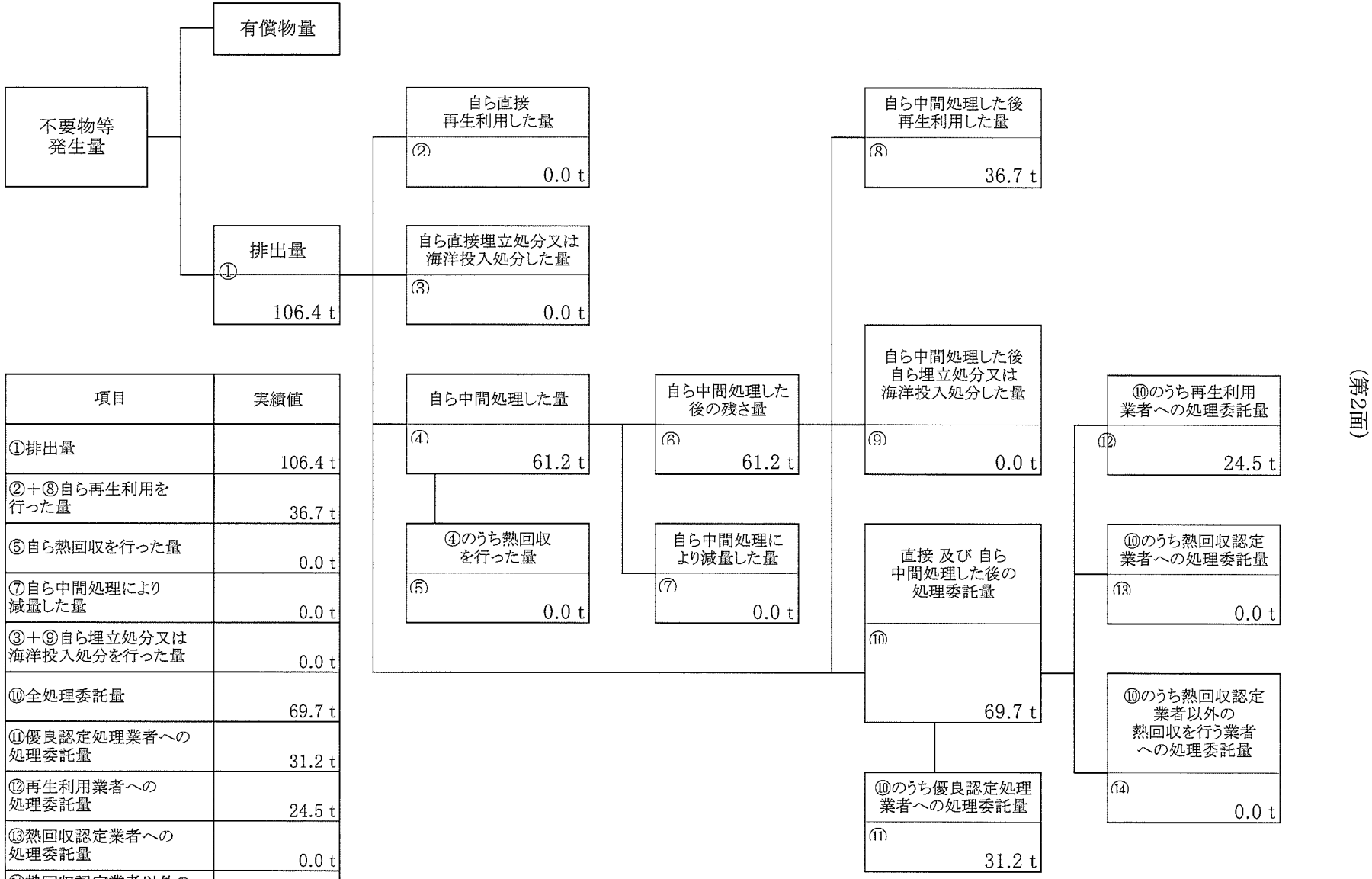


項目	実績値
①排出量	249.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	130.2 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	118.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	86.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

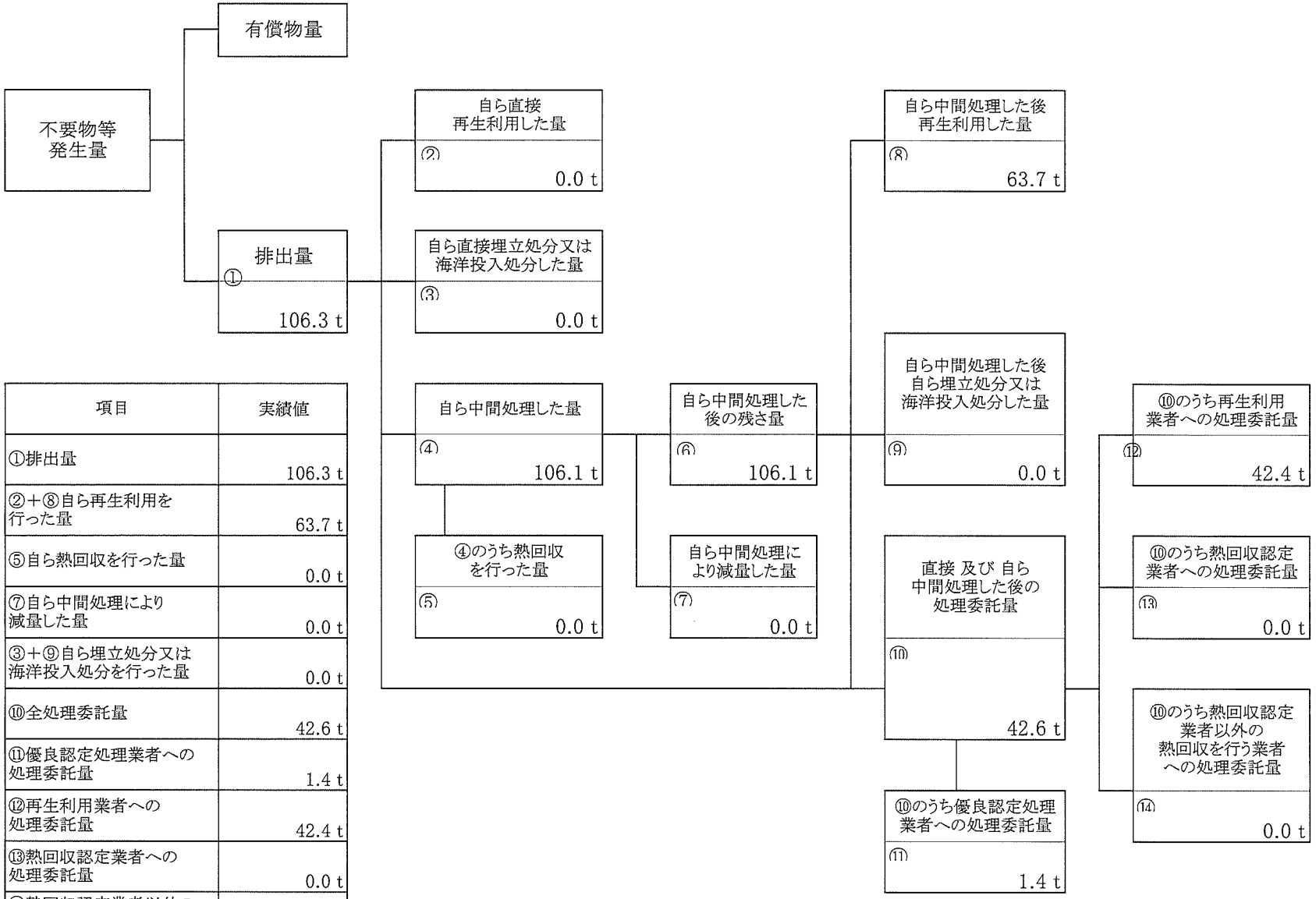


項目	実績値
①排出量	106.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	36.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	69.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

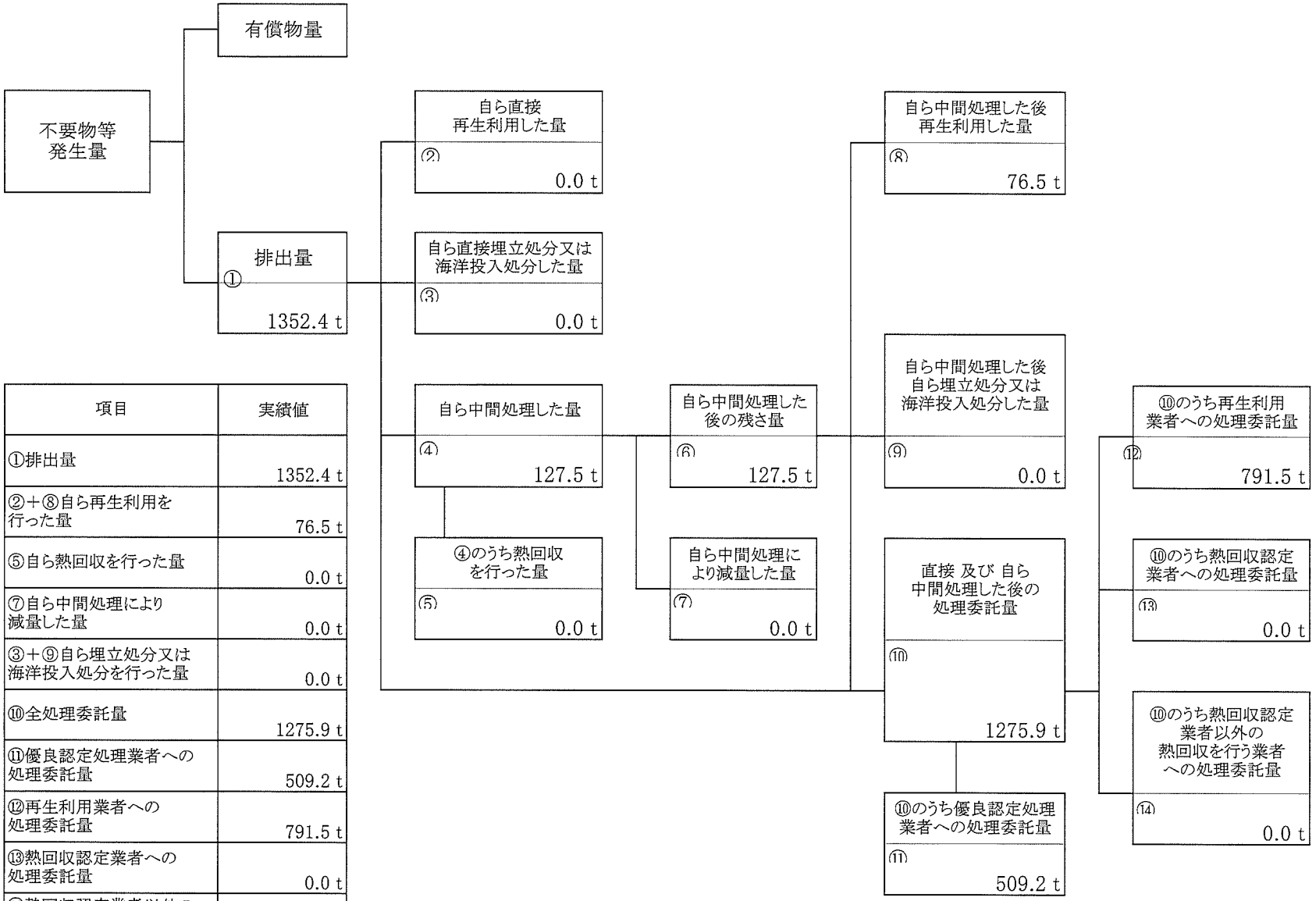


項目	実績値
①排出量	106.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	63.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	42.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	42.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

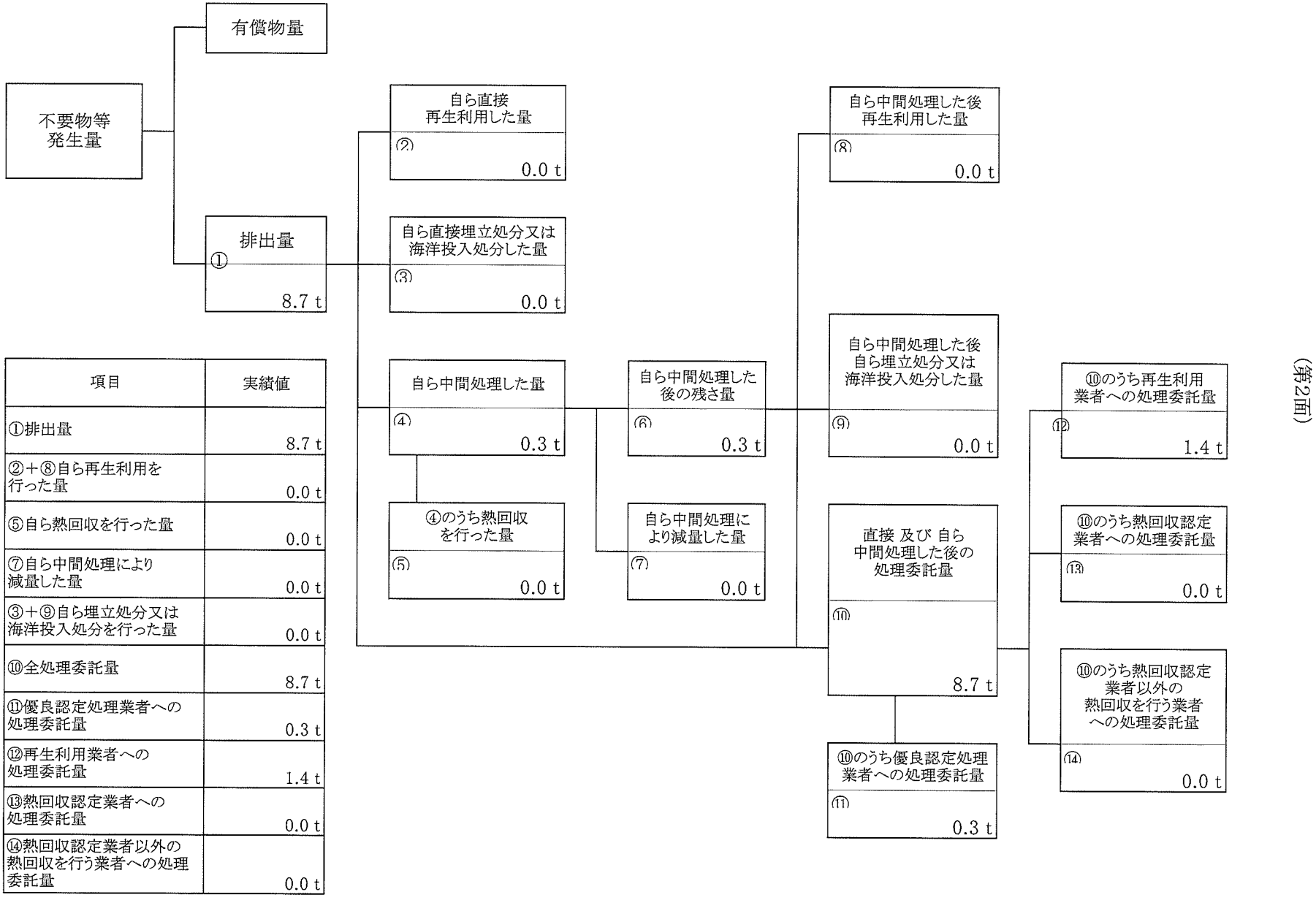


項目	実績値
①排出量	1352.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	76.5 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1275.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	509.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	791.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）

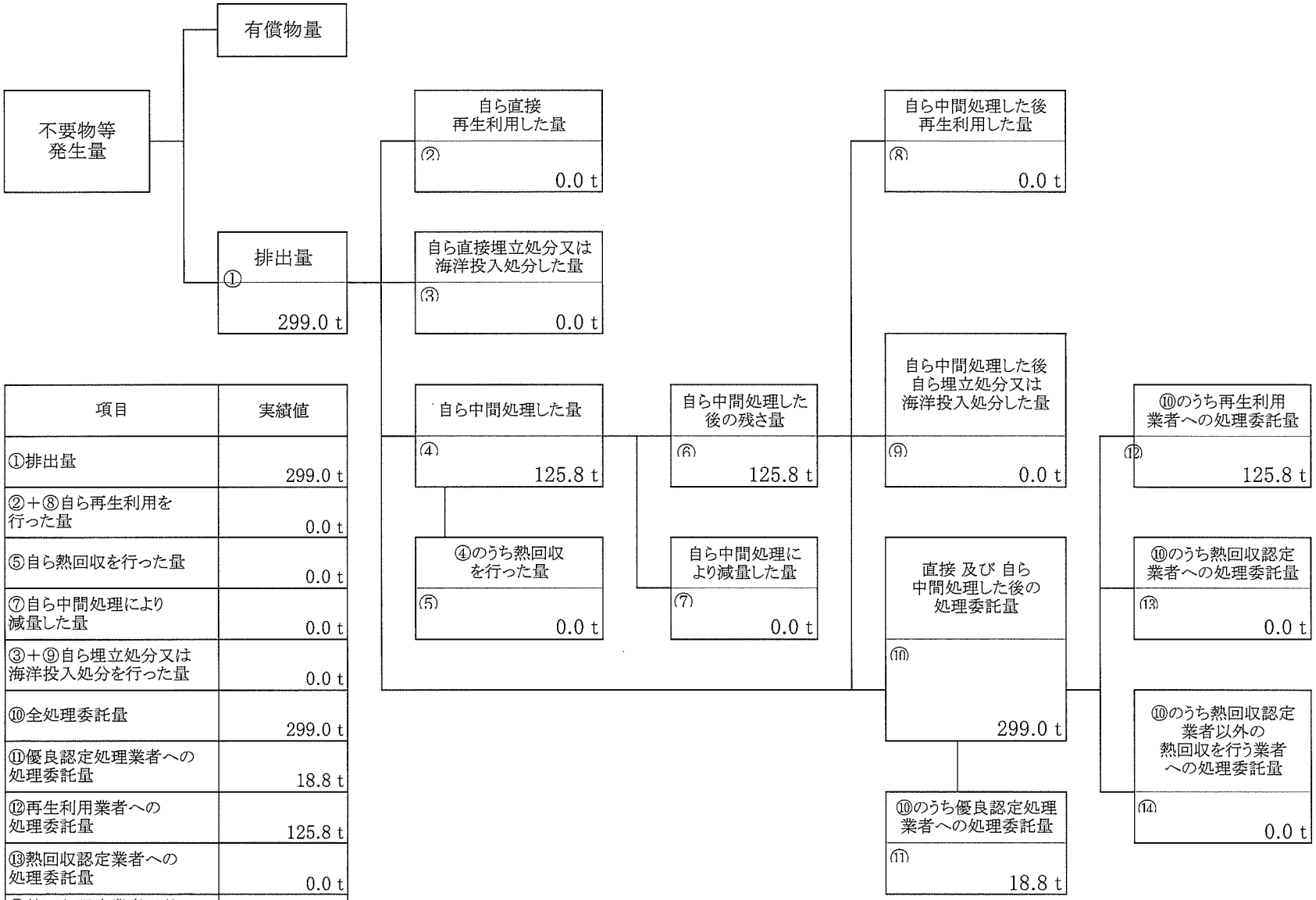


項目	実績値
①排出量	8.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　）

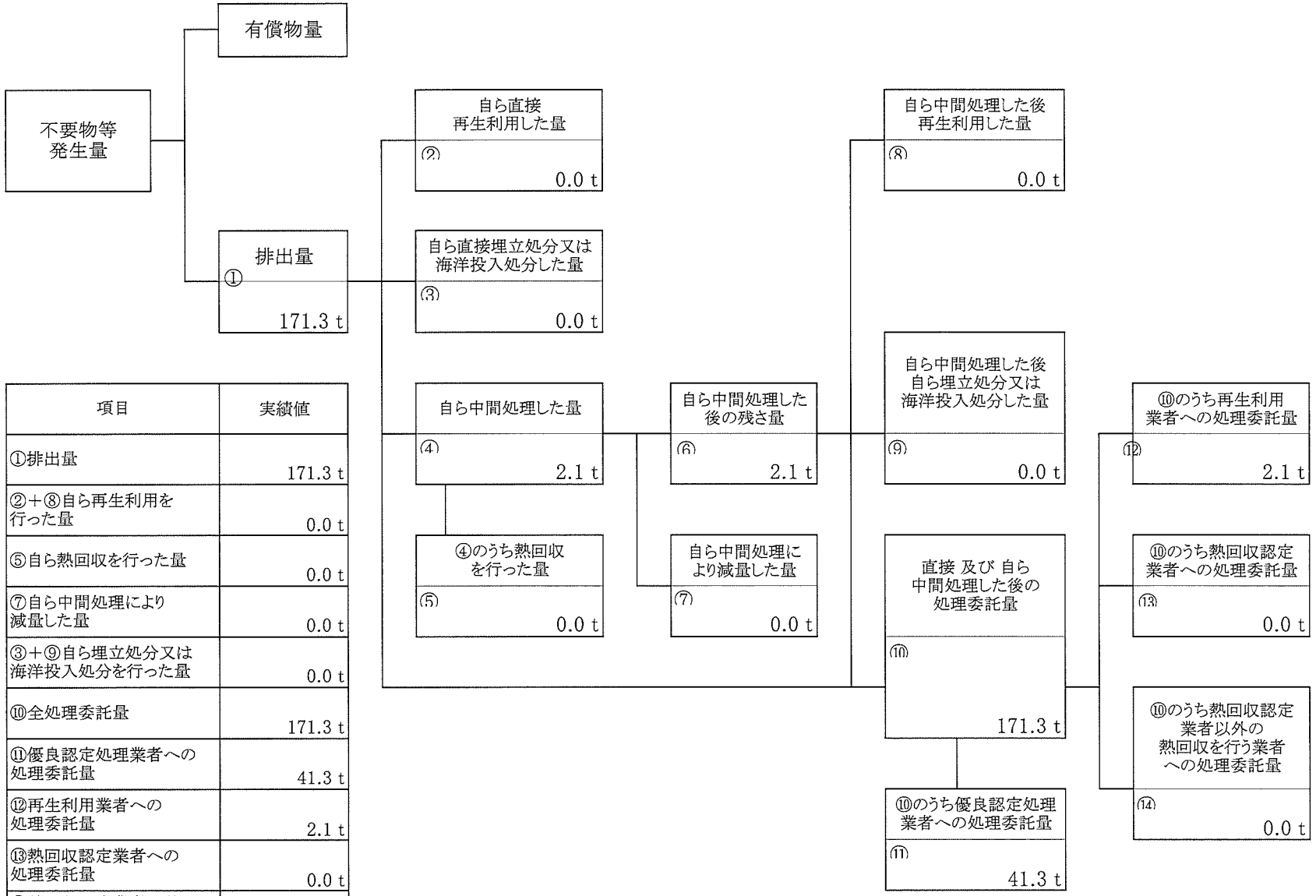


項目	実績値
①排出量	299.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	299.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	125.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	171.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	171.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0835

住　所　千葉県千葉市中央区川崎町１－３９

法人名　旭建設株式会社

代表者　高橋 昌宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-268-7151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭建設株式会社
事業場の所在地	千葉市中央区川崎町１－３９
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	106億円
③従業員数	87人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

・排出事業所→建設本部→安全品質検査室→管理部→専務取締役→代表取締役

・産業廃棄物処理責任者：安全品質検査室　安全課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
排出量	2635.95 t	t

（これまでに実施した取組）

・ダンボールやパレットなどの梱包材を納入業者が持ち帰りする
・生コンなどの余剰材を納入業者が持ち帰りする

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
排出量	2240.57 t	t

（今後実施する予定の取組）

・VE提案を施主・設計に提出し、環境へ配慮した施工方法に変更する
・安全衛生協議会や所長会議で産廃物発生を抑制する施策を検討する
・梱包や養生材の減量化と納入メーカーの自主持ち帰りの推進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・金属くず、ガラス陶磁器、廃プラスチック、木くず、紙くずの分別は、所長会議で各所長に、安全衛生協議会で作業員・協力業者に分別促進の指導を実施した

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別は前年同様とする
・ダンボール、プラスターボード、植栽伐根を指定業者にリサイクル処分を委託する
・混合廃棄物の分別・減量化を促進する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		別紙集計表の通り	
全 処 理 委 託 量		2635.95 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	955.16 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2598.99 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	2.22 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・優良認定処理業者および再生利用業者に処理委託した

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
		全 処 理 委 託 量	2240.57 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	811.89 t	t
		再生利用業者への処理委託量	2209.15 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・優良認定処理業者および再生利用業者への処理委託を優先的に実施する		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

がれき類(コンクリート・アスファルト)：破砕→再生利用
金属くず：切断・破砕→再生利用
ガラス・陶磁器くず：破砕→再生利用
廃プラスチック：破砕→再生利用又は安定型・管理型埋立処分
木くず：破砕→再生利用
紙くず：破砕・圧縮→再生利用
廃石膏ボード：破砕→再生利用
建設混合廃棄物：分別→安定・管理型埋立処分
建設混合廃棄物：分別→破砕・圧縮→再生利用

別添２ 管理体制図

・排出事業所→建設本部→安全品質検査室→管理部→専務取締役→代表取締役

・産業廃棄物処理責任者:安全品質検査室　安全課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排　出　量	1,485.07 t	40.92 t	29.73 t	42.58 t	18.08 t	22.30 t	27.63 t	608.22 t	52.48 t	133.02 t	0.91 t	140.27 t	34.74 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排　出　量	1,262.31 t	34.78 t	25.27 t	36.19 t	15.37 t	18.96 t	23.49 t	516.99 t	44.61 t	113.07 t	0.77 t	119.23 t	29.53 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	1,485.07 t	40.92 t	29.73 t	42.58 t	18.08 t	22.30 t	27.63 t	608.22 t	52.48 t	133.02 t	0.91 t	140.27 t	34.74 t					
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	26.99 t	24.99 t	31.30 t	9.15 t	13.00 t	20.55 t	524.26 t	3.48 t	132.28 t	0.91 t	133.51 t	34.74 t					
再生利用業者への処理委託量	1,485.07 t	40.92 t	29.73 t	42.58 t	18.08 t	22.30 t	27.63 t	608.22 t	52.48 t	130.80 t	0.91 t	140.27 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2.22 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	1,262.31 t	34.78 t	25.27 t	36.19 t	15.37 t	18.96 t	23.49 t	516.99 t	44.61 t	113.07 t	0.77 t	119.23 t	29.53 t					
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	22.94 t	21.24 t	26.61 t	7.78 t	11.05 t	17.47 t	445.62 t	2.96 t	112.44 t	0.77 t	113.48 t	29.53 t					
再生利用業者への処理委託量	1,262.31 t	34.78 t	25.27 t	36.19 t	15.37 t	18.96 t	23.49 t	516.99 t	44.61 t	111.18 t	0.77 t	119.23 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.89 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0835

住所 千葉県千葉市中央区川崎町1－39

法人名 旭建設株式会社

代表者 高橋 昌宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-268-7151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭建設株式会社
事業場の所在地	千葉市中央区川崎町1－39
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5280.55 t	全処理委託量	5280.55 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1295.99 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5229.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

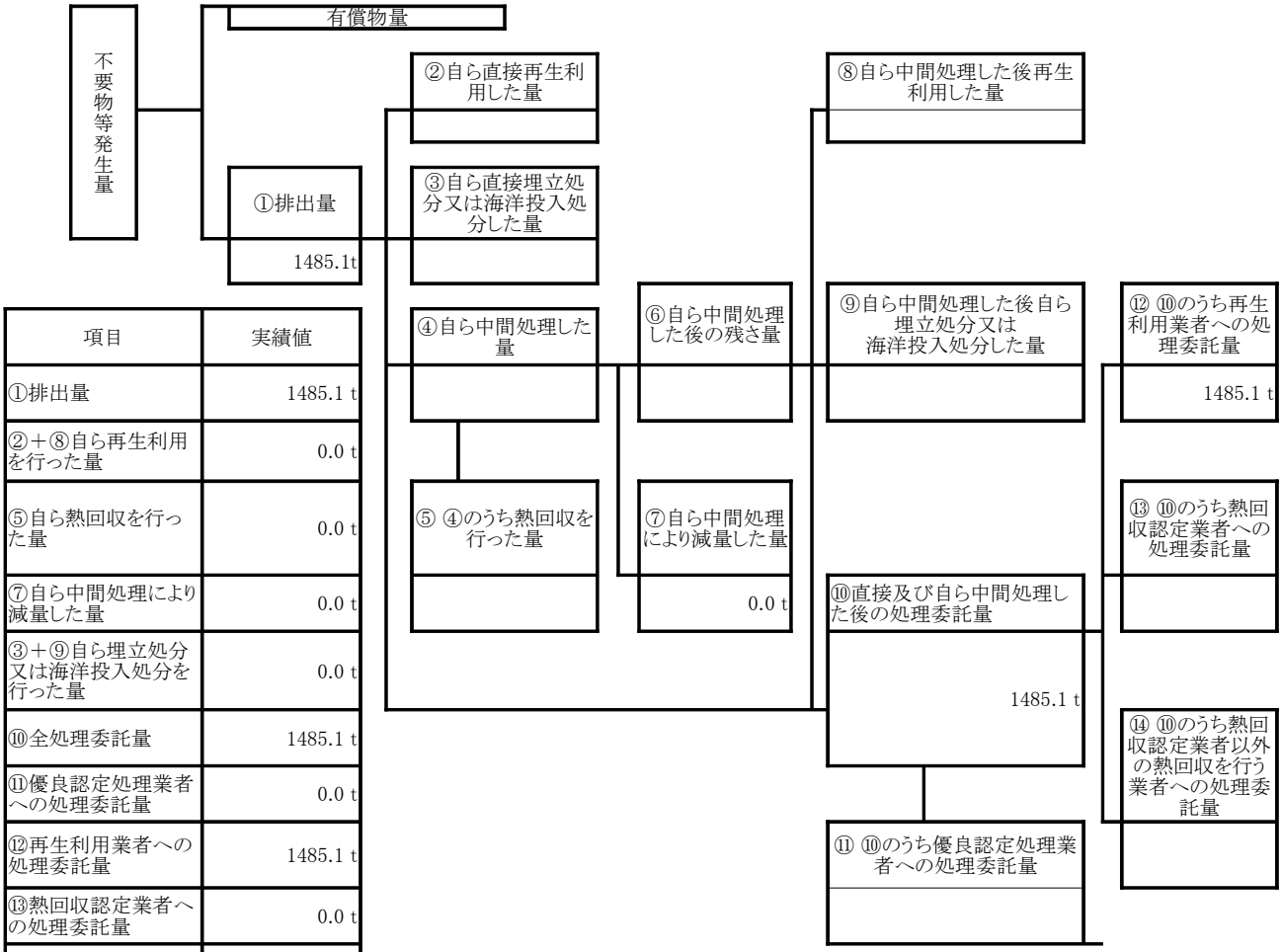
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

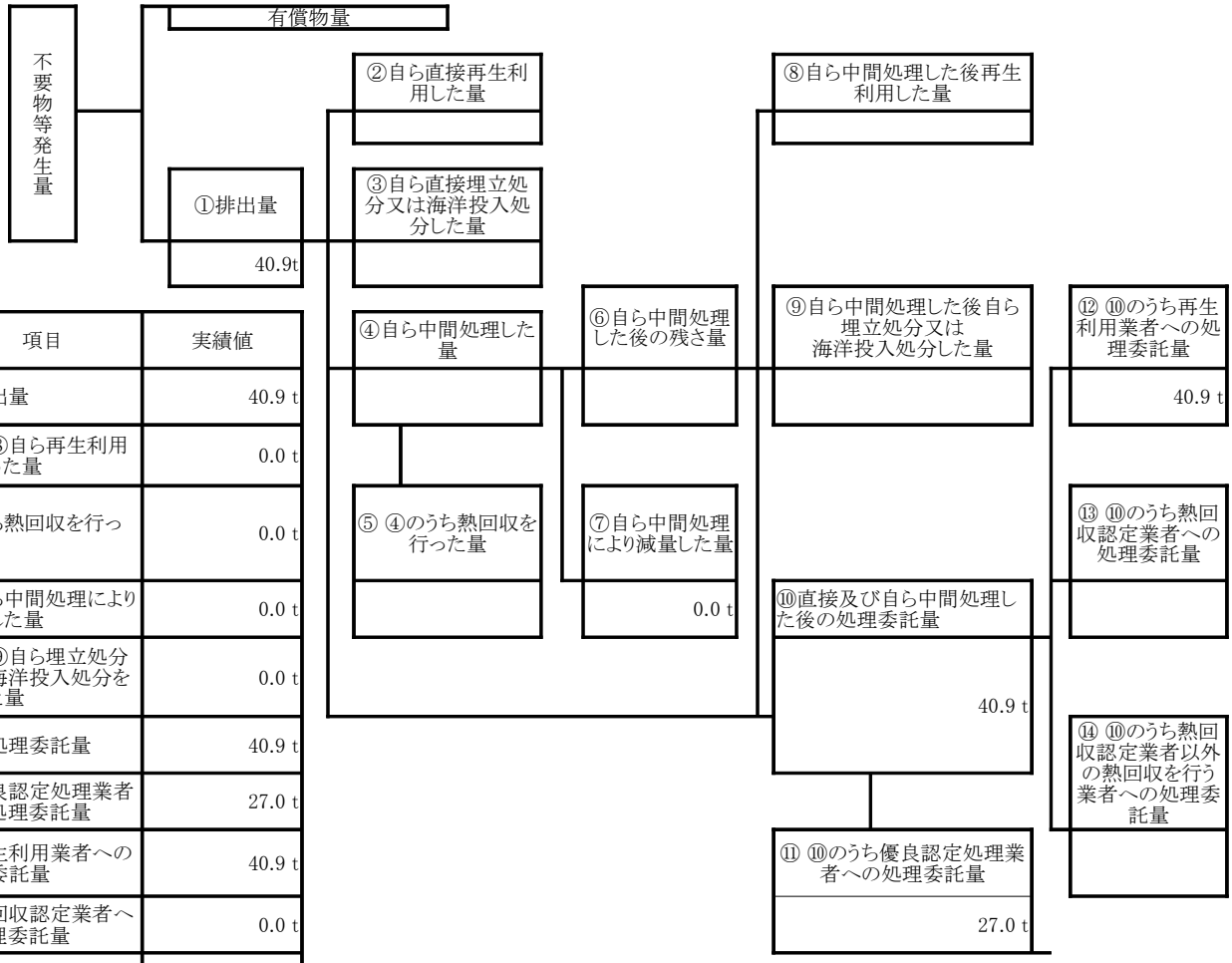


項目	実績値
①排出量	1485.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1485.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1485.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

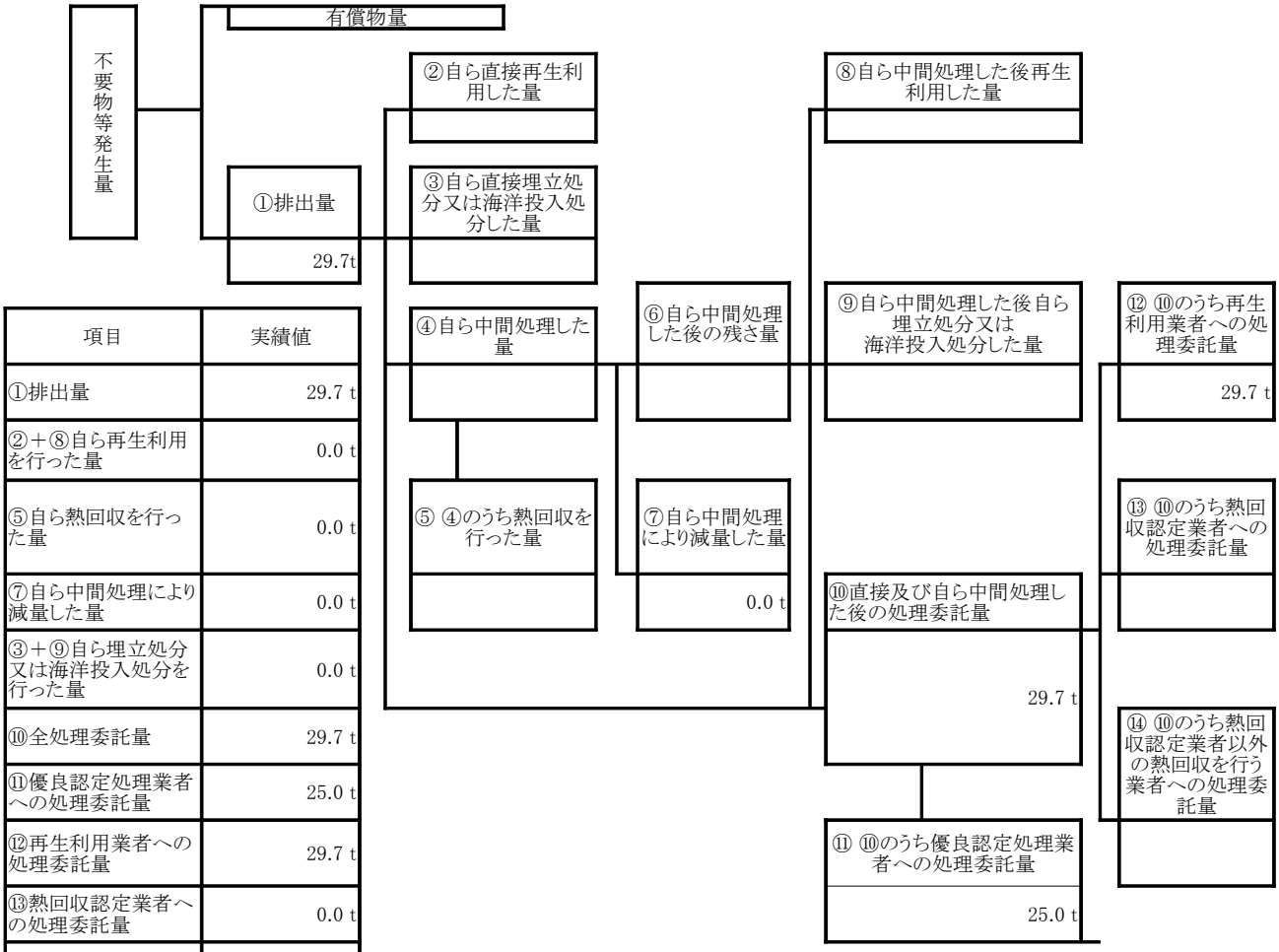


項目	実績値
①排出量	40.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

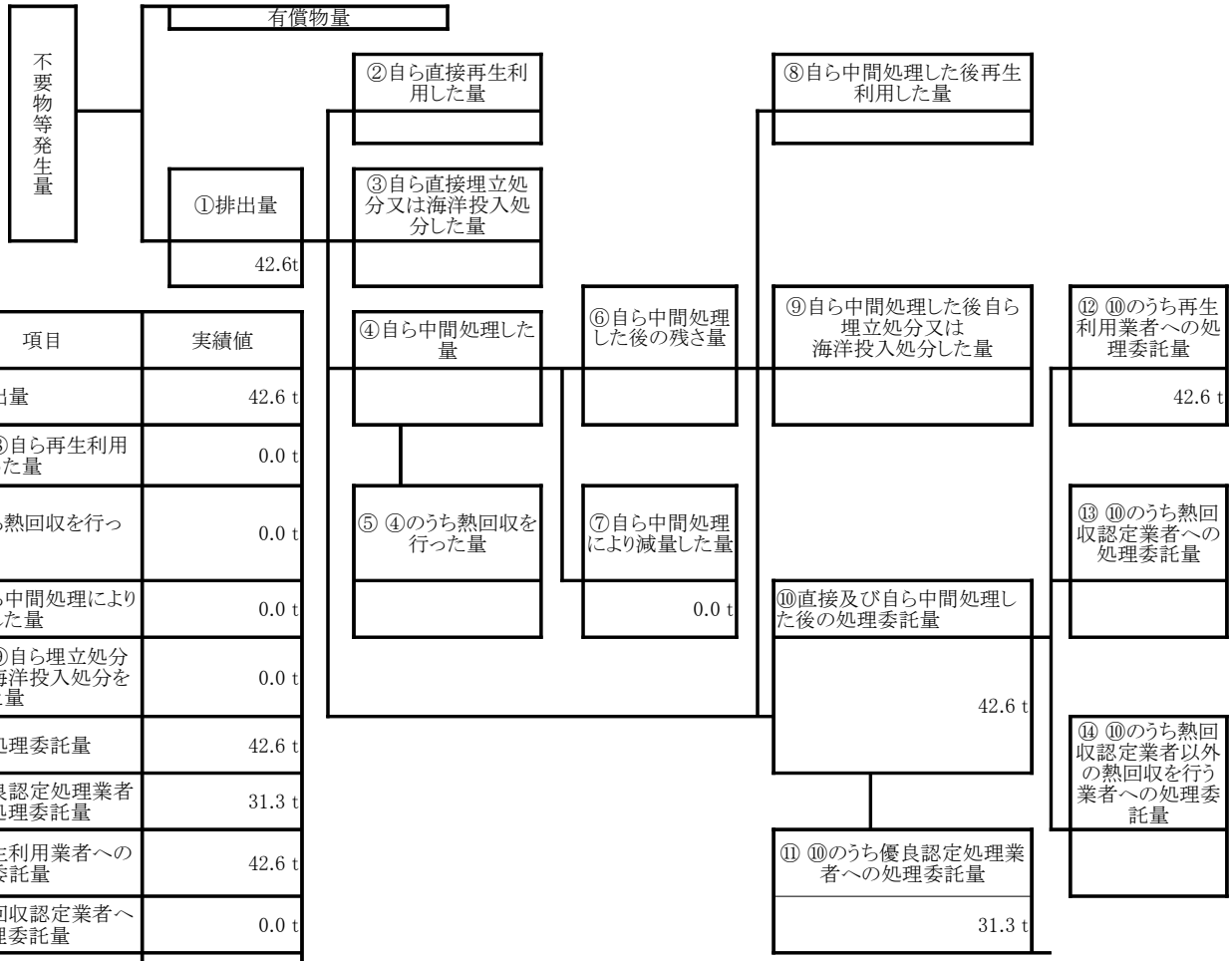


項目	実績値
①排出量	29.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



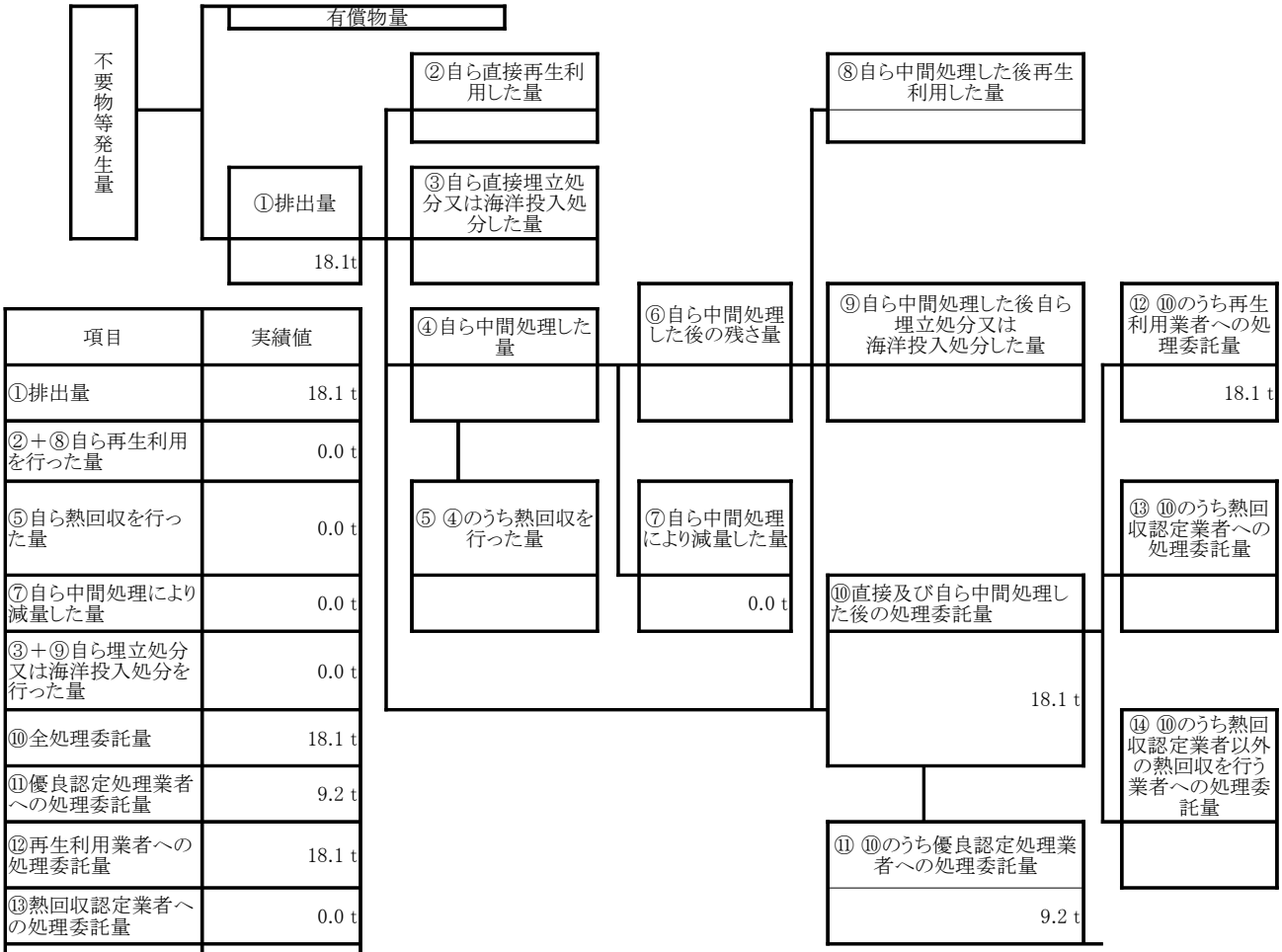
項目	実績値
①排出量	42.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	42.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	42.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

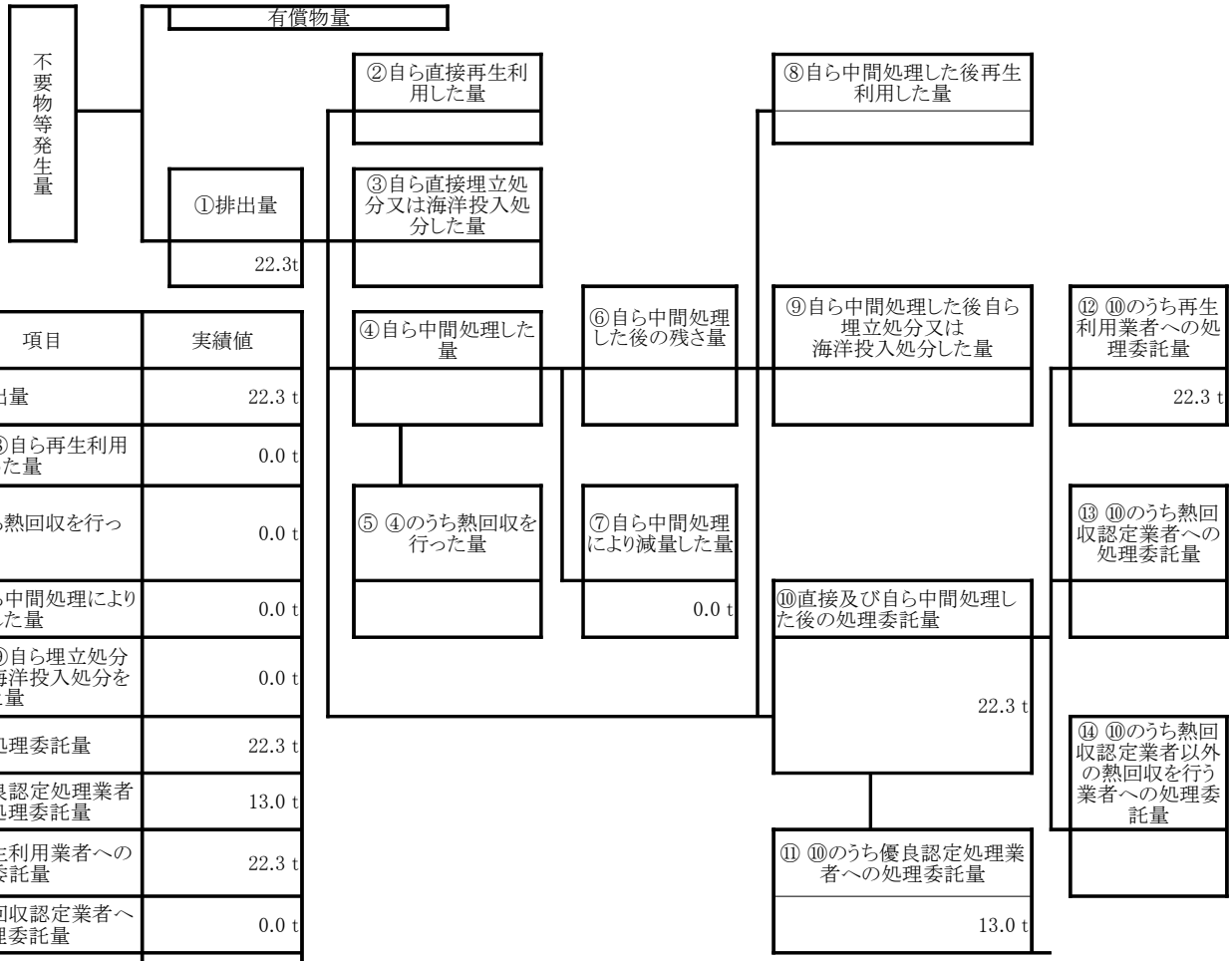


項目	実績値
①排出量	18.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス陶磁器等くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

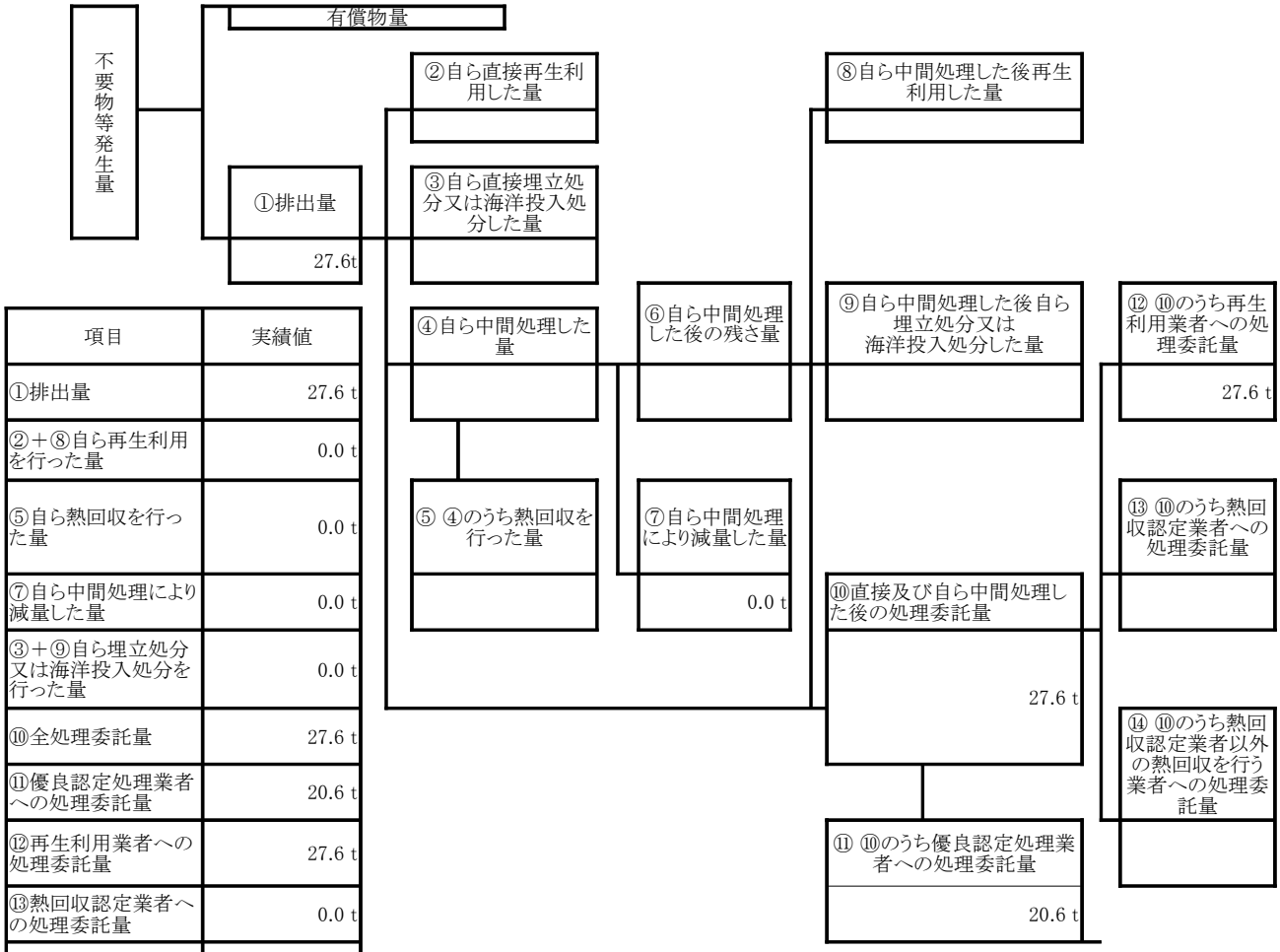


項目	実績値
①排出量	22.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

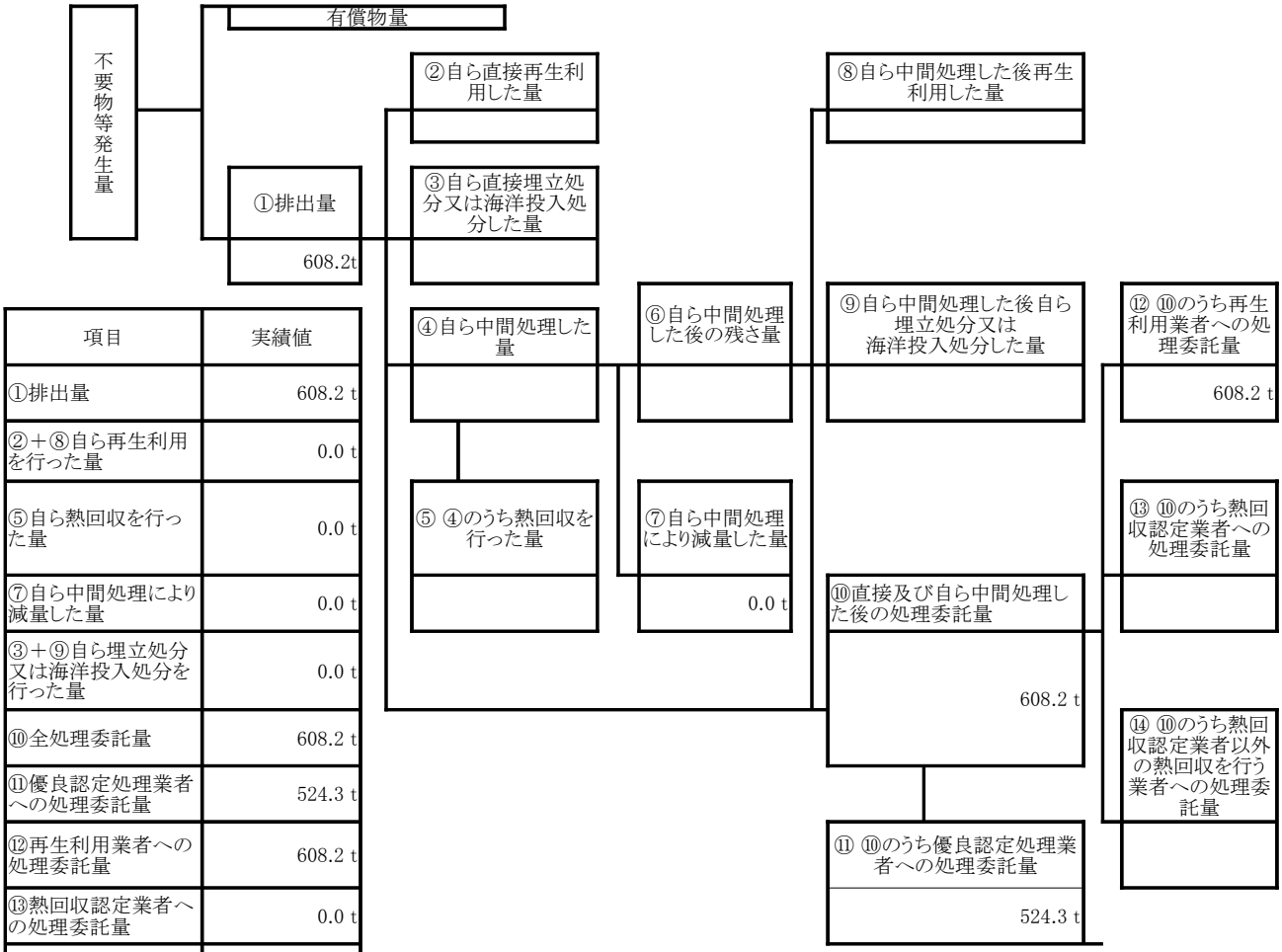


項目	実績値
①排出量	27.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



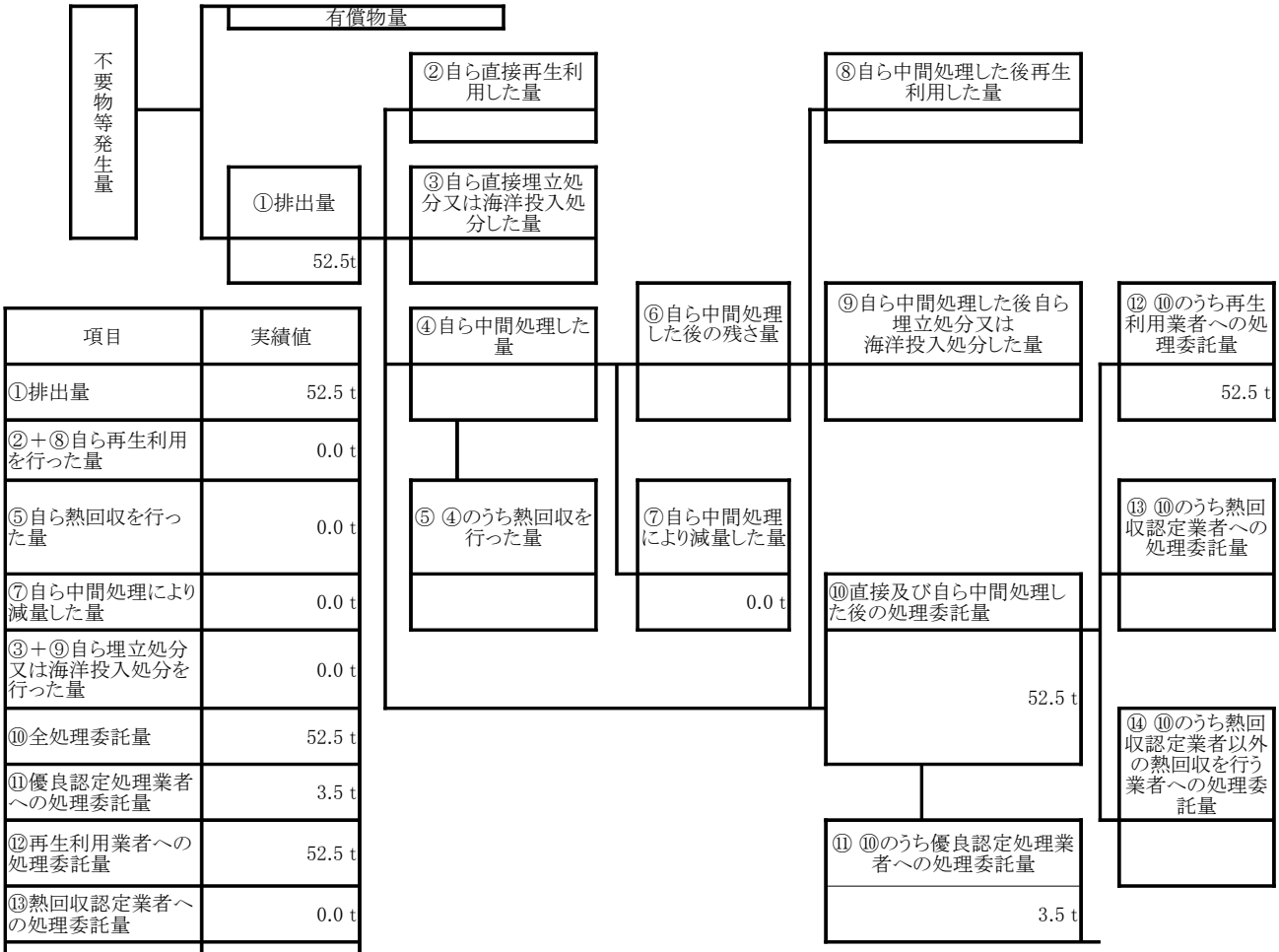
項目	実績値
①排出量	608.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	608.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	524.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	608.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

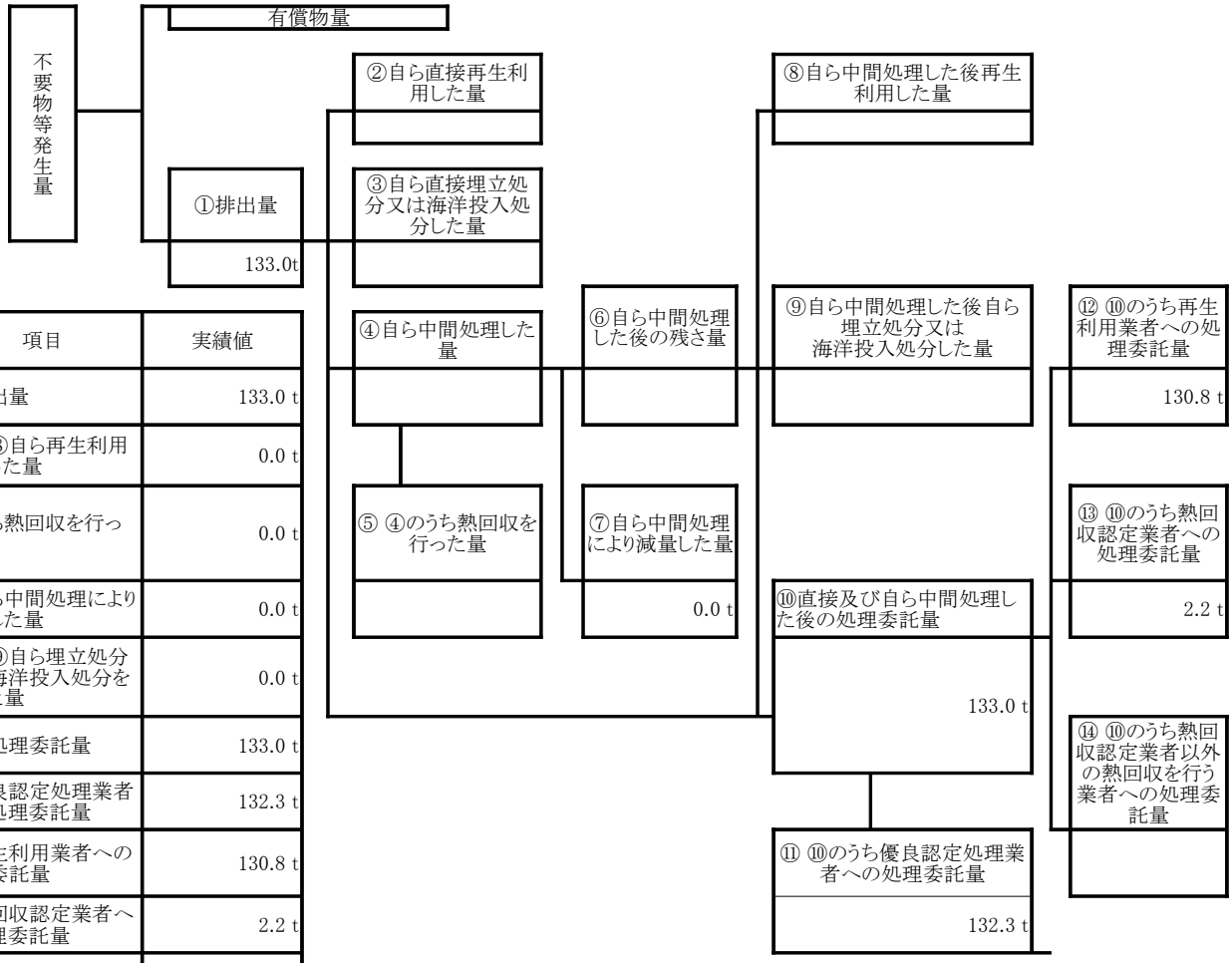


項目	実績値
①排出量	52.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	52.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	52.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

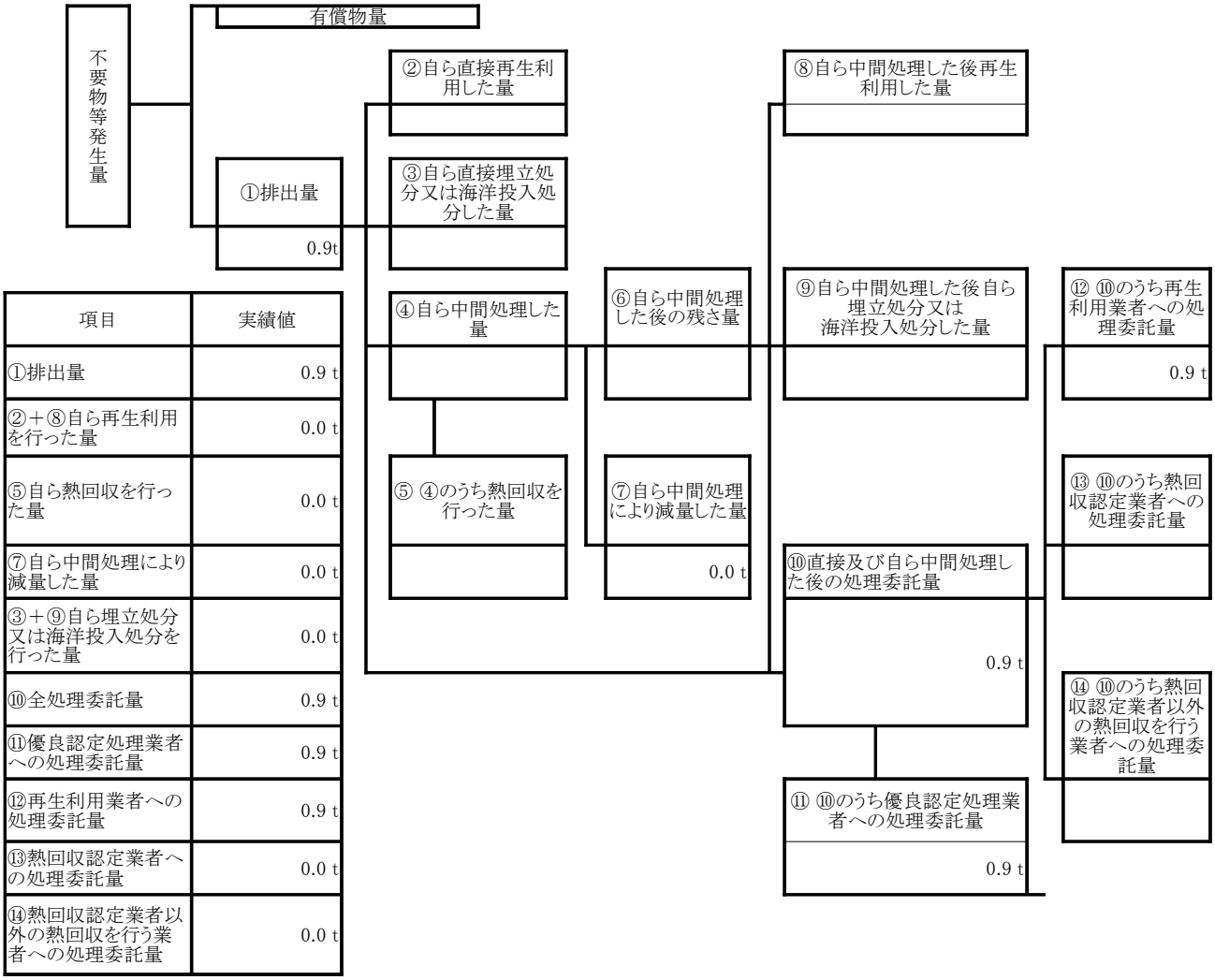


項目	実績値
①排出量	133.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	133.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	130.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**建設混合廃棄物(安定型)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

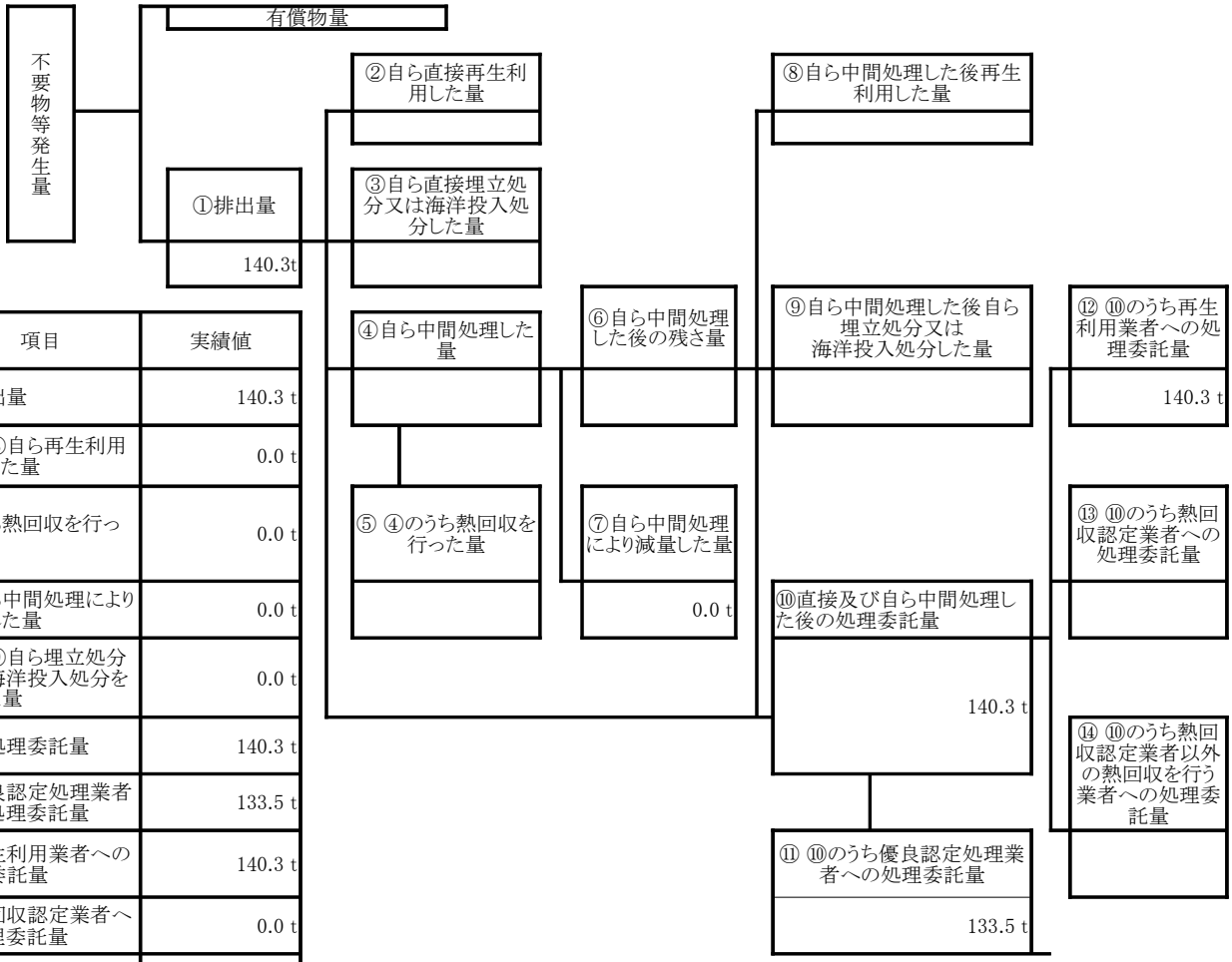


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物(管理型)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



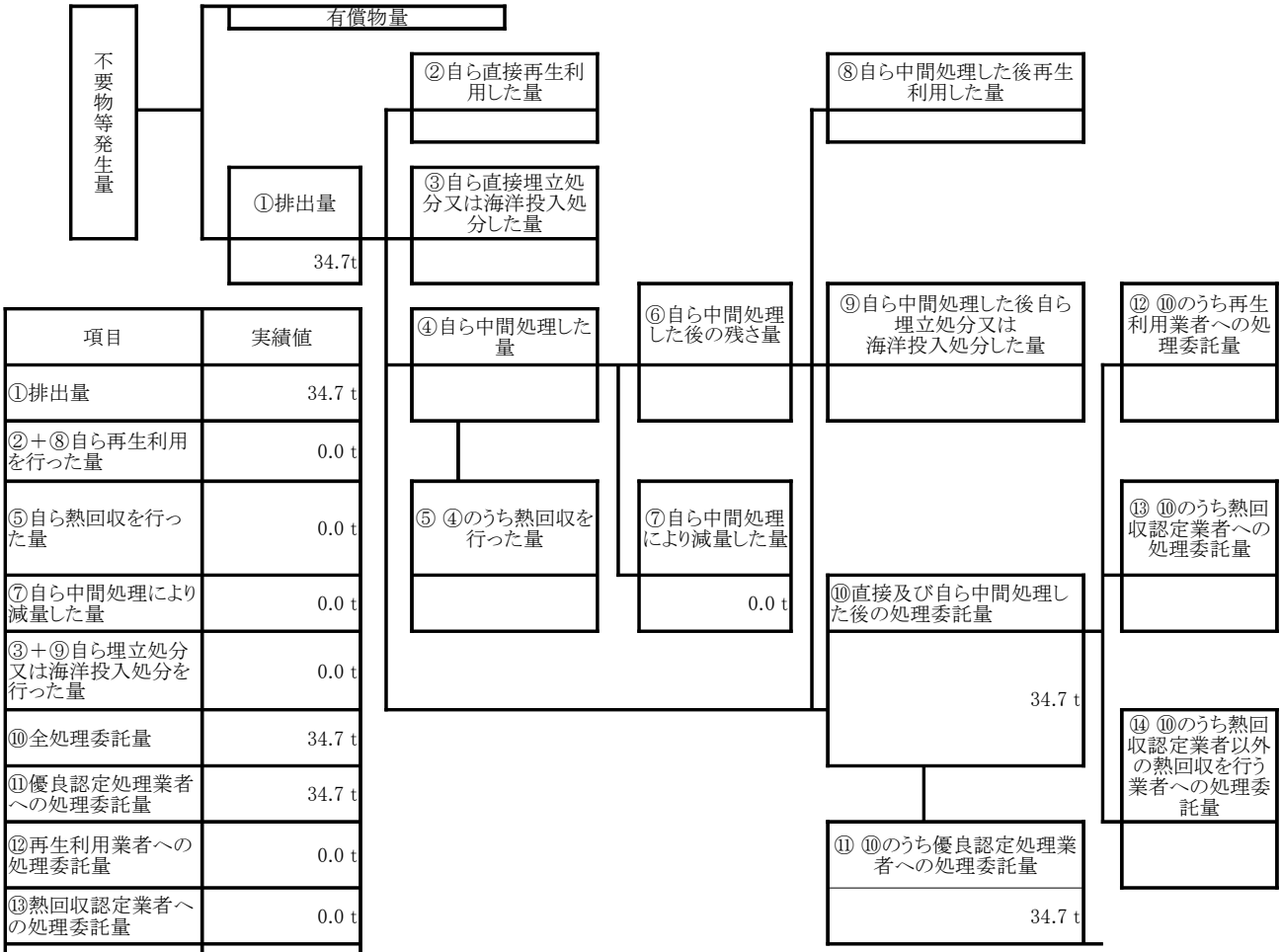
項目	実績値
①排出量	140.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	140.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	133.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	140.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有産業廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	34.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	34.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月22日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　123-0863

住所 東京都足立区谷在家1-8-3

法人名 麻生土木株式会社

代表者 麻生 雅光

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3896-2293

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	麻生土木株式会社
事業場の所在地	東京都足立区谷在家1－8－3
事業の種類	大分類　職別工事業　中分類
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

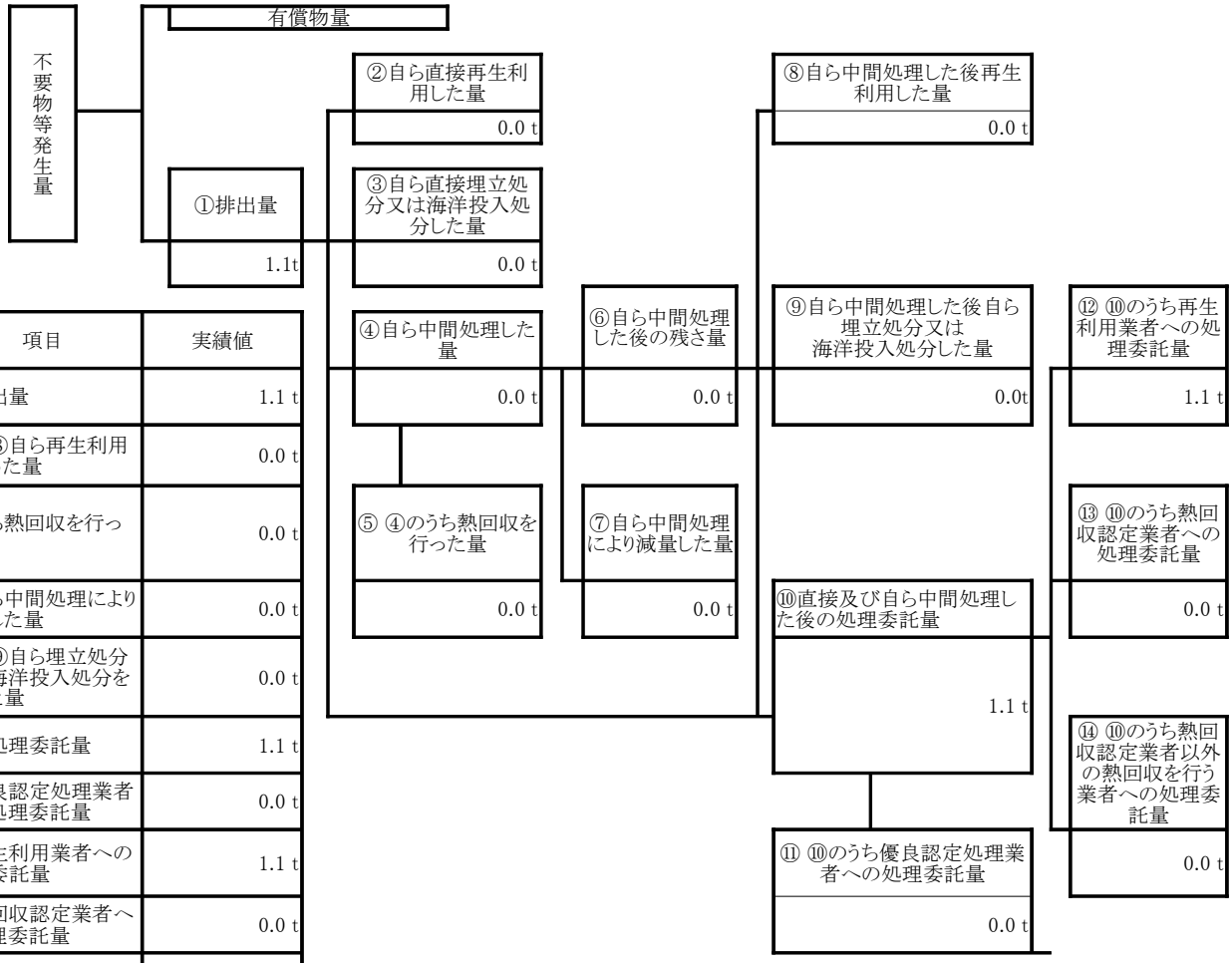
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,191.99 t	全処理委託量	1,191.99 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,012.32 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,176.26 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

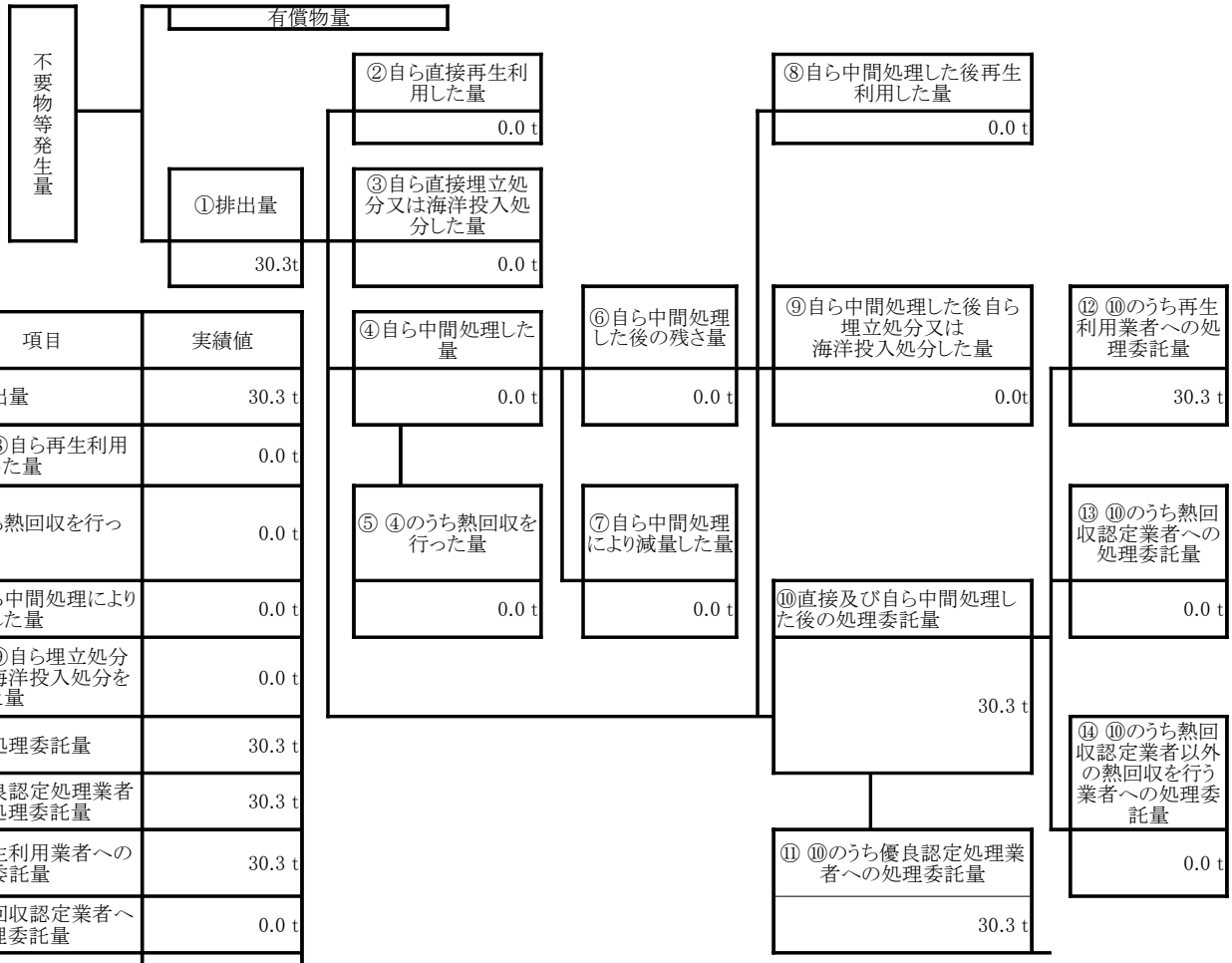


項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

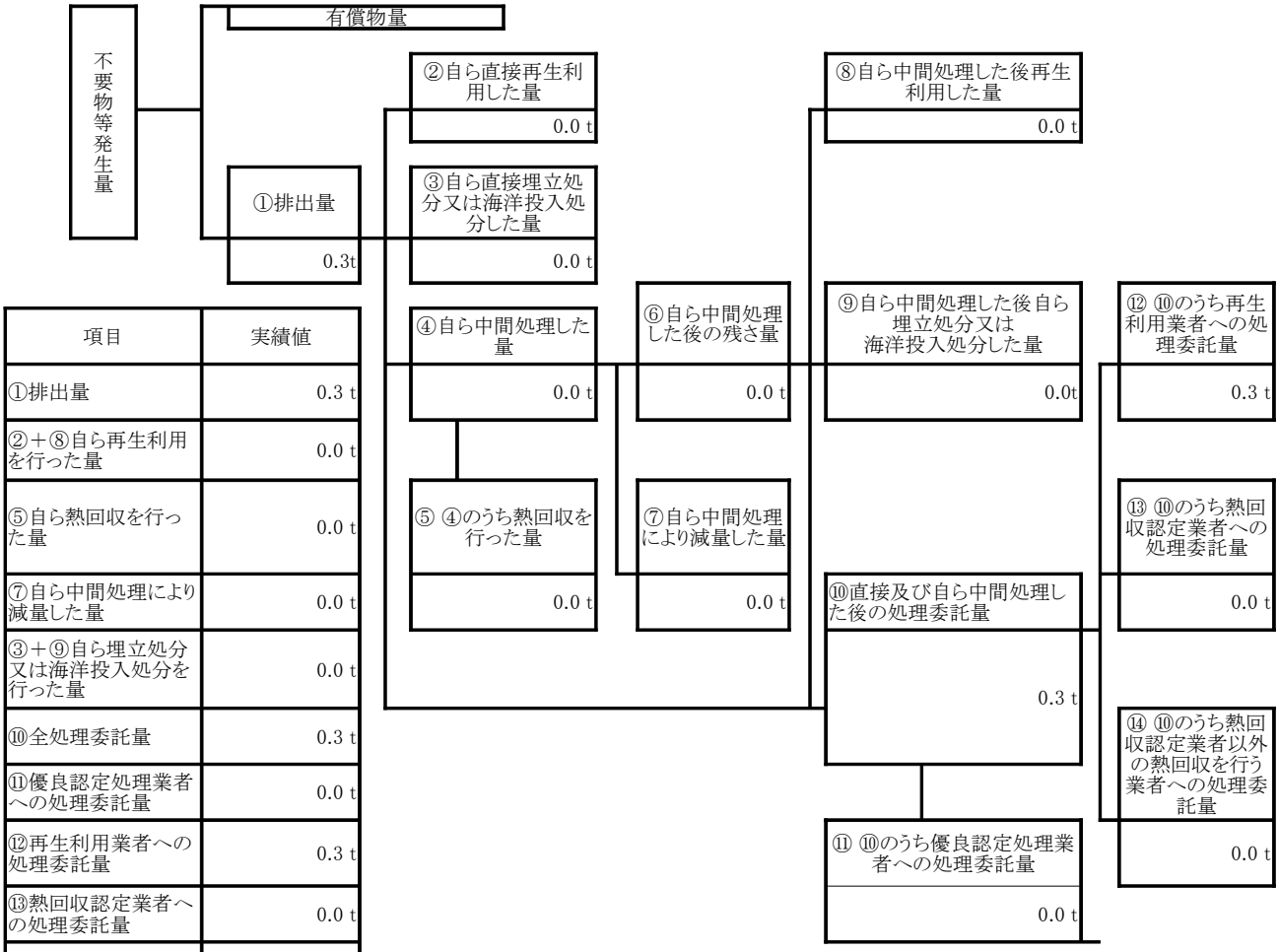


項目	実績値
①排出量	30.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

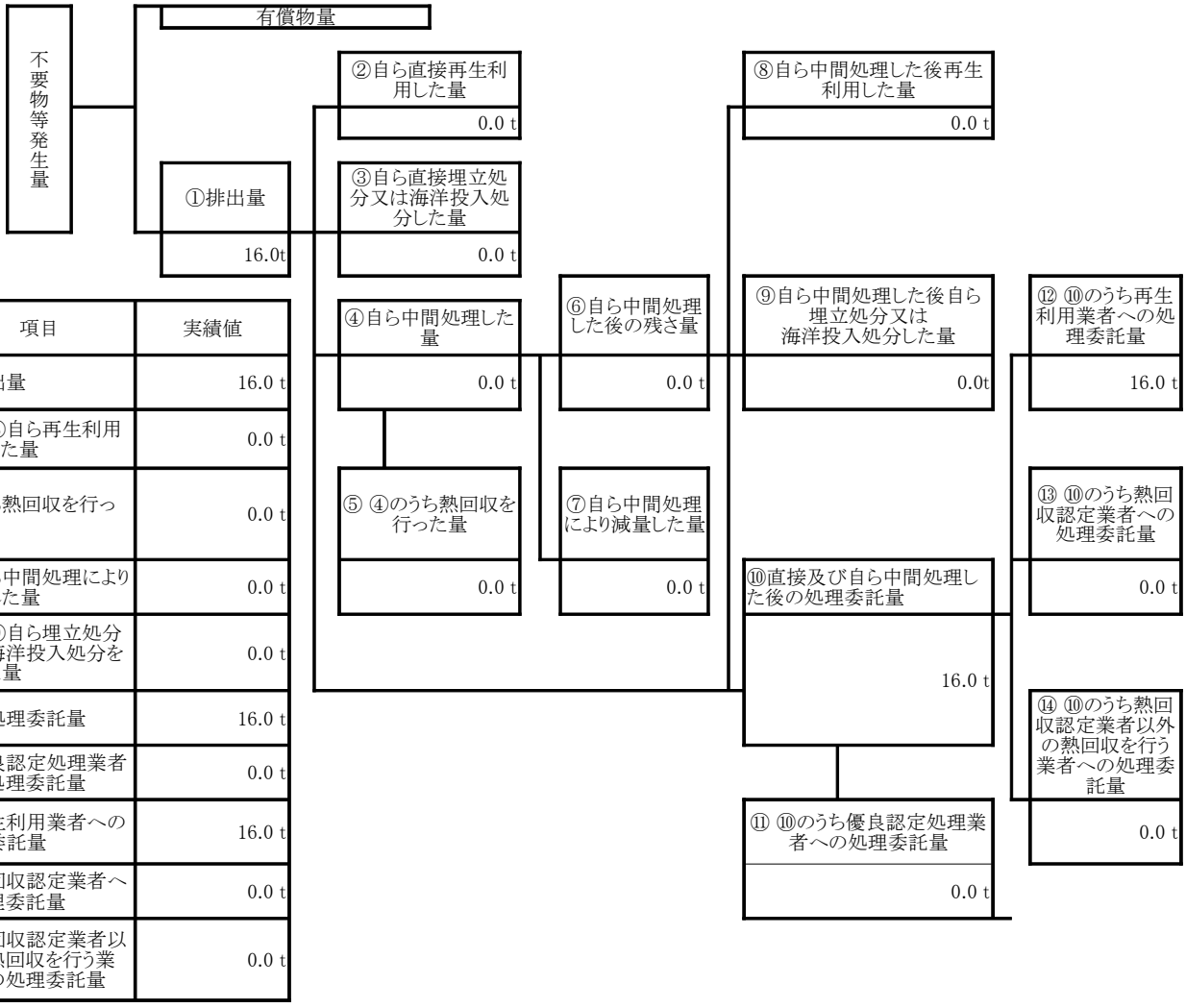


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ガラス陶磁器等くず　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

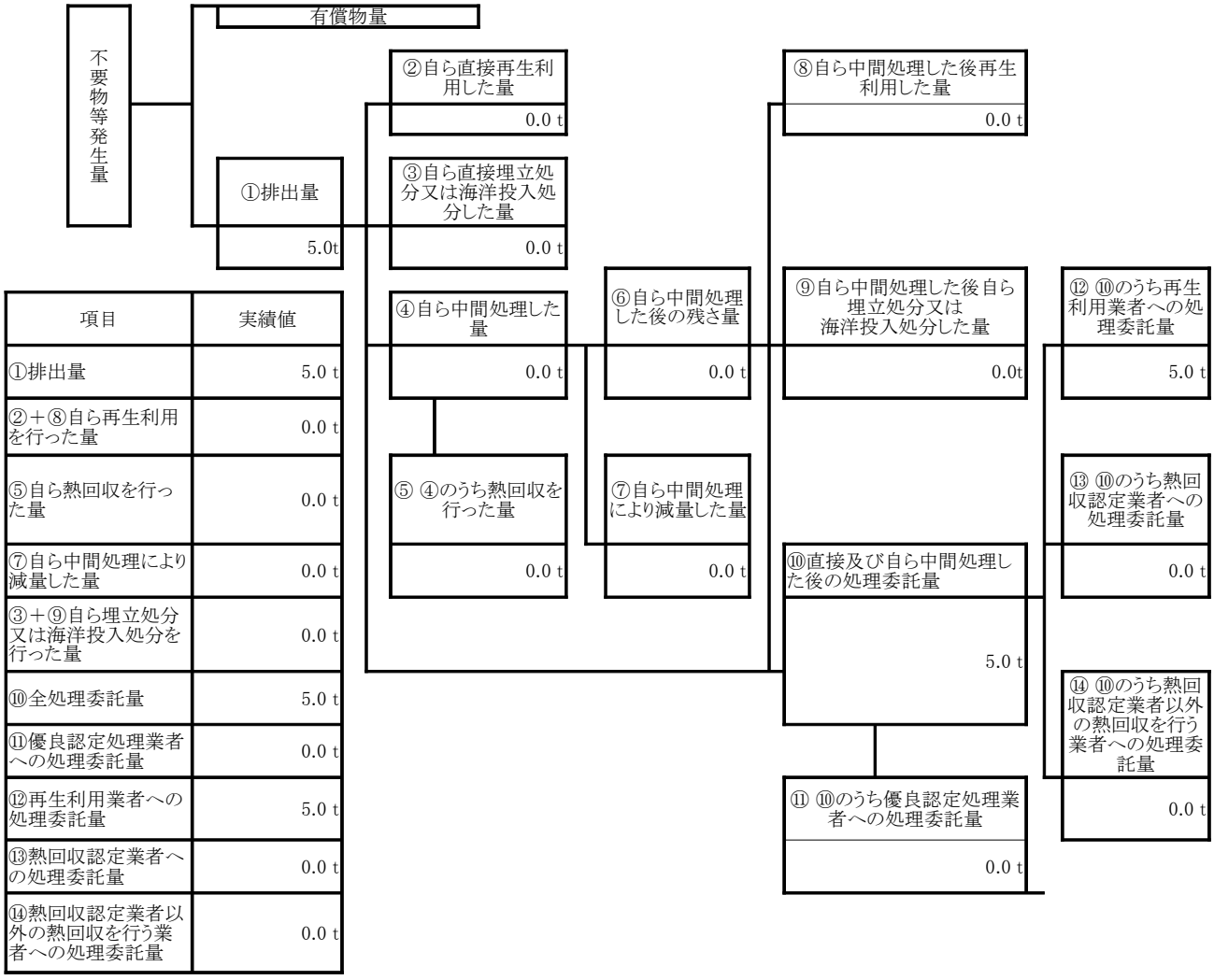


項目	実績値
①排出量	16.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



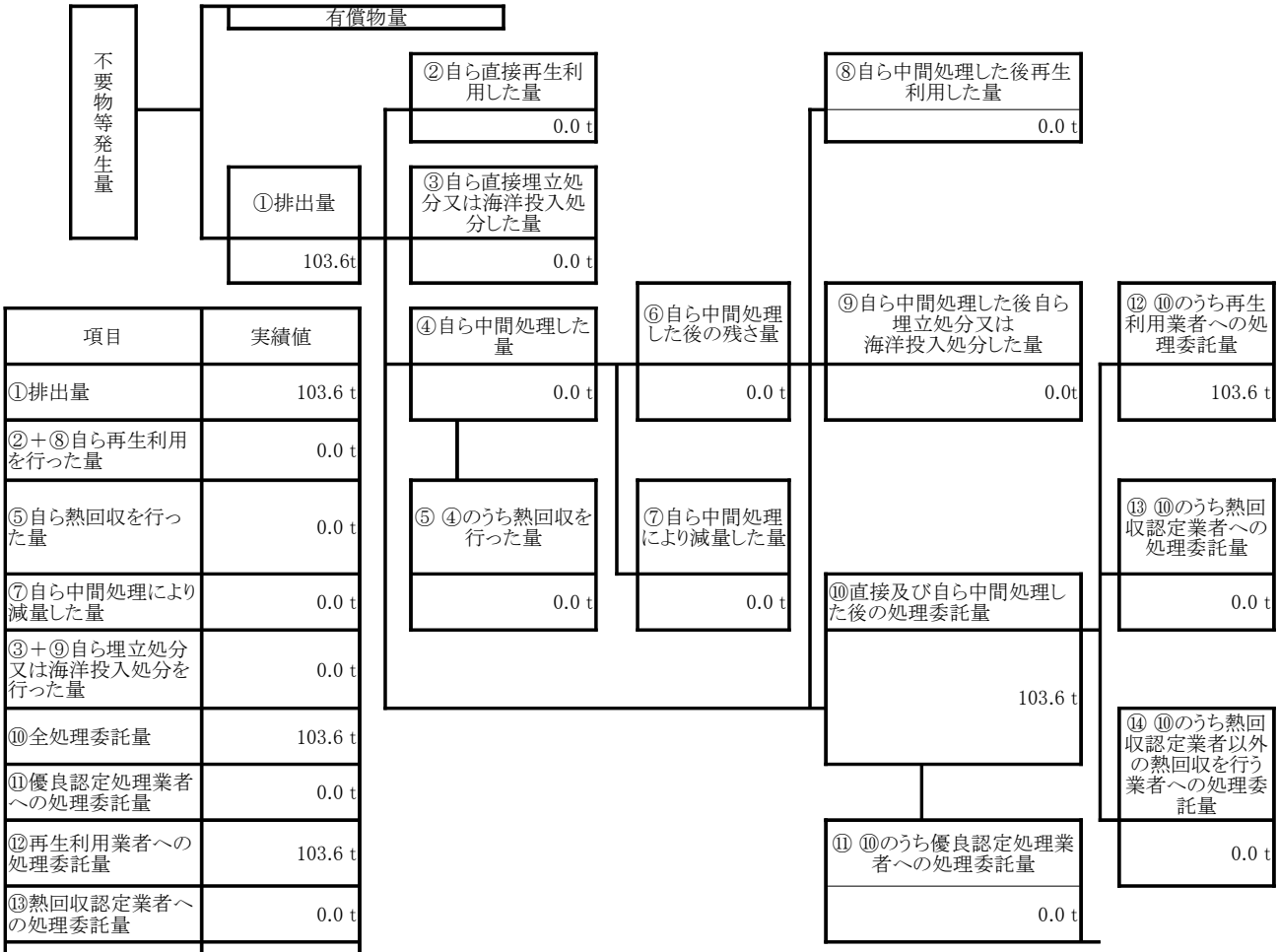
項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

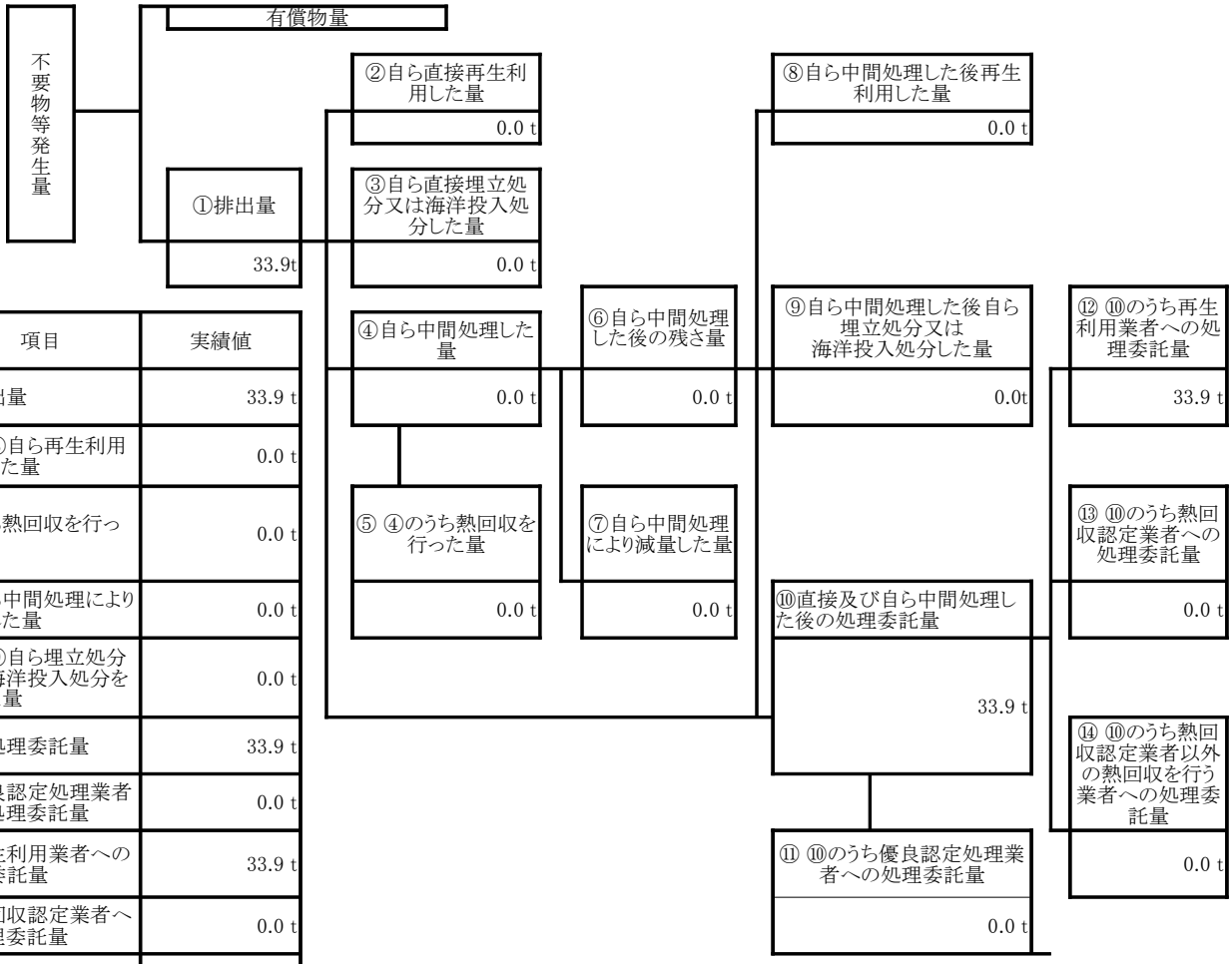


項目	実績値
①排出量	103.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	103.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

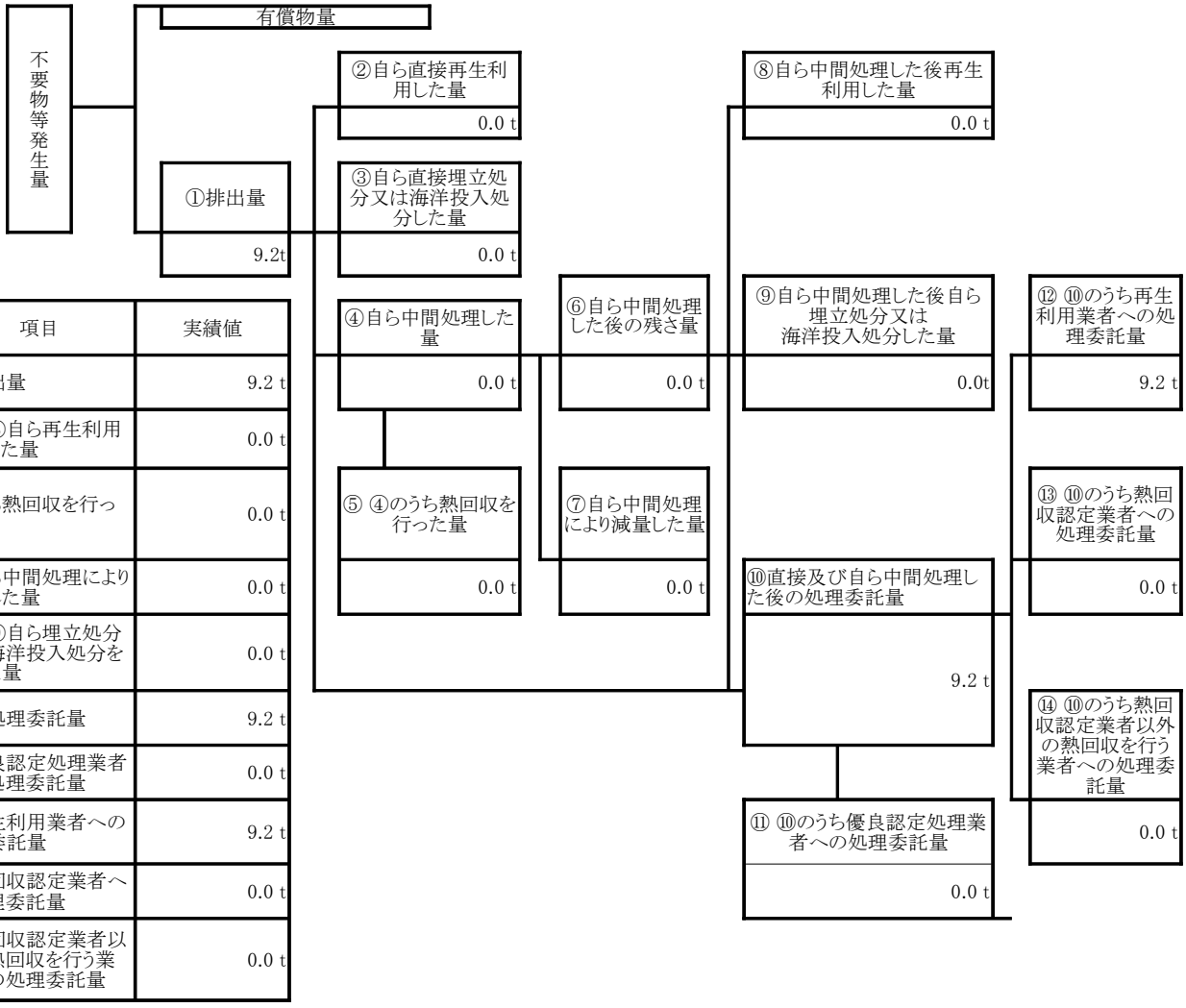


項目	実績値
①排出量	33.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

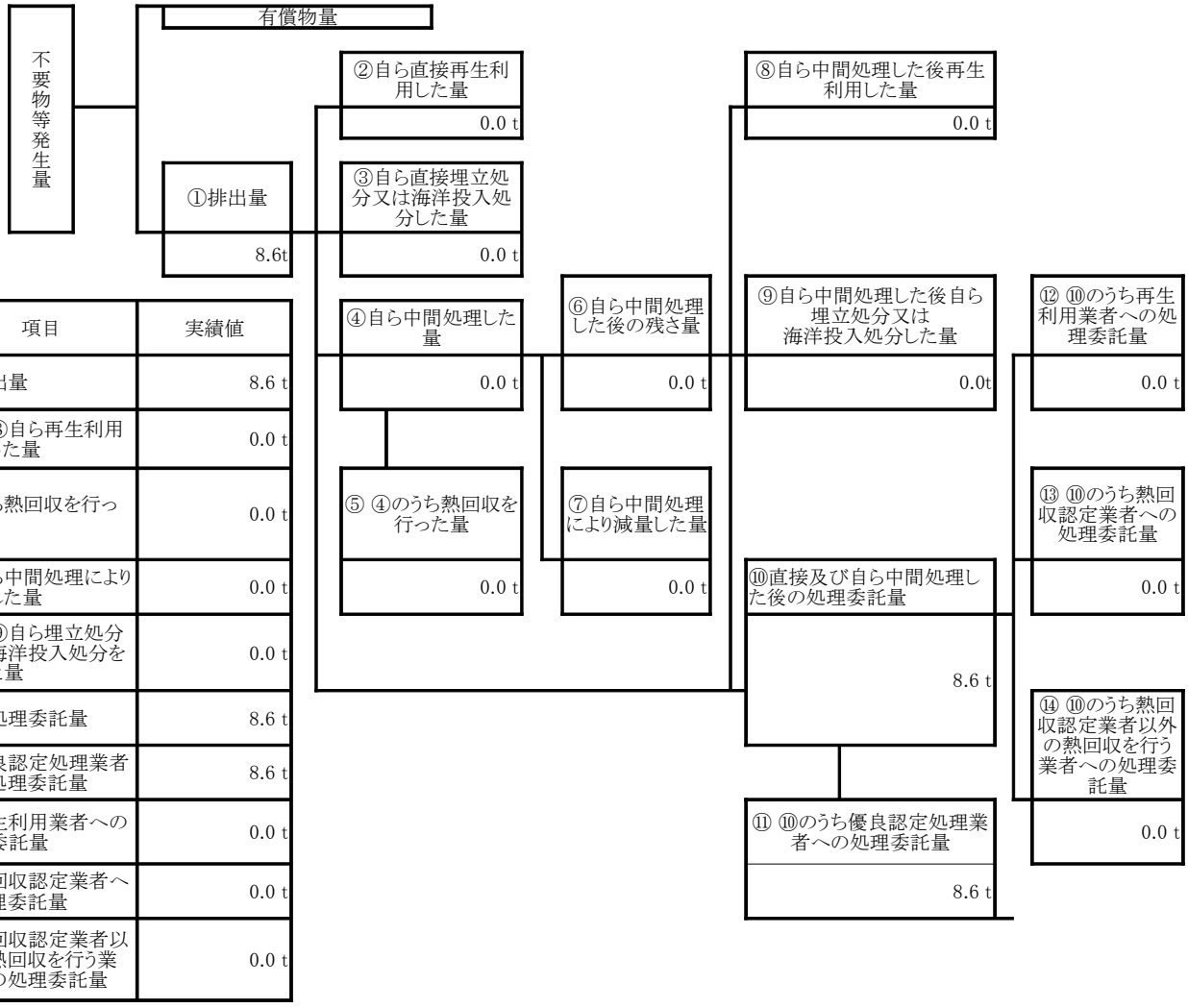


項目	実績値
①排出量	9.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	8.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

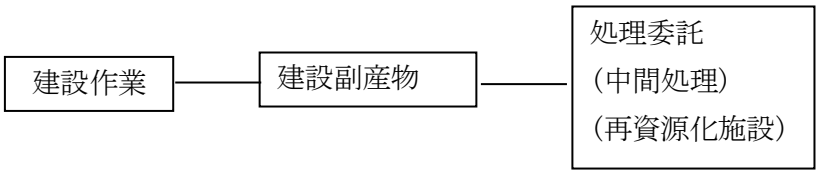
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　〒289-1726
住　所　　千葉県山武郡横芝光町木戸10110
氏　名　　株式会社　畔蒜工務店
　　代表取締約　畔蒜 義文
電話番号　0479-84-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　畔蒜工務店
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町木戸10110
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

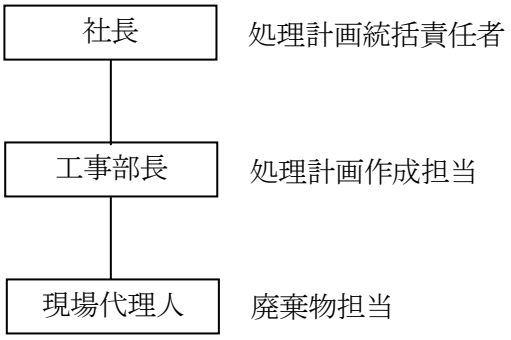
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　52億円
③従業員数	91人(正社員　81人、常勤関係職員　10人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	－	－
	排　　出　　量	－	－
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	－	－
	排　　出　　量	－	－
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 一定量のある廃棄物（石膏ボード・木くず・紙くず・金属くず） については、分別し中間処理業者へ委託している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物に混入する、木くず・紙くず(段ボール)・金属くず などを分別し廃棄物の数量抑制に努める。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で再生利用を行ったことはない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き再生利用を行う予定はない</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>―</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き中間処理を行う予定はない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ/ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	がれき類(石綿含有)	汚泥	汚泥(特別管理産業廃棄物	紙屑	木屑	繊維屑	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
排出量	518.80t	664.10t	85.70t	35.50t	144.00t	0.20t	0.90t	235.60t	0.60t	29.10t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ/ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	がれき類(石綿含有)	汚泥	汚泥(特別管理産業廃棄物	紙屑	木屑	繊維屑	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
排出量	518.00t	664.00t	85.00t	35.00t	144.00t	0.20t	0.90t	235.00t	0.60t	29.00t

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
排出量	240.60t	5.20t	0.003t							1960.30

(これまでに実施した取組)
ある一定量の廃棄物(廃プラスチック類・紙屑・木屑・繊維屑・廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ)については、混合廃棄物を抑制する為、個々に分別処理を行った。
又、解体工事では、事前打ち合わにて分別解体に努める様呼び掛けた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
排出量	240.00t	5.00t	0.002t							1907.90t

(今後実施する予定の取組)

継続して、現場での一定量の廃棄物につては分別化に努める。混合廃棄物については、紙・木屑を取除き管理型混合廃棄物への排出量を抑える。

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ/ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	がれき類（石綿含有）	汚泥	汚泥（特別管理産業廃棄物	紙屑	木屑	繊維屑	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
全処理委託量	518.80t	664.10t	85.70t	35.50t	144.00t	0.20t	0.90t	235.60t	0.60t	29.10t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	10.60t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.90t	189.70t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
全処理委託量	240.60t	5.20t	0.003t							1960.30t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							10.60t
再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							190.60t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t

(これまでに実施した取組)
産業廃棄物の処理については、業者選定時再生利用業者への委託を検討。

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ/ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	がれき類(石綿含有)	汚泥	汚泥(特別管理産業廃棄物	紙層	木層	繊維層	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
全処理委託量	518.00t	664.00t	85.00t	35.00t	144.00t	0.20t	0.90t	235.00t	0.60t	29.00t
優良認定処理業者への処理委託量	52.00t	66.00t	9.00t	4.00t	14.00t	0.20t	0.10t	24.00t	0.10t	3.00t
再生利用業者への処理委託量	155.00t	199.00t	26.00t	11.00t	43.00t	0.10t	0.30t	71.00t	0.20t	9.00t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
全処理委託量	240.00t	5.00t	0.002t							1956.70t
優良認定処理業者への処理委託量	24.00t	1.00t	0.00t							197.40t
再生利用業者への処理委託量	72.00t	2.00t	0.00t							588.60t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t

(今後実施する予定の取組)
産業廃棄物の処理については、県登録の再生利用業者の委託量を上げ、継続して産業廃棄物の抑制・分別化を強化する。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒289-1726
住 所　千葉県山武郡横芝光町木戸10110
氏 名　株式会社 畔蒜工務店
代表取締役 畔蒜 義文
電話番号 0479-84-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 畔蒜工務店
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町木戸10110
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

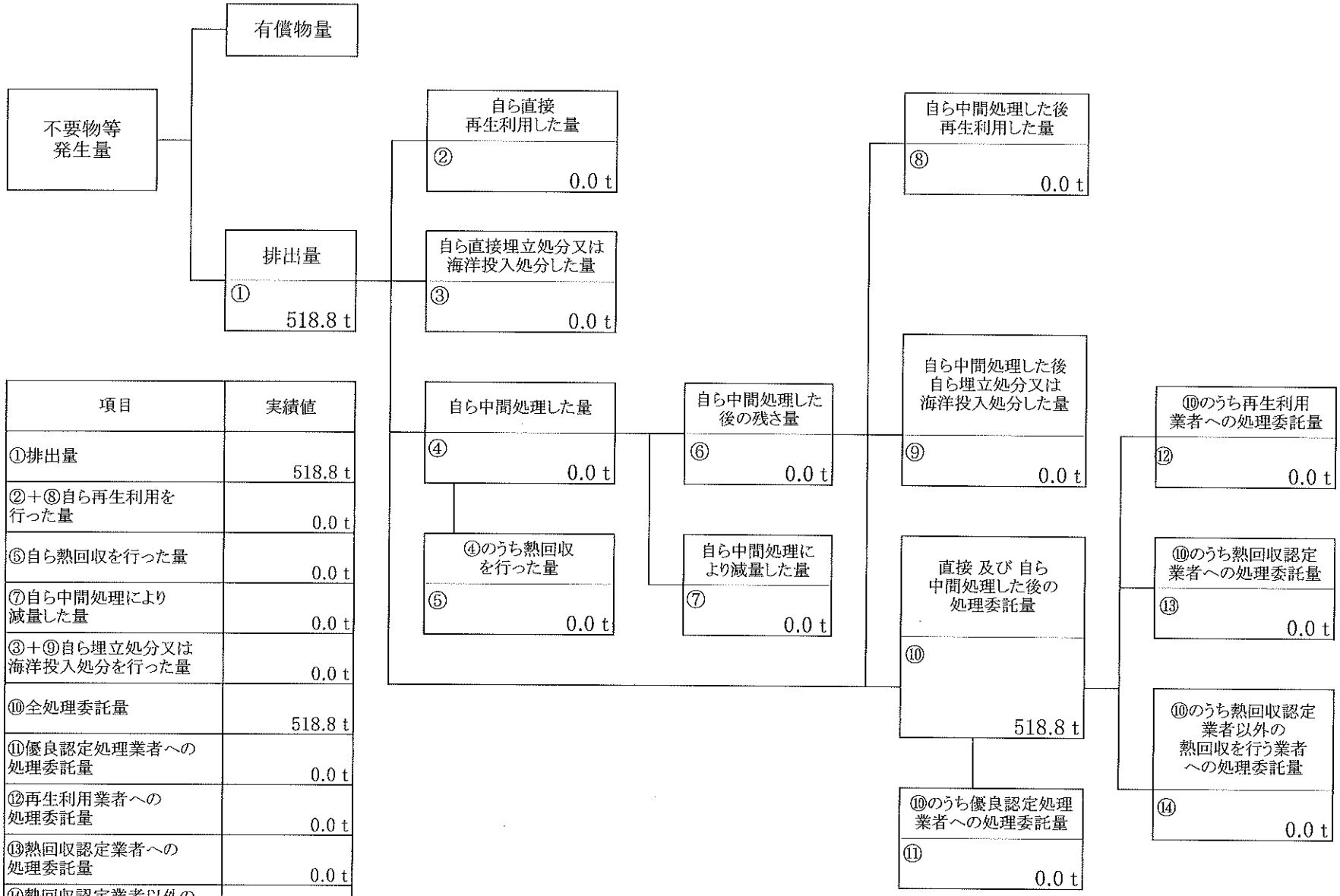
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11882.1 t	全処理委託量	11882.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1154.9 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3465.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート殻　）

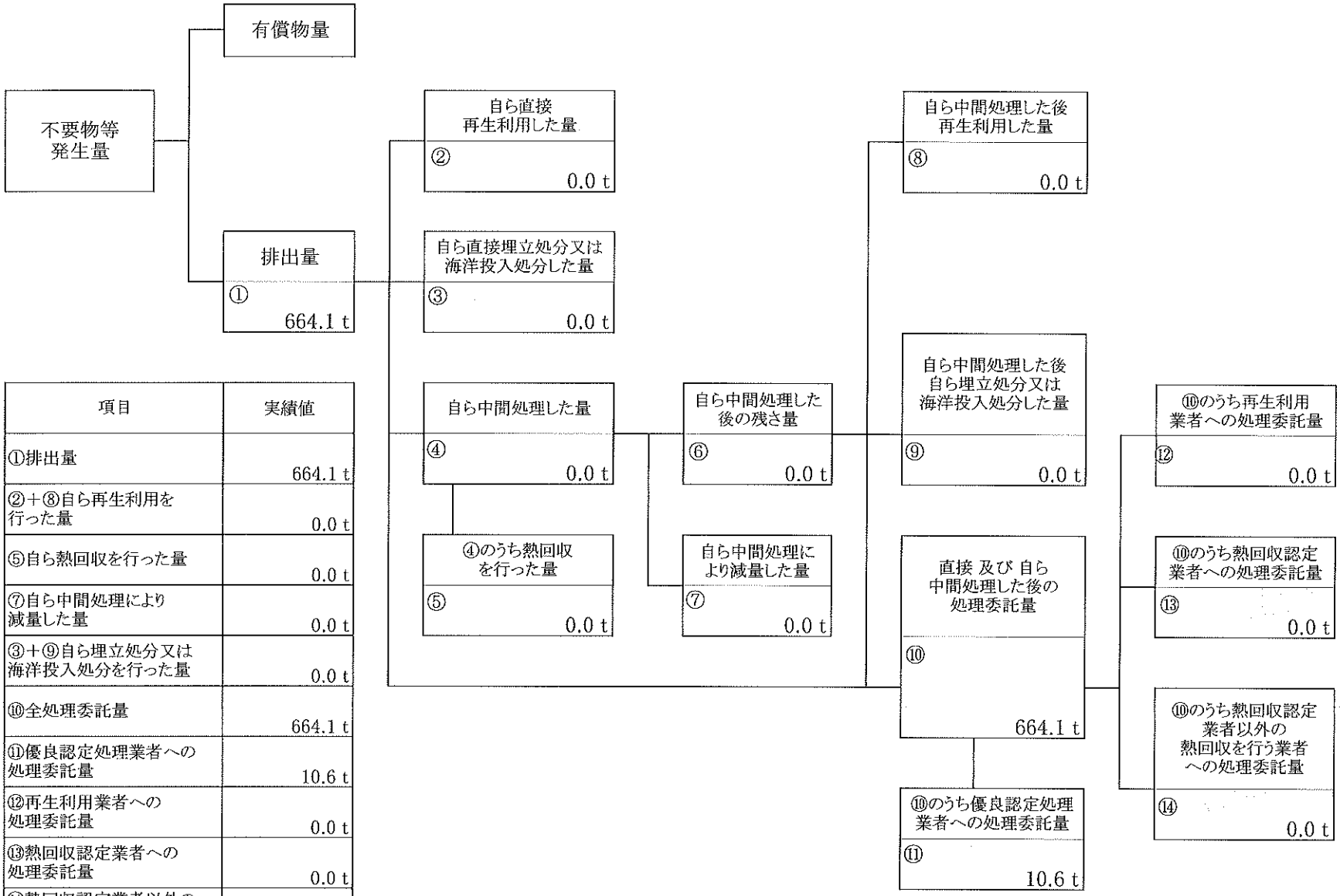


項目	実績値
①排出量	518.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	518.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリート殻　）

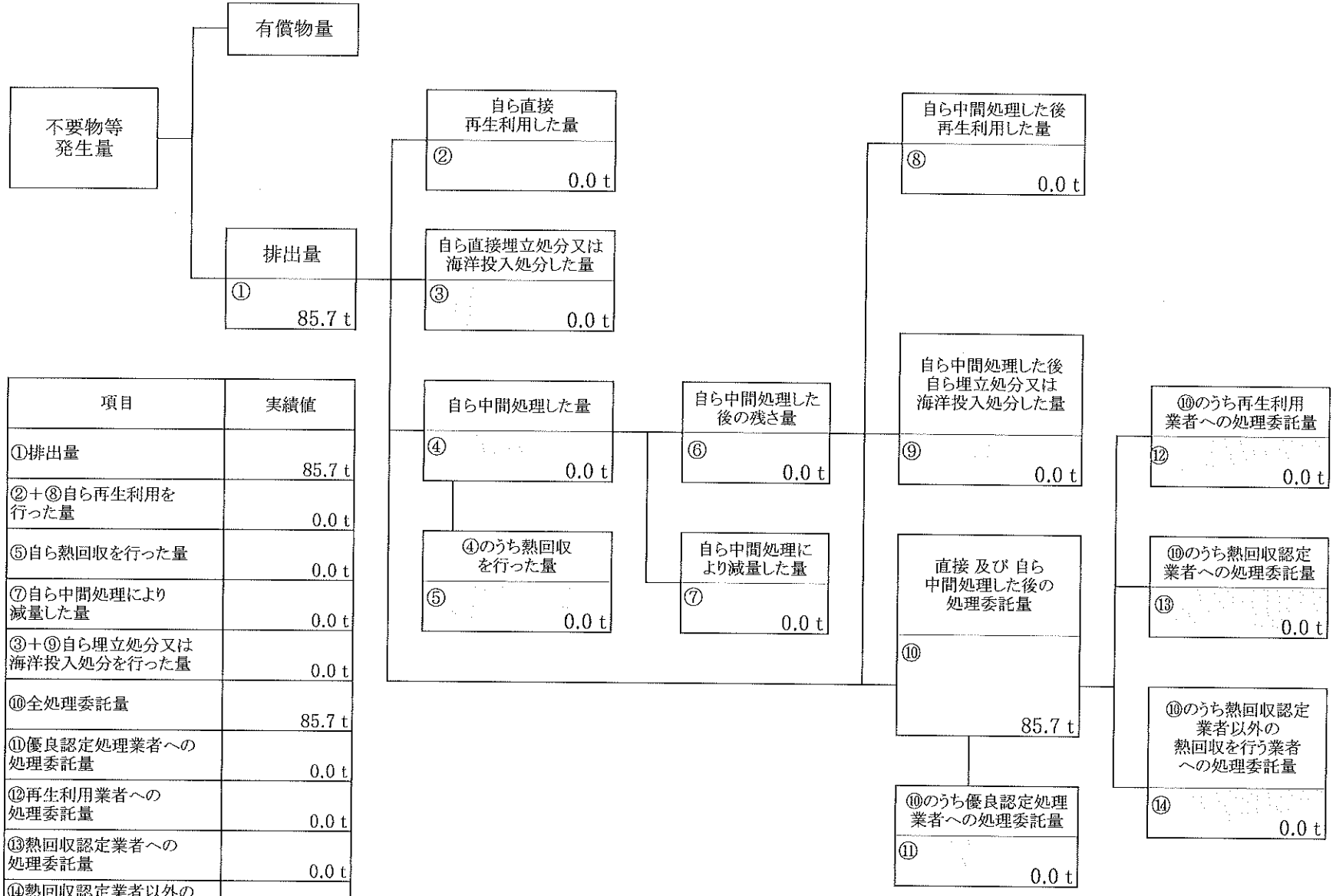


項目	実績値
①排出量	664.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	664.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

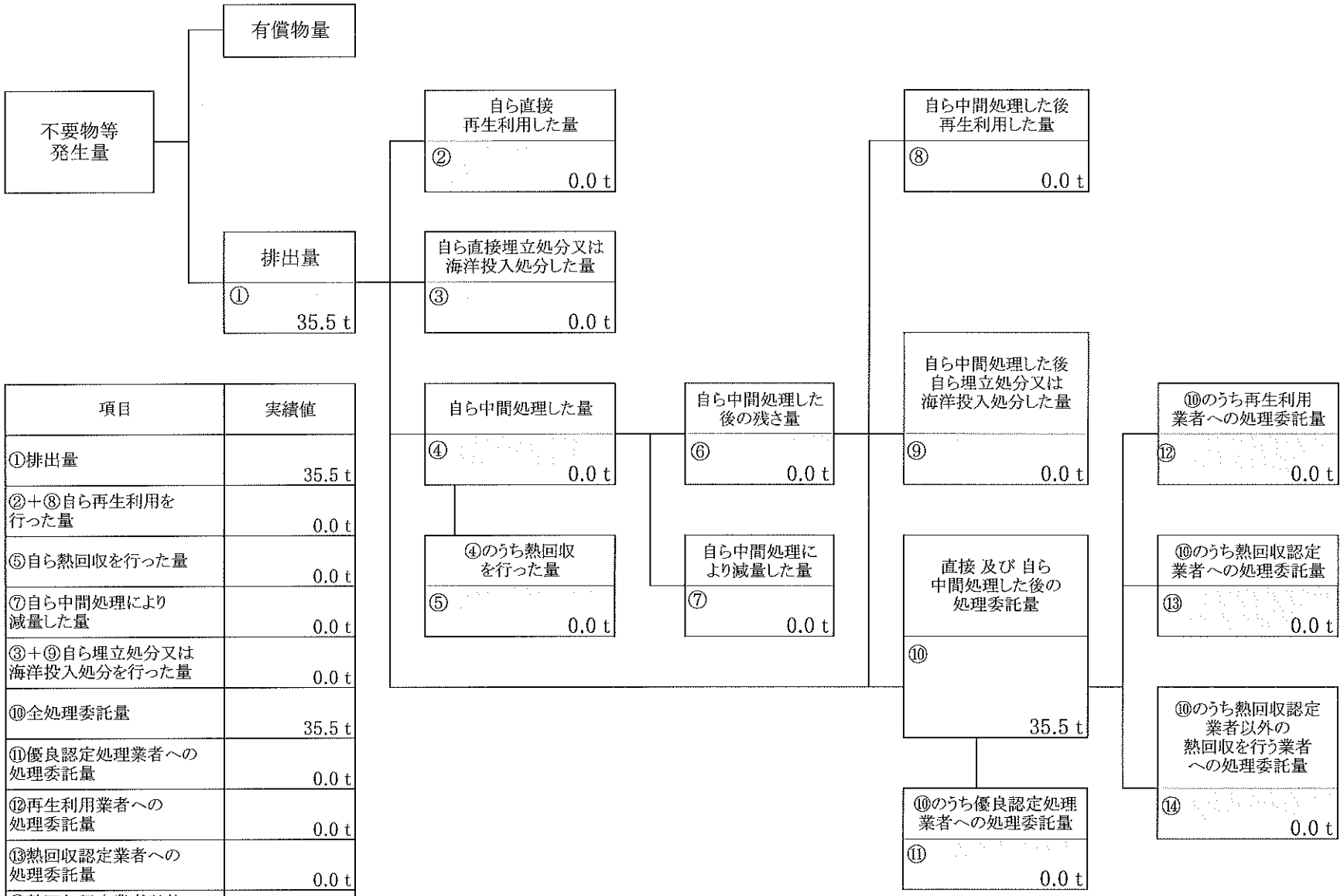


項目	実績値
①排出量	85.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　がれき類(岩綿含有)　　）

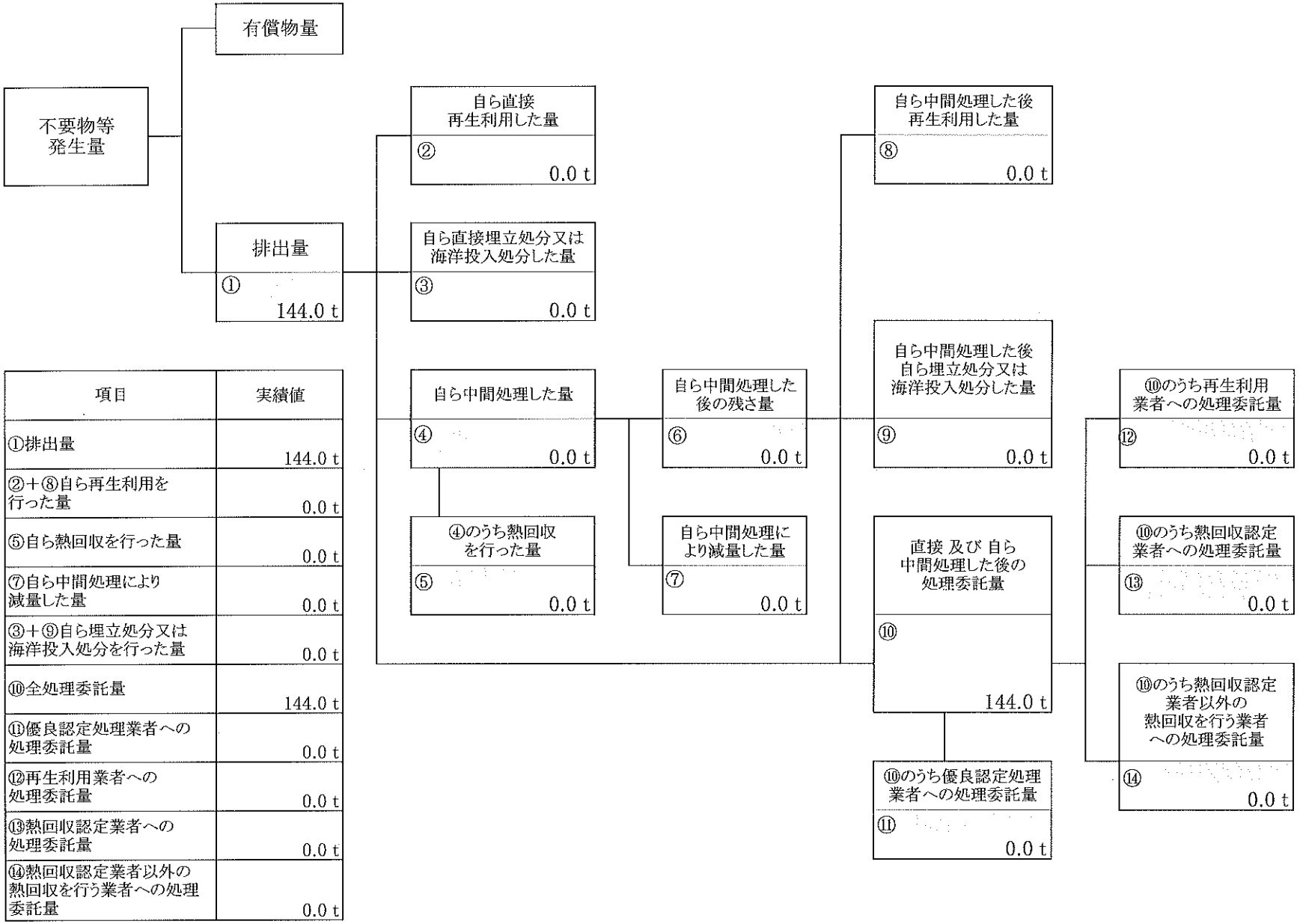


項目	実績値
①排出量	35.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

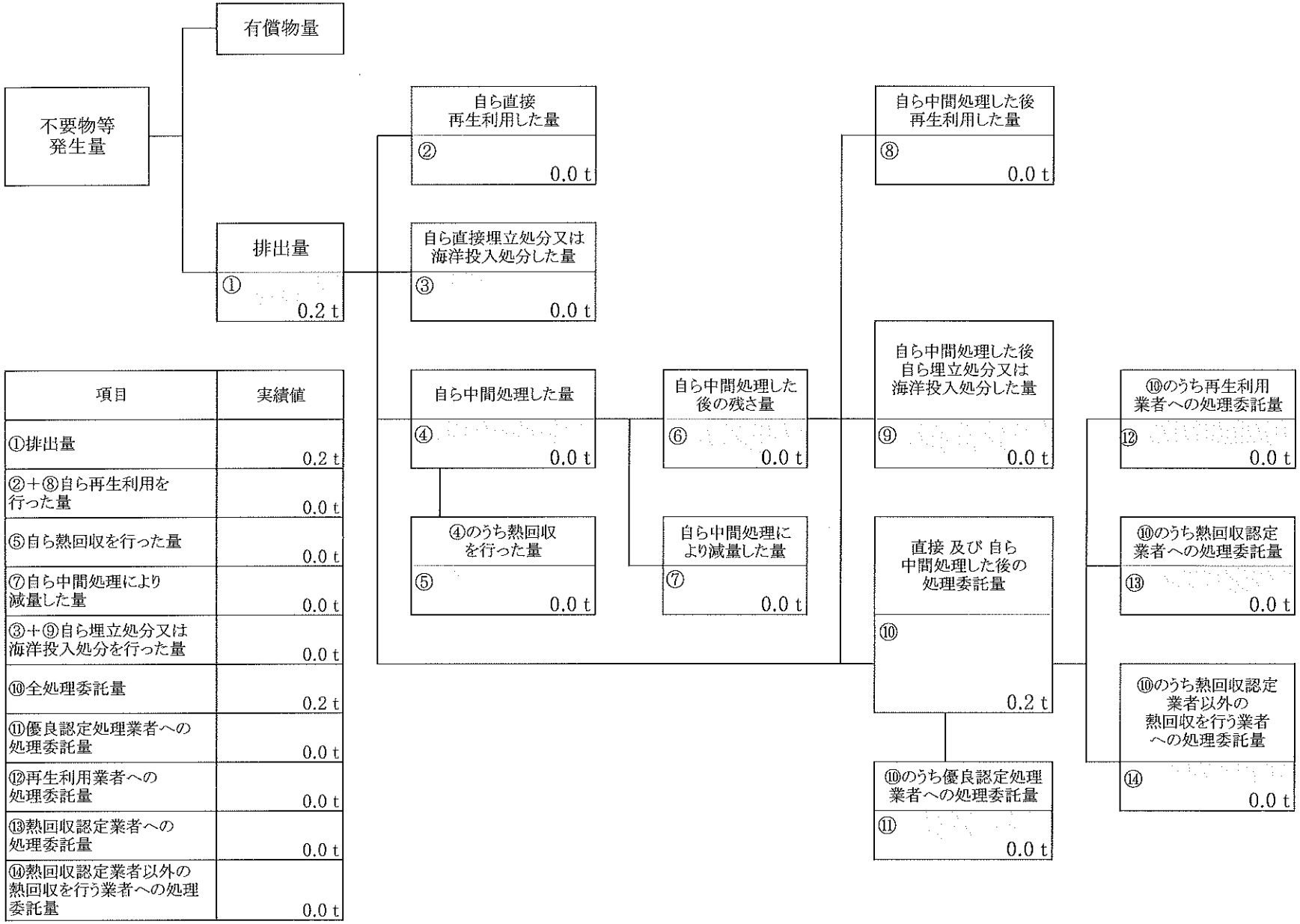


項目	実績値
①排出量	144.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	144.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥（特別管理産業廃棄物）　　）

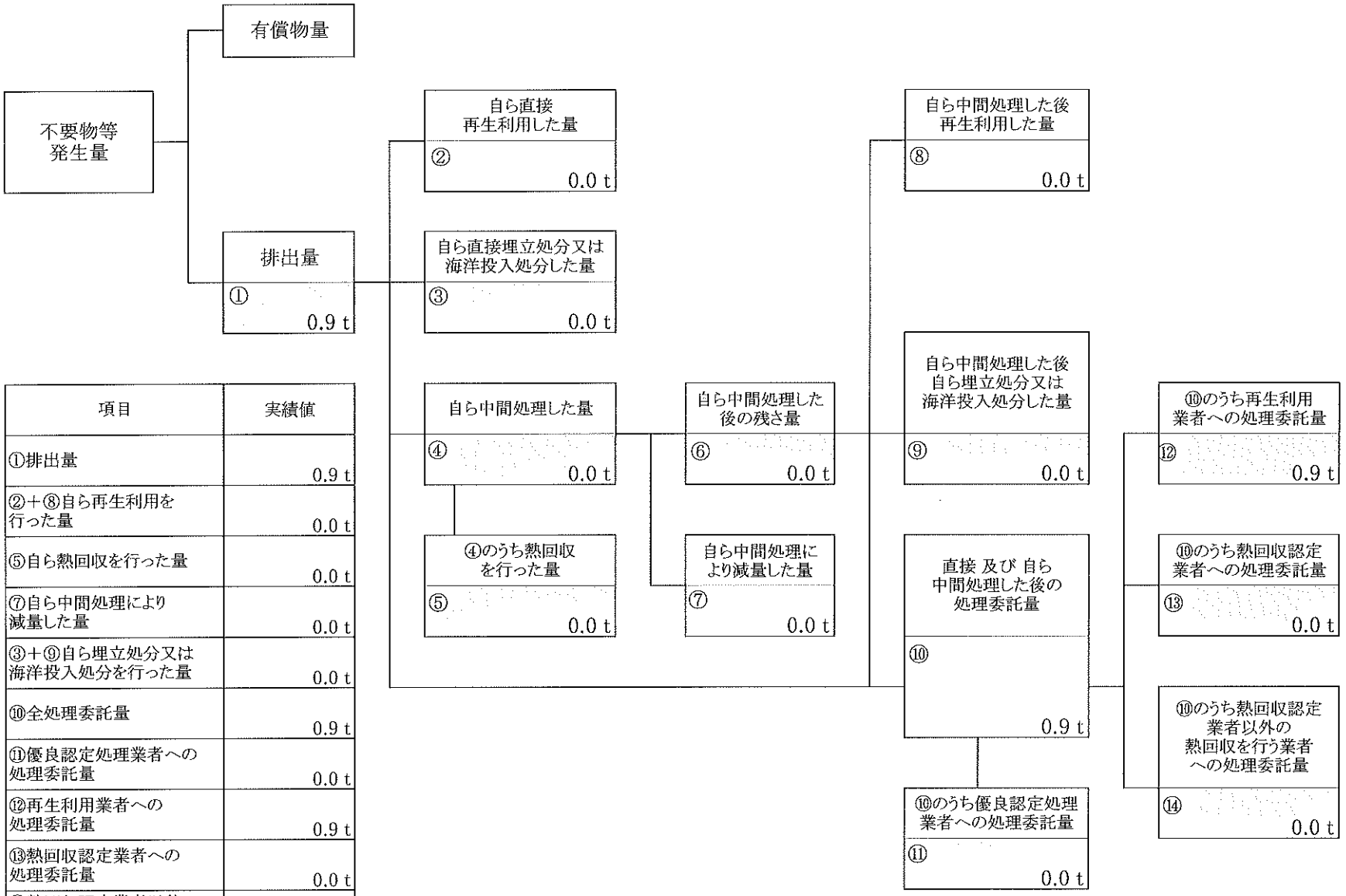


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　紙くず　　）

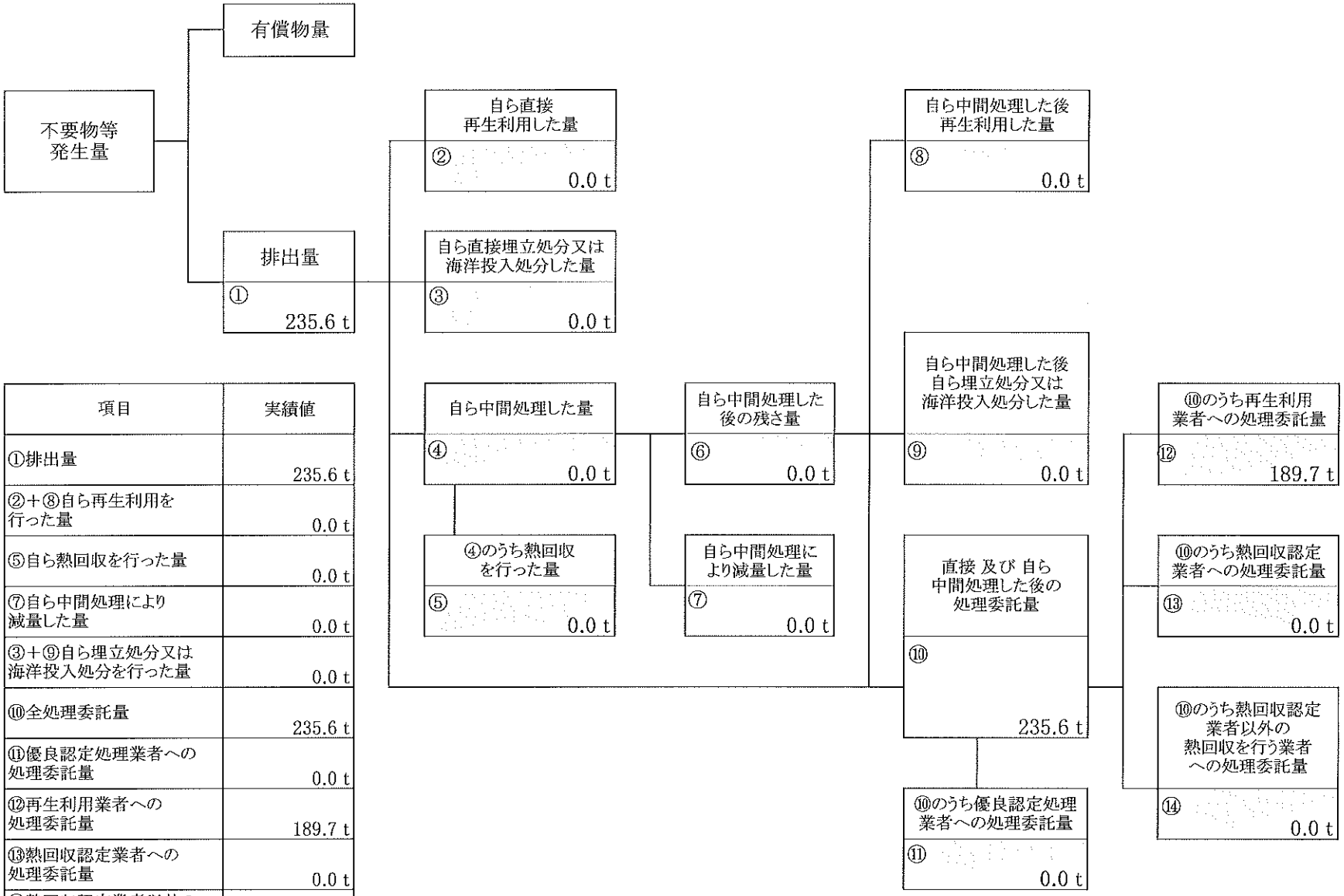


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　木くず　　）

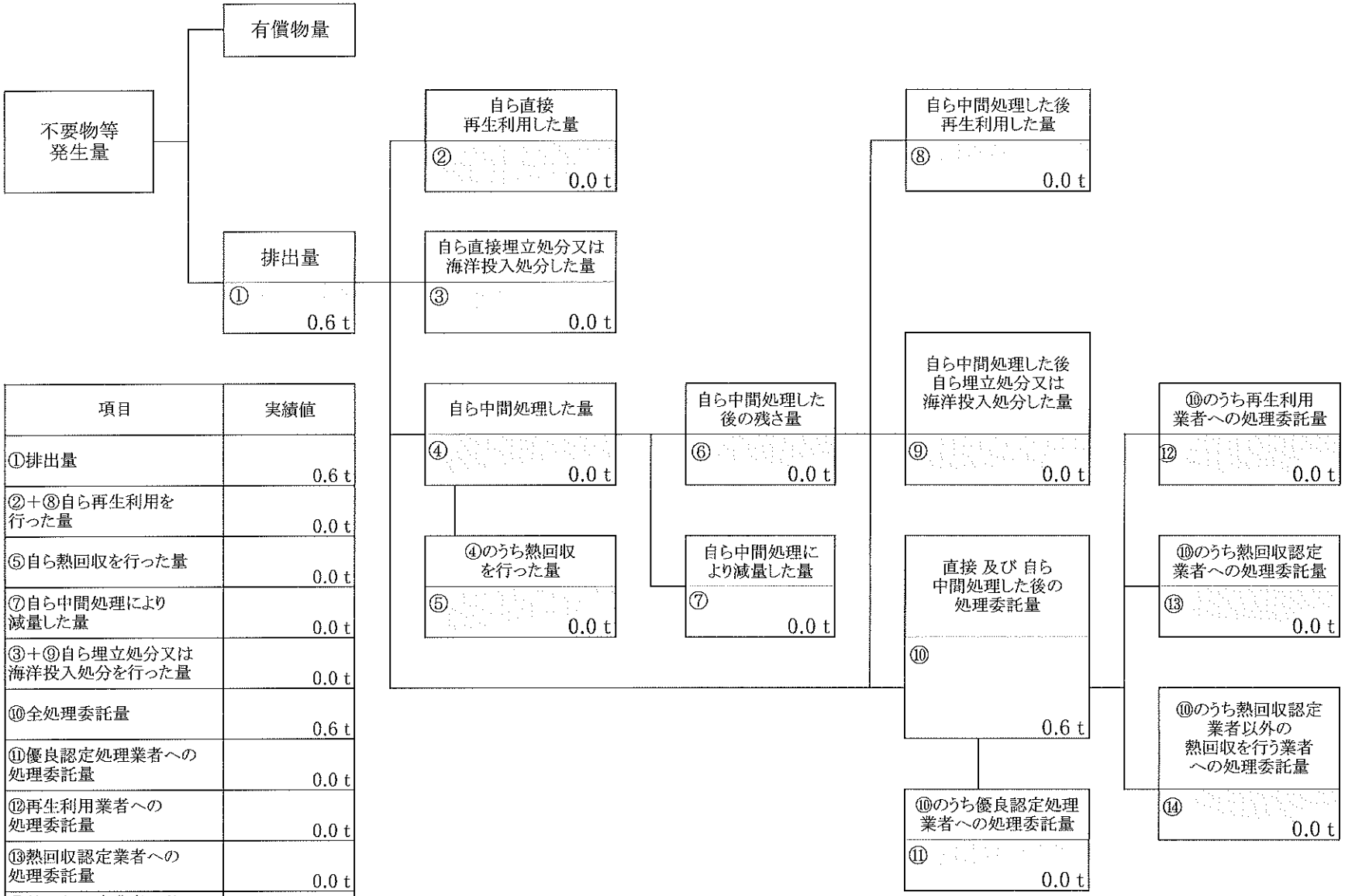


項目	実績値
①排出量	235.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	235.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	189.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　繊維屑　　）

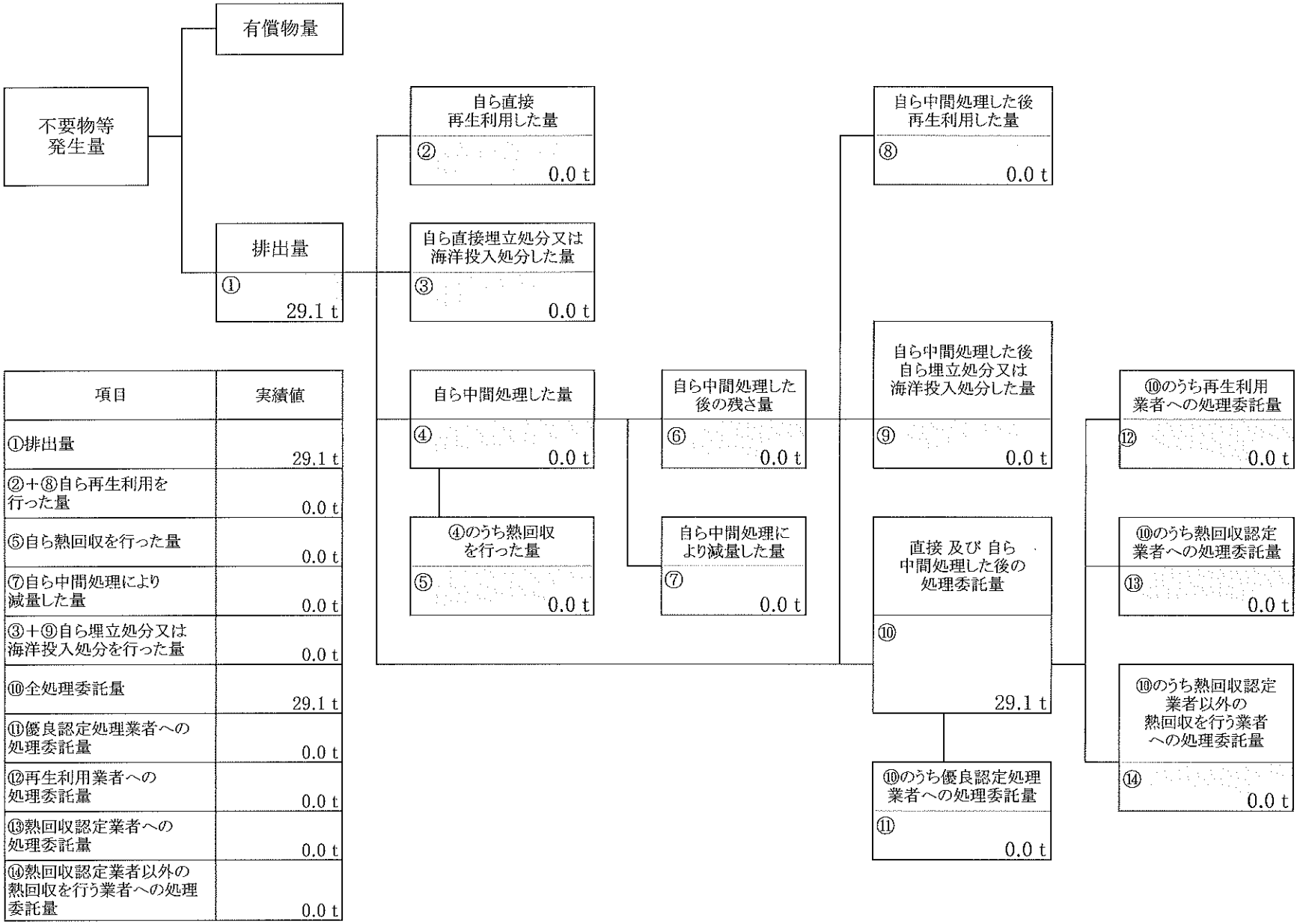


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラチック類　　）

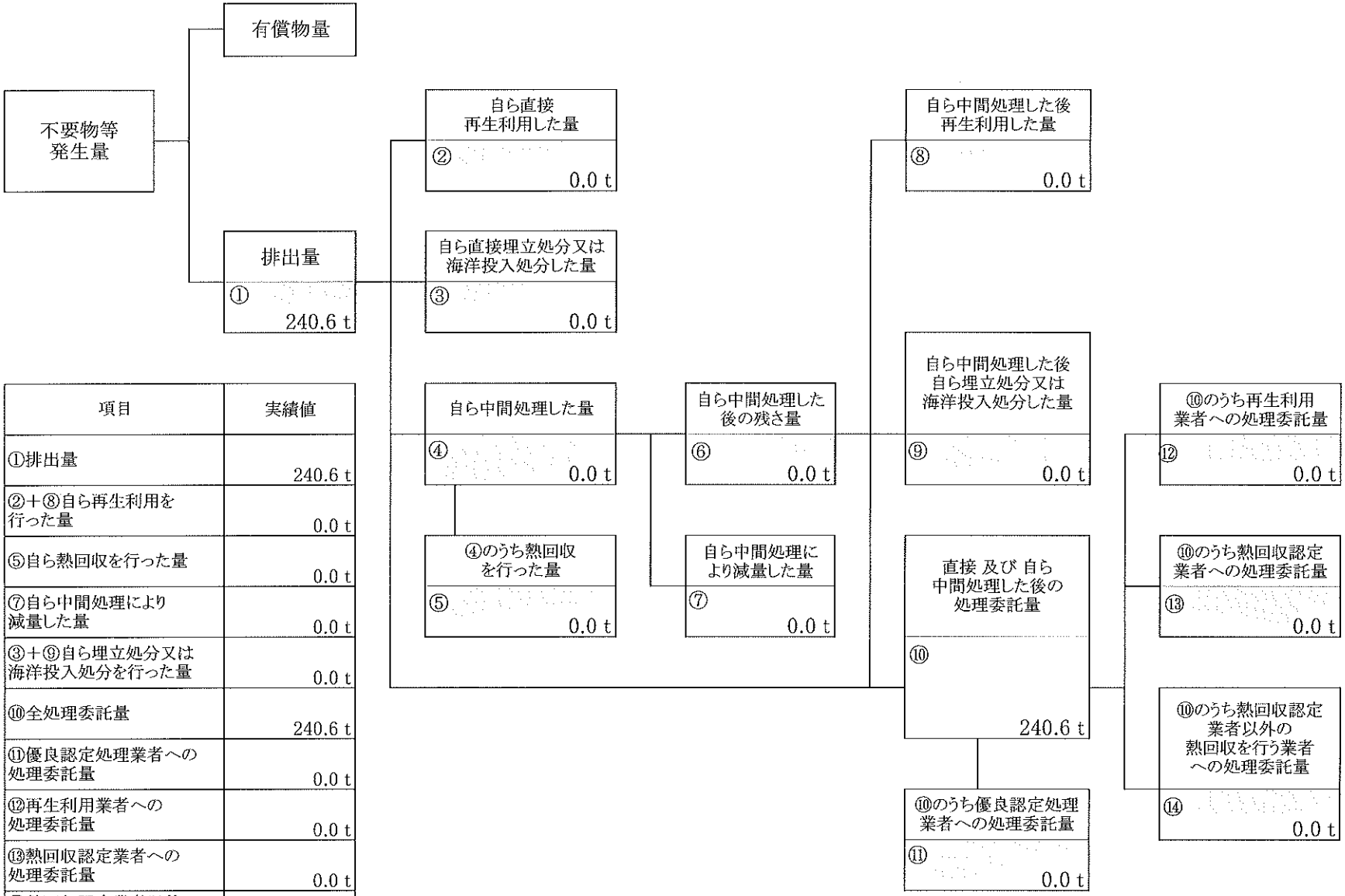


項目	実績値
①排出量	29.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩仝処理委託量	29.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

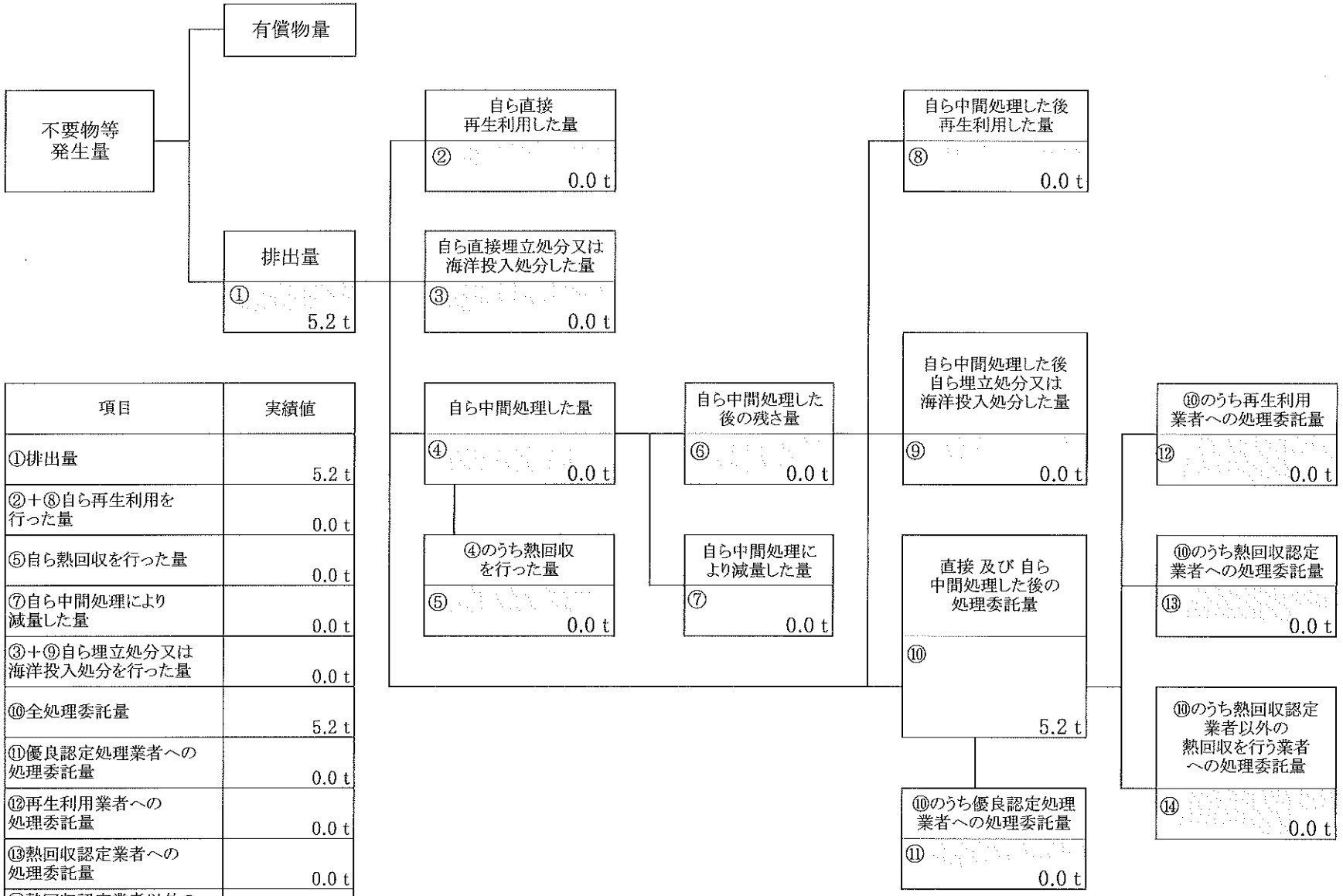


項目	実績値
①排出量	240.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	240.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　安定型混合廃棄物　）

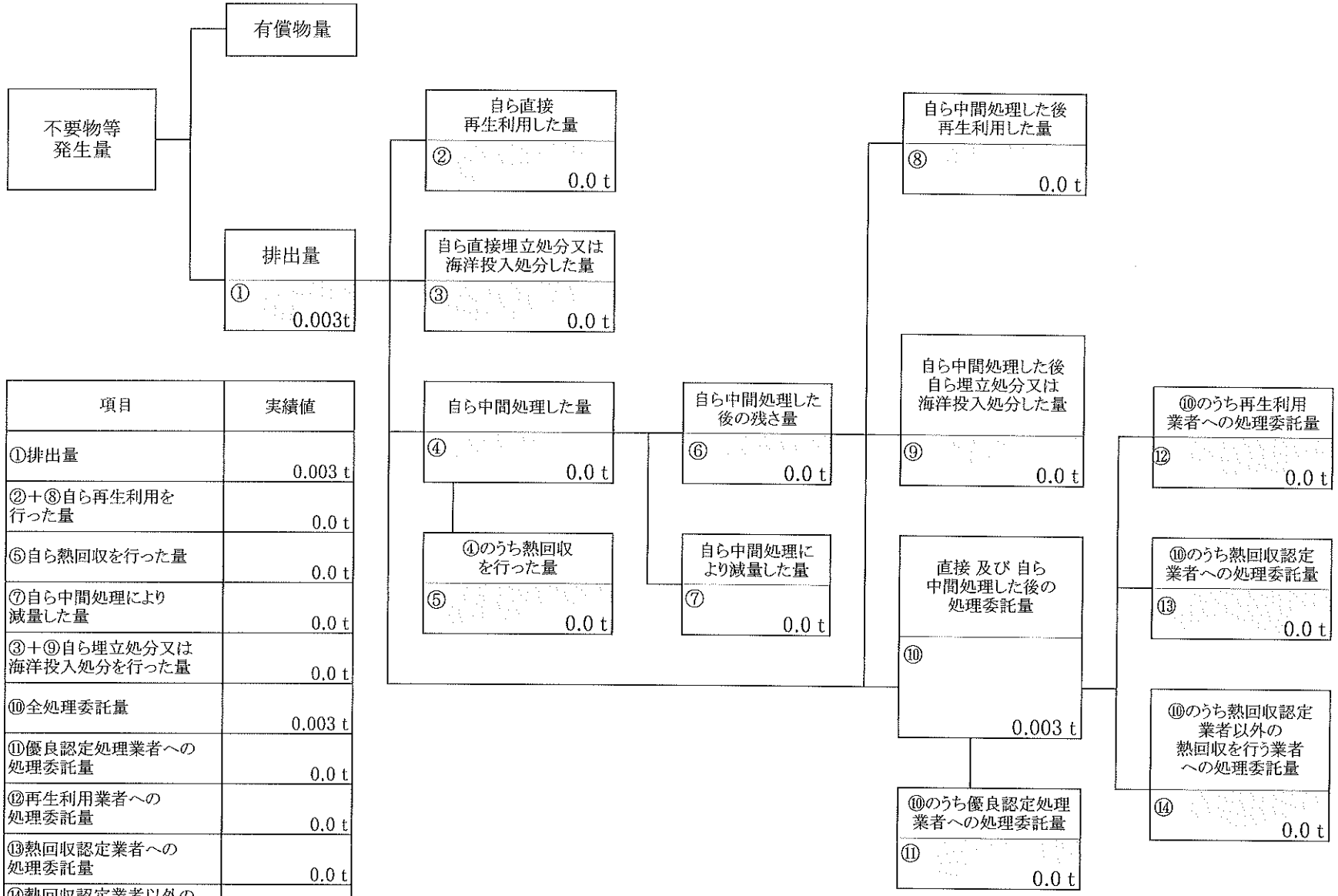


項目	実績値
①排出量	5.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　照明機器（水銀使用製品）　）



項目	実績値
①排出量	0.003 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.003 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-2504

住　所　千葉県旭市ニの５２８番地

法人名　阿部建設株式会社

代表者　代表取締役 阿 部 典 義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-62-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阿部建設株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市ニの528番地
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　総合工事業　　中分類：
②事業の規模	60億円
③従業員数	110名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1.　処理工程図のとおり。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添2.　管理体制図のとおり。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	3255 t	t

（これまでに実施した取組）

建設混合廃棄物の分別を促進。簡易梱包及び無梱包の採用により、梱包材の簡素化を図る。工場加工、製作、プレカットを推進する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

現状を継続実施。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

再生可能品目については各品目ごとに分類を行い混合廃棄物としての搬出の削減に努めている。一般廃棄物（事務所ごみ）との分別を徹底している。新規入場時、一斉清掃時（1回/週）に教育・指導を行っている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現状を継続実施。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

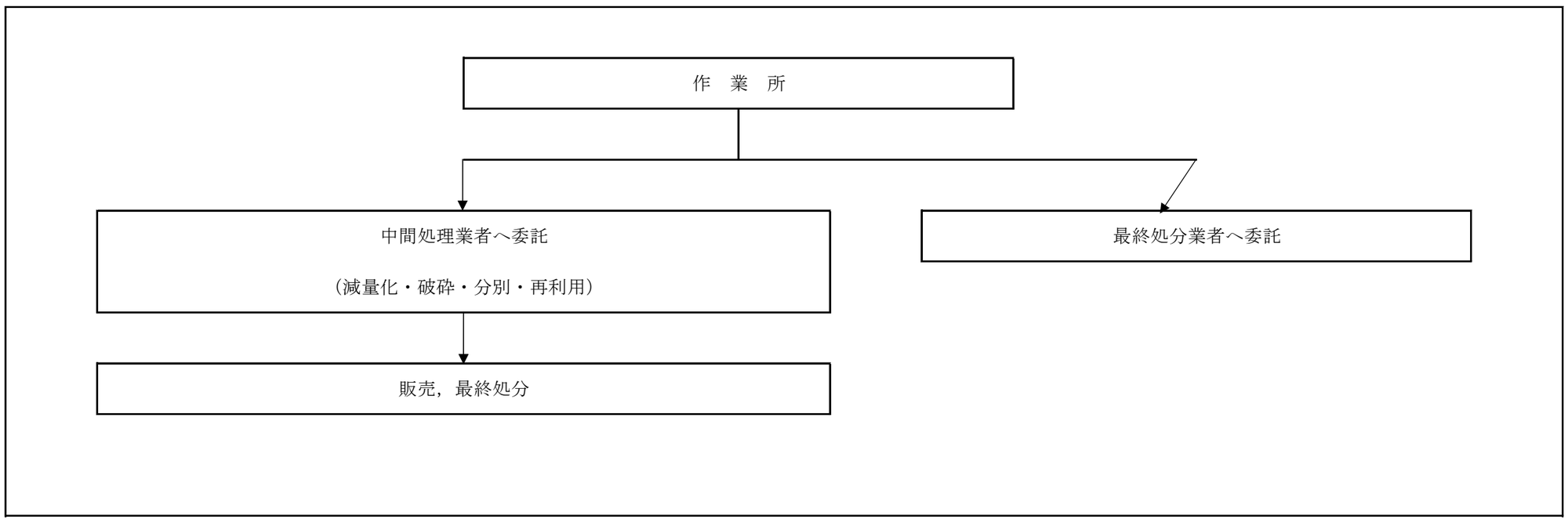
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

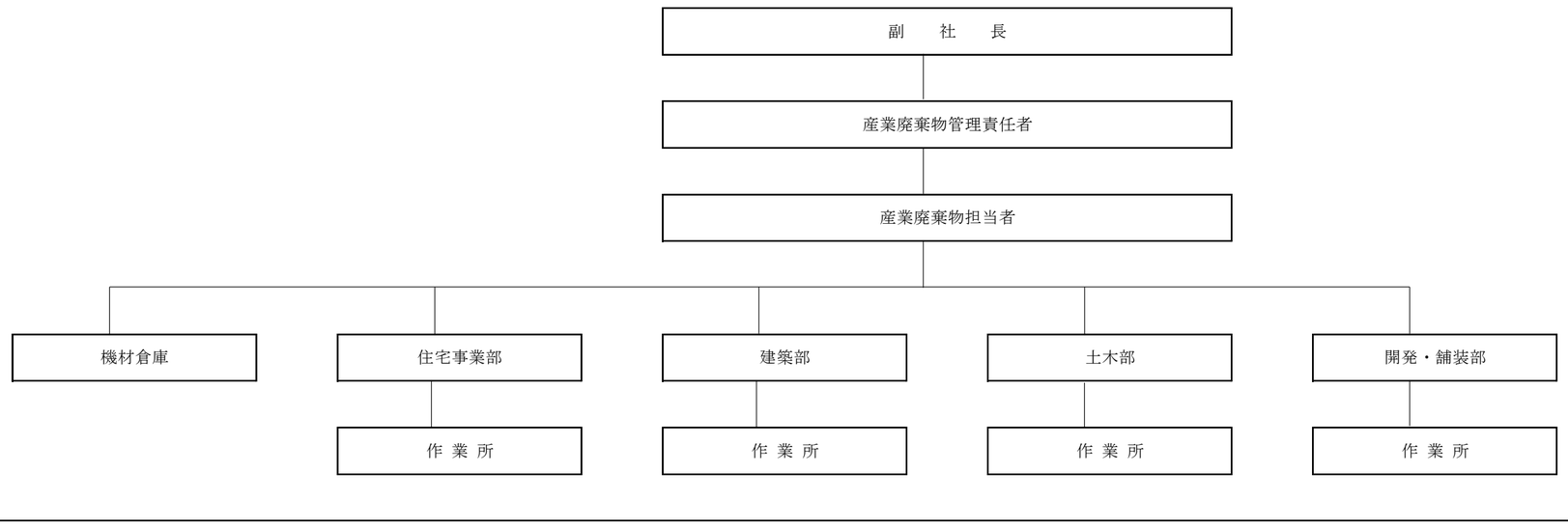
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託出来る業者を選定し書面による契約を実施。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再資源化を図るため、石膏ボードメーカーへの持込を行う。混合廃棄物の分別化の促進。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


作　業　所
中間処理業者へ委託
（減量化・破砕・分別・再利用）
販売，最終処分
最終処分業者へ委託

（管理体制図）


副　　社　　長
産業廃棄物管理責任者
産業廃棄物担当者
機材倉庫
住宅事業部
建築部
土木部
開発・舗装部
作 業 所
作 業 所
作 業 所
作 業 所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
排　出　量	1283.6 t	448.3 t	116.5 t	166.8 t	184.1 t	195.9 t	11.6 t	0.1 t	35.6 t	14.5 t	0.4 t	3.8 t	793.8 t	0 t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
排　出　量	1000 t	350 t	900 t	140 t	140 t	150 t	8 t	1 t	25 t	10 t	1 t	3 t	600 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
全処理委託量	1283.6 t	448.3 t	116.5 t	166.8 t	184.1 t	195.9 t	11.6 t	0.1 t	35.6 t	14.5 t	0.4 t	3.8 t	793.8 t	0 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t	0 t	0.1 t	68.5 t	93.6 t	124.5 t	11.6 t	0 t	17.7 t	11.1 t	t	3.2 t	0 t	0 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	1283.6 t	448.3 t	116.5 t	166.8 t	184.1 t	195.9 t	t	t	t	14.5 t	0.4 t	3.8 t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物（がれき類・廃プラスチック類他）	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	金属くず	繊維くず	紙くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）		
全処理委託量	1000 t	350 t	900 t	140 t	140 t	150 t	8 t	1 t	25 t	10 t	1 t	3 t	600 t	0 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	100 t	100 t	200 t	100 t	10 t	100 t	5 t	0 t	15 t	5 t	t	2 t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	1000 t	350 t	900 t	t	140 t	150 t	t	t	t	10 1	1 t	3 t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-2504

住所 千葉県旭市ニの528番地

法人名 阿部建設株式会社

代表者 平野 孝子

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-62-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	阿部建設株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市ニの528番地
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1429 t	全処理委託量	1429 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	392 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1083 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

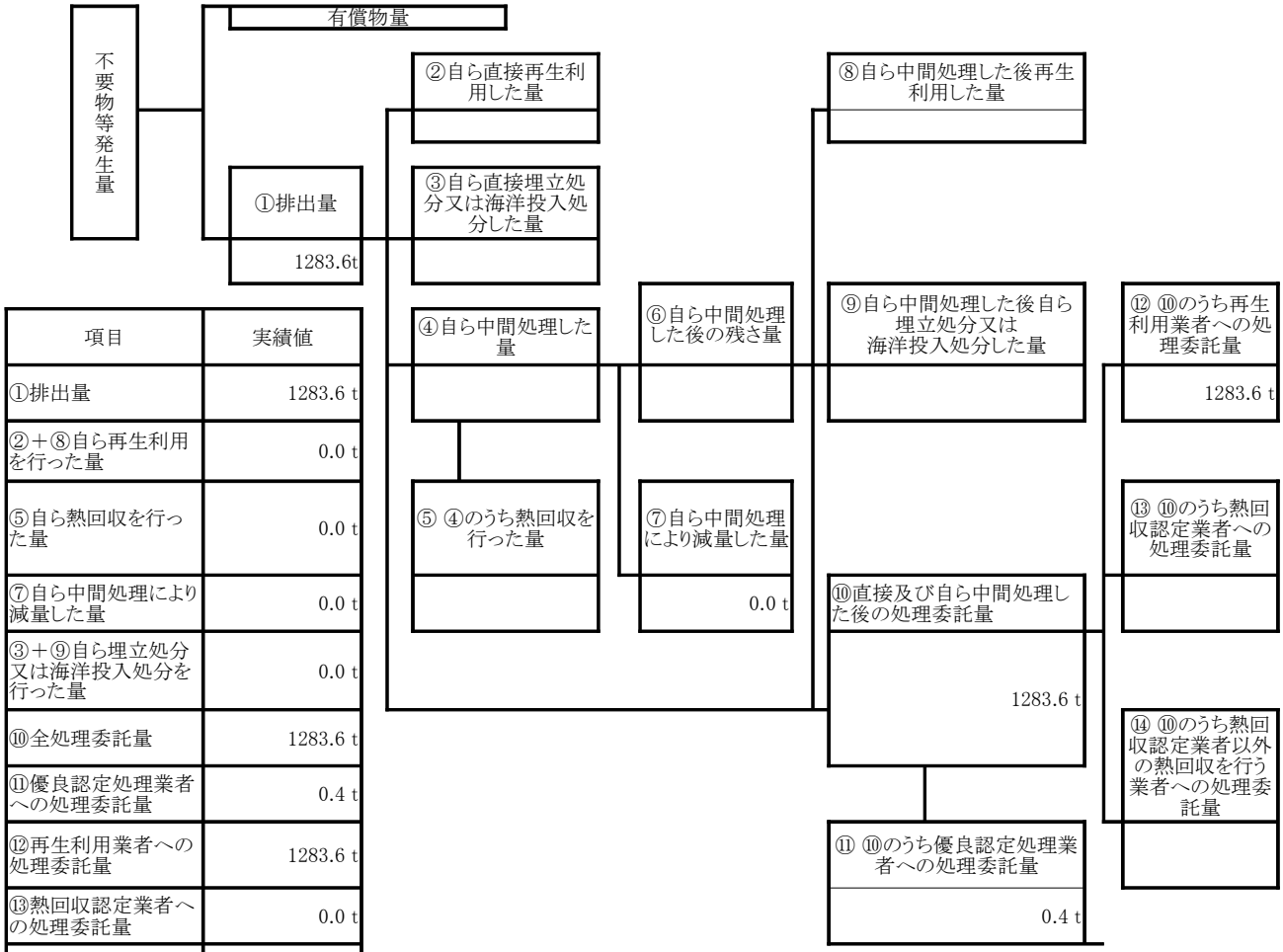
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



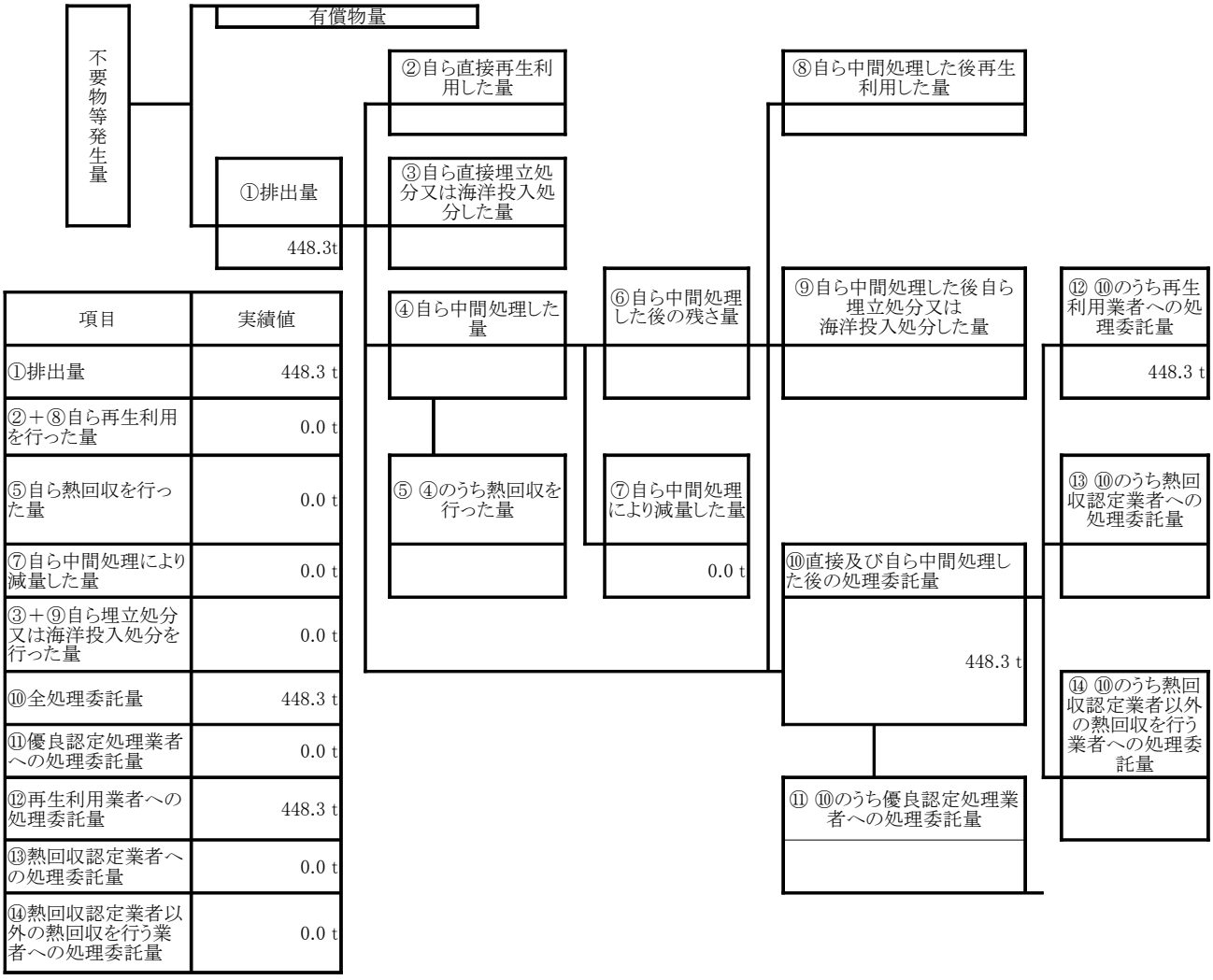
項目	実績値
①排出量	1283.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1283.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1283.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

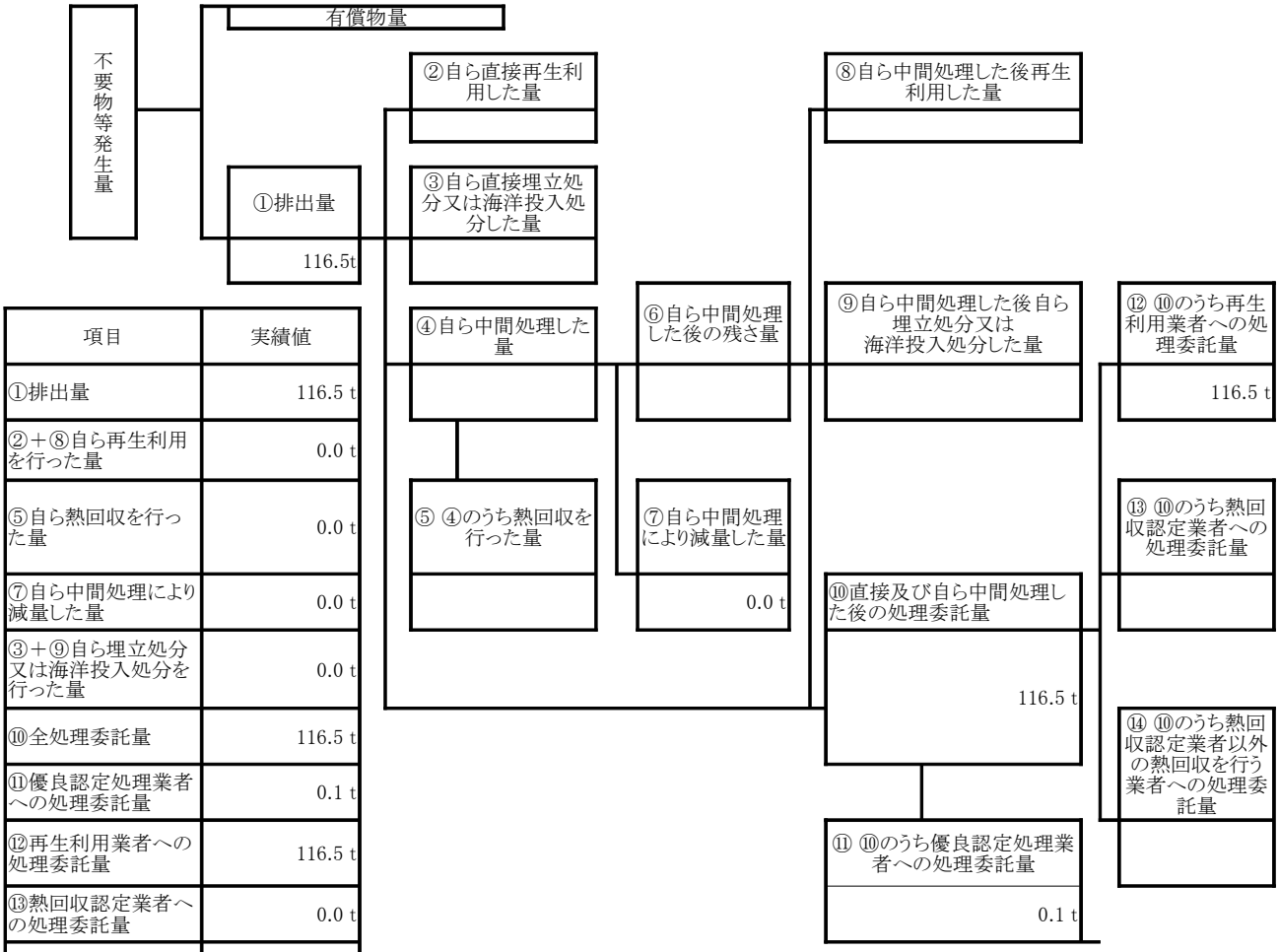


項目	実績値
①排出量	448.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	448.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	448.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

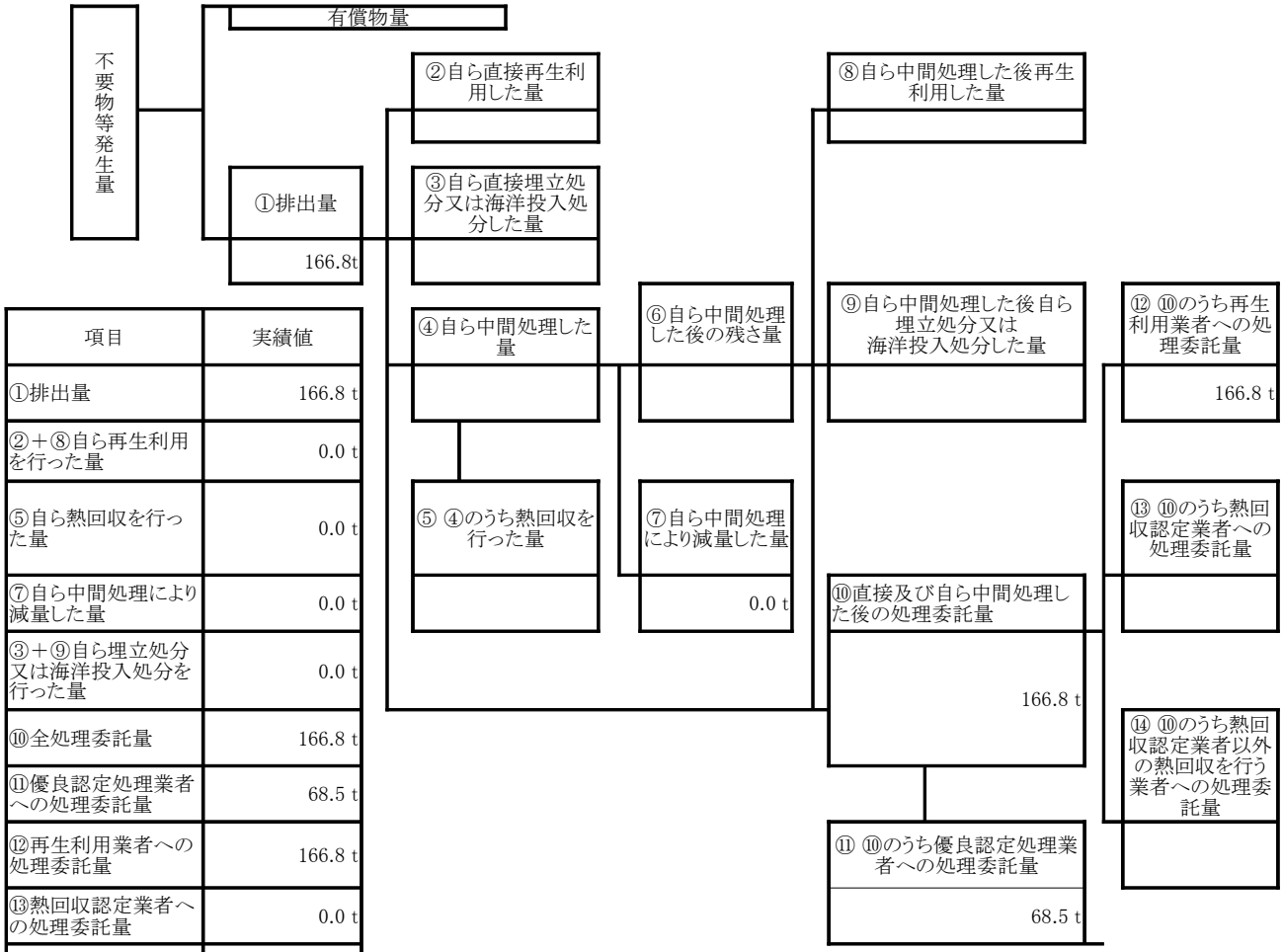


項目	実績値
①排出量	116.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	116.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	116.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



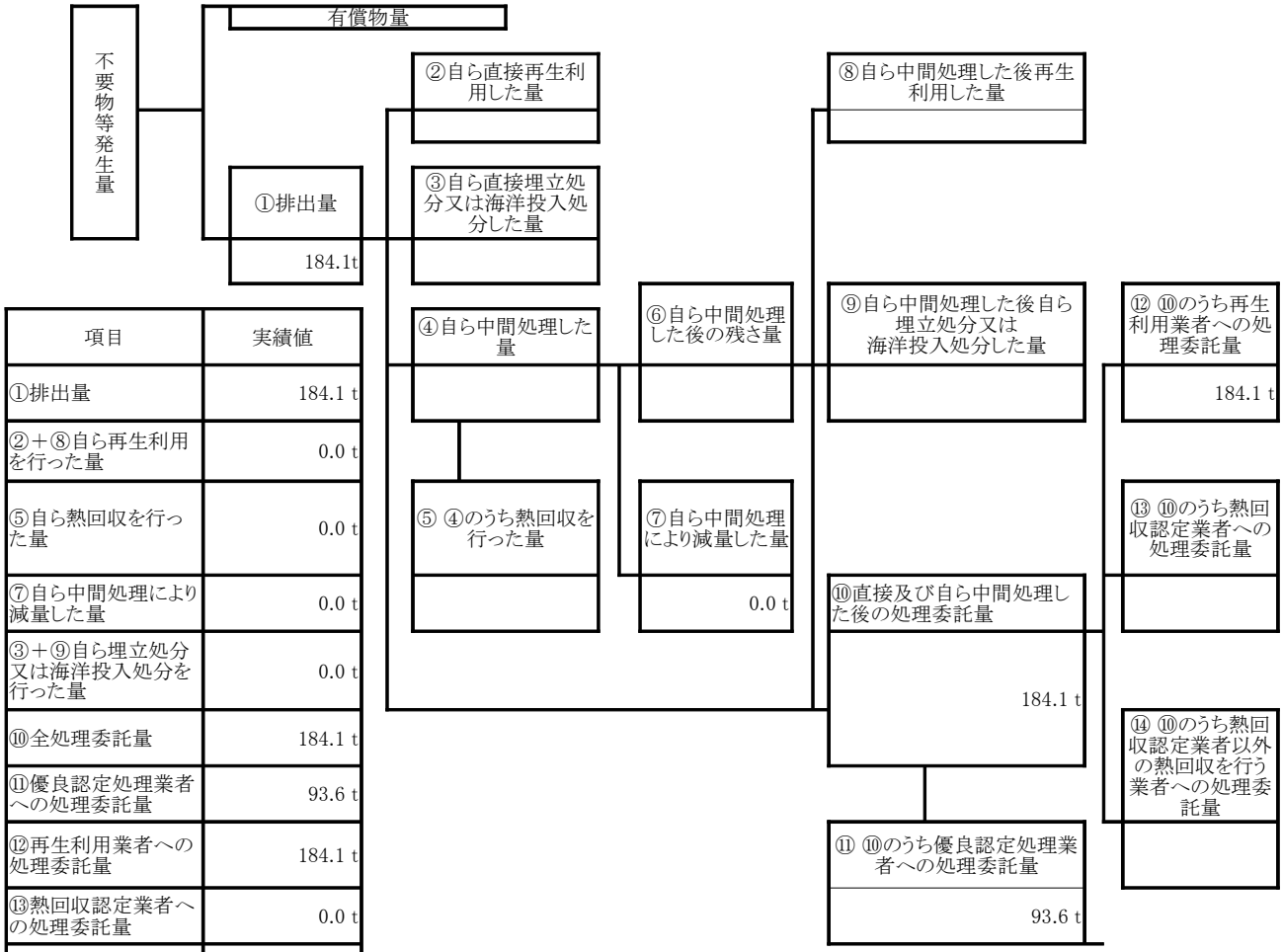
項目	実績値
①排出量	166.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	166.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	166.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

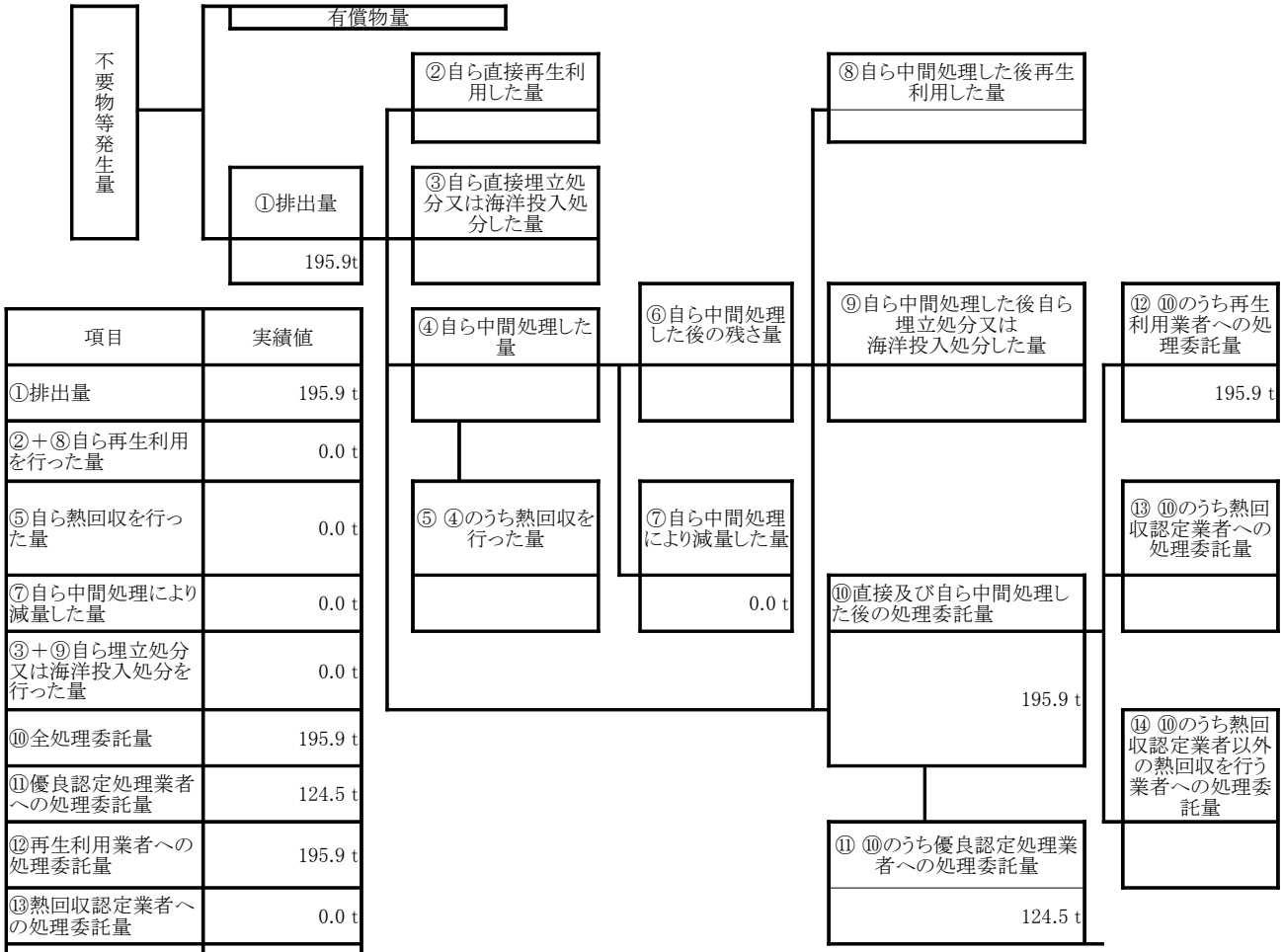


項目	実績値
①排出量	184.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	184.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	93.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	184.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

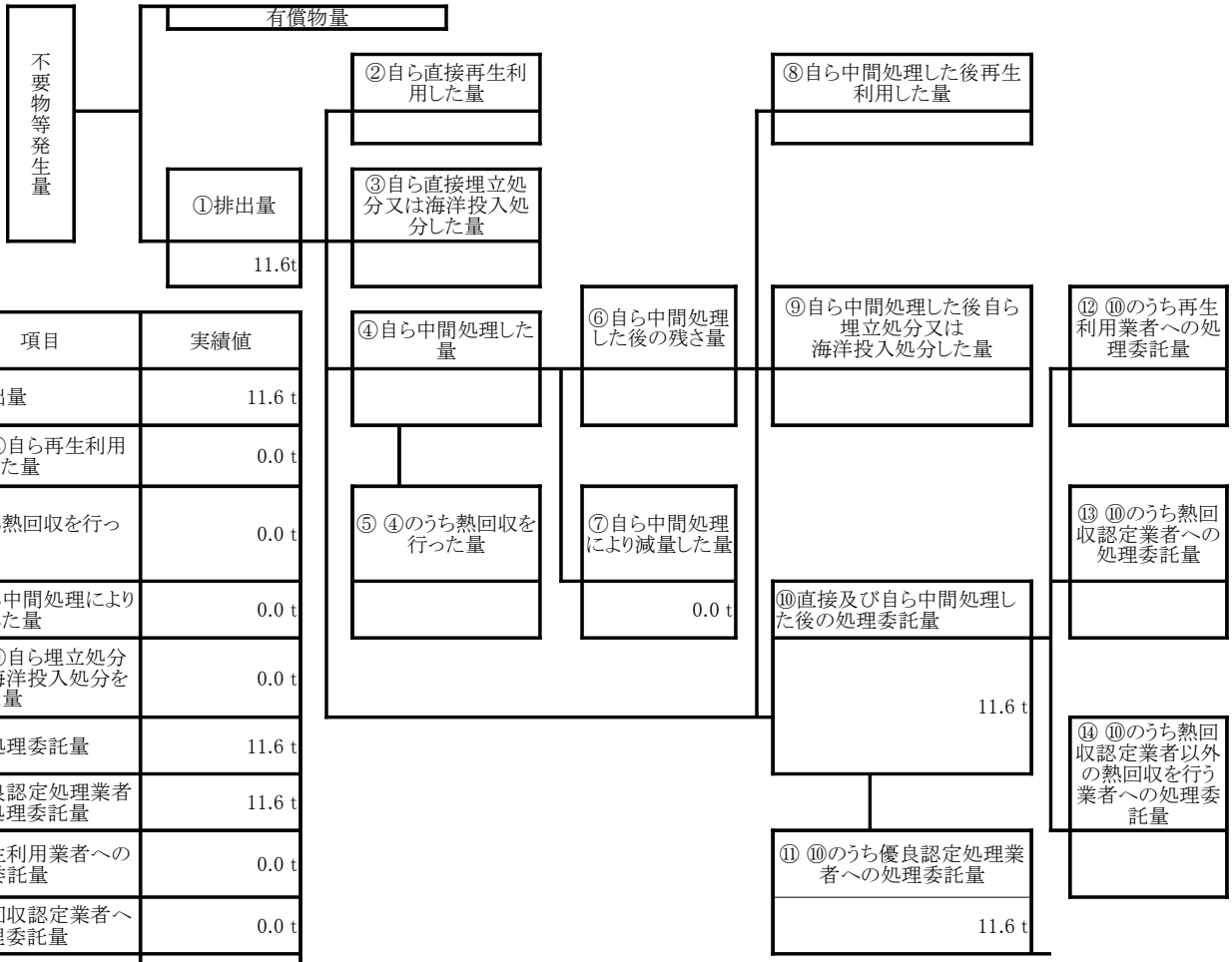


項目	実績値
①排出量	195.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	195.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	124.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	195.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　業廃棄物　がれき類・廃プラスチ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

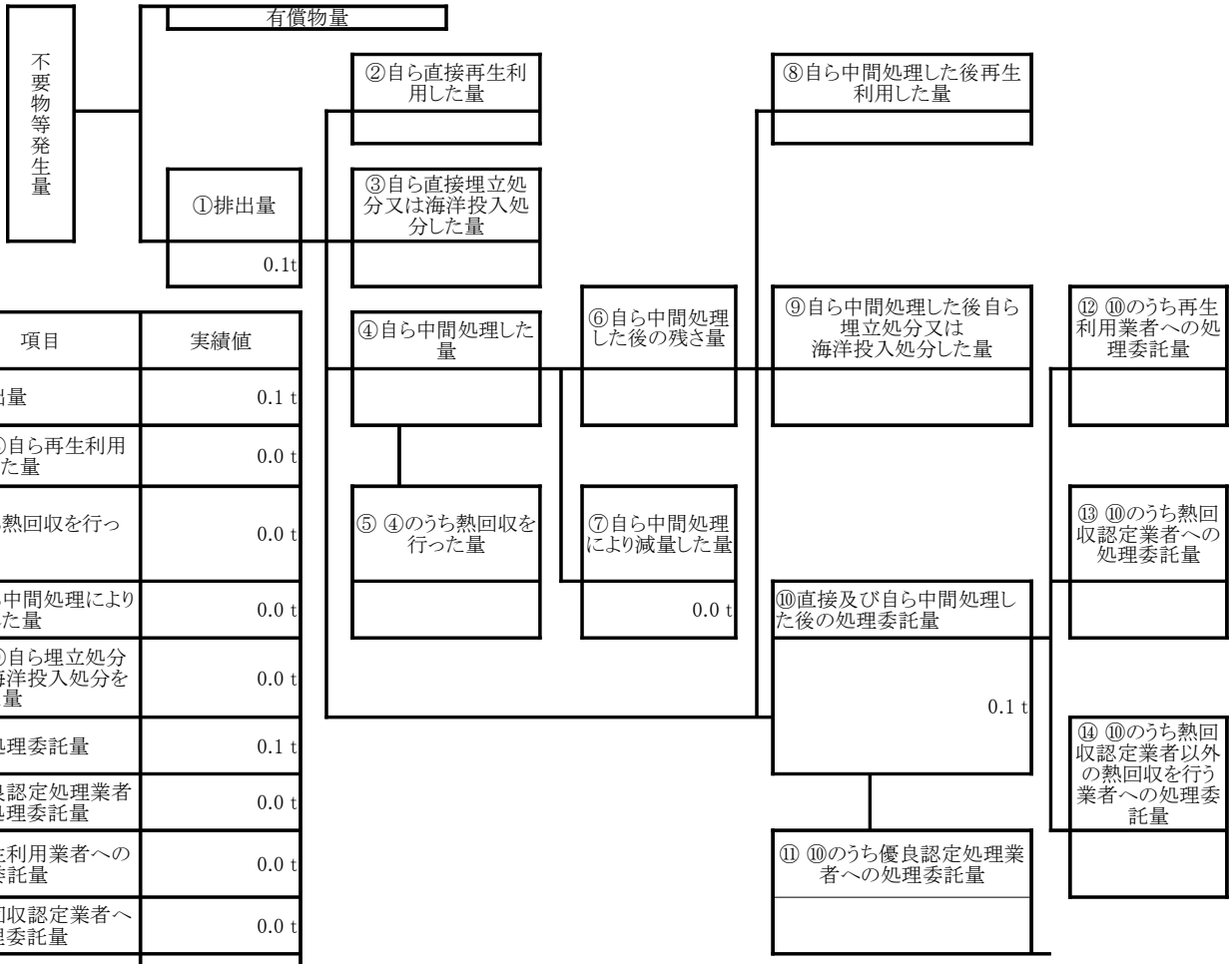


項目	実績値
①排出量	11.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

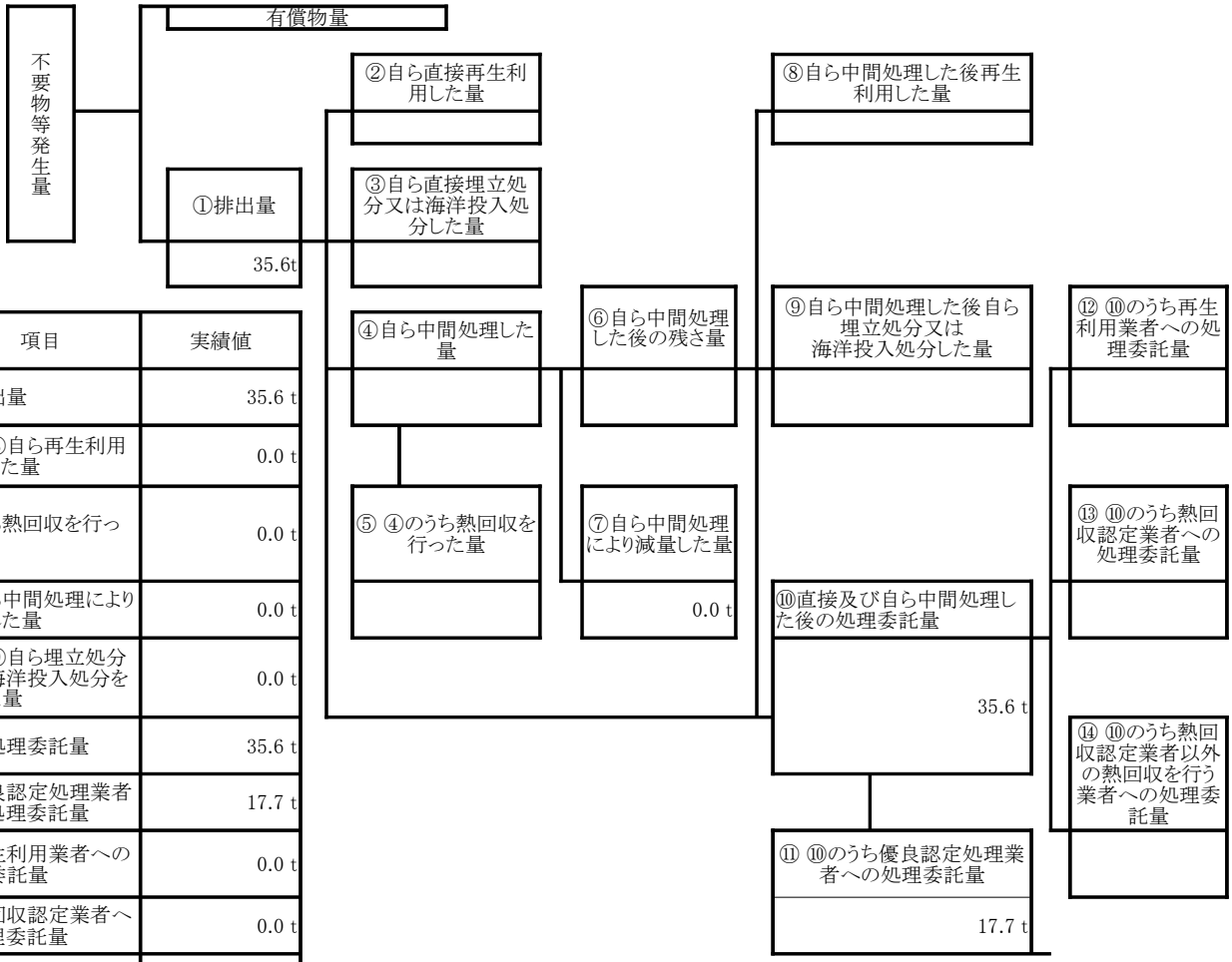


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

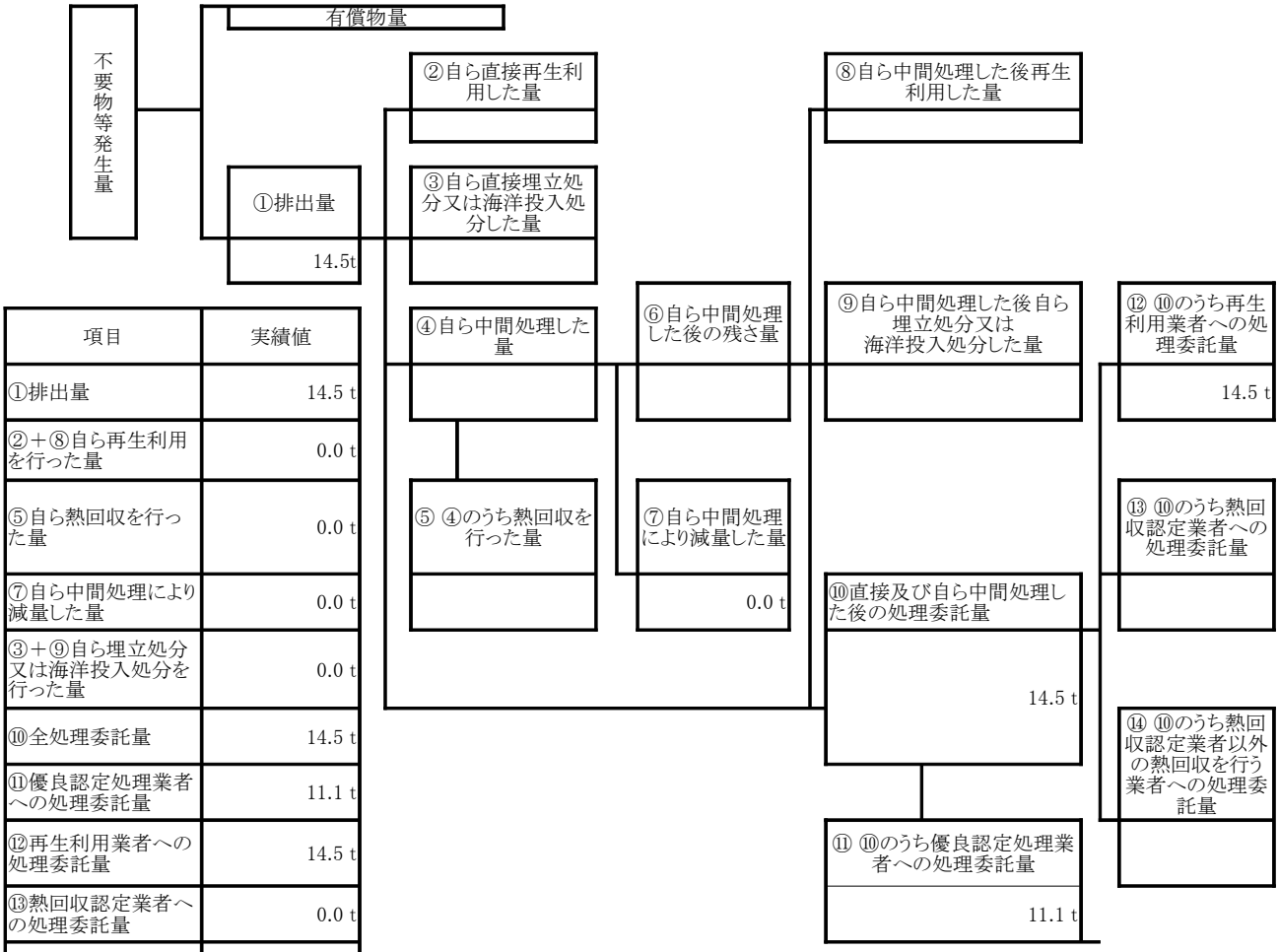


項目	実績値
①排出量	35.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

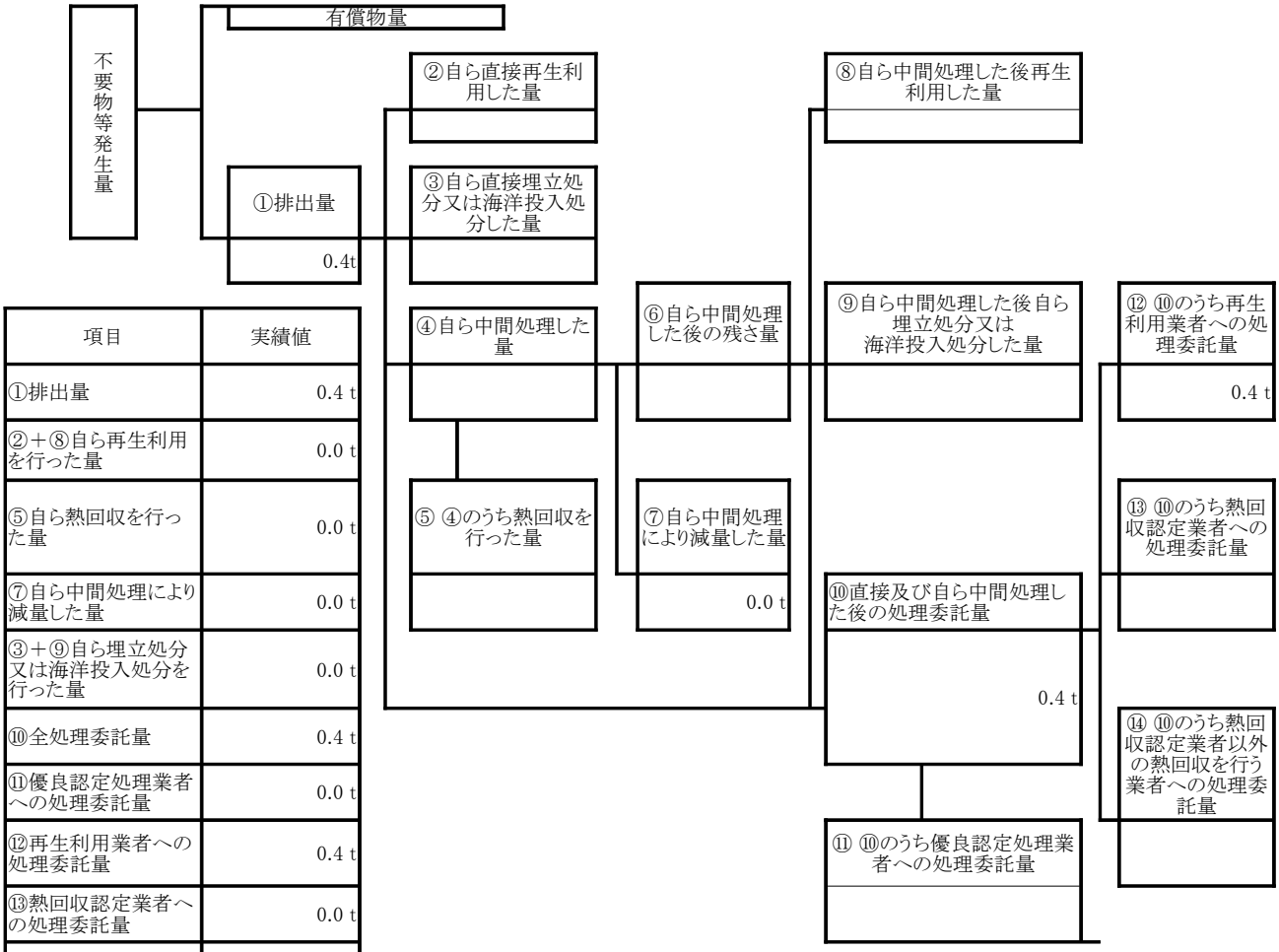


項目	実績値
①排出量	14.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

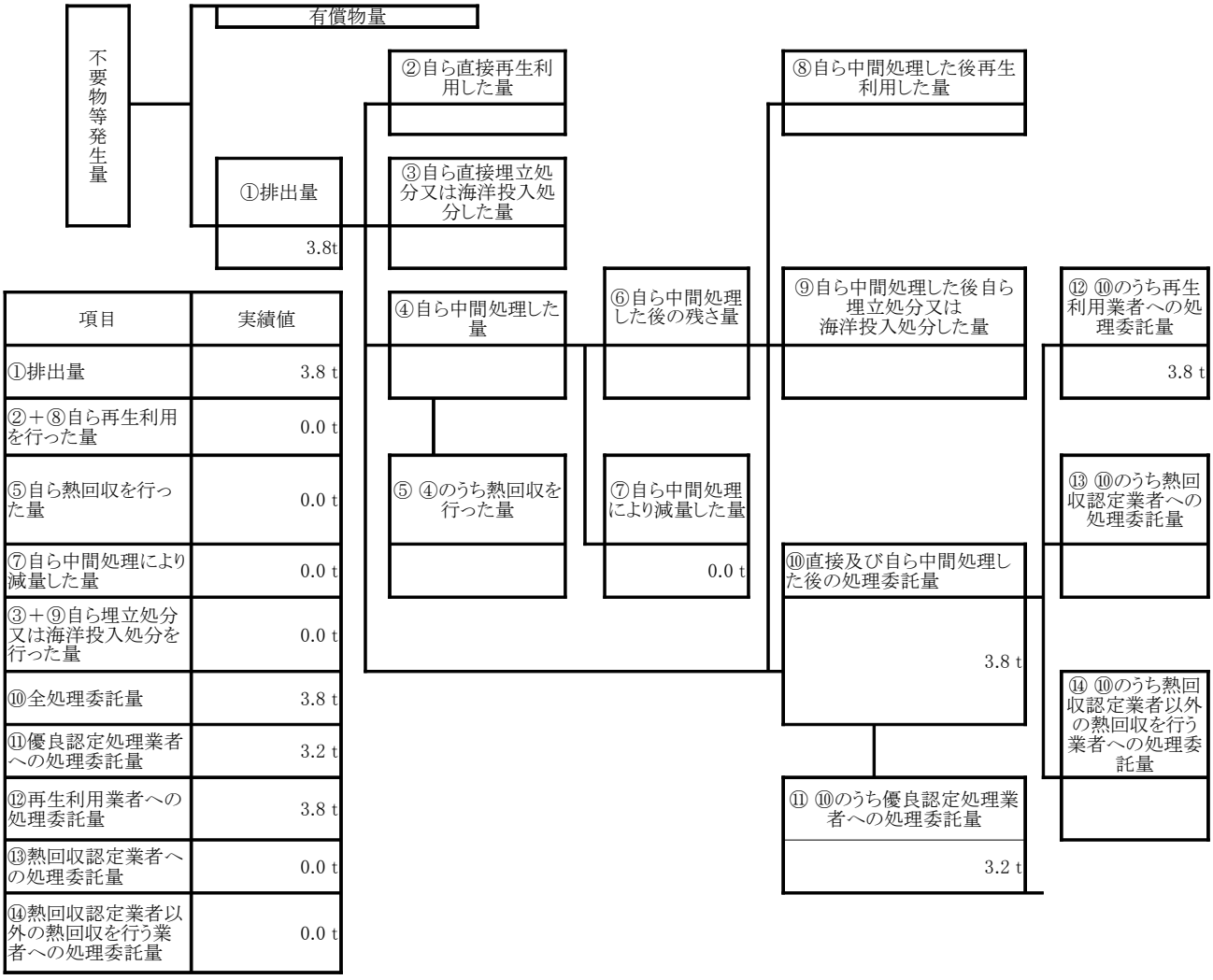


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

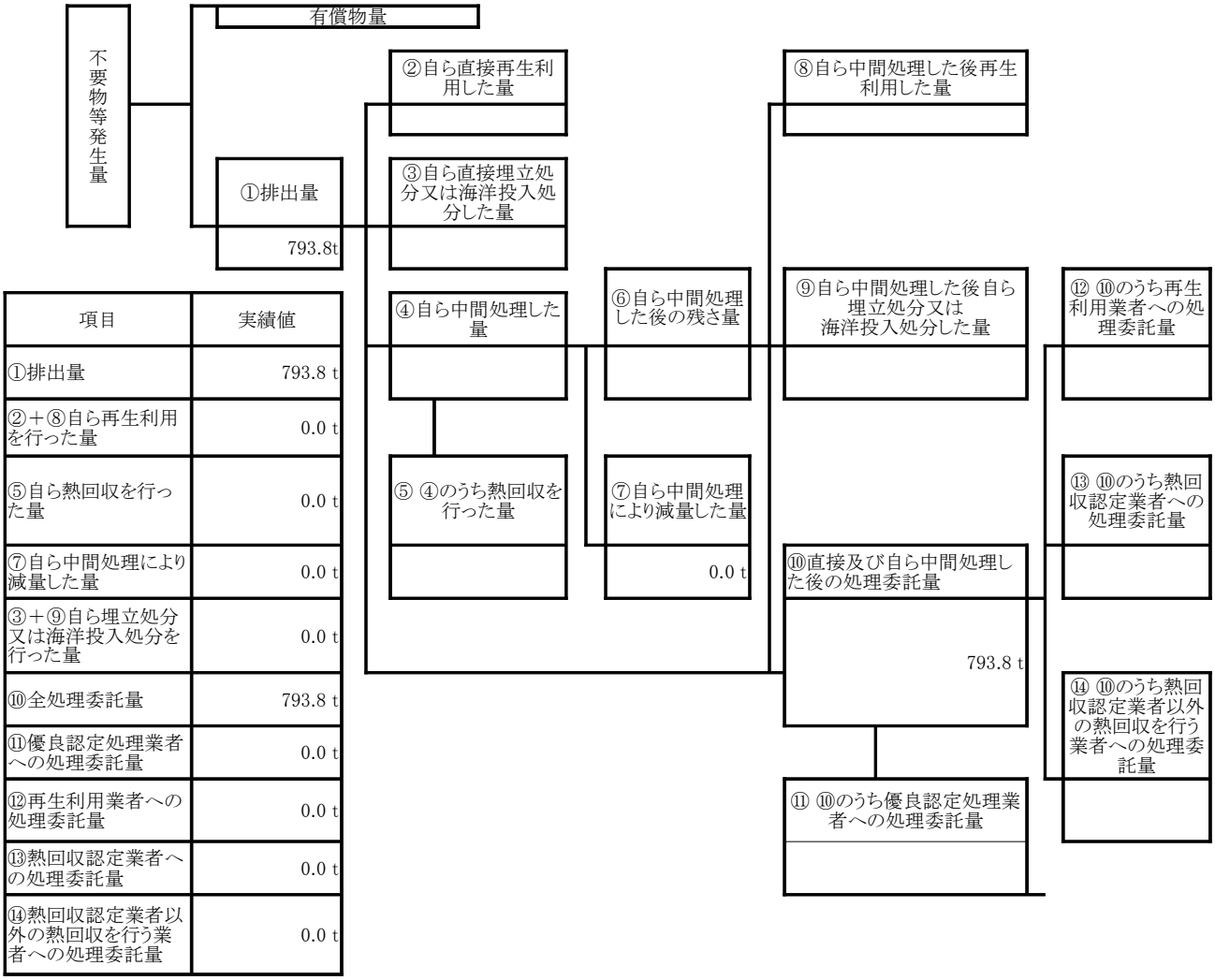


項目	実績値
①排出量	3.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

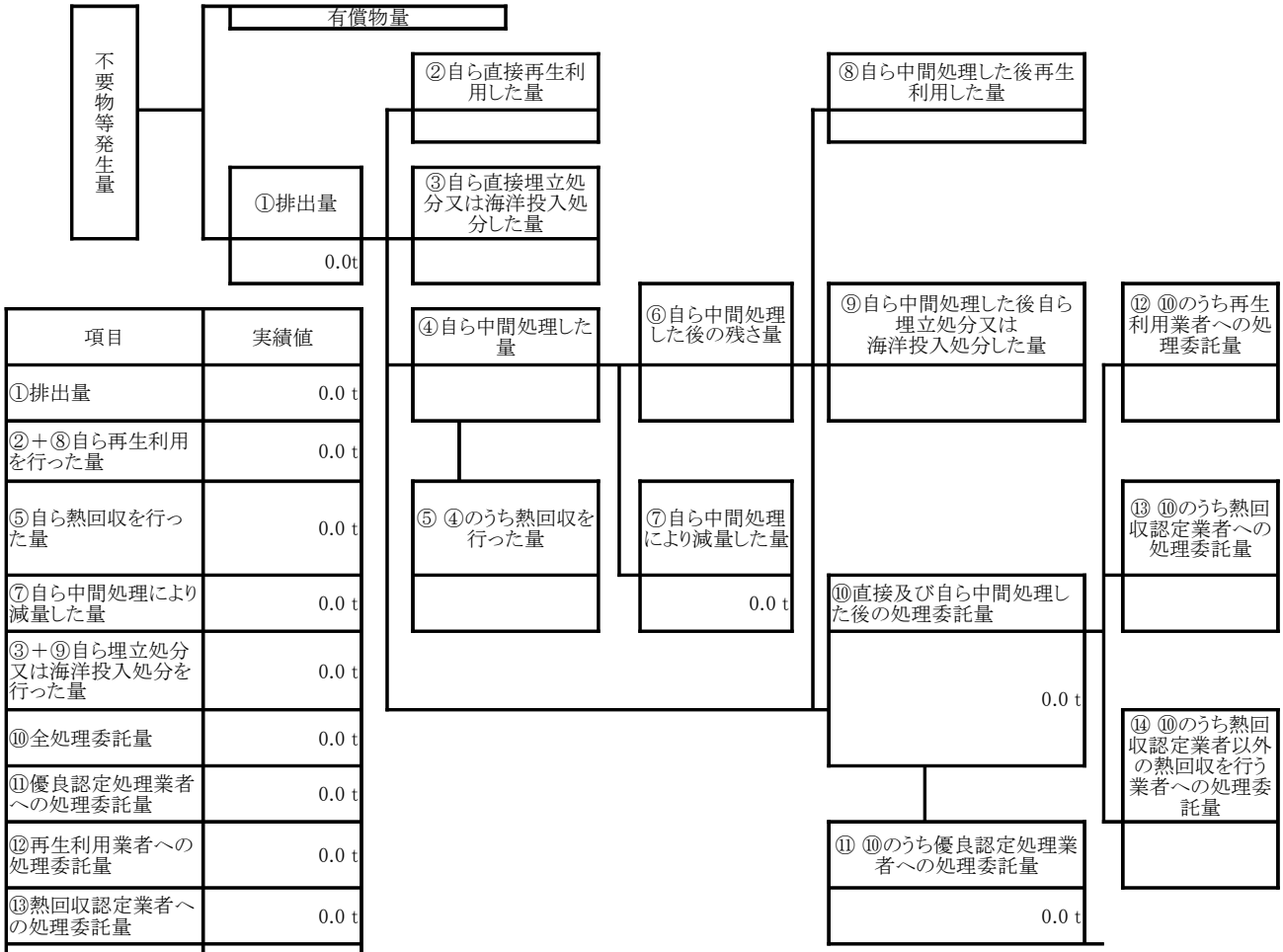


項目	実績値
①排出量	793.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	793.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品（蛍光灯）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年6月30日

千葉県知事　　殿

提 出 者　〒105-7360
住　所　東京都港区東新橋1-9-1
氏　名　株式会社安藤・間　関東支店
常務執行役員支店長　藤本　明生
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-3575-6180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　安藤・間　関東支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋1-9-1
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

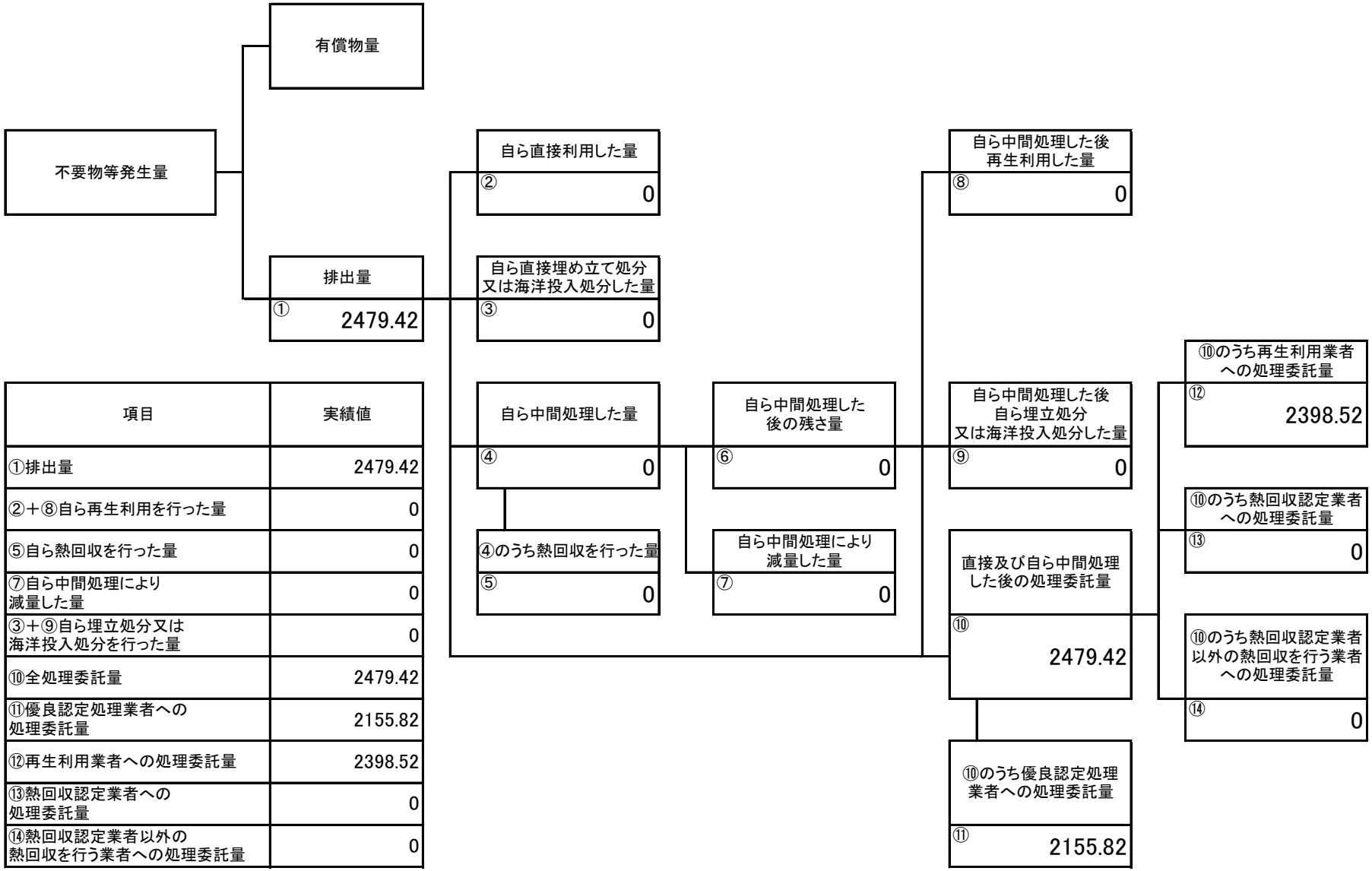
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,055.00　t	全処理委託量	3055.00　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	優良認定処理業者への処理委託量	680.00　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	再生利用業者への処理委託量	2928.00　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	認定熱回収業者への処理委託量	0　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

計画の実施状況

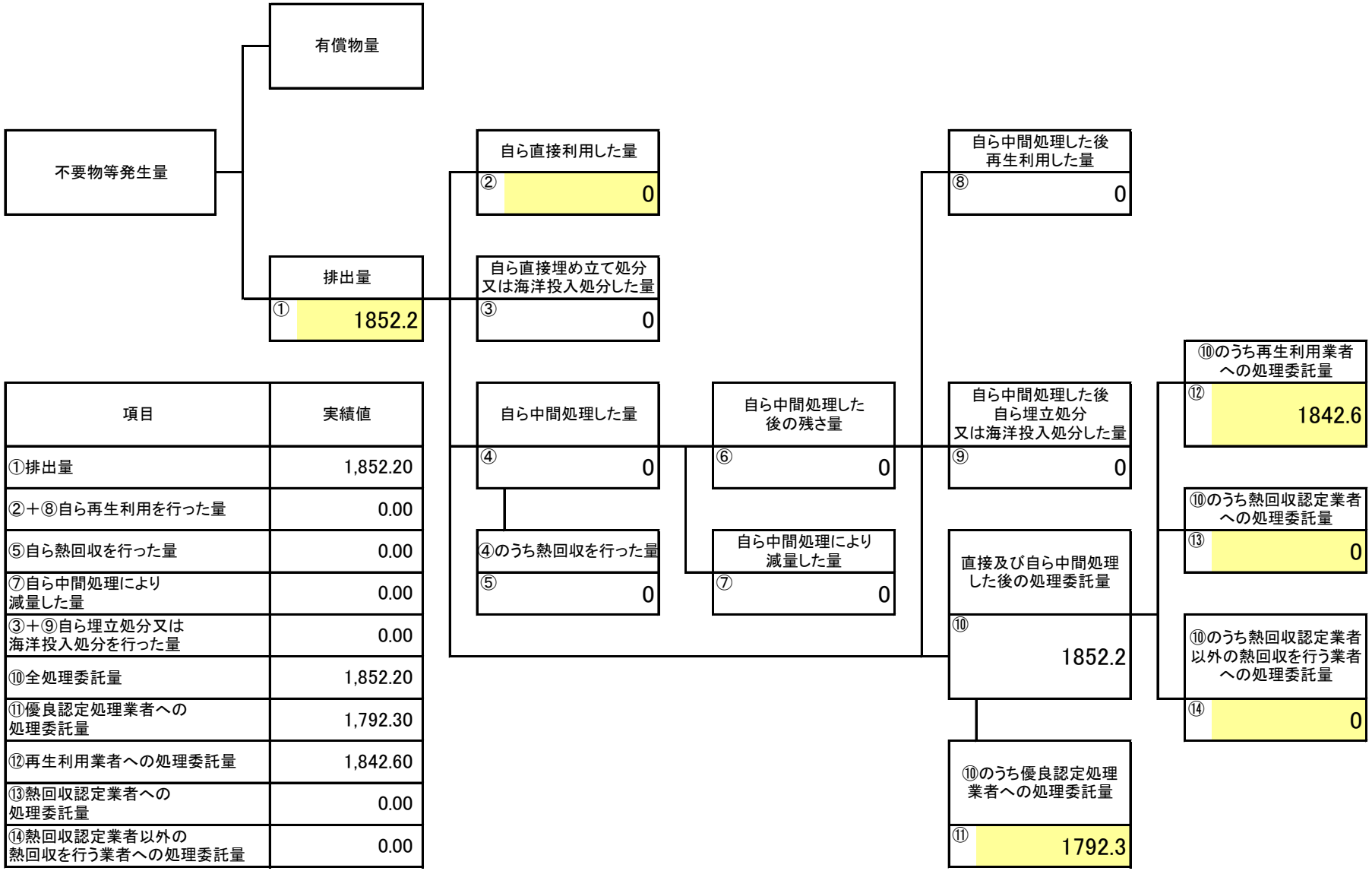
（産業廃棄物の種類:　産業廃棄物合計　）



項目	実績値
①排出量	2479.42
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2479.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2155.82
⑫再生利用業者への処理委託量	2398.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

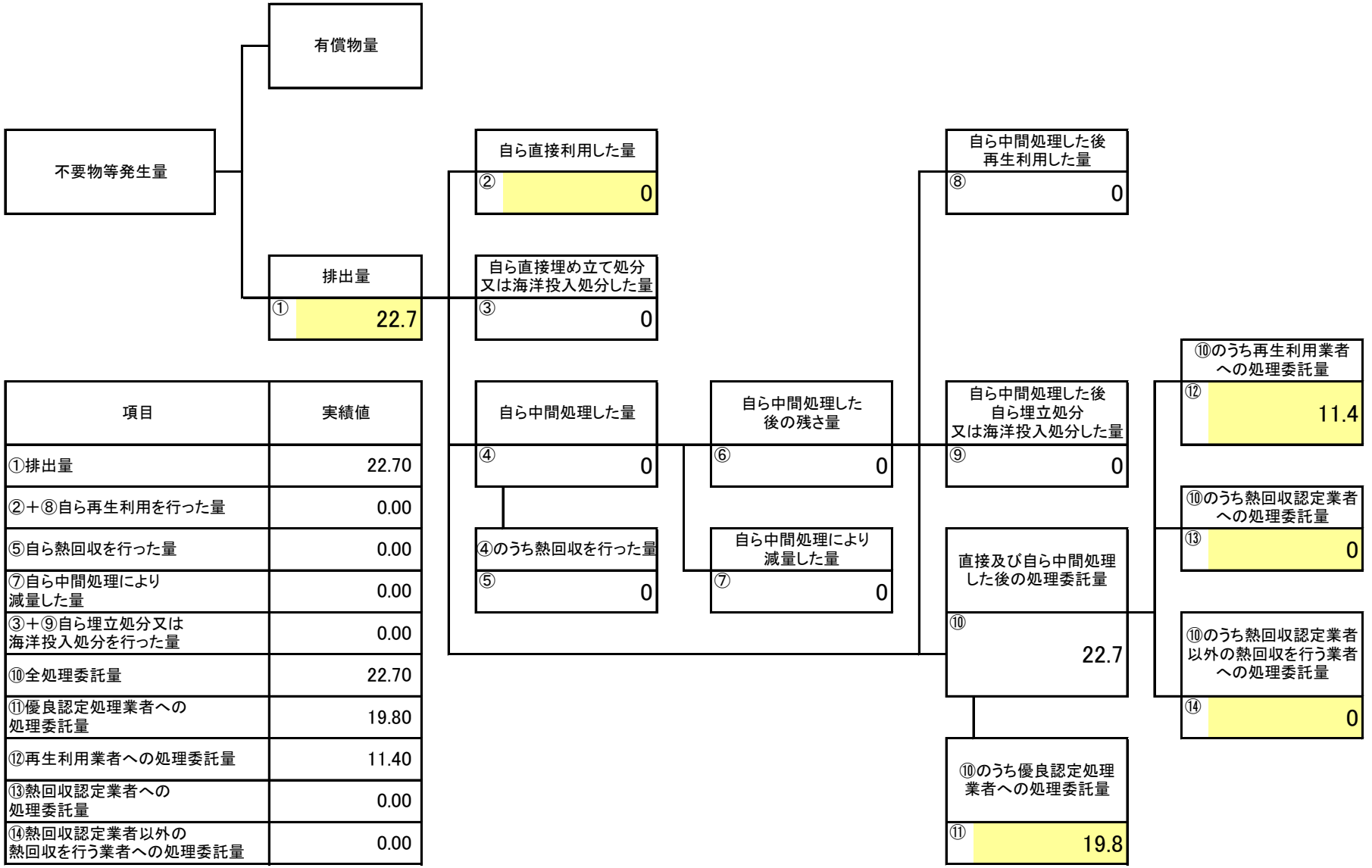
（産業廃棄物の種類:　　がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	1,852.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,852.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,792.30
⑫再生利用業者への処理委託量	1,842.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

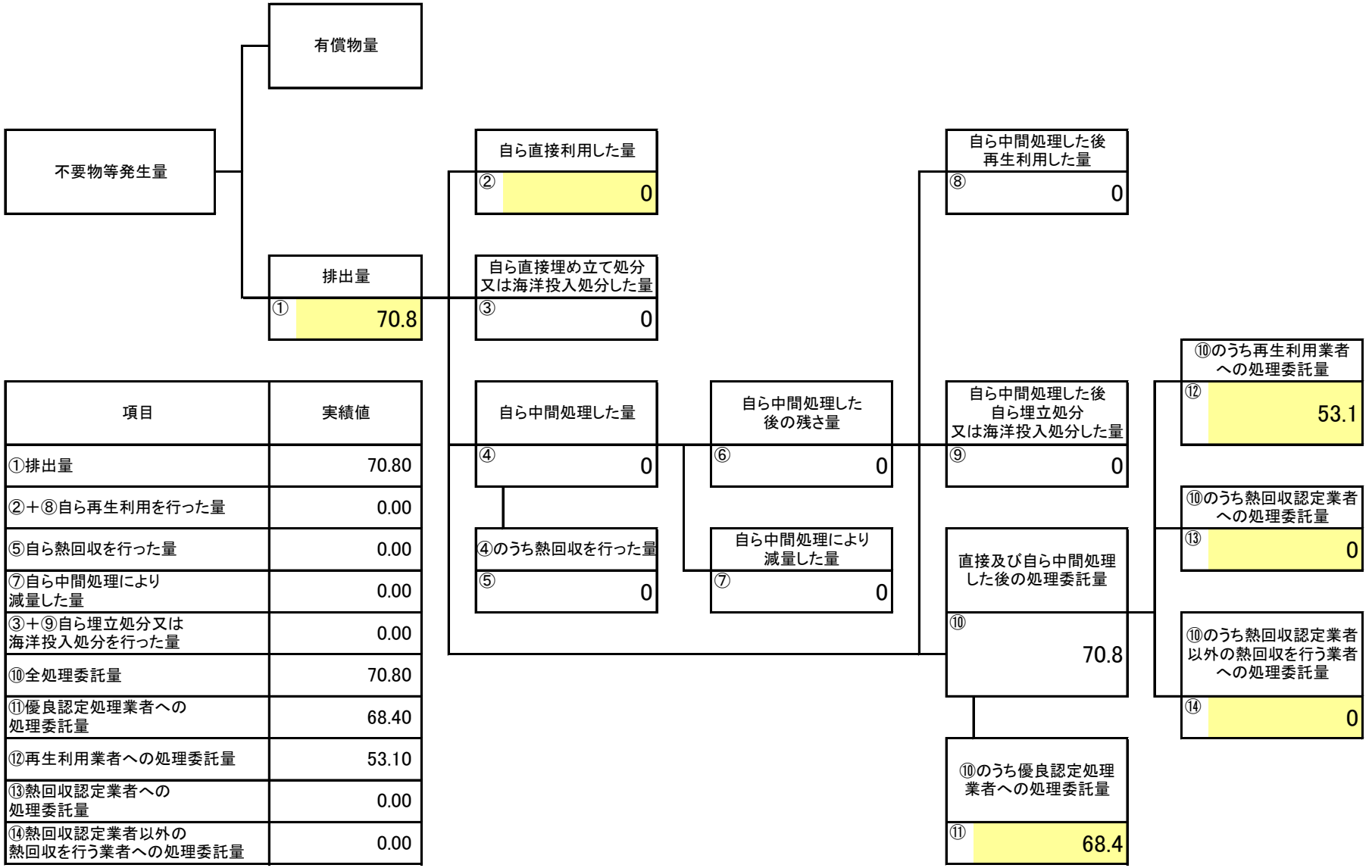
（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	22.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	22.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.80
⑫再生利用業者への処理委託量	11.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

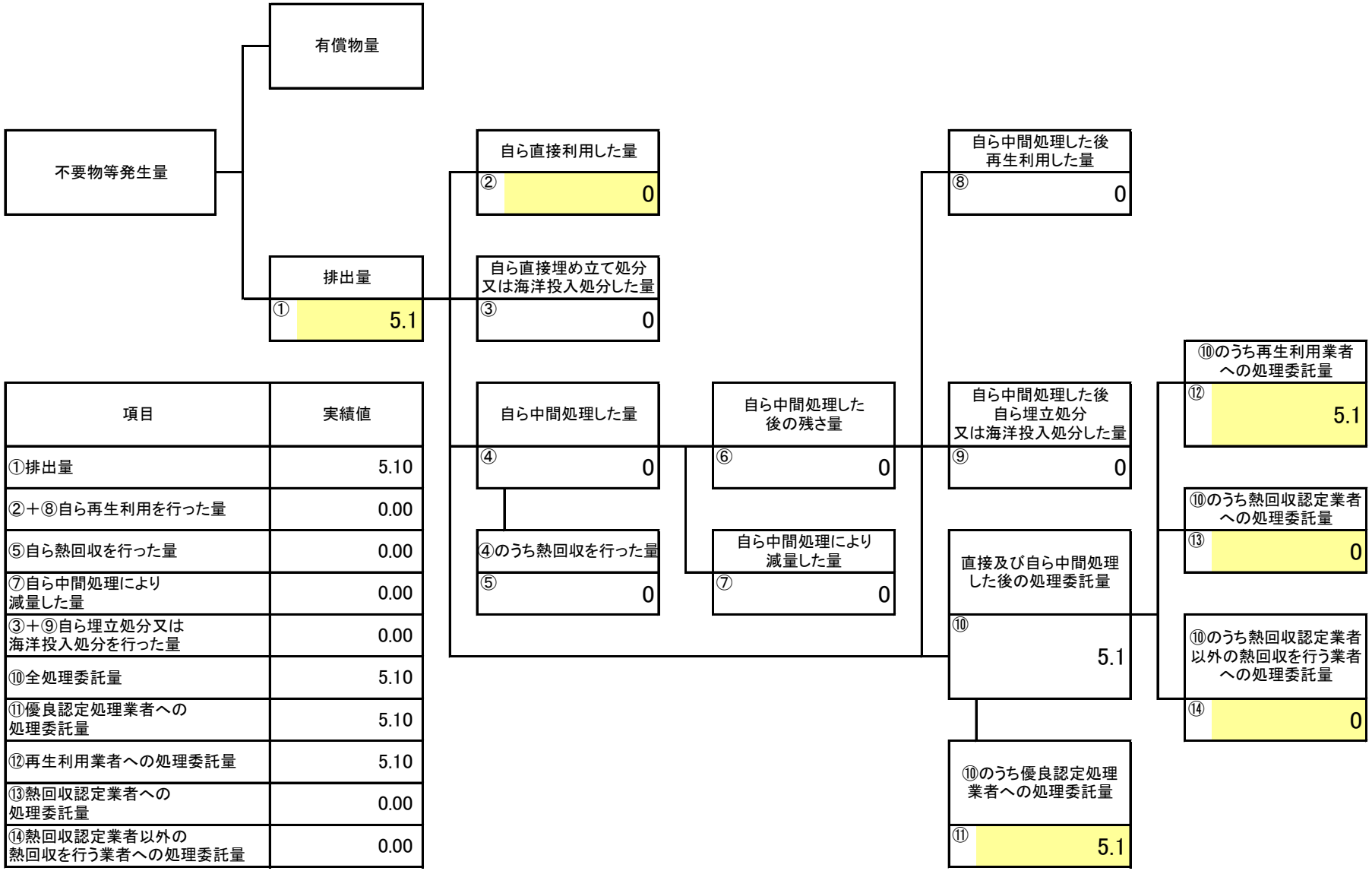
（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）



項目	実績値
①排出量	70.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	70.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.40
⑫再生利用業者への処理委託量	53.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

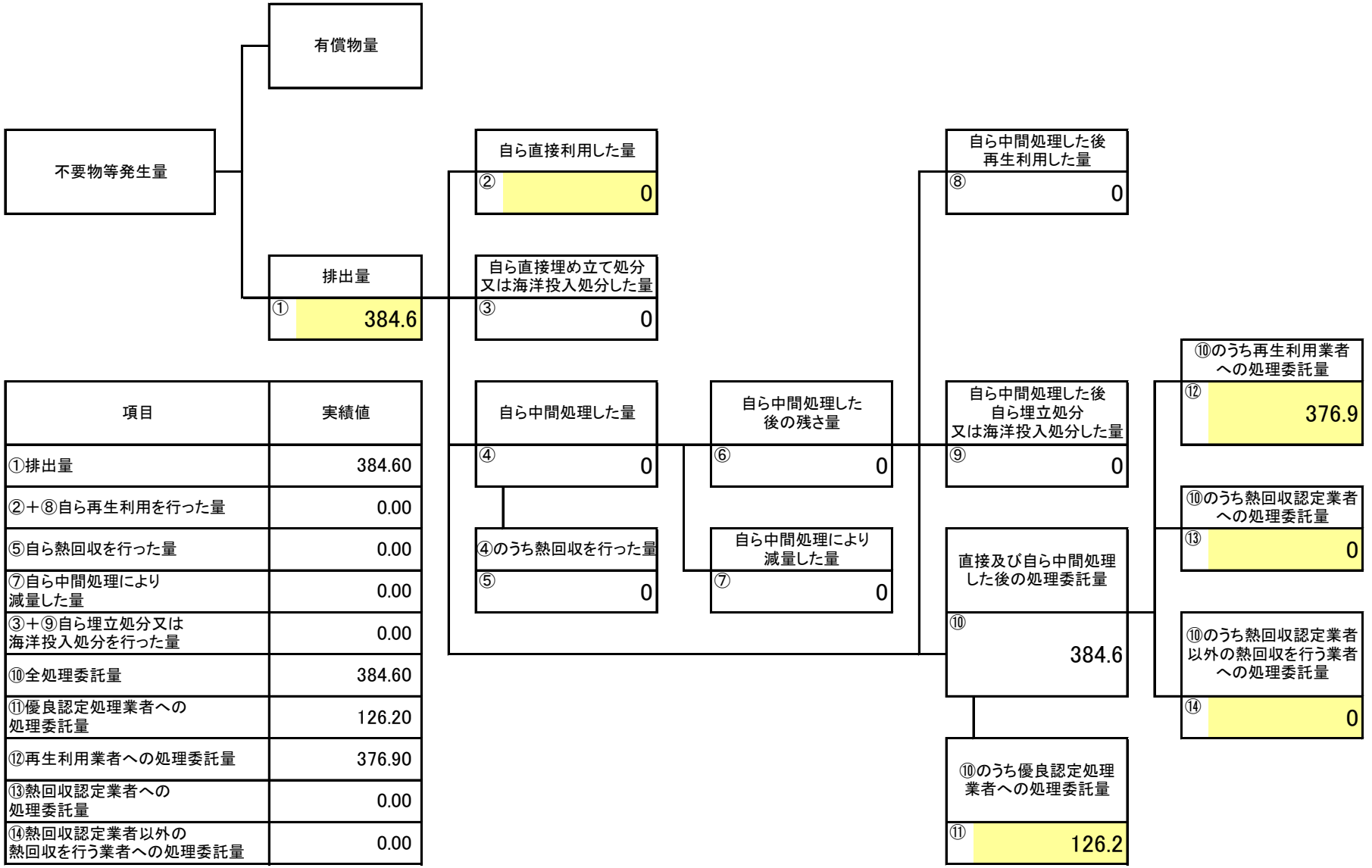
（産業廃棄物の種類:　　金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	5.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.10
⑫再生利用業者への処理委託量	5.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

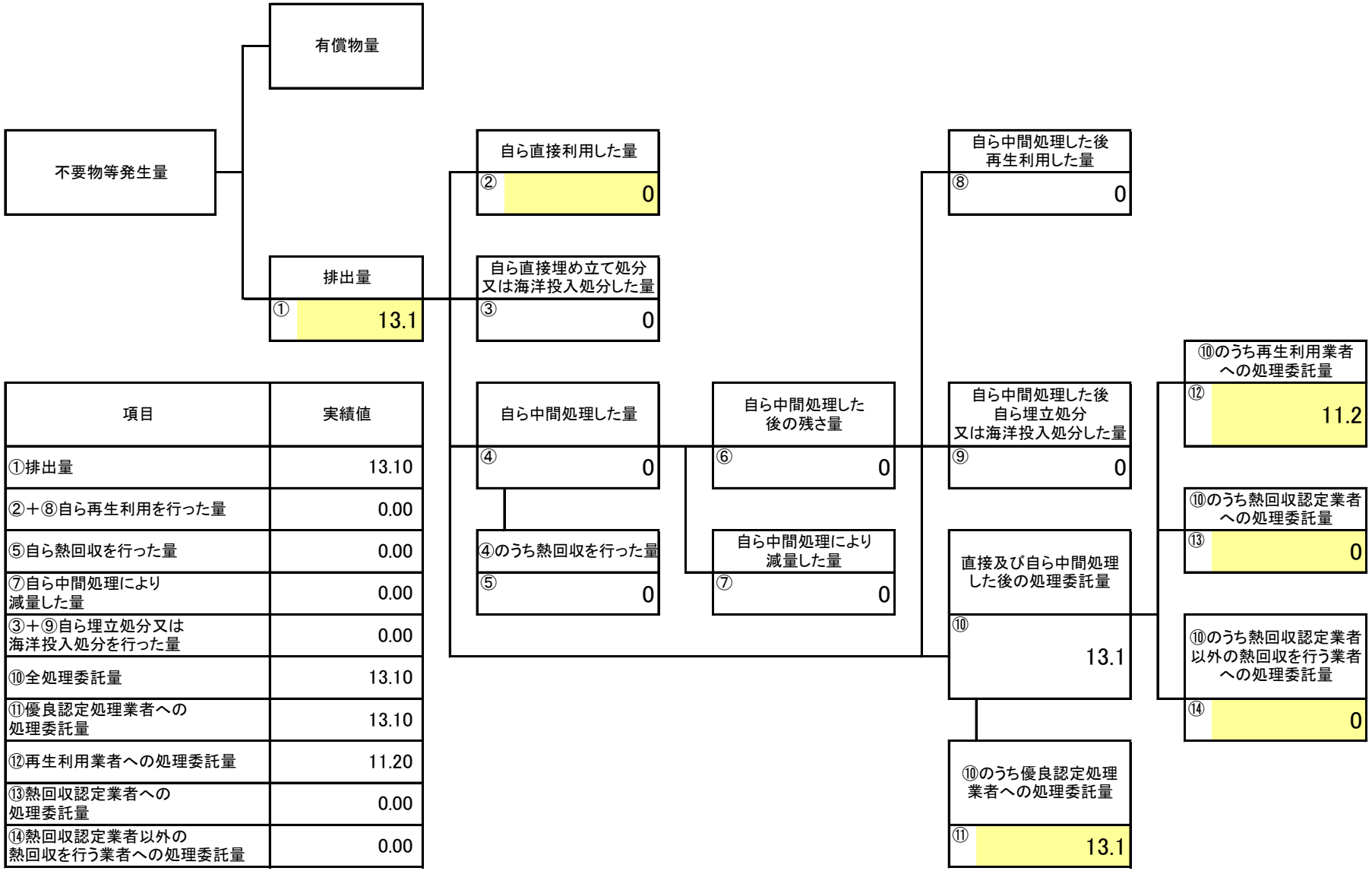
（産業廃棄物の種類:　　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	384.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	384.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	126.20
⑫再生利用業者への処理委託量	376.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

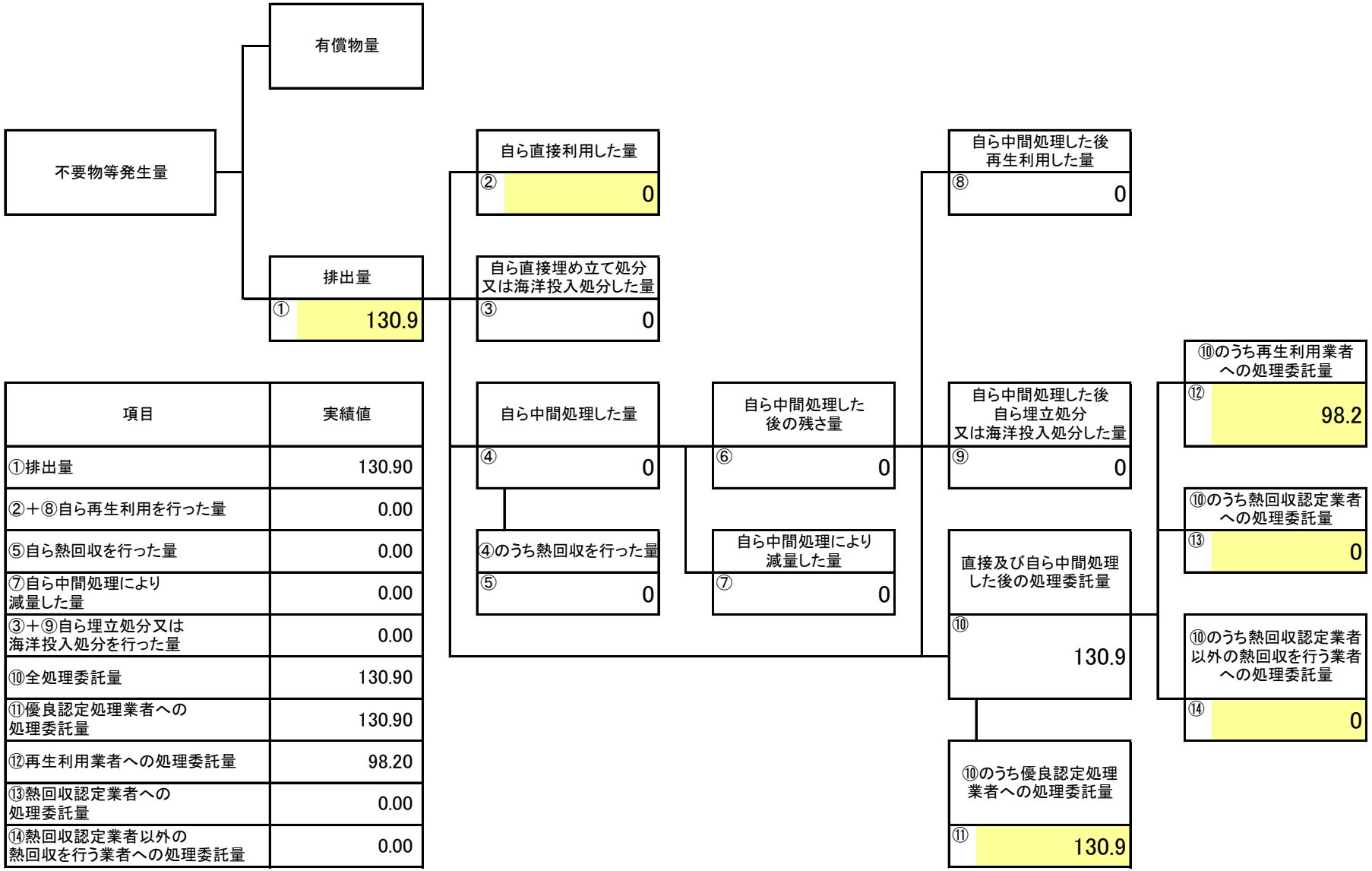
（産業廃棄物の種類:　　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	13.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	13.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.10
⑫再生利用業者への処理委託量	11.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　建設混合廃棄物　）

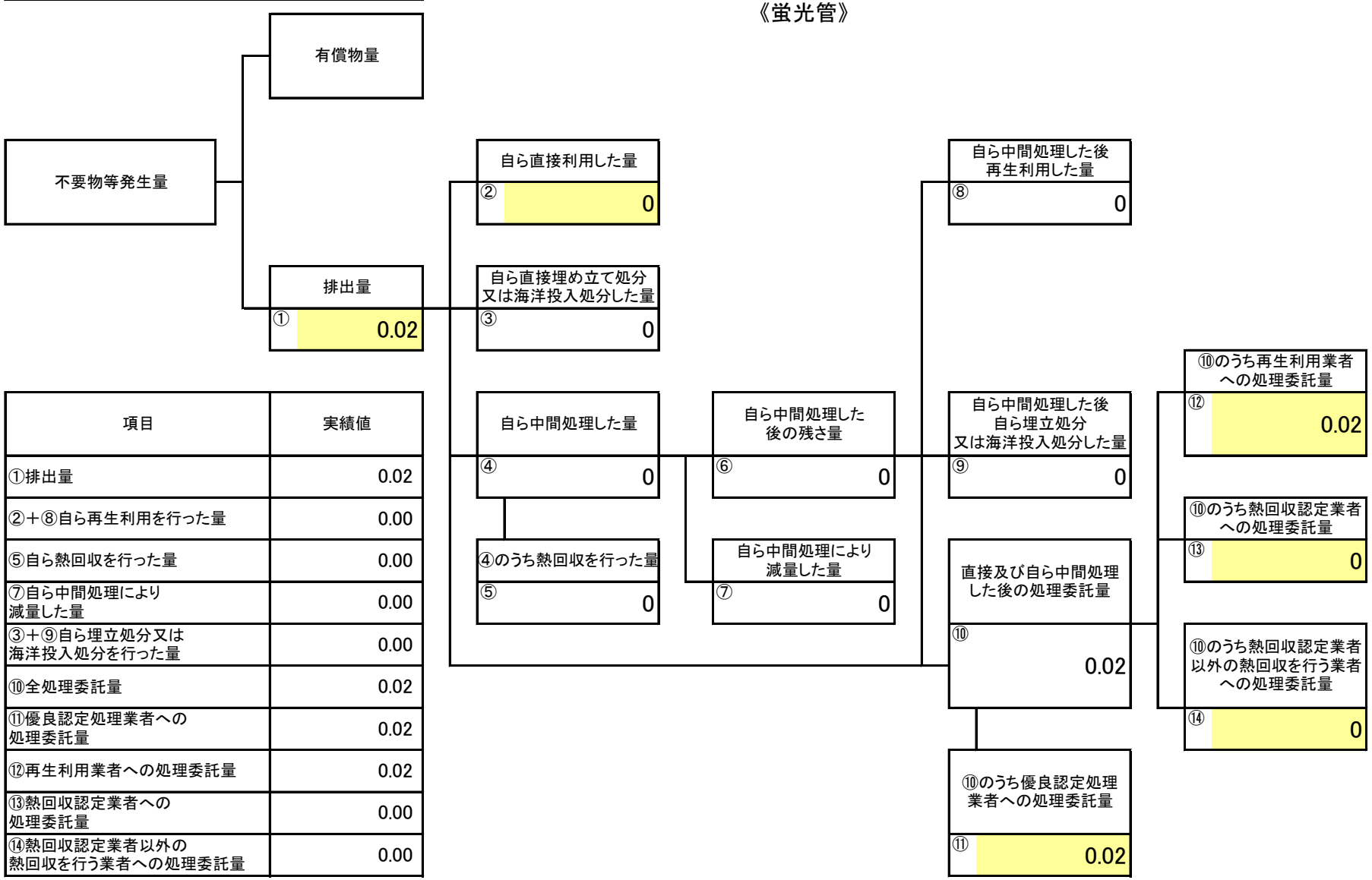


項目	実績値
①排出量	130.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	130.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.90
⑫再生利用業者への処理委託量	98.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 水銀使用製品産業廃棄物 ）

《蛍光管》



項目	実績値
①排出量	0.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年　6月　30日

千葉県知事　殿

提出者　　〒105-7360
住　所　　東京都港区東新橋1-9-1
株式会社　安藤・間　首都圏建築支店
氏　名　　常務執行役員支店長　　酒井　喜壽
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　03-3575-6170

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　安藤・間　　首都圏建築支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋1-9-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	資本金：17,006百万円　　完成工事高：392,680百万円 （首都圏建築支店：88,245百万円）
③従業員数	全社：3,446人（首都圏建築支店：444人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙「建設副産物管理組織図」通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排　出　量	5,499.11ｔ	
	（これまでに実施した取組） 年1回の集合教育で産廃管理についての指導・教育を実施している。パトロール等で、作業所の産廃管理状態を確認し、排出抑制対策の指導を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排　出　量	170.00ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 再利用や転用にて発生を抑制する パトロールによる指導 余分な資材の持込管理による抑制 工程管理による廃棄物排出量の抑制 上記の廃棄物管理方法を設定し効率的に運用し排出抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 年度混廃原単位目標を設定し取組んだ。作業所期初に分別目標を決め、管理し取り組んだ。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物保管場所の確保 作業所毎に環境行動計画を作成し管理する。 単品分別の推進と看板掲示を行い、ﾊﾟﾄﾛｰﾙで指導する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
建設汚泥の自ら利用計画書の推進。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
建設汚泥やこれから増える解体工事のがれきの自ら利用促進に取組んでいく。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="3">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社で熱回収や中間処理の施設を保有していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="3">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自社で熱回収や中間処理の施設を保有していない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自社で埋立や海洋投入処分を行ったことは無い。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これからも自社で埋立や海洋投入処分を行う予定は無い。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="6">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>5499.11ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1520.14ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>5419.64ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥、がれき、木くず、金属は、ほぼ100%再資源化できている。
再資源化が難しいｶﾞﾗｽ陶磁器類は分別しても中々再資源化率が上がらない。また、廃プラスチック類の再資源化に取り組んだ。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="6">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>170.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>50.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>150.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再資源化率が高い汚泥、がれき、木くず、金属は今まで通りとし、再資源化率の低いガラス陶磁器類については、優良認定処理業者への委託を中心に行い、出来る限りの単品分別により再生利用業者への委託を増やし、再資源化率の向上を図る。プラスチック新法に則り、単品分別の推進を図り再資源化率を高める</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

第2面～第5面の別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	排出量	5,133.50 t	50.63 t	40.70 t	10.74 t	111.70 t	0.00 t	11.85 t	128.22 t	0.00 t	11.75 t	0.02 t	0.00 t	5,499.11
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	排出量	100.00 t	10.00 t	10.00 t	5.00 t	10.00 t	0.00 t	5.00 t	30.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	170.00

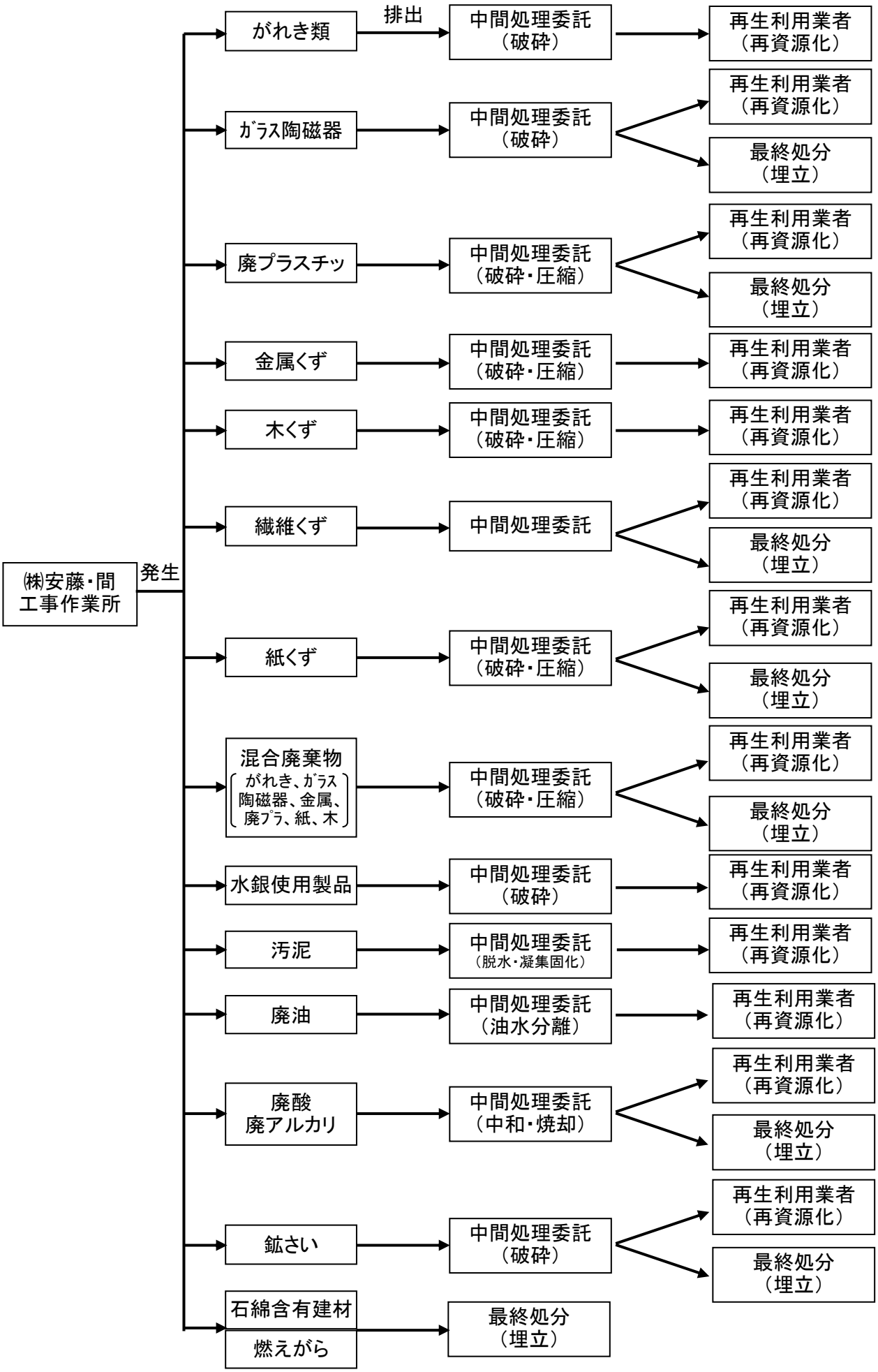
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	全処理委託量	5133.50 t	50.63 t	40.70 t	10.74 t	111.70 t	0.00 t	11.85 t	128.22 t	0.00 t	11.75 t	0.02 t	0.00 t	5499.11
	優良認定業者処理業者への処理委託量	1239.55 t	28.93 t	40.70 t	10.74 t	48.40 t	0.00 t	11.85 t	128.22 t	0.00 t	11.75 t	0.00 t	0.00 t	1520.14
	再生利用業者への処理委託量	5129.87 t	32.68 t	30.53 t	10.74 t	109.47 t	0.00 t	10.16 t	96.17 t	0.00 t	0.00 t	0.02 t	0.00 t	5419.64
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	全処理委託量	100.00 t	10.00 t	10.00 t	5.00 t	10.00 t	0.00 t	5.00 t	30.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	170.00
	優良認定業者処理業者への処理委託量	20.00 t	5.00 t	5.00 t	5.00 t	5.00 t	0.00 t	5.00 t	5.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	50.00
	再生利用業者への処理委託量	99.00 t	4.00 t	7.00 t	5.00 t	10.00 t	0.00 t	4.00 t	21.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	150.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00

産業廃棄物の一連の処理の工程



建設副産物管理組織図

組織	名　称	役　割
本社	安全衛生品質委員会・環境戦略委員会 委員長	・安全衛生品質委員会・環境戦略委員会を開催し、全社方針及び目的・目標を策定し、その推進及び実施結果の評価、見直しを行う。
	建設本部長	・土木・建築分野の方針及び目的・目標を策定し、これを推進する。また、各事業における実施結果と処理実績を取りまとめ、安全品質環境本部長へ報告する。
	安全品質環境本部長	・建設副産物の統括窓口として、発生抑制、再生利用及び適正処理の推進を図る。 ・全社としての実施結果と処理実績を取りまとめる。
	建設監理部長	・建設副産物処理に関する支店及び作業所の指導、支援を行う。 ・土木・建築事業の実施結果と処理実績の集計・分析を行う。
	品質環境部長	・建設副産物関連情報の収集に務め、的確な情報を関係部門に提供する。 ・環境管理システムを管理・運用する。 ・全社としての実施結果と処理実績の集計・分析を行う。
	研究開発推進部長	・技術研究所における建設副産物の発生の抑制、再生利用の促進及び適正処理の徹底を図る。（業務内容は作業所長に準ずる）
支店	支店長	・支店の分野方針及び目的・目標を策定し、その推進及び実施結果と処理実績の評価、見直しを行い、建設本部長に報告する。
	土木部長 建築部長	・建設副産物に関する以下の業務を行う。 ①建設副産物処理計画の作成、処理業者の選定等において、作業所を指導・支援する。 ②電子マニフェストの運用に当り、現場情報、業者の基本情報、及び運搬経路を登録する。 ③廃棄物処理の委託契約を公印管理規定に基づく公印にて締結(※1)する。 ④建設副産物関連法規等の情報を作業所に周知する。 ⑤作業所の実施結果と処理実績を集計・分析する。 ⑥石綿事前調査結果報告が必要な場合は、石綿事前調査結果報告システムにより報告する。
	安全環境部長	・建設副産物に関する以下の業務を行う。 ①関係法令等で定められている計画、届出及び報告書について、作業所の処理実績を集計し、関係行政機関に提出を行なう。 ②廃棄物処理の委託契約を確認・指導する。 ③電子マニフェストの運用に当り、業者の基本情報を確認する。 ④建設副産物関連法規等の情報を工事部門に周知すると共に、処理に関する教育・指導を行う。
	作業所長 （作業所環境管理責任者） （産業廃棄物管理責任者）	・建設副産物の発生の抑制、再生利用の促進及び適正処理の徹底を図るために以下の業務を行う。 ①作業所の建設副産物処理計画を作成する。 ②処理業者の調査・選定を行う。（必要書類及び現地の確認） ③関係法令等で定められている作業所に関する計画、届出及び報告書を作成し、関係行政機関に提出する。 ④作業所内に環境管理組織を編成すると共に、建設副産物管理担当者を決めて、日常管理を確実に行わせる。 ⑤社員及び協力会社の作業員等の教育・指導を行う。 ⑥建設系廃棄物マニフェストの交付・管理、処理状況の確認を行う。 ⑦実施結果と処理実績を入力・集計し、工事部門へ報告する。

（※1）建設廃棄物処理委託契約の締結は、土木部長、建築部長又は、その上位者が行う

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年　6月　30日

千葉県知事　殿

提出者　　〒105-7360
住　所　　東京都港区東新橋1-9-1
株式会社　安藤・間　首都圏土木支店
氏　名　　常務執行役員支店長　　曽根　浩
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　03-3575-6180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　安藤・間　　首都圏土木支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋1-9-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	資本金：17,006百万円　　完成工事高：392,680百万円 （首都圏土木支店：41,313百万円）
③従業員数	全社：3,446人（首都圏土木支店：268人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙「建設副産物管理組織図」通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排　出　量	2,184.64ｔ	
	（これまでに実施した取組） 年1回の集合教育で産廃管理についての指導・教育を実施している。パトロール等で、作業所の産廃管理状態を確認し、排出抑制対策の指導を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排　出　量	1,810.00ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 再利用や転用にて発生を抑制する パトロールによる指導 余分な資材の持込管理による抑制 工程管理による廃棄物排出量の抑制 上記の廃棄物管理方法を設定し効率的に運用し排出抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 年度混廃原単位目標を設定し取組んだ。作業所期初に分別目標を決め、管理し取り組んだ。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物保管場所の確保 作業所毎に環境行動計画を作成し管理する。 単品分別の推進と看板掲示を行い、ﾊﾟﾄﾛｰﾙで指導する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
建設汚泥の自ら利用計画書の推進。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
建設汚泥やこれから増える解体工事のがれきの自ら利用促進に取組んでいく。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="3">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社で熱回収や中間処理の施設を保有していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="3">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自社で熱回収や中間処理の施設を保有していない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自社で埋立や海洋投入処分を行ったことは無い。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="2">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これからも自社で埋立や海洋投入処分を行う予定は無い。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="6">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>2184.64ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1926.19ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2137.05ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥、がれき、木くず、金属は、ほぼ100%再資源化できている。
再資源化が難しいｶﾞﾗｽ陶磁器類は分別しても中々再資源化率が上がらない。また、廃プラスチック類の再資源化に取り組んだ。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>総排出量</td><td rowspan="6">産業廃棄物の種類毎は別紙の通り</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1,810.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1,073.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,770.00ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再資源化率が高い汚泥、がれき、木くず、金属は今まで通りとし、再資源化率の低いガラス陶磁器類については、優良認定処理業者への委託を中心に行い、出来る限りの単品分別により再生利用業者への委託を増やし、再資源化率の向上を図る。プラスチック新法に則り、単品分別の推進を図り再資源化率を高める</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

第2面～第5面の別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	排出量	1,693.05 t	0.00 t	49.20 t	4.52 t	355.20 t	0.00 t	9.45 t	73.22 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2,184.64
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	排出量	1,000.00 t	10.00 t	40.00 t	5.00 t	200.00 t	0.00 t	5.00 t	50.00 t	500.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,810.00

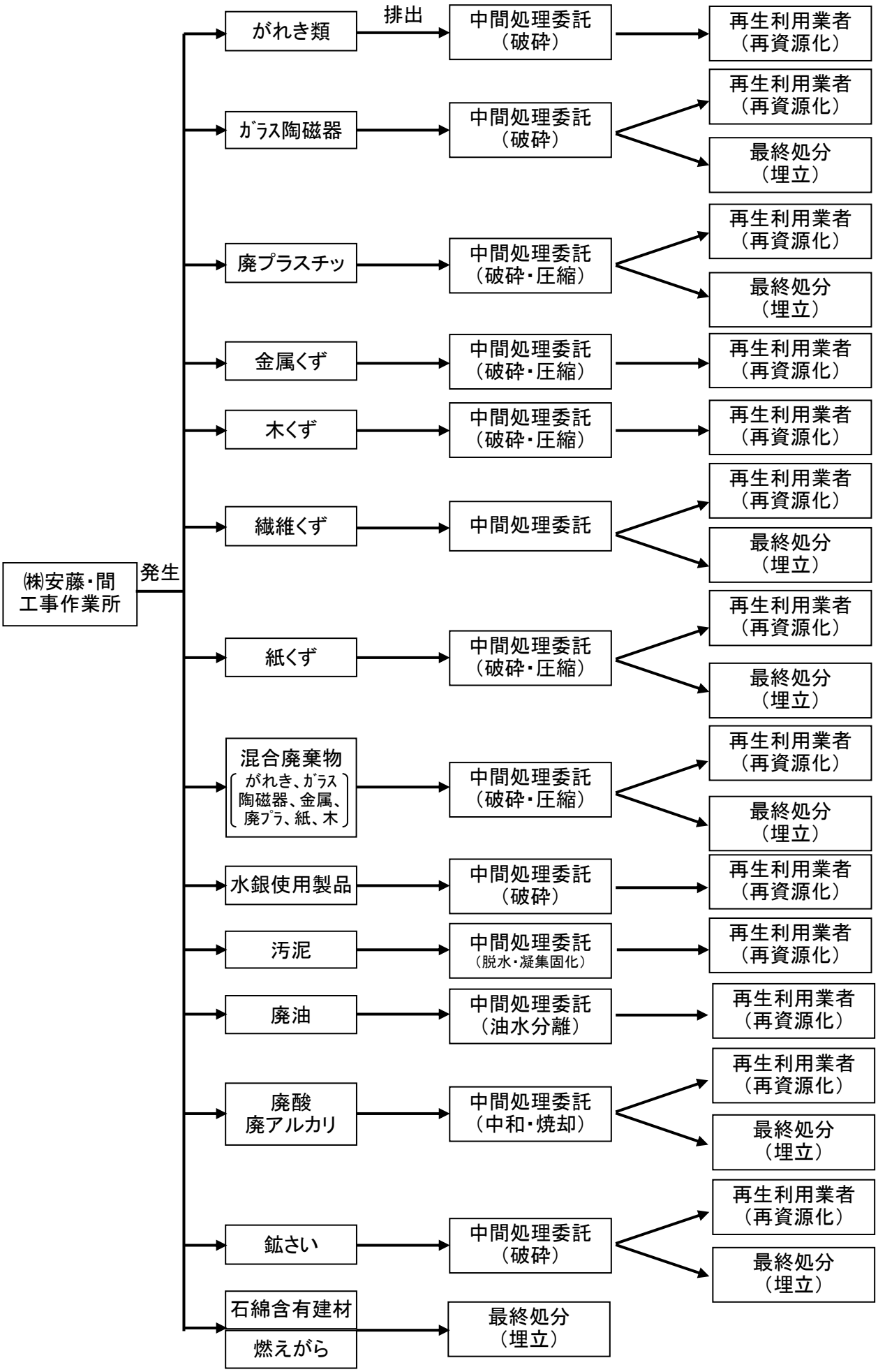
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	全処理委託量	1693.05 t	0.00 t	49.20 t	4.52 t	355.20 t	0.00 t	9.45 t	73.22 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2184.64
	優良認定業者処理業者への処理委託量	1693.05 t	0.00 t	49.20 t	4.52 t	96.75 t	0.00 t	9.45 t	73.22 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1926.19
	再生利用業者への処理委託量	1684.28 t	0.00 t	36.90 t	4.52 t	348.10 t	0.00 t	8.35 t	54.92 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2137.05
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック	金属くず	木くず	廃油	紙くず	混合廃棄物	汚泥	石綿含有	水銀使用製品産業廃棄物	廃アルカリ	合計
	全処理委託量	1,000.00 t	10.00 t	40.00 t	5.00 t	200.00 t	0.00 t	5.00 t	50.00 t	500.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,810.00
	優良認定業者処理業者への処理委託量	800.00 t	5.00 t	30.00 t	5.00 t	100.00 t	0.00 t	3.00 t	30.00 t	100.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,073.00
	再生利用業者への処理委託量	995.00 t	4.00 t	28.00 t	5.00 t	196.00 t	0.00 t	4.00 t	38.00 t	500.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,770.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00

産業廃棄物の一連の処理の工程



建設副産物管理組織図

組織	名　称	役　割
本社	安全衛生品質委員会・環境戦略委員会 委員長	・安全衛生品質委員会・環境戦略委員会を開催し、全社方針及び目的・目標を策定し、その推進及び実施結果の評価、見直しを行う。
	建設本部長	・土木・建築分野の方針及び目的・目標を策定し、これを推進する。また、各事業における実施結果と処理実績を取りまとめ、安全品質環境本部長へ報告する。
	安全品質環境本部長	・建設副産物の統括窓口として、発生抑制、再生利用及び適正処理の推進を図る。 ・全社としての実施結果と処理実績を取りまとめる。
	建設監理部長	・建設副産物処理に関する支店及び作業所の指導、支援を行う。 ・土木・建築事業の実施結果と処理実績の集計・分析を行う。
	品質環境部長	・建設副産物関連情報の収集に務め、的確な情報を関係部門に提供する。 ・環境管理システムを管理・運用する。 ・全社としての実施結果と処理実績の集計・分析を行う。
	研究開発推進部長	・技術研究所における建設副産物の発生の抑制、再生利用の促進及び適正処理の徹底を図る。（業務内容は作業所長に準ずる）
支店	支店長	・支店の分野方針及び目的・目標を策定し、その推進及び実施結果と処理実績の評価、見直しを行い、建設本部長に報告する。
	土木部長 建築部長	・建設副産物に関する以下の業務を行う。 ①建設副産物処理計画の作成、処理業者の選定等において、作業所を指導・支援する。 ②電子マニフェストの運用に当り、現場情報、業者の基本情報、及び運搬経路を登録する。 ③廃棄物処理の委託契約を公印管理規定に基づく公印にて締結(※1)する。 ④建設副産物関連法規等の情報を作業所に周知する。 ⑤作業所の実施結果と処理実績を集計・分析する。 ⑥石綿事前調査結果報告が必要な場合は、石綿事前調査結果報告システムにより報告する。
	安全環境部長	・建設副産物に関する以下の業務を行う。 ①関係法令等で定められている計画、届出及び報告書について、作業所の処理実績を集計し、関係行政機関に提出を行なう。 ②廃棄物処理の委託契約を確認・指導する。 ③電子マニフェストの運用に当り、業者の基本情報を確認する。 ④建設副産物関連法規等の情報を工事部門に周知すると共に、処理に関する教育・指導を行う。
	作業所長 （作業所環境管理責任者） （産業廃棄物管理責任者）	・建設副産物の発生の抑制、再生利用の促進及び適正処理の徹底を図るために以下の業務を行う。 ①作業所の建設副産物処理計画を作成する。 ②処理業者の調査・選定を行う。（必要書類及び現地の確認） ③関係法令等で定められている作業所に関する計画、届出及び報告書を作成し、関係行政機関に提出する。 ④作業所内に環境管理組織を編成すると共に、建設副産物管理担当者を決めて、日常管理を確実に行わせる。 ⑤社員及び協力会社の作業員等の教育・指導を行う。 ⑥建設系廃棄物マニフェストの交付・管理、処理状況の確認を行う。 ⑦実施結果と処理実績を入力・集計し、工事部門へ報告する。

（※1）建設廃棄物処理委託契約の締結は、土木部長、建築部長又は、その上位者が行う

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和７年　４月　２８日

千葉県知事　　殿

提出者
住　所　千葉県山武郡芝山町大里974
氏　名　株式会社　石井興業
代表取締役　石井典子
電話番号　0479-78-0026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　石井興業
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里974
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

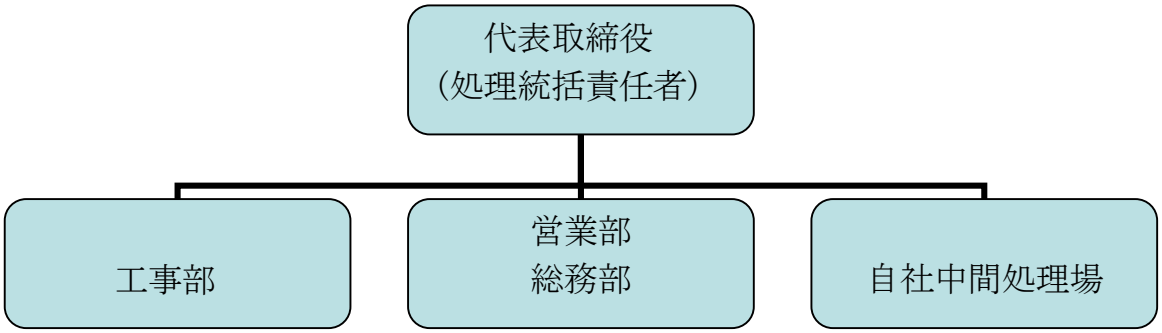
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：職別工事業
②事業の規模	前年度元請け完成工事高：４５０，０００，０００円
③従業員数	６１名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類 ・ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず ・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・金属くず ・木くず・水銀使用製品 ・繊維くず・紙くず・燃え殻 ・混合廃棄物・廃油 ・石綿含有材 ⇨ ・再資源化 ・中間処理 ・埋め立て処分

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状

【前年度（　令和６年度）実績】　　別紙の通り

産業廃棄物種類								
排出量(t)								

（これまでに実施した取組）
・現場毎に混合廃棄物の排出目標を定め、分別の徹底を行う。
・毎月一回の環境パトロールの実施。
・策定したEMSを運用し、計画した環境目標を達成に向けたPDCA活動の継続実施。

計画

【目標】　別紙の通り

産業廃棄物種類								
排出量(t)								

（今後実施する予定の取組）
・上記取り組みを継続実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①　現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特定建設資材廃棄物及び石綿含有廃棄物の確実な分別の徹底 ・その他廃棄物の分別の実施
④　計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記取り組みのPDCA活動の実施

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和６年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・自社中間処理場にて破砕処理、再資源化を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・上記取り組みを継続実施する</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・リサイクル率が高く、優良評価の認定を受けた委託業者の選定
・電子マニフェスト、電子委託契約書の選定による業務効率化</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">② 画</td><td colspan="3">【目標】別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・上記取り組みを継続実施する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の種類 (単位:t)	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
がれき類	4567.84	10000	3930.06	5000				
ガラス陶磁器くず	82.38	200						
木くず	821.835	300	760.16	270				
廃プラスチック類	50.66	45						
繊維くず	5.15	2						
紙くず	5.78	1						
混合廃棄物	213.15	200						
水銀使用製品廃棄物	0.338	0.05						
石綿含有廃棄物	387	130						
金属	0.78	1						
燃え殻	1.56	1						
廃油	1.52	1						
計	6137.993	10881.05	4690.22	5270				

産業廃棄物の種類 (単位:t)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
がれき類	637.78	5000	236.8	500	400.98	5000				
ガラス陶磁器くず	82.38	200	82.38	200						
木くず	61.675	30	1.675	30	60	30				
廃プラスチック類	50.66	45	50.66	45						
繊維くず	5.15	2	5.15	2						
紙くず	5.78	1	5.78	1						
混合廃棄物	213.15	200	213.15	200						
水銀使用製品廃棄物	0.338	0.05	0.338	0.05						
石綿含有廃棄物	387	130	387	130						
金属くず	0.78	1	0.78	1						
燃え殻	1.56	1			1.56	1				
廃油	1.52	1	1.52	1						
計	1447.773	5611.05	985.233	1110.05	462.54	5031				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月28日

千葉県知事　熊谷俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県山武郡芝山町大里974番地
氏 名　株式会社 石井興業
代表取締役 石井 典子
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　0479-78-0026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社石井興業
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里974番地
事業の種類	大分類:建設業　　中分類:職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

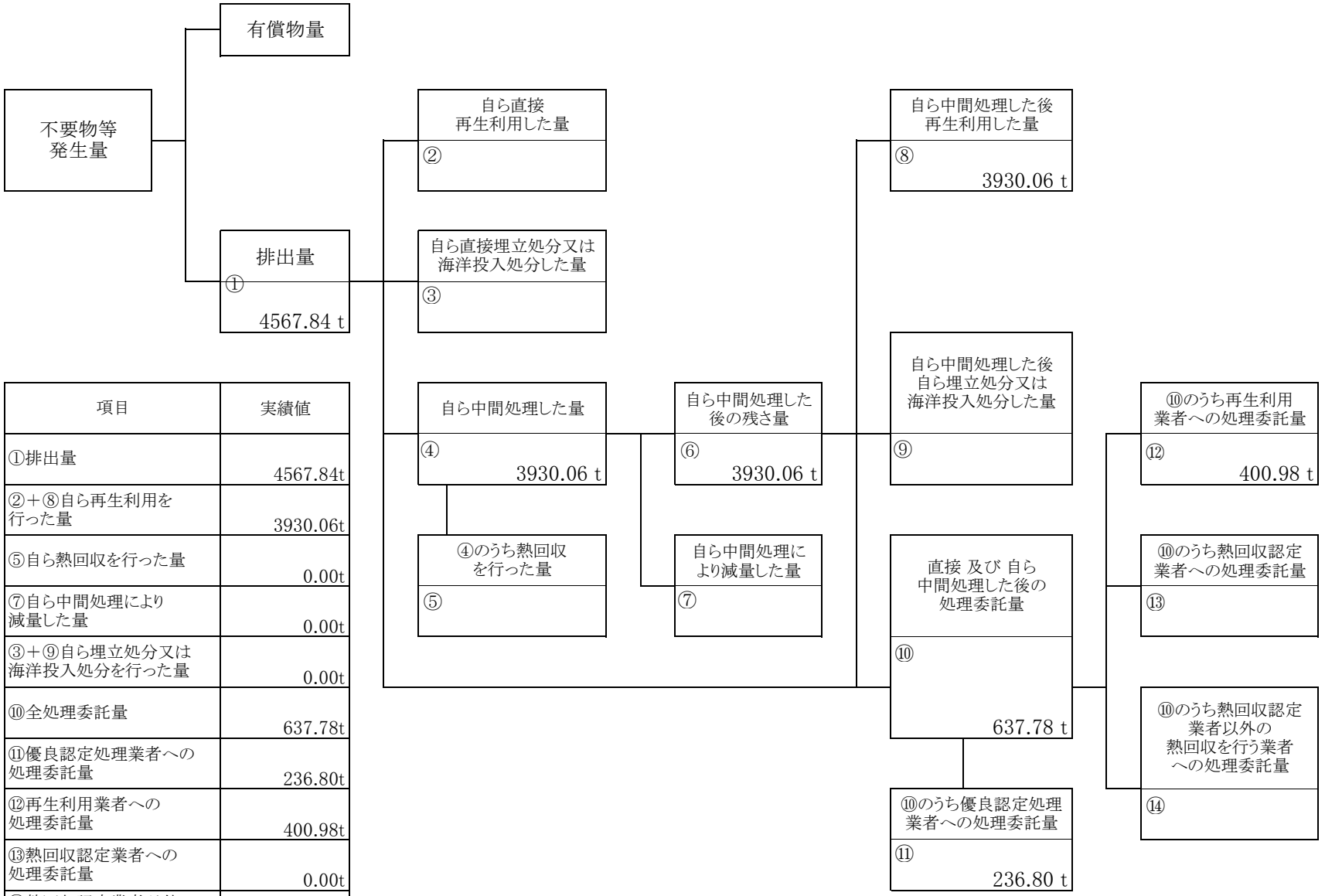
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10878.05	全処理委託量	5608.05
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5270.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	608.05
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	5000.00
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

(日本工業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

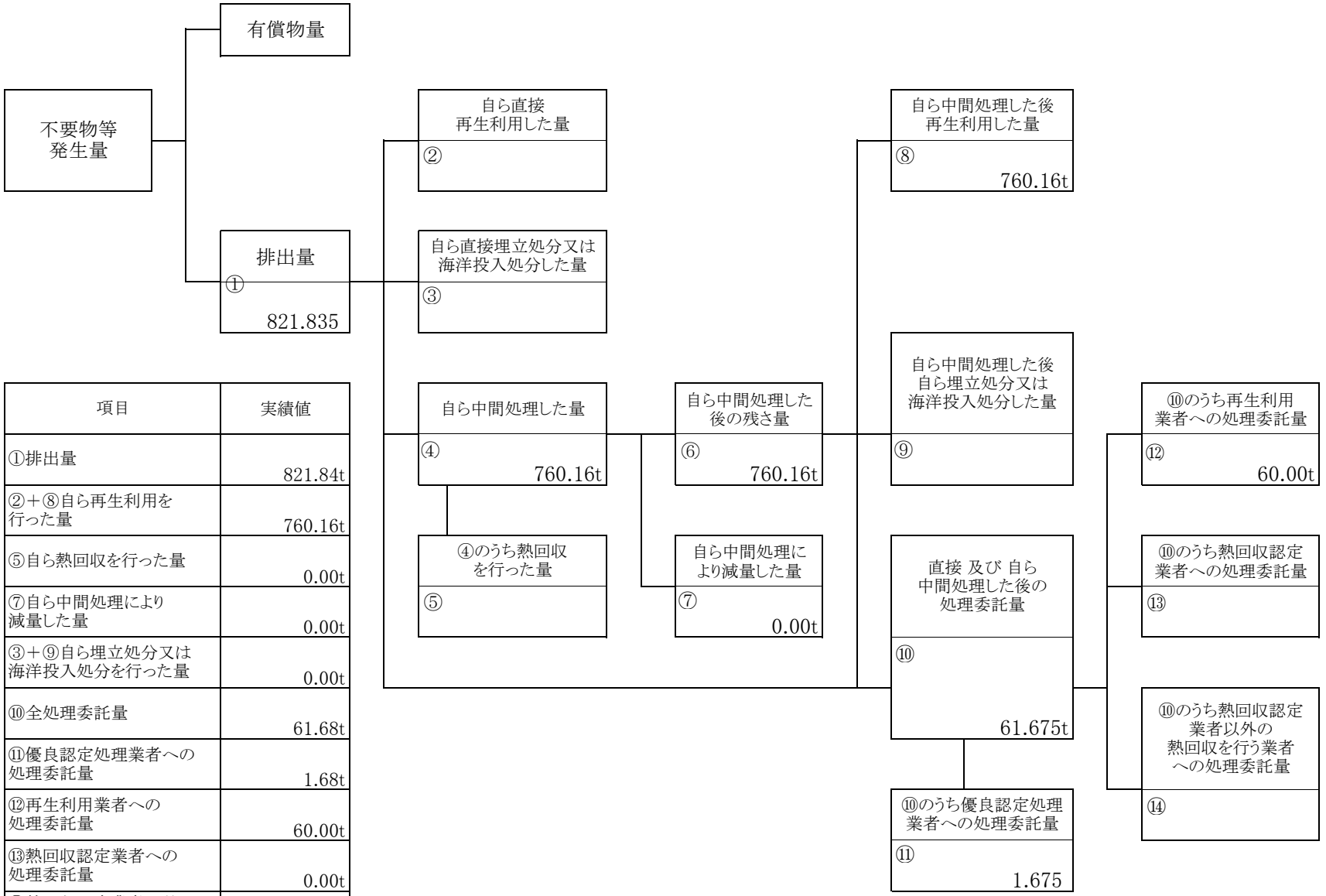


項目	実績値
①排出量	4567.84t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	3930.06t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	637.78t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	236.80t
⑫再生利用業者への処理委託量	400.98t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

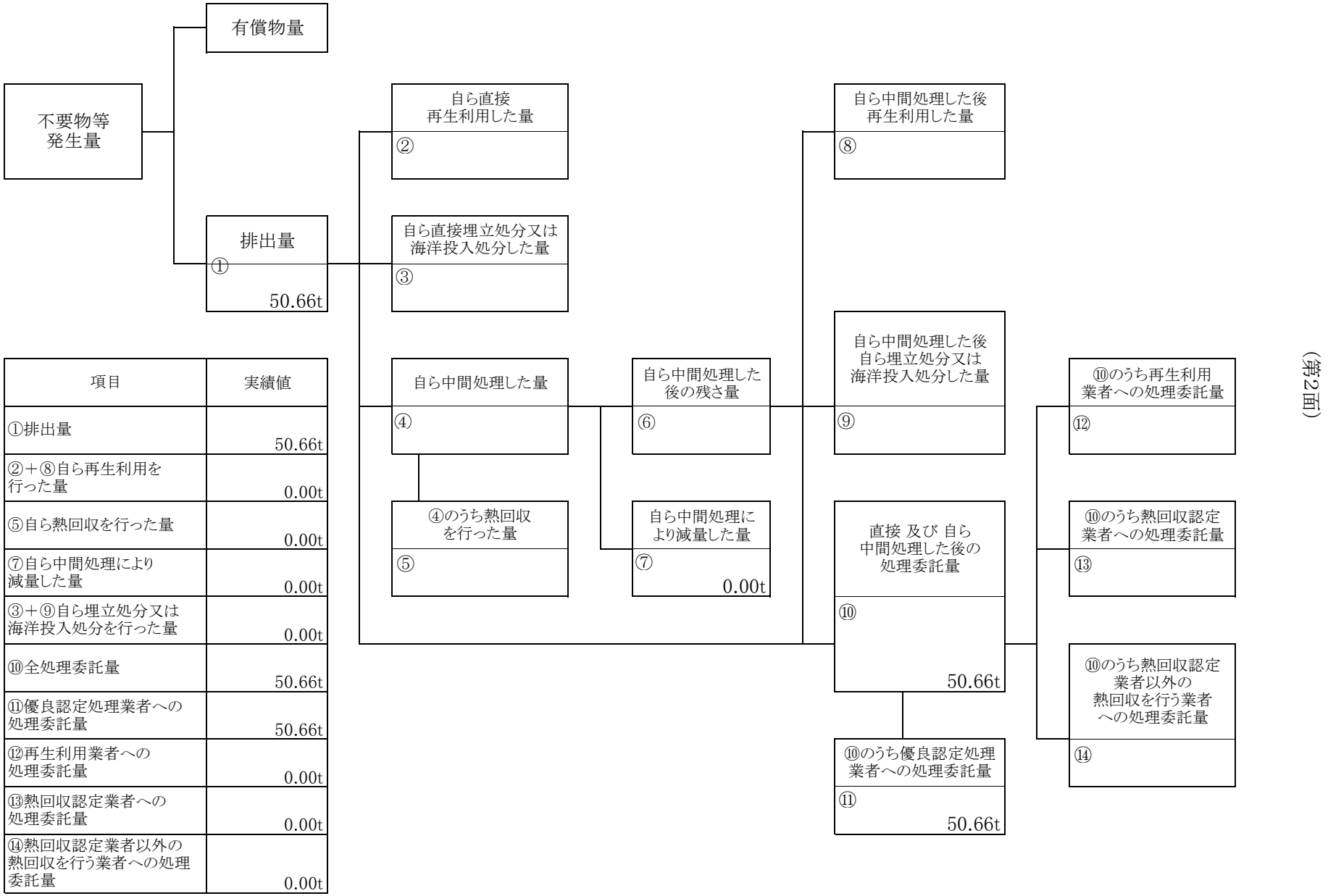


項目	実績値
①排出量	821.84t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	760.16t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	61.68t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.68t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

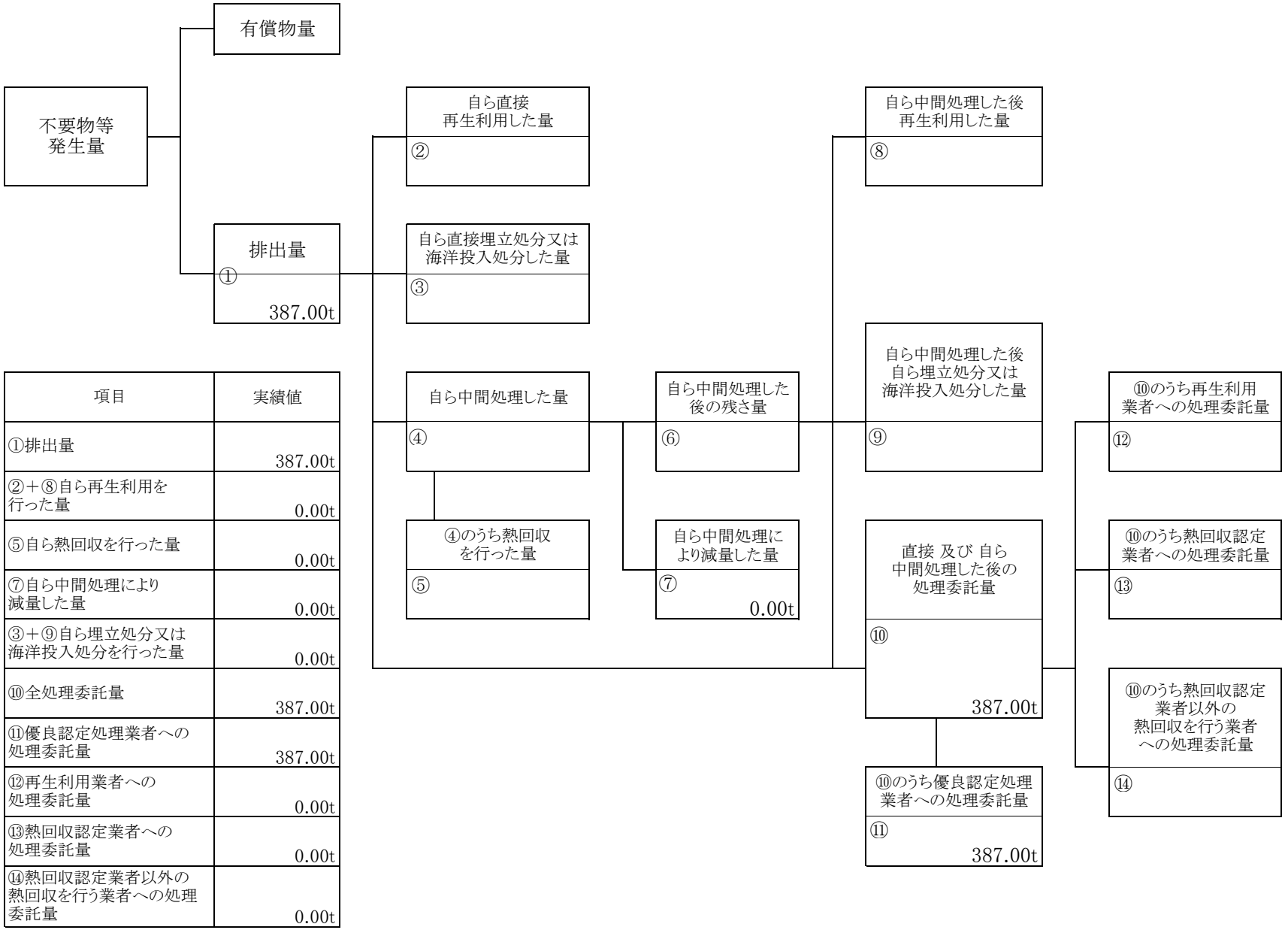


項目	実績値
①排出量	50.66t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	50.66t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.66t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**がれき類（石綿含有）**　）

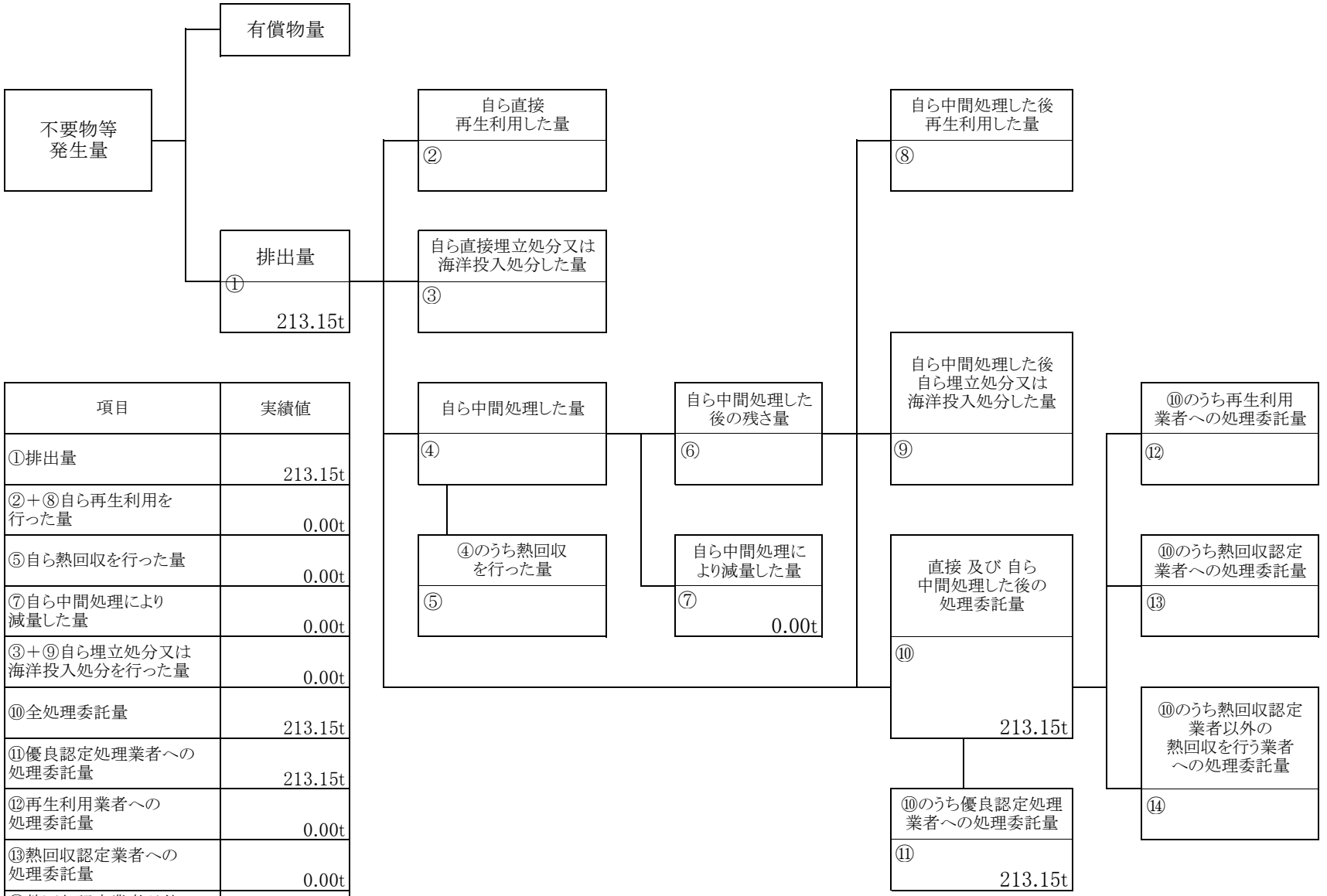


項目	実績値
①排出量	387.00t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	387.00t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	387.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

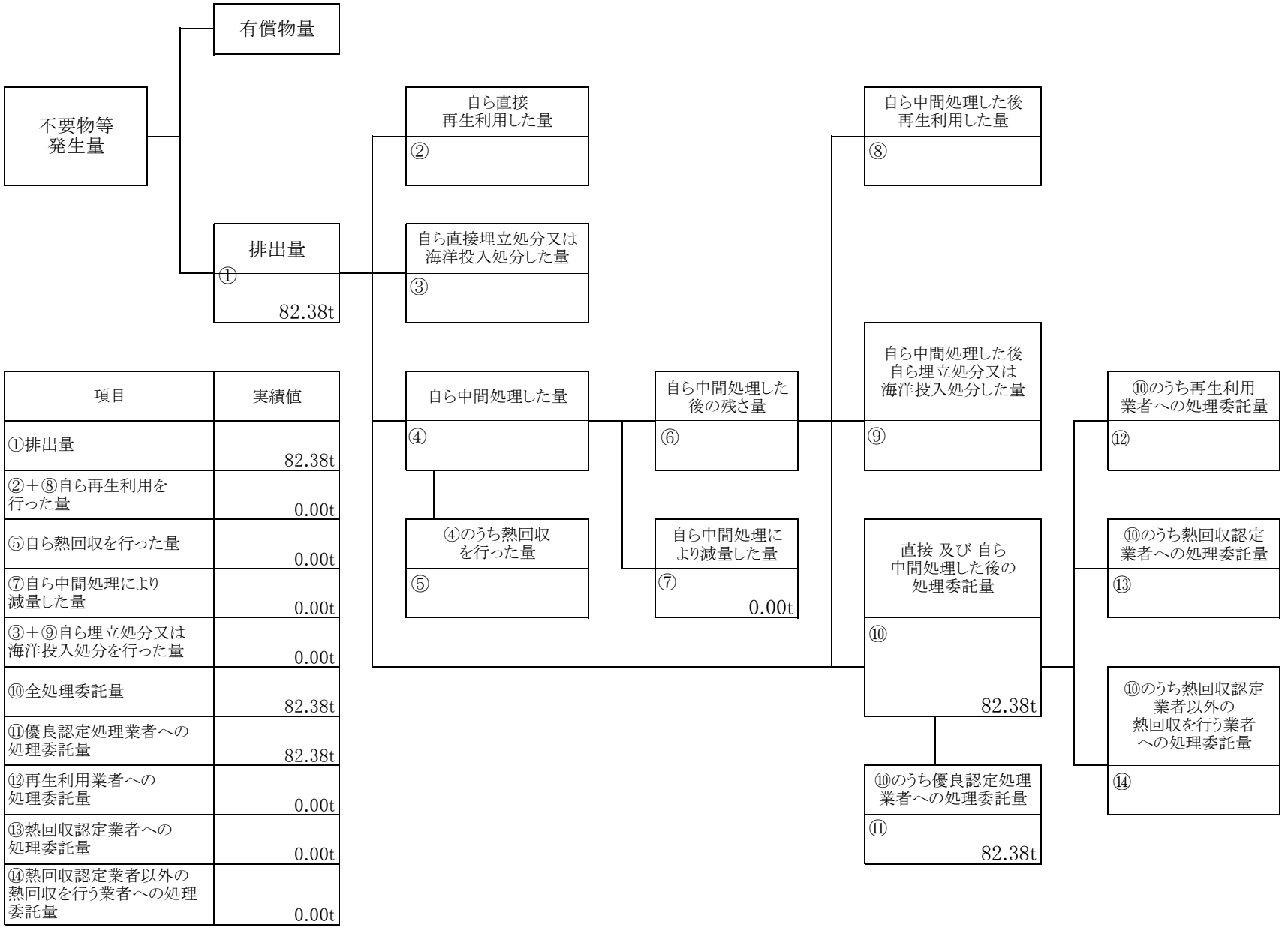


項目	実績値
①排出量	213.15t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	213.15t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	213.15t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

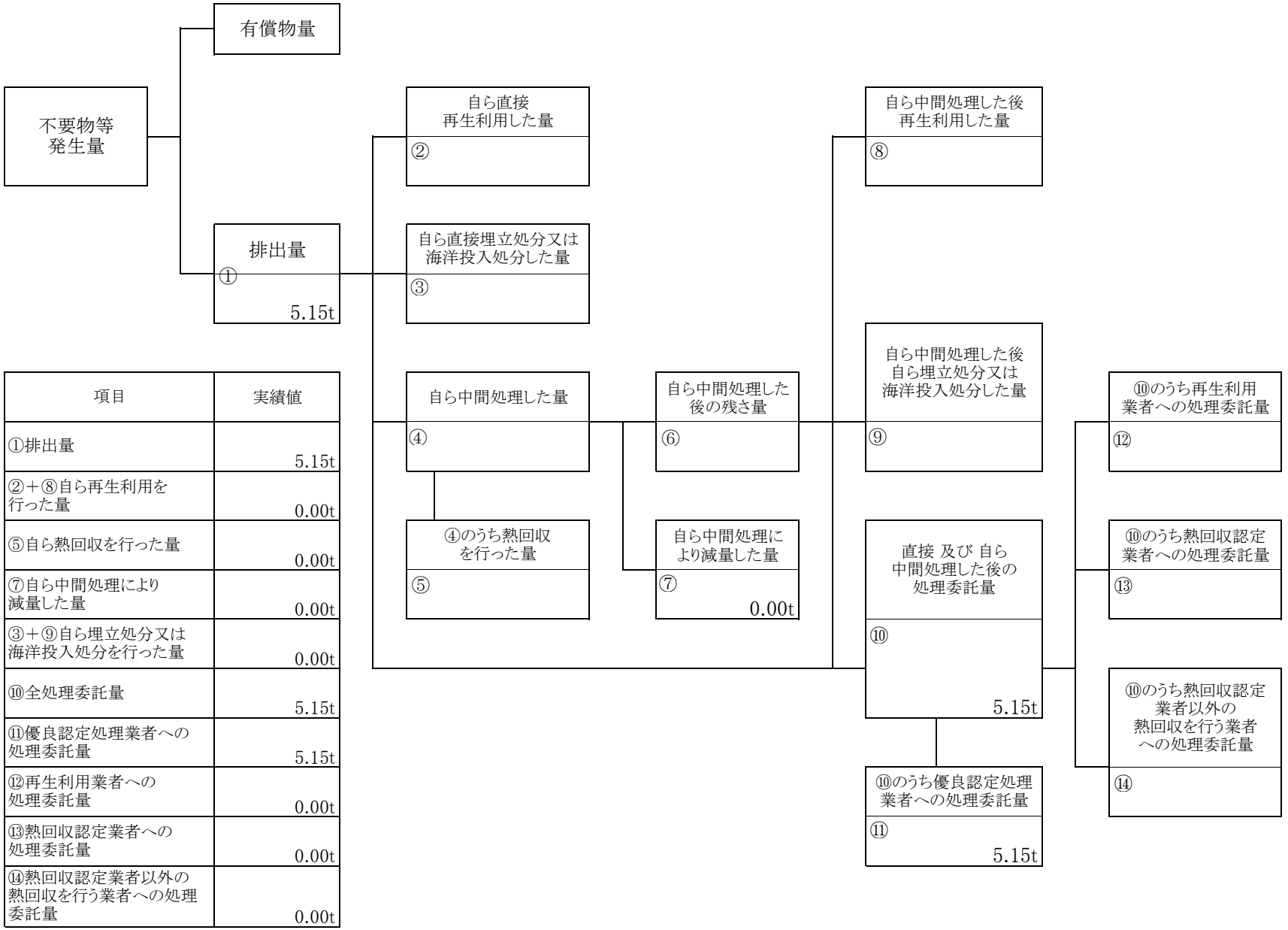


項目	実績値
①排出量	82.38t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	82.38t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	82.38t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維くず** ）

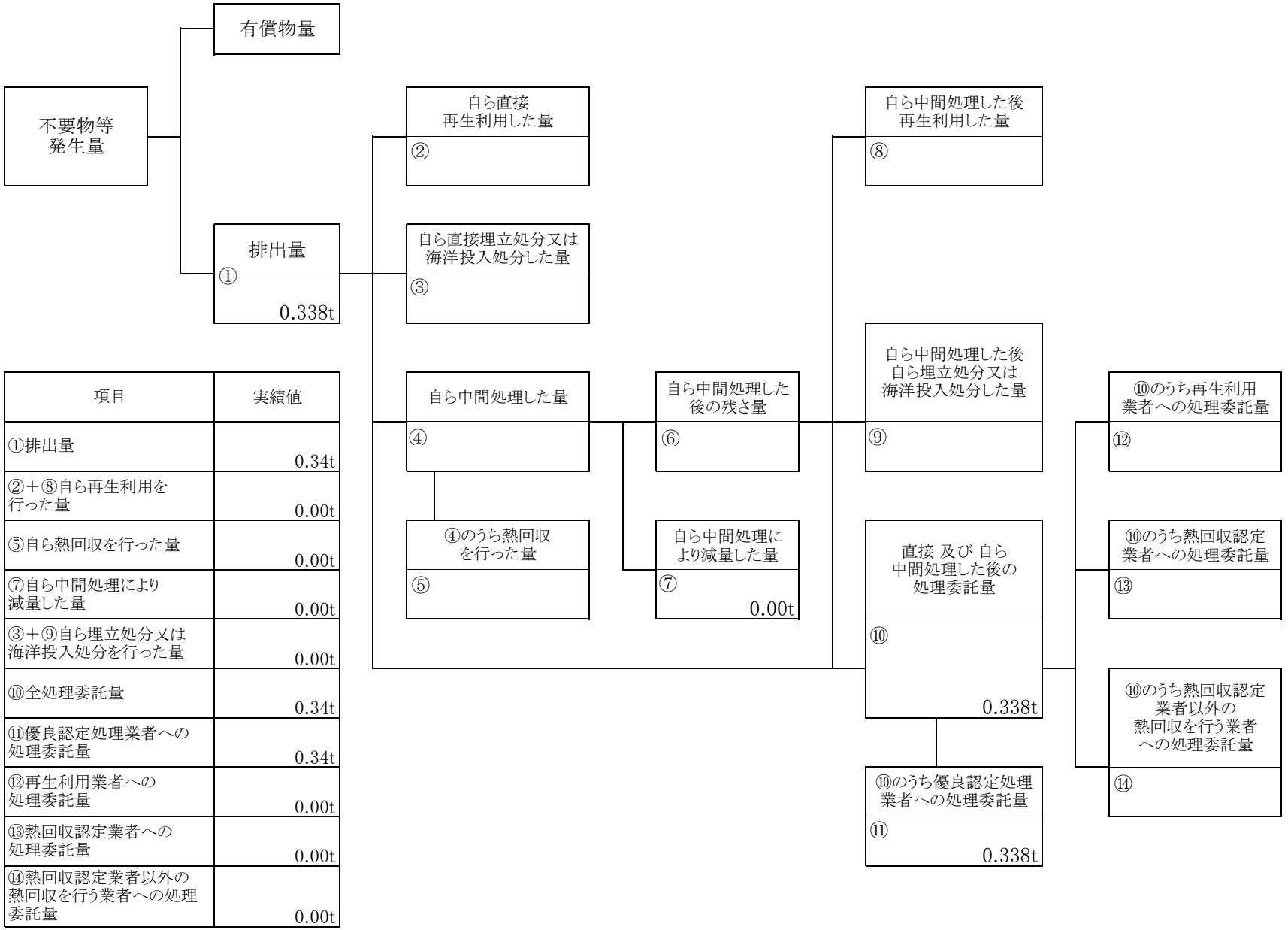


項目	実績値
①排出量	5.15t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	5.15t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.15t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**水銀使用製品廃棄物**　）

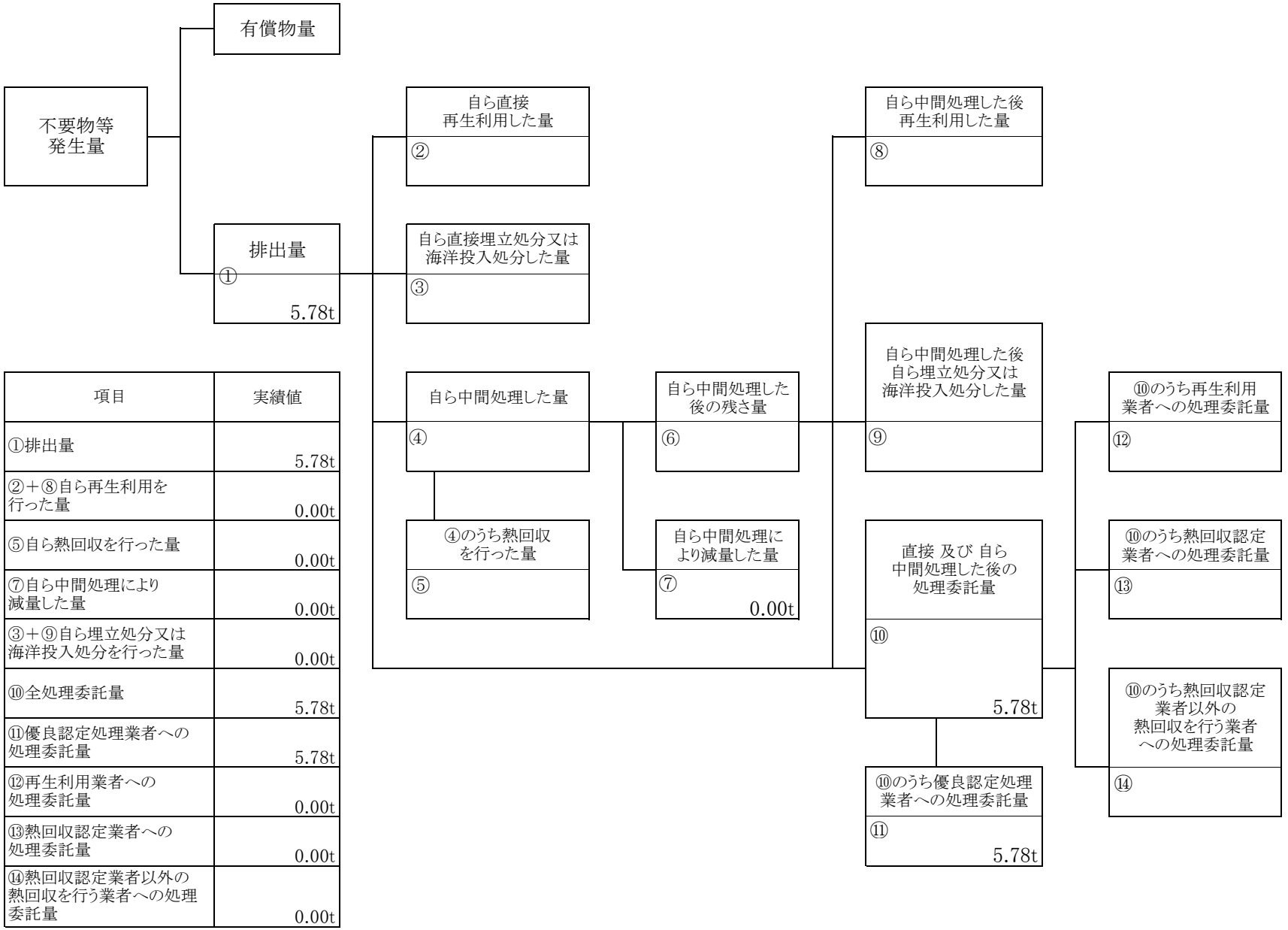


項目	実績値
①排出量	0.34t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	0.34t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.34t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **紙くず** ）

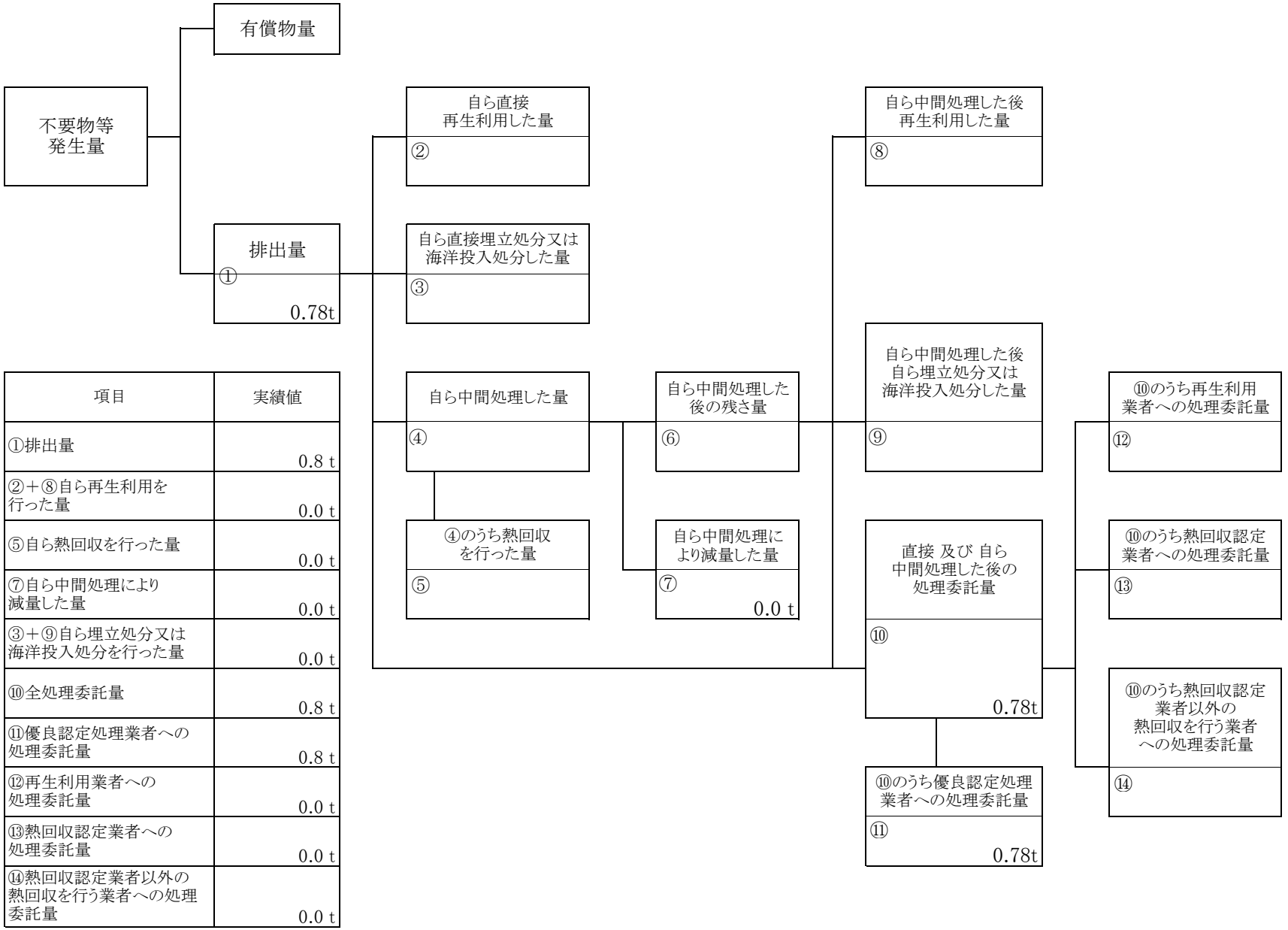


項目	実績値
①排出量	5.78t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	5.78t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.78t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

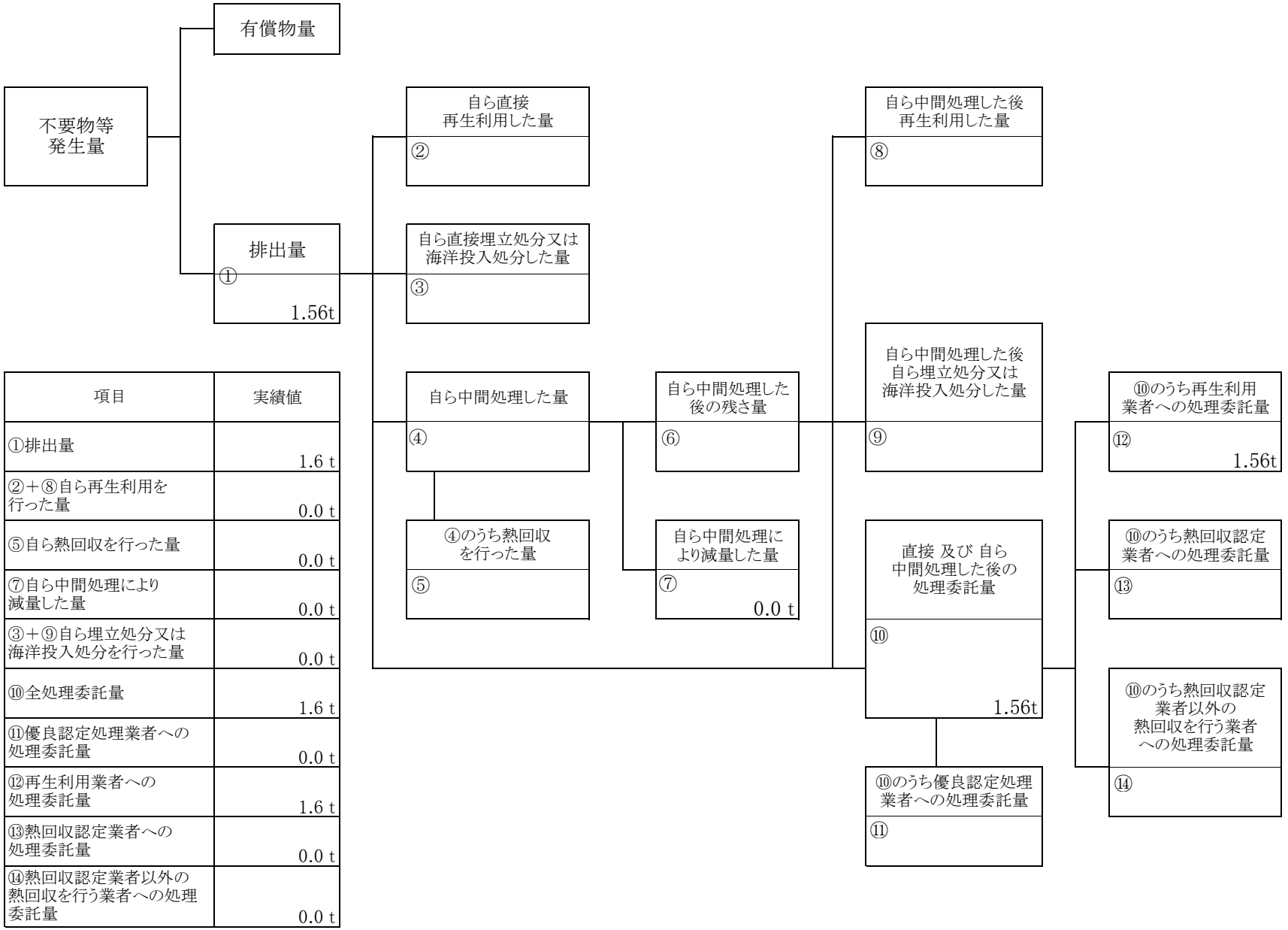


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **燃え殻** ）

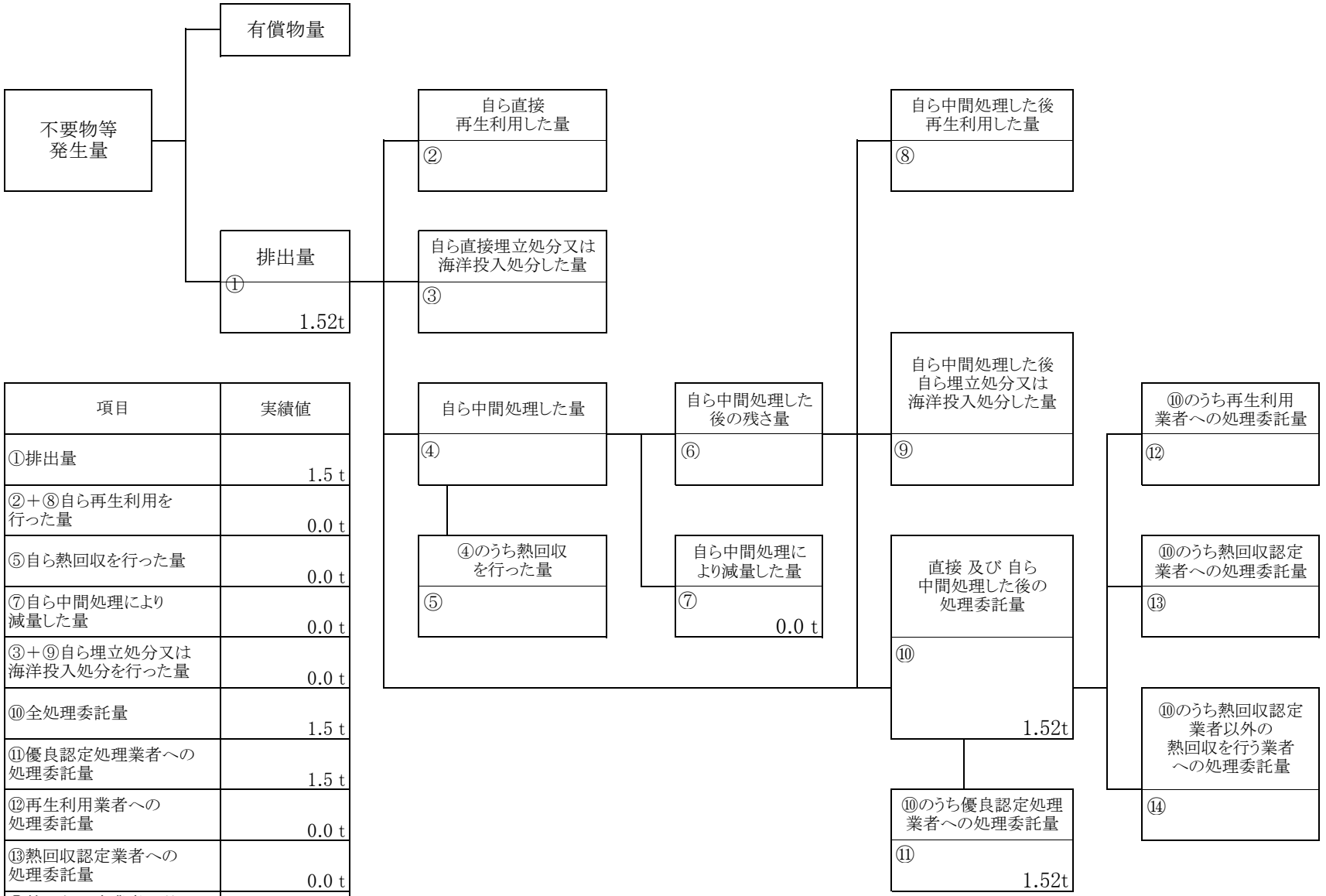


項目	実績値
①排出量	1.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）



項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　25日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　千葉県香取市北2丁目6番3
氏　名　　石井工業株式会社
代表取締役　石井　良典

電話番号　　0478-55-1512

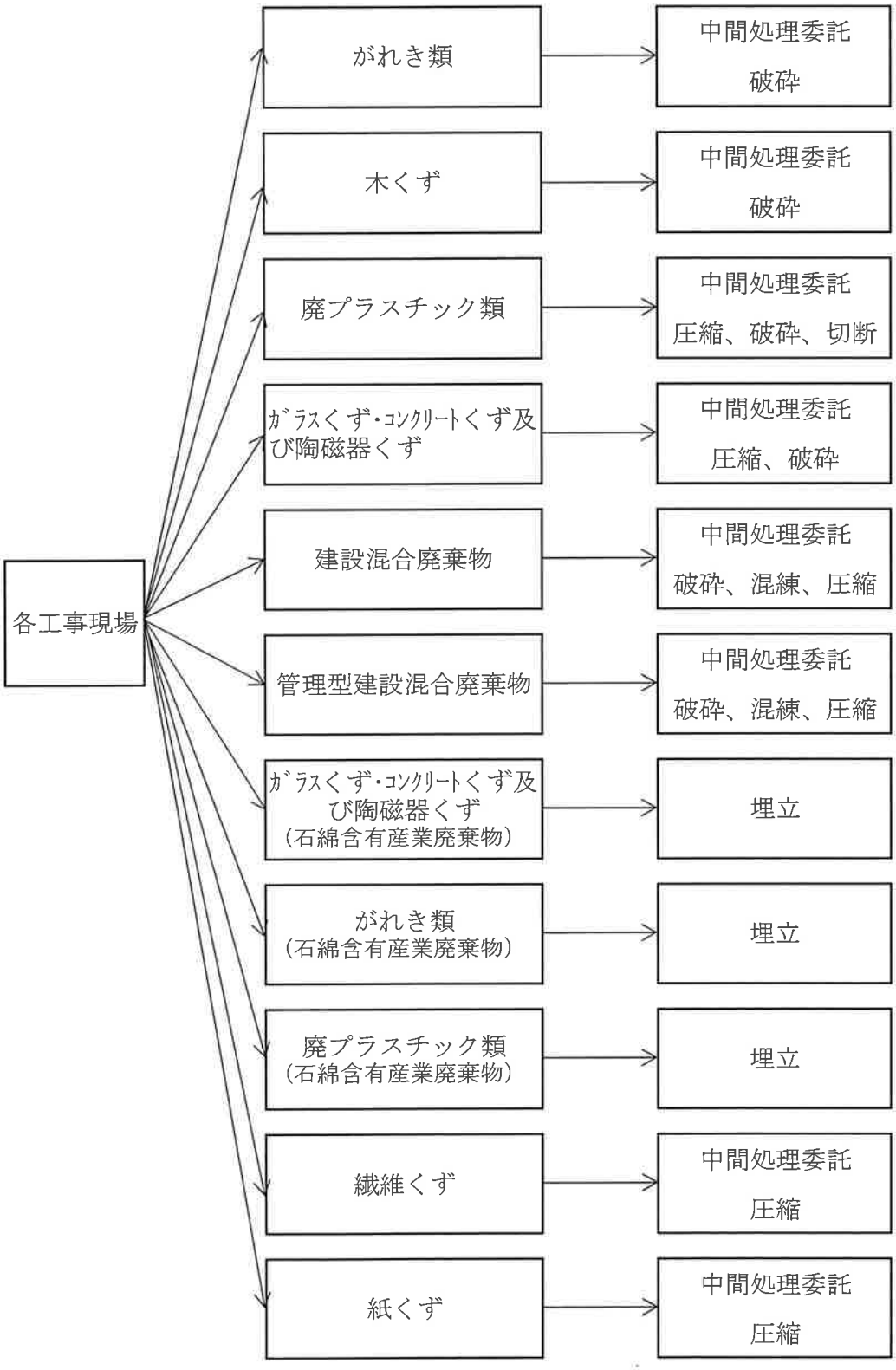
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	石井工業株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市北2丁目6番3
計画期間	令和　7年 4月 1日から令和 8年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類 ： 建設業　　中分類 ： 総合工事業 小分類 ： 一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　5,686百万円
③従業員数	73人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　Ａ列４番）

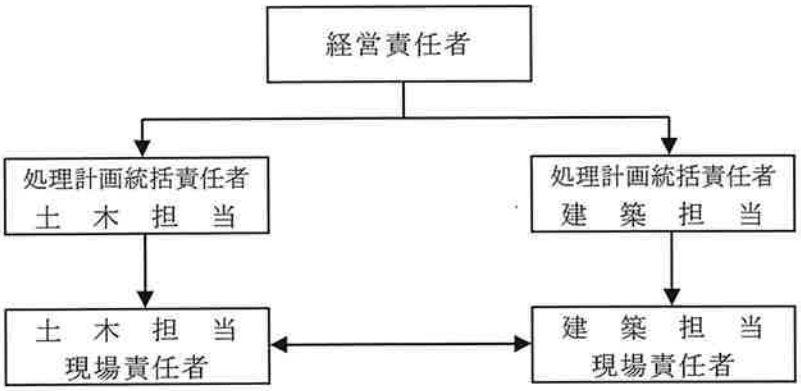
別紙

④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】　　その他別紙のとおり

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　出　量	4294.15ｔ	113.56ｔ

（これまでに実施した取組）
公共工事に関する工事が主である為、各発注機関の仕様書等に従い、適切に産業廃棄物の排出を行っている。
各現場においての分別・軽減化の指導（職員･協力業者共）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　出　量	4,000.00ｔ	100.00ｔ

（今後実施する予定の取組）
工事においては、構造物等を造るにあたり、どうしても必要数量＋αの材料を注文することになる。この＋αには実際使用せず産業廃棄物として排出する物も出てきてしまう。この余分な材料をできるだけ少なくする為に、過去のデータ・実際の現場の状態等を考慮し産業廃棄物の排出を最小限に抑えるよう取り組んでいく。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、木くず：
各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設け、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき、木くず：
特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（　6　年度）実績】　その他別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	4294.15ｔ	113.56ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	97.75ｔ	2.20ｔ
	再生利用業者への処理委託量	4294.15ｔ	113.56ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
	（これまでに実施した取組） 公共工事に関する工事が主である為、各発注機関の仕様書に従い、許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】　その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>4,000,00ｔ</td><td>100.00ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>100.00ｔ</td><td>10.00ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>4,000,00ｔ</td><td>100.00ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特に新しい計画はなし。
今まで通りの委託処分を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="2">① 現状</td><td colspan="4">【前年度（　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td><td>管理型混合廃棄物</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>10.83ｔ</td><td>33.65ｔ</td><td>2.60ｔ</td><td>69.89ｔ</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）

各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td><td>管理型混合廃棄物</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>10.00ｔ</td><td>30.00ｔ</td><td>0.00ｔ</td><td>50.00ｔ</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）

特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。</td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚　泥	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)
排出量	0.00ｔ	11.03ｔ	14.45ｔ	1.40ｔ

（これまでに実施した取組）

各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚　泥	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)
排出量	0.00ｔ	10.00ｔ	10.00ｔ	0.00ｔ

（今後実施する予定の取組）

特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	② 現状	【前年度（　6　年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	
		排出量	0.00ｔ	0.38ｔ	0.45ｔ	
		（これまでに実施した取組） 各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	
		排出量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
		（今後実施する予定の取組） 特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	10.83 t	33.65 t	2.60 t	69.89 t
優良認定処理業者への処理委託量	7.7 t	30.65 t	2.60 t	68.85 t
再生利用業者への処理委託量	10.83 t	33.65 t	2.60 t	69.89 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	10.00ｔ	30.00ｔ	0.00ｔ	50.00ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	10.00ｔ	30.00ｔ	0.00ｔ	50.00ｔ
再生利用業者への処理委託量	10.00ｔ	30.00ｔ	0.00ｔ	50.00ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ

（今後実施する予定の取組）

特に新しい計画はなし。
今まで通りの委託処分を行う。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚　泥	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）
全処理委託量	0.00ｔ	11.03ｔ	14.45ｔ	1.4ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	14.45ｔ	1.4ｔ
再生利用業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ

（これまでに実施した取組）

公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	汚　泥	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）
全処理委託量	0.00ｔ	10.00ｔ	10.00ｔ	0.00ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	10.00ｔ	0.00ｔ
再生利用業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ

（今後実施する予定の取組）

特に新しい計画はなし。
今まで通りの委託処分を行う。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	
全処理委託量	0.00ｔ	0.38ｔ	0.45ｔ	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00ｔ	0.38ｔ	0.45ｔ	
再生利用業者への処理委託量	0.00ｔ	0.38ｔ	0.45ｔ	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	

（これまでに実施した取組）

公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	繊維くず	紙くず	
全処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
再生利用業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00ｔ	0.00ｔ	0.00ｔ	

（今後実施する予定の取組）

特に新しい計画はなし。
今まで通りの委託処分を行う。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県香取市北2丁目6番3
氏 名　石井工業株式会社
代表取締役 石井 良典

電話番号　0478-55-1512

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	石井工業株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市北2丁目6番3
事業の種類	大分類 ： 建設業　　中分類 ： 総合工事業 小分類 ： 一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日

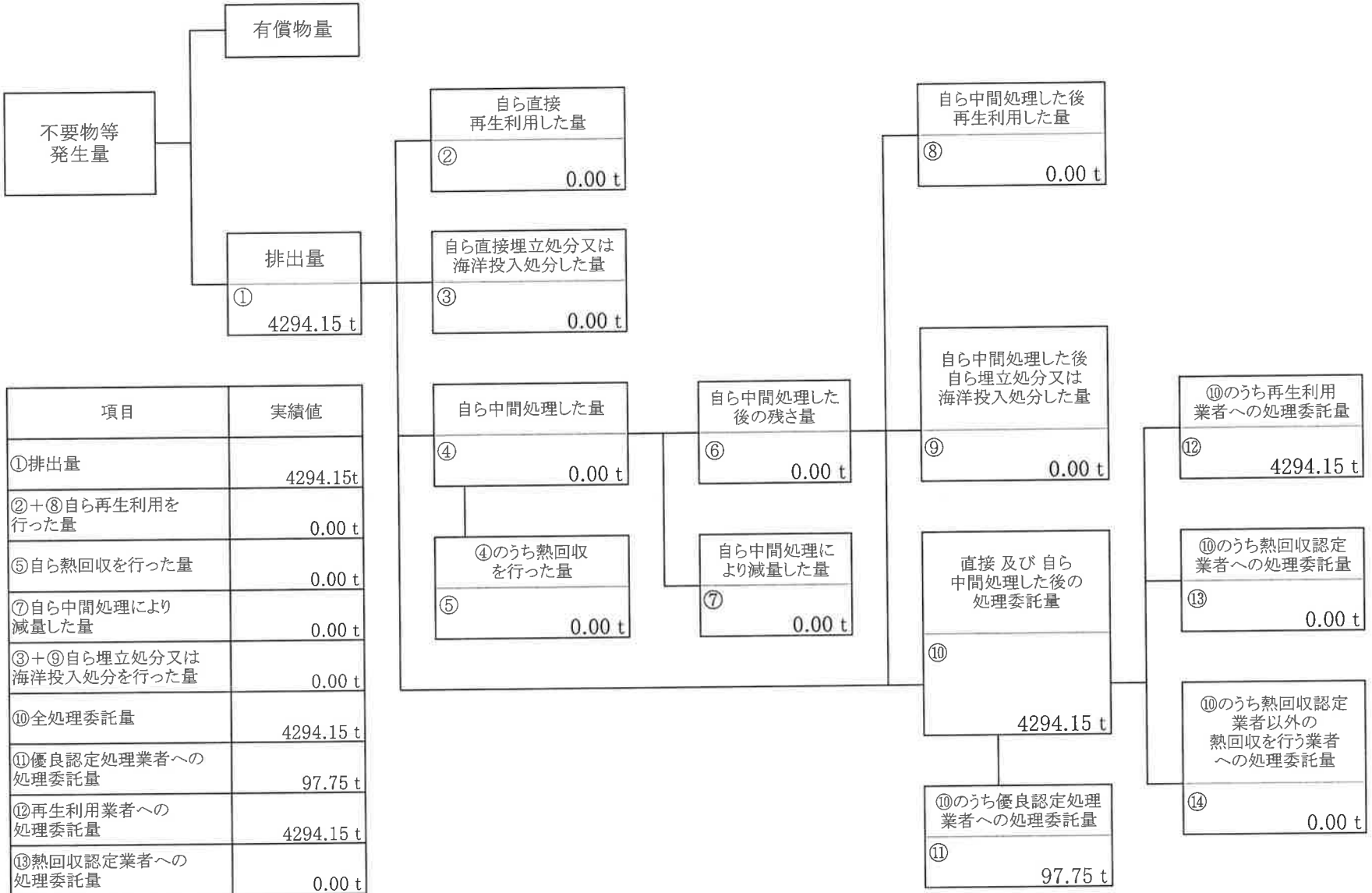
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4790.00 t	全処理委託量	4790.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	490.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	4790.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

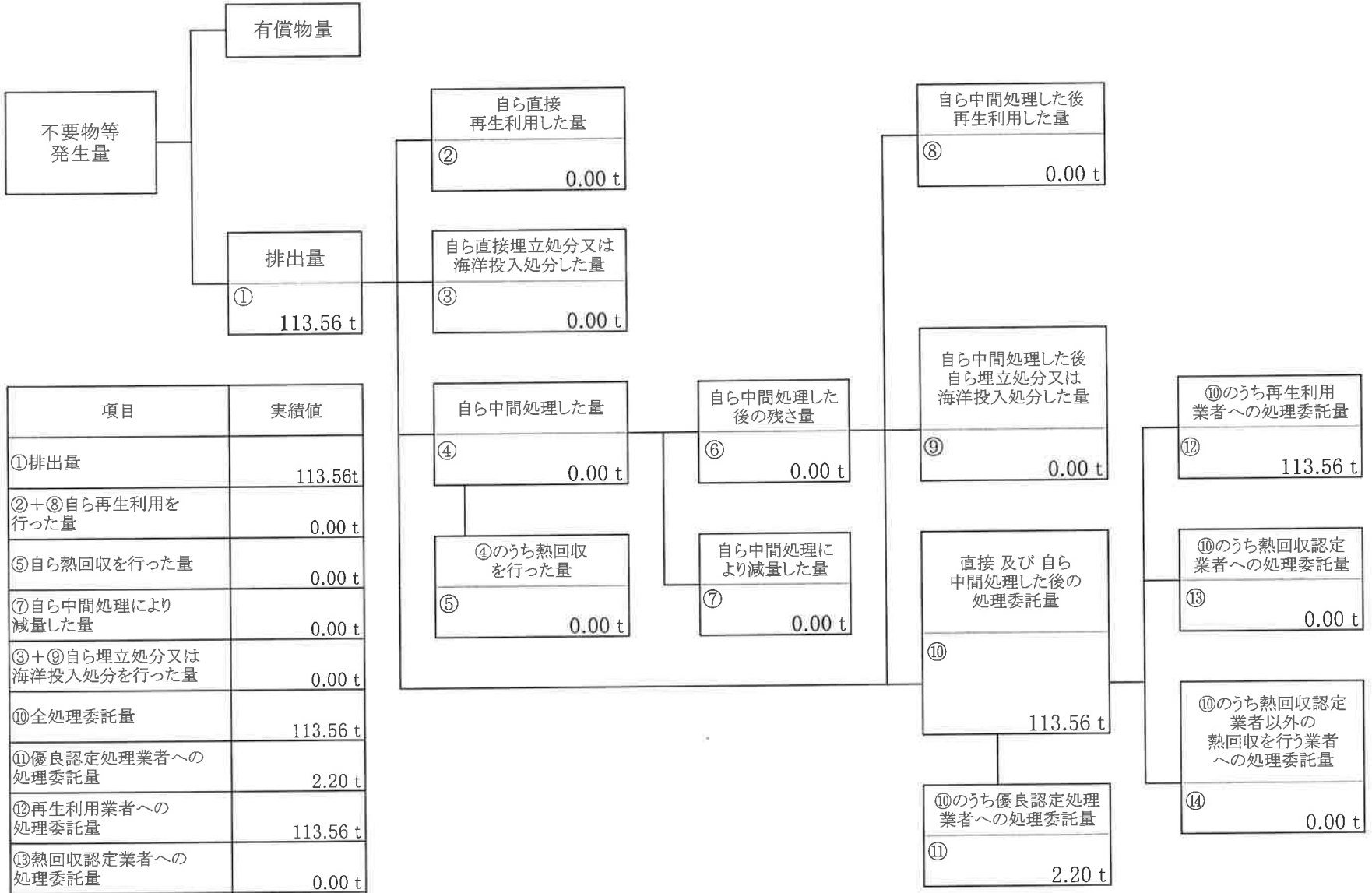


項目	実績値
①排出量	4294.15t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	4294.15 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	97.75 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4294.15 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

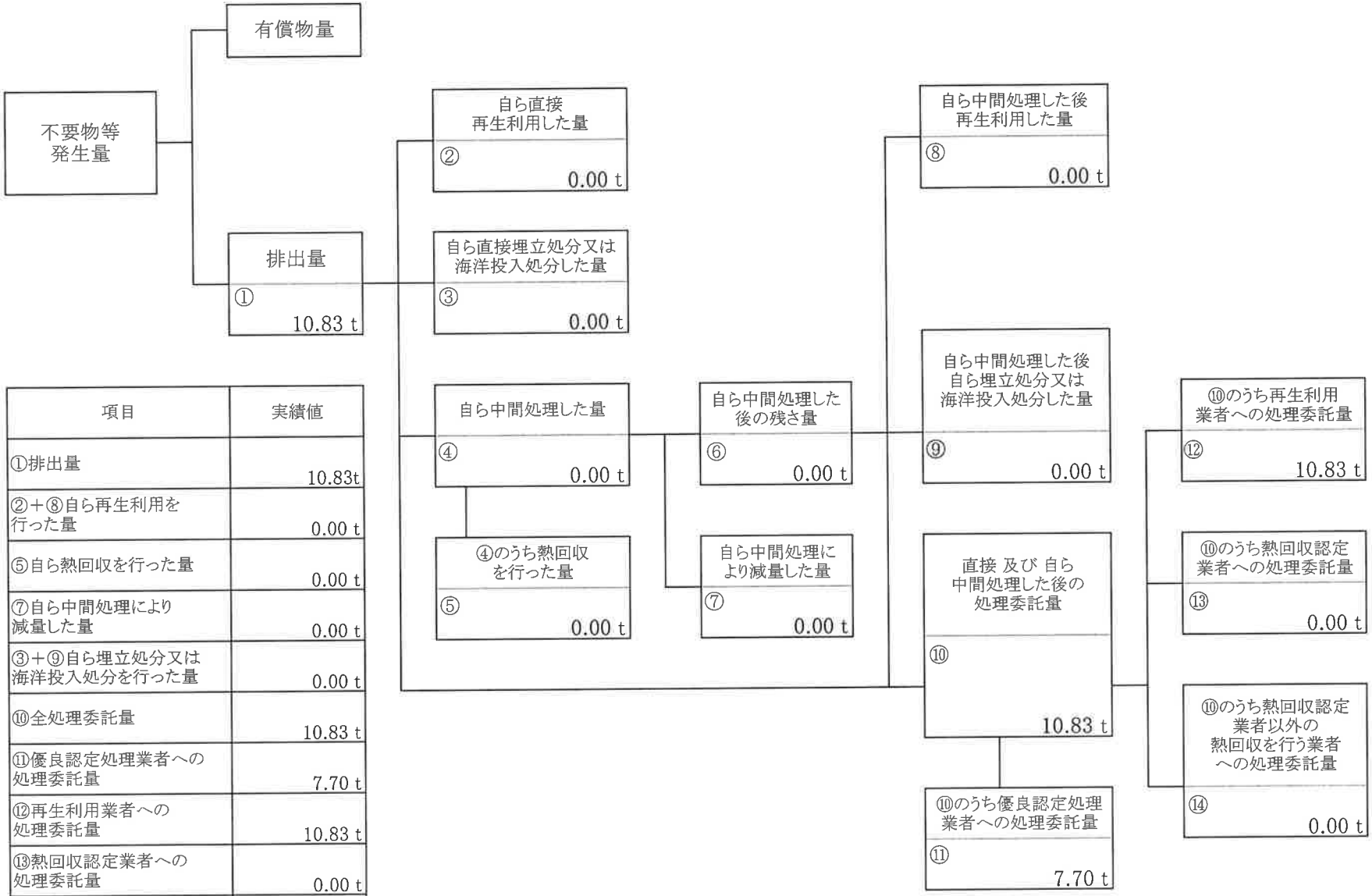


項目	実績値
①排出量	113.56t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	113.56 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.20 t
⑫再生利用業者への処理委託量	113.56 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

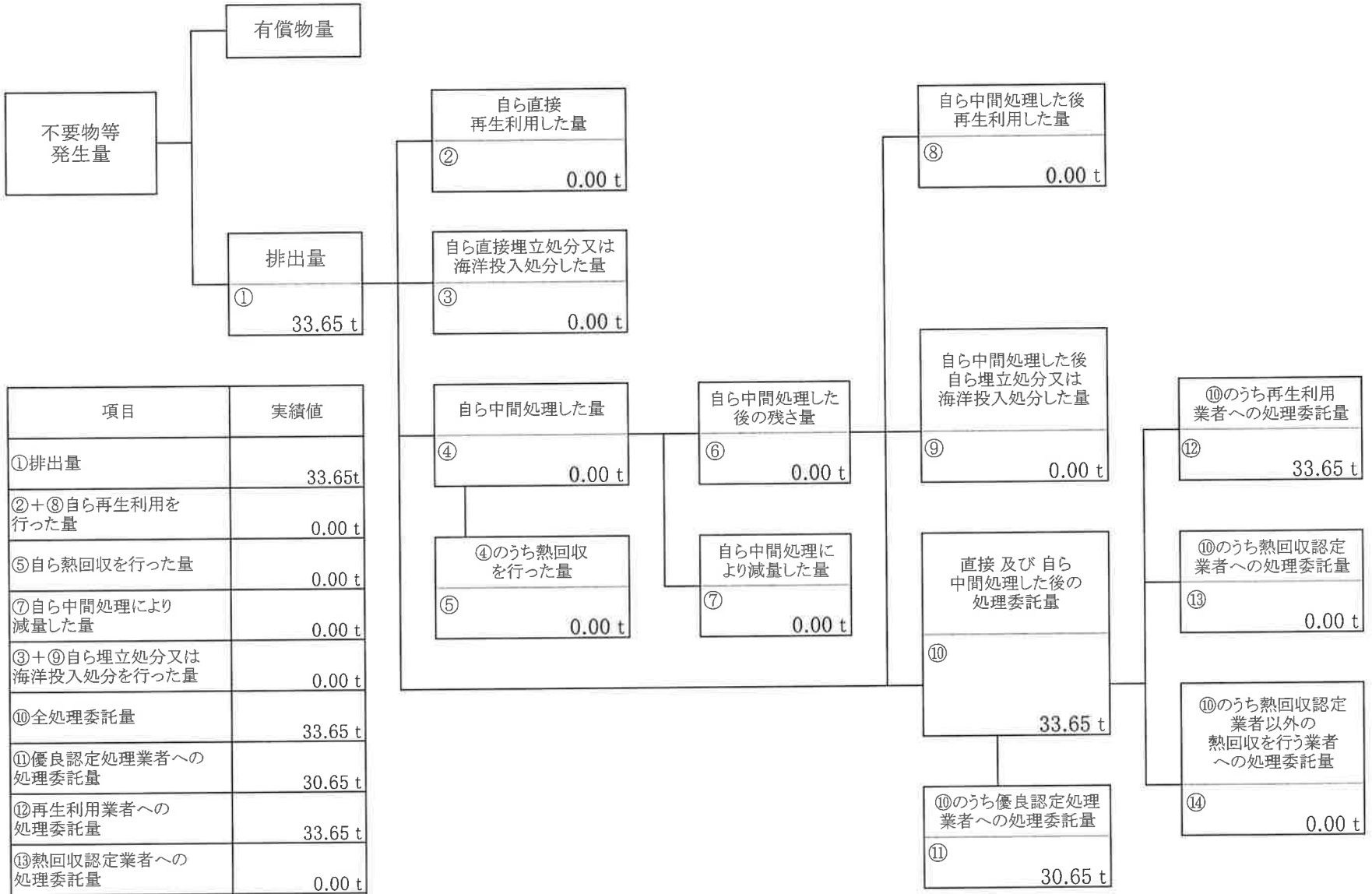


項目	実績値
①排出量	10.83t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	10.83 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.70 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.83 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

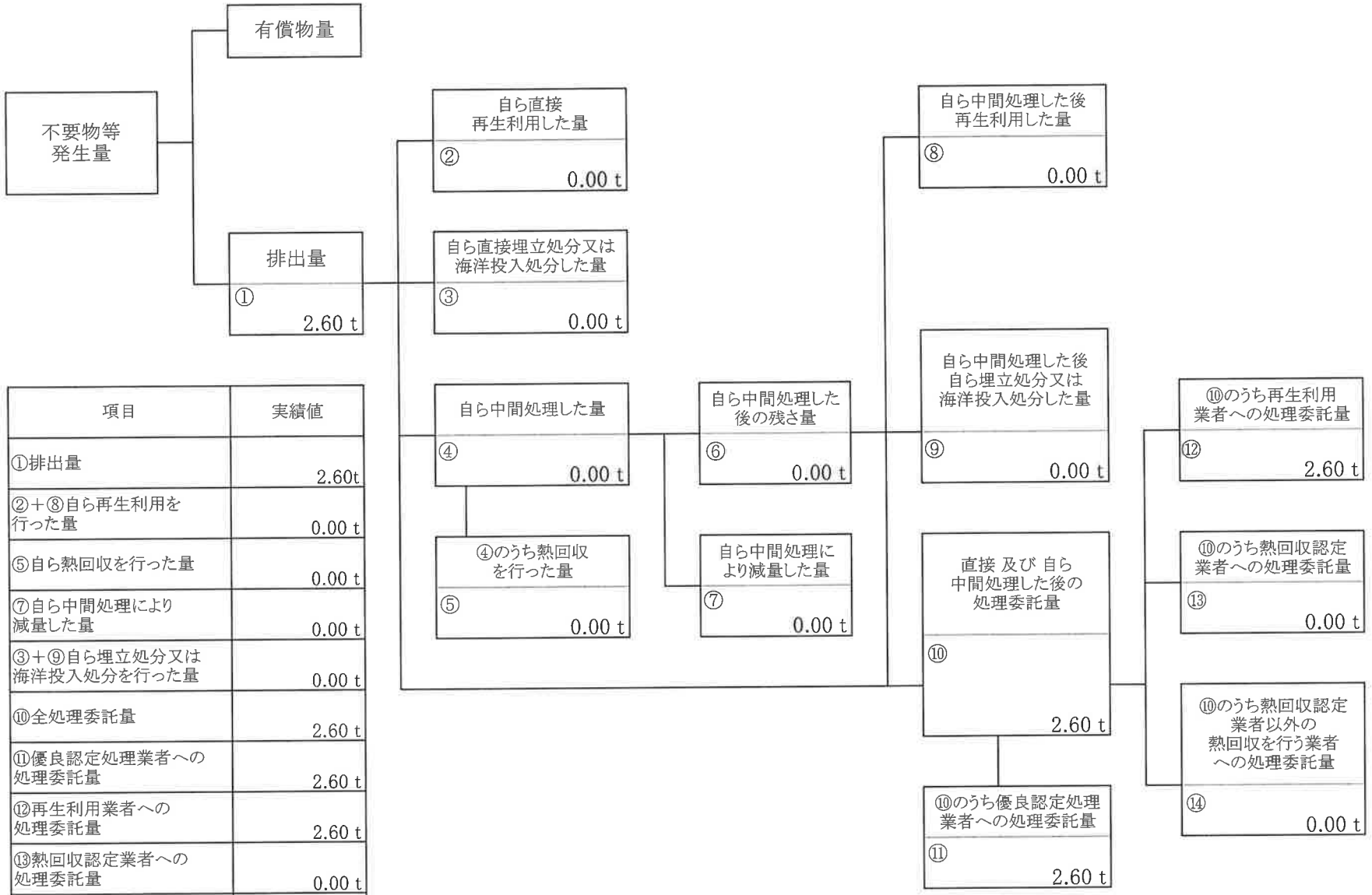


項目	実績値
①排出量	33.65t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	33.65 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.65 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.65 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）

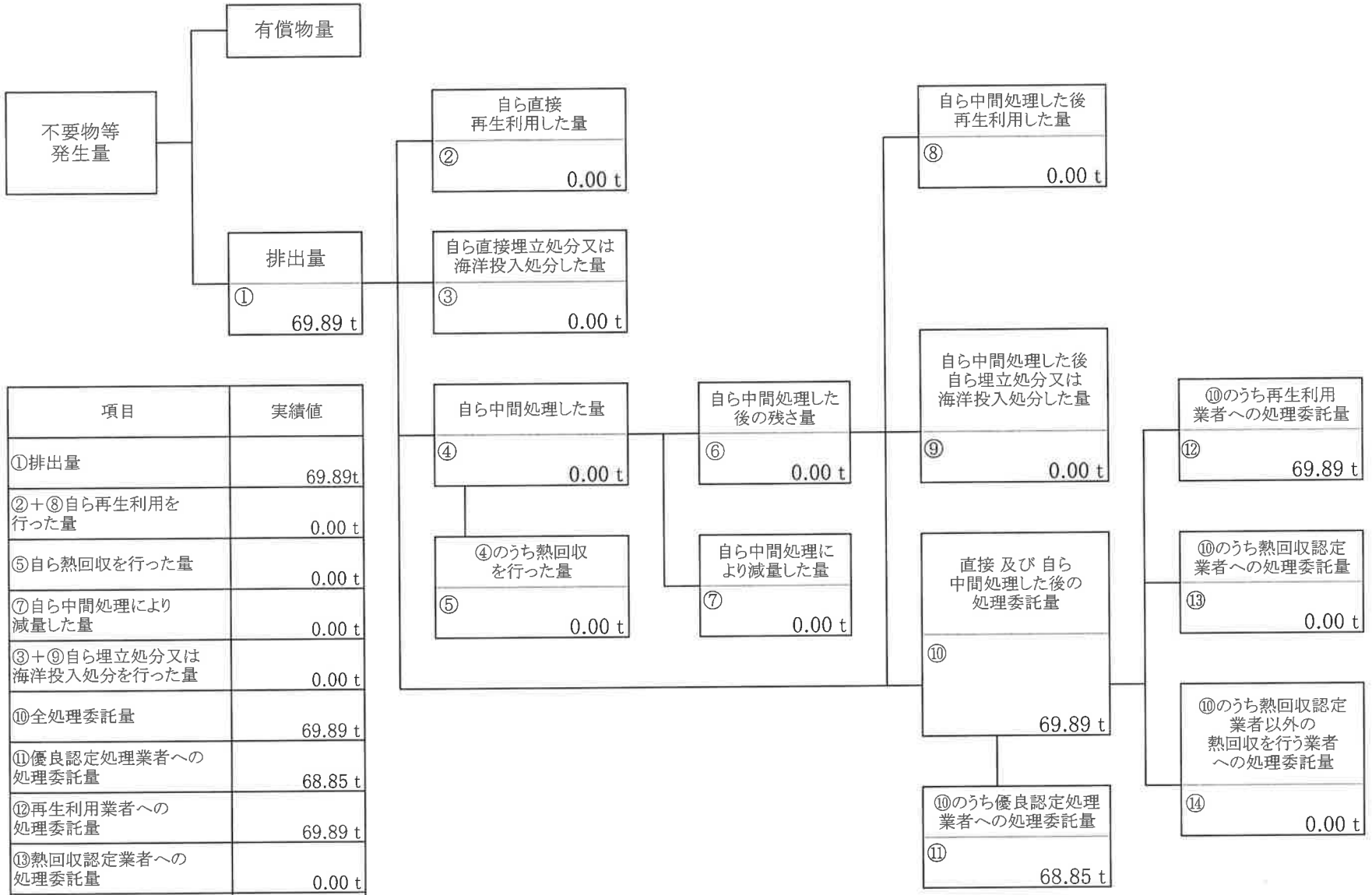


項目	実績値
①排出量	2.60t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.60 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

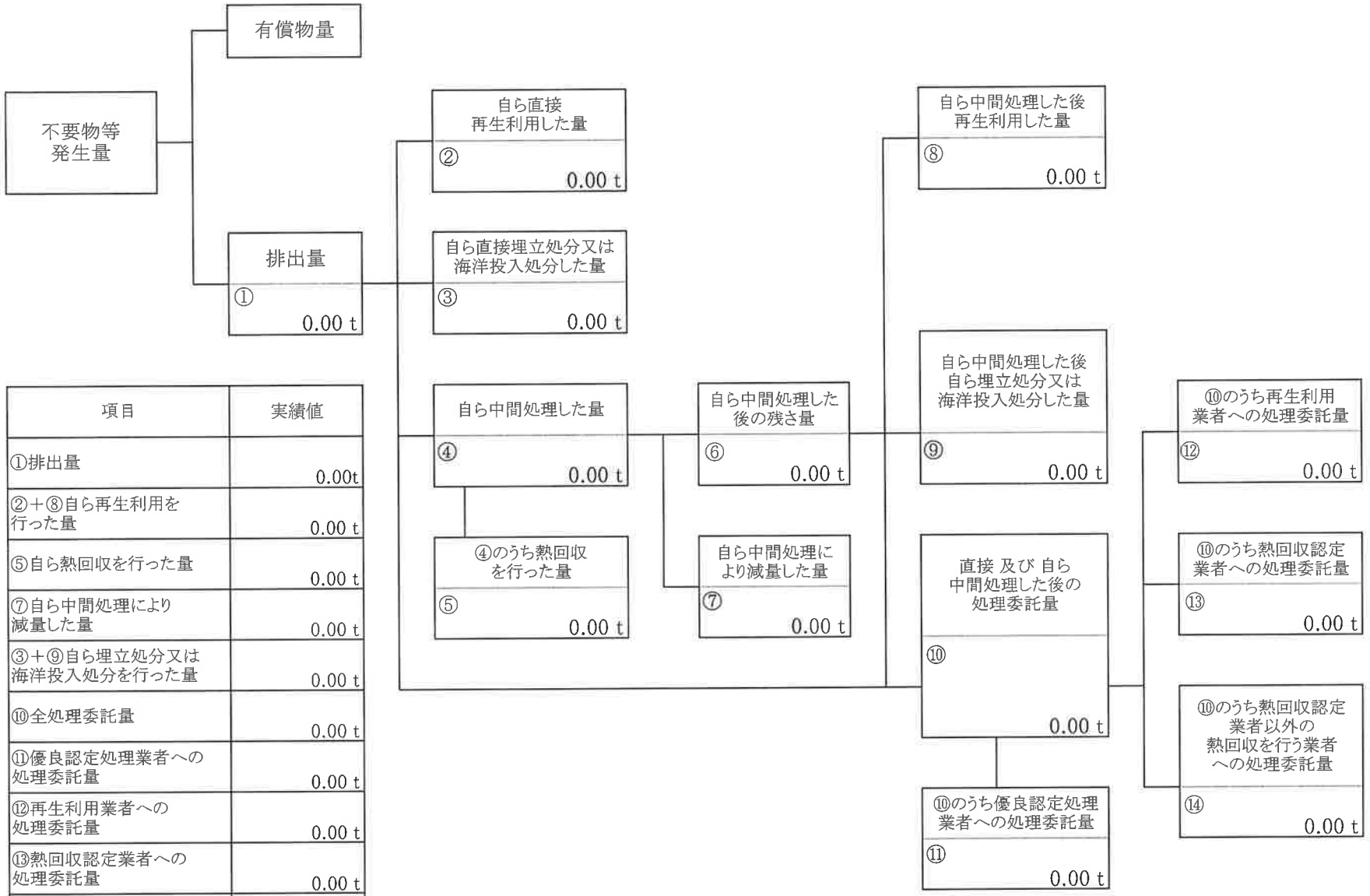


項目	実績値
①排出量	69.89t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	69.89 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.85 t
⑫再生利用業者への処理委託量	69.89 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

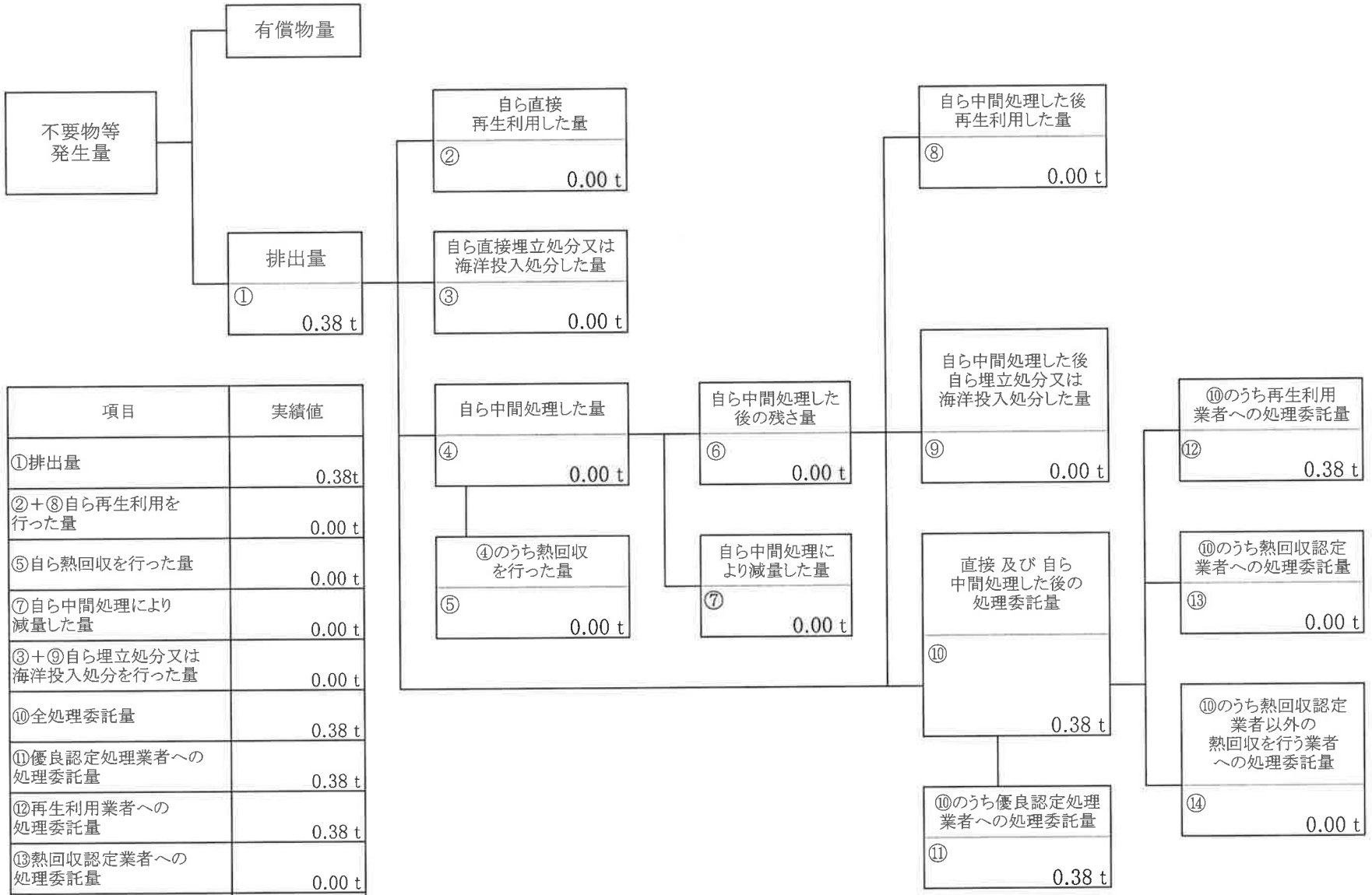


項目	実績値
①排出量	0.00t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）

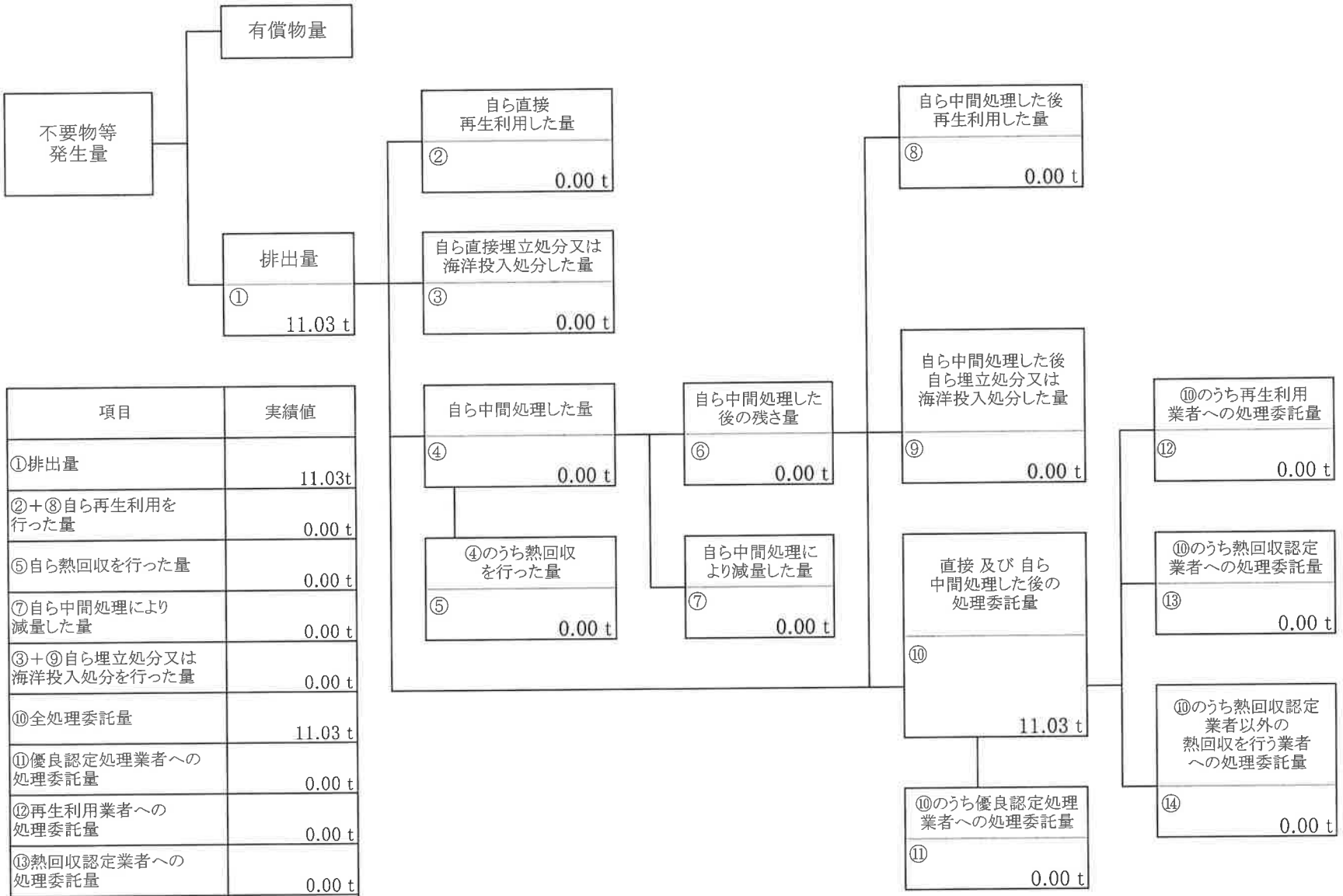


項目	実績値
①排出量	0.38t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.38 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.38 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.38 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有））

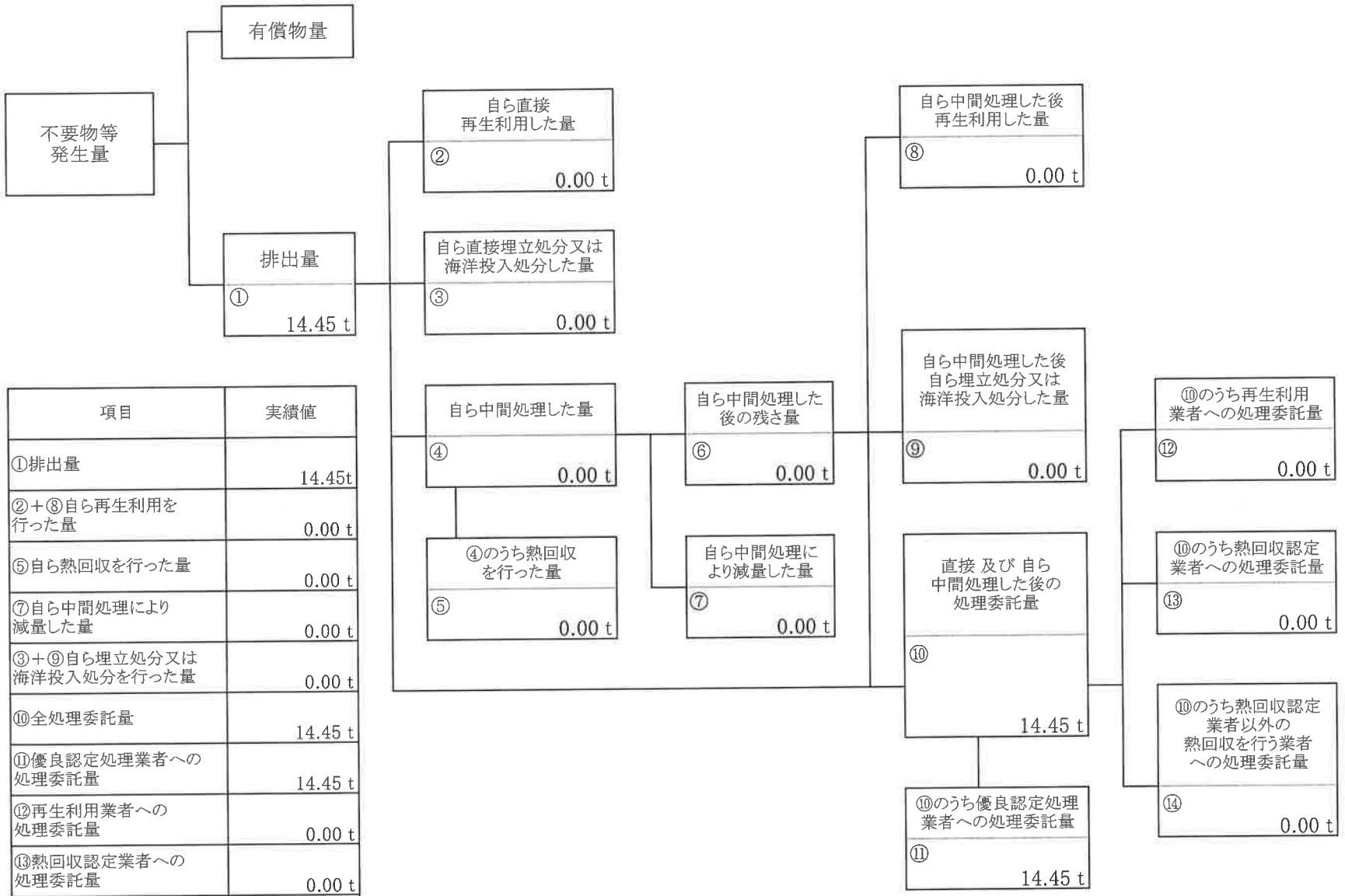


項目	実績値
①排出量	11.03t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	11.03 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類（石綿含有）　）

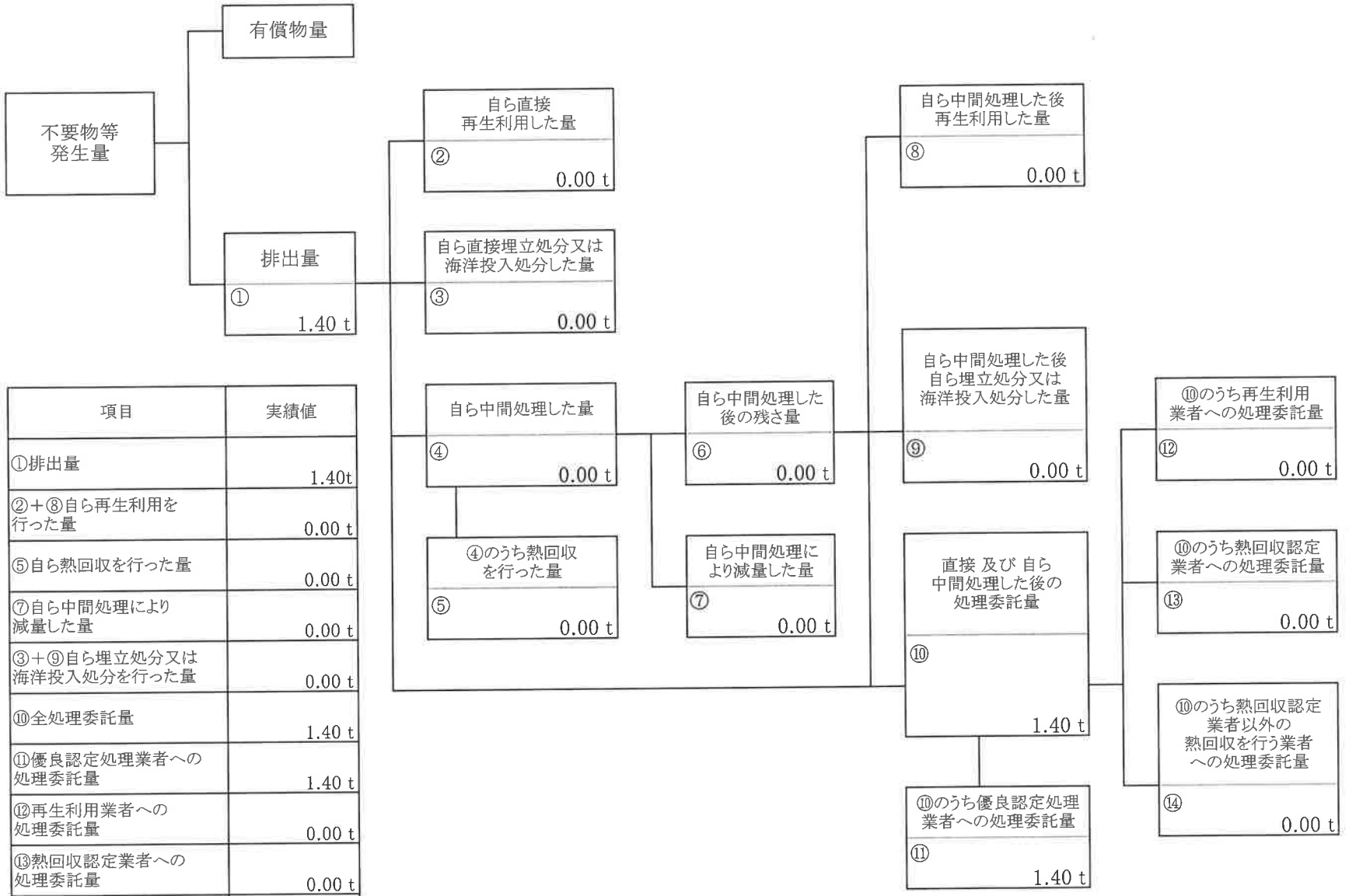


項目	実績値
①排出量	14.45t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	14.45 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.45 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物) ）

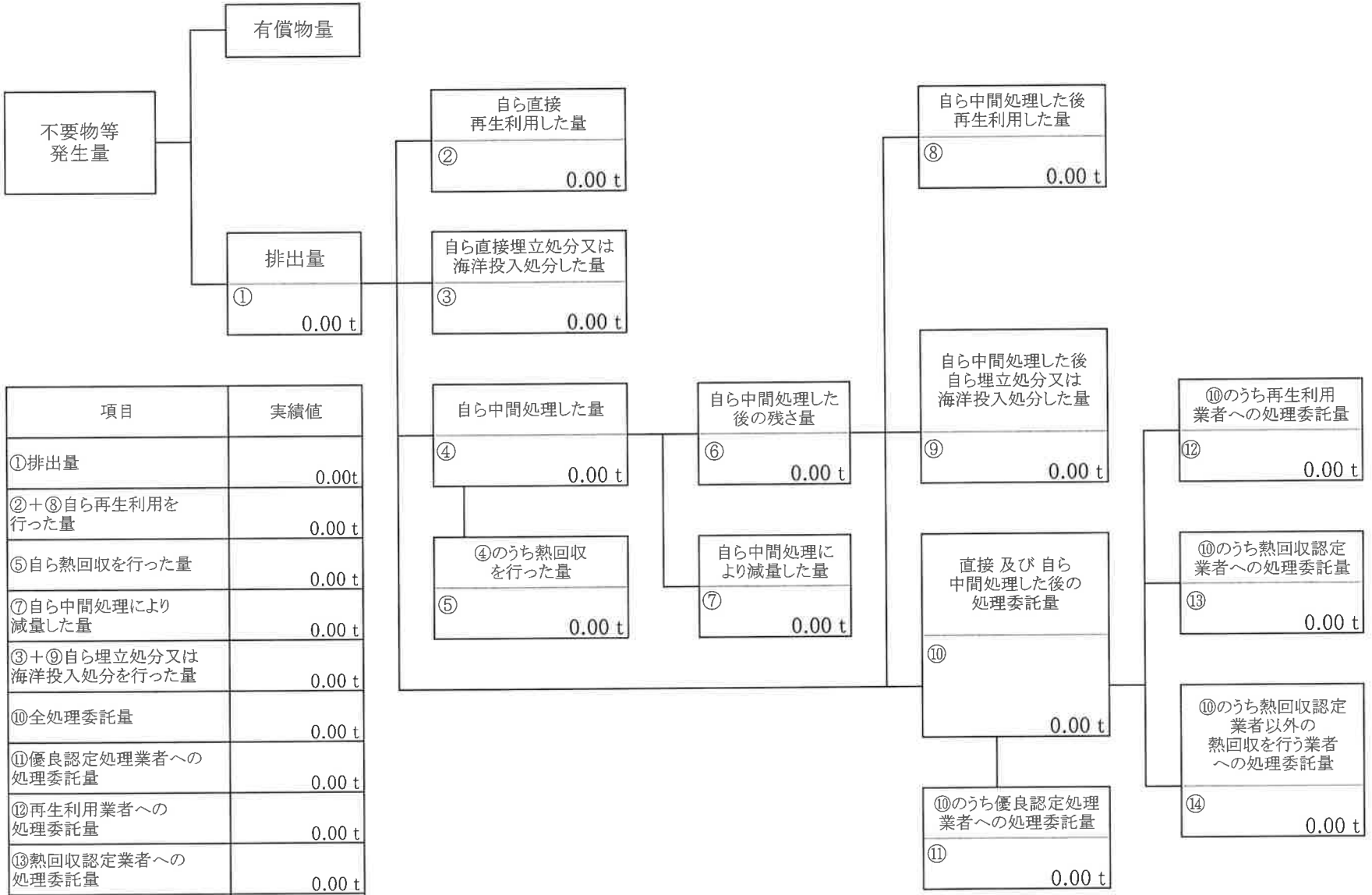


項目	実績値
①排出量	1.40t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.40 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.40 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

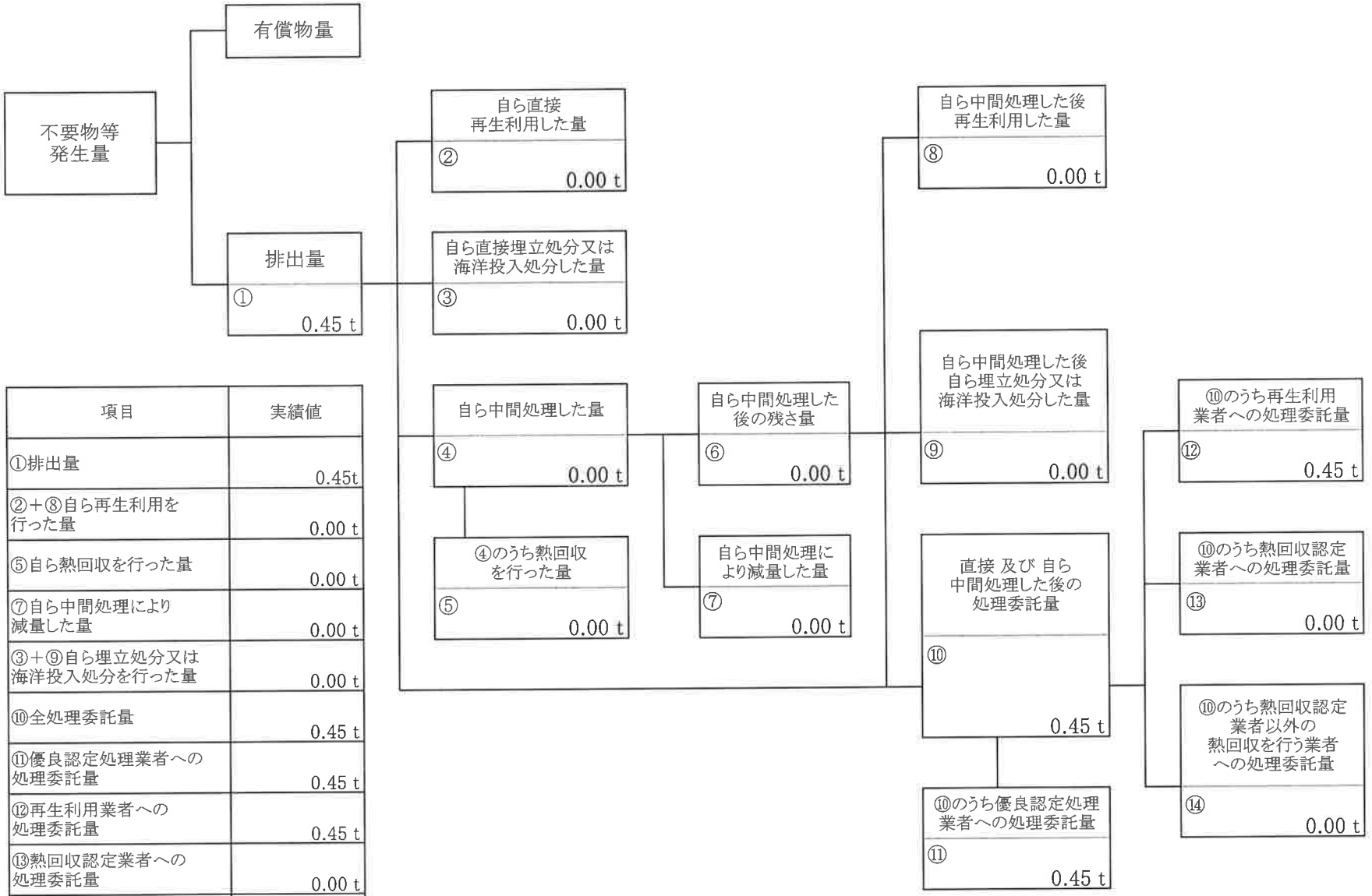


項目	実績値
①排出量	0.00t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）



項目	実績値
①排出量	0.45t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.45 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.45 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.45 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　7 年　 6 月　 30 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　　有限会社　石坂工業

住　所　　佐倉市江原354-3

氏　名　　取締役　石坂　葉子

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-485-8780

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県佐倉市内水道管工事
事業場の所在地	千葉県佐倉市内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：建設業　　中分類：職別工事業
②　事業の規模	前年度の売上高　3億円
③　従業員数	7人（正社員6名　パート1名）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	現場工程→アスファルトがら→委託処理（中間処理） 路盤廃材→委託処理（中間処理）

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

現場管理者　←処理計画統括責任者

環境管理者←廃棄物・処理計画作成担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	排　　出　　量_	1446.2　　t	801.5　　t
	（これまでに実施した取組） 事業場の規模により、発生量の変動があるため、排出量削減への努力が難しい。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	排　　出　　量_	1000　　t	600　　t
	（今後実施する予定の取組） 事業場の規模により、発生量の変動があるため、排出量削減への努力が難しい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 直送なので、分別していない。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今年も同じです。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトがら	路盤廃材
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	アスファルトがら	路盤廃材
全処理委託量_	1446.2 t	801.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	1446.2 t	801.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用する業者へできるだけ委託するようにしている。

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類_ アスファルトがら 路盤廃材 全処理委託量_ 1000 t 600 t 優良認定処理業者への処理委託量 t t 再生利用業者への処理委託量 1000 t 600 t 認定熱回収業者への処理委託量 t t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t t （今後実施する予定の取組） 引き続き継続していく。
※事務処理欄		

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6 月 30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒285-0824
住 所　千葉県佐倉市江原354-3
氏 名　有限会社 石坂工業
取締役 石坂葉子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-485-8780

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県佐倉市内水道管工事
事業場の所在地	千葉県佐倉市
事業の種類	大分類:建設業 中分類:職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

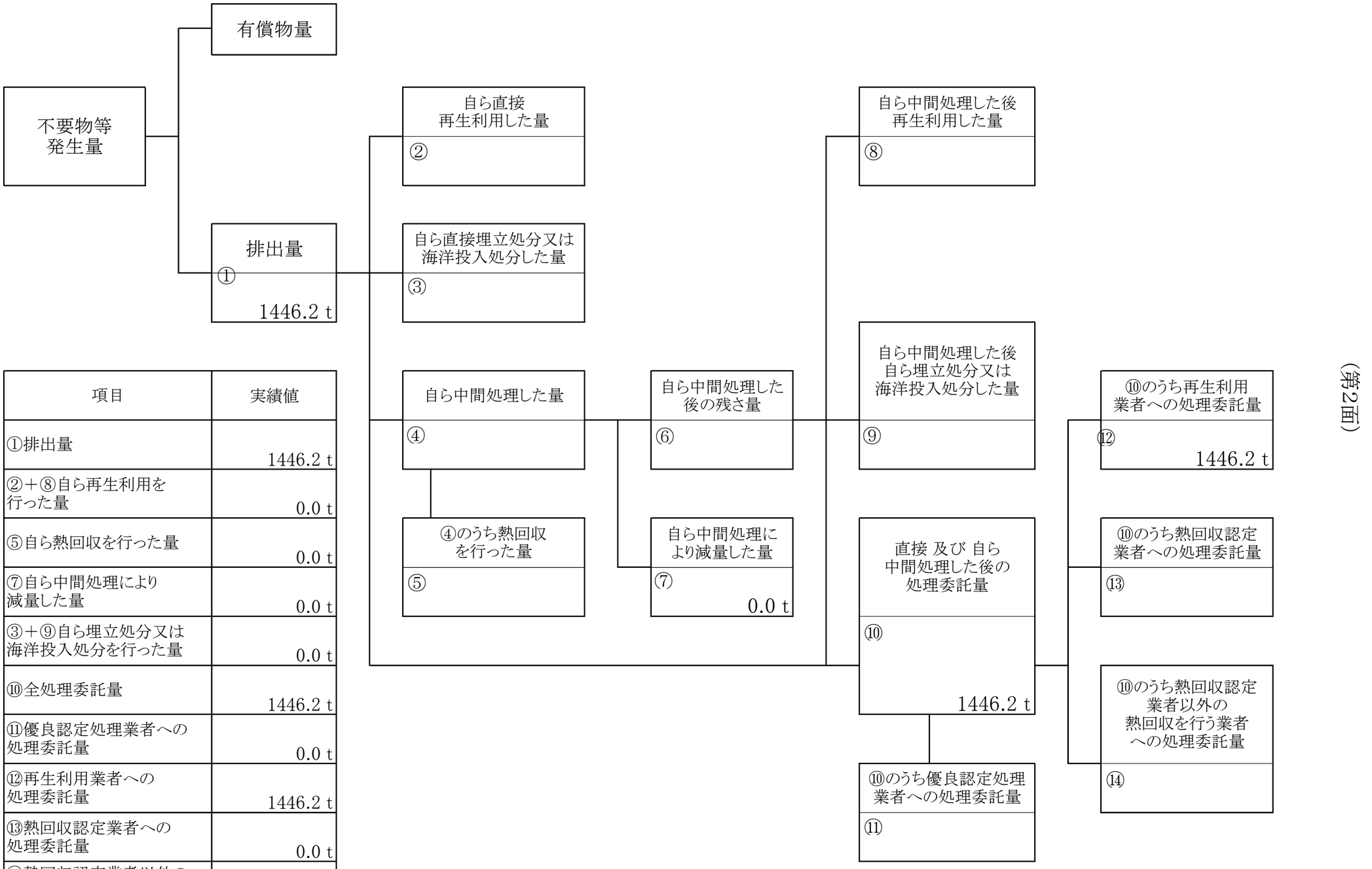
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1400.0 t	全処理委託量	1400.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1400.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルトがら　）

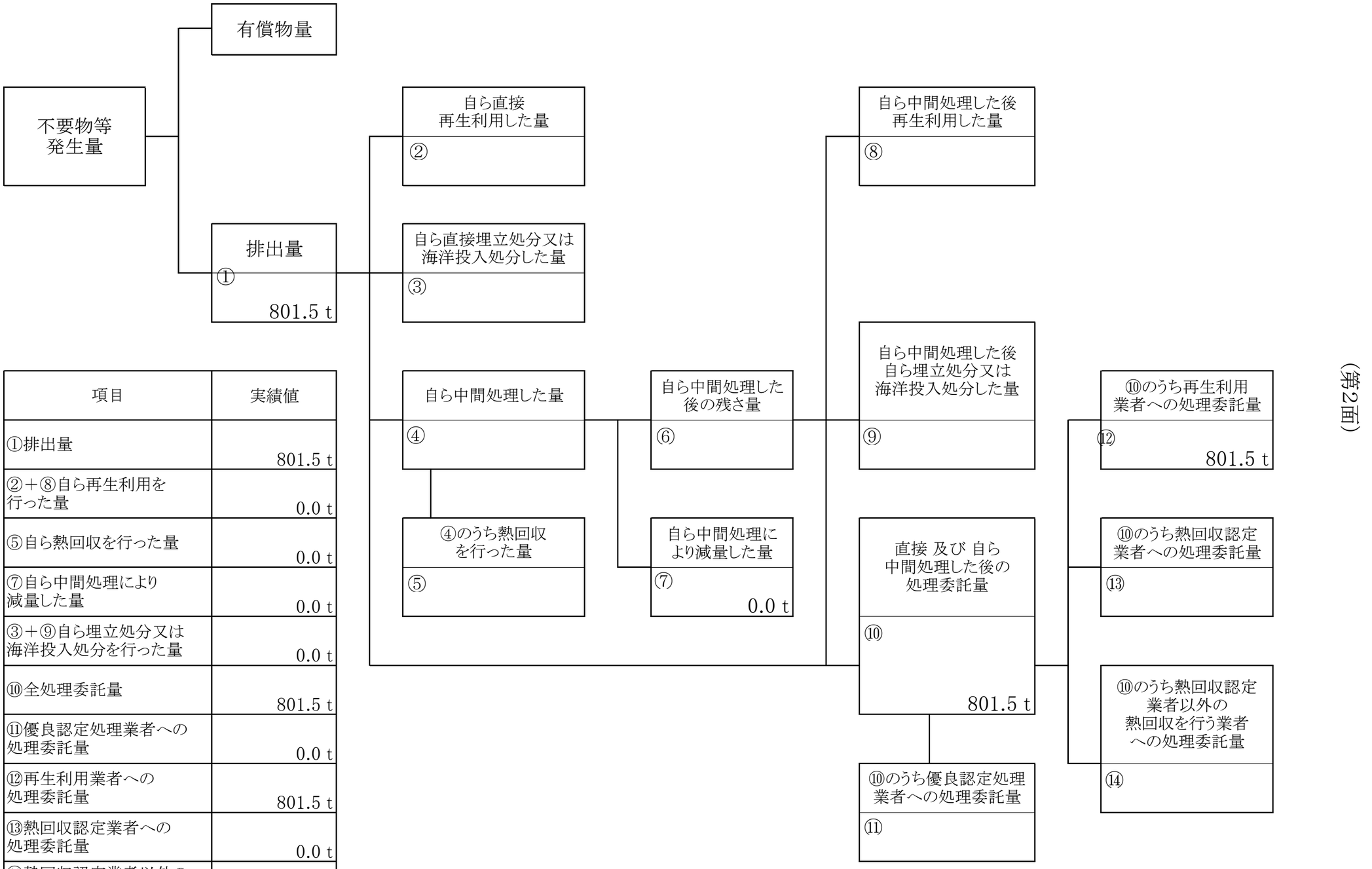


項目	実績値
①排出量	1446.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1446.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1446.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**路盤廃材**　）



項目	実績値
①排出量	801.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	801.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	801.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　7 年　 6 月　 30 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-0128

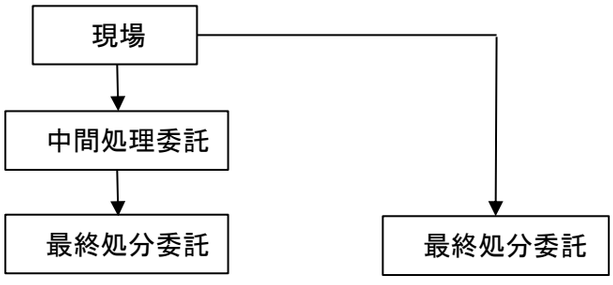
住　所　千葉県流山市おおたかの森3丁目3-3

氏　名　株式会社　イズミ

代表取締役　　倉持　和幸

電話番号　　04-7159-0462

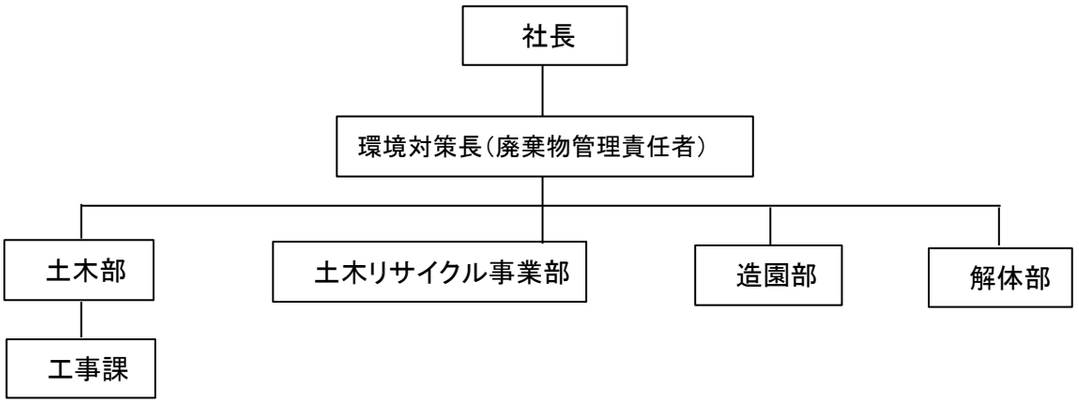
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　イズミ
事業場の所在地	千葉県流山市おおたかの森西3丁目3-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②　事業の規模	前年度完成工事高　11億円
③　従業員数	23名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　6 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（これまでに実施した取組） ・分別により混合廃棄物の抑制の促進。 ・中間処理業者に委託して処分を行っている。		
②計画	【目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・細分化した分別により混合廃棄物の抑制。 ・中間処理業者に委託して適正な処理を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・細分化した分別を行い、混合廃棄物の削減に努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 細分化した分別処理を継続実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（ 令和　6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類_	－	－	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類_	－	－	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（ 令和　6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類_	－	－	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類_	－	－	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	
	（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　6 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	－	－
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	－	－
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　6 年度）実績】　別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 委託契約書に基づき適正に委託処理を行っている。		

	②計画	【目標】　別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 委託契約書に基づき適正に処理を行う。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　別紙1

現状	【前年度（令和　6 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物	紙くず
	排　出　量	2118.9　t	2498.0　t	425.7　t	144.3　t	32.9　t	84.2　t	4.0　t	0.3　t
計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物	紙くず
	排　出　量	1907　t	2248　t	383　t	130　t	29　t	75　t	3.5　t	0.2　t

現状	【前年度（令和　6 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合（管理型含む）				
	排　出　量	2981.0　t	719.4　t	5.2　t	351.5　t				
計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合（管理型含む）				
	排　出　量	2682　t	647　t	4.6　t	316　t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項　　別紙2

現状	【前年度（令和　6 年度）実績】								
産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量		2118.9 t	2498.0 t	425.7 t	144.3 t	32.9 t	84.2 t	4.0 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2118.9 t	2498.0 t	425.7 t	144.3 t	32.9 t	t	t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

現状	【前年度（令和　6 年度）実績】								
産業廃棄物の種類		建設汚泥	木くず	繊維くず	混合（管理型含む）				
全処理委託量		2981.0 t	719.4 t	5.2 t	351.5 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	719.4 t	5.2 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項　　別紙3

計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量		1907 t	2248 t	383 t	130 t	29 t	75 t	3.5 t	0.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1907 t	2248 t	383 t	130 t	29 t	t	t	0.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		建設汚泥	木くず	繊維くず	混合（管理型含む）				
全処理委託量		2682 t	647 t	4.6 t	316 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	647 t	4.6 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　30日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-0128
住　所　千葉県流山市おおたかの森西3-3-3
氏　名　株式会社　イズミ
代表取締役社長　倉持　和幸
電話番号　04-7159-0462

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和　6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　イズミ
事業場の所在地	千葉県流山市おおたかの森西3-3-3
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

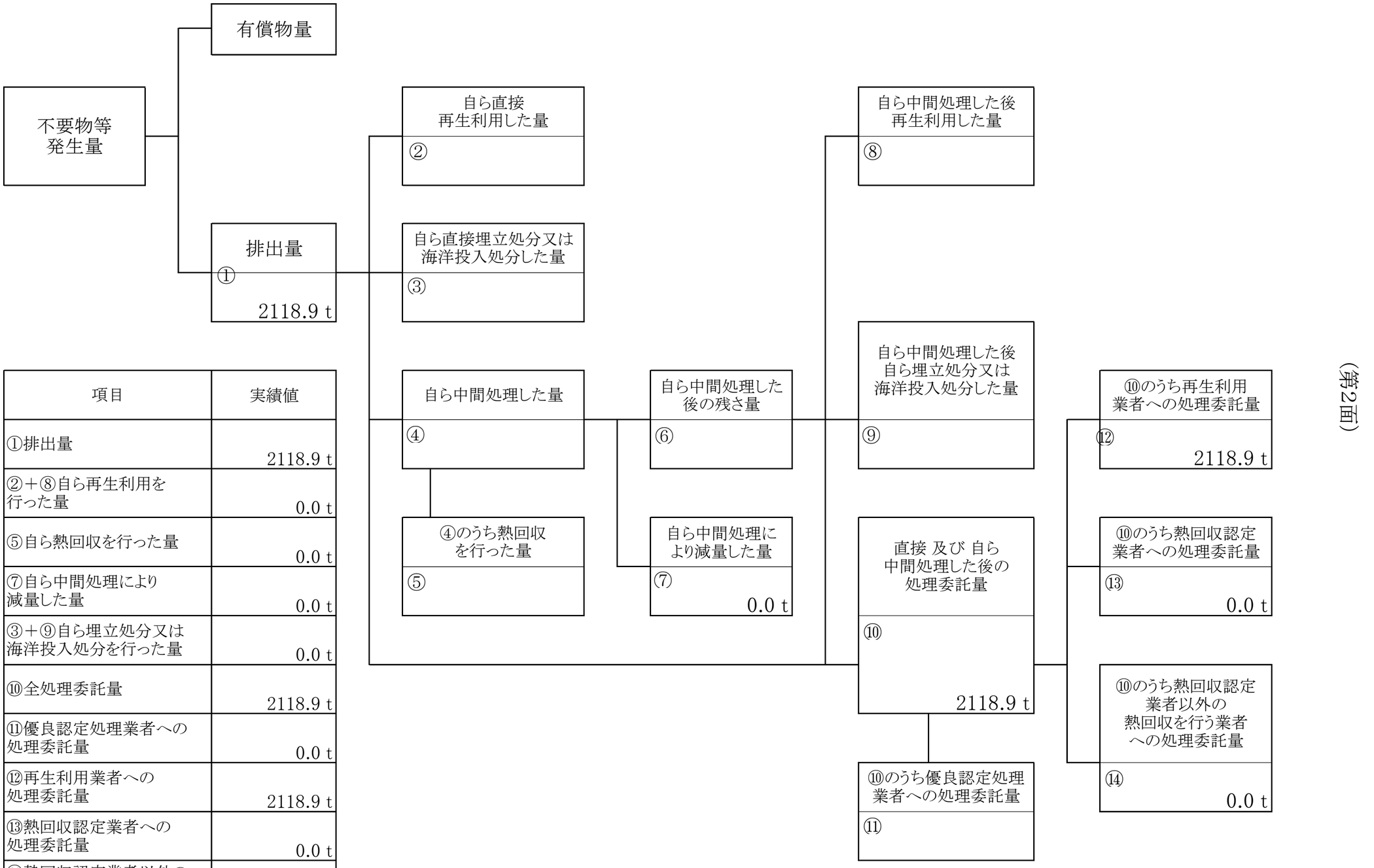
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5545.3 t	全処理委託量	5545.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	4466.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートガラ　）

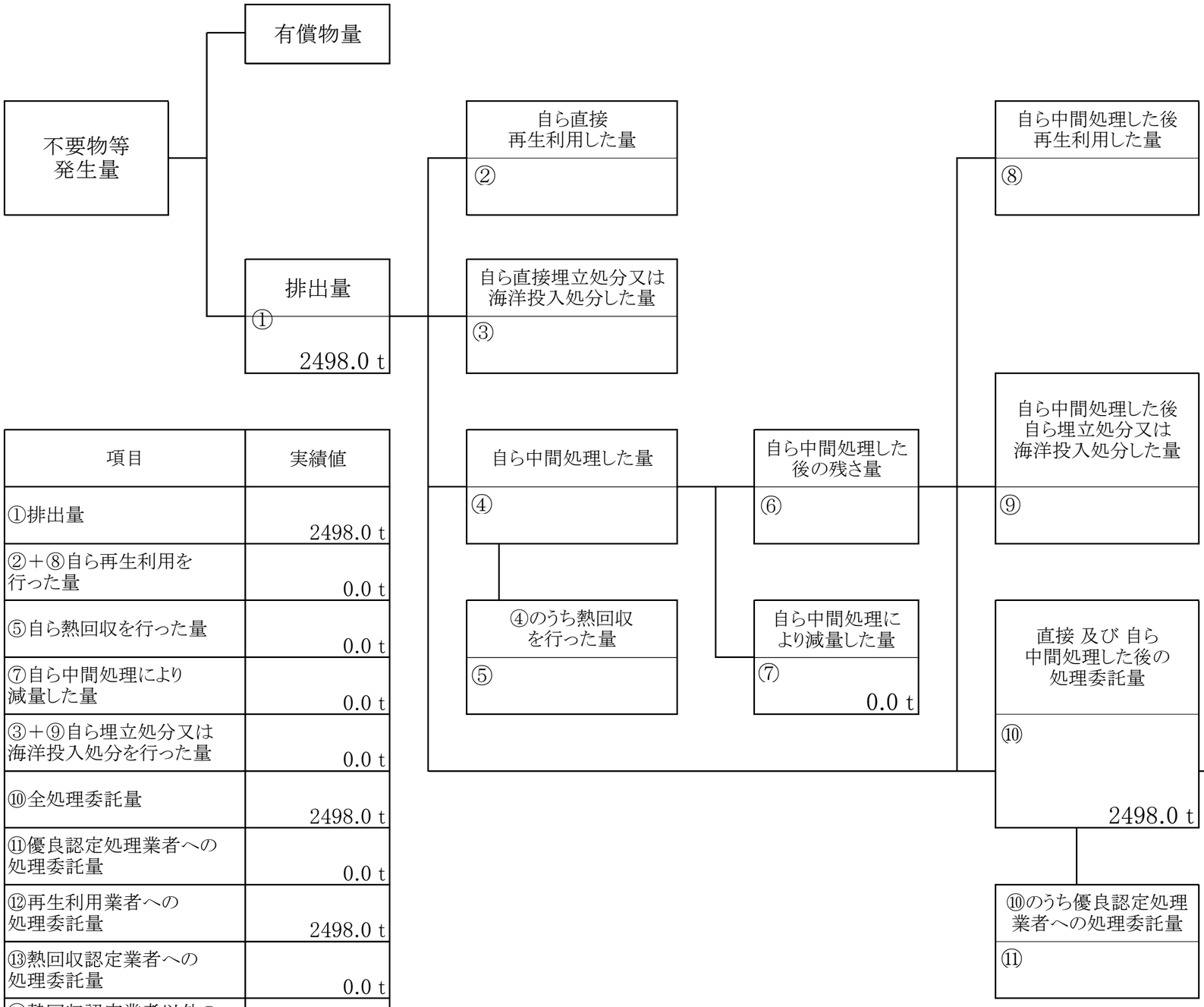


項目	実績値
①排出量	2118.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2118.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2118.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルトガラ　）

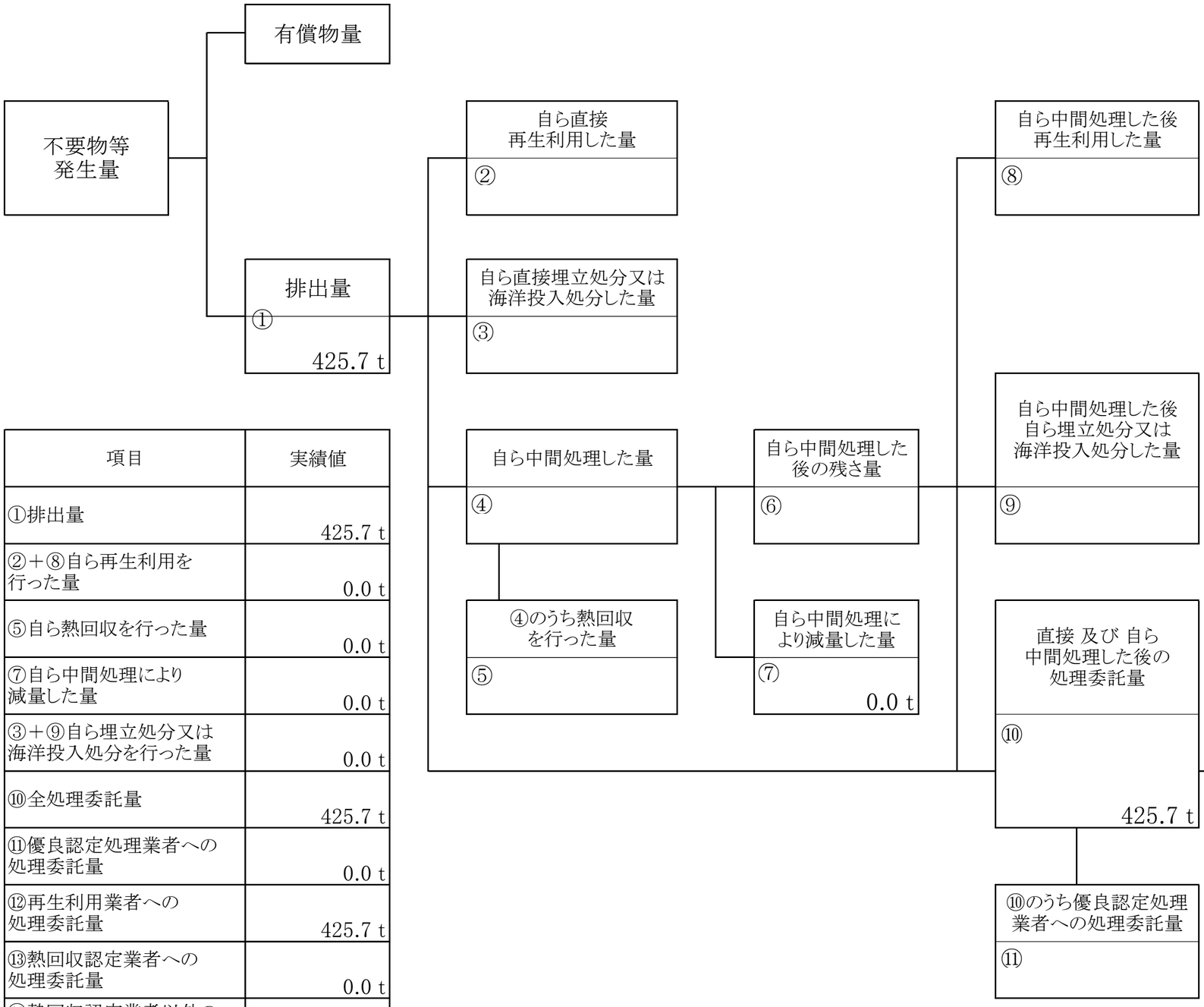


項目	実績値
①排出量	2498.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2498.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2498.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**その他がれき**　）

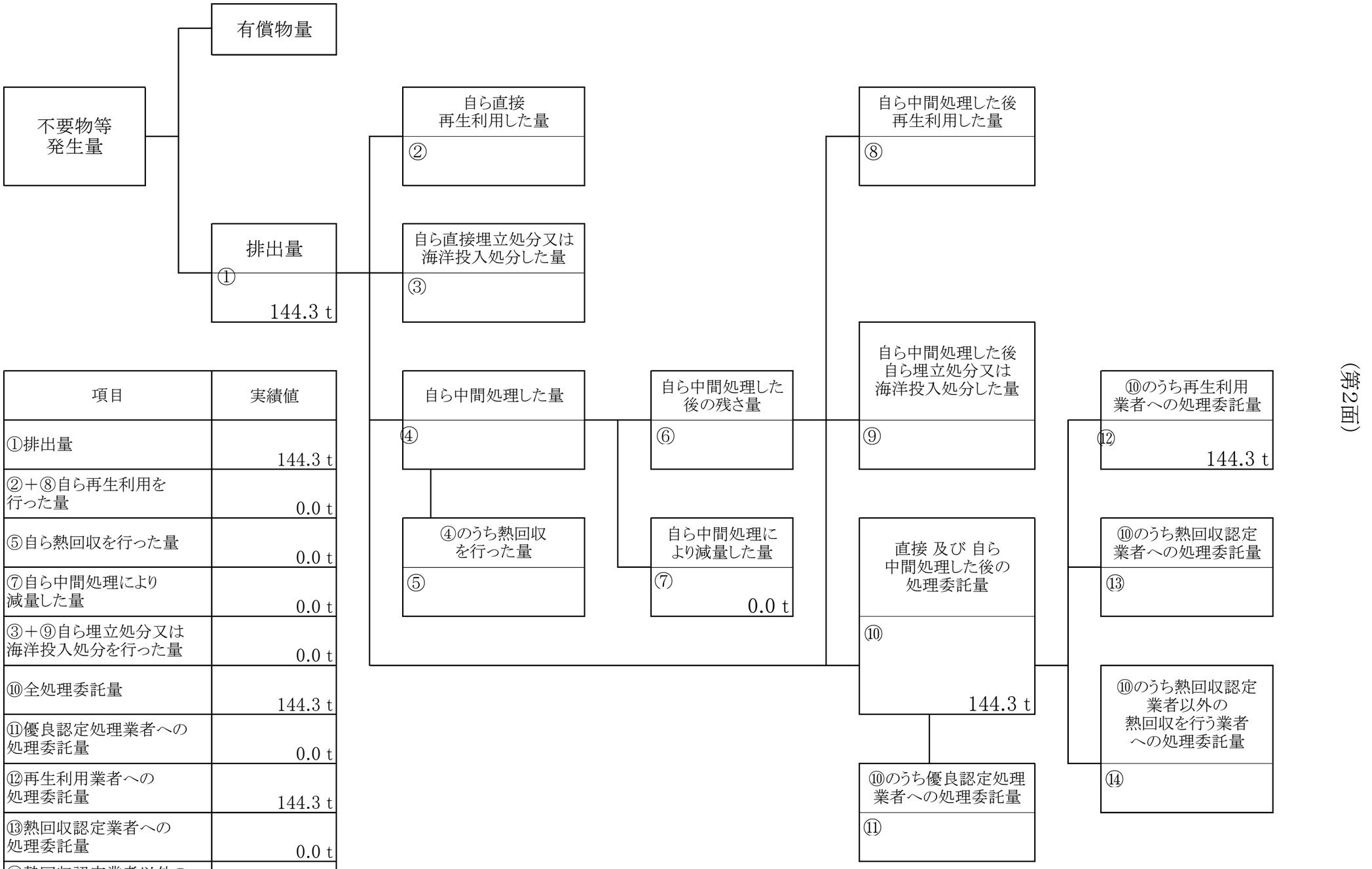


項目	実績値
①排出量	425.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	425.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	425.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス陶磁器**　）

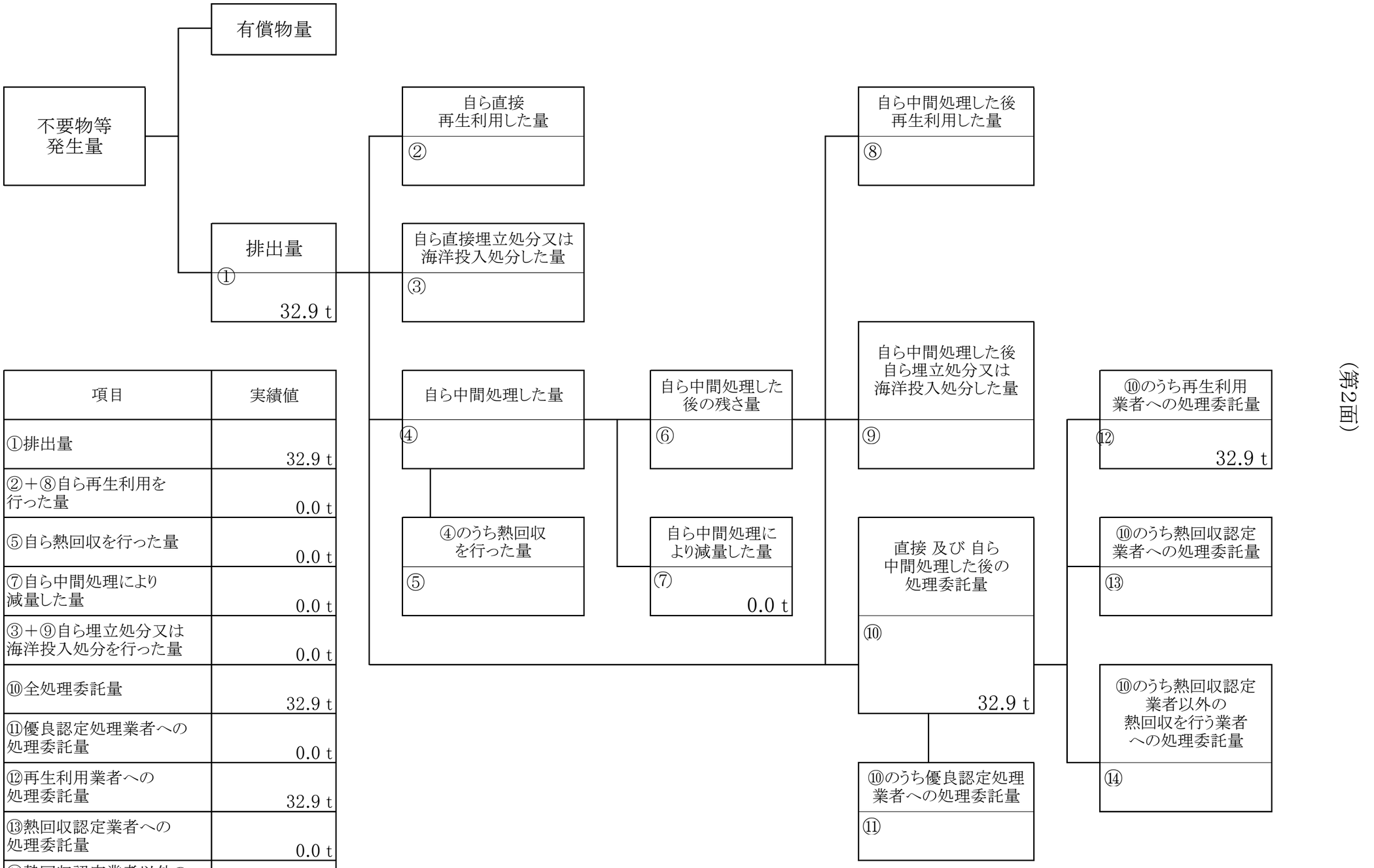


項目	実績値
①排出量	144.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	144.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	144.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

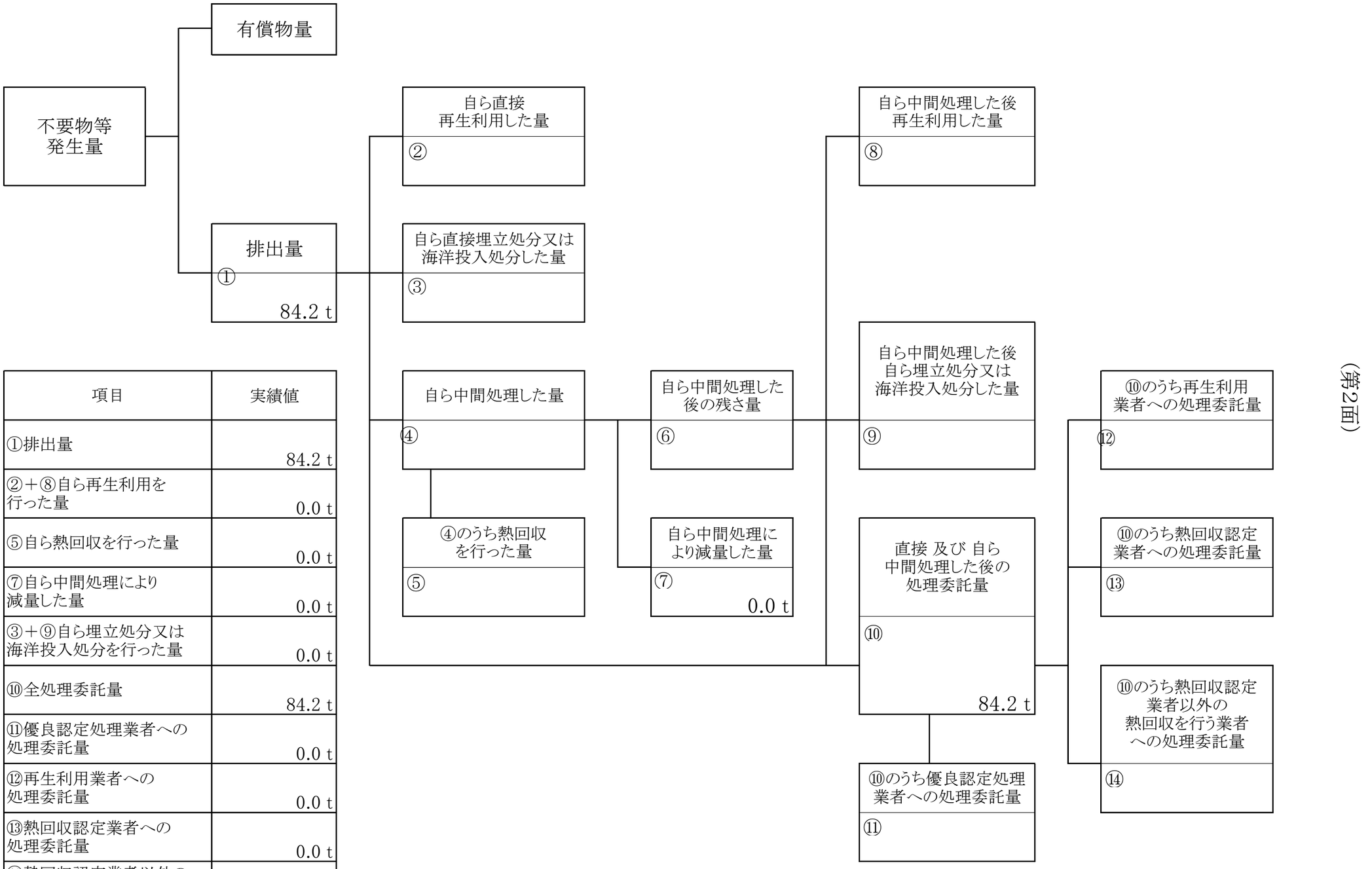


項目	実績値
①排出量	32.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

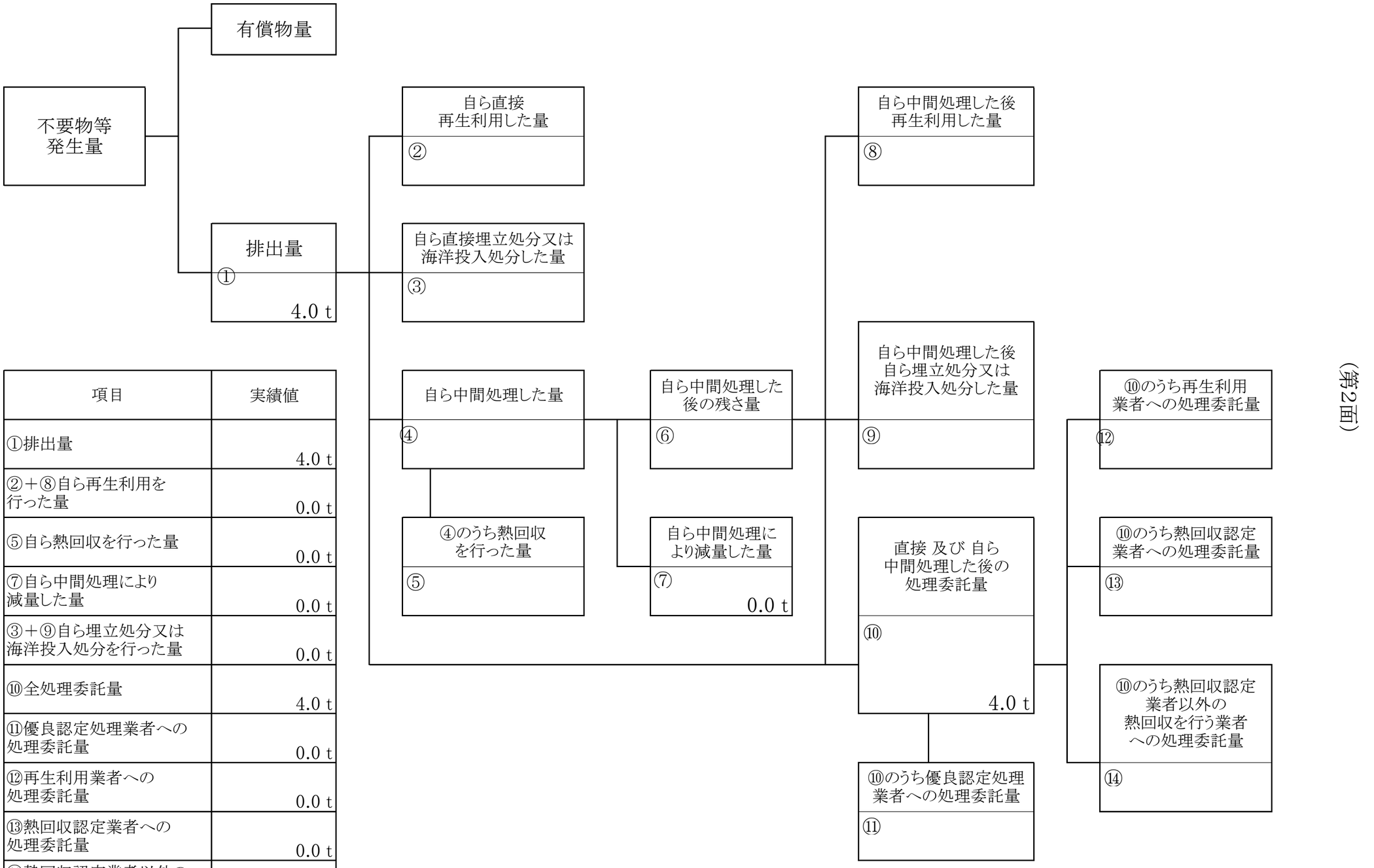


項目	実績値
①排出量	84.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**石綿含有廃棄物**　）

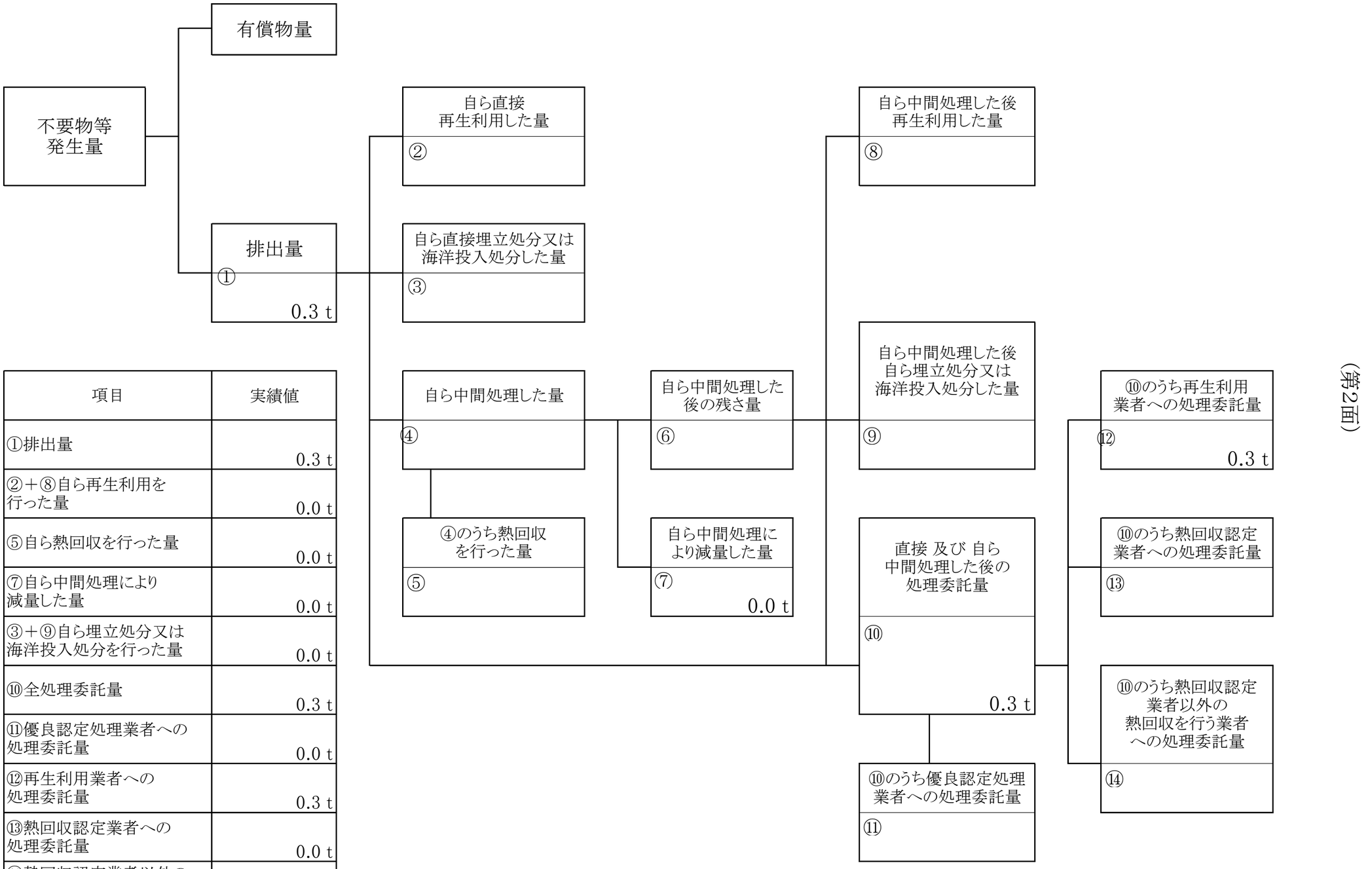


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

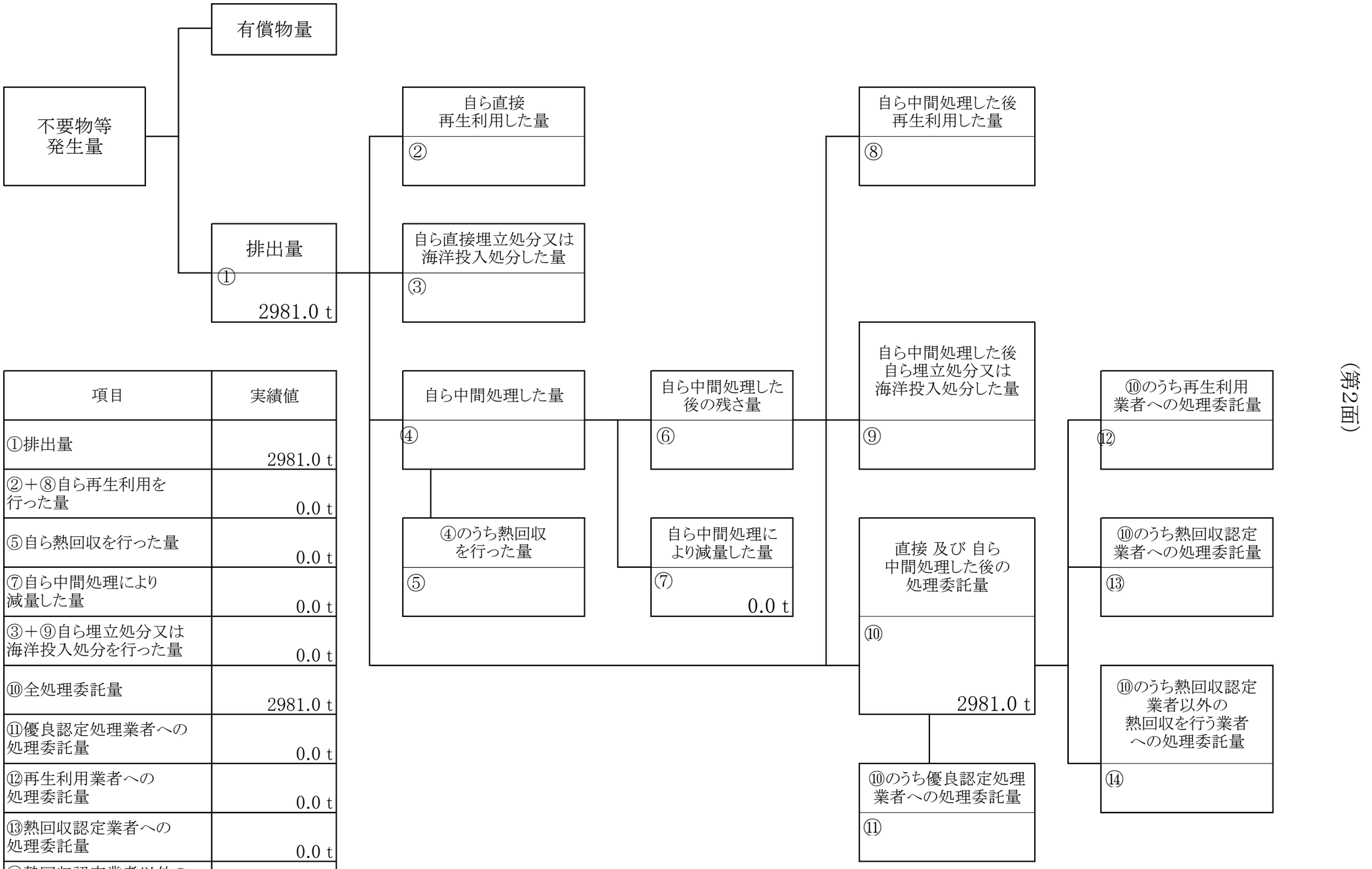


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設汚泥**　）

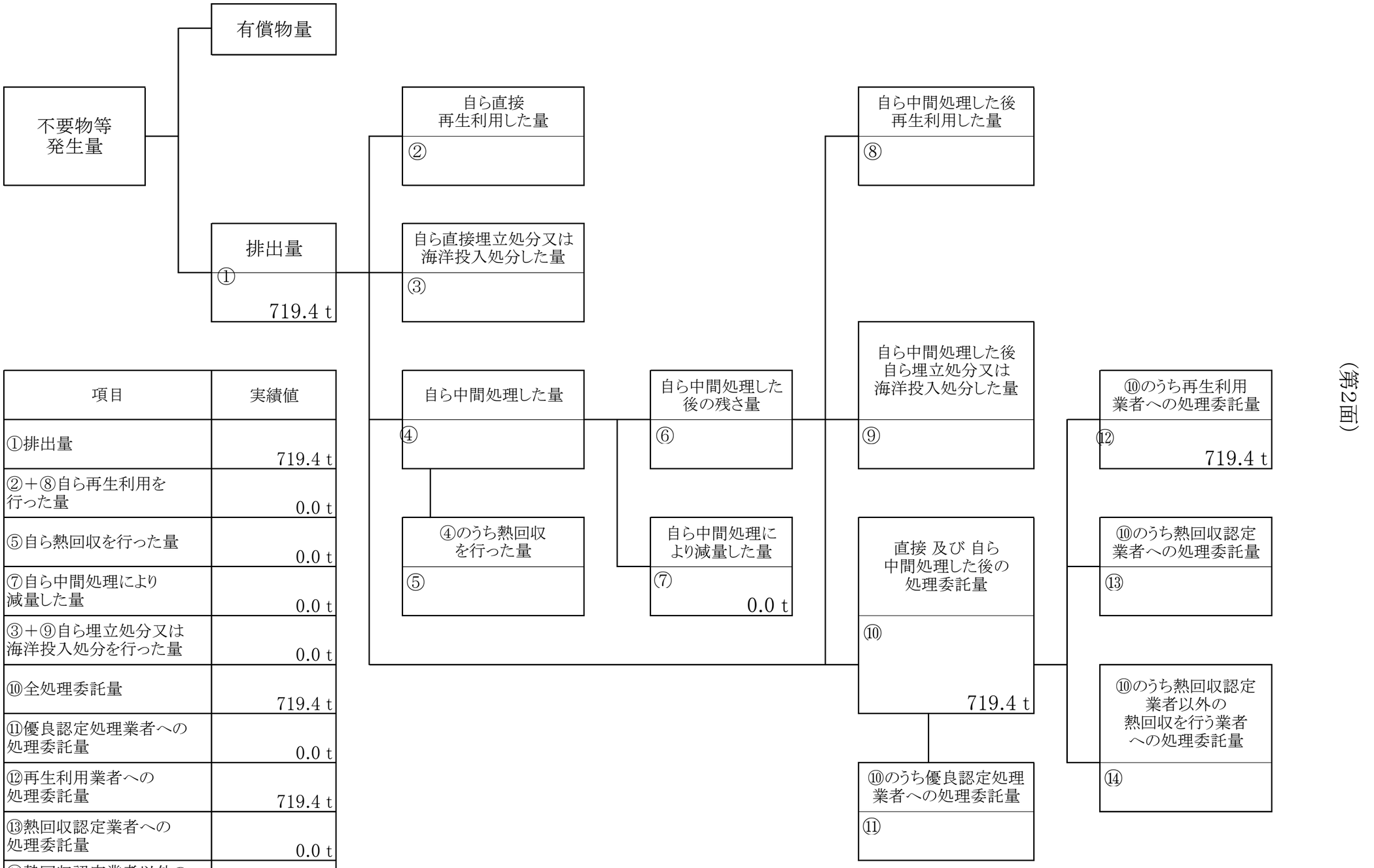


項目	実績値
①排出量	2981.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2981.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

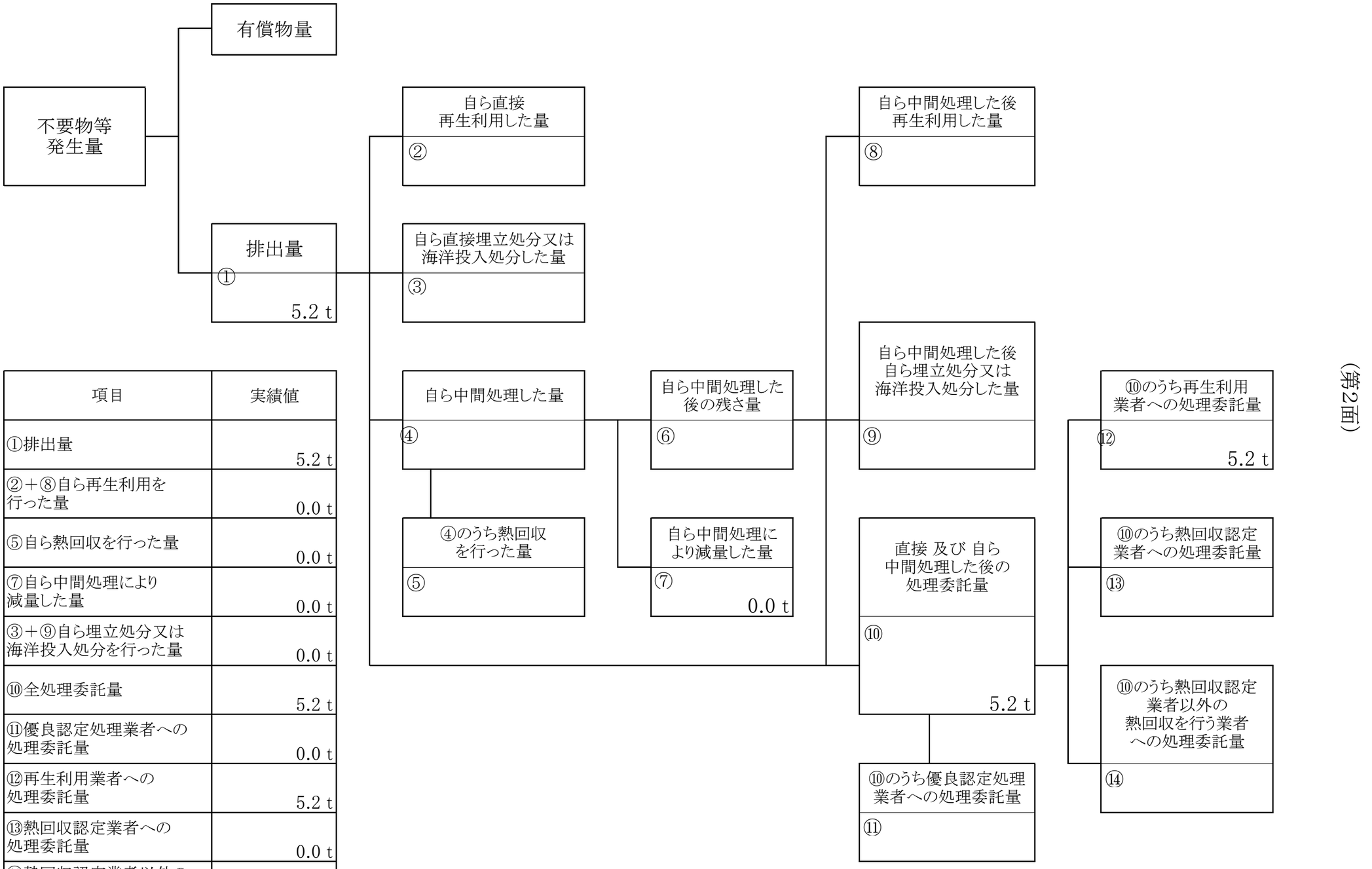


項目	実績値
①排出量	719.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	719.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	719.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**繊維くず**　）

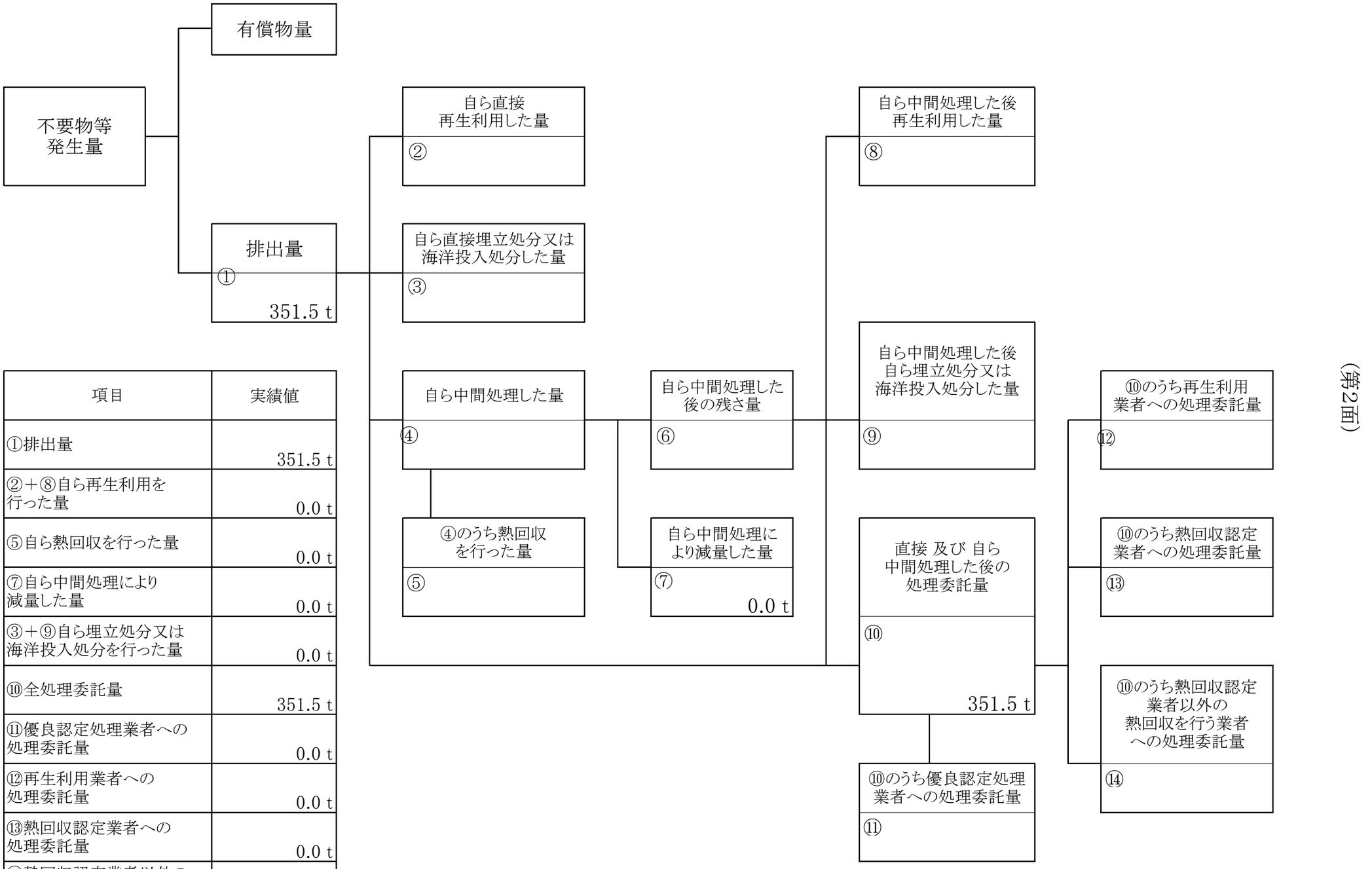


項目	実績値
①排出量	5.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**混合廃棄物（管理型）**　）



項目	実績値
①排出量	351.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	351.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　７年　　６月　１６日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　市川市鬼越２丁目５番４号
住　所　　株式会社 市川水道センター
氏　名　　代表取締役　臼倉　　進
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７（３３２）８８５２

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　市川水道センター
事業場の所在地	市川市鬼越２丁目５番４号
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

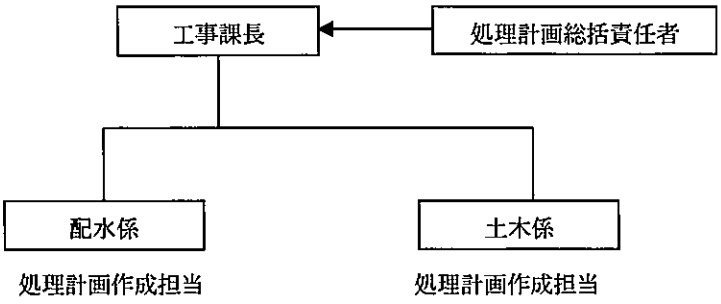
① 事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高　　１０．３億円
③ 従業員数	３５人（正社員　　３５人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事工程 → アスファルトコンクリートがら コンクリートがら がれき類 汚泥 → 委託処理（中間処理業者） → 再生

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.6.18 収受

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
排　　出　　量	705.1ｔ	32.0ｔ	442.0ｔ	

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
排　　出　　量	700.0ｔ	30.0ｔ	440.0ｔ	

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
全処理委託量	705.1 t	32.0 t	442.0 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	
再生利用業者への処理委託量	705.1 t	32.0 t	442.0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	

（これまでに実施した取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

	② 計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	
		全処理委託量	700.0ｔ	30.0ｔ	440.0ｔ	
		優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
		再生利用業者への処理委託量	700.0ｔ	30.0ｔ	440.0ｔ	
		認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
		（今後実施する予定の取組） 分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング6階

氏 名　株式会社イチケン　東京支店

取締役 常務執行役員 支店長　磯野　慶治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5931-5656

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社イチケン　東京支店
事業場の所在地	東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング6階
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６：総合工事業
②事業の規模	2024年度 東京支店売上高　39,826百万円
③従業員数	239人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・場内発生物の現場内再利用。
・打ち込み型枠の採用（メッシュ型枠、デッキ型枠）。
・転用容器の採用。
・場外加工の採用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・上記に木材のプレカット化、配管類をユニット化、ＰＣ化の実現。
・廃棄物の多分別化と減量。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、アスファルト、木材）の分別は必須とし、石膏ボード、廃プラスチック、紙（ダンボール）の分別。石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物に混入しないよう区分管理し、飛散防止措置を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記に加え、専ら物の紙（ダンボール）、金属くずの再資源化。
広域認定制度を利用し、石膏ボード、発泡ウレタンの再資源化を進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組） 移動式がれき類等破砕施設による再生砕石の場内再利用。 （仮設通路・埋戻し）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・再生資源化率の高い産業廃棄物処理業者の選定を促進する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・再生処理を中心にした再生資源化率の高い産業廃棄物処理業者の選定を促進する。
・可能な限り優良認定処理業者から選定する。
・委託処分事業者の現地確認や評価を行う。
・CO_2削減に考慮し、極力近接産廃業者を選定。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

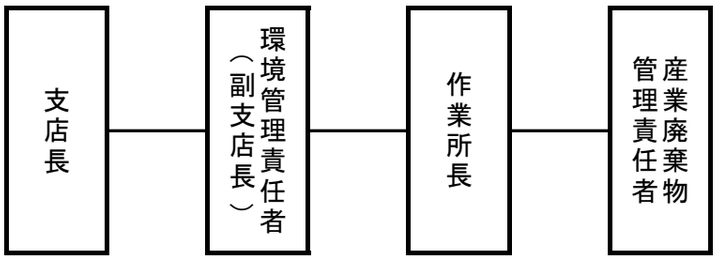
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

・汚泥→凝集固化（委託）→再生材として再利用
・廃プラスチック→破砕（委託）→再生材原材料、チップ燃料材（ＲＰＦ原料）
・紙くず→圧縮梱包（委託）→再生材原料、チップ燃料材（ＲＰＦ原料）
・木くず→破砕（委託）→再生材原料、チップ燃料材（ＲＰＦ原料）
・金属くず→破砕（委託）→再生材原料
・がれき類→破砕（委託）→再生材原料
・建設系混合廃棄物→分別（委託）→破砕他→再生材原料他
・石膏ボード→破砕（委託）→改良土、肥料
・石膏ボード→（広域認定委託）→石膏ボードとして再生原料
・発泡ウレタン→（広域認定委託）→断熱材料として再利用

別添２ 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
排　出　量	1,342.00 t	3.19 t	87.70 t	60.15 t	145.50 t	17.52 t	25.00 t	130.50 t	181.25 t	212.45 t	310.40 t	2.60 t	234.39 t	21.34 t	2.40 t	0.20 t		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
排　出　量	1,207.80 t	2.87 t	78.93 t	54.14 t	130.95 t	15.77 t	22.50 t	117.45 t	163.13 t	191.21 t	279.36 t	2.34 t	210.95 t	19.21 t	2.16 t	0.18 t		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
全処理委託量	1,342.00 t	3.19 t	87.70 t	60.15 t	145.50 t	17.52 t	25.00 t	130.50 t	181.25 t	212.45 t	310.40 t	2.60 t	234.39 t	21.34 t	2.40 t	0.20 t		
優良認定処理業者への処理委託量	2.20 t	3.19 t	87.70 t	60.15 t	125.97 t	17.52 t	21.00 t	115.65 t	105.08 t	6.66 t	292.30 t	2.60 t	217.62 t	21.34 t	0.10 t	0.00 t		
再生利用業者への処理委託量	1,342.00 t	3.19 t	87.70 t	60.15 t	145.50 t	17.52 t	25.00 t	130.50 t	153.92 t	174.12 t	303.40 t	2.60 t	234.39 t	0.00 t	2.40 t	0.20 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
全処理委託量	1,207.80 t	2.87 t	78.93 t	54.14 t	130.95 t	15.77 t	22.50 t	117.45 t	163.13 t	191.21 t	279.36 t	2.34 t	210.95 t	19.21 t	2.16 t	0.18 t		
優良認定処理業者への処理委託量	1.98 t	2.87 t	78.93 t	54.14 t	113.37 t	15.77 t	18.90 t	104.09 t	94.57 t	5.99 t	263.07 t	2.34 t	195.86 t	19.21 t	0.09 t	0.00 t		
再生利用業者への処理委託量	1,207.80 t	2.87 t	78.93 t	54.14 t	130.95 t	15.77 t	22.50 t	117.45 t	138.53 t	156.71 t	273.06 t	2.34 t	210.95 t	0.00 t	2.16 t	0.18 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング6階

氏 名 株式会社イチケン　東京支店

取締役 常務執行役員 支店長　磯野　慶治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5931-5656

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社イチケン　東京支店
事業場の所在地	東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング6階
事業の種類	０６：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

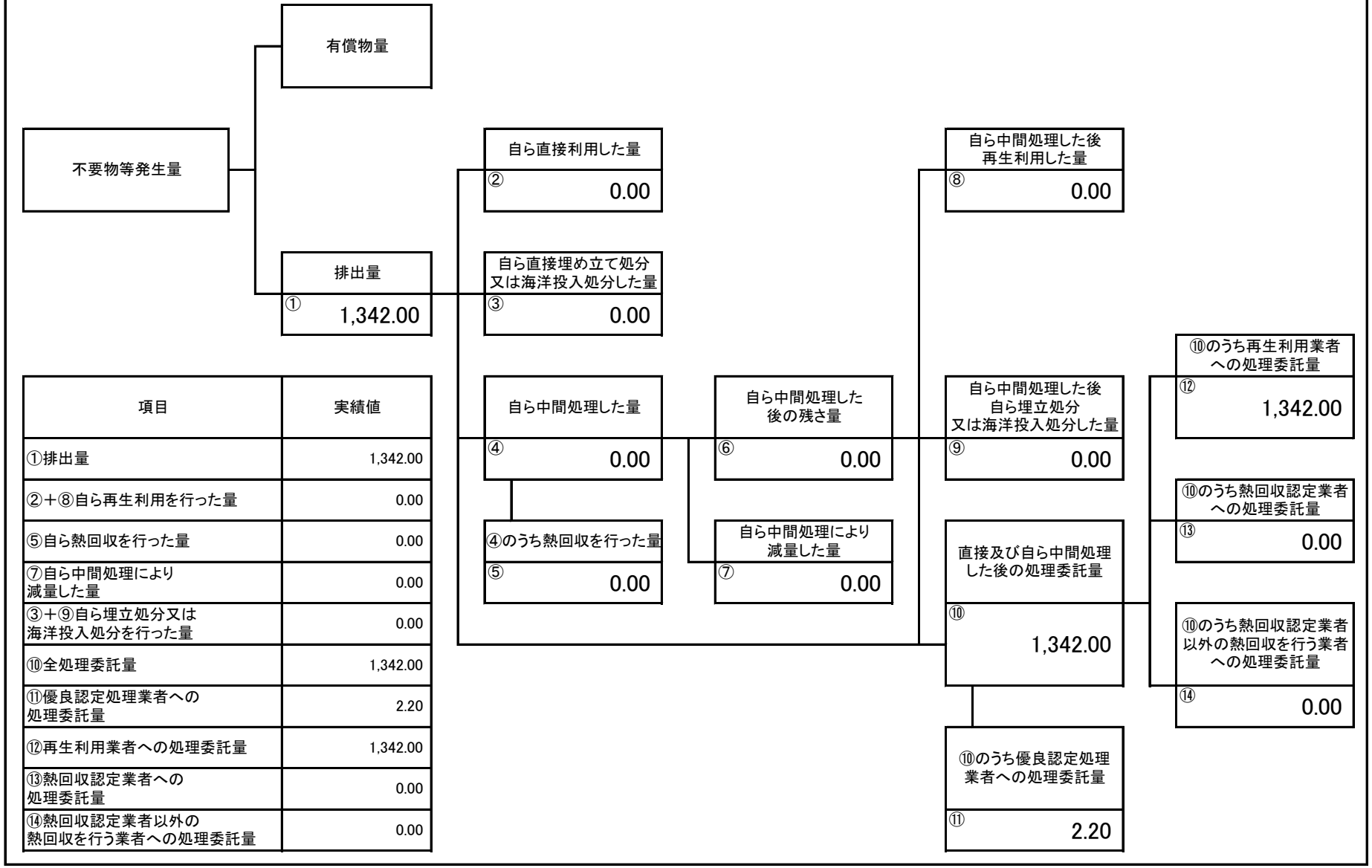
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,983.17 t	全処理委託量	1,983.17 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	437.53 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,932.32 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

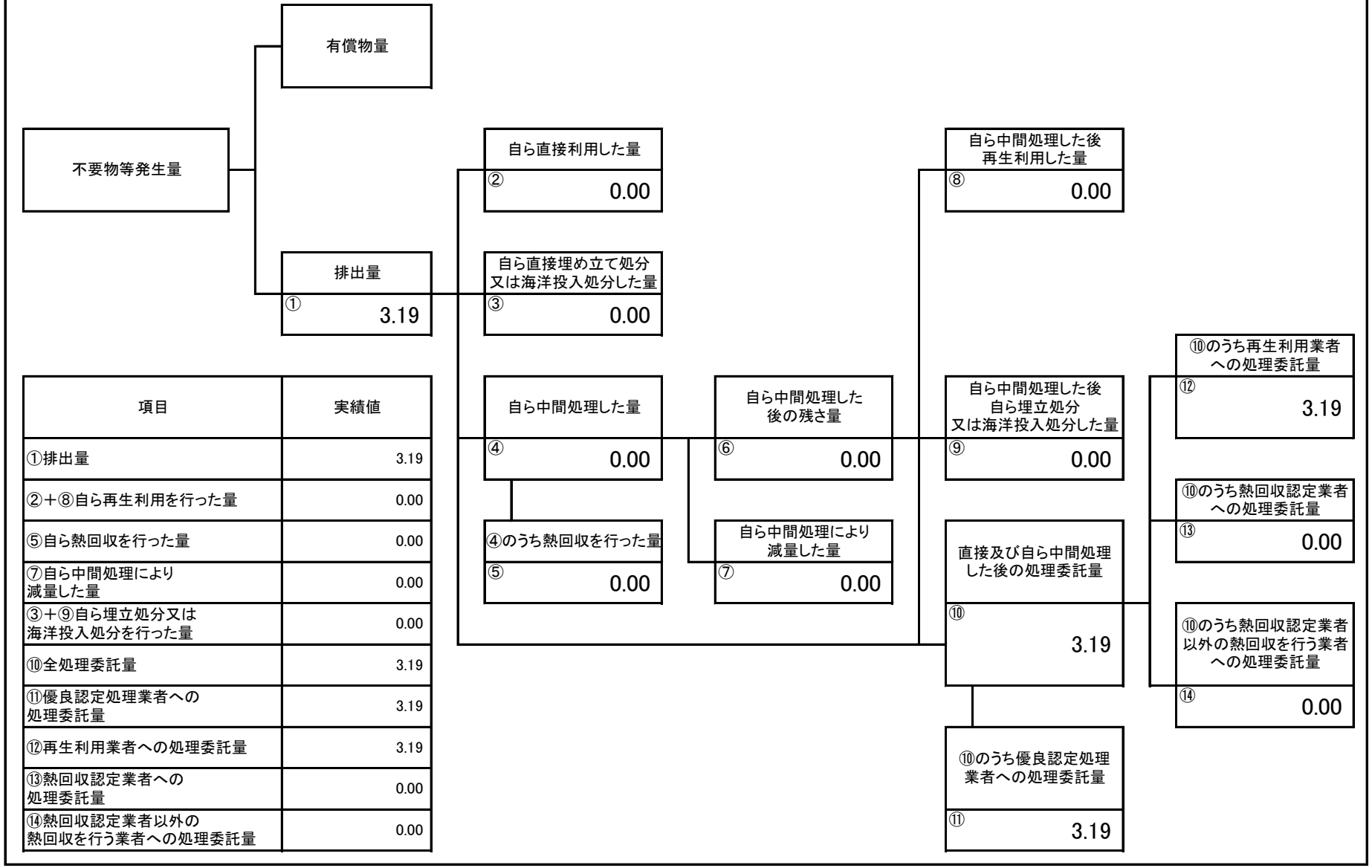


項目	実績値
①排出量	1,342.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,342.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.20
⑫再生利用業者への処理委託量	1,342.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

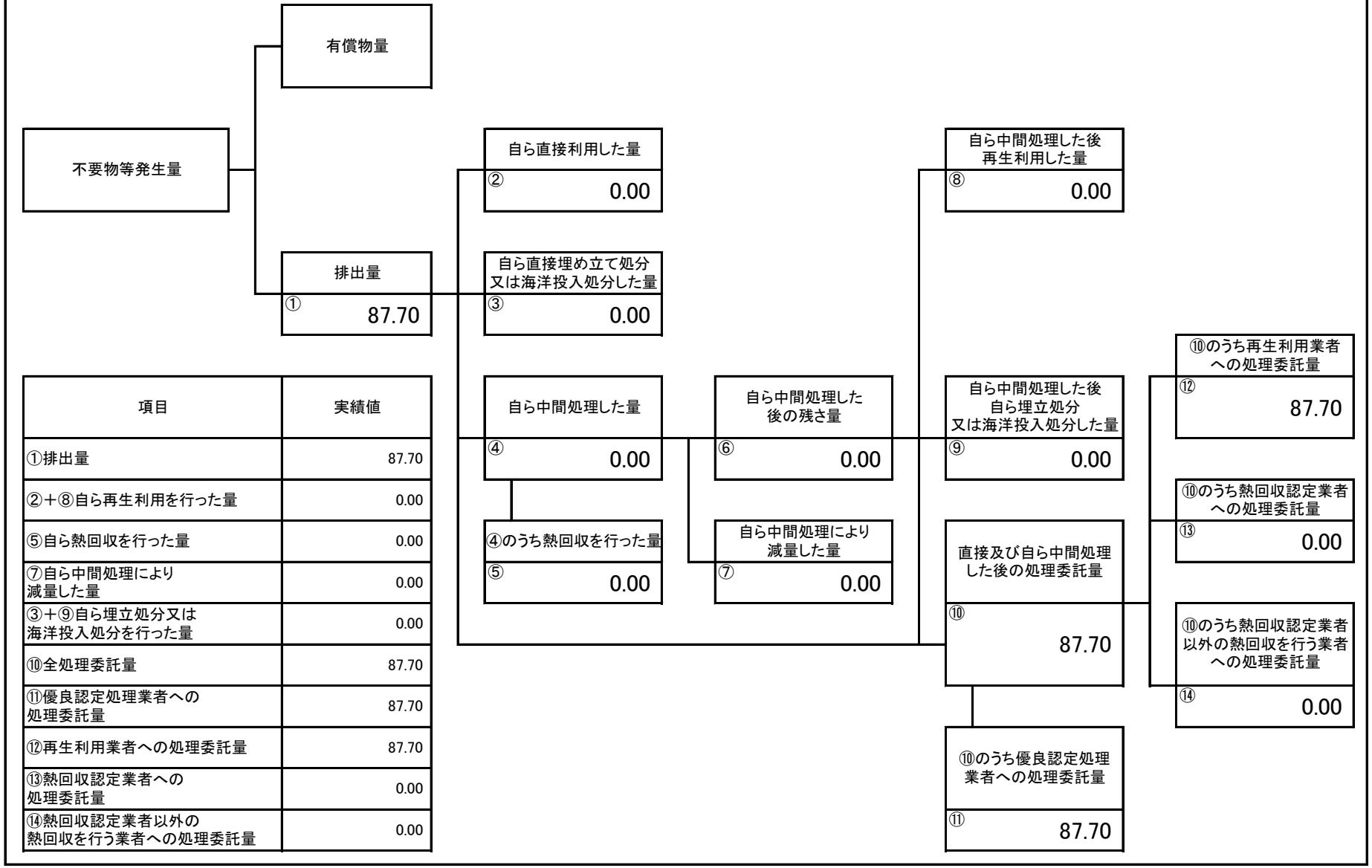


項目	実績値
①排出量	3.19
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.19
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.19
⑫再生利用業者への処理委託量	3.19
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

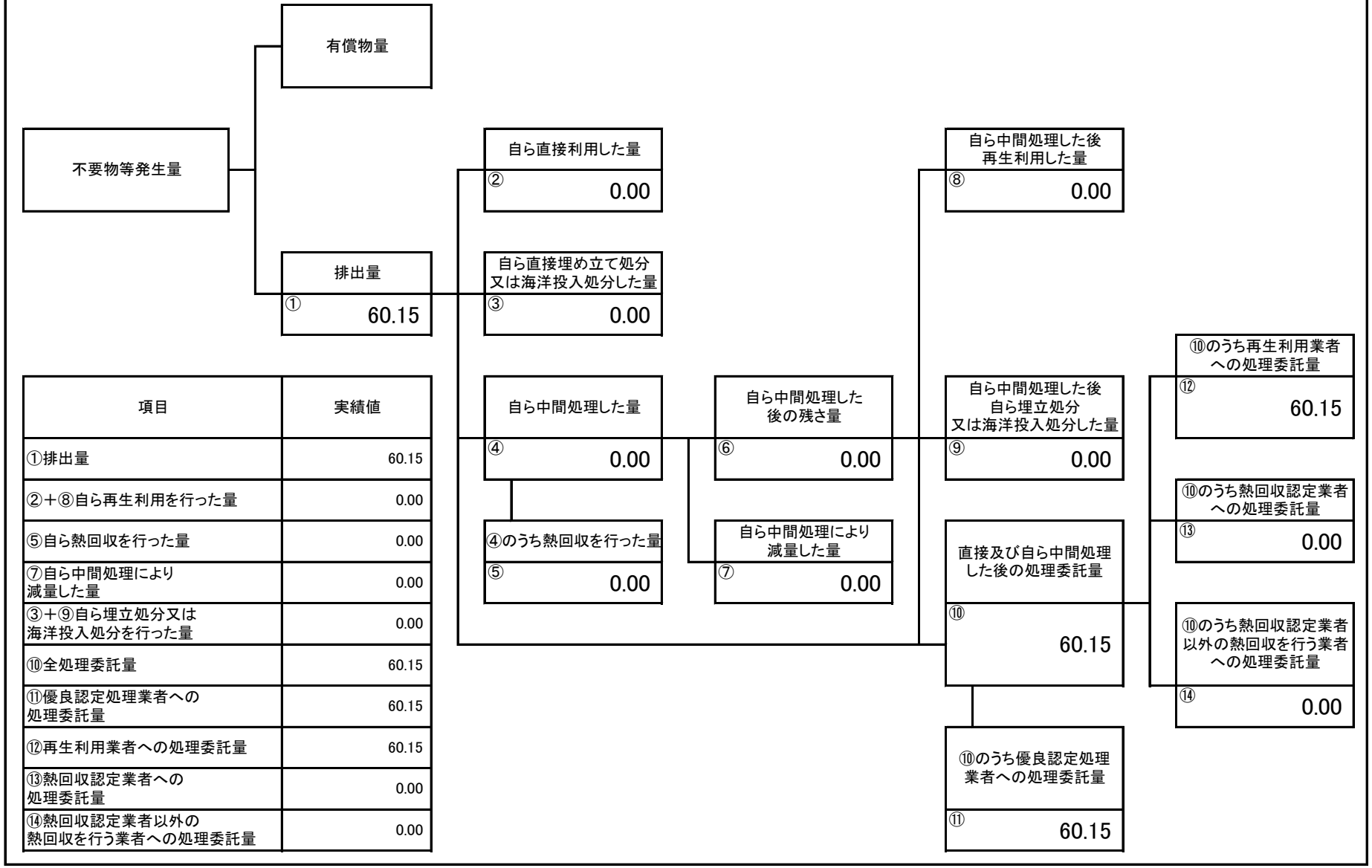


項目	実績値
①排出量	87.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	87.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	87.70
⑫再生利用業者への処理委託量	87.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

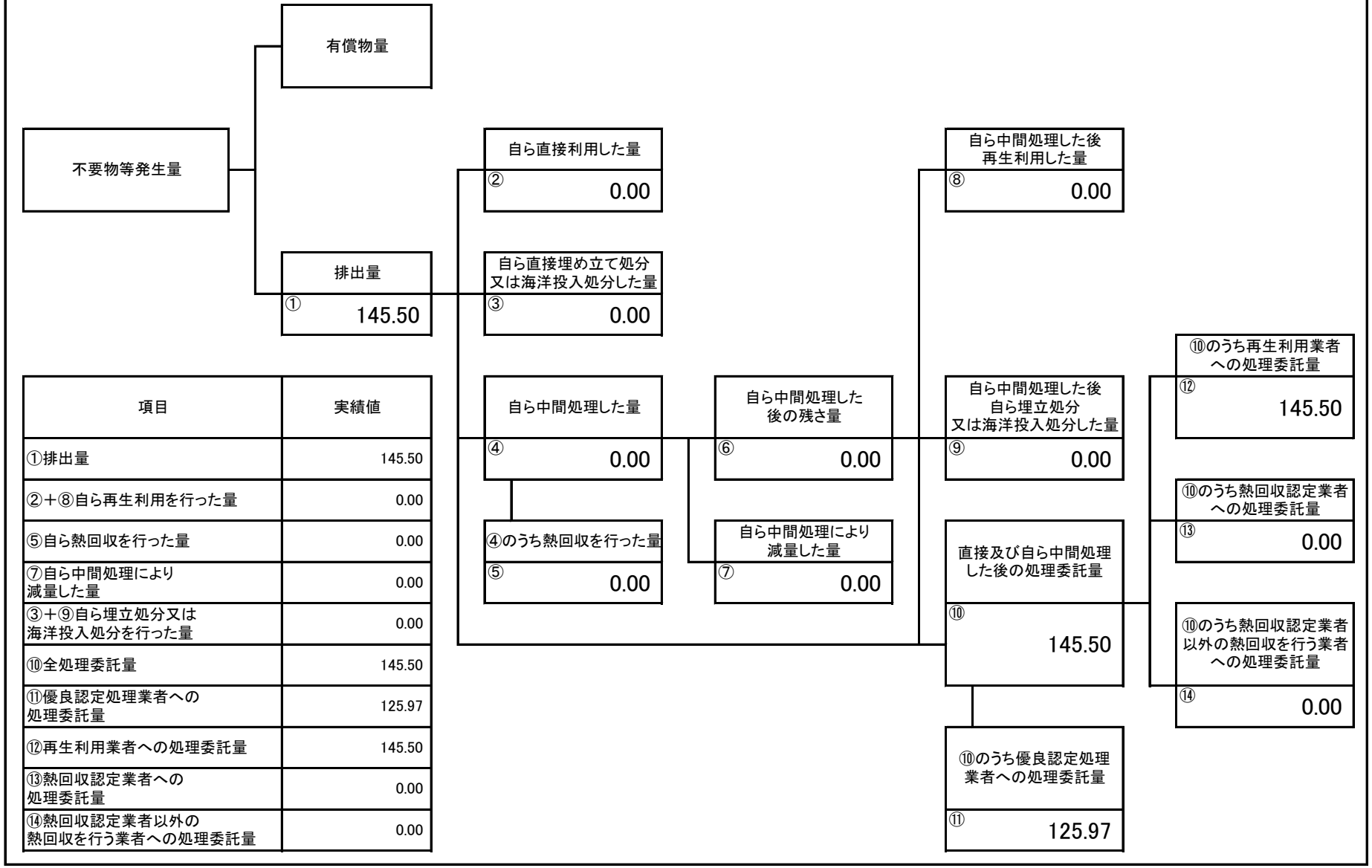


項目	実績値
①排出量	60.15
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	60.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.15
⑫再生利用業者への処理委託量	60.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

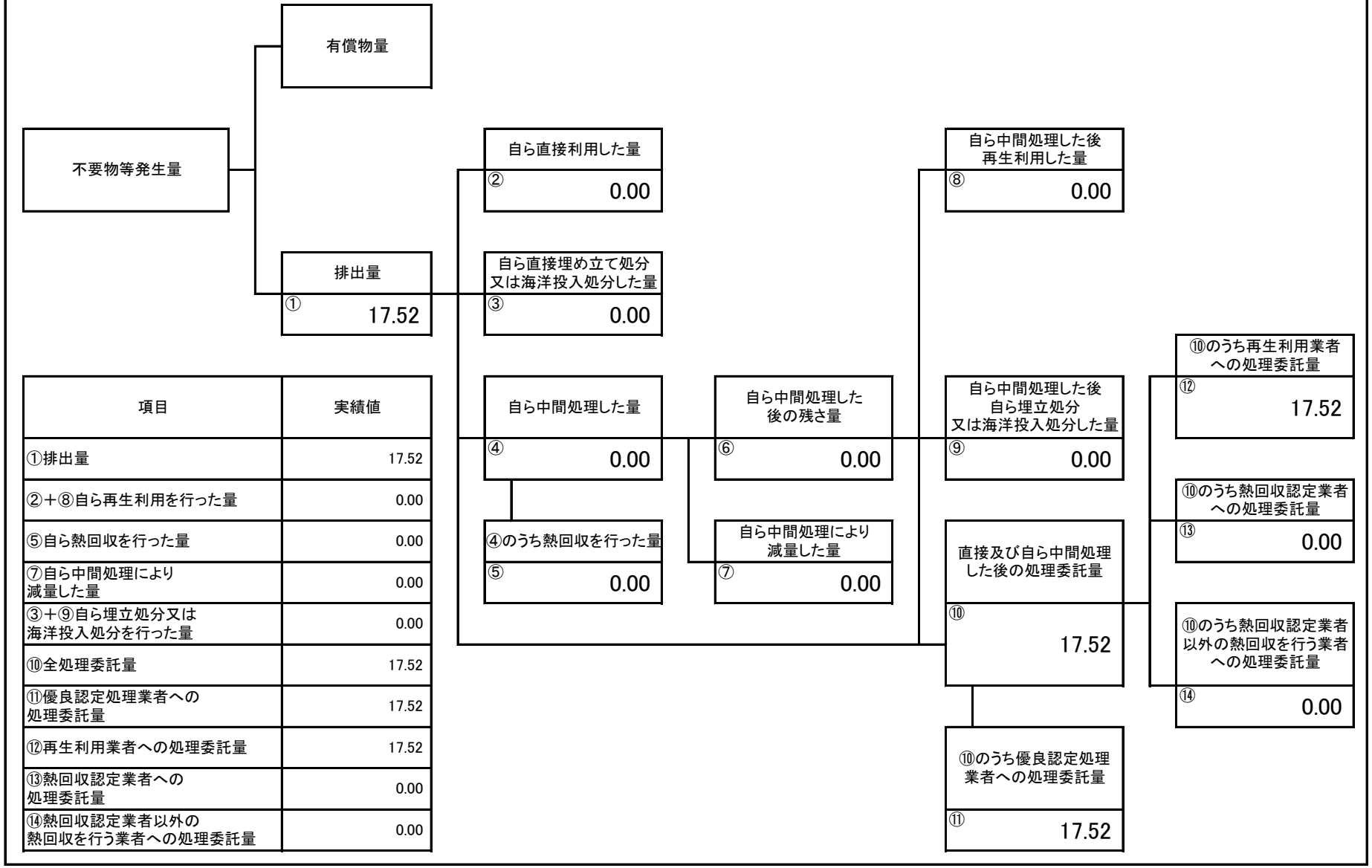


項目	実績値
①排出量	145.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	145.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	125.97
⑫再生利用業者への処理委託量	145.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

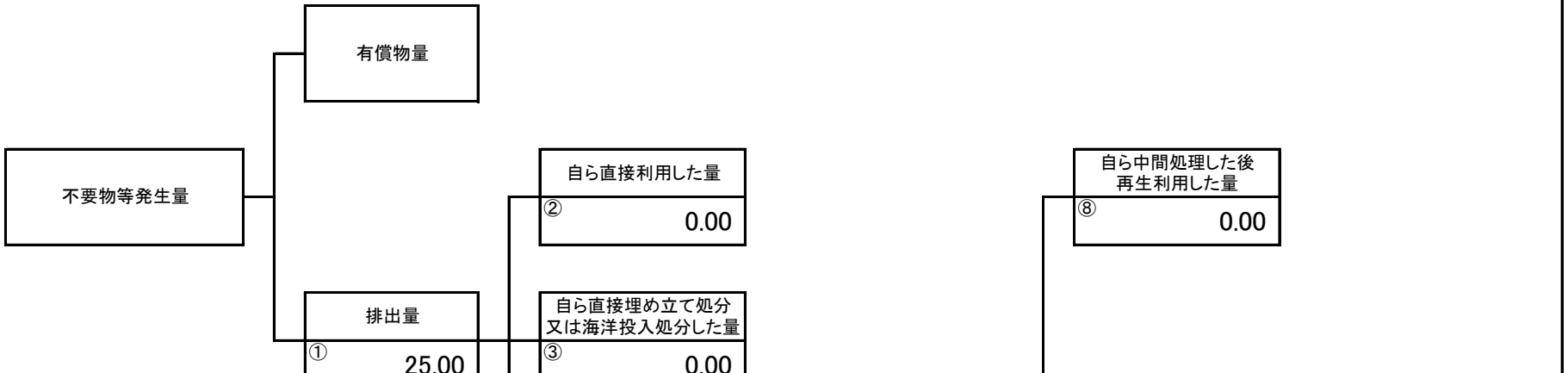


項目	実績値
①排出量	17.52
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	17.52
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.52
⑫再生利用業者への処理委託量	17.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

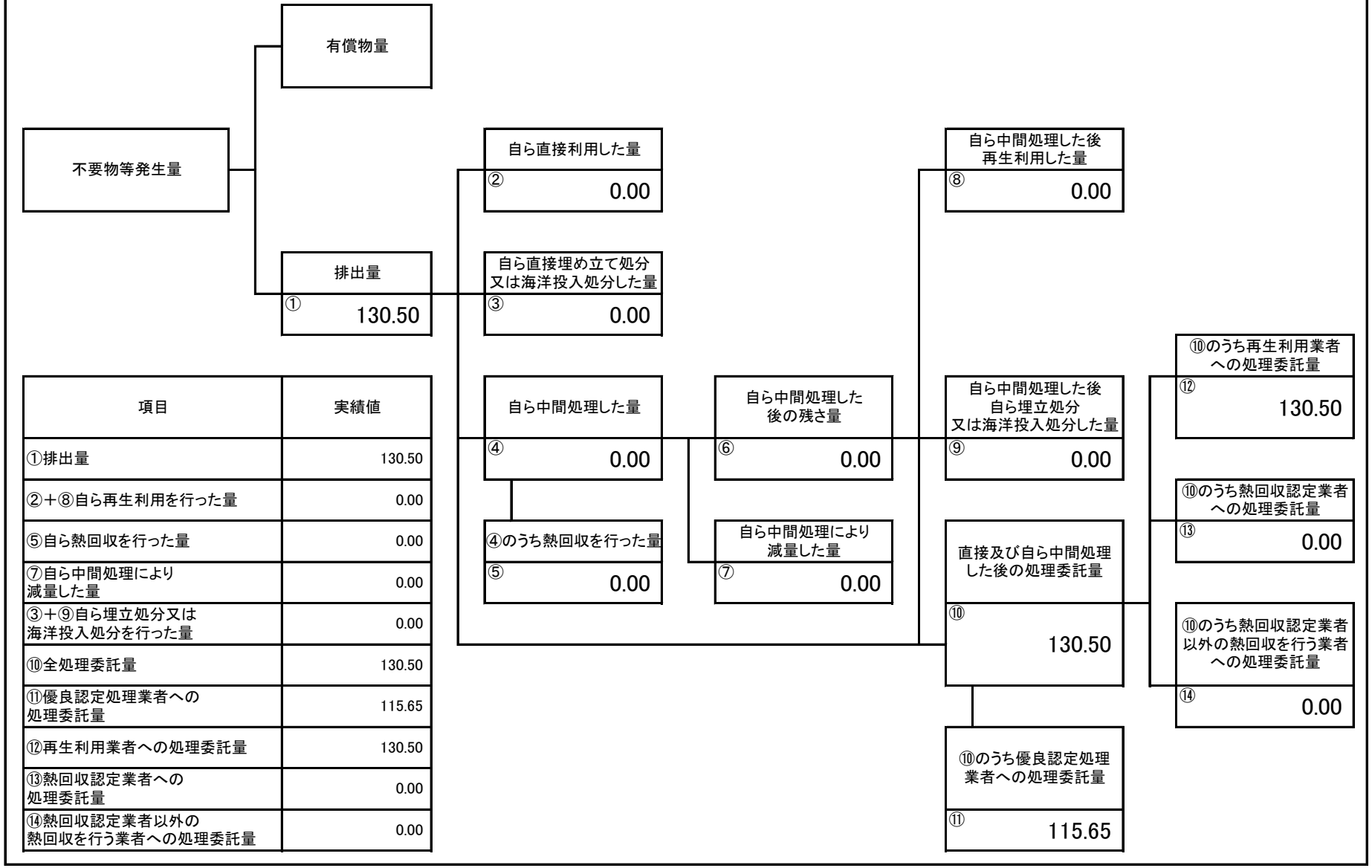


項目	実績値
①排出量	25.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	25.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.00
⑫再生利用業者への処理委託量	25.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

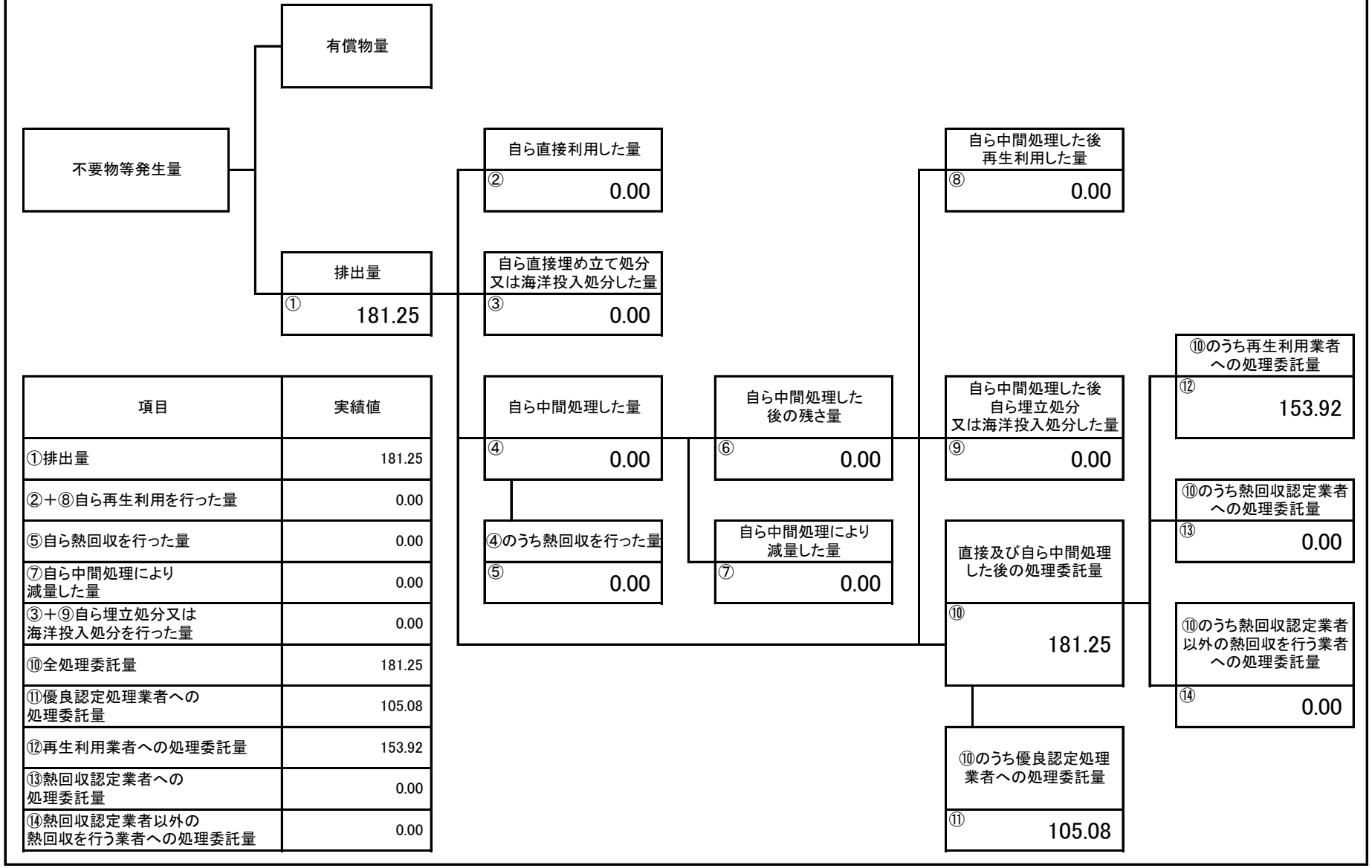


項目	実績値
①排出量	130.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	130.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	115.65
⑫再生利用業者への処理委託量	130.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

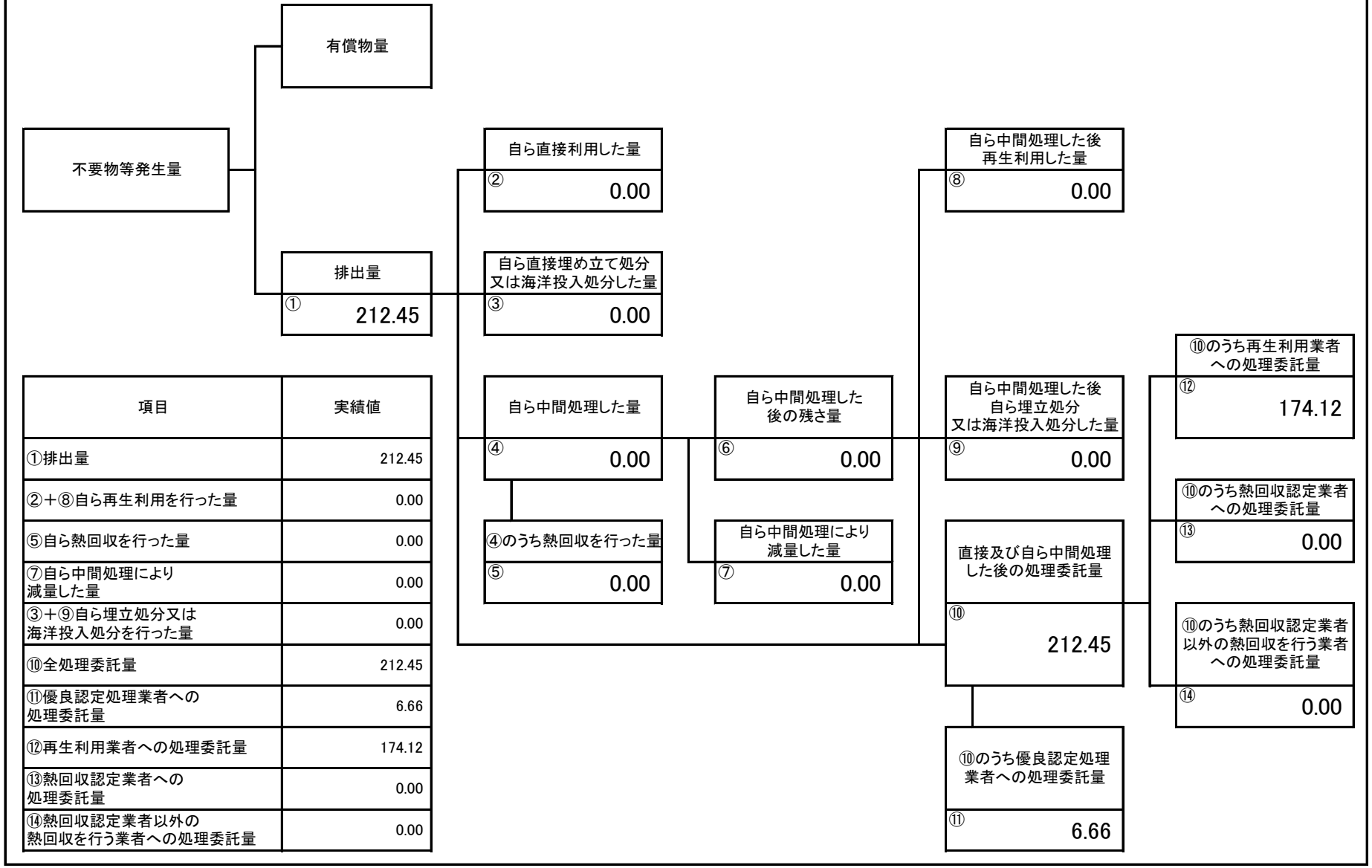


項目	実績値
①排出量	181.25
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	181.25
⑪優良認定処理業者への処理委託量	105.08
⑫再生利用業者への処理委託量	153.92
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

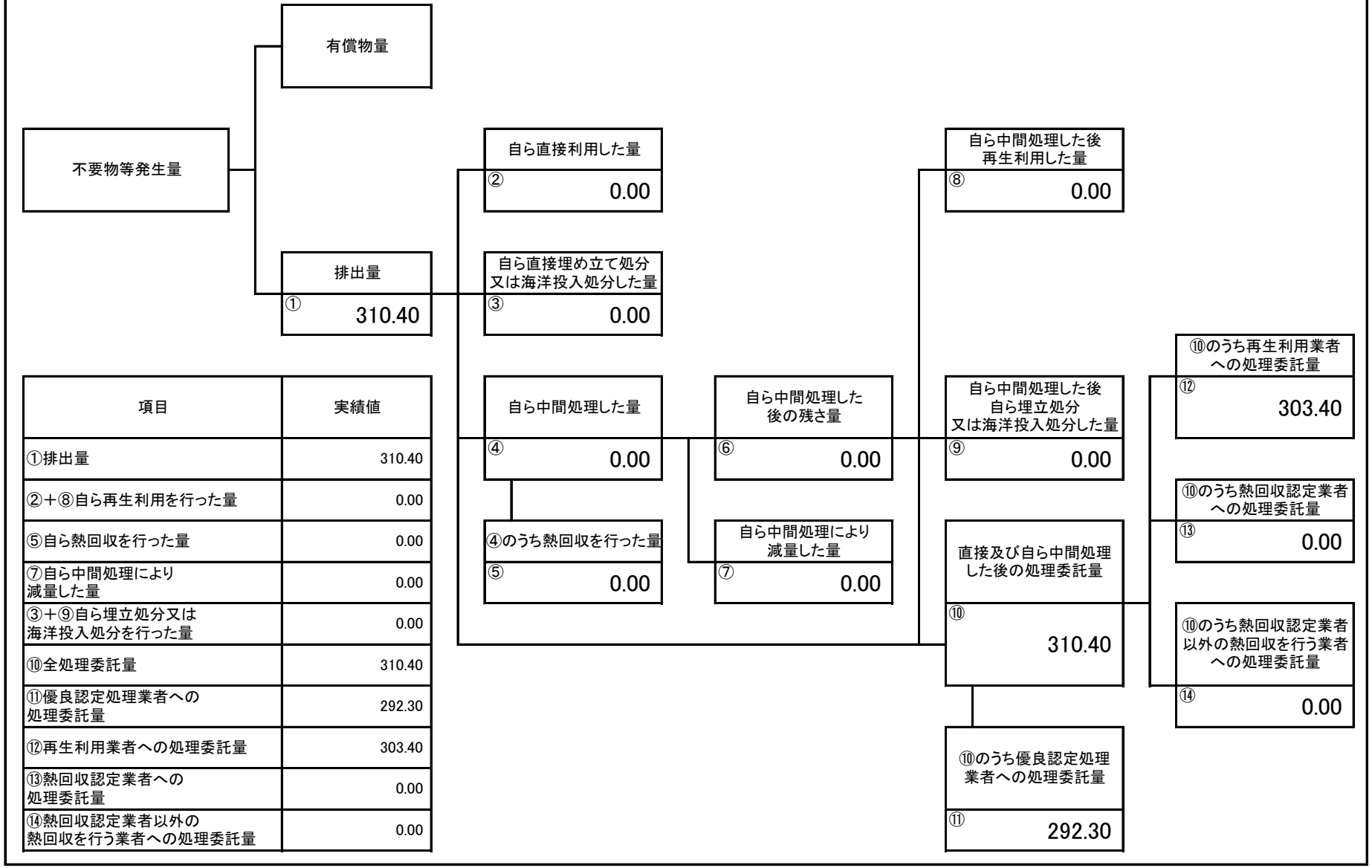


項目	実績値
①排出量	212.45
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	212.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.66
⑫再生利用業者への処理委託量	174.12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

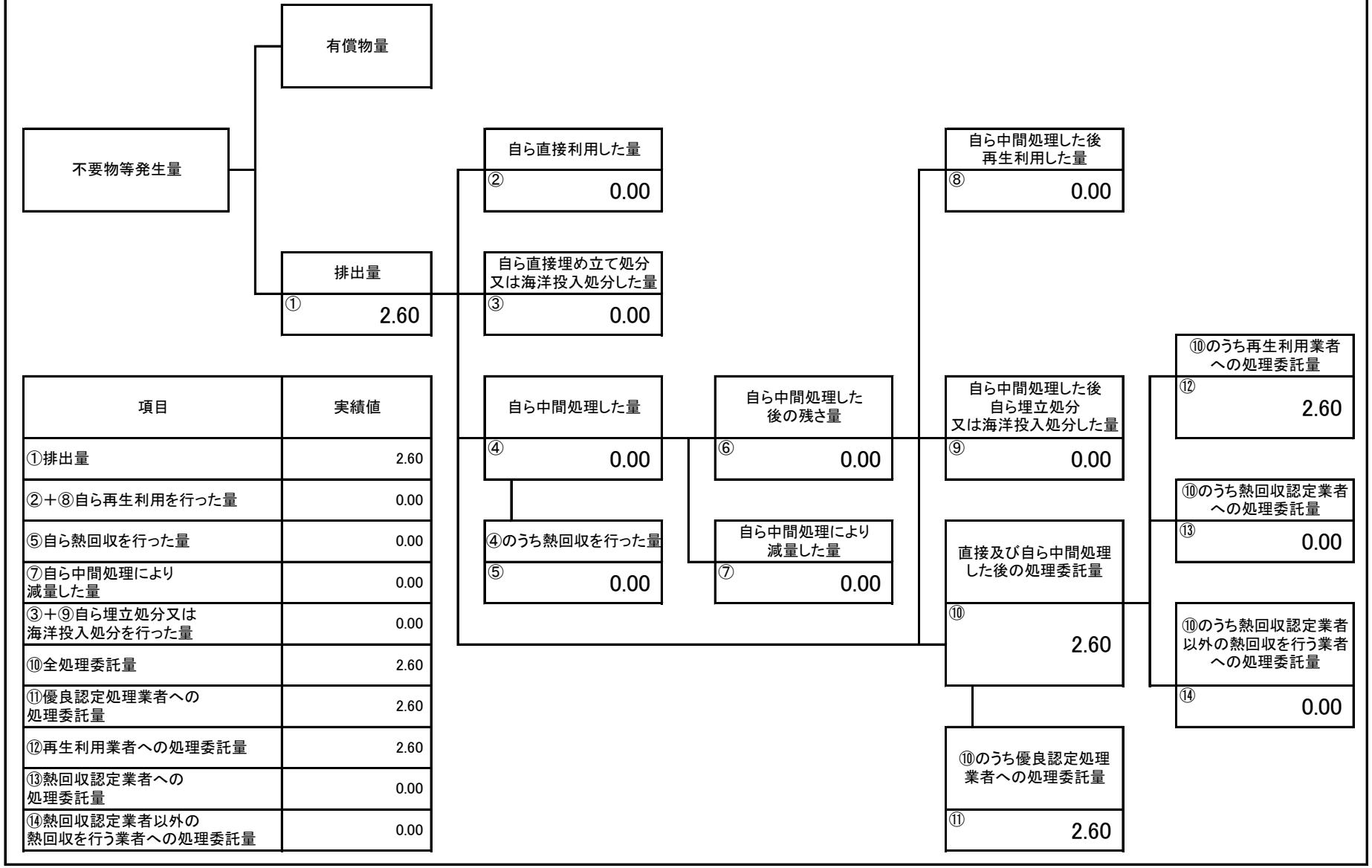


項目	実績値
①排出量	310.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	310.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	292.30
⑫再生利用業者への処理委託量	303.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

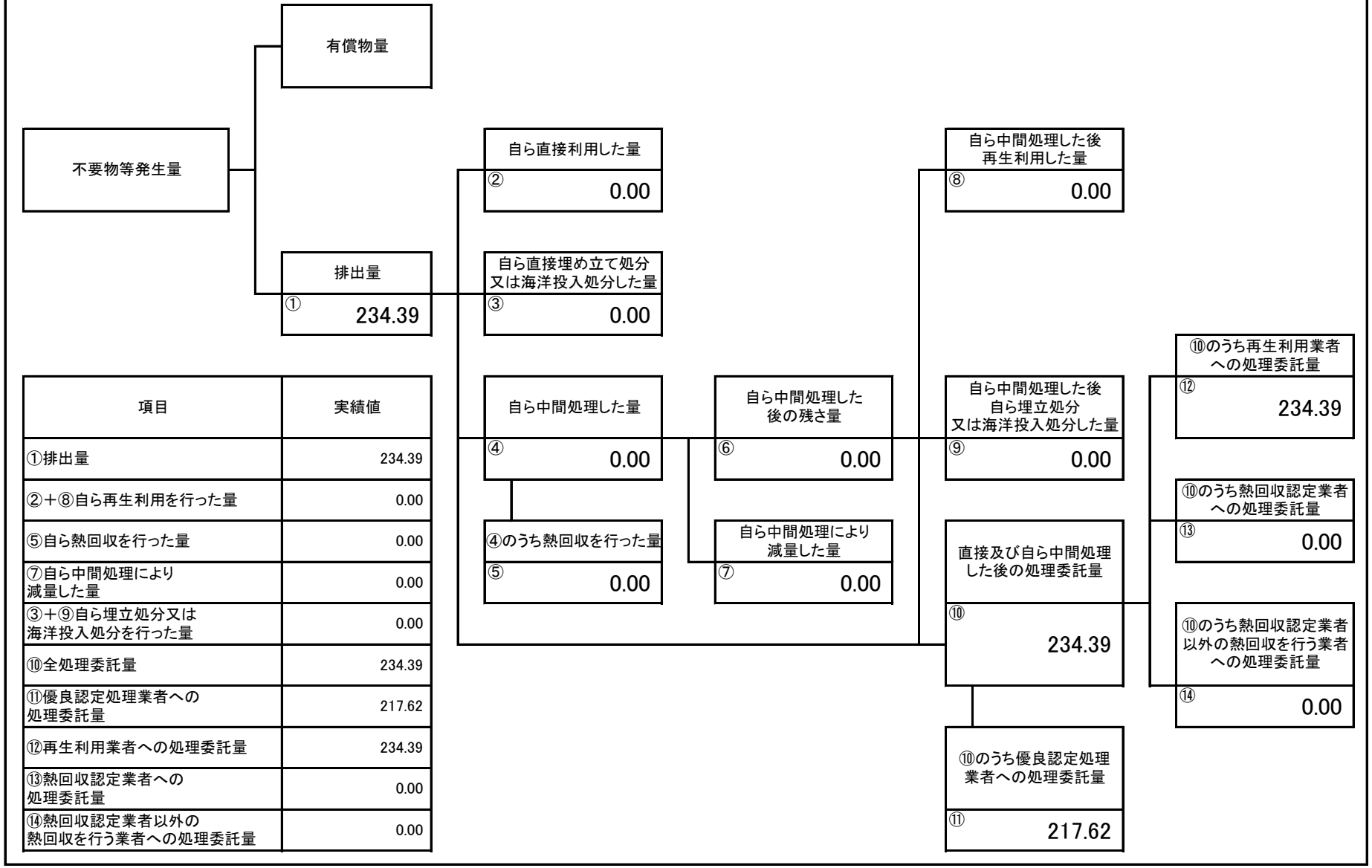


項目	実績値
①排出量	2.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.60
⑫再生利用業者への処理委託量	2.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

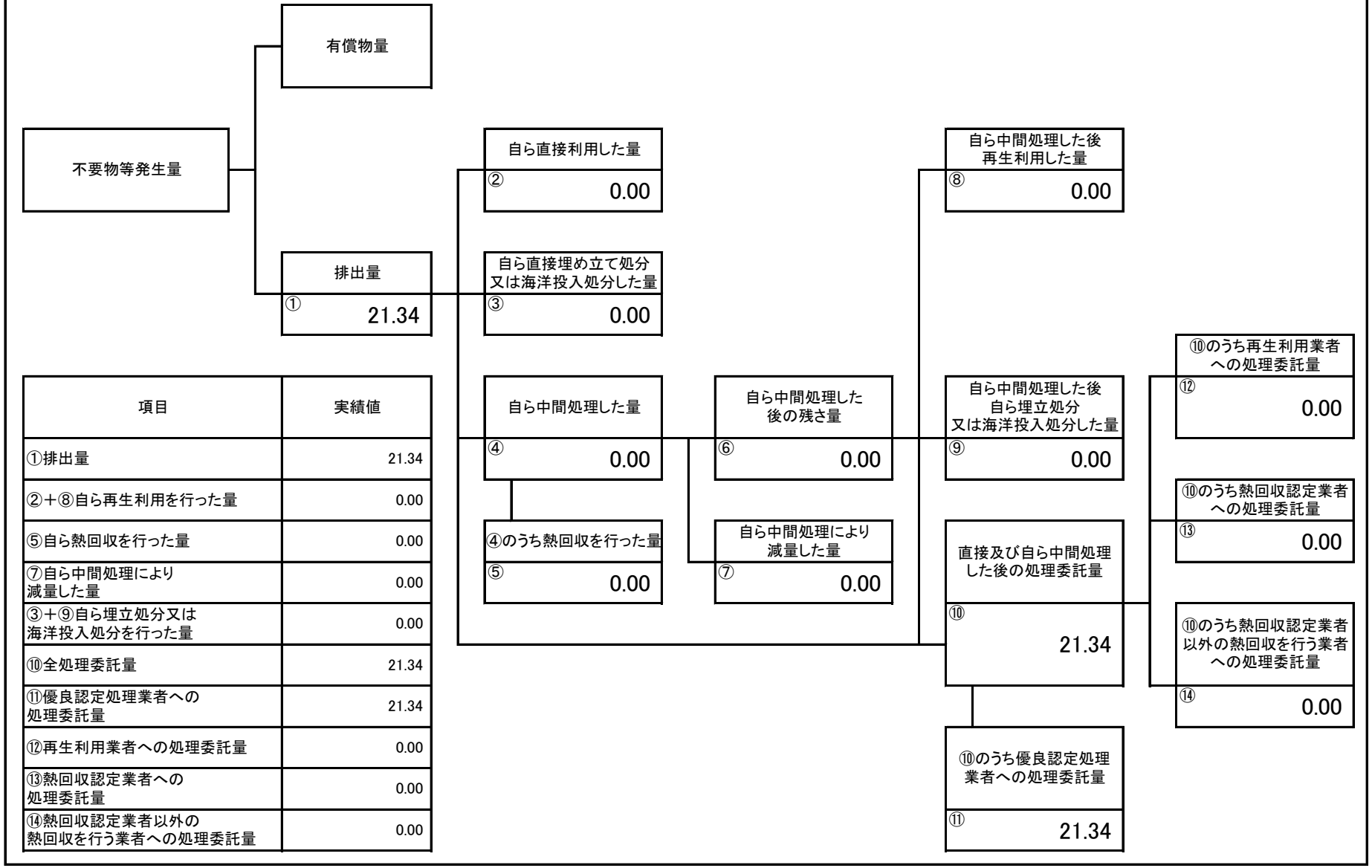


項目	実績値
①排出量	234.39
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	234.39
⑪優良認定処理業者への処理委託量	217.62
⑫再生利用業者への処理委託量	234.39
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）

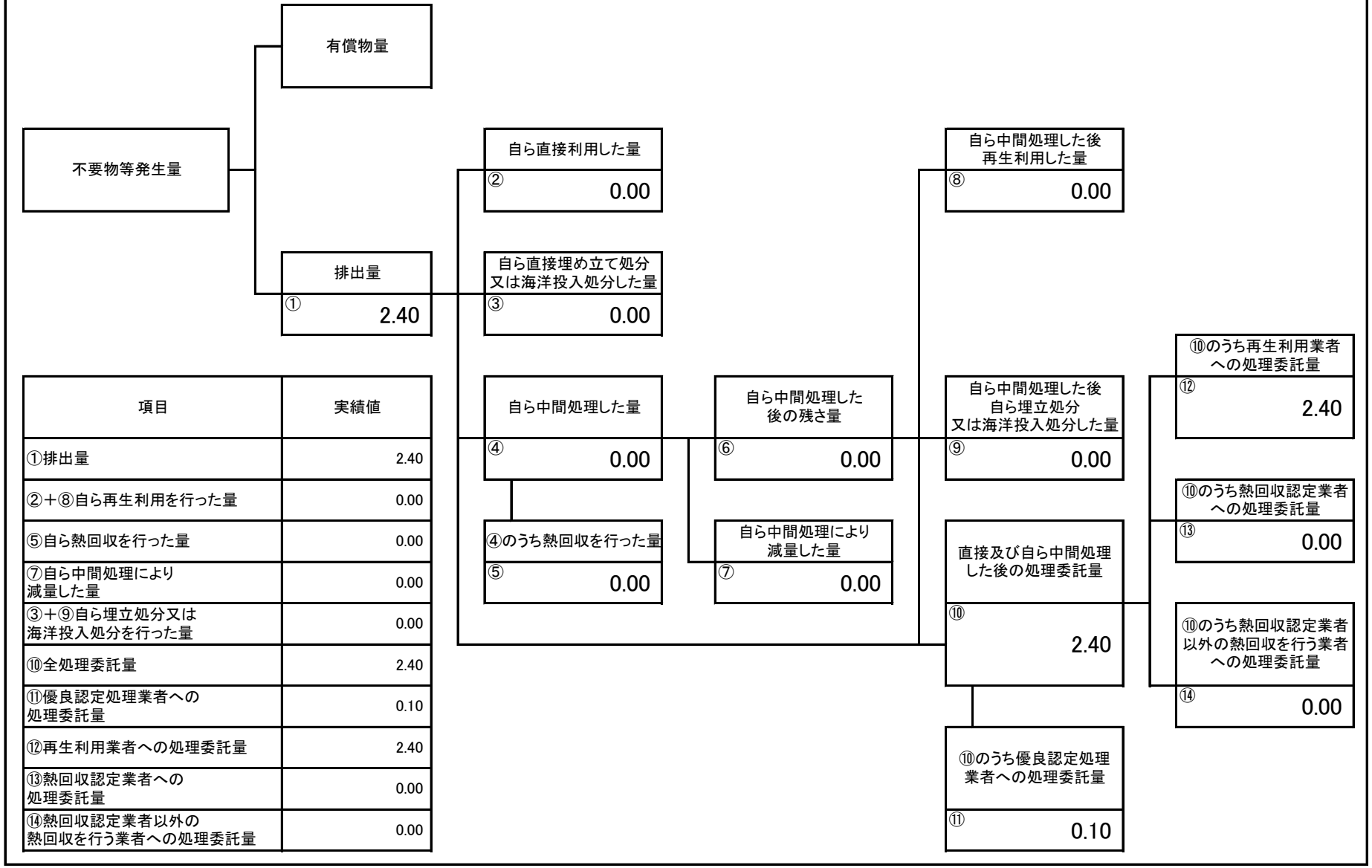


項目	実績値
①排出量	21.34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	21.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.34
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類水銀使用製品　　）

（単位：トン）

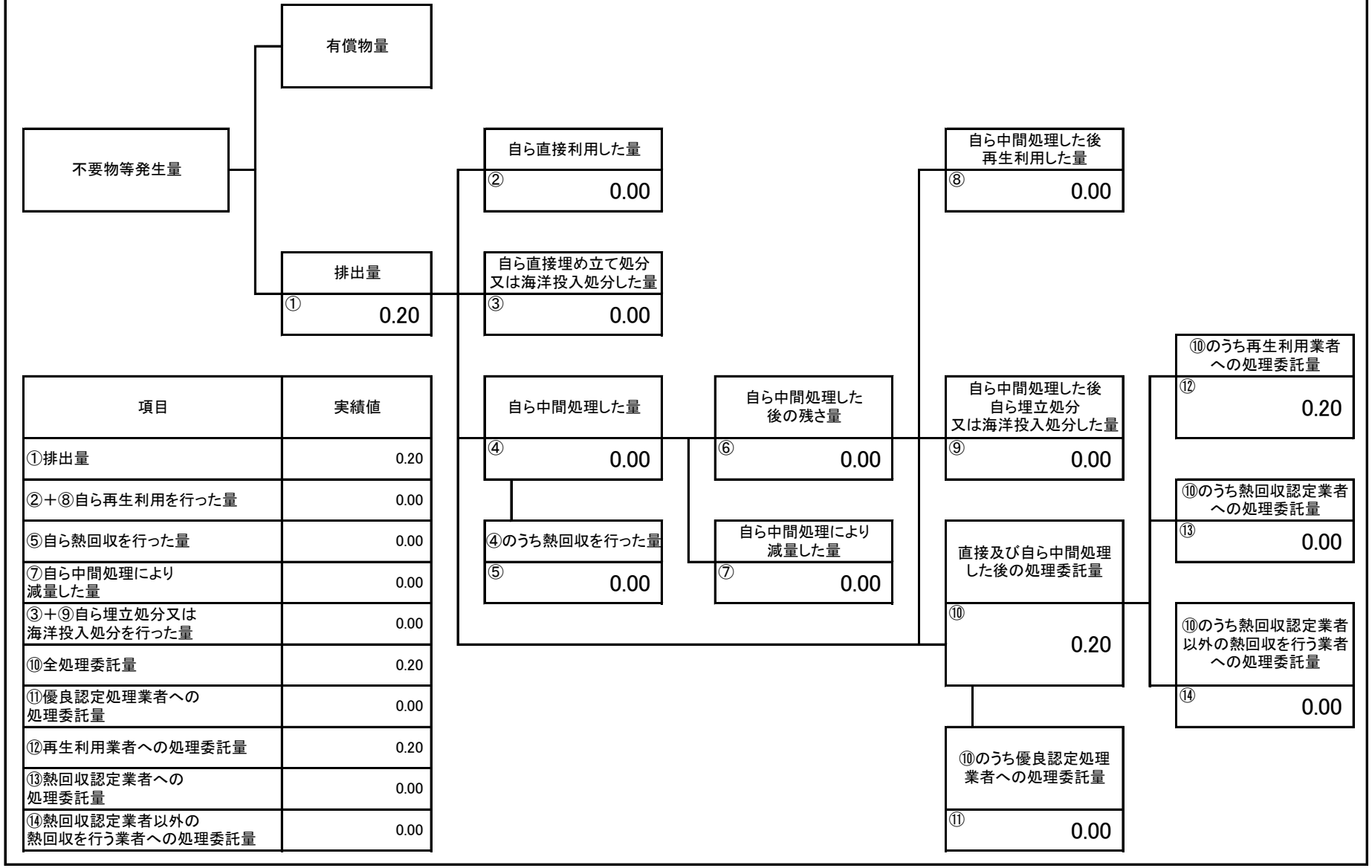


項目	実績値
①排出量	2.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.10
⑫再生利用業者への処理委託量	2.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃電池類　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 5月 9日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒286-0221

住　所　千葉県富里市七栄40番地1

氏　名　株式会社 一福土木

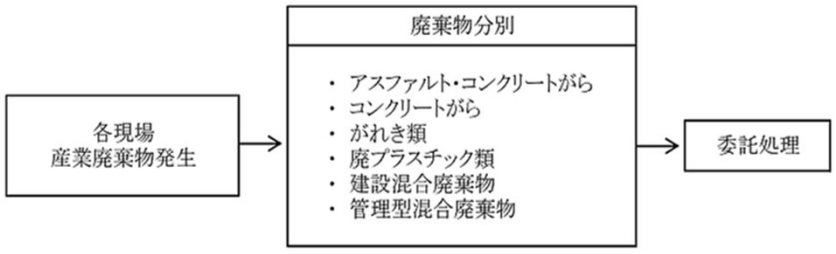
代表取締役　福田　宏

電話番号　0476-93-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社一福土木
事業場の所在地	千葉県富里市七栄40番地1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

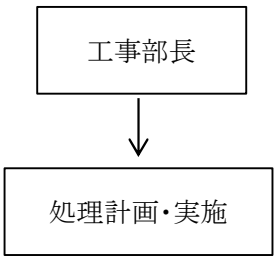
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　664,396千円
③　従業員数	14人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 設計図書等に基づき、各現場毎に産業廃棄物処理計画を行い、 分別をしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状維持。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、がれき類等、各現場で 発生した廃棄物が混在しないよう、分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿		
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 各現場で分別した廃棄物を委託契約書に基づき、適切に処理している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 現状維持。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		排　出　量	359 t	51.8 t	624.3 t	25 t	5.5 t	11.5 t	t	t
	②計画	産業廃棄物処理計画書								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		排　出　量	350 t	50 t	610 t	20 t	5 t	10 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	全処理委託量	359 t	51.8 t	624.3 t	25 t	5.5 t	11.5 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	359 t	51.8 t	624.3 t	25 t	5.5 t	11.5 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	全処理委託量	350 t	50 t	610 t	20 t	5 t	10 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	350 t	50 t	610 t	20 t	5 t	10 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月 9日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒286-0221
住 所　千葉県富里市七栄七栄40-1
氏 名　株式会社 一福土木
代表取締役　福田 宏
電話番号　0476-93-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 一福土木
事業場の所在地	千葉県富里市七栄40番地1
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

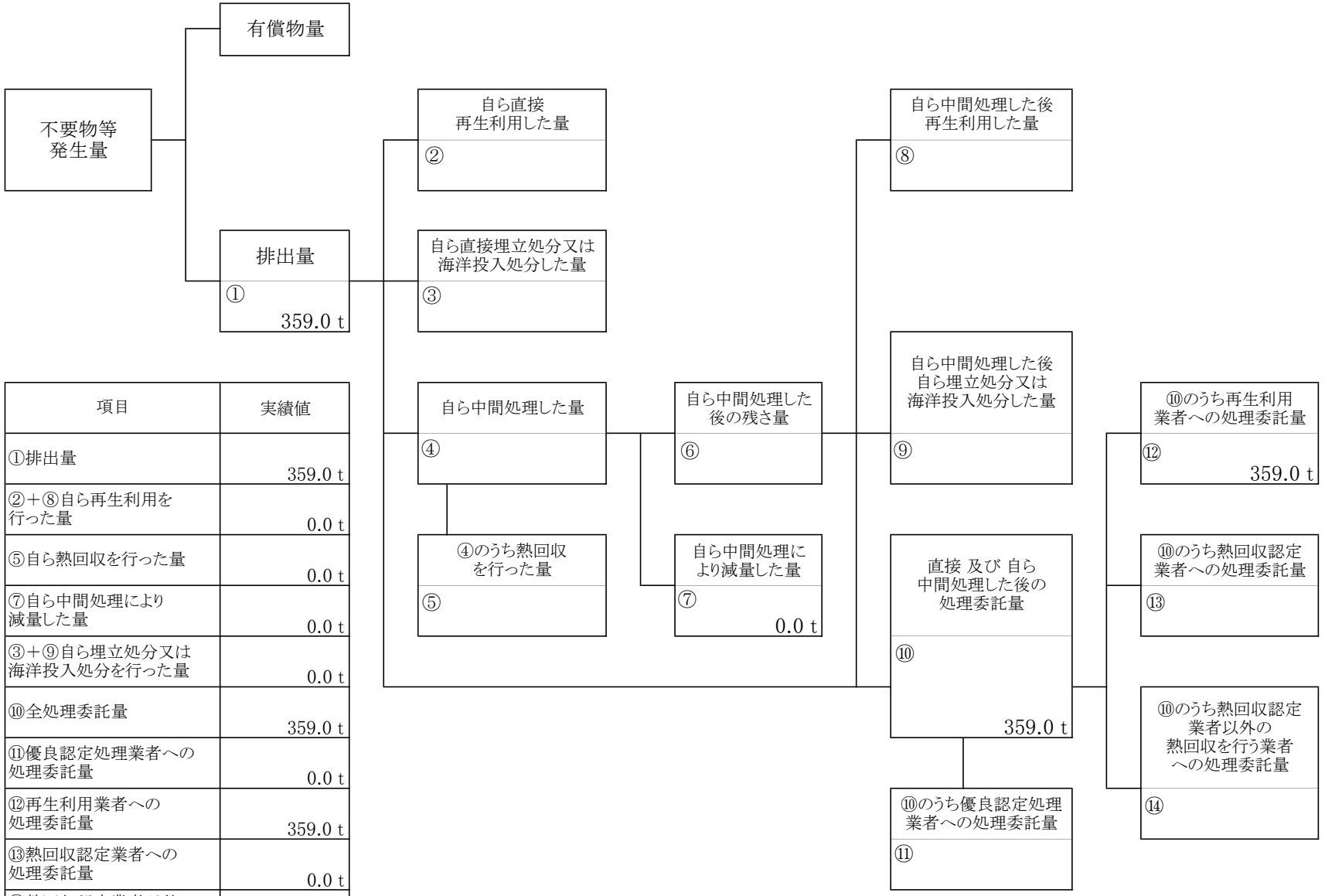
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4610.0 t	全処理委託量	4610.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	4610.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**アスファルト・コンクリートがら**　）

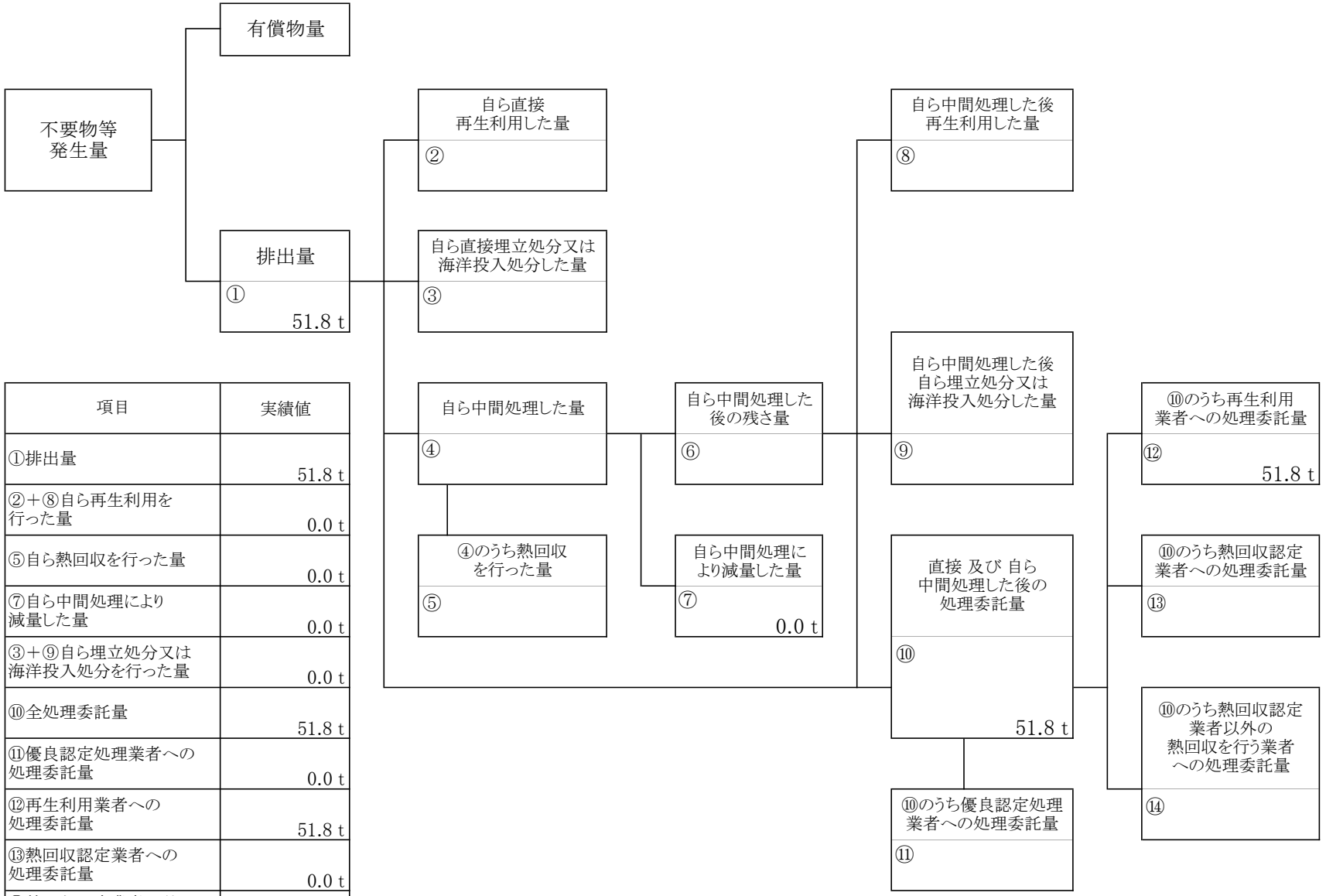


項目	実績値
①排出量	359.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	359.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	359.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　）

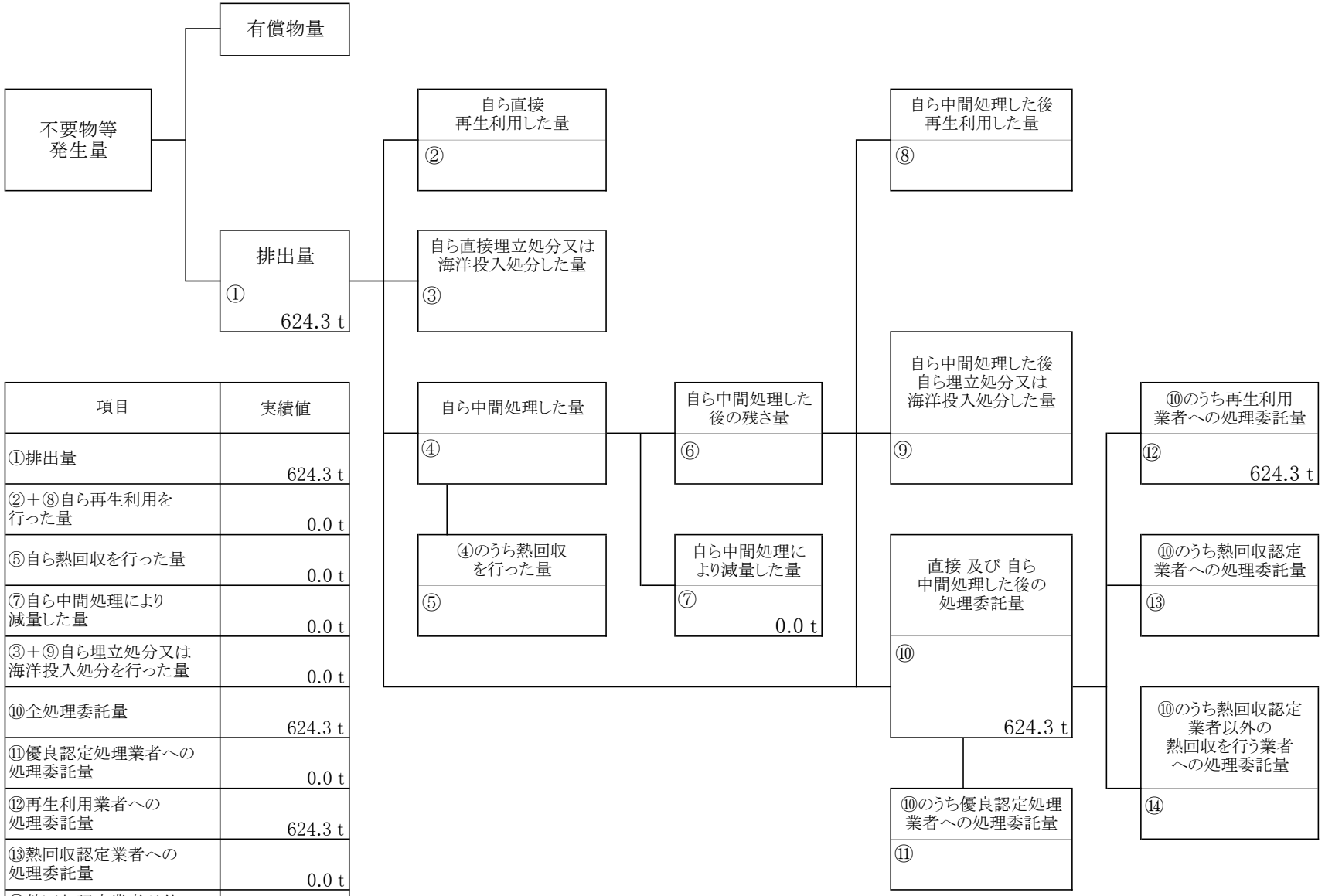


項目	実績値
①排出量	51.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	51.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

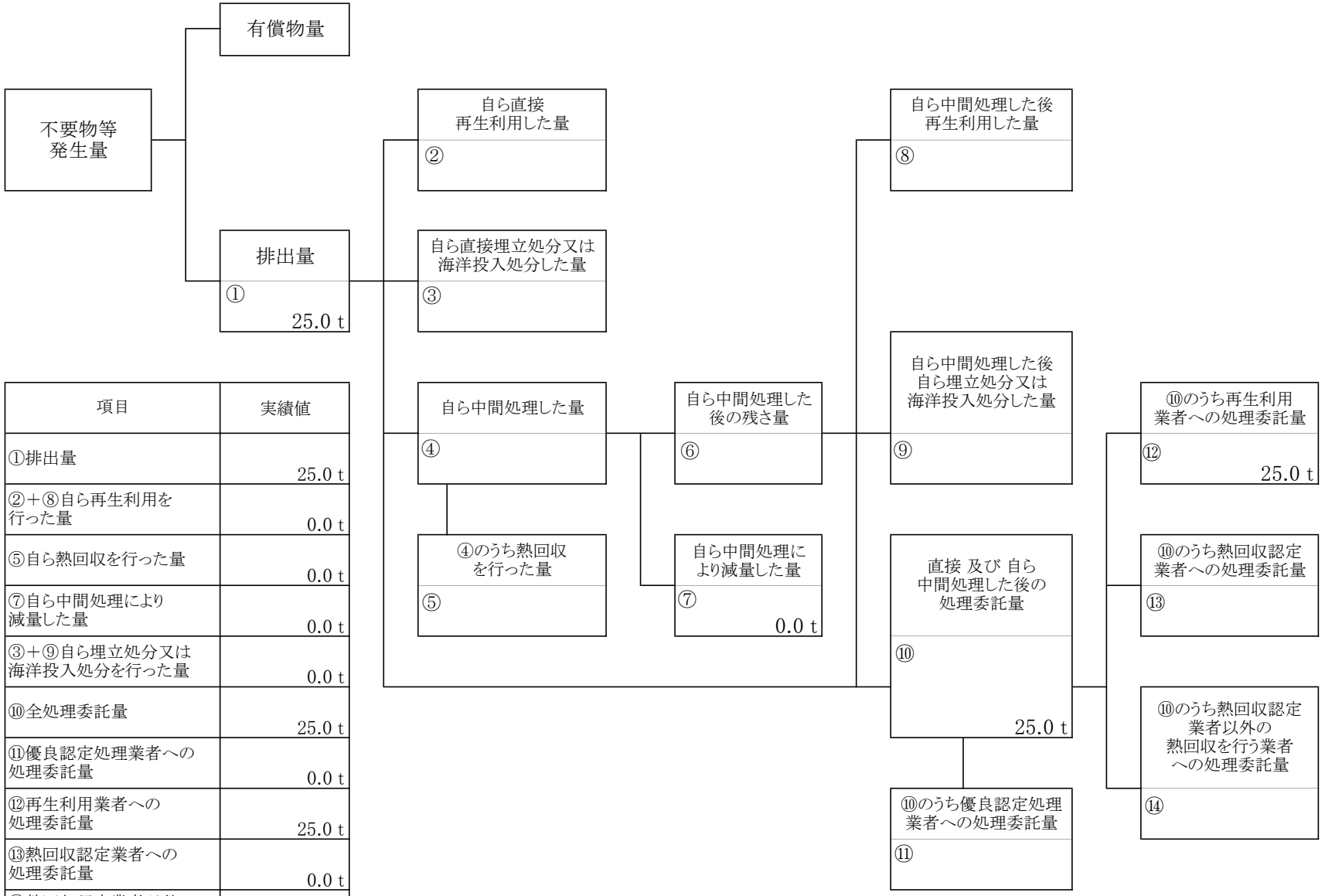


項目	実績値
①排出量	624.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	624.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	624.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

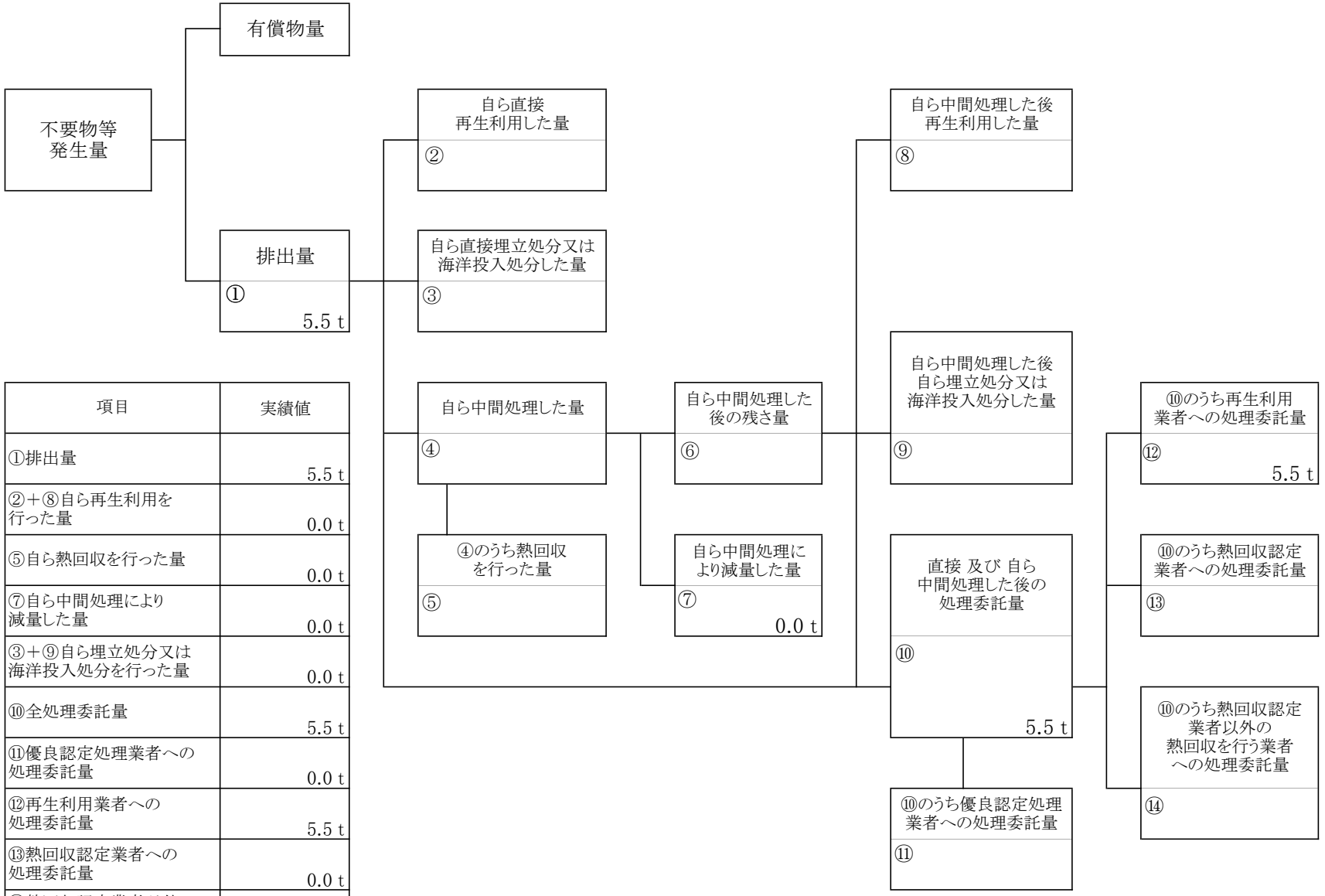


項目	実績値
①排出量	25.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

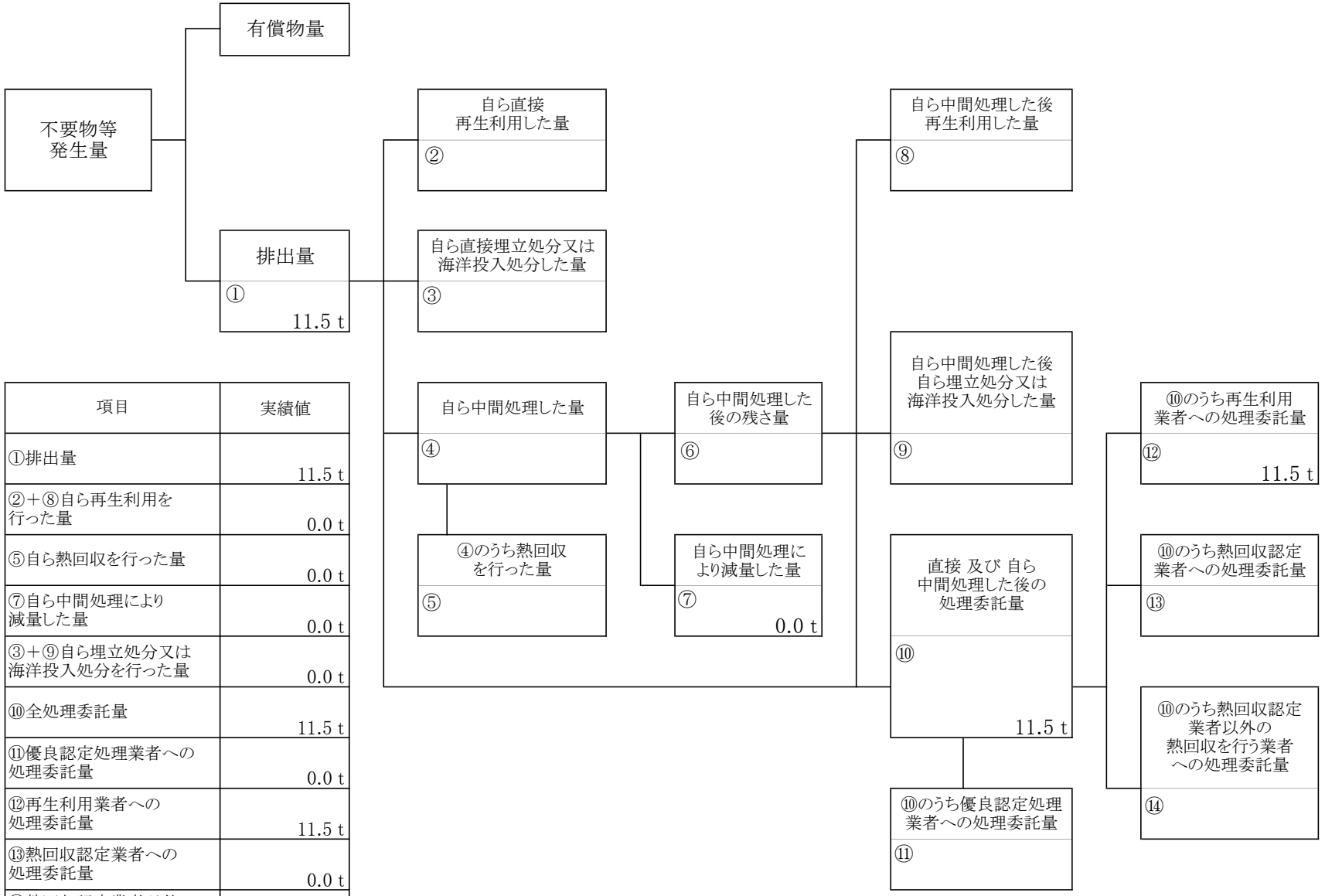


項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**管理型混合廃棄物**　）



項目	実績値
①排出量	11.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年4月11日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　261-7134

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬ワールドビジネスガーデン34F

法人名　出光エンジニアリング株式会社

代表者　山元 淳史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　[redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：出光エンジニアリング株式会社プロジェクト部土建課
事業場の所在地	〒261-7134 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBG34F （現場：市原市）
計画期間	令和7年4月1日　から　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高4億
③従業員数	405人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
解体工事元請（当社）→現場代理人→委託運搬業者→委託処分業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
排出量	9723.4 t	75.3 t

（これまでに実施した取組）
その他は別紙（第２面,大４面補足）に記載

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
排出量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙（第２面,第４面補足）の通り、解体工事にて発生する各種産業廃棄物は可能な限り分別に努めた。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず
全処理委託量		9724.4 t	75.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	9724.4 t	75.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

その他は別紙（第２面,第４面補足）に記載

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>ガラス・陶磁器くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
その他は別紙（第２面,第４面補足）に記載</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

添付　　第２面,第４面補足（産業廃棄物3種類以上のため）

本紙にも記載

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	排出量(t)	委託量(t)	
		優良認定	再生利用
コンクリートがら	9723.4	0	9723.4
ガラス・陶磁器くず	75.3	0	75.3
廃プラスチック類	29.4	0	29.4
金属くず	2.26	0	2.26
混合（安定型のみ）	47.45	47.45	0
紙くず	0.3	0	0.3
木くず	72.6	0	72.6
混合（管理型含む）	37.18	37.18	0
蛍光灯	0.305	0	0.305
廃油	0.111	0	0.111
解体系混合廃棄物	2.6	0	2.6
小計	－	84.63	9906.276
合計	9990.906	9990.906	

（これまでに実施した取組）

上記の通り、極力分別、再利用を実施した。

【目標】

産業廃棄物の種類	排出量(t)	委託量(t)	
		優良認定	再生利用
コンクリートがら	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	0
金属くず	0	0	0
混合（安定型のみ）	0	0	0
紙くず	0	0	0
木くず	0	0	0
混合（管理型含む）	0	0	0
蛍光灯	0	0	0
廃油	0	0	0
解体系混合廃棄物	0	0	0
小計	－	0	0
合計	0	0	

（今後実施する予定の取組）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月16日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒288-0837
住 所　千葉県銚子市長塚町4-1157
氏 名　株式会社今井組
代表取締役 今井 泰雄
電話番号　0479-23-6588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社今井組
事業場の所在地	千葉県銚子市長塚町4-1157
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

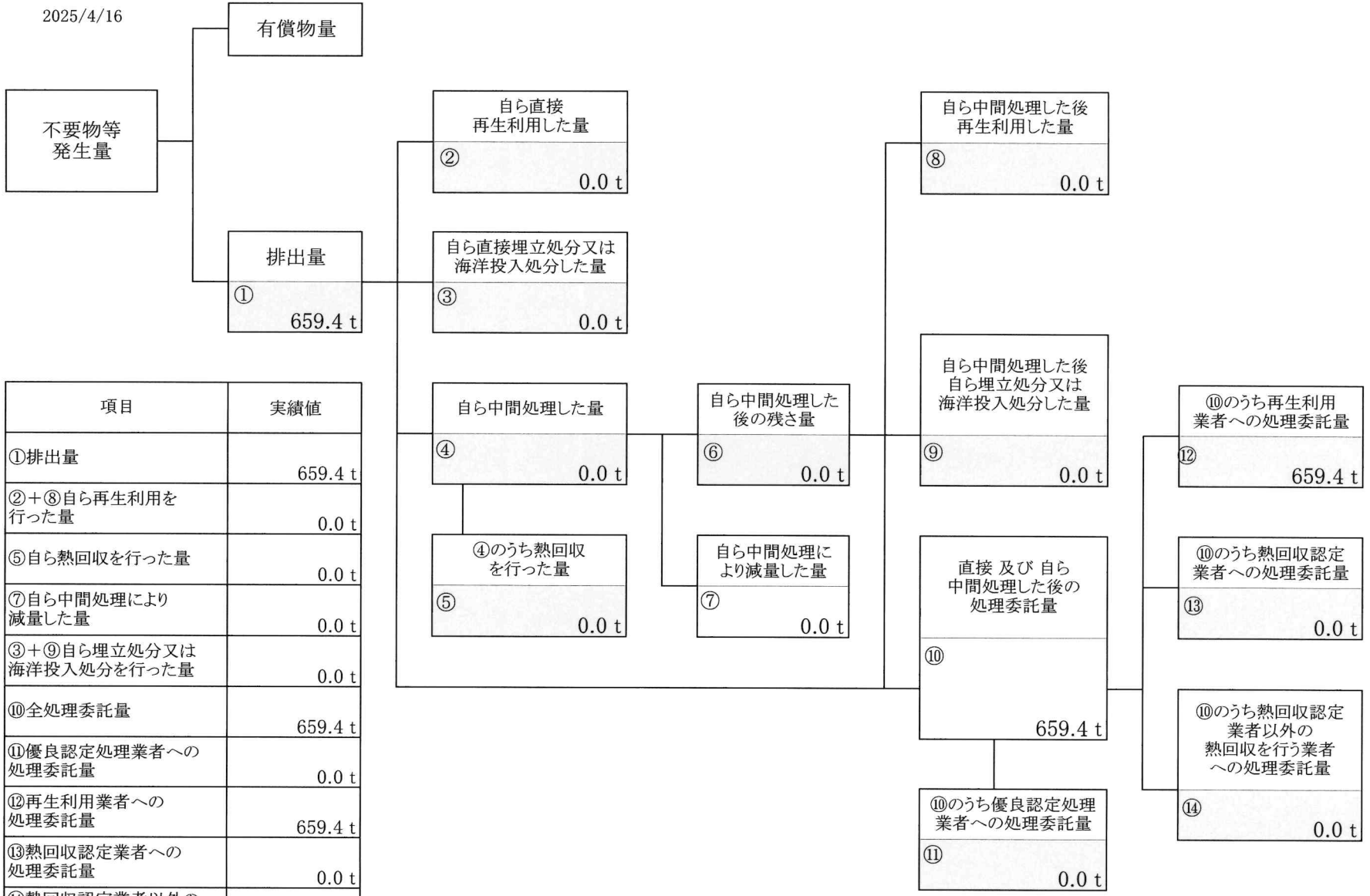
項目	目標値	項目	目標値
排出量	936.9 t	全処理委託量	936.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	936.9 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルトコンクリートガラ　）

2025/4/16



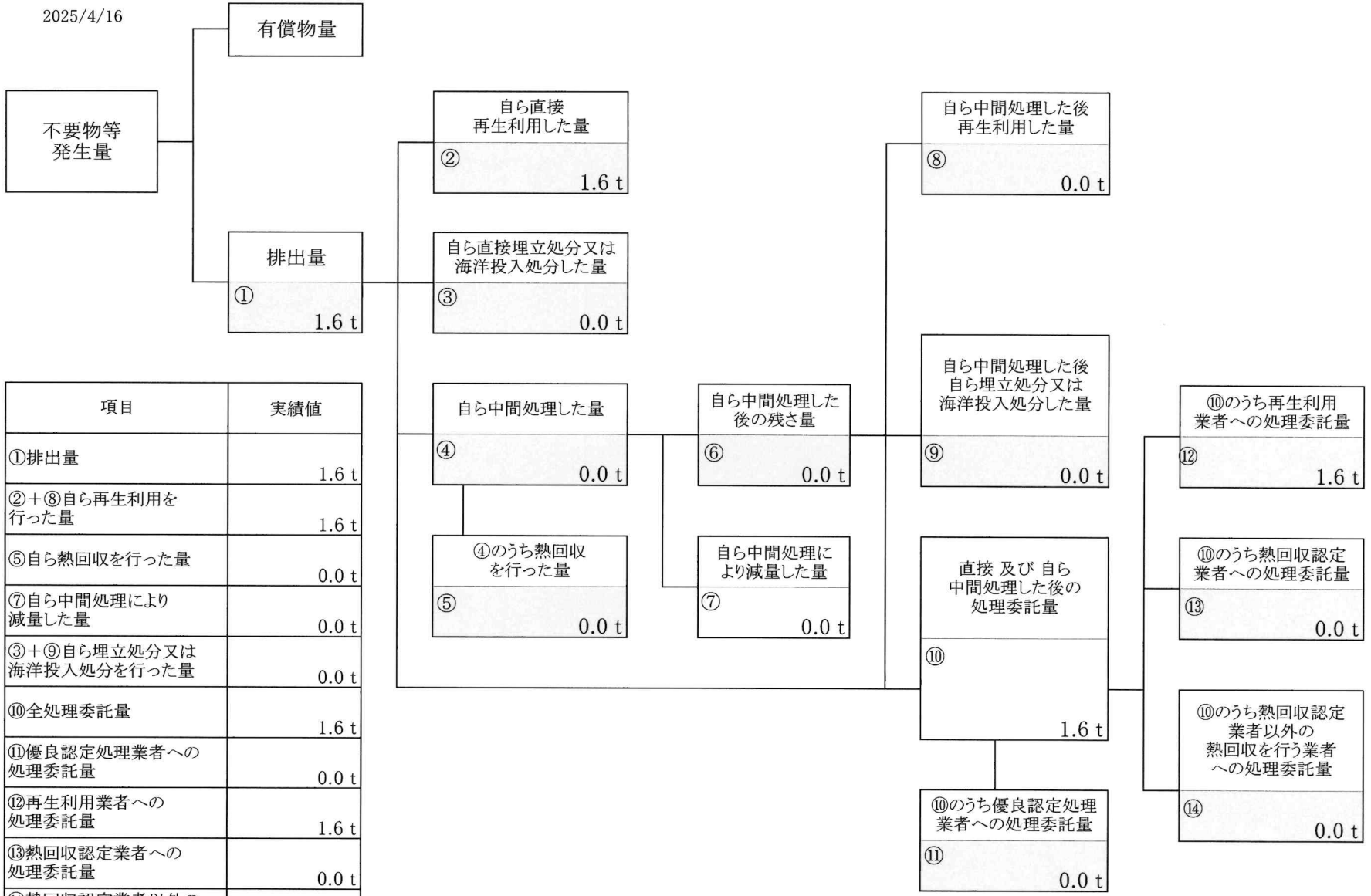
項目	実績値
①排出量	659.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	659.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	659.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**管理型混合廃棄物**　）

2025/4/16



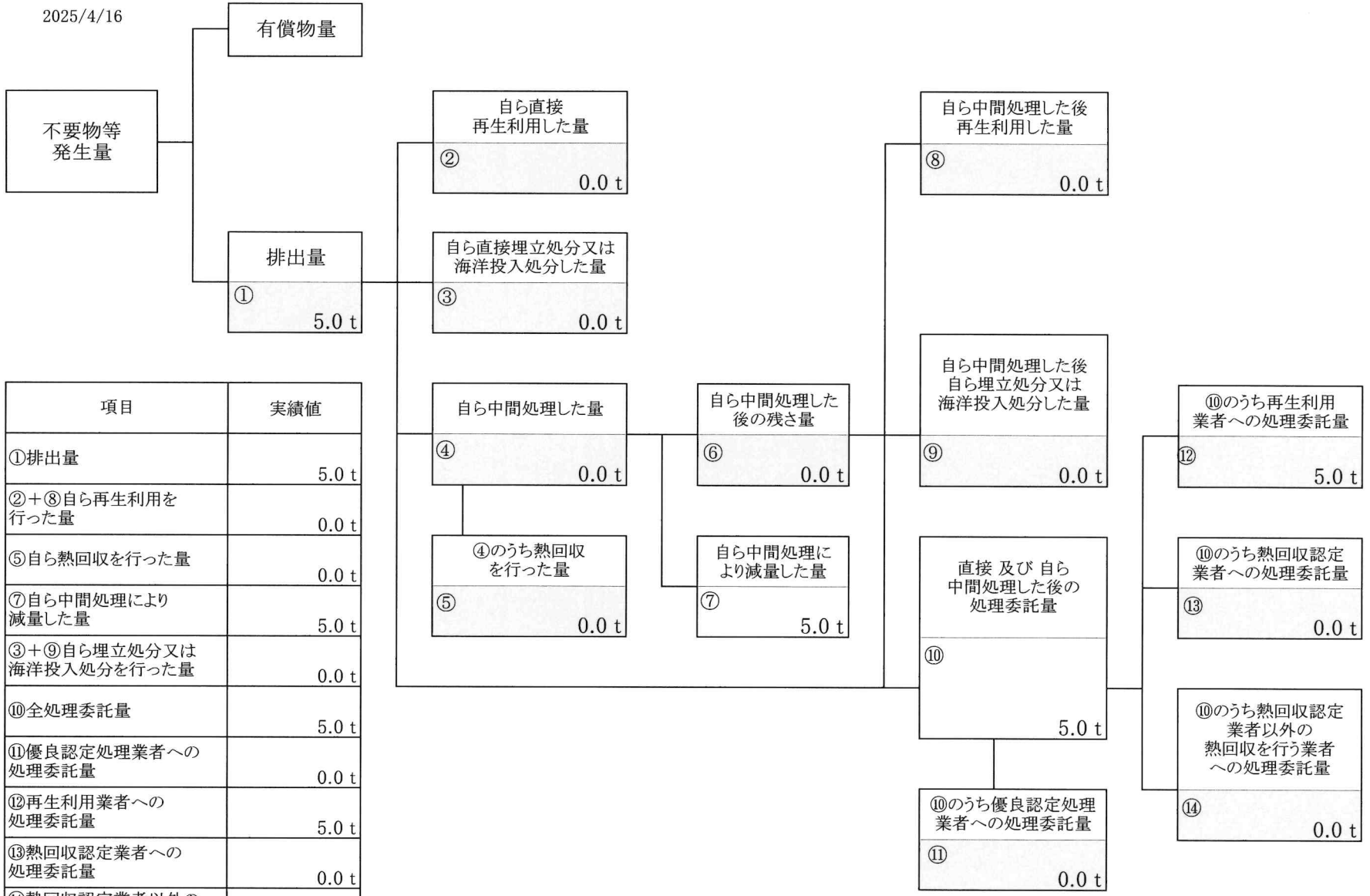
項目	実績値
①排出量	1.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

2025/4/16



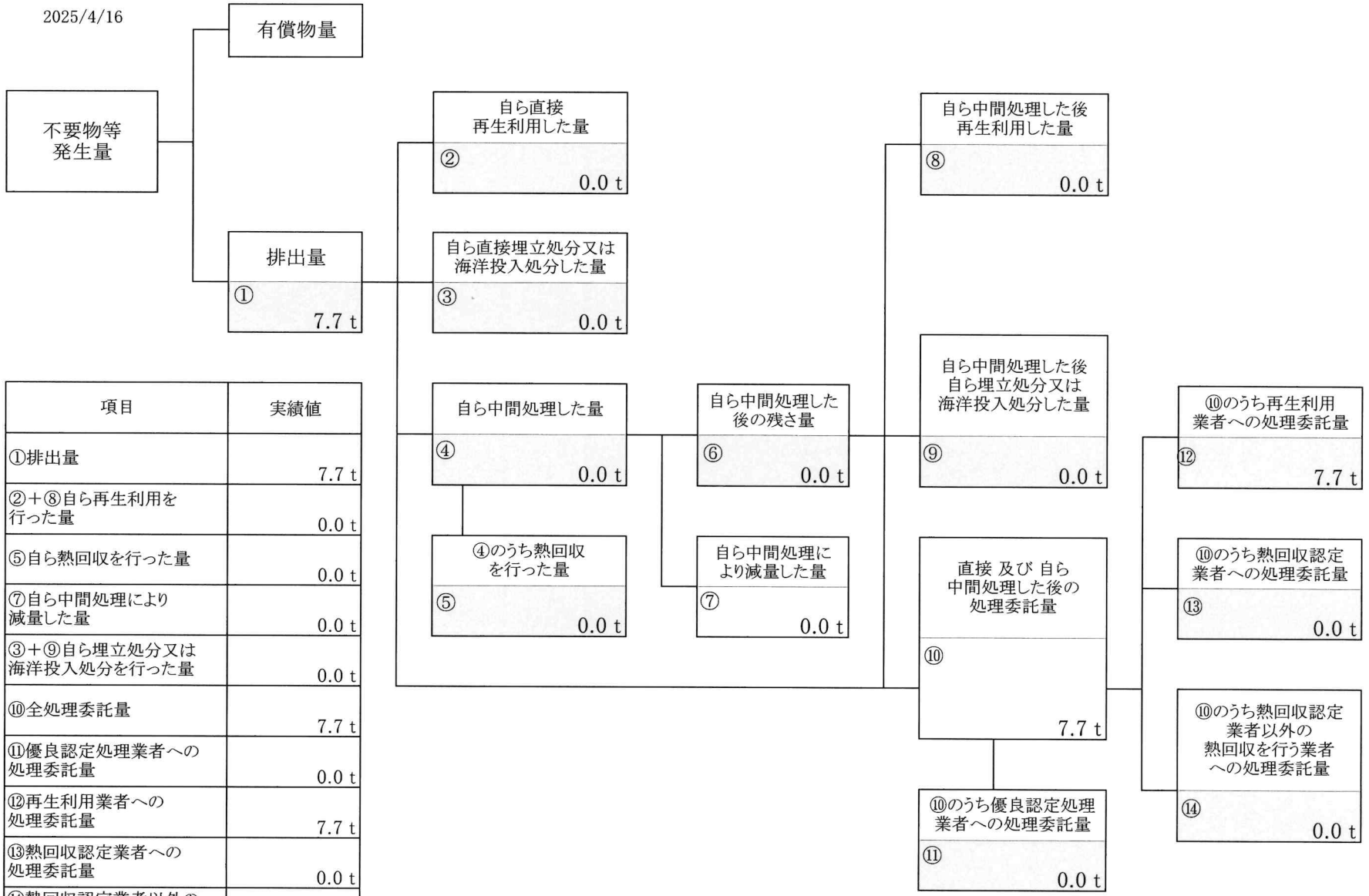
項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	5.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

2025/4/16



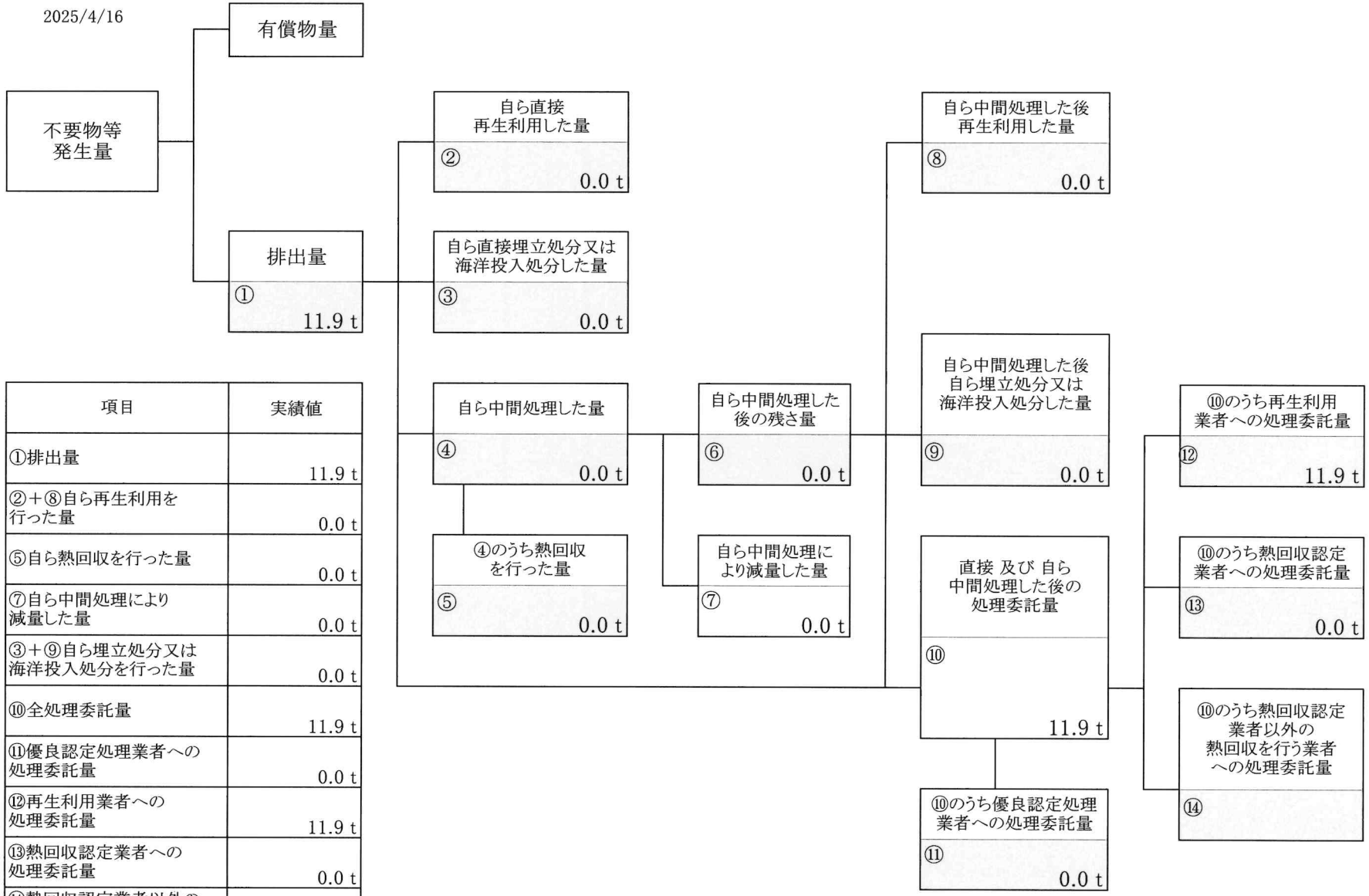
項目	実績値
①排出量	7.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

2025/4/16



項目	実績値
①排出量	11.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒101-0047

住　所　東京都千代田区内神田2丁目3番3号
千代田トレードセンタービル

氏　名　岩倉建設（株）東京支社
支社長　森田正彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3252-1976

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岩倉建設株式会社東京支社（管轄内事業所）
事業場の所在地	東京都千代田区内神田2丁目3番3号千代田トレードセンタービル (現場；習志野市)
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	エリア内元請完成工事高　280百万円
③従業員数	東京支社10人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃棄物の発生　⇒　委託中間処理　⇒　再資源化・最終処分 ・建設汚泥　⇒　脱水・固化　⇒　再資源化 ・廃プラスチック類　⇒　分別破砕圧縮　⇒　再資源化・埋立 ・がれき類　⇒　分別・破砕　⇒　再資源化・埋立 ・ガラス・陶磁器　⇒　分別・破砕　⇒　再資源化・埋立 ・木くず・繊維くず　⇒　破砕　⇒　再資源化 ・石膏ボード　⇒　分別・破砕　⇒　再資源化 ・混合（管理型含む）⇒　分別・破砕　⇒　再資源化・埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

岩倉建設㈱東京支社（責任者；支社長） ⇒ 土木部（責任者；土木部長） ⇒ 工事事務所（責任者；工事事務所所長）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	3種類	
排出量	2418 t	t

（これまでに実施した取組）

1. 余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底している。
2. 可能な限り廃棄物の種別前に専用カゴを設置して分別廃棄に取り組んでいる。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	3種類	
排出量	1155 t	t

（今後実施する予定の取組）

1. 余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底している。
2. 可能な限り廃棄物の種別前に専用カゴを設置して分別廃棄に取り組んでいる。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

2. 可能な限り廃棄物の種別前に専用カゴを設置して分別廃棄に取り組んでいる。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

2. 可能な限り廃棄物の種別前に専用カゴを設置して分別廃棄に取り組んでいる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	3種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	3種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	3種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	3種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	3種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	3種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	3種類	
全処理委託量	2418 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	2 t	t
再生利用業者への処理委託量	2417 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

1. 委託業者の処分方法を確認し、可能な限り再生事業者及び優良認定者と契約している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	3種類	
		全処理委託量_	1155 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	55 t	t
		再生利用業者への処理委託量	1155 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 1. 委託業者の処分方法を確認し、可能な限り再生事業者及び優良認定者と契約する。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	排　出　量	0 t	166 t	0 t	2244 t	0 t	0 t	8 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	排　出　量	0 t	150 t	0 t	1000 t	0 t	0 t	5 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
①現状	全処理委託量	0 t	166 t	0 t	2244 t	0 t	0 t	8 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	0 t	2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	166 t	0 t	2244 t	0 t	0 t	7 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器類	がれき類	繊維くず	廃石膏ボード	その他の分類された廃棄物	廃石綿等
②計画	全処理委託量	0 t	150 t	0 t	1000 t	0 t	0 t	5 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	50 t	0 t	0 t	t	0 t	5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	150 t	0 t	1000 t	0 t	0 t	5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6 月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒101-0047
住 所　東京都千代田区内神田2丁目3番3号
千代田トレードセンタービル
氏 名　岩倉建設(株)東京支社
支社長 森田正彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3252-1976

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	岩倉建設株式会社東京支社(管内事業所)
事業場の所在地	東京都千代田区内神田2丁目3番3号千代田トレードセンタービル (現場;習志野市)
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

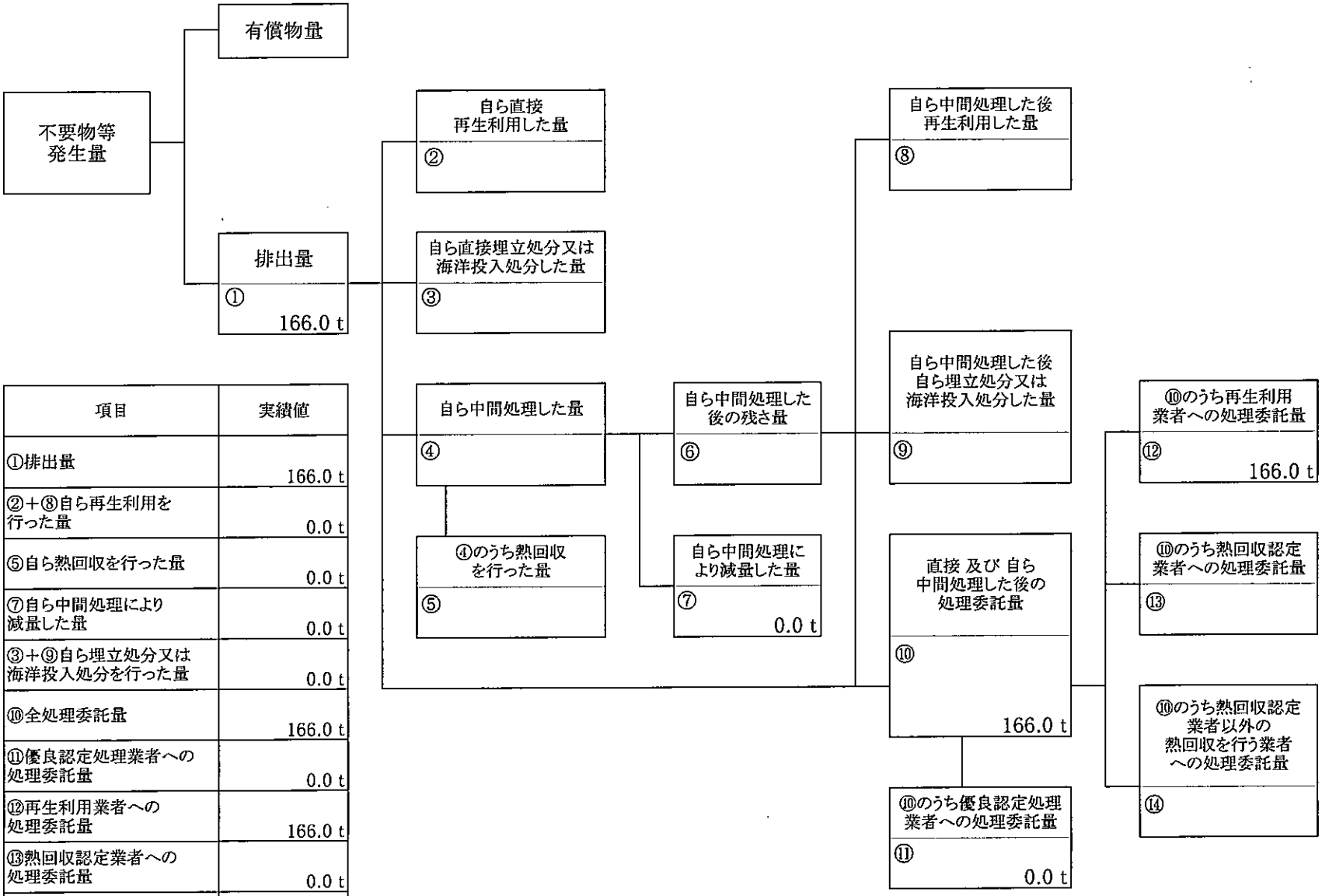
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8975.0 t	全処理委託量	8975.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	207.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	8975.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

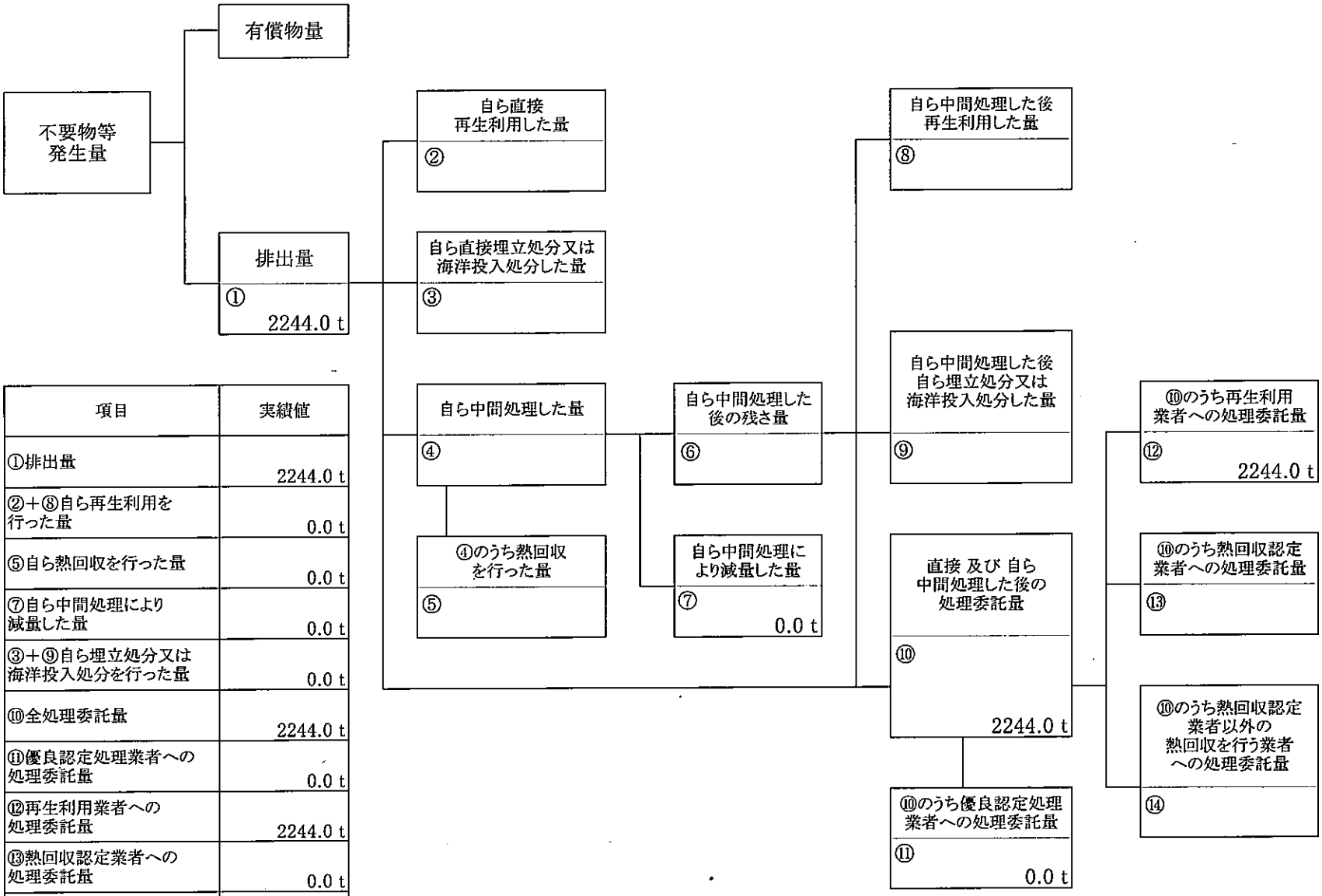


項目	実績値
①排出量	166.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	166.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	166.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　がれき類　）

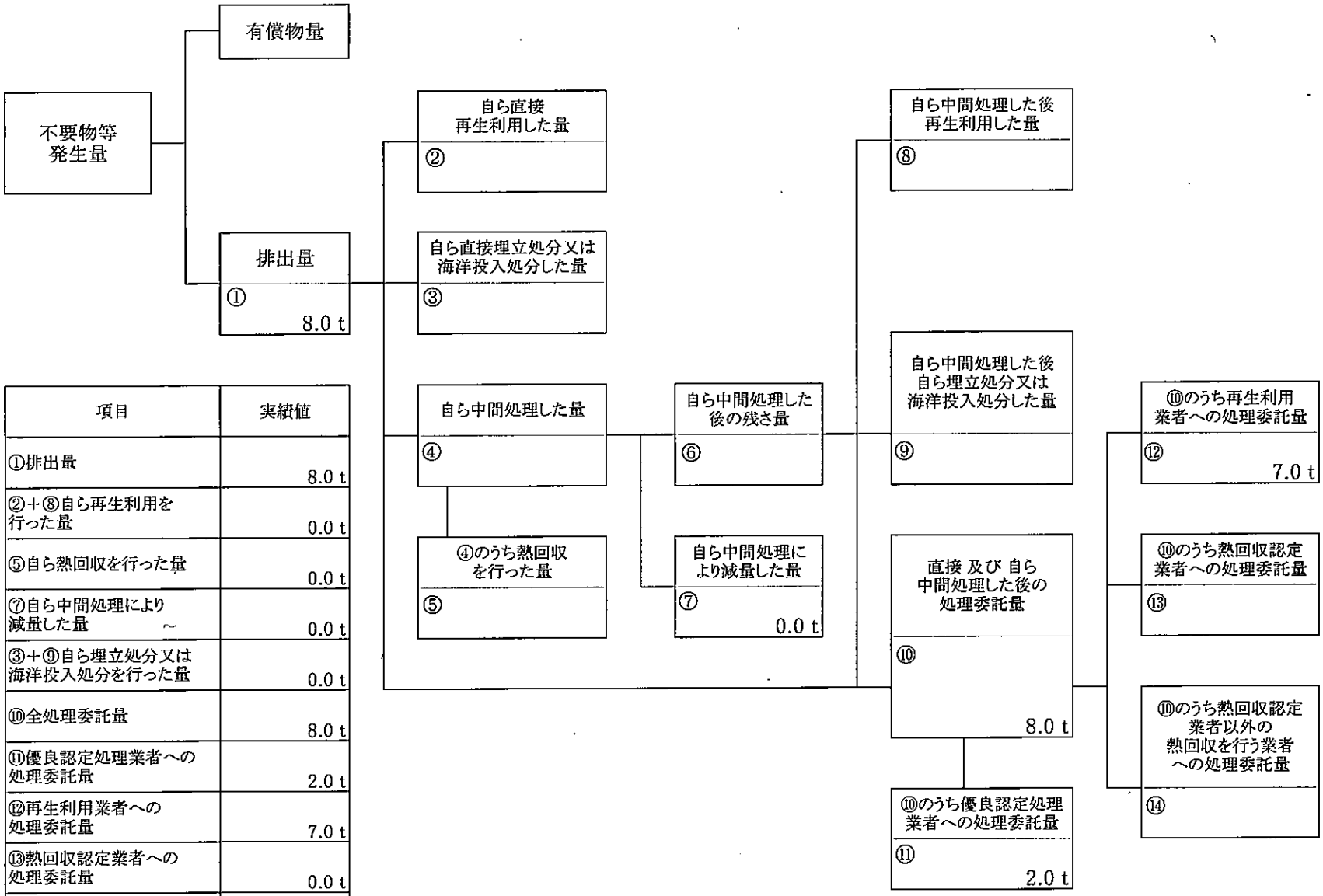


項目	実績値
①排出量	2244.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2244.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2244.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　その他の分類された廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	8.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量　～	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月16日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　102-8566

住所 紀尾井町パークビル 2F

法人名 岩田地崎建設株式会社

代表者 長谷川 健瑠

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6261-1583

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	廃棄物が無い為記載なし
事業場の所在地	廃棄物が無い為記載なし
事業の種類	大分類　廃棄物が無い為記載なし　中分類
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0 t	全処理委託量	0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

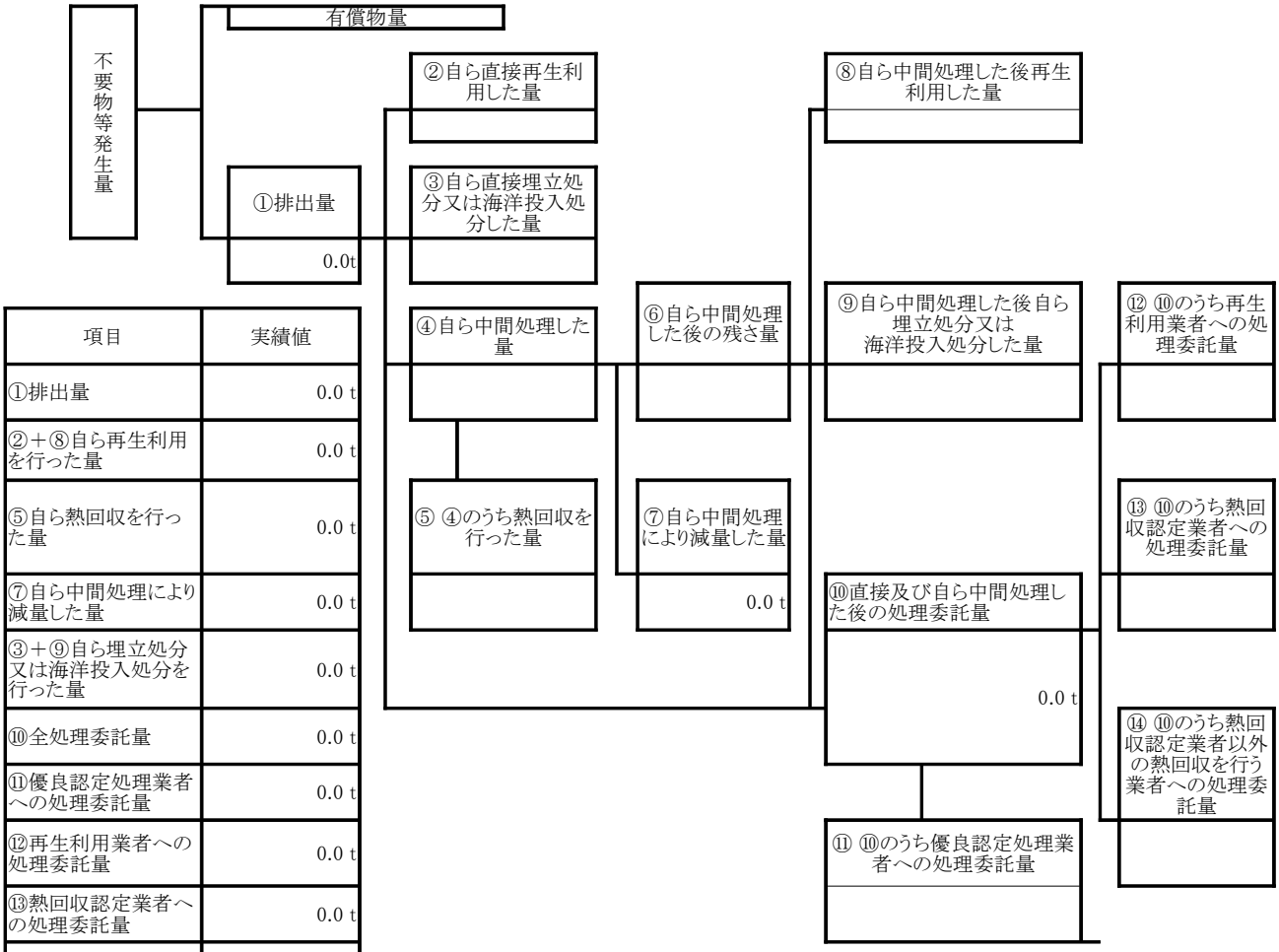
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月6日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　285-0808

住　所　千葉県佐倉市太田２０４２－１８

法人名　インバ建設株式会社

代表者　和田 修一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-486-1984

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	インバ建設株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市太田2042番地18
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度請負金額　1,041,832千円
③従業員数	17人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

・経営責任者（代表取締役）
・管理組織責任者・処理計画総括責任者（代表取締役）
・処理計画作成者（現場代理人他業務担当者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
排出量	2073.4 t	t

（これまでに実施した取組）

添付ファイル：産業廃棄物の排出の抑制に関する事項のとおり

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
排出量	1865.8 t	t

（今後実施する予定の取組）

添付ファイル：産業廃棄物の排出の抑制に関する事項のとおり

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

COガラ、ASガラ、がれき類、ガラス・陶磁器、廃プラ、金属くず、紙くず、木くず、汚泥、石綿、繊維くず等、施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしている。
建設混合廃棄物については、労務費（人力）を使って分別に努める

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

COガラ、ASガラ、がれき類、ガラス・陶磁器、廃プラ、金属くず、紙くず、木くず、汚泥、石綿、繊維くず等施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしている。
建設混合廃棄物については、労務費（人力）を使って分別に努める

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイルの通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイルの通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイルの通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイルの通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
	全処理委託量	2073.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 添付ファイル：産業廃棄物の処理の委託に関する事項のとおり		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>添付ファイルの通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1865.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
添付ファイル：産業廃棄物の処理の委託に関する事項のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

番号	産業廃棄物の種類	①現状　【前年度　（令和6年度）実績】		②計画　【目標】	
		排出量(t)	これまでに実施した取組	排出量(t)	今後実施する予定の取組
1	廃プラ	14.2	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	12.7	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
2	紙くず	1.6	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	1.4	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
3	木くず	42.8	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	38.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
4	繊維くず	0.0	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。		
5	建設汚泥	63.9	施工方法を工夫し発生量を極力減らしていく。	57.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
6	金属くず	2.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	2.2	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
7	ガラス・陶磁器	27.4	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	24.6	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
8	がれき類	1,822.0	再生業者委託会社への100%搬出する	1,639.8	再生業者委託会社への100%搬出する
9	建設混合廃棄物	99.0	労務費（人力）を使って混合廃棄物の分別に努める。	89.1	労務費（人力）を使って混合廃棄物の分別に努める。
	計：	2,073.4		計：	1,865.8

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

番号	産業廃棄物の種類	①現状　【前年度　（令和6年度）実績】			②計画　【目標】		
		全処理委託量(t)	再生利用業者への処理委託量	これまでに実施した取組	全処理委託量(t)	再生利用業者への処理委託量	今後実施する予定の取組
1	廃プラ	14.2	14.2	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	12.7	12.7	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
2	紙くず	1.6	1.6	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	1.4	1.4	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
3	木くず	42.8	42.8	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	38.5	38.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
4	繊維くず	0.0	0.0	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。			
5	建設汚泥	63.9	63.9	施工方法を工夫し発生量を極力減らしていく。	57.5	57.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
6	金属くず	2.5	2.5	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	2.2	2.2	再生業者委託会社への100%搬出する
7	ガラス・陶磁器	27.4	27.4	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。	24.6	24.6	施工方法を工夫し混合廃棄物の発生量を極力減らしていく。
8	がれき類	1,822.0	1,822.0	再生業者委託会社への100%搬出する	1,639.8	1,639.8	再生業者委託会社への100%搬出する
9	建設混合廃棄物	99.0	99.0	労務費（人力）を使って混合廃棄物の分別に努める。	89.1	89.1	労務費（人力）を使って混合廃棄物の分別に努める。
	計：	2,073.4			計：	1,865.8	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月6日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　285-0808

住所　千葉県佐倉市太田2042－18

法人名 インバ建設株式会社

代表者 和田 修一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-486-1984

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	インバ建設株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市太田2042番地18
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

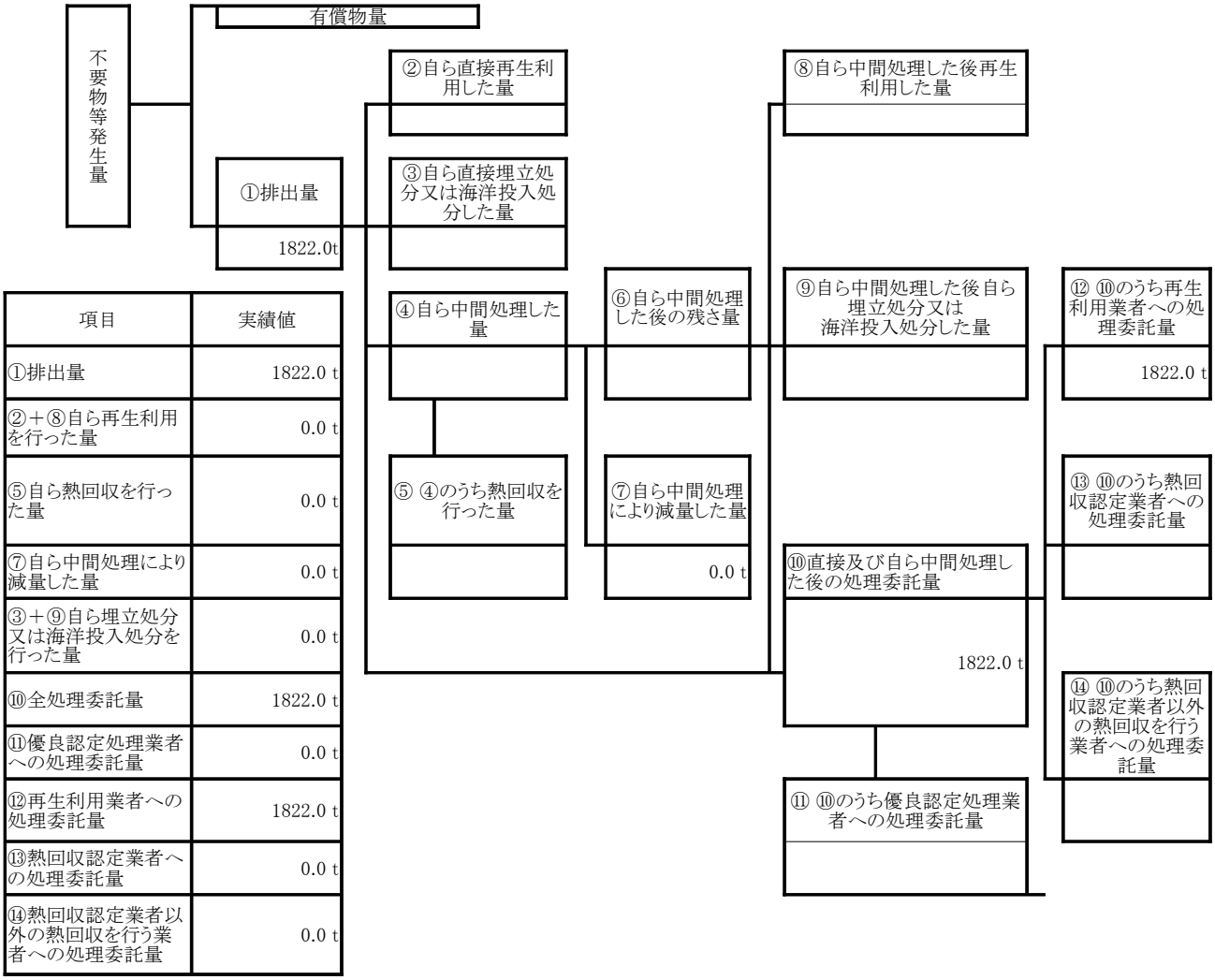
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3556 t	全処理委託量	3556 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3556 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（日本産業規格　A列4番）

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

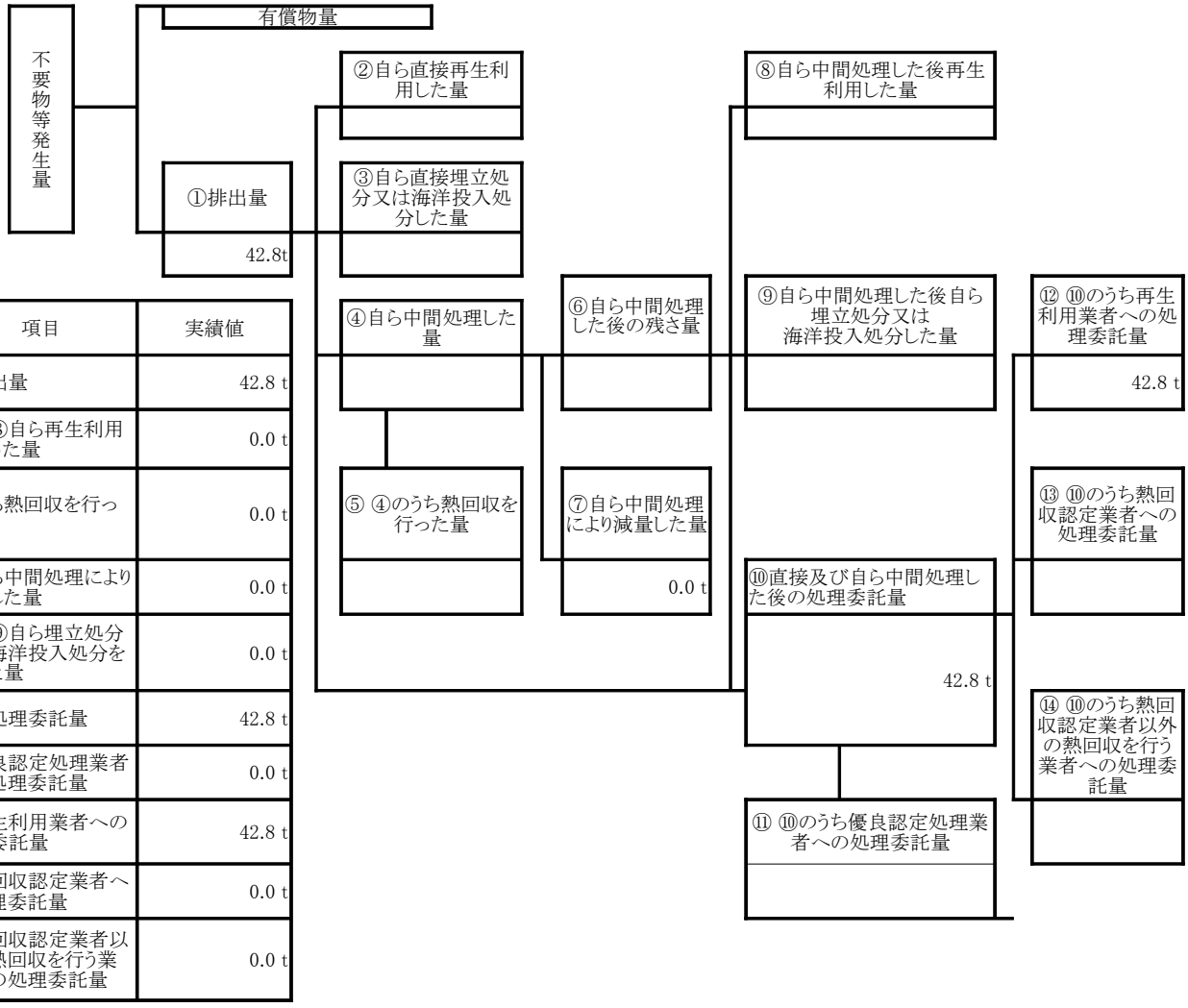


項目	実績値
①排出量	1822.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1822.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1822.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

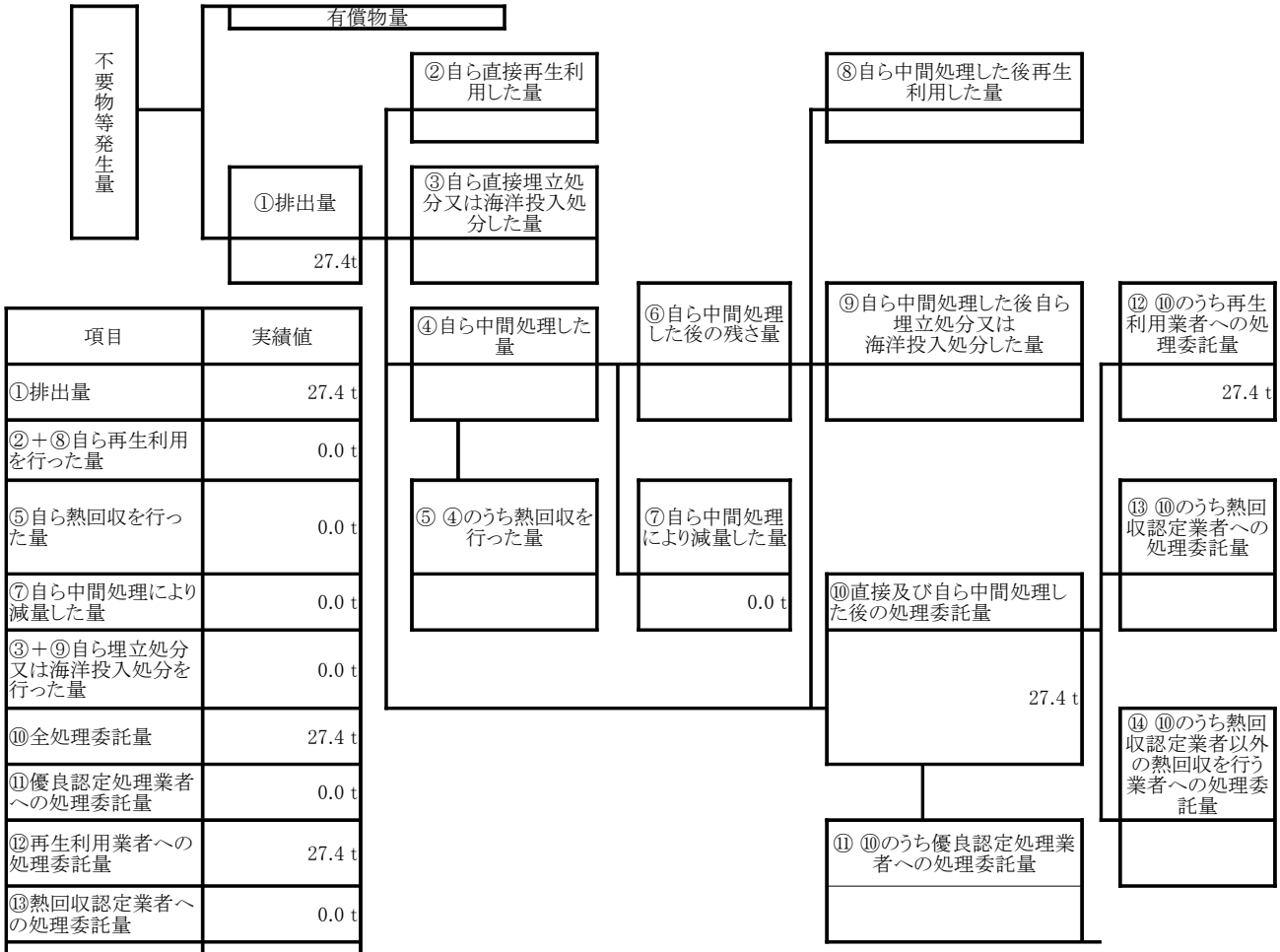


項目	実績値
①排出量	42.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	42.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	42.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

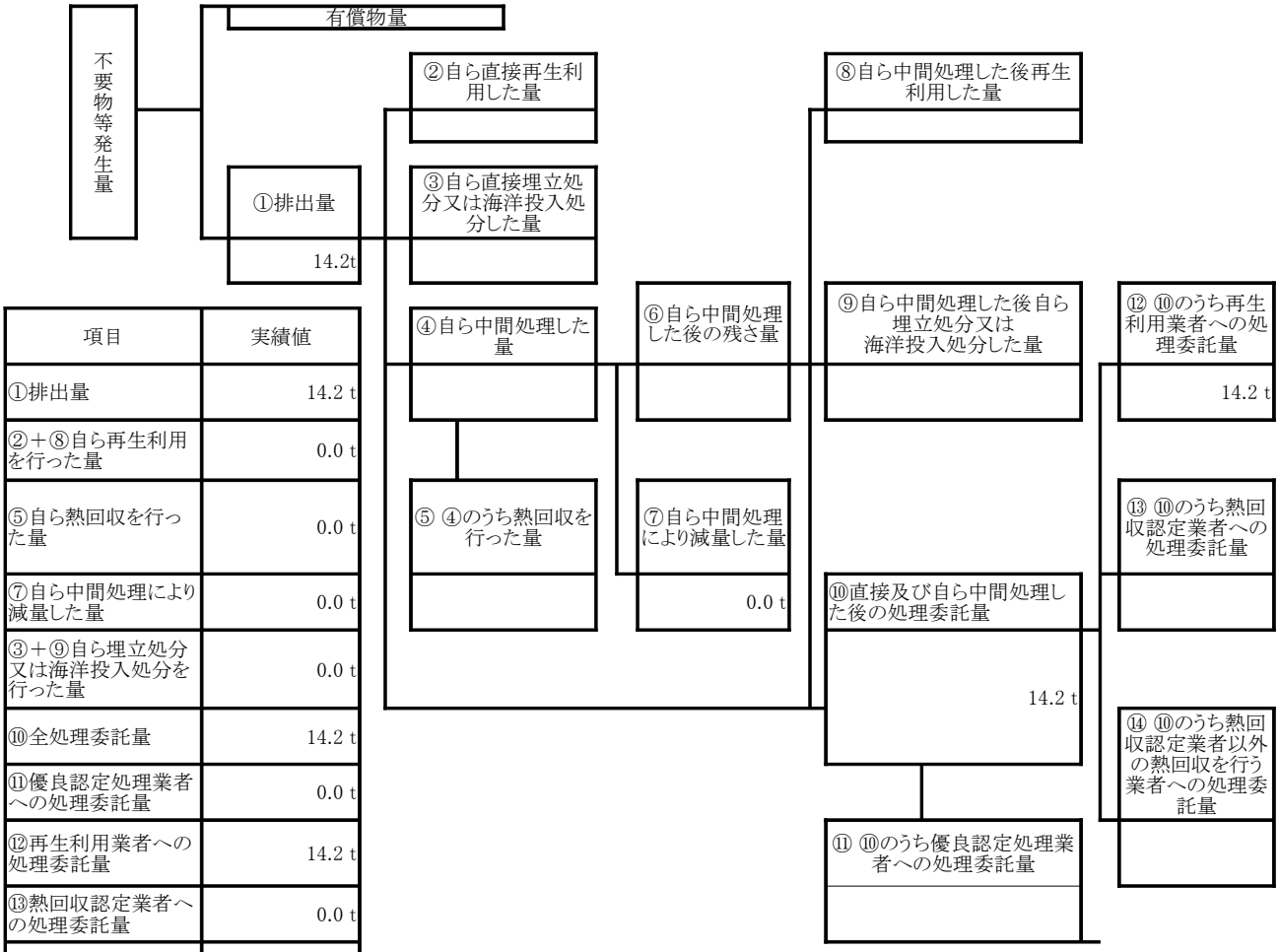


項目	実績値
①排出量	27.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



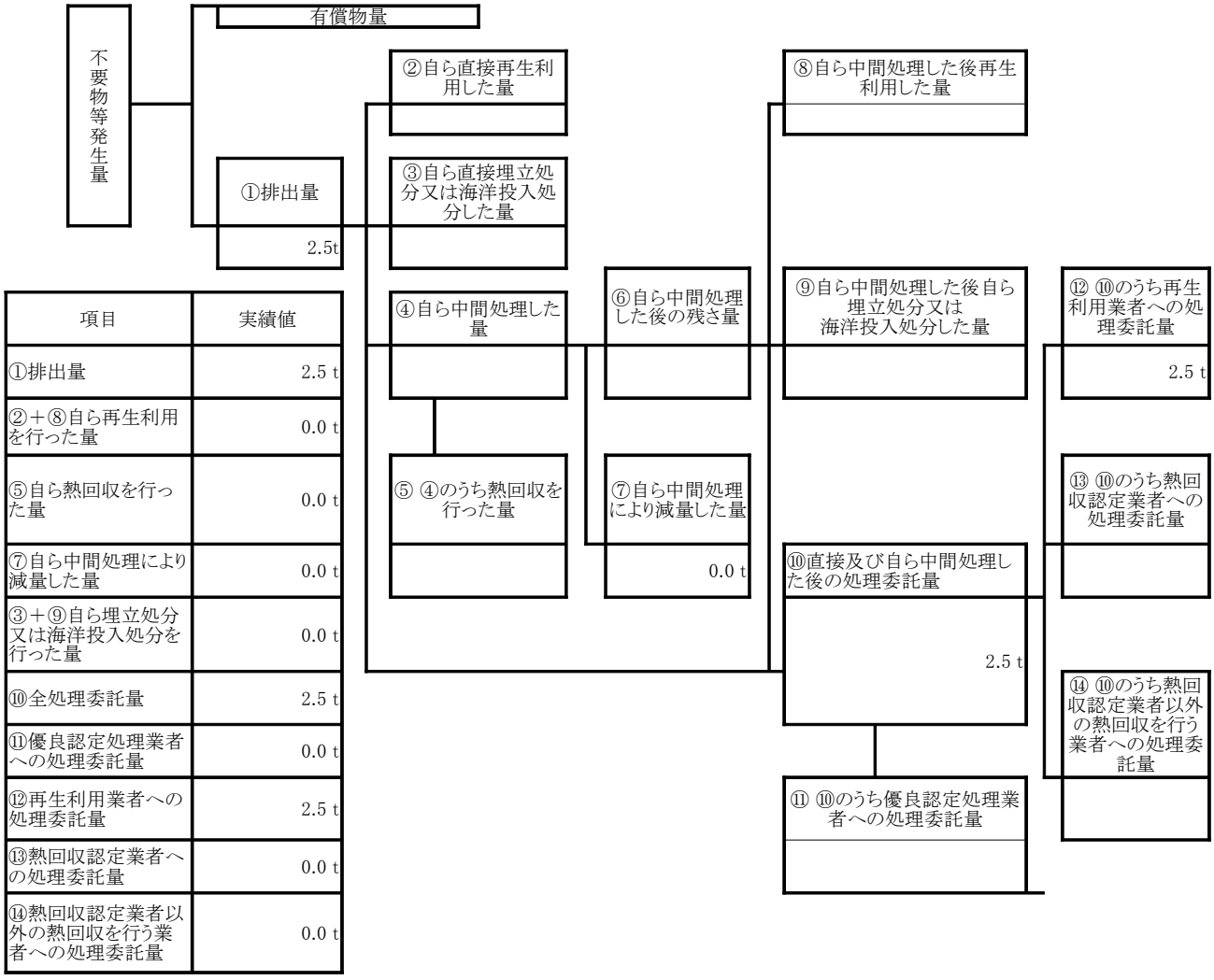
項目	実績値
①排出量	14.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

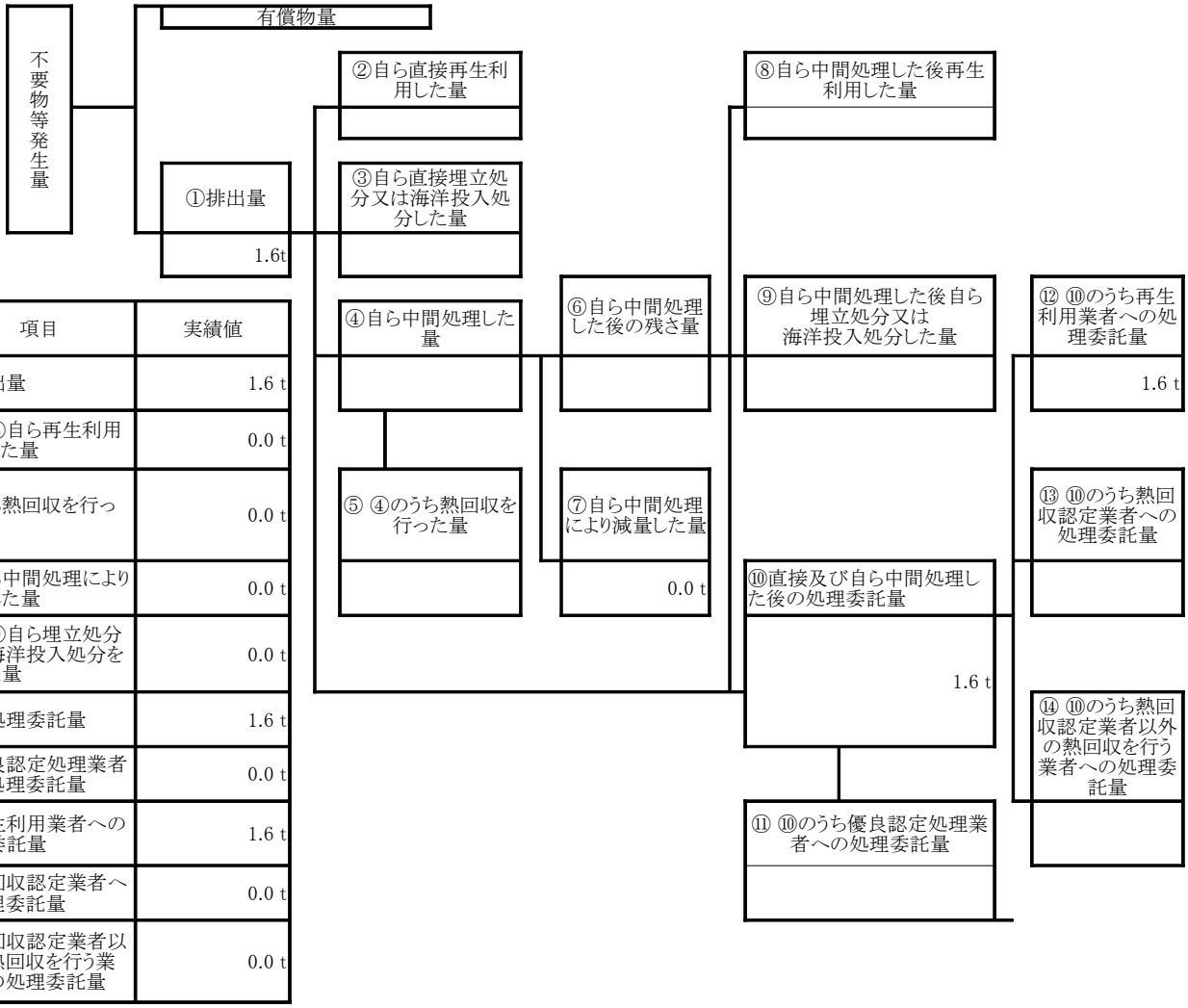


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

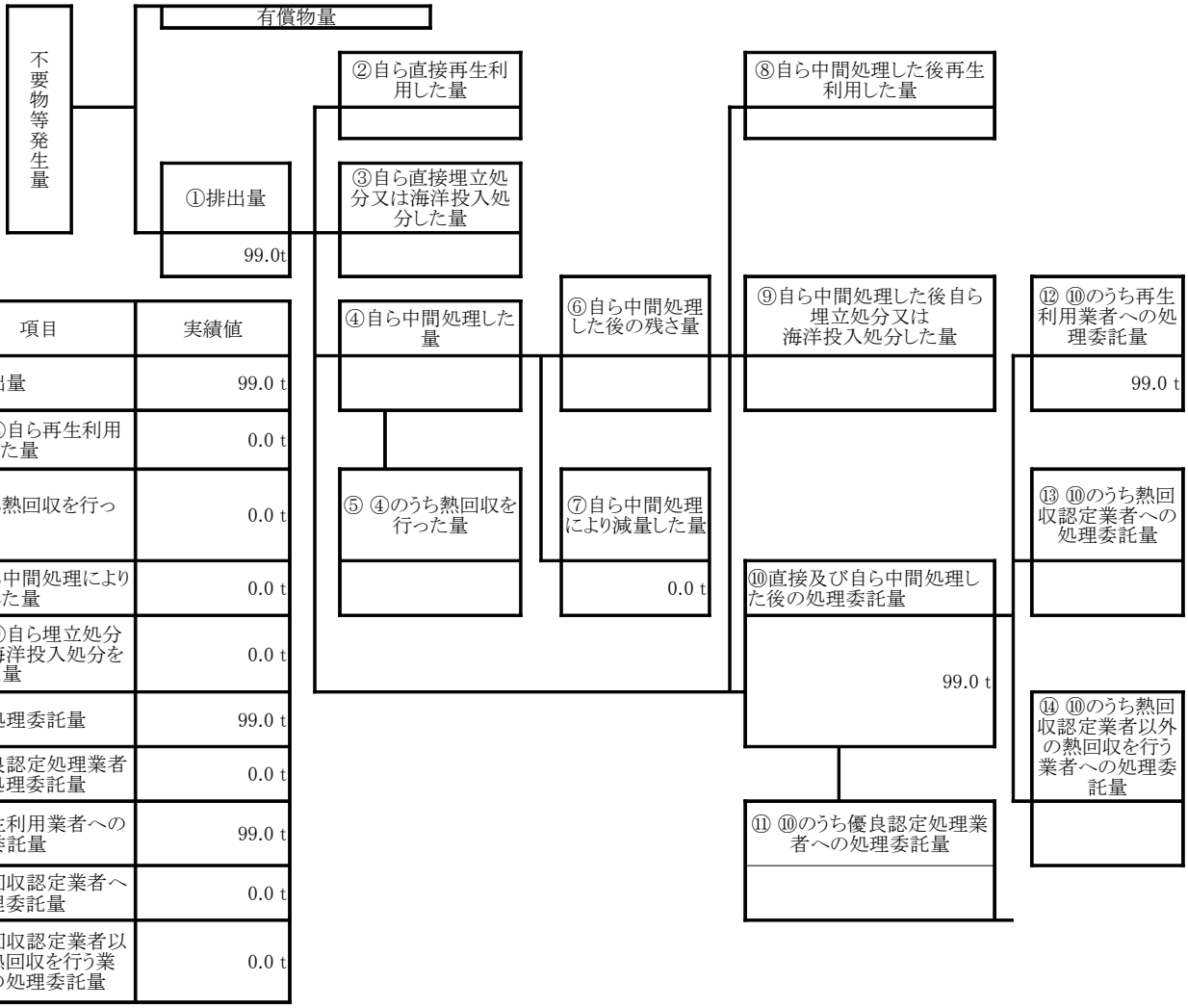


項目	実績値
①排出量	1.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



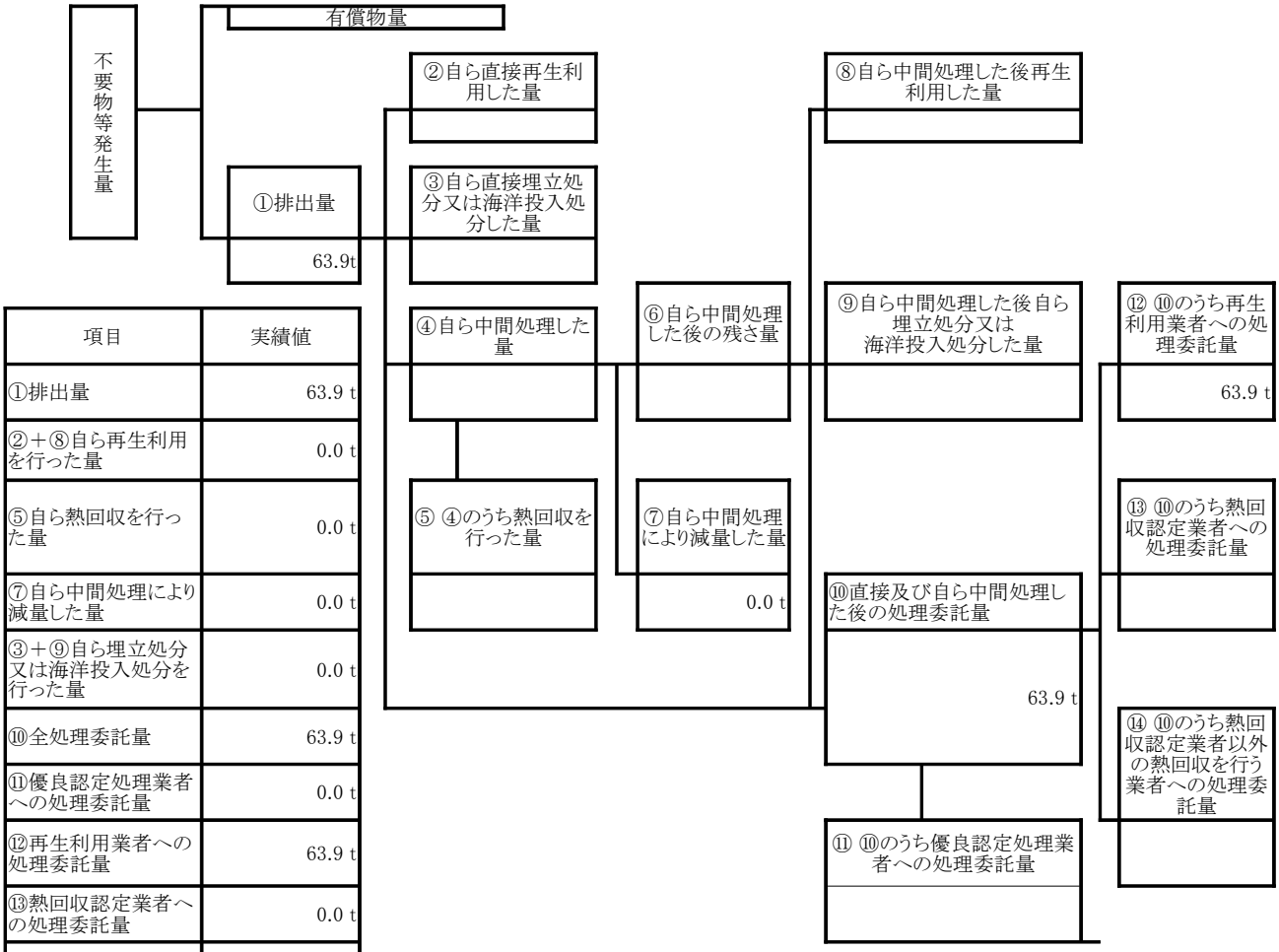
項目	実績値
①排出量	99.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	99.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	63.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	63.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	63.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　101-0042

住所 東京都千代田区神田東松下町41-2

法人名 株式会社植木組　東京本店

代表者 植木 大吾

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3254-6165

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社植木組　東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区神田東松下町41-2
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

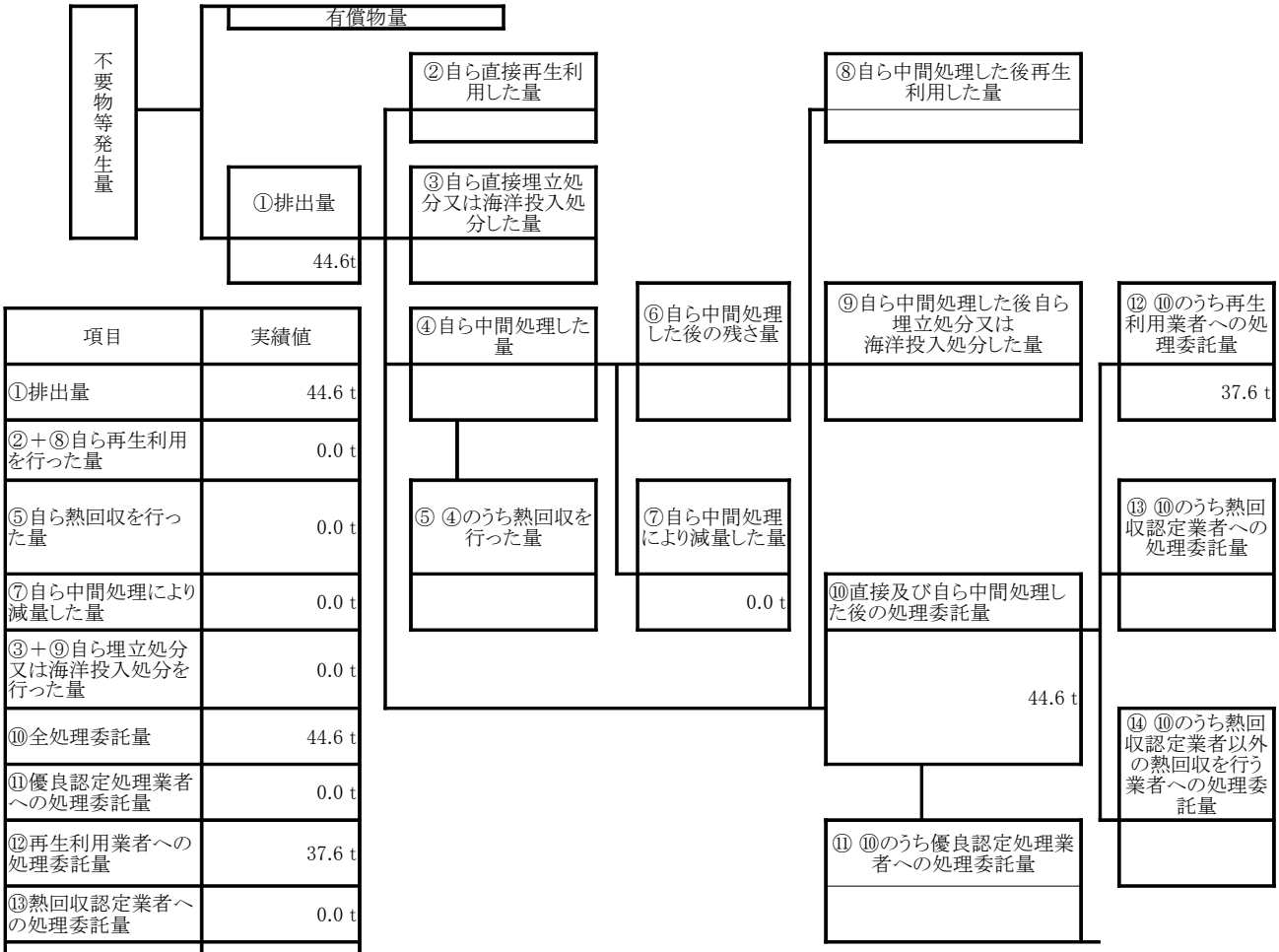
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1844.24 t	全処理委託量	1844.24 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1844.24 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類　コンクリートくず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

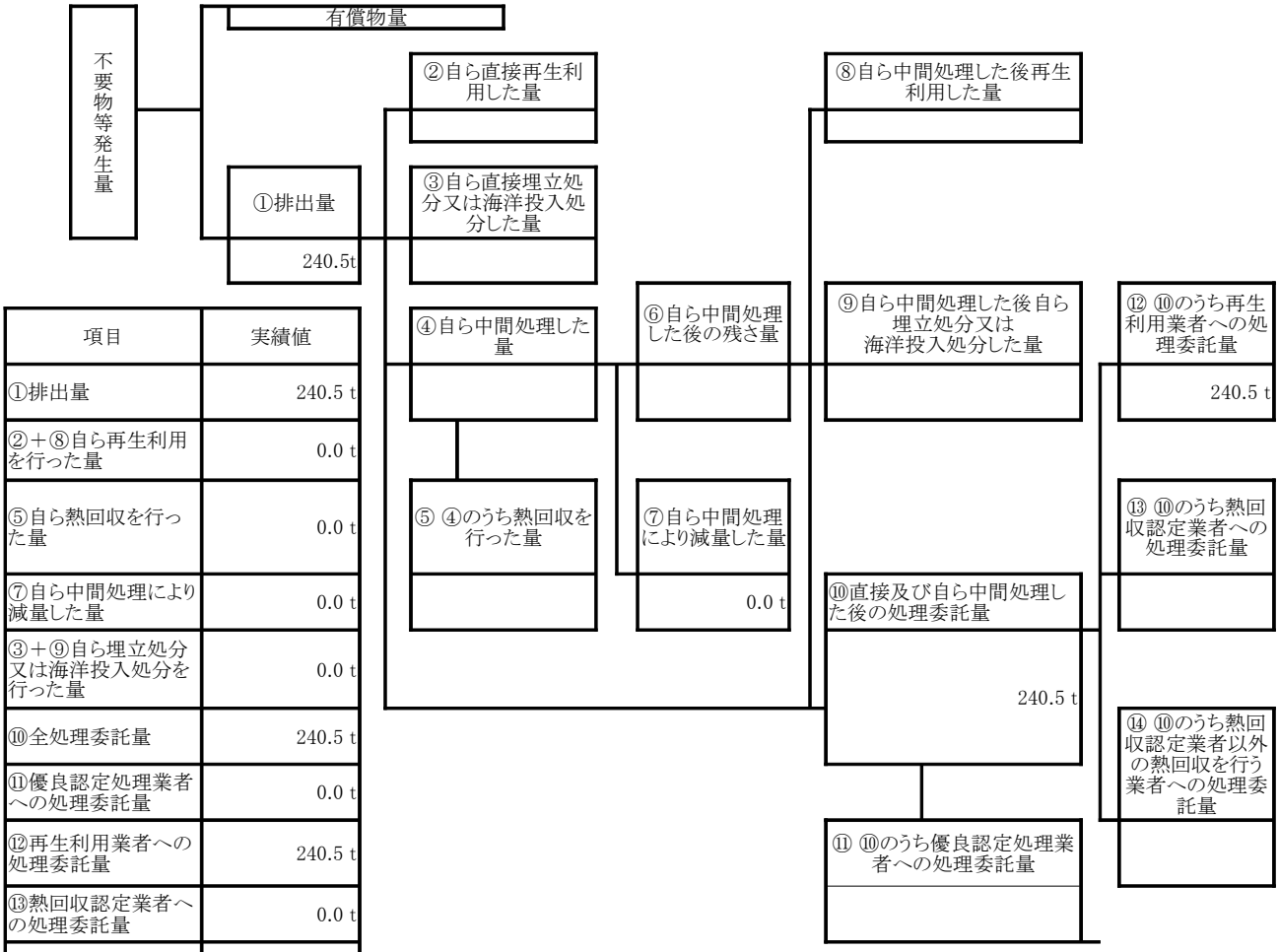


項目	実績値
①排出量	44.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類　アスファルトくず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

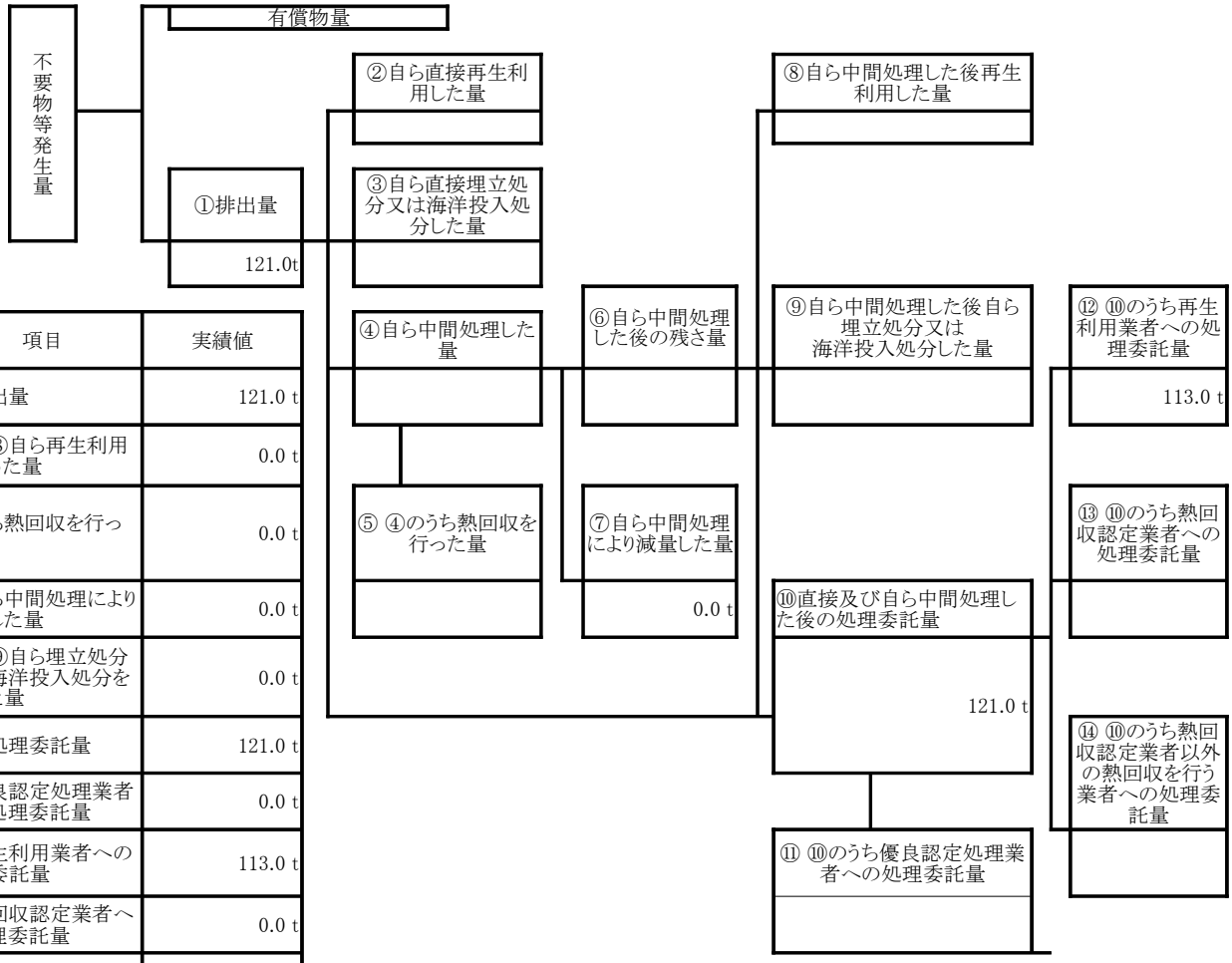


項目	実績値
①排出量	240.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	240.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	240.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **混合廃棄物** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

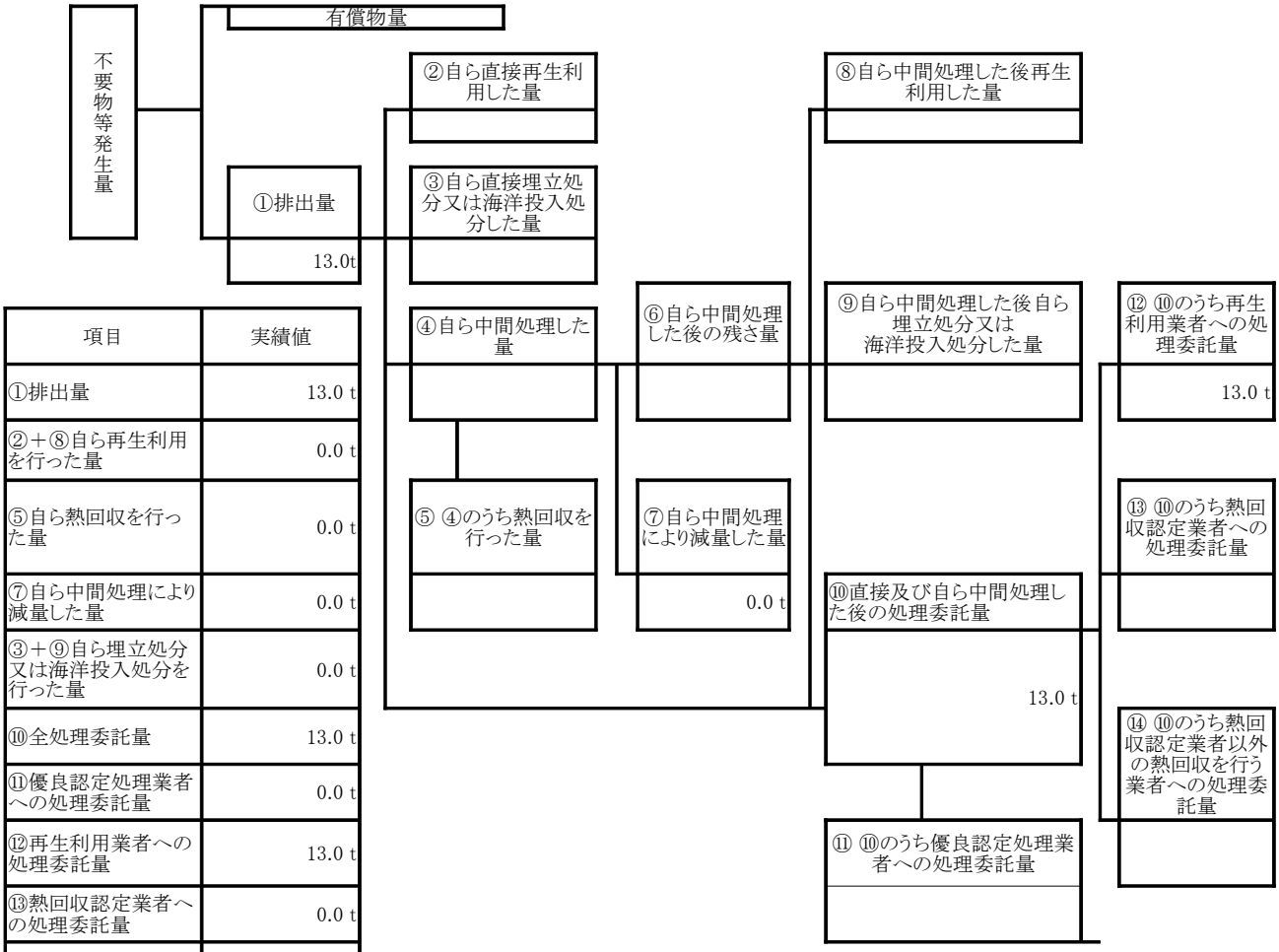


項目	実績値
①排出量	121.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	121.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	113.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



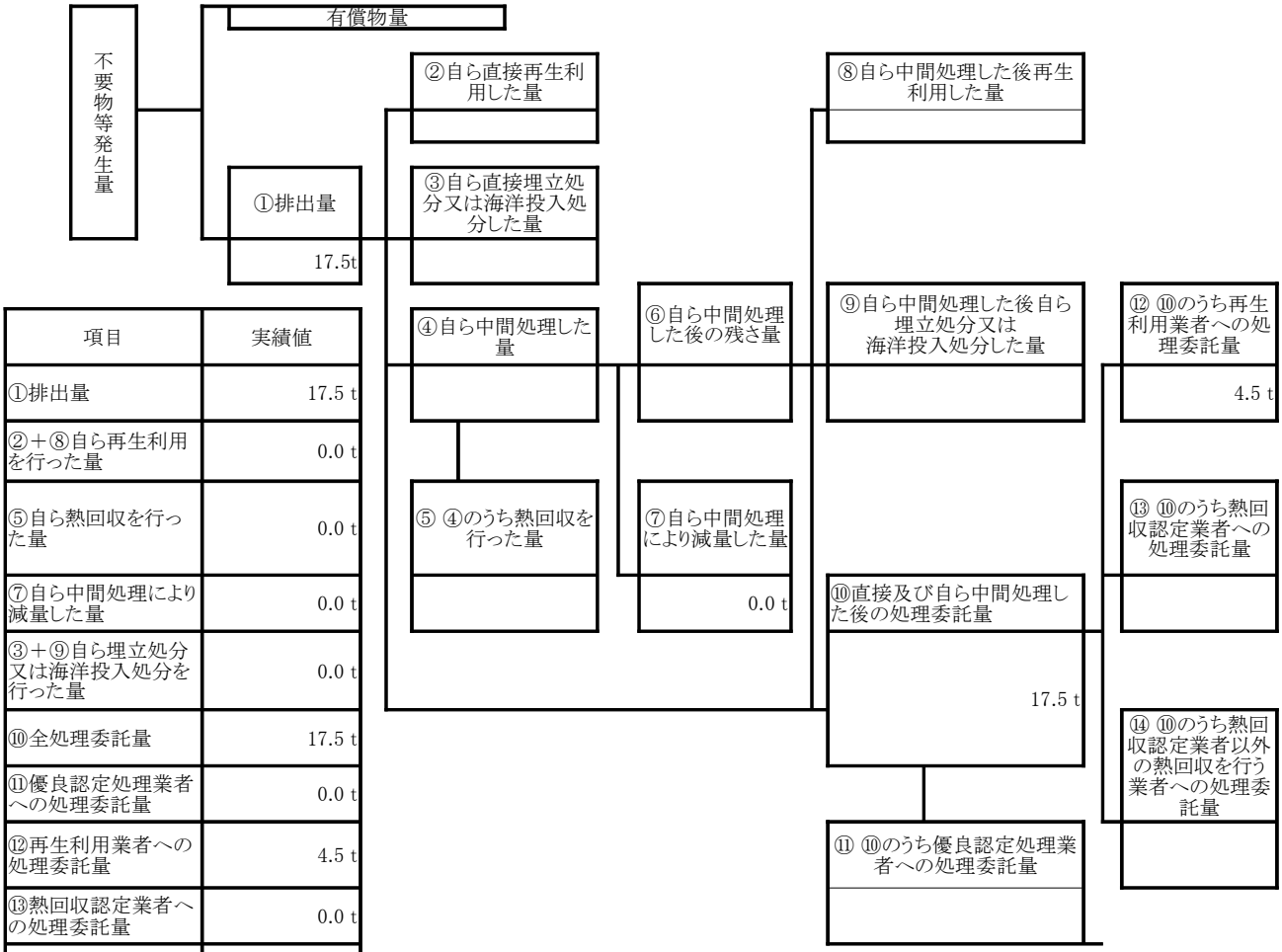
項目	実績値
①排出量	13.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

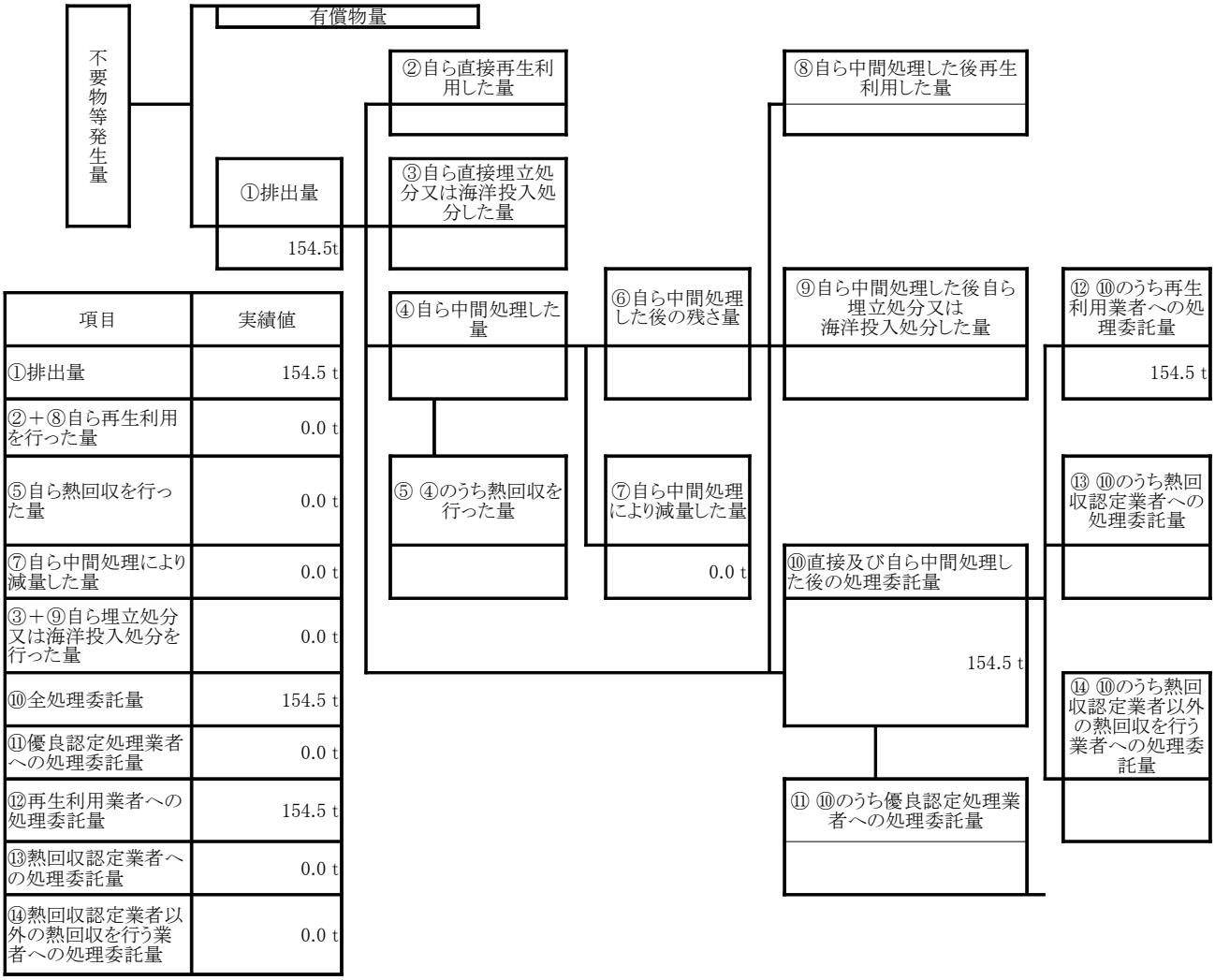


項目	実績値
①排出量	17.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



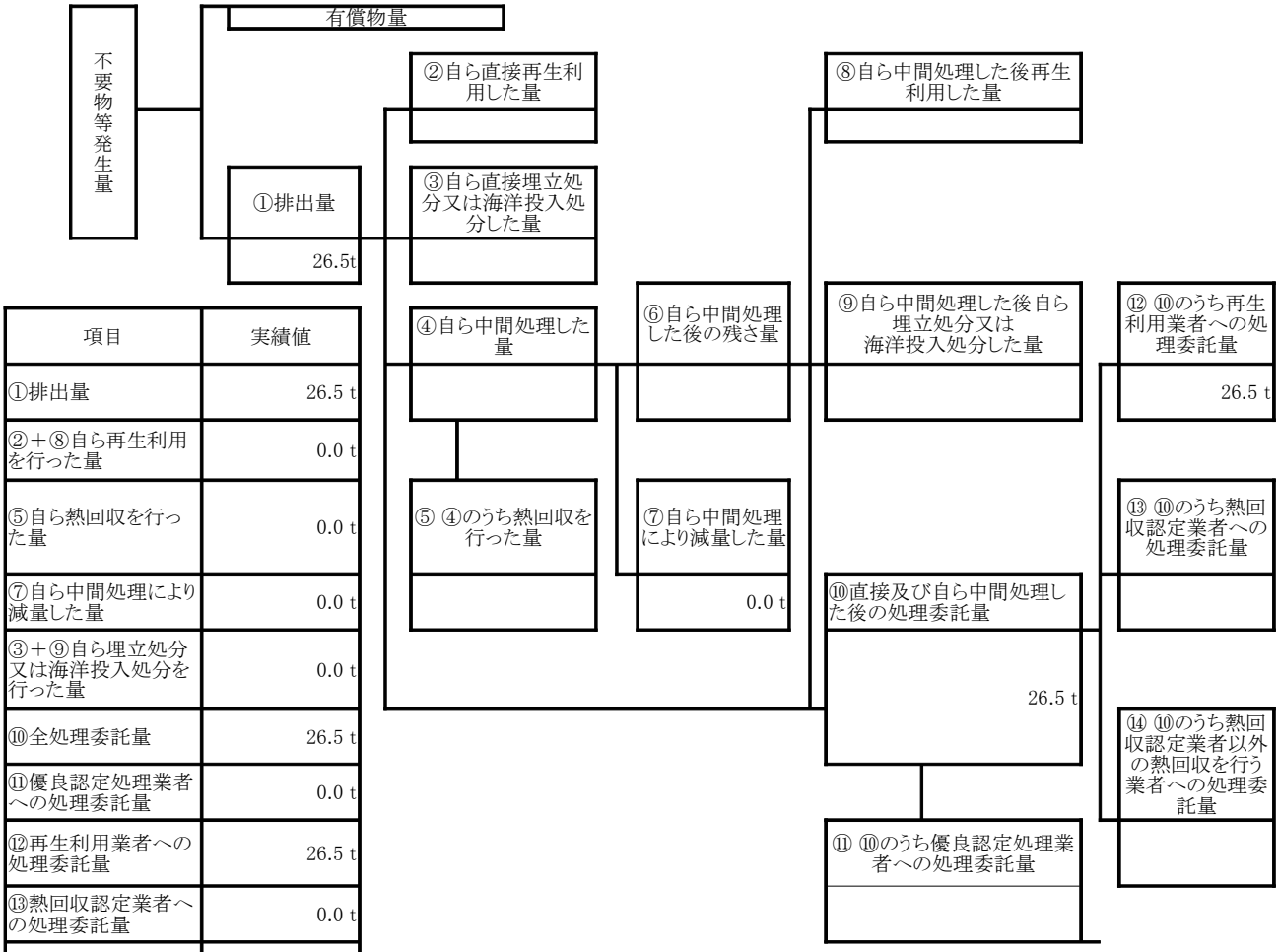
項目	実績値
①排出量	154.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	154.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	154.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

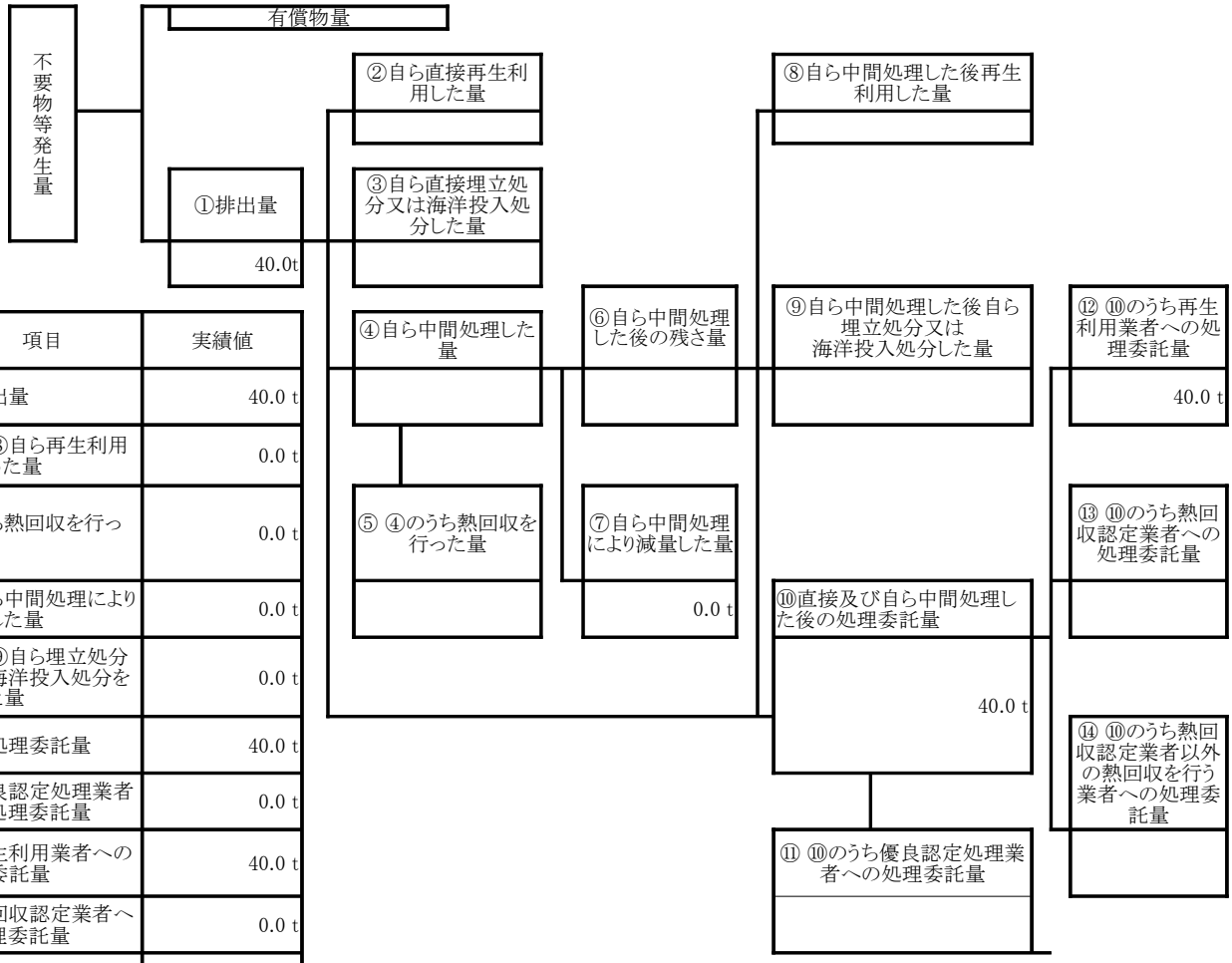


項目	実績値
①排出量	26.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	40.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月　13日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒279-0043

住　所　千葉県浦安市富士見一丁目16番15号

氏　名　株式会社浦安設備管工
代表取締役　大塚英子

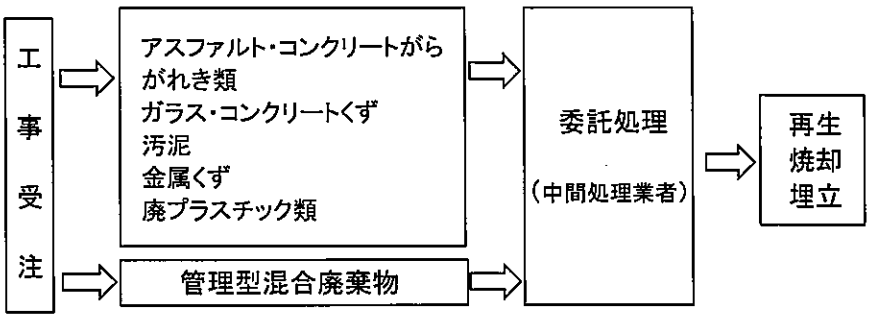
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-352-0268

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　浦安設備管工
事業場の所在地	浦安市富士見一丁目16番15号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

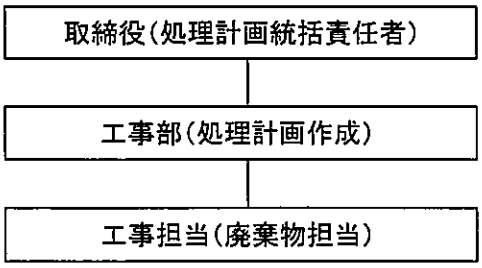
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　2.7億円
③従業員数	７名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
排出量	431.4 t	3.8 t

（これまでに実施した取組）
再資源化の促進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
排出量	430.0 t	3.0 t

（今後実施する予定の取組）
再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類、
金属くず、廃プラスチック類：工事工程で生じる廃棄物は種類ごとに
分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類、
金属くず、廃プラスチック類：全材料として再生利用できる種類ごとに
分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
全処理委託量	431.4 t	3.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	431.4 t	3.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
分別を徹底してリサイクルとして有効活用できる処理業者に処理を委託している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
		全処理委託量		430.0 t	3.0 t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	430.0 t	3.0 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 分別を徹底してリサイクルとして有効活用できる処理業者へ委託を行う。			
※事務処理欄					

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		排　出　量	581.1 t	1.4 t	2.2 t	2.9 t	0.6 t	0.2 t	1.5 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		排　出　量	580.0 t	1.0 t	2.0 t	2.0 t	0.5 t	0.1 t	1.0 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	581.1 t	1.4 t	2.2 t	2.9 t	0.6 t	0.2 t	1.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	2.9 t	t	0.2 t	1.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	581.1 t	1.4 t	2.2 t	t	0.6 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	その他がれき類	混合廃棄物	金属くず	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	580 t	1.0 t	2.0 t	2.0 t	0.5 t	0.1 t	1.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	2.0 t	t	0.1 t	1.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	580 t	1.0 t	2.0 t	t	0.5 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　６月２５日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒150-0002

住　所　東京都渋谷区渋谷３－２９－２０

氏　名　エクシオグループ株式会社
代表取締役社長　舩橋 哲也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０３－５７７８－１０６５

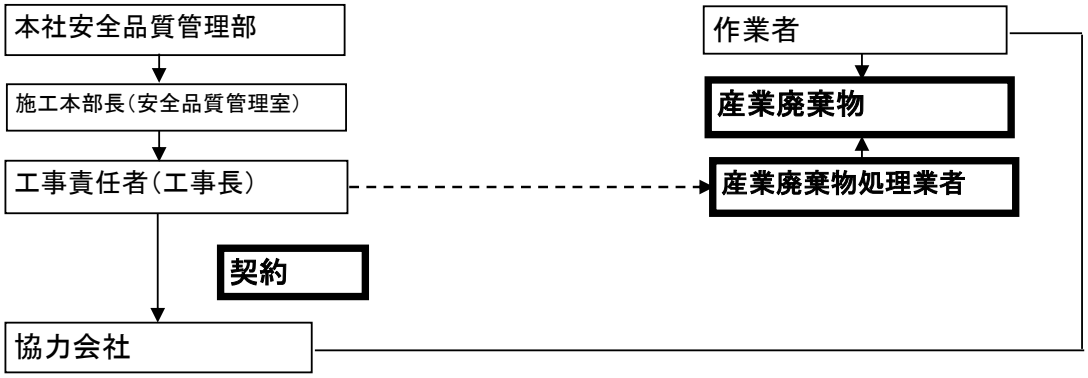
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エクシオグループ株式会社 千葉県内各現場（千葉市・船橋市・柏市を除く）
事業場の所在地	本社：東京都渋谷区渋谷３丁目２９番２０号 事業場：千葉県内各所（千葉市・船橋市・柏市を除く）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：建設業　　中分類：設備工事業
②　事業の規模	売上高　連結　6,708億円　／　単独　2,932億円
③　従業員数	連結　16,772人　／　単独　3,851人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→脱水→再資源化、　　廃プラ→破砕→再資源化、 金属くず→破砕→再資源化、 ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず→破砕→再資源化、 がれき類→破砕→再資源化、　紙くず→破砕→再資源化、 木くず→破砕→再資源化、　　繊維くず→破砕→再資源化、 建設混合廃棄物→破砕→再資源化、 ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄがら→破砕→再資源化、 コンクリートがら→破砕→再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	24.7 t	20.1 t

（これまでに実施した取組）

①産業廃棄物の適正処理を確保する為、関係する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。　②発生した産業廃棄物は、処理業者に委託する場合には、収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。　③再生利用ルートを確保する。　④処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。　⑤マニフェスト伝票の管理を徹底する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	24 t	20 t

（今後実施する予定の取組）

今後も上記の取組みを継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

工程毎に発生したものをそれぞれ保管する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も上記の取組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	24.7 t	20.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	9.2 t
再生利用業者への処理委託量	24.7 t	15.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者や千葉県の優良業者認定制度の認定業者への委託の推奨

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>24 t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>9 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>24 t</td><td>15 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者や千葉県の優良業者認定制度の認定業者への委託の推奨</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		排　出　量	8.4 t	77.5 t	88.2 t	0 t	3.8 t	0.7 t	1962.1 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		排　出　量	8 t	75 t	88 t	1 t	3 t	1 t	1960 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
	全処理委託量	8.4 t	77.5 t	88.2 t	0 t	3.8 t	0.7 t	1962.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t	48.3 t	23.4 t	0 t	3.8 t	0 t	999.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8.4 t	73.5 t	88.2 t	0 t	3.4 t	0 t	1962.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	アスコン	
	全処理委託量	8 t	75 t	88 t	1 t	3 t	1 t	1960 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t	48 t	23 t	1 t	3 t	1 t	900 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8 t	73 t	88 t	1 t	3 t	1 t	1960 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒150-0002
住 所　東京都渋谷区渋谷3－29－20
氏 名　エクシオグループ株式会社
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）代表取締役社長　舩橋 哲也
電話番号　03－5778－1065

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エクシオグループ株式会社 千葉県内各現場（千葉市・船橋市・柏市を除く）
事業場の所在地	本社：東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号 事業場：千葉県内各所（千葉市・船橋市・柏市を除く）
事業の種類	大分類：建設業　中分類：設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

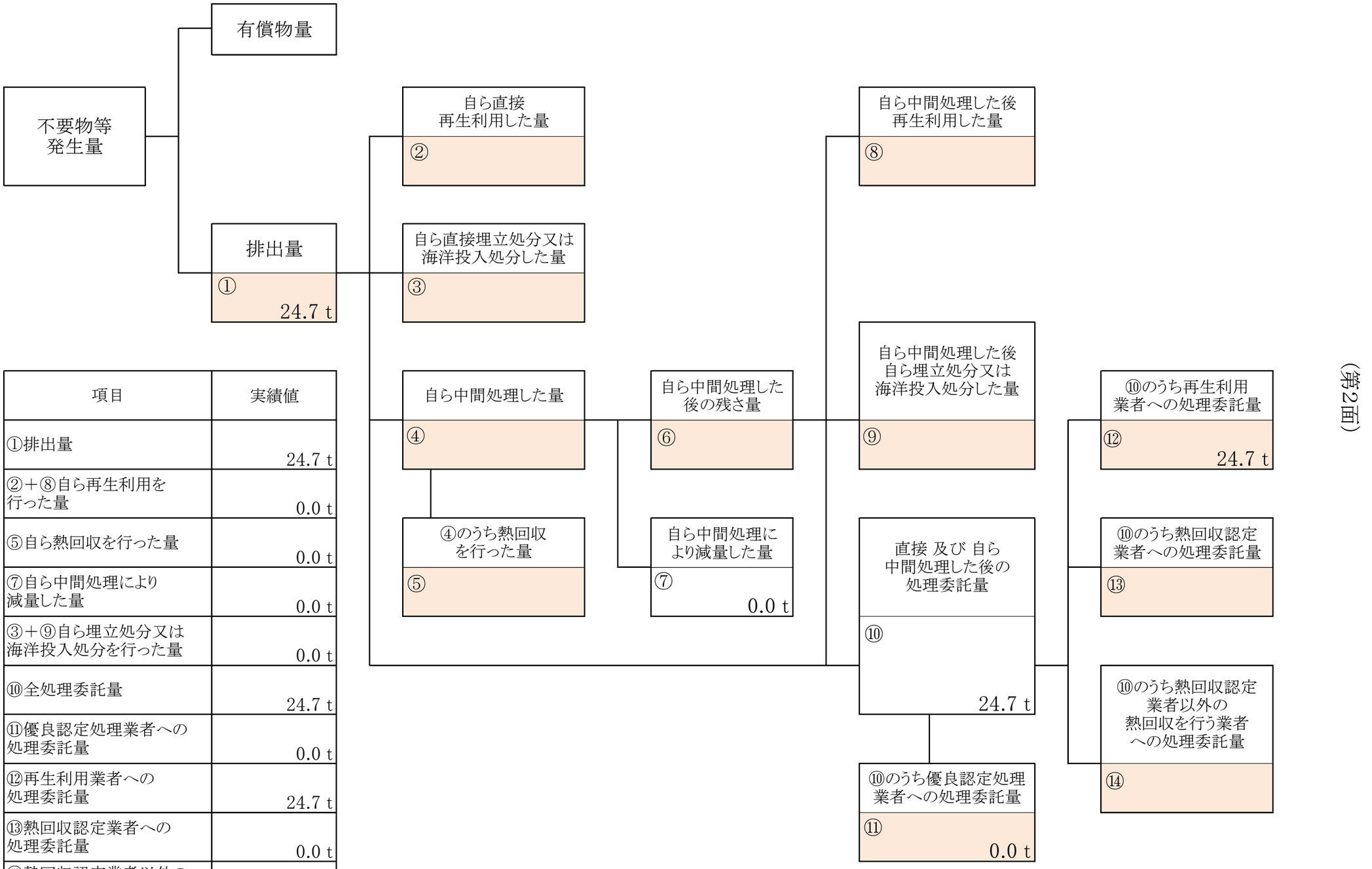
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2073.0 t	全処理委託量	2073.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1005.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2067.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

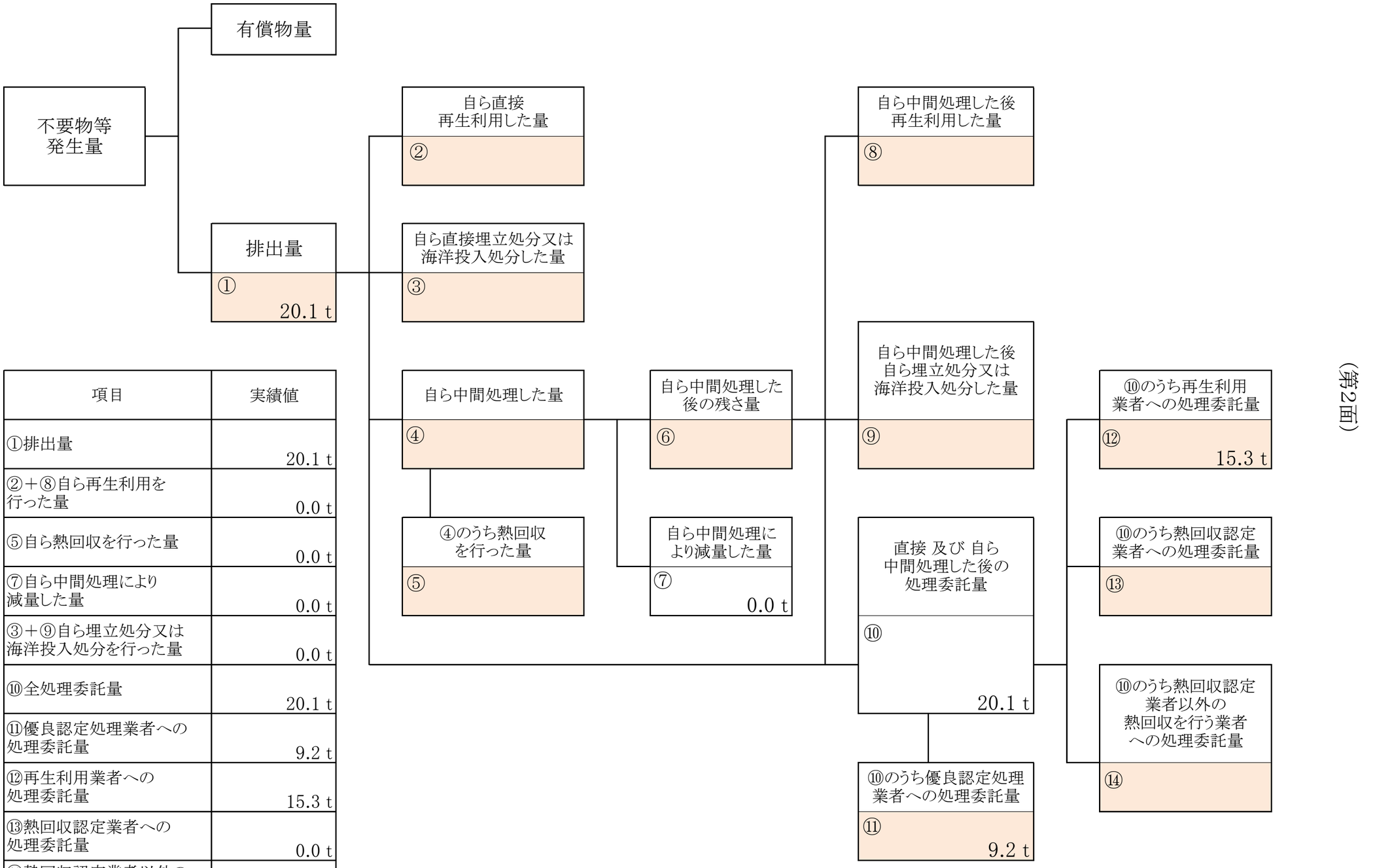


項目	実績値
①排出量	24.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

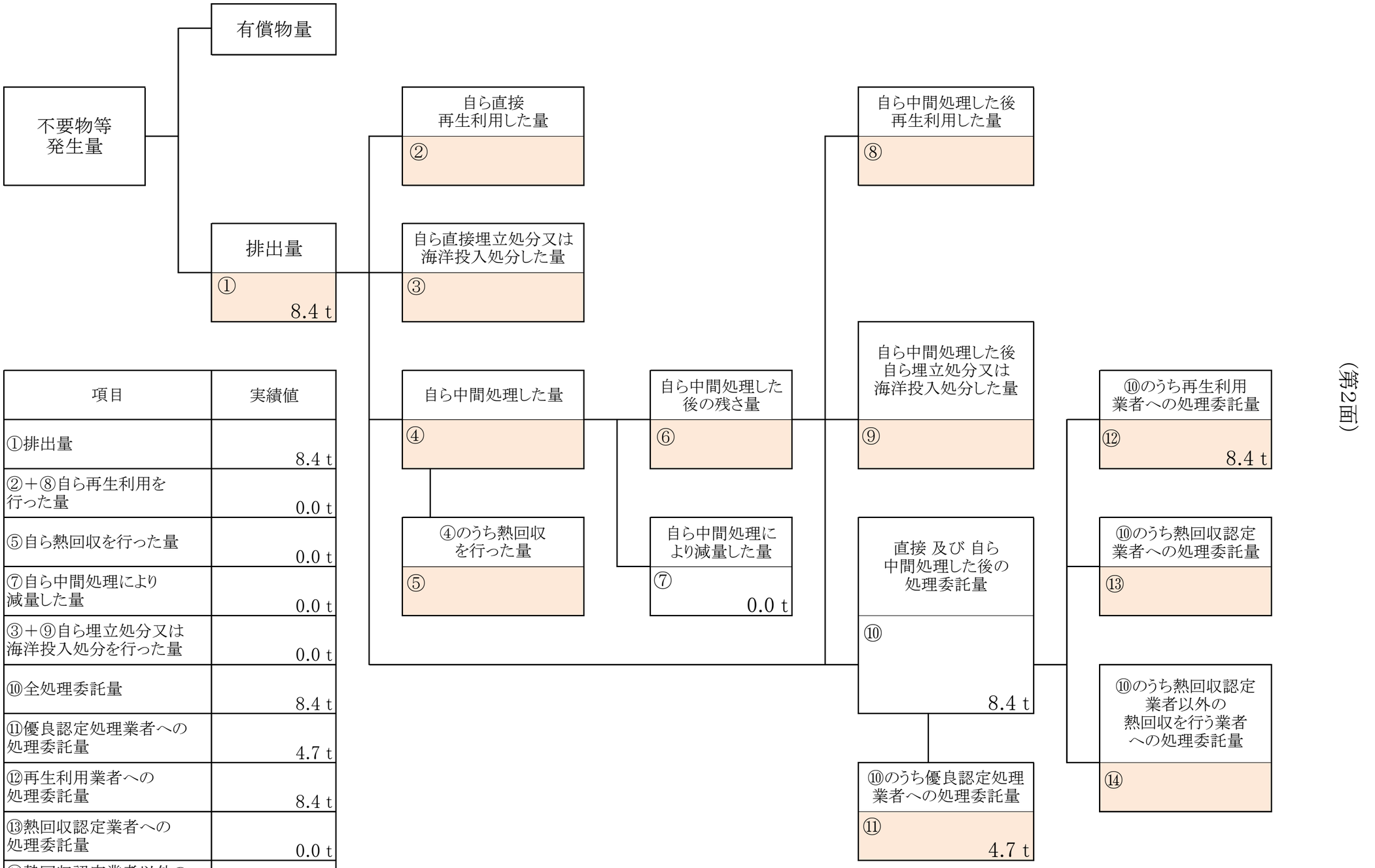


項目	実績値
①排出量	20.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

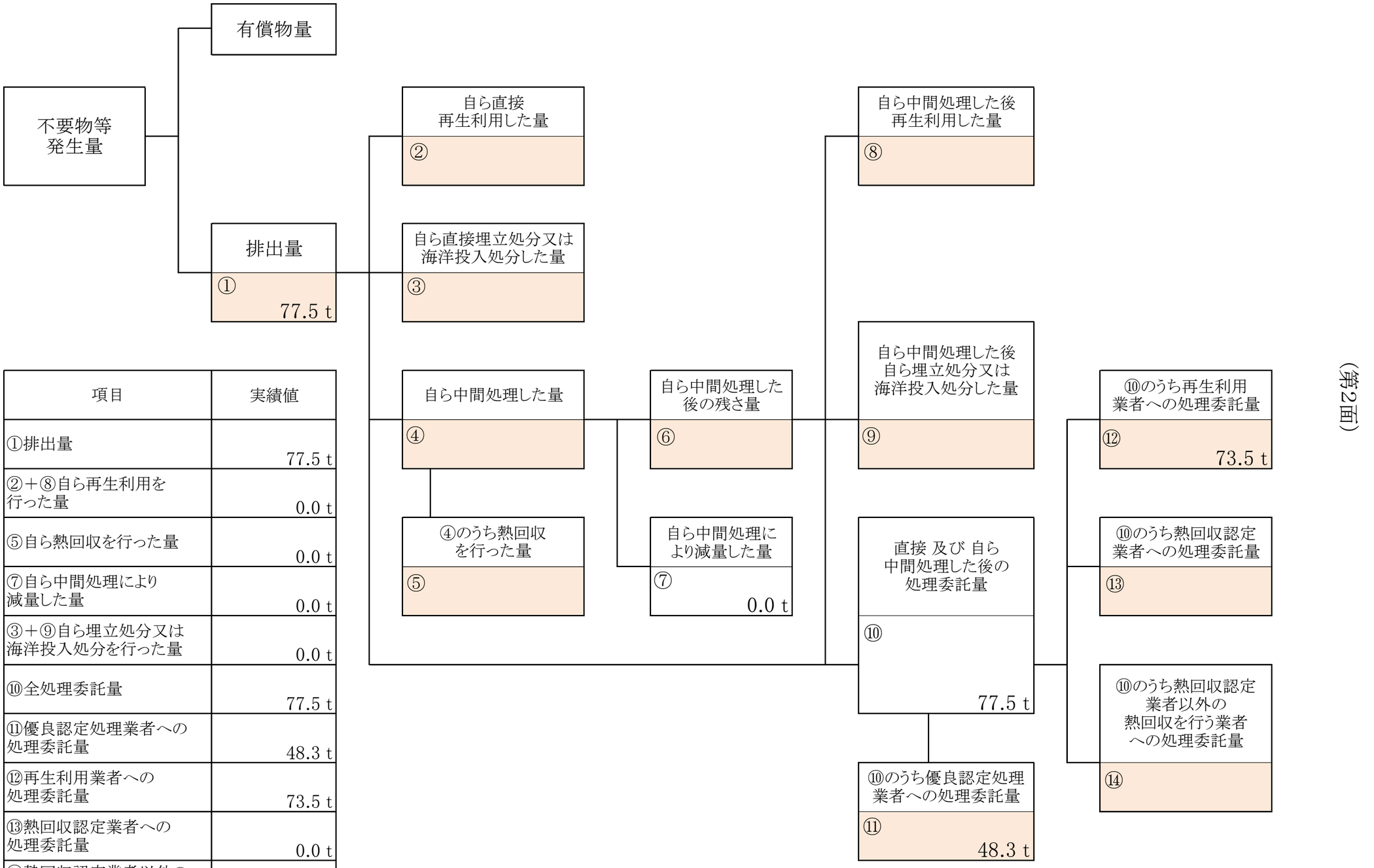


項目	実績値
①排出量	8.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

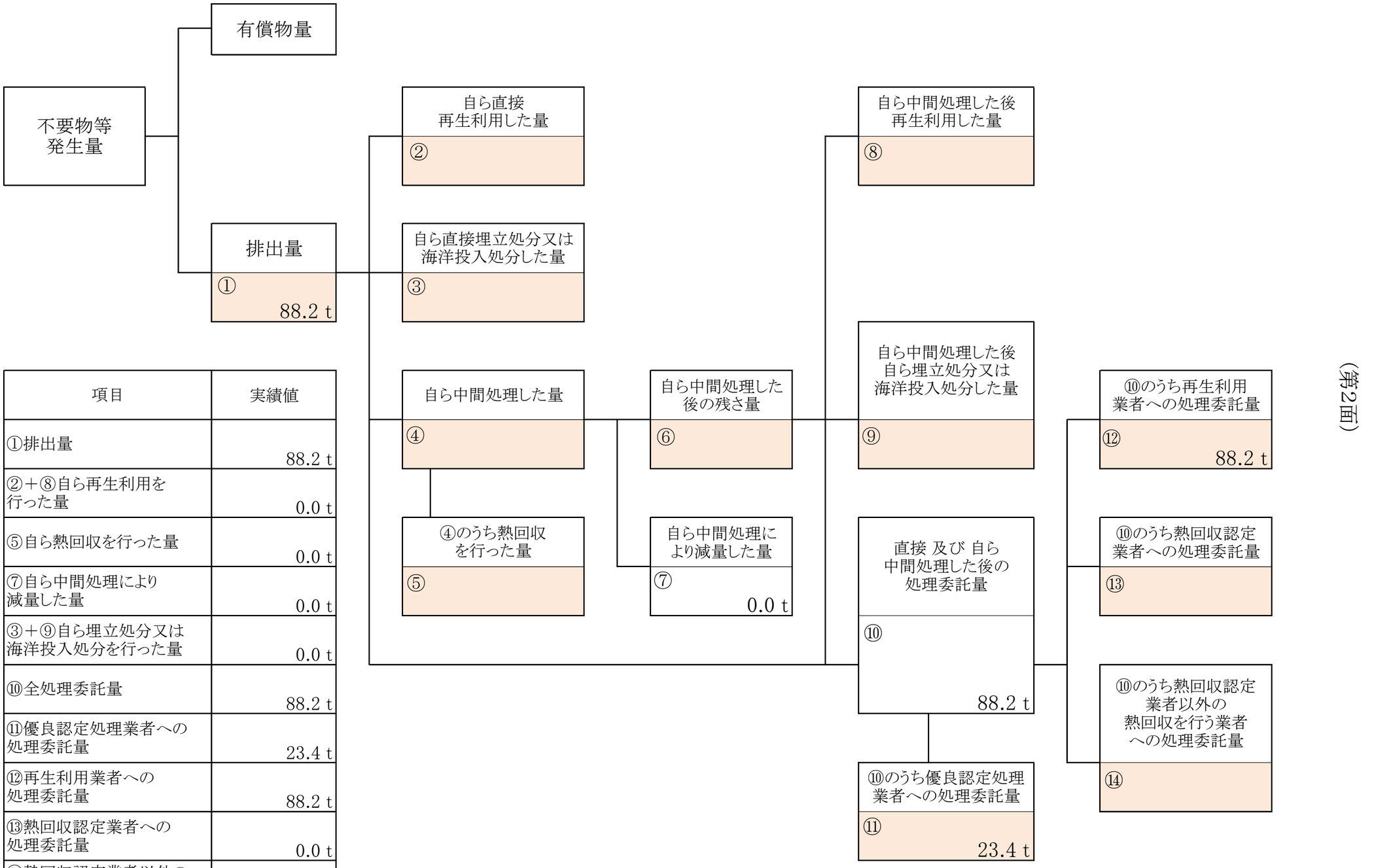


項目	実績値
①排出量	77.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	77.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	48.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	73.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート片）

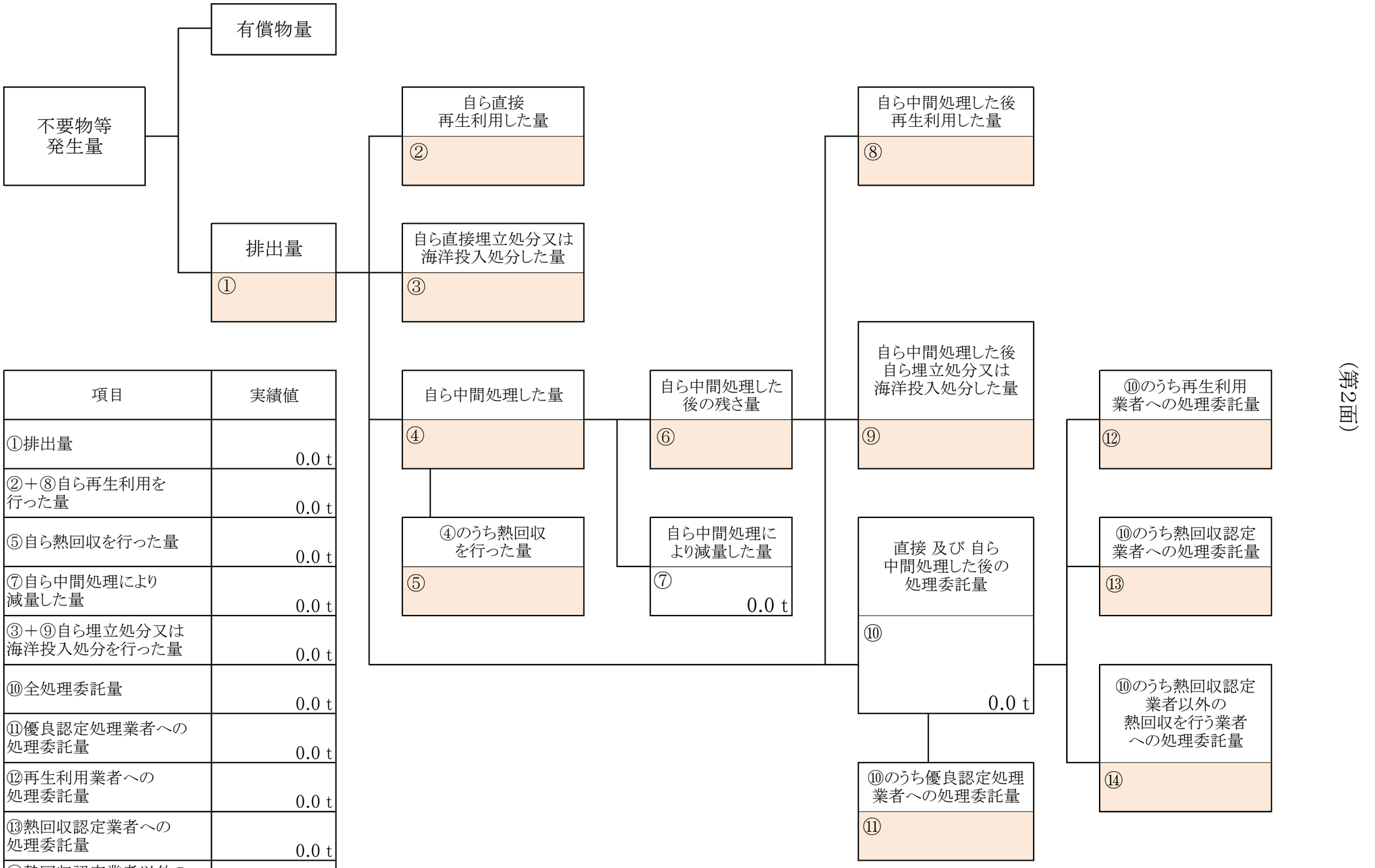


項目	実績値
①排出量	88.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	88.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	88.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

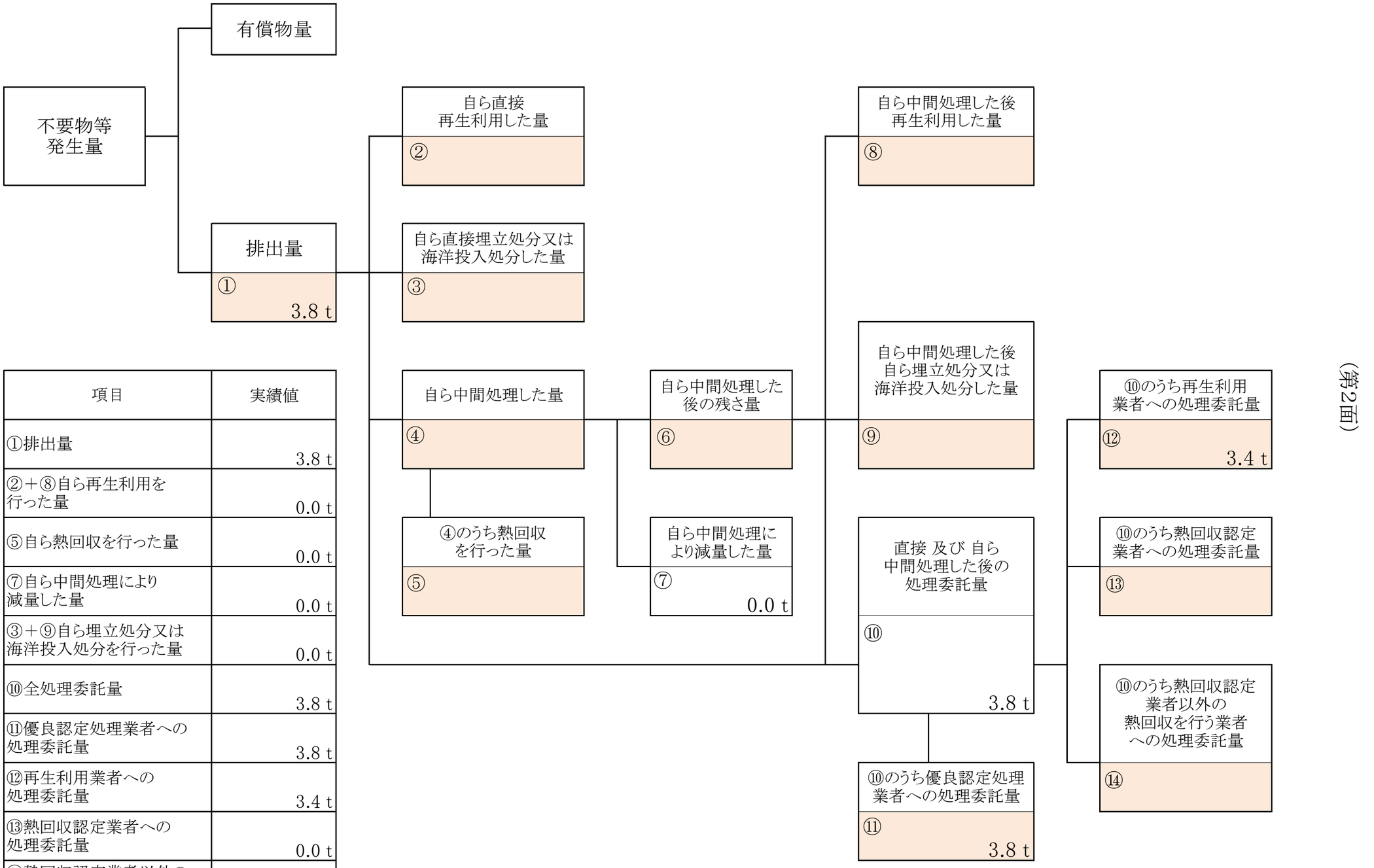


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

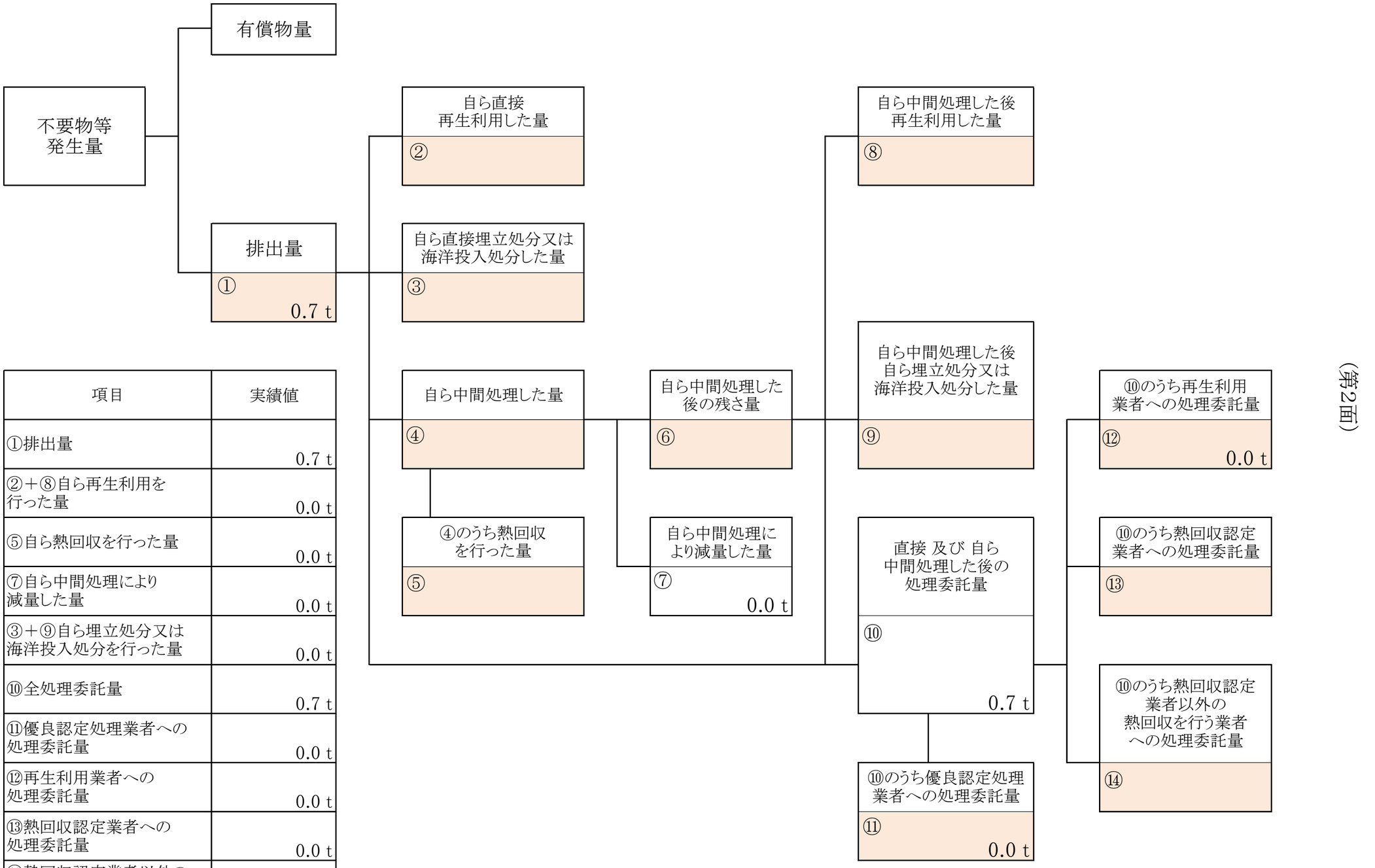


項目	実績値
①排出量	3.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

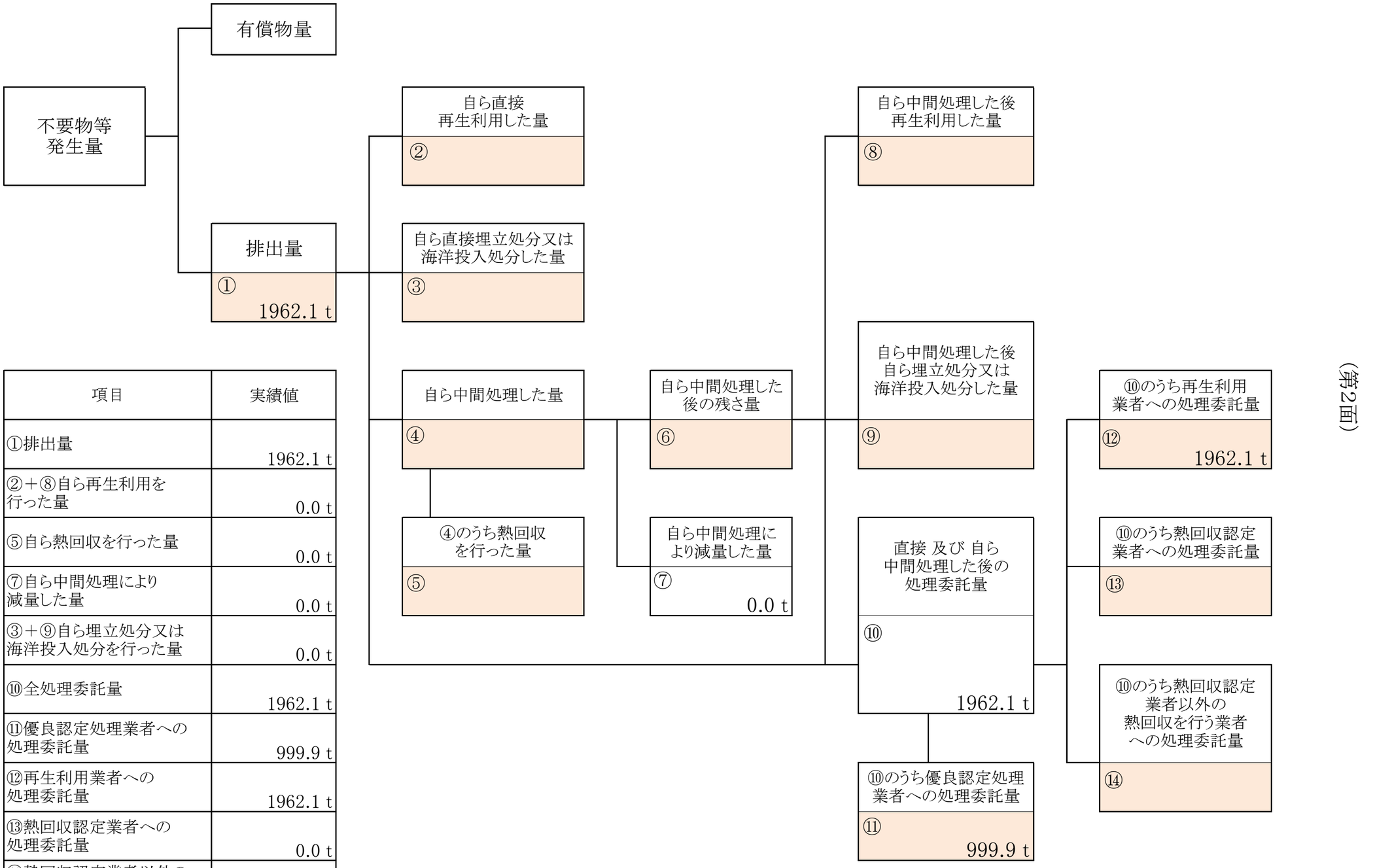


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスコン）



項目	実績値
①排出量	1962.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1962.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	999.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1962.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　190-0023

住所　東京都立川市柴崎町3-13-19

法人名 株式会社エコワス

代表者 森屋 光石

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-525-1911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社エコワス
事業場の所在地	東京都立川市柴崎町3-13-19
事業の種類	大分類　D 建設業　中分類 07 職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10439.24 t	全処理委託量	10439.24 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	959.57 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	10439.24 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

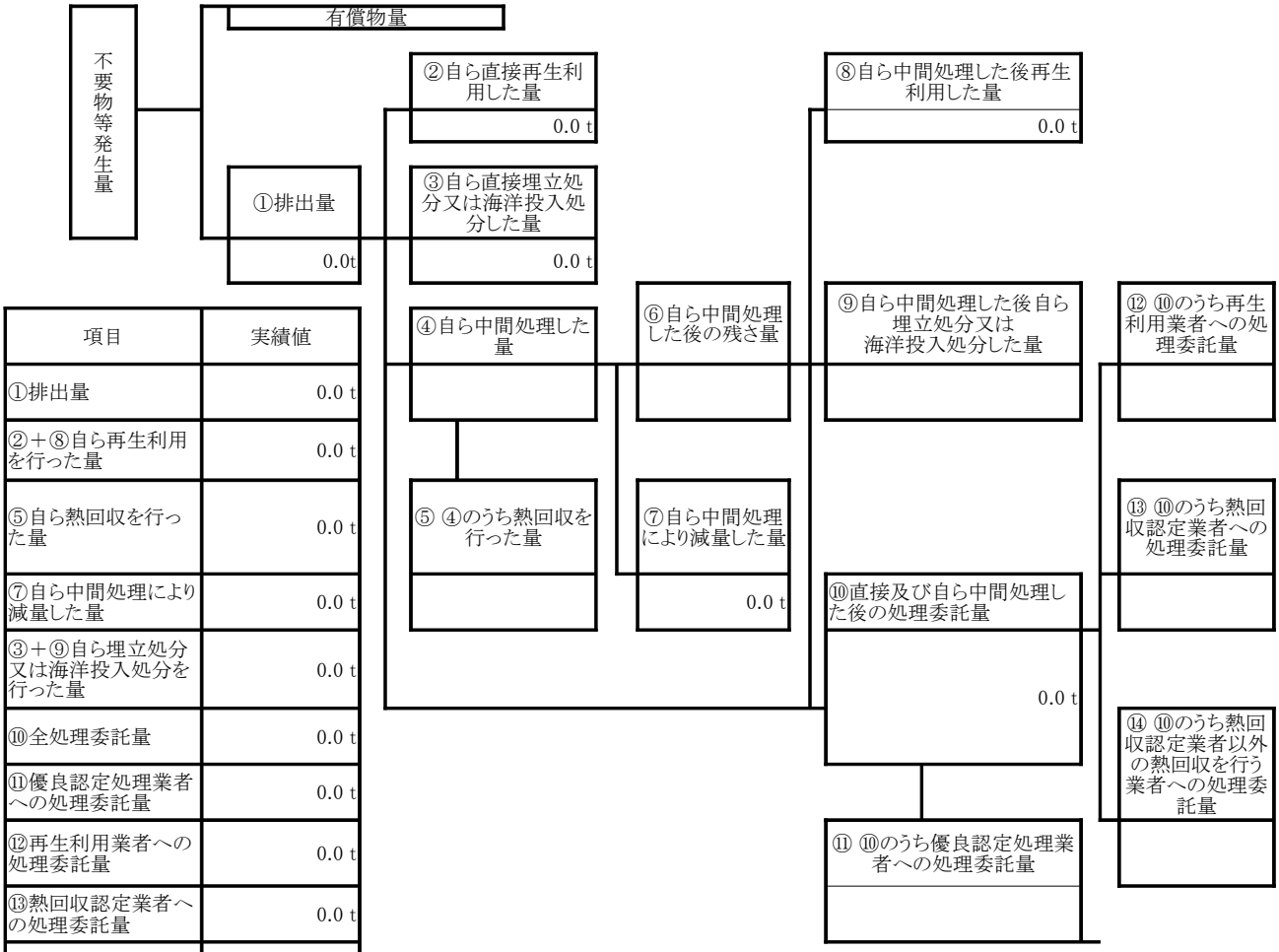
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-8338

住所 東京都港区海岸1丁目14番22号

法人名 NX商事株式会社

代表者 高木 洋一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6734-8784

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	NX商事株式会社
事業場の所在地	東京都港区海岸1-14-22
事業の種類	大分類　総合工事業　中分類 建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

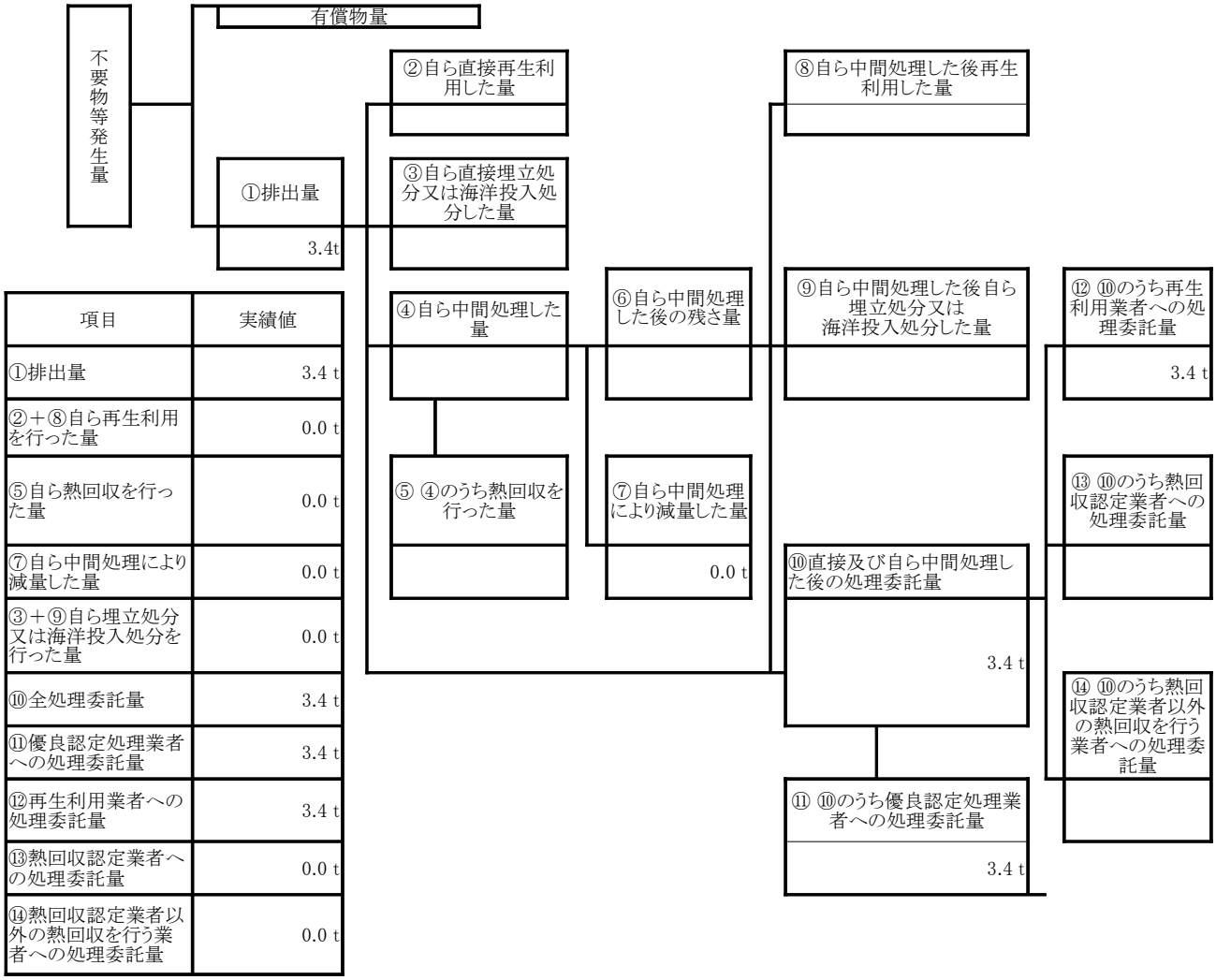
項目	目標値	項目	目標値
排出量	30 t	全処理委託量	30 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	30 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	30 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　物の新築、改築又は除去に伴って

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

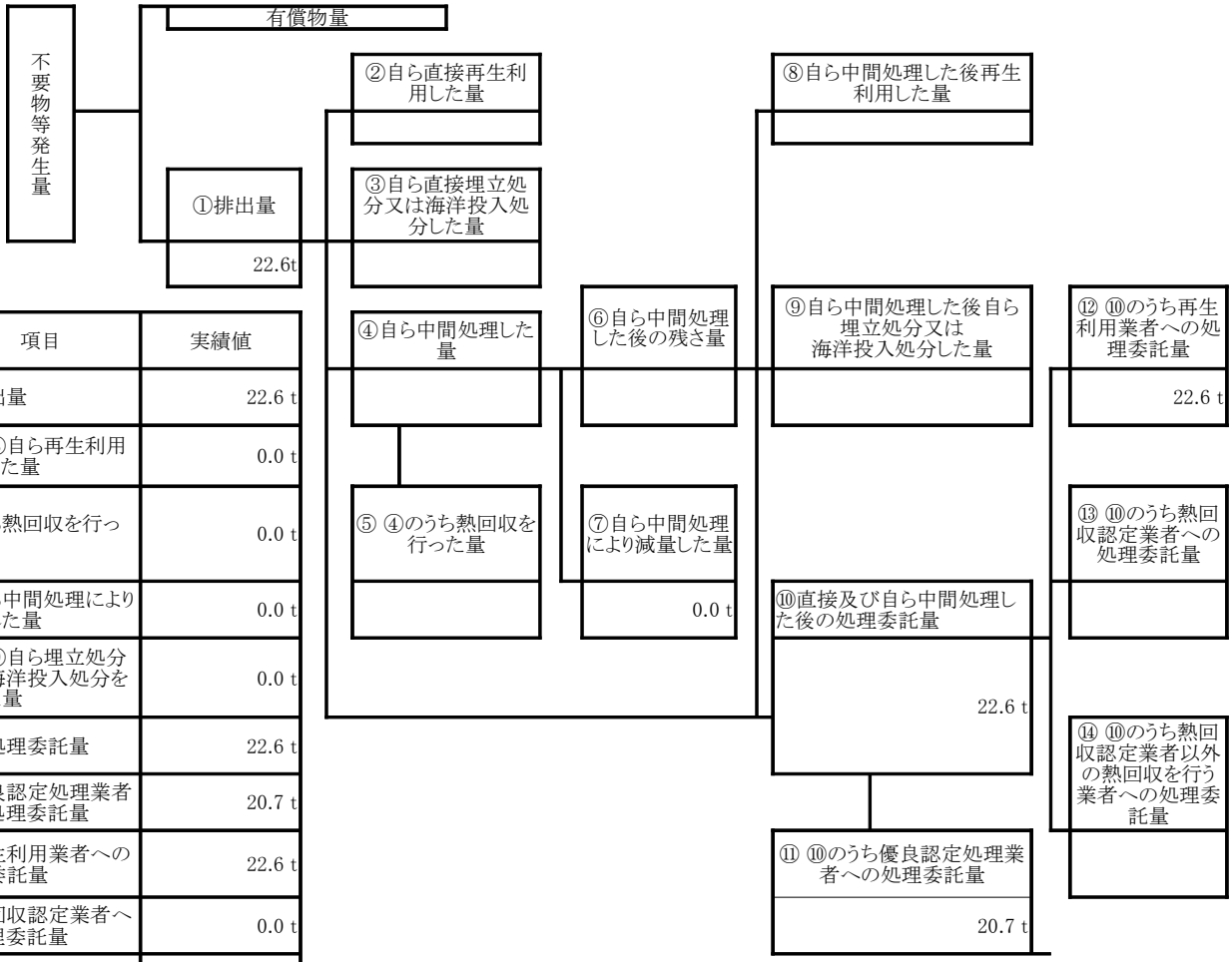


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

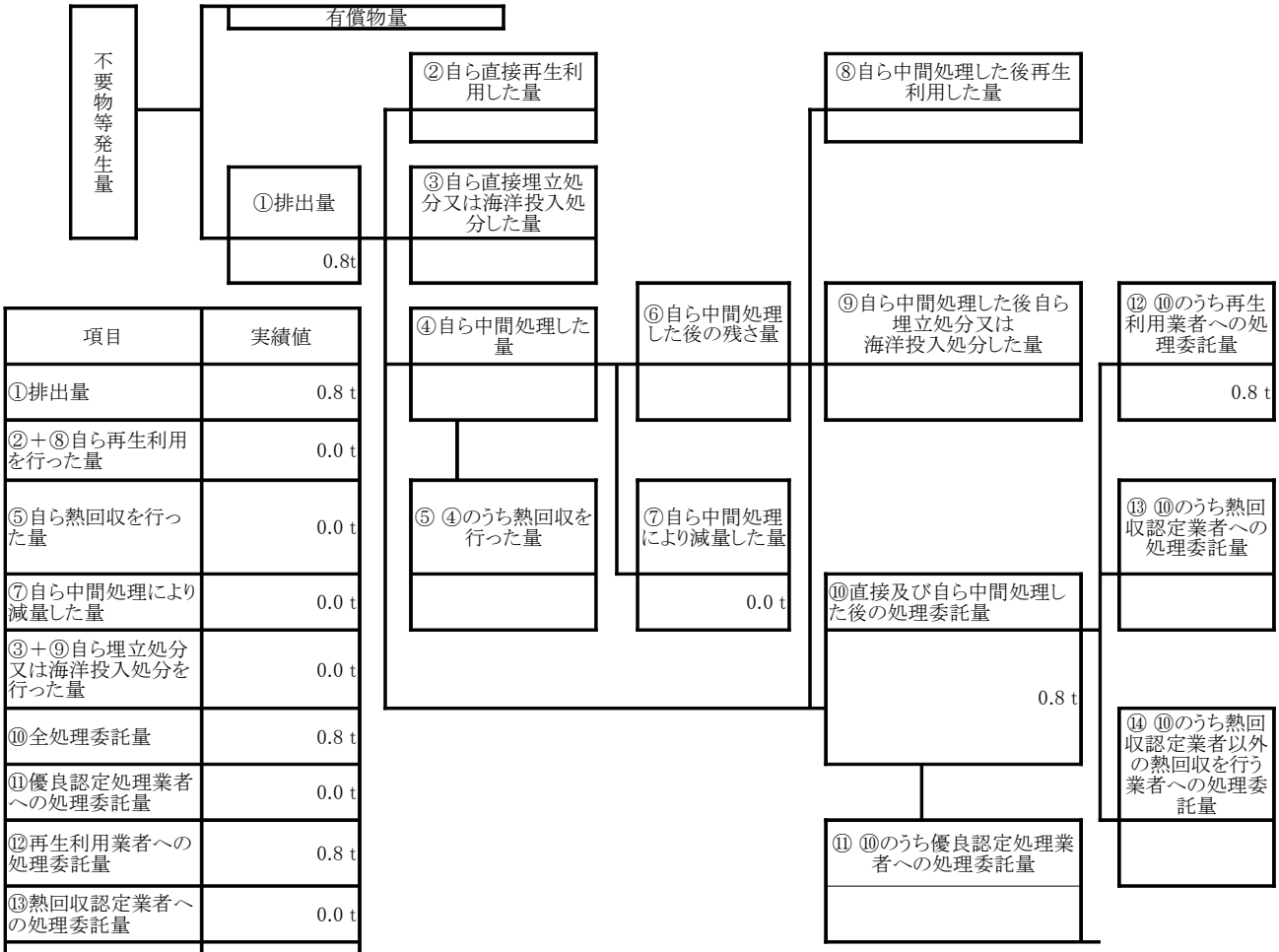


項目	実績値
①排出量	22.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

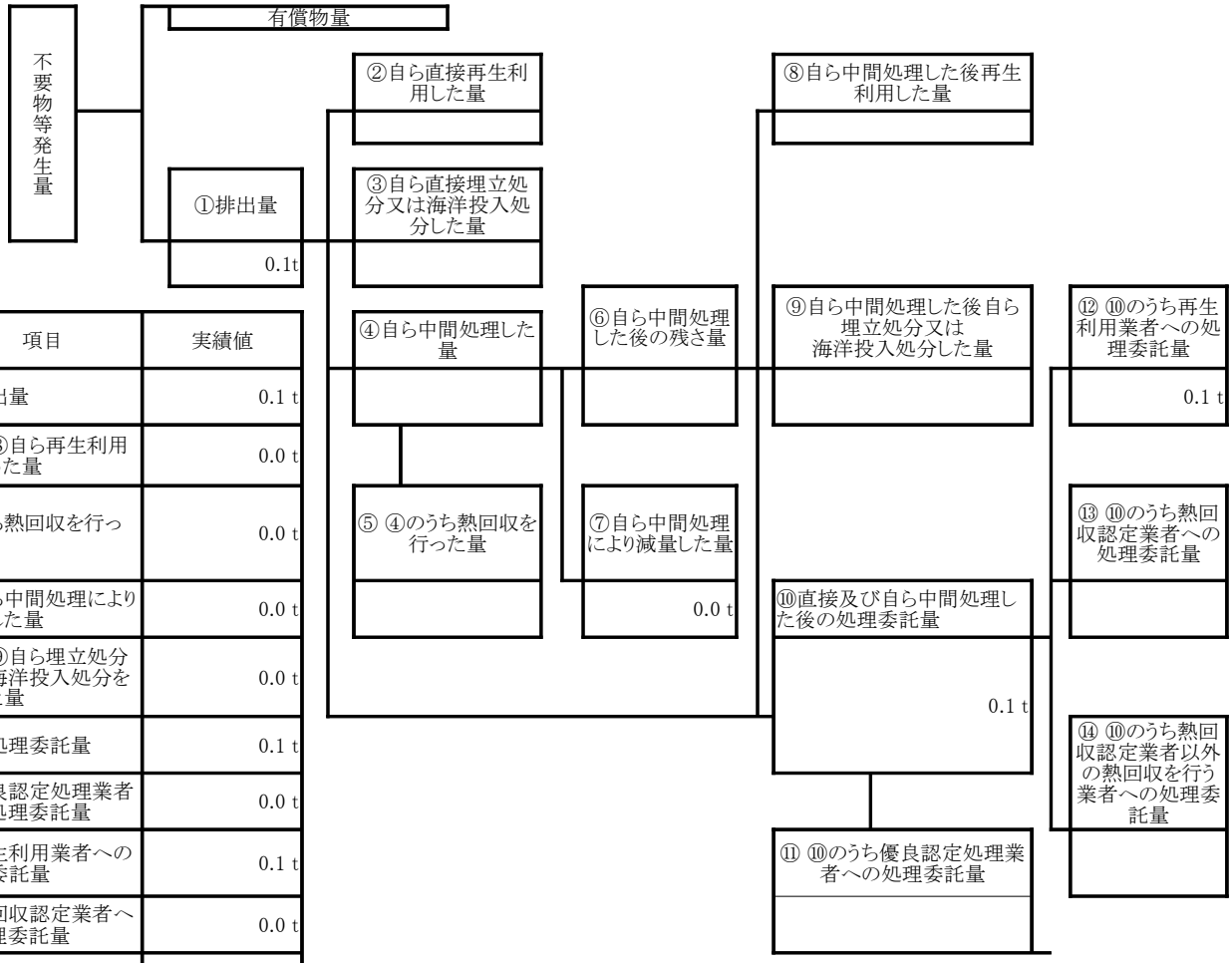


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



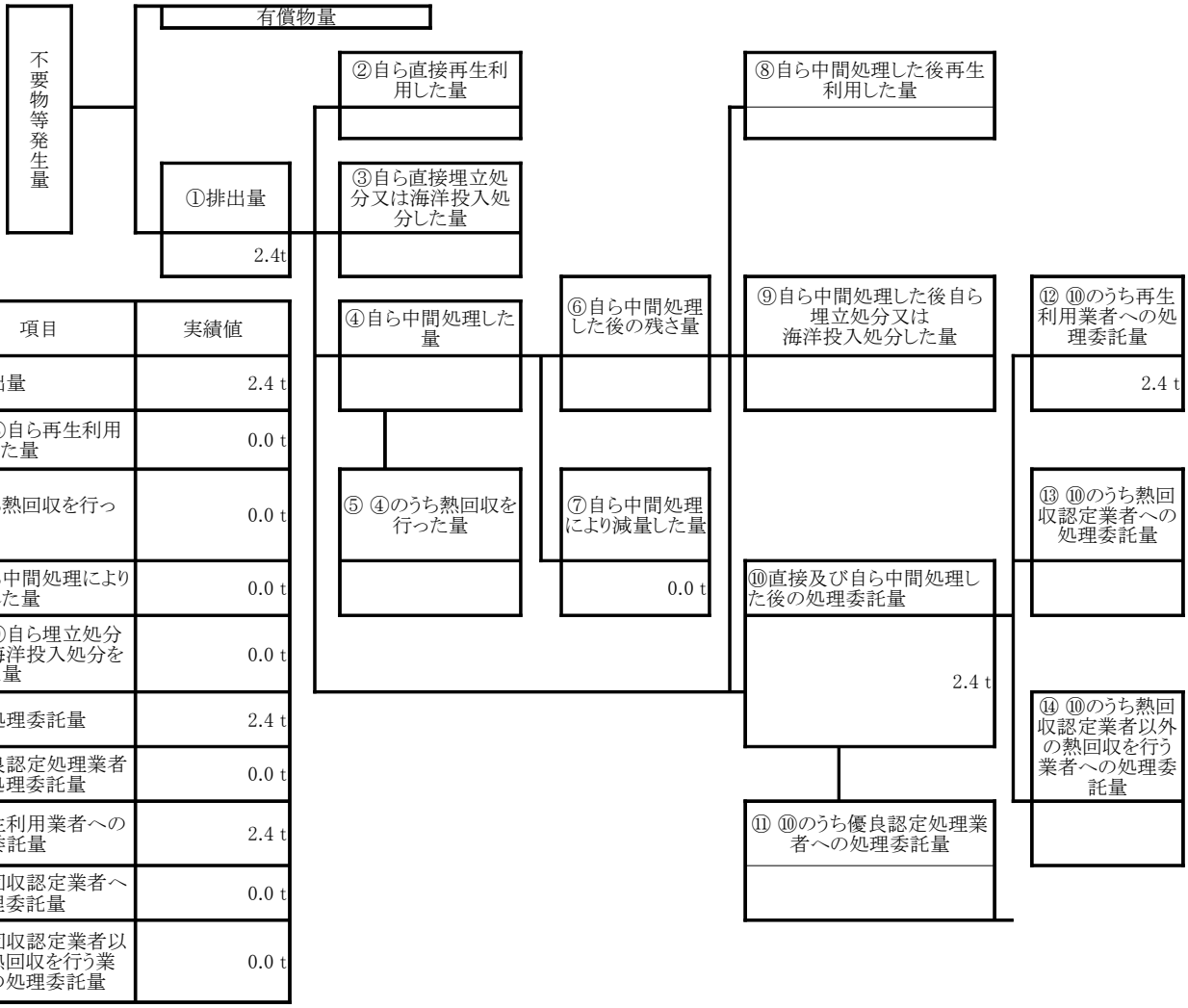
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

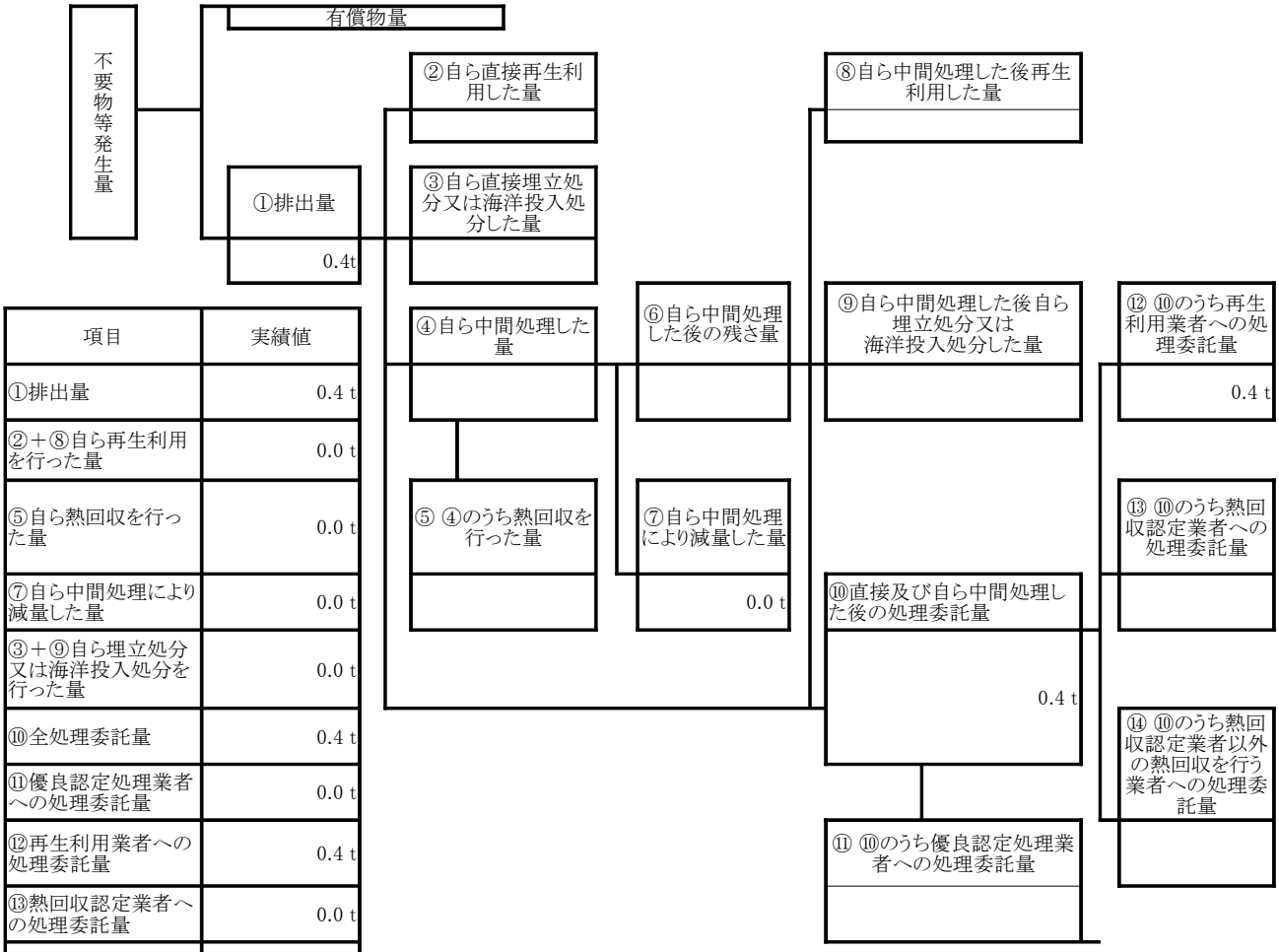


項目	実績値
①排出量	2.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　144-0042

住　所　東京都大田区羽田旭町11-1

法人名　荏原環境プラント株式会社　エンジニアリング本部　プラント建設部

代表者　秋葉 直人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　050-3416-4029

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東関東メンテナンス工事管理事務所（流山）
事業場の所在地	千葉県流山市下花輪191　流山市クリーンセンター内
計画期間	令和7年7月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請工事完成高：4.5億円
③従業員数	2
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	清掃施設整備作業→燃え殻→委託処理（中間処理）→（最終処分） 清掃施設整備作業→汚　泥→委託処理（中間処理）→（最終処分）

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
本社エンジニアリング本部　プラント建設部 部長
↓
本社エンジニアリング本部　プラント建設部　関東メンテナンス工事課長
↓
東関東メンテナンス工事管理事務所（流山）　現場代理人（処理計画作成及び廃棄物担当）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
排出量	44.95 t	6.34 t

（これまでに実施した取組）
排出物の分別および減量化

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
排出量	40 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
排出物の分別および減量化

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
作業工程毎の排出物確認、分別

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
作業工程毎の排出物確認、分別

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		燃え殻	汚泥
全処理委託量		44.95 ｔ	6.34 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	44.95 ｔ	6.34 ｔ
	再生利用業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

排出物の分別ならび減量化

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>燃え殻</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>40 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>40 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
排出物の分別ならび減量化</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 51.29 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
既に、電子マニフェストを導入済。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-2613

住　所　千葉県旭市後草75

法人名　遠藤建設株式会社

代表者　伊藤　幸夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-55-5171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	遠藤建設株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市後草75番地
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	12億円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	作業所→委託処理（中間処理）→再資源化 作業所→委託処理（中間処理） 委託処理（中間処理）→委託処理（最終処分場）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
社長→事業部→作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	
	排出量	1639.5 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		排　出　量	1639.5 t	205.2 t	286.3 t	64.6 t	3.5 t	11.6 t	0.6 t	113.3 t	3.4 t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		排　出　量	1639 t	205 t	286 t	64 t	3 t	11 t	0 t	113 t	3 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
	全処理委託量	1639.5 t	205.2 t	286.3 t	64.6 t	3.5 t	11.6 t	0.6 t	113.3 t	3.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1639.5 t	205.2 t	286.3 t	64.6 t	3.5 t	11.6 t	0.6 t	113.3 t	3.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	コンクリートがら	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	その他混合廃棄物
	全処理委託量	1639 t	205 t	286 t	64 t	3 t	11 t	0 t	113 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1639 t	205 t	286 t	64 t	3 t	11 t	0 t	113 t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-2613

住所 千葉県旭市後草75

法人名 遠藤建設株式会社

代表者 平野 全浩

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-55-5171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	遠藤建設株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市後草75番地
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

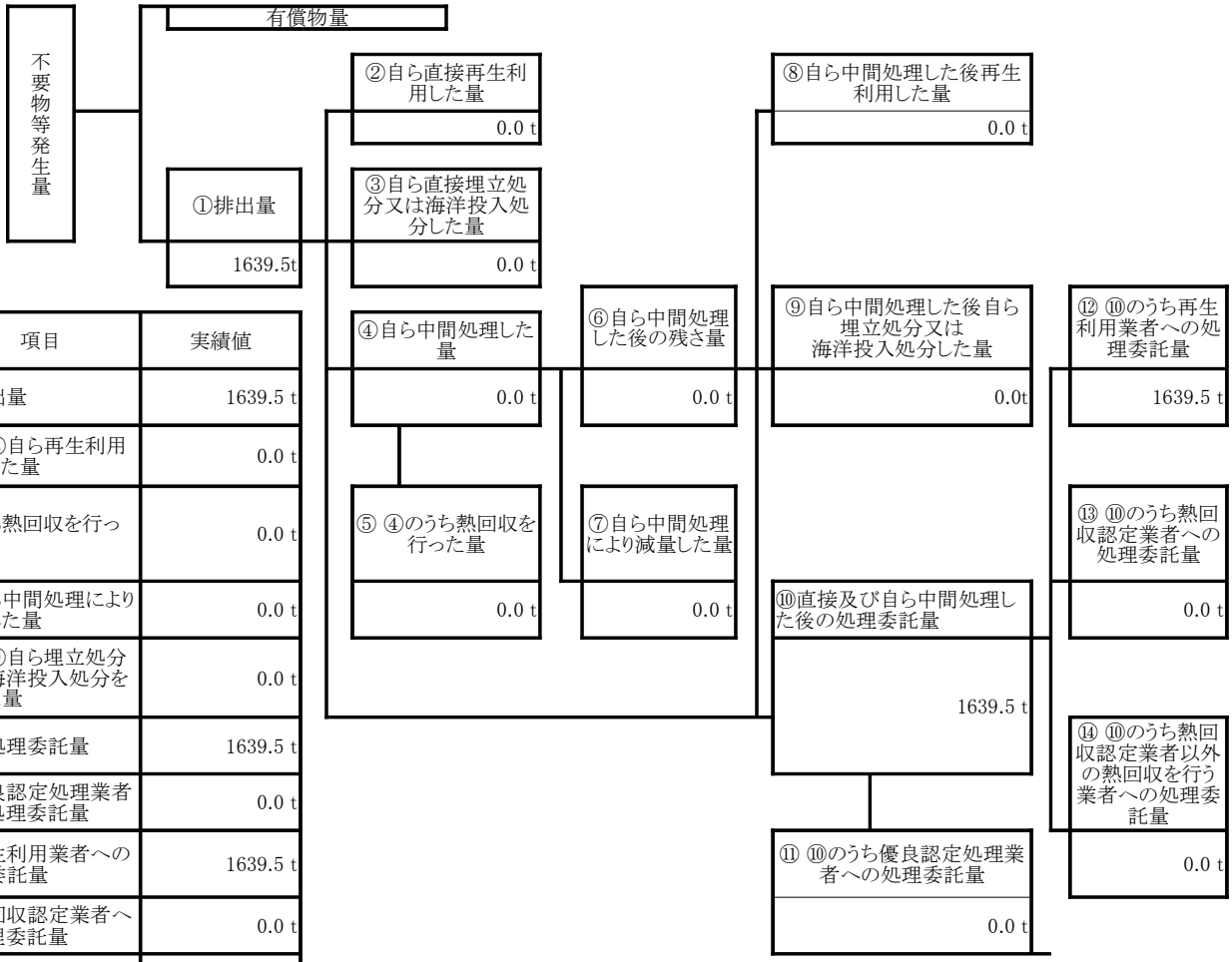
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1993 t	全処理委託量	1993 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1993 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

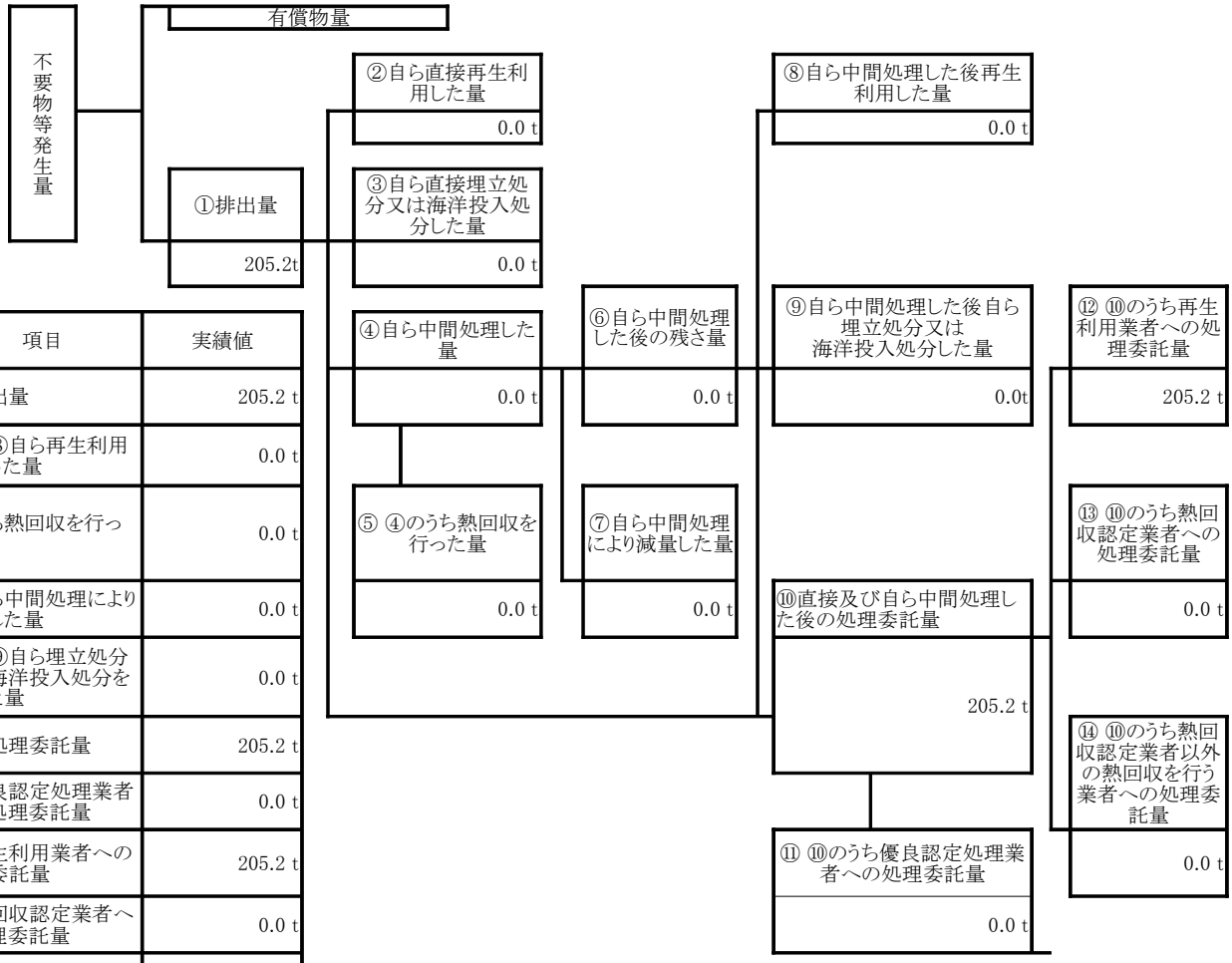


項目	実績値
①排出量	1639.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1639.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1639.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

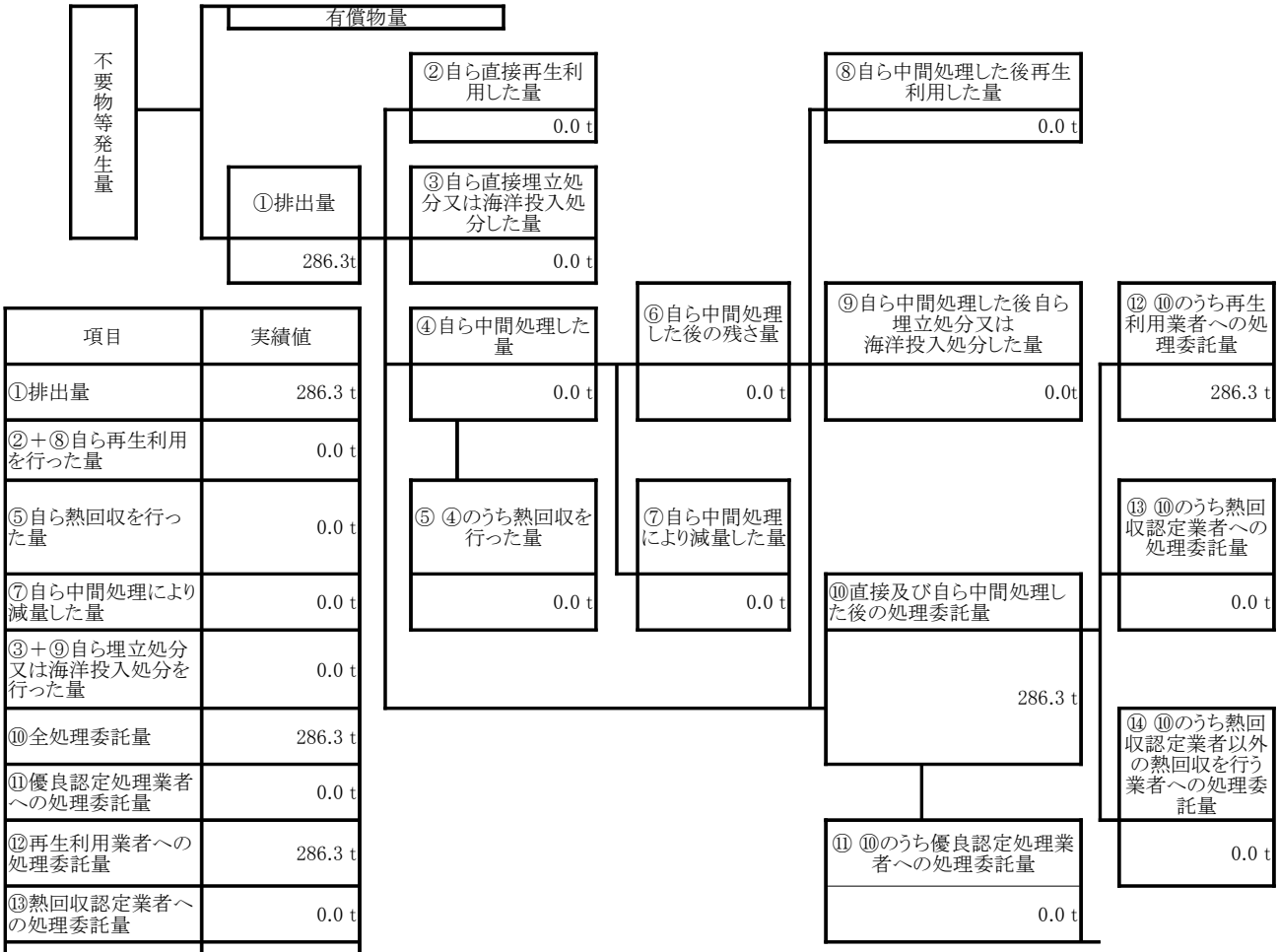


項目	実績値
①排出量	205.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	205.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	205.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

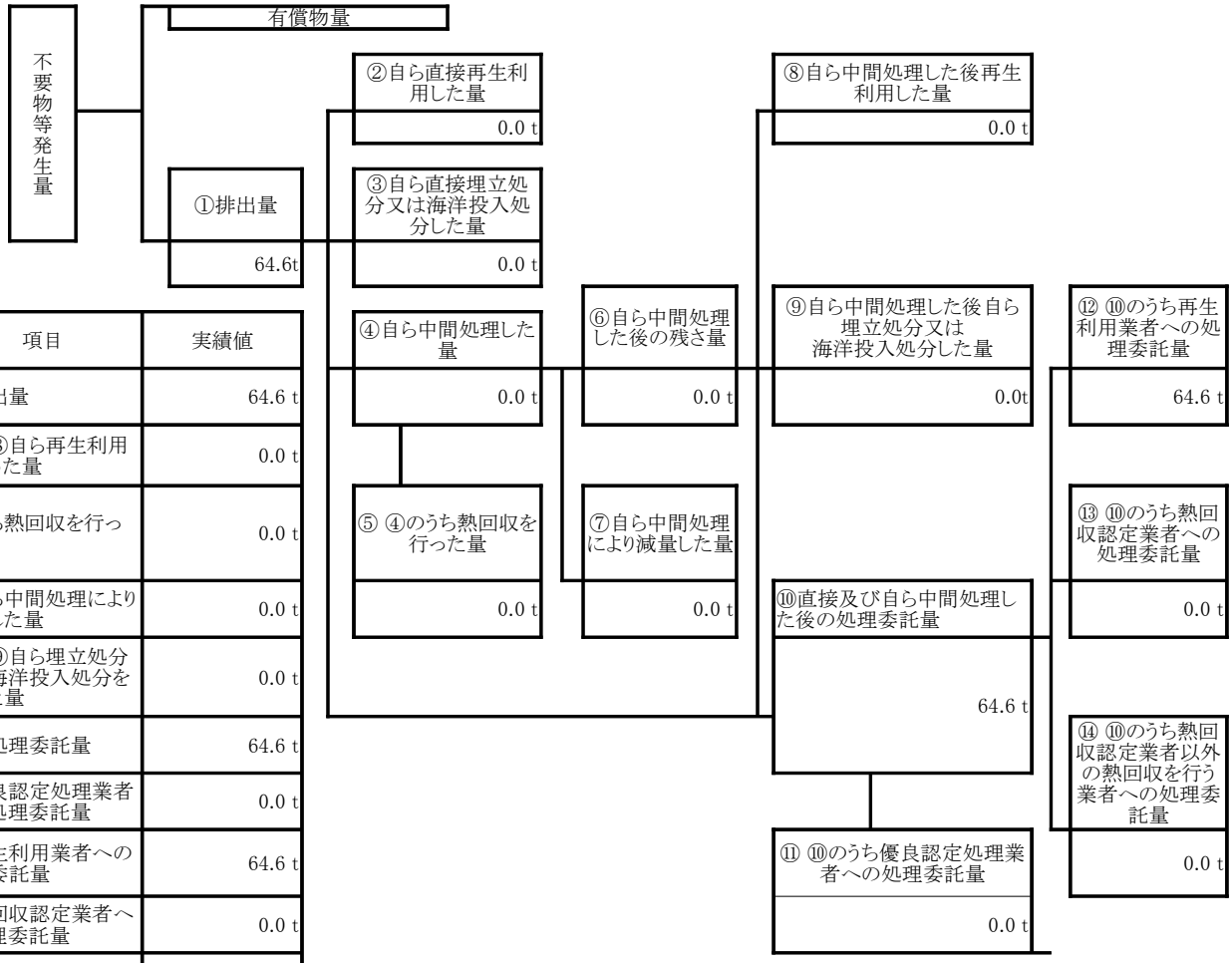


項目	実績値
①排出量	286.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	286.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	286.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

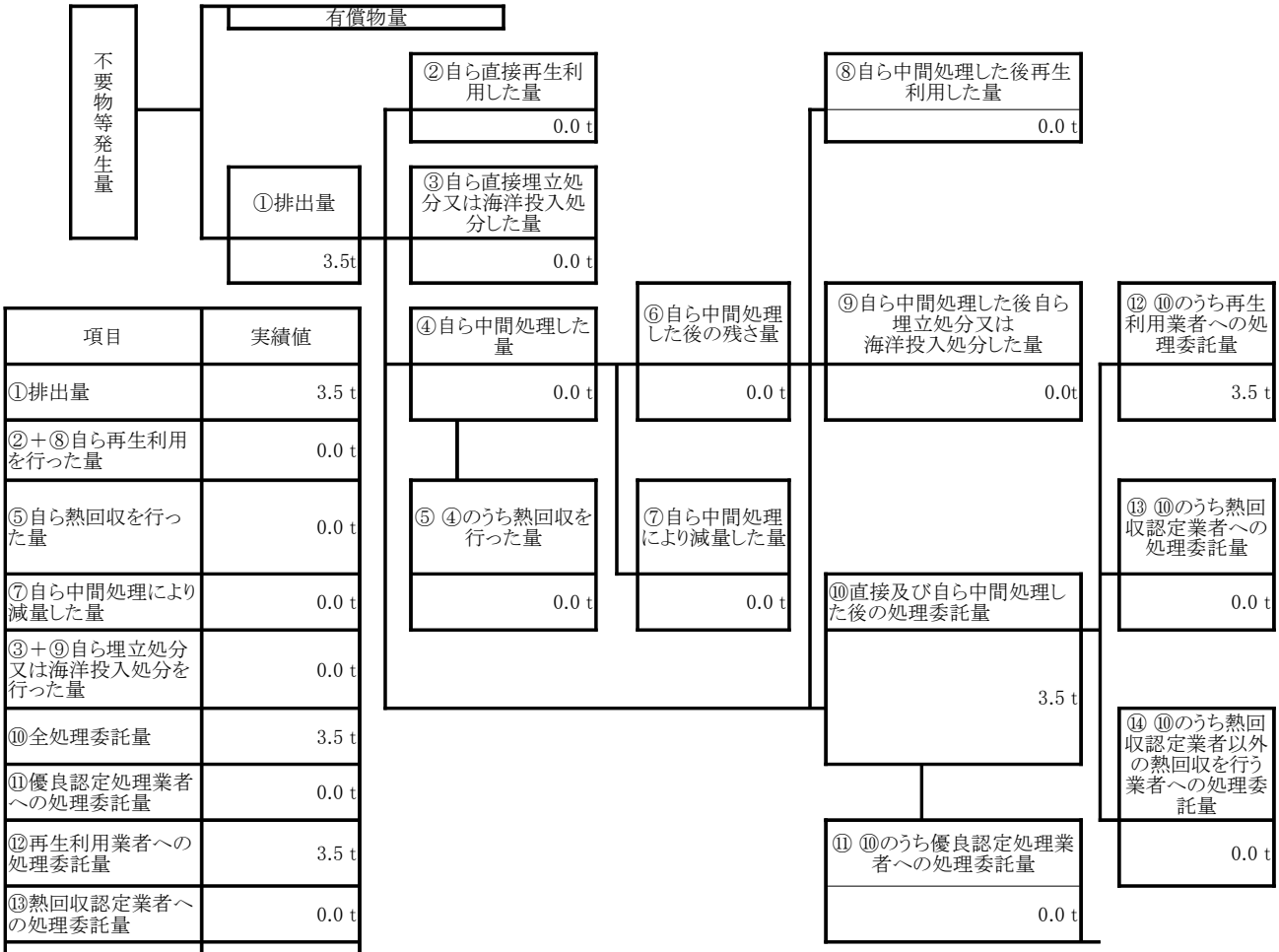


項目	実績値
①排出量	64.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	64.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	64.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

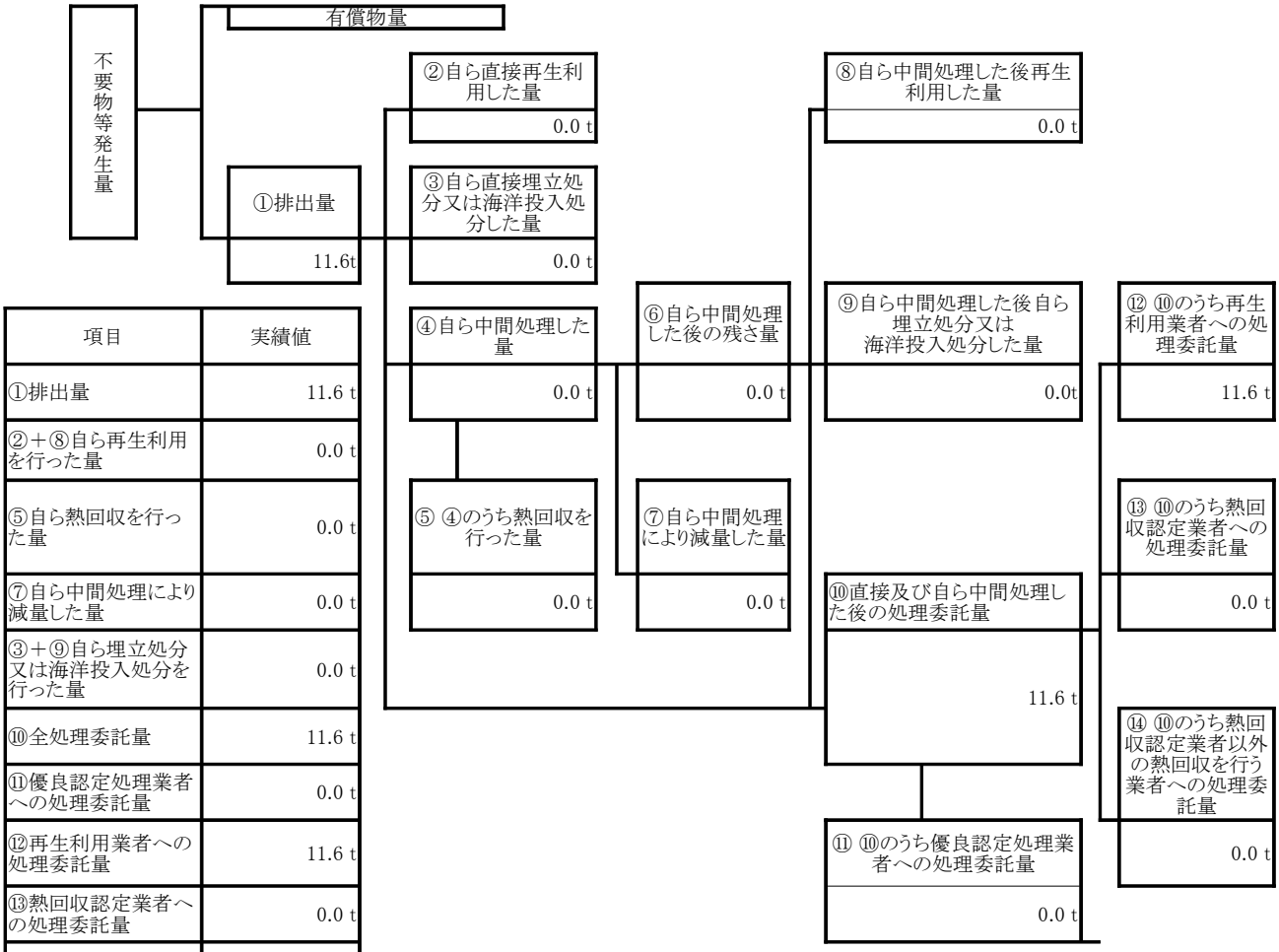


項目	実績値
①排出量	3.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

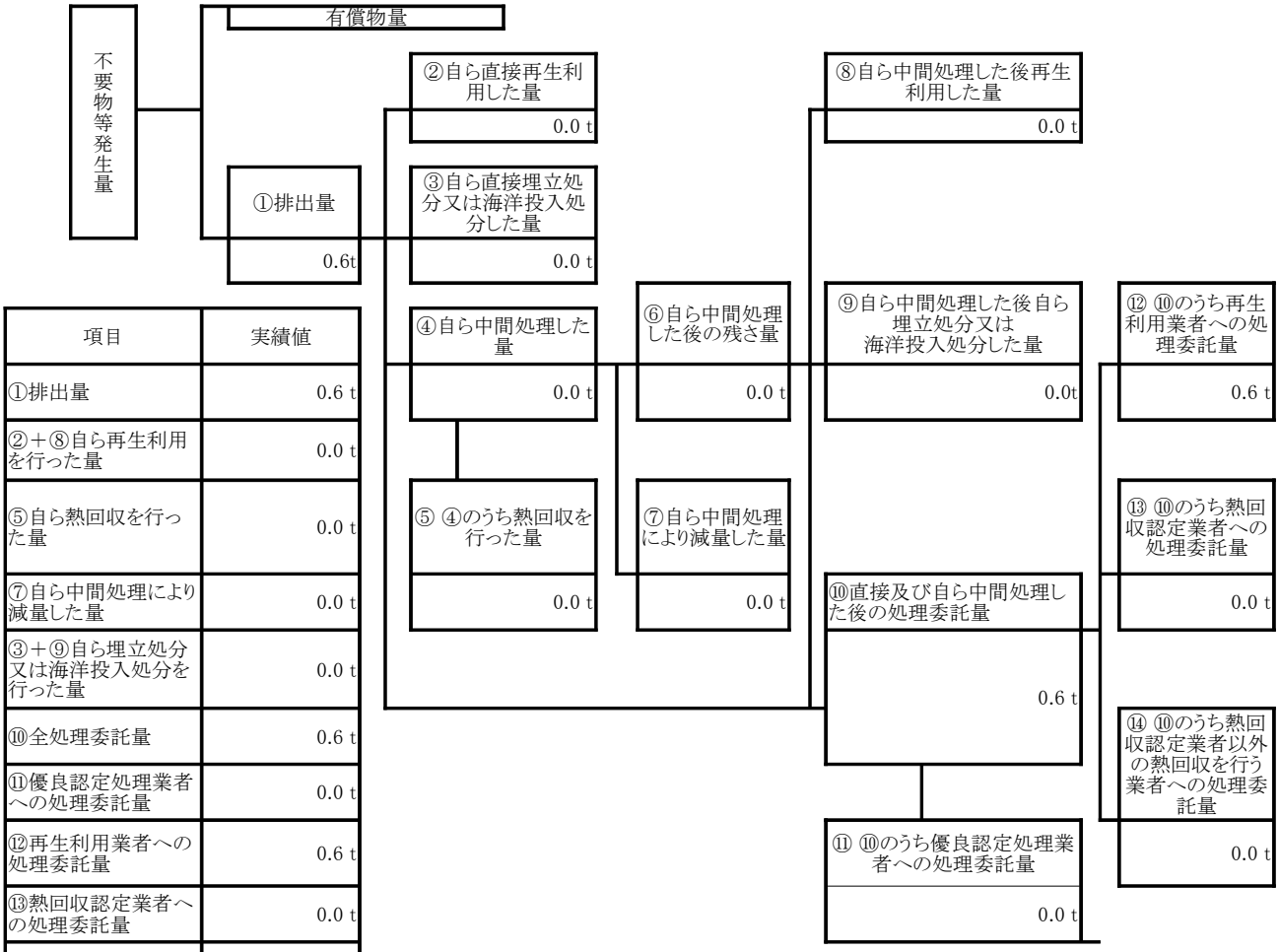


項目	実績値
①排出量	11.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

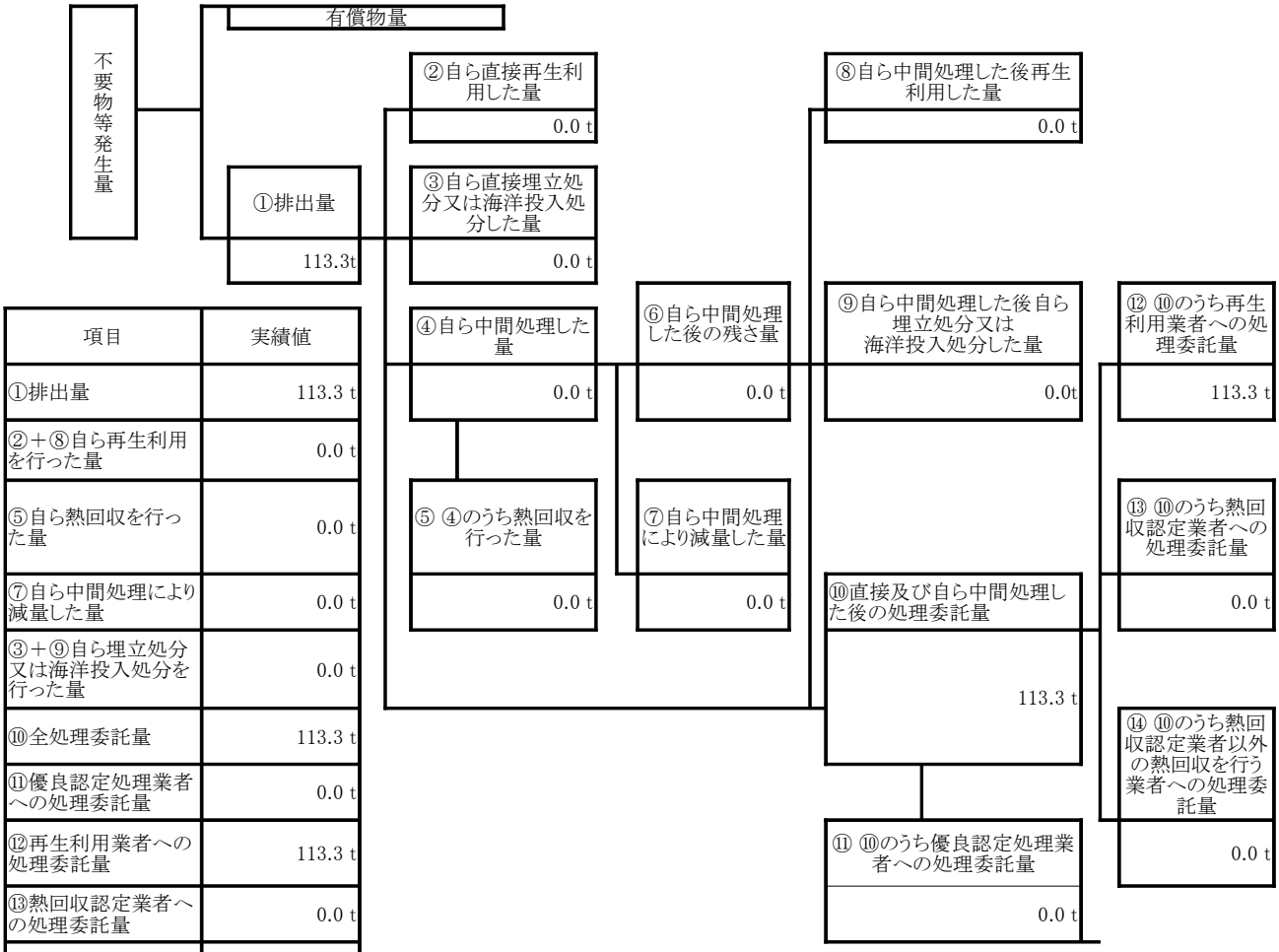


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

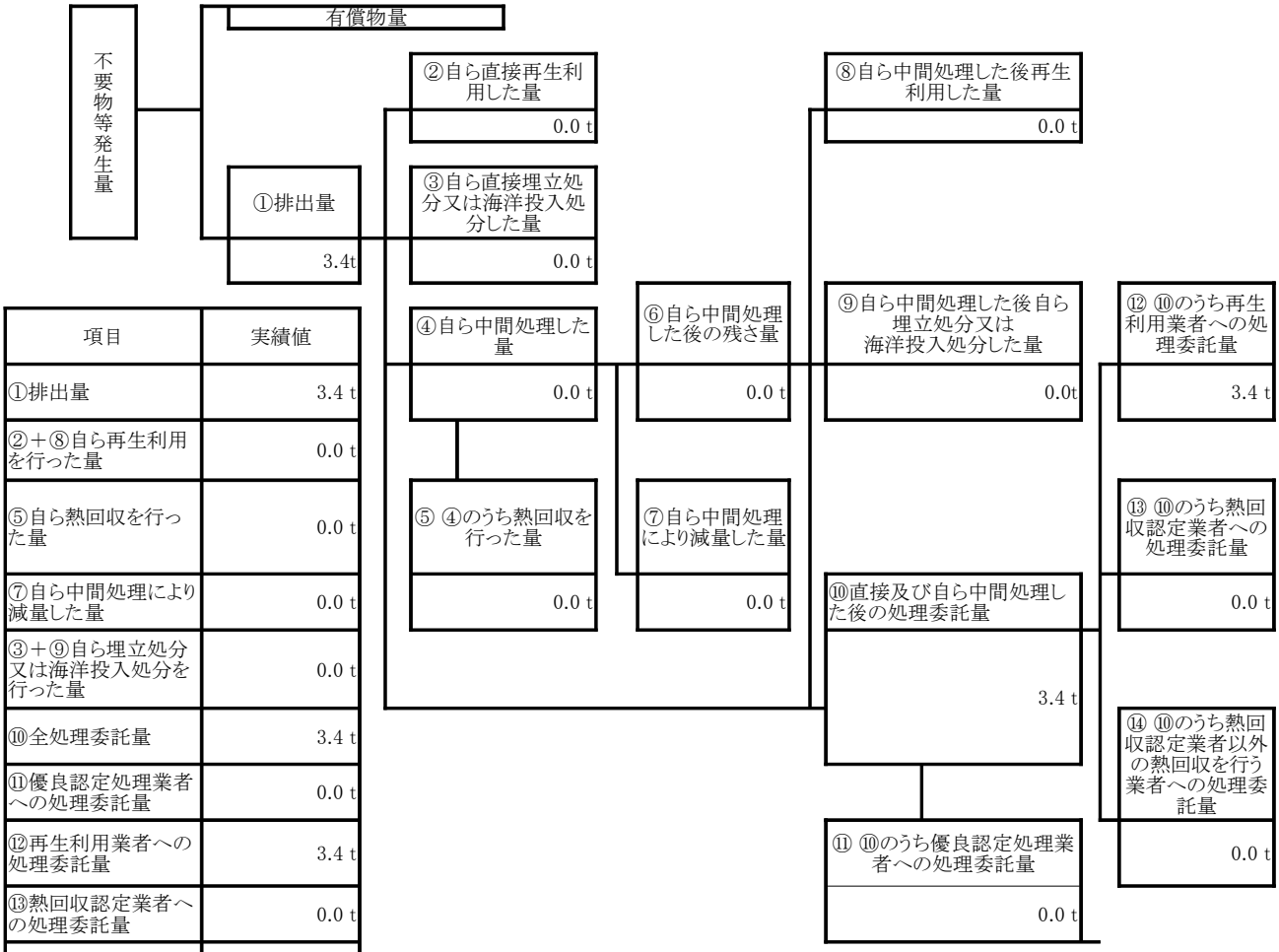


項目	実績値
①排出量	113.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	113.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	113.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月　30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒272-0826

住　所　千葉県市川市真間3-10-23

氏　名　株式会社大城組
代表取締役社長　佐々木建雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-322-1166

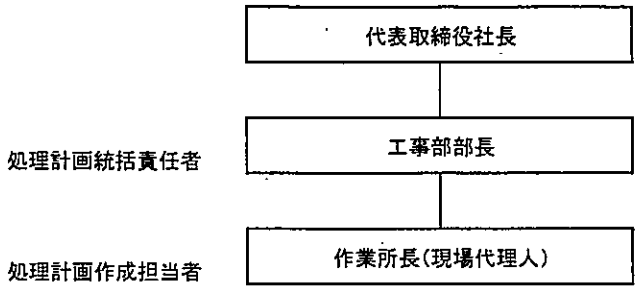
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大城組
事業場の所在地	〒272-0826　千葉県市川市真間3-10-23
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　75億円
③　従業員数	64名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートガラ→破砕→再生砕石として再利用 アスコンガラ→破砕→再利用 木くず→破砕→再利用 廃プラスチック→破砕→再利用 金属くず→再生化 廃石膏ボード→再生化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
排出量	3996.32 t	268.62 t

（これまでに実施した取組）
作業所における建設副産物発生抑制の実施
徹底した分別による混合廃棄物の抑制

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
排出量	1000 t	250 t

（今後実施する予定の取組）
現状を継続して実施していく

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
金属くず・木くず・プラスチック類・段ボール・石膏ボード他、
作業所に合わせた分別の実施

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状を継続して実施していく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	管理型混合廃棄物
全処理委託量	3996.32 t	268.62 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	3996.32 t	268.62 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		コンクリートがら	管理型混合廃棄物
	全処理委託量		1000 t	250 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	1000 t	250 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）			
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		排　出　量	0.15 t	799.7 t	0.45 t	106.21 t	100.62 t	231 t	60.29 t	95.6 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		排　出　量	0 t	2000 t	0 t	120 t	100 t	210 t	0 t	50 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	0.15 t	799.7 t	0.45 t	106.21 t	100.62 t	231 t	60.29 t	95.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0.15 t	799.7 t	0.45 t	106.21 t	100.62 t	231 t	60.29 t	95.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥・廃アルカリ混合物	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	0 t	2000 t	0 t	120 t	100 t	210 t	0 t	50 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	2000 t	0 t	120 t	100 t	210 t	0 t	50 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		排　出　量	20.3 t	102.92 t	1 t	79.1 t	663.7 t	1.53 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		排　出　量	10 t	100 t	0 t	70 t	200 t	1 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
	全処理委託量	20.3 t	102.92 t	1 t	79.1 t	663.7 t	1.53 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20.3 t	102.92 t	1 t	79.1 t	663.7 t	1.53 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	ALC	その他がれき類	アスファルトガラ	安定型建設混合廃棄物		
	全処理委託量	10 t	100 t	0 t	70 t	200 t	1 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	100 t	0 t	70 t	200 t	1 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年　6月　１０日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

君津
地域振興事務所
-7.6.20
収受

提出者　〒293-0011

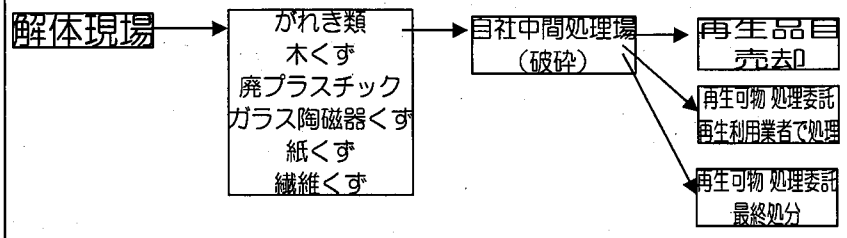
住　所　千葉県富津市新富64番地3

氏　名　有限会社　大滝商会

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
代表取締役　大瀧　勝明

電話番号　　0439-87-4683

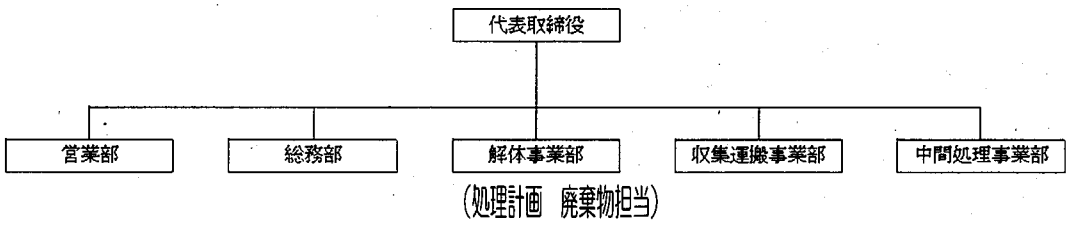
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：有限会社　大滝商会
事業場の所在地	〒293-0011 千葉県富津市新富64番地3
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	元請完成工事高　51百万円
③　従業員数	正社員28人　パート従業員2名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	4343.5 t	295.8 t
	（これまでに実施した取組） ・解体工事時の分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	3900 t	260 t
	（今後実施する予定の取組） ・廃棄物の分別の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別に関する環境教育を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・解体現場だけでなく自社中間処理場でも分別を徹底し、 再資源化・再利用を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4185.9 t	295.2 t

（これまでに実施した取組）
・再生砕石、木チップの売却先を開拓する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3700 t	250 t

（今後実施する予定の取組）
・再生砕石、木チップの売却先を開拓する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	157.6 t	0.3 t

（これまでに実施した取組）
・分別を徹底し、埋立処分の減量化する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	130 t	0.1 t

（今後実施する予定の取組）
・分別を徹底し、埋立処分の減量化する。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全処理委託量	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
・解体工事時の分別の徹底

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・解体工事時の分別の徹底</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		排　出　量	39.2 t	70.6 t	0.7 t	6.3 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		排　出　量	20 t	20 t	0.5 t	4 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	39.2 t	48.8 t	0.5 t	5.4 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	20 t	15 t	0.3 t	3.5 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	21.8 t	0 t	0.9 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	5 t	0 t	0.5 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
	全処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス陶磁器くず	紙くず	繊維くず				
	全処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6 月10 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒293-0011
住 所　千葉県富津市新富64番地3
氏 名　有限会社 大滝商会
代表取締役 大瀧 勝明
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0439-87-4683

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	建設業:有限会社 大滝商会
事業場の所在地	〒293-0011 千葉県富津市新富64番地3
事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

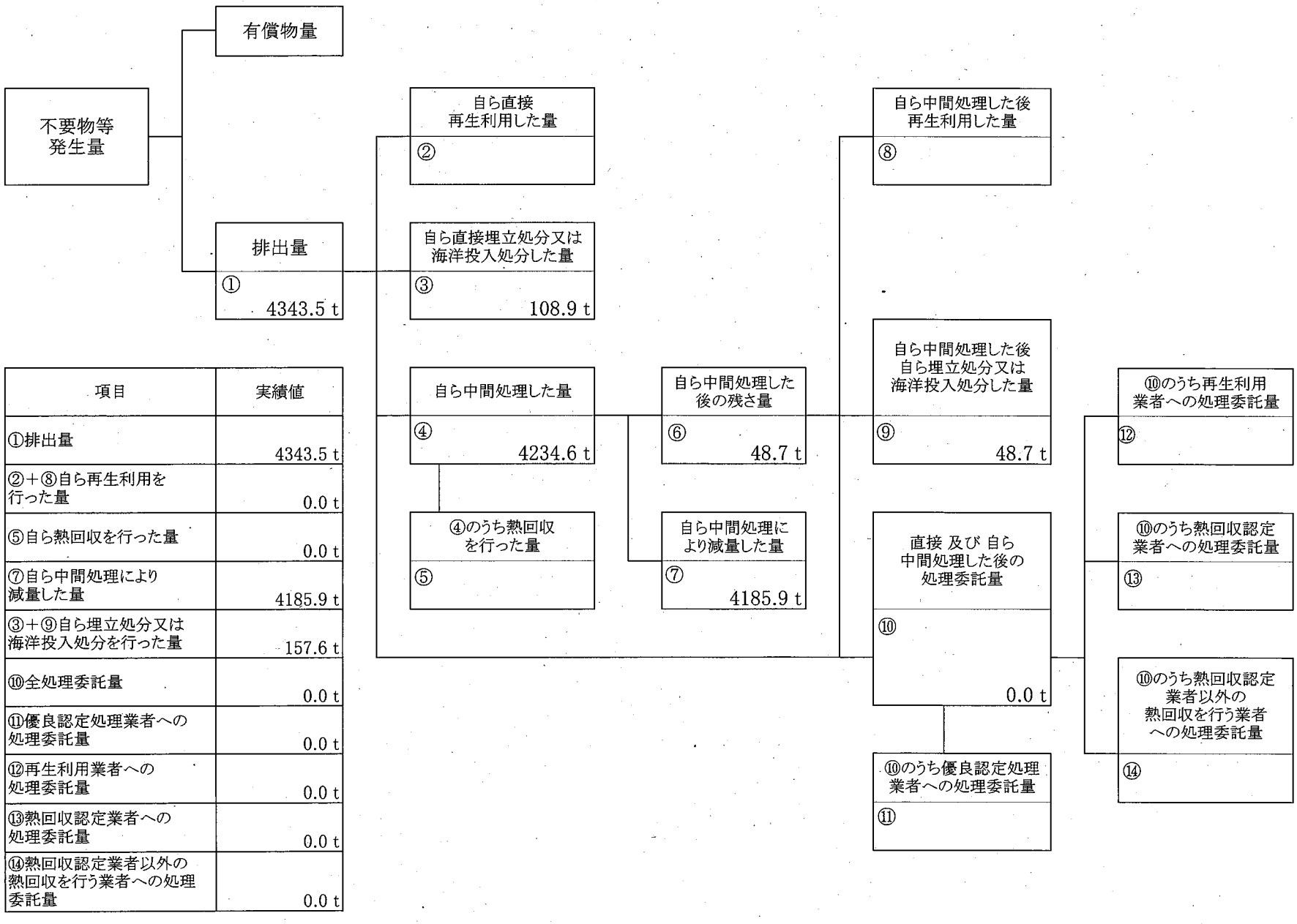
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5913.3 t	全処理委託量	0.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5913.3 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

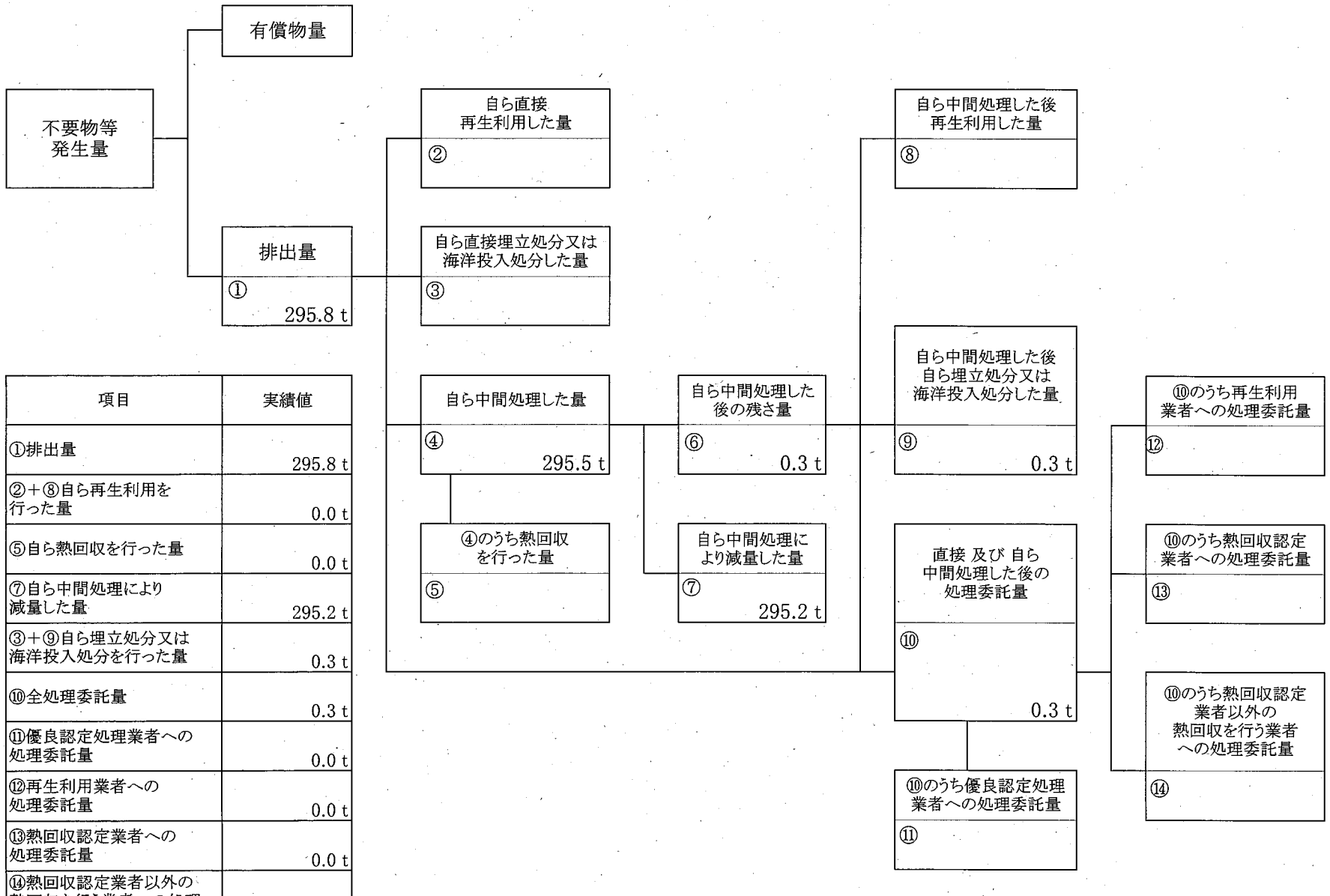


項目	実績値
①排出量	4343.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	4185.9 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	157.6 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

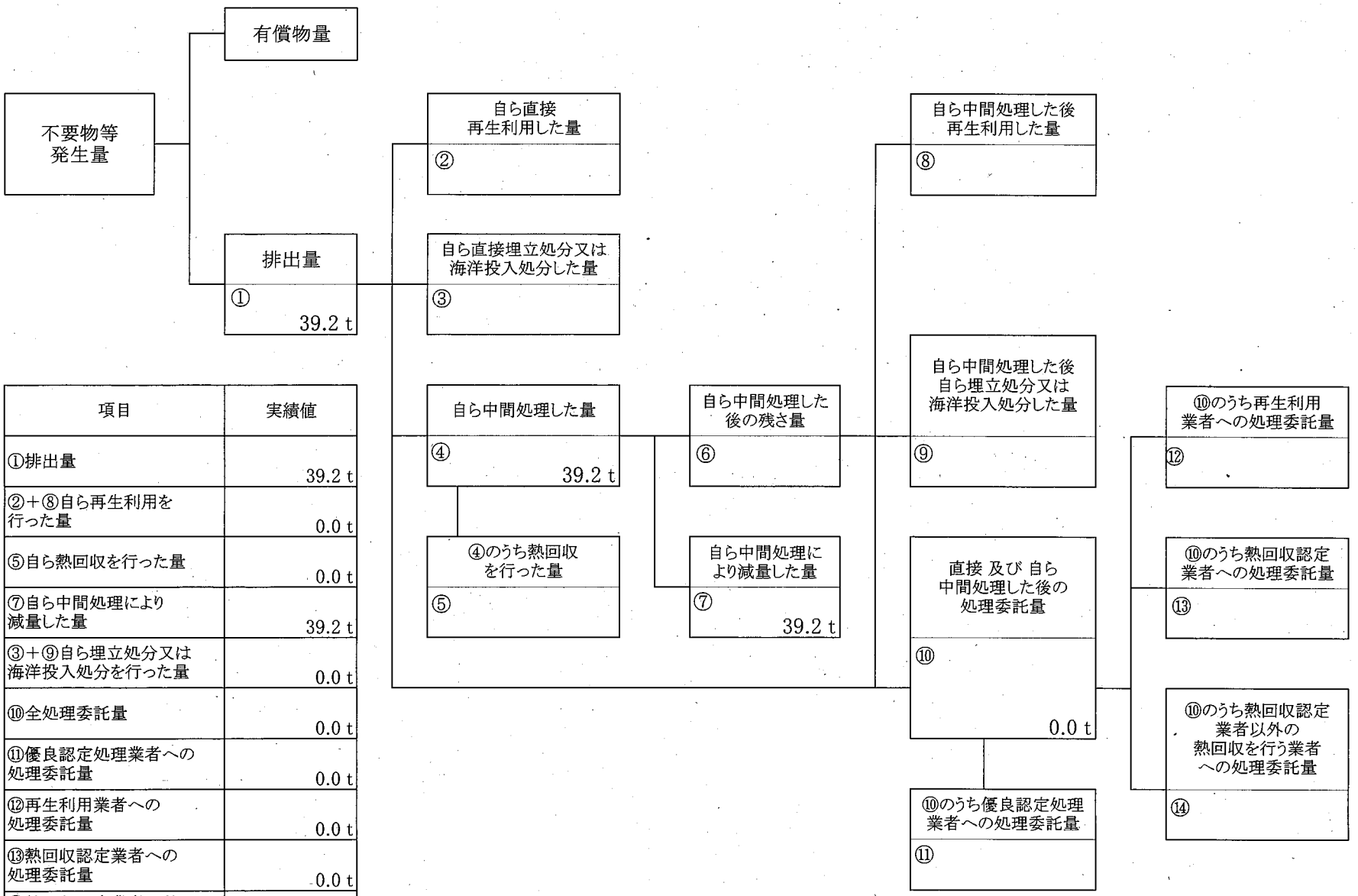


項目	実績値
①排出量	295.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	295.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.3 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック　　）

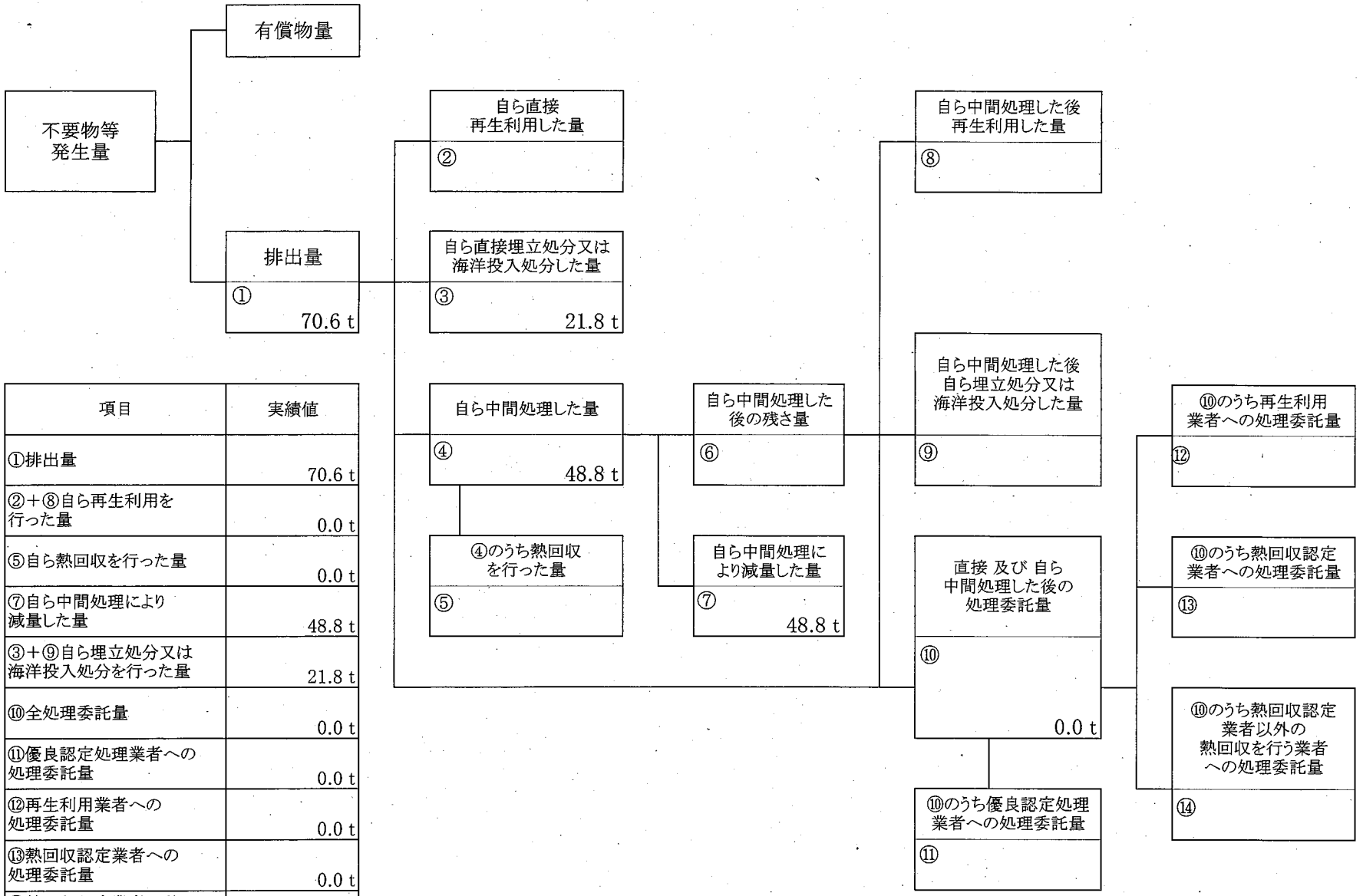


項目	実績値
①排出量	39.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	39.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス陶磁器くず　．）

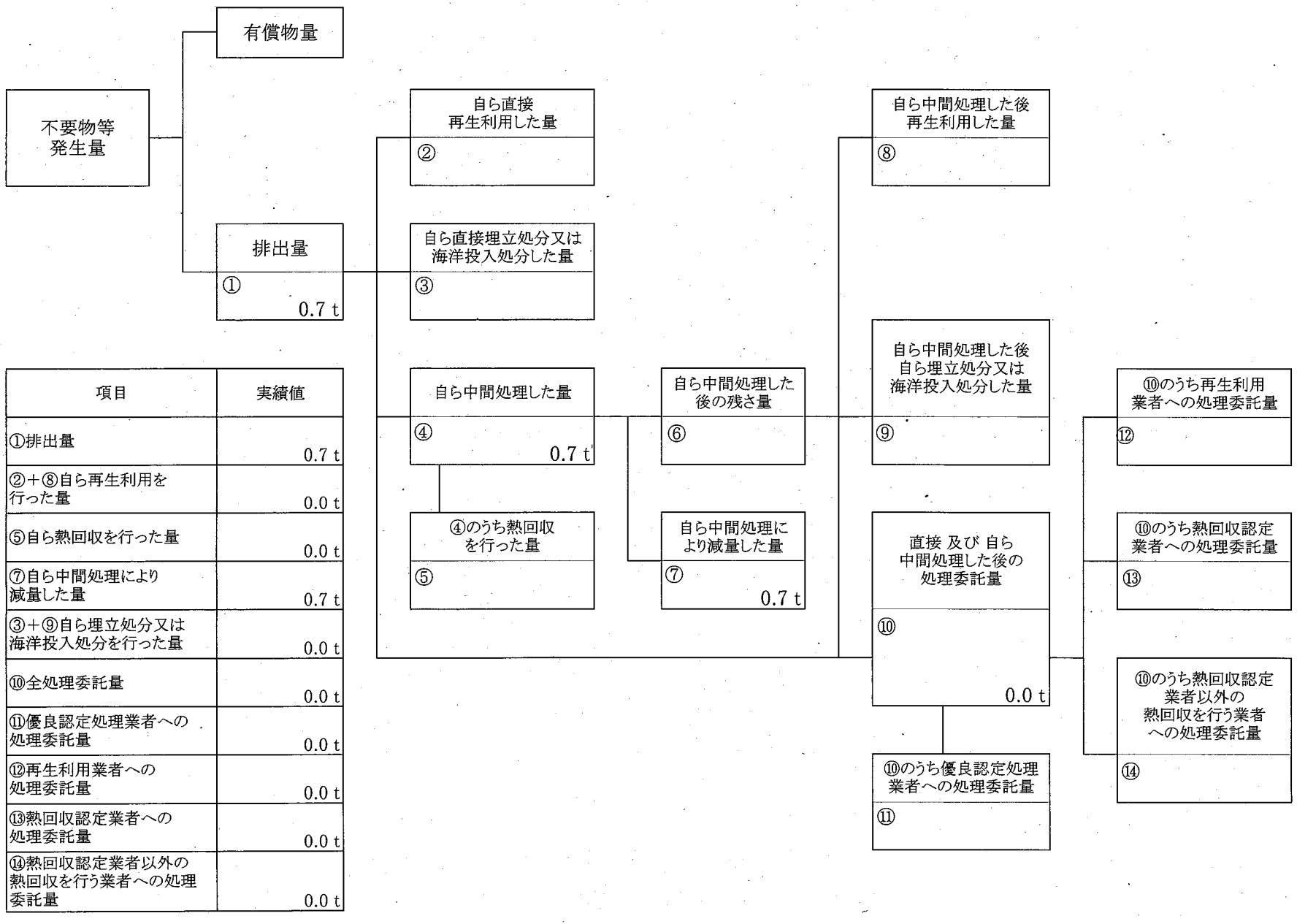


項目	実績値
①排出量	70.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	48.8 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	21.8 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

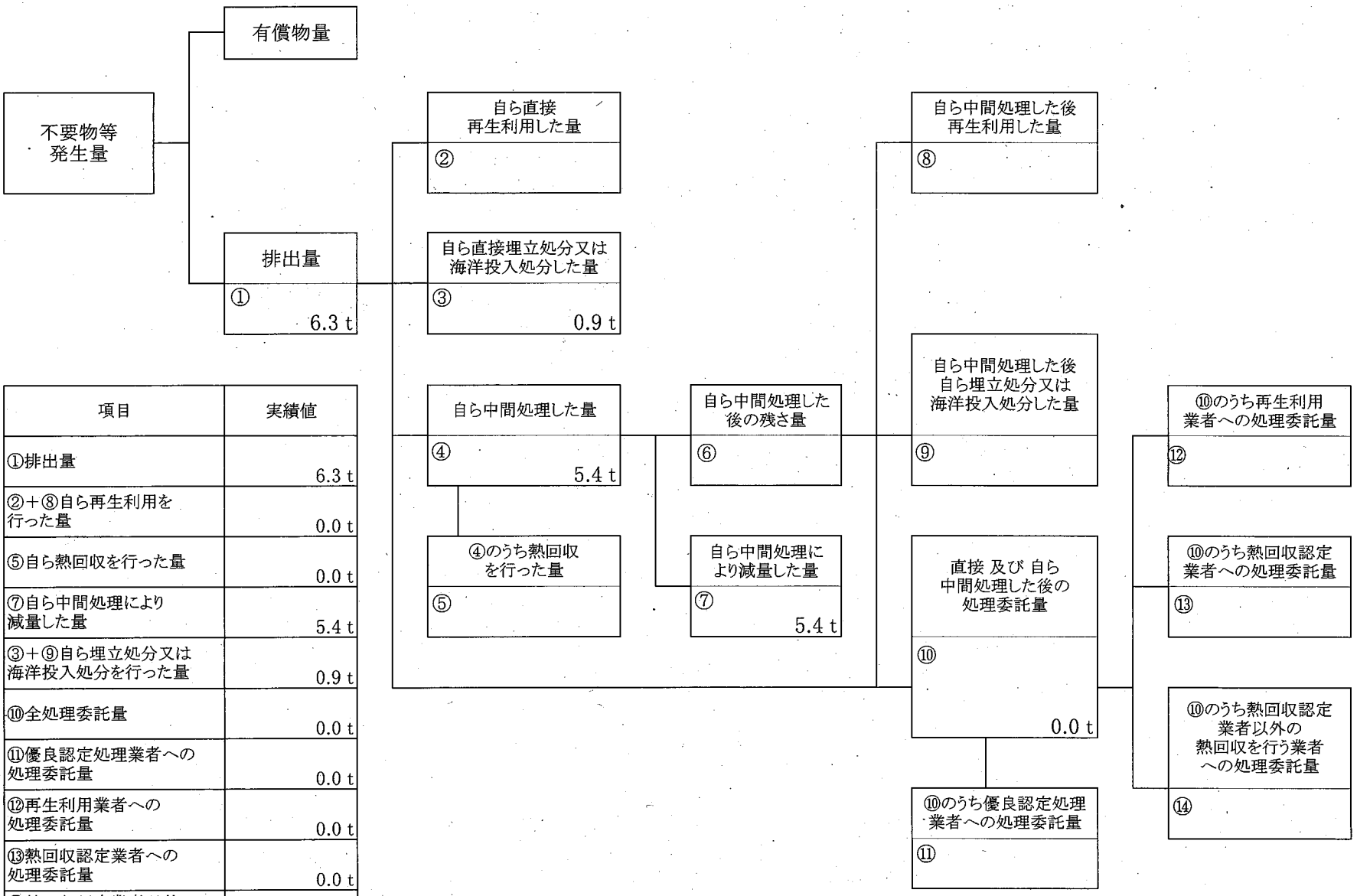


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.7 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　繊維くず　）



項目	実績値
①排出量	6.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	5.4 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.9 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　５月１９日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　松戸市和名ケ谷５７０番地４
住　所　　株式会社　大　　富
氏　名　　代表取締役　松川　朋子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　０４７（３９１）７０００

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大　富
事業場の所在地	松戸市和名ケ谷５７０番地４
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

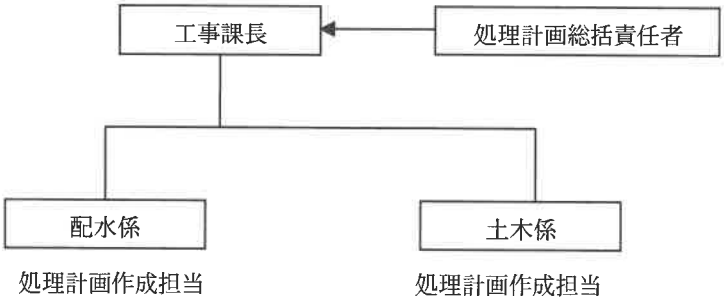
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　１．４億円
③従業員数	２７人（正社員２７人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事工程 → アスファルトコンクリートがら　コンクリートがら　がれき類　汚泥 → 委託処理（中間処理業者） → 再生

千葉県　東葛飾地域振興事務所　-7.5.23　収受

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
排　出　量	410.5ｔ	8.1ｔ	548.2ｔ	6.8ｔ

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
排　出　量	410.0ｔ	7.0ｔ	545.0ｔ	6.0ｔ

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：

工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：

原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
全処理委託量	410.5ｔ	8.1ｔ	548.2ｔ	6.8ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	410.5ｔ	8.1ｔ	548.2ｔ	6.8ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
全処理委託量	410.0ｔ	7.0ｔ	545.0ｔ	6.0ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	410.0ｔ	7.0ｔ	545.0ｔ	6.0ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「ー」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒108-8502

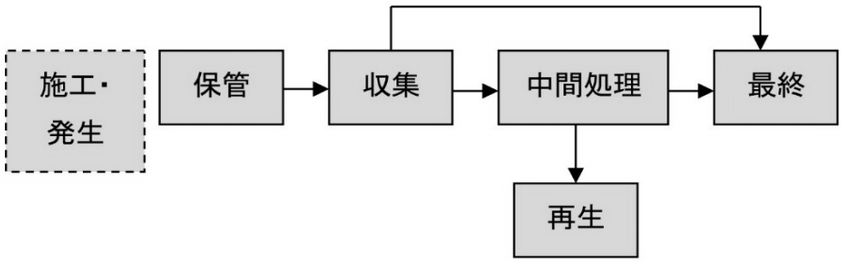
住　所　東京都港区港南2-15-2
品川インターシティB棟

氏　名　株式会社大林組　東京本店
副社長執行役員　東京本店長　矢野　基

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5769-1390

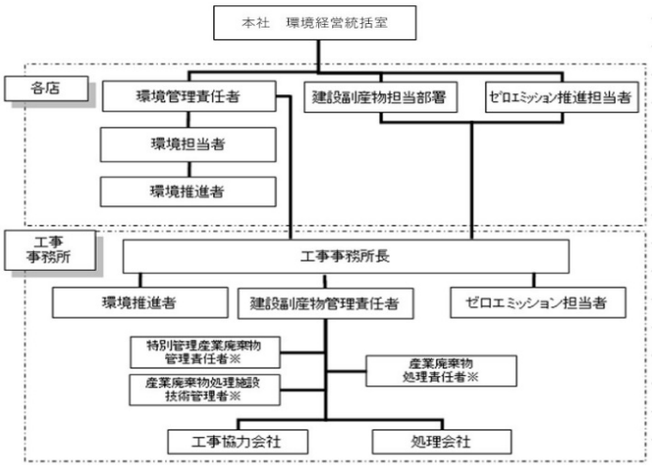
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大林組　東京本店
事業場の所在地	〒108-8502　東京都港区港南2-15-2　品川インターシティB棟 （千葉市、船橋市、柏市を除く千葉県内事業場分）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	１２，２３５百万円
③　従業員数	１２９名（令和7年3月現在）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
排出量	508.65　t	61.41　t

（これまでに実施した取組）

(1)施工高あたりの汚泥を除く新築系産業廃棄物排出量に管理目標値を設定し総排出量の削減を図る
(2)新築建築工事の混合廃棄物について工事規模・種類別に目標値を設定し
(3)混合廃棄物の発生を抑制する従来の方法により排出量の減少を図る
・　施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等）
・　梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
排出量	470　t	60　t

（今後実施する予定の取組）

上記「①現状」の取組を継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

(1)新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定
(2)分別方法
・分別品目の決定（スペースに応じて４～１０品目程度）
・現場内に廃棄物ストックヤードを確保（コンテナ置場と回収車の停車スペース、コンテナ毎に分別ステッカーの貼付け）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

下記の分別方法を引続き行う
・分別品目の決定（スペースに応じて４～１０品目程度）
・現場内に廃棄物ストックヤードを確保（コンテナ置場と回収車の停車スペース、コンテナ毎に分別ステッカーの貼付け）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	508.65 t	61.41 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	61.41 t
再生利用業者への処理委託量	508.65 t	61.41 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・全現場でゼロエミッションを推進
・個々の現場で廃棄物排出量の目標を設定し削減に取り組む

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>470 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>470 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
上記「①現状」の取組を継続する
・全現場でゼロエミッションを推進
・個々の現場で廃棄物排出量の目標を設定し削減に取り組む</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
①現状	排出量	9.05 t	868.49 t	0.38 t	246.13 t	4.2 t	254 t	56.43 t	9959.04 t	1430.19 t	2508.94 t	0.04 t	107.65 t	1.27 t	0.79 t	2.4 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
②計画	排出量	10 t	800 t	0 t	230 t	0 t	230 t	50 t	9180 t	1320 t	2310 t	0 t	100 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
①現状	全処理委託量	9.05 t	868.49 t	0.38 t	246.13 t	4.2 t	254 t	56.43 t	9959.04 t	1430.19 t	2508.94 t	0.04 t	107.65 t	1.27 t	0.79 t	2.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.05 t	70.54 t	0.38 t	243.72 t	4.2 t	190.97 t	56.43 t	111.6 t	386.1 t	2451.8 t	0.02 t	107.65 t	1.27 t	0.79 t	2.4 t
	再生利用業者への処理委託量	9.05 t	868.49 t	0.38 t	246.13 t	4.2 t	254 t	56.43 t	9959.04 t	1430.19 t	2508.94 t	0.04 t	0 t	1.27 t	0.79 t	2.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	混合廃棄物（安定型）	混合廃棄物（管理型）	金属くず	廃石膏ボード	ガラスくず及び陶磁器くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	蛍光灯類	石綿含有産業廃棄物	廃油	廃アルカリ	繊維くず
②計画	全処理委託量	10 t	800 t	0 t	230 t	0 t	230 t	50 t	9180 t	1320 t	2310 t	0 t	100 t	0 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	60 t	0 t	220 t	0 t	180 t	50 t	100 t	360 t	2260 t	0 t	100 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	800 t	0 t	230 t	0 t	230 t	50 t	9180 t	1320 t	2310 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 20 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒108-8502
住 所　東京都港区港南2-15-2
品川インターシティB棟
氏 名　株式会社大林組 東京本店
副社長執行役員
東京本店長 矢野 基
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5769-1390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社大林組 東京本店
事業場の所在地	〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟 （千葉市、船橋市、柏市を除く千葉県内各事業場分）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

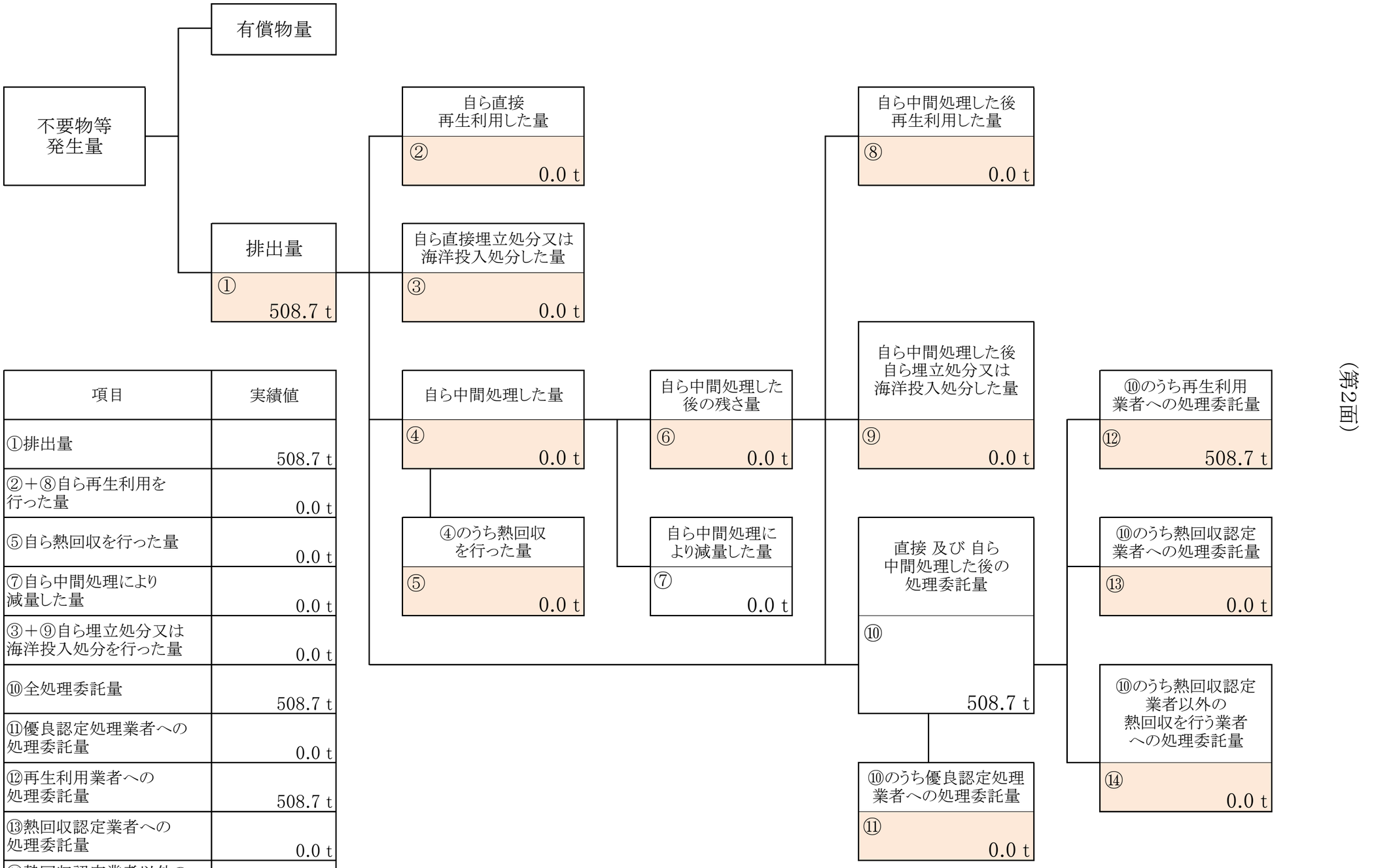
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	13420.0 t	全処理委託量	13420.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1930.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	11200.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

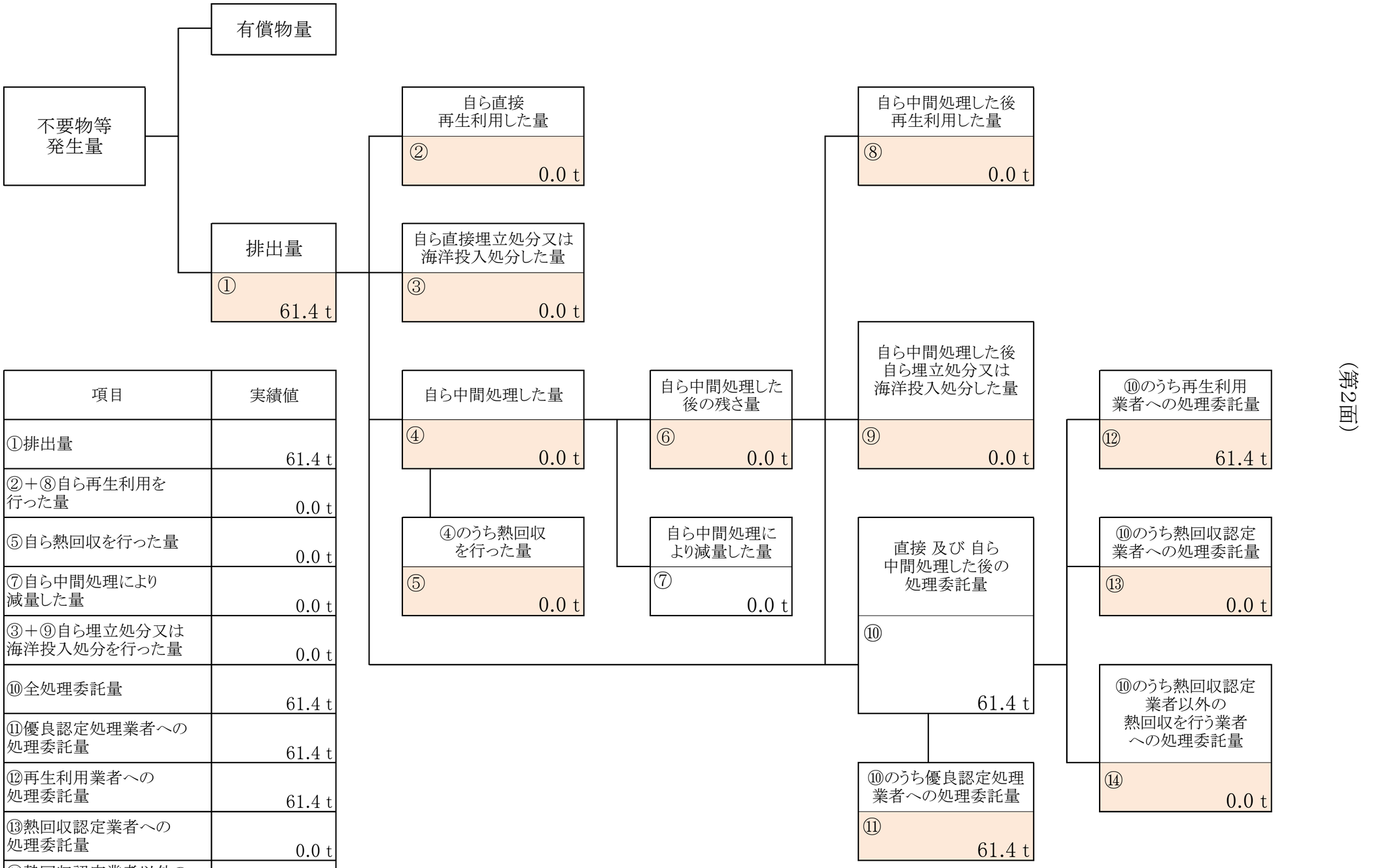


項目	実績値
①排出量	508.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	508.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	508.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

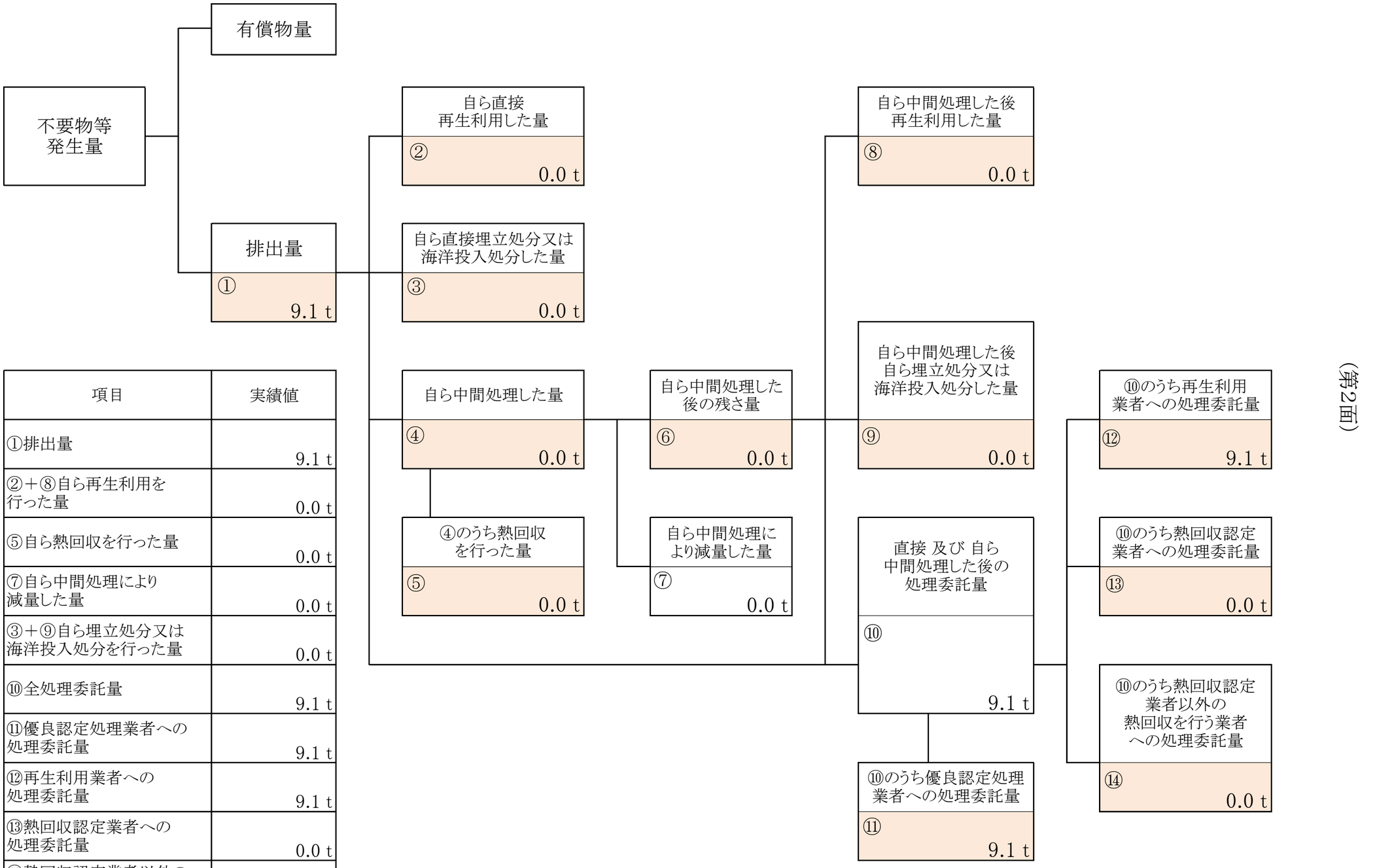


項目	実績値
①排出量	61.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	61.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

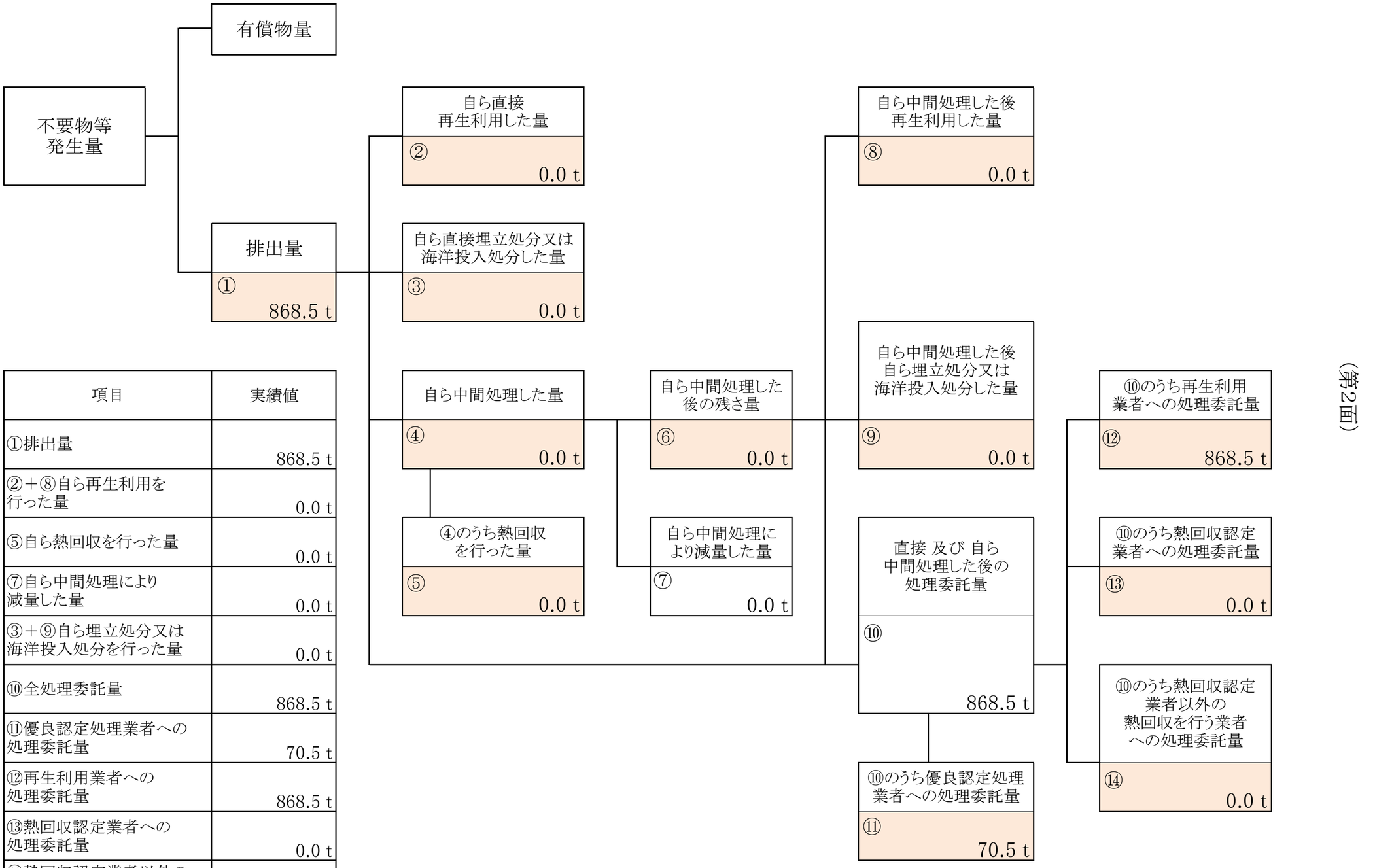


項目	実績値
①排出量	9.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

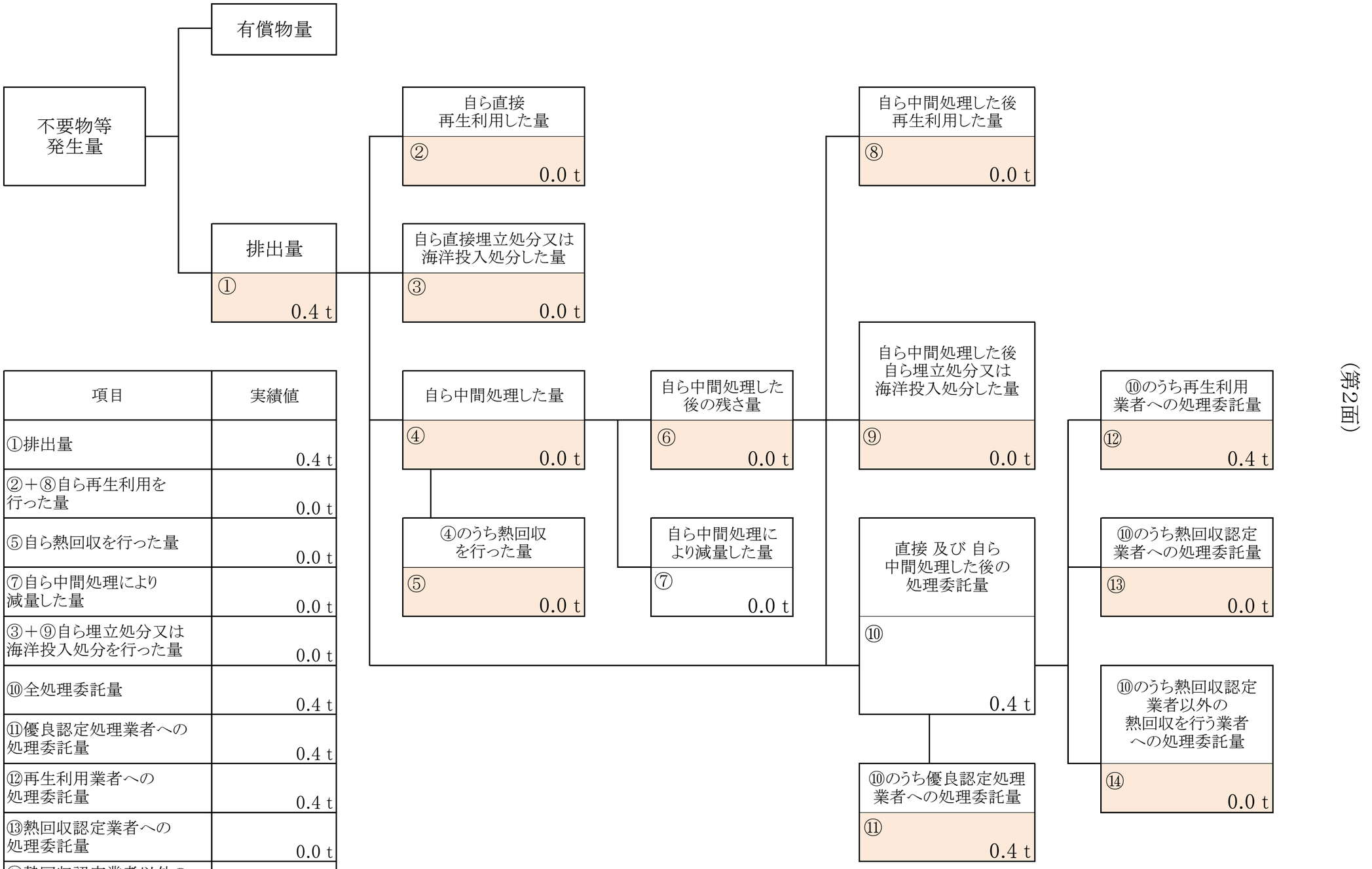


項目	実績値
①排出量	868.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	868.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	70.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	868.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物（安定型）**）

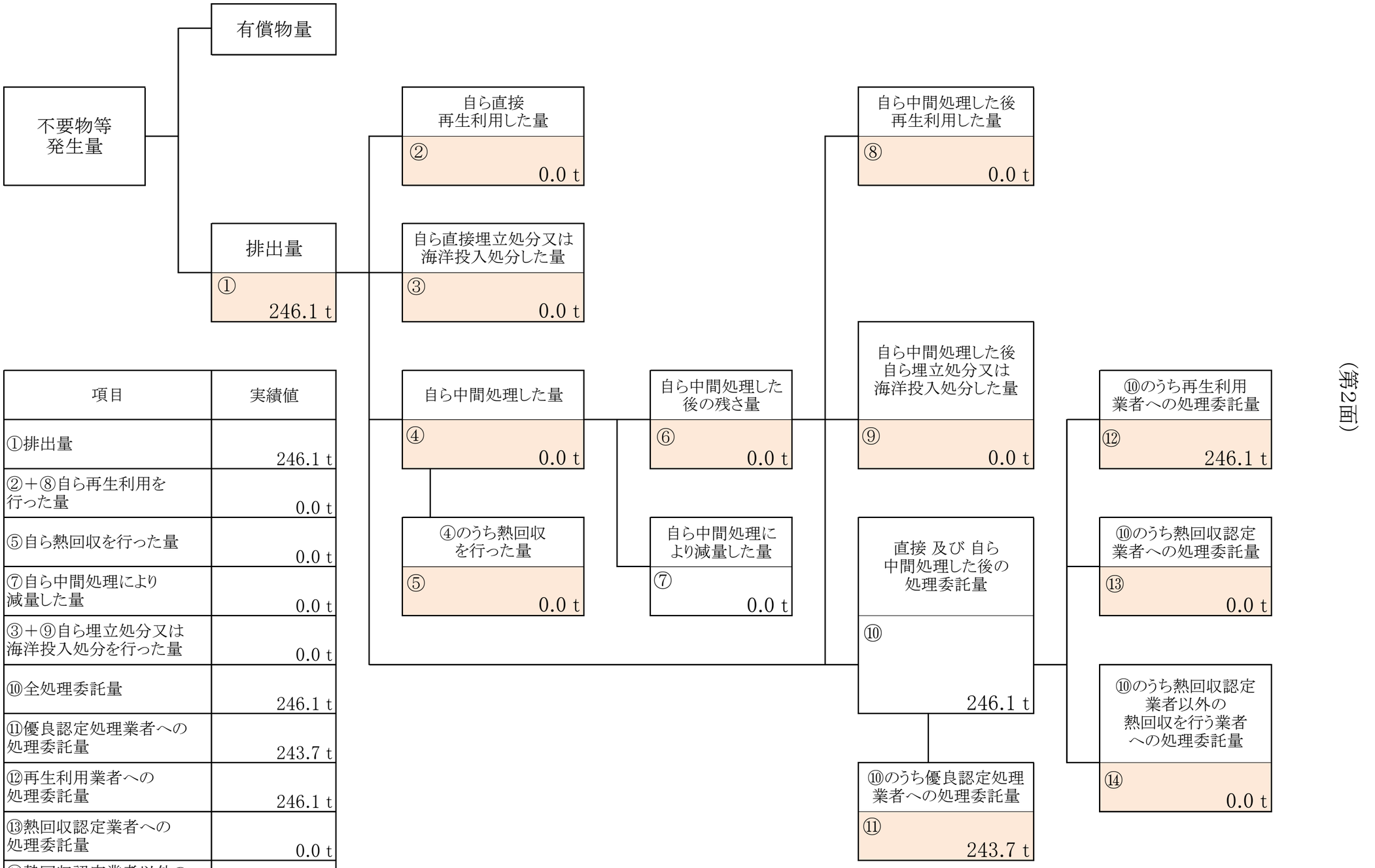


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物（管理型）**）

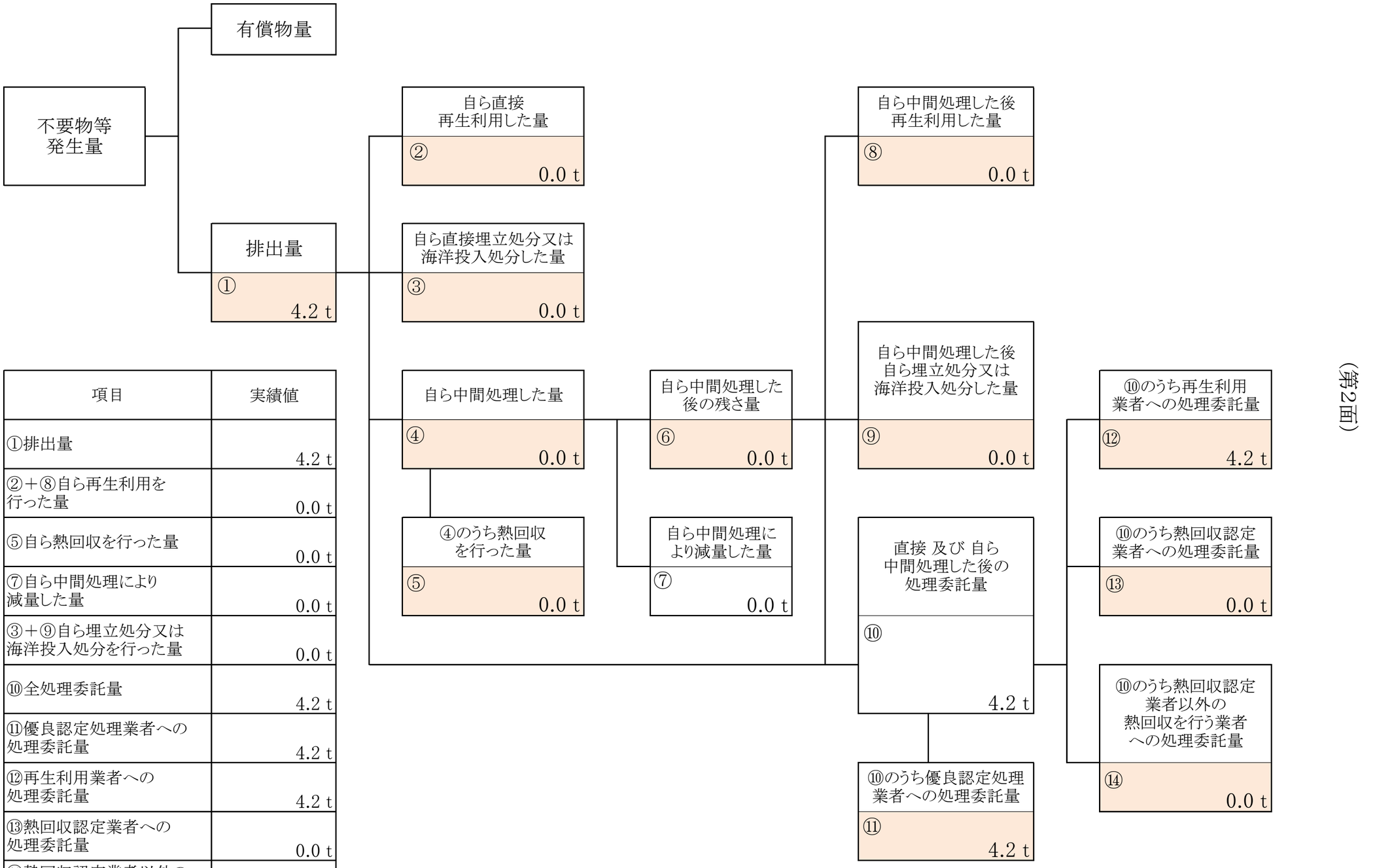


項目	実績値
①排出量	246.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	246.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	243.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	246.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

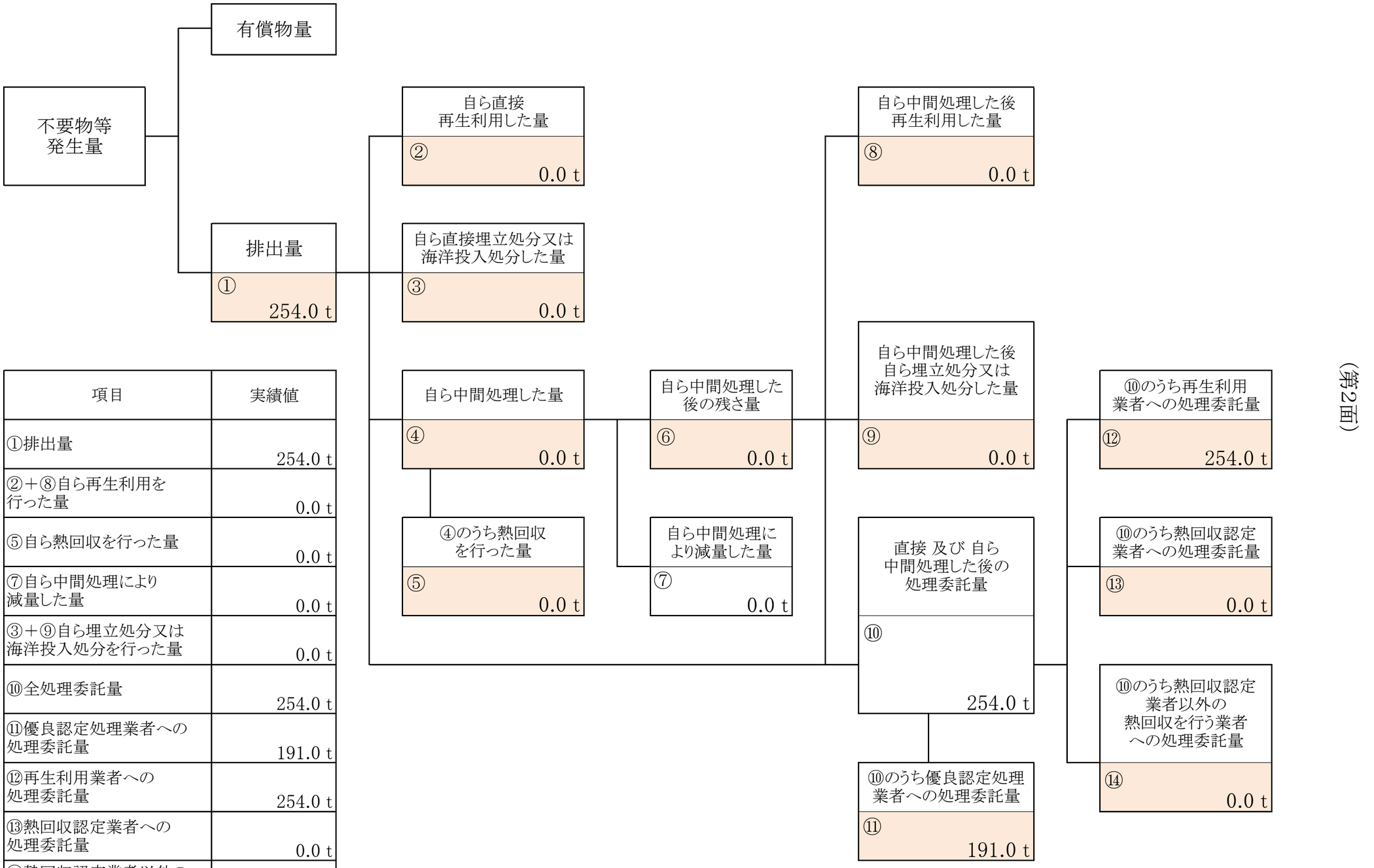


項目	実績値
①排出量	4.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃石膏ボード**）

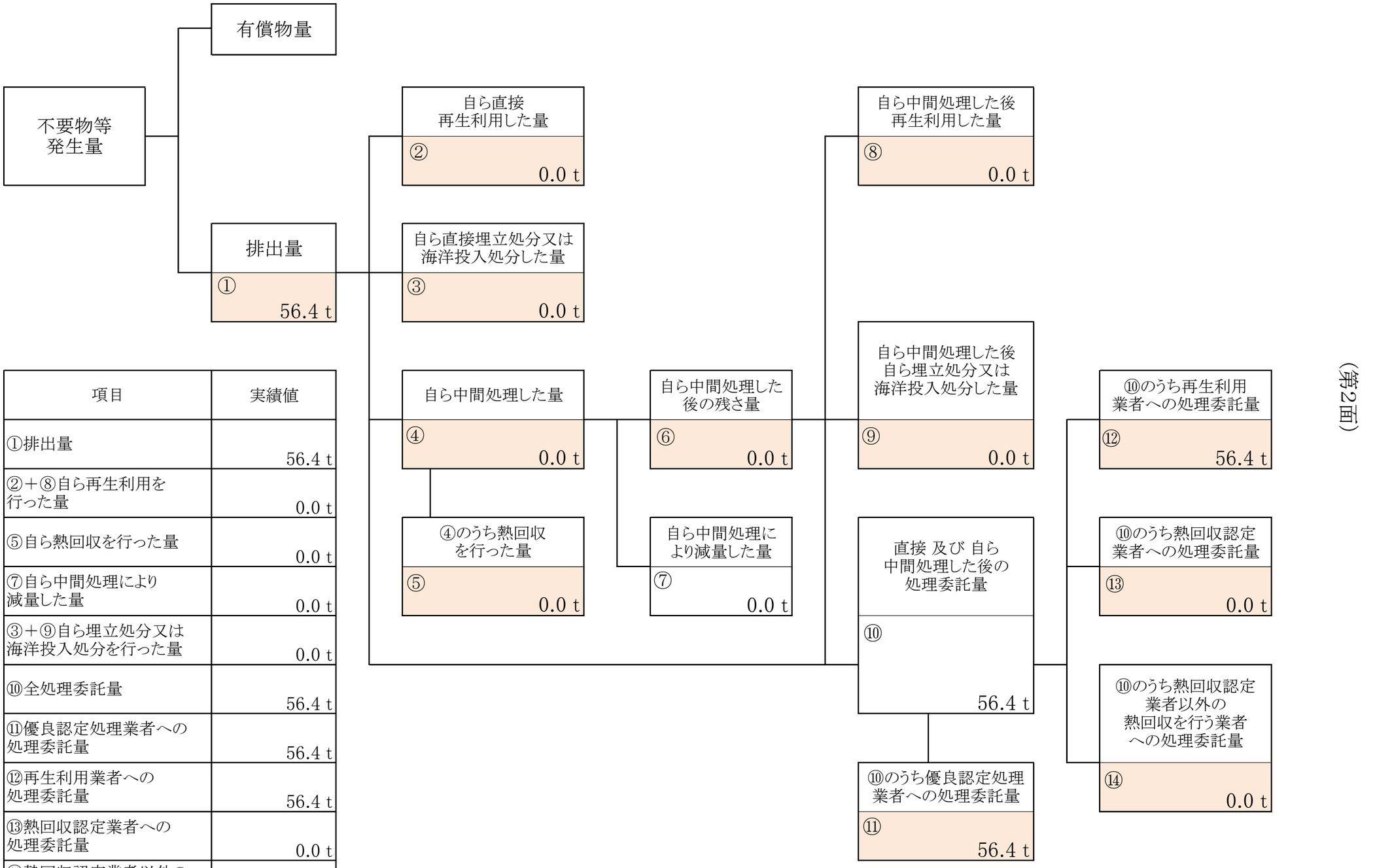


項目	実績値
①排出量	254.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	254.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	191.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	254.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず及び陶磁器くず**）

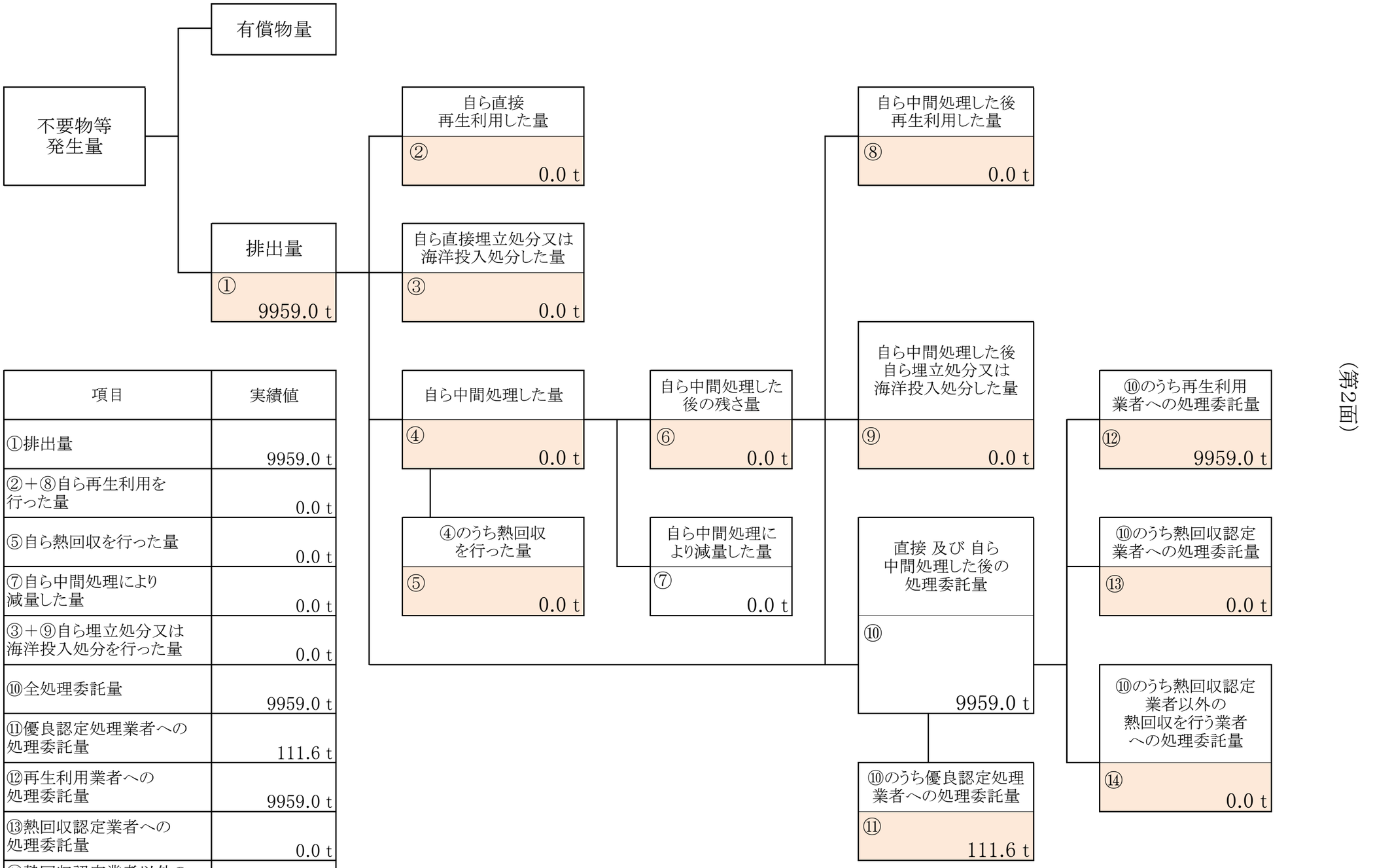


項目	実績値
①排出量	56.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	56.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	56.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**コンクリート塊**）

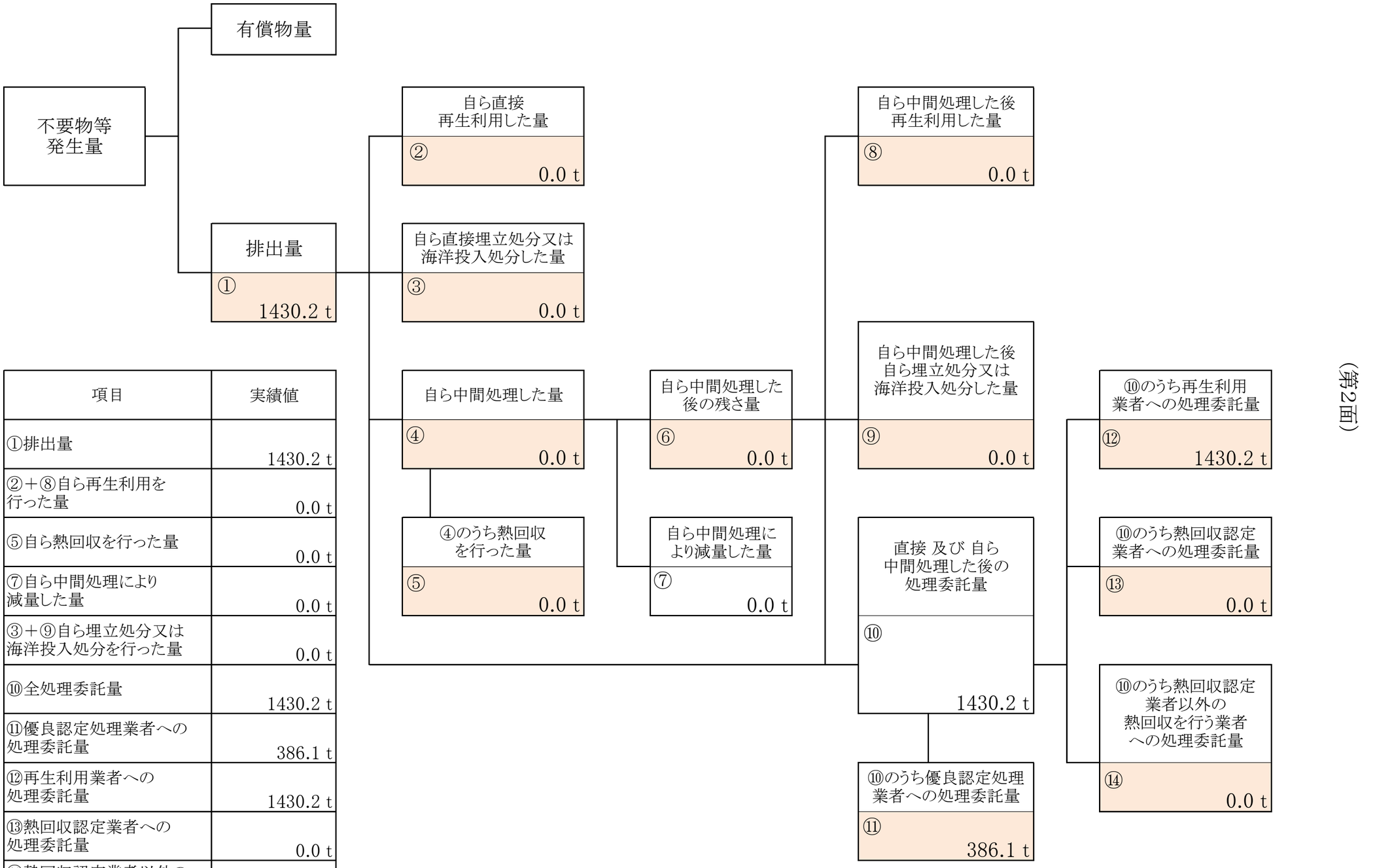


項目	実績値
①排出量	9959.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9959.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	111.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9959.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**アスファルト・コンクリート塊**）

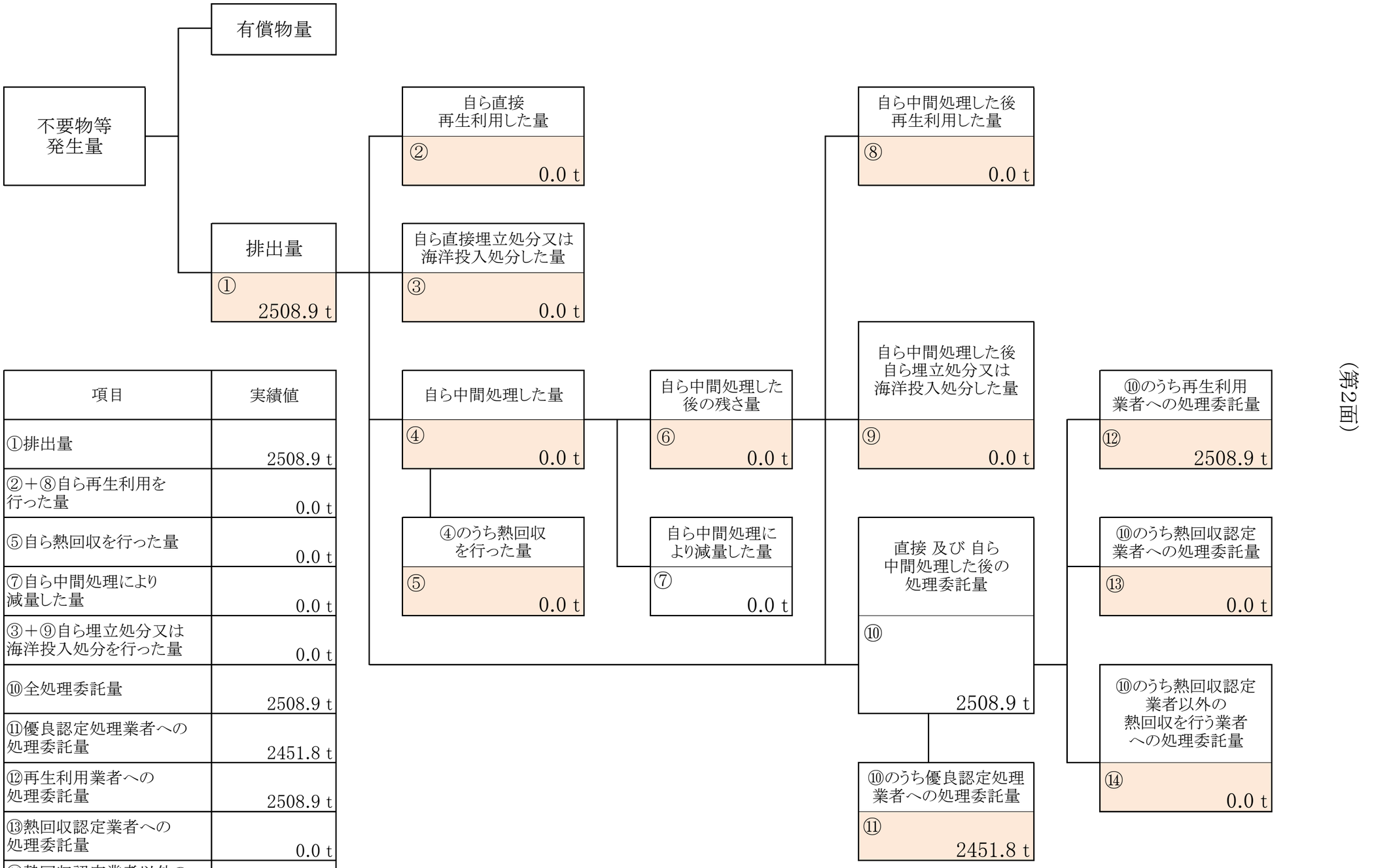


項目	実績値
①排出量	1430.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1430.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	386.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1430.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

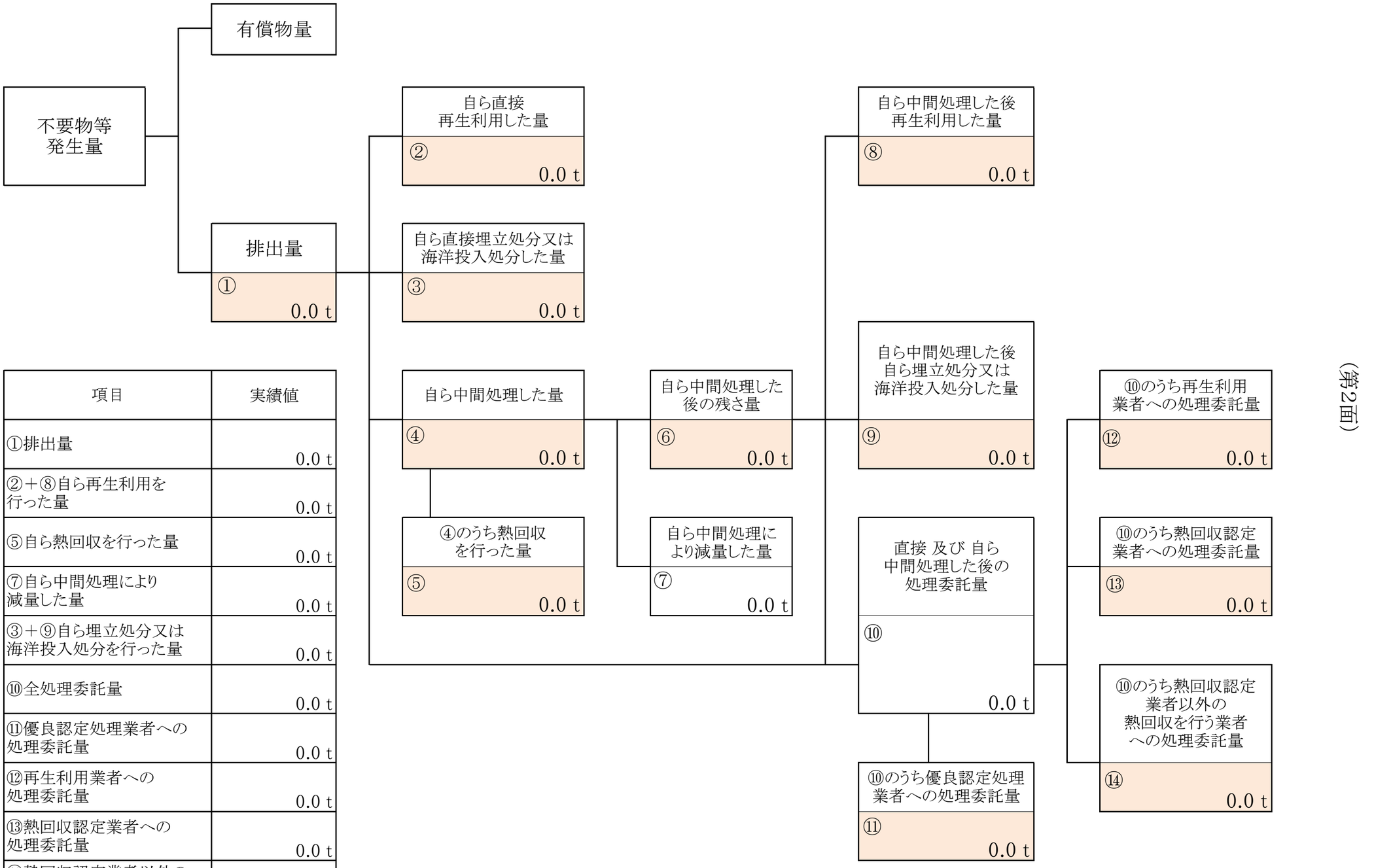


項目	実績値
①排出量	2508.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2508.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2451.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2508.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**蛍光灯類**）

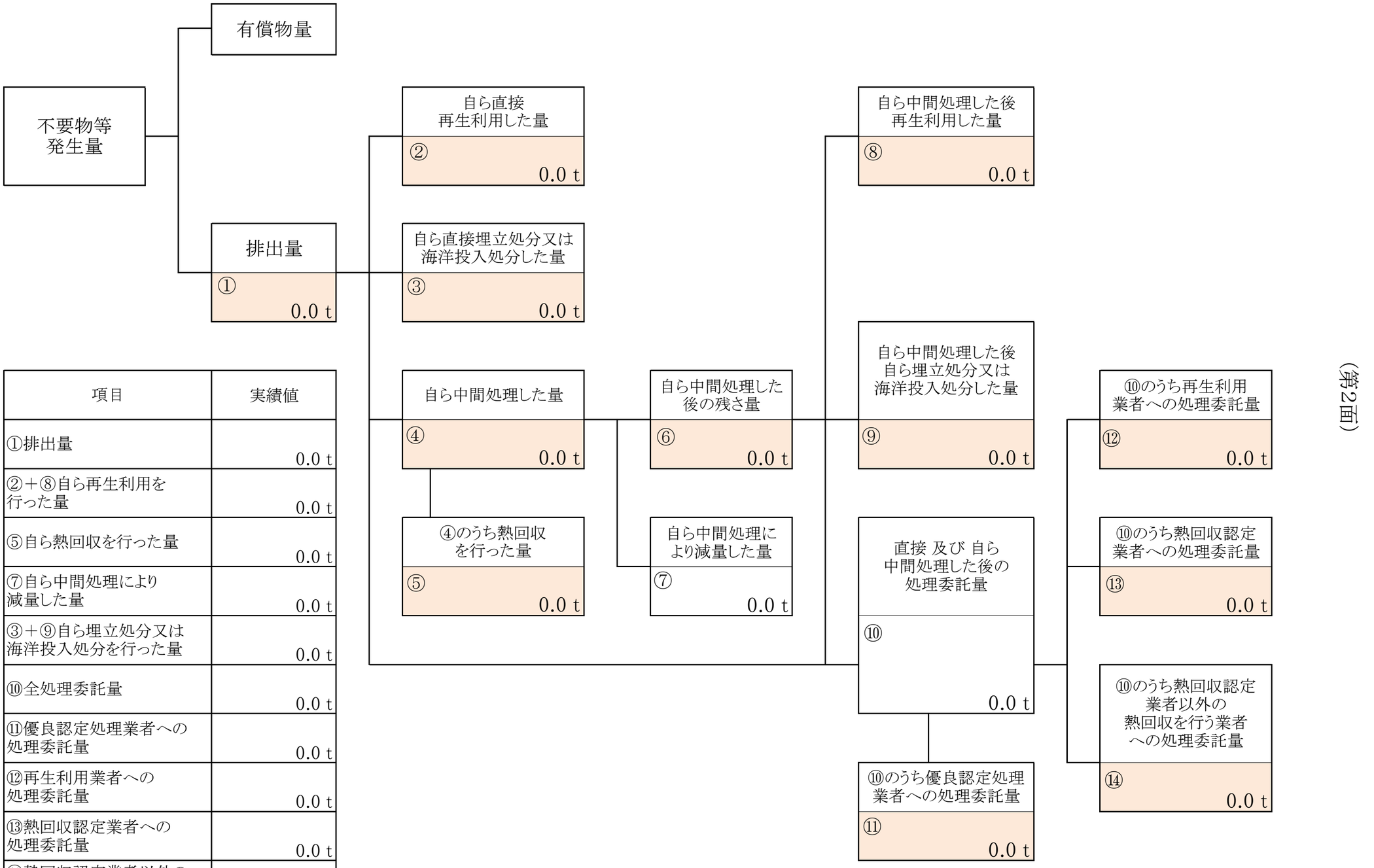


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**鉱さい**）

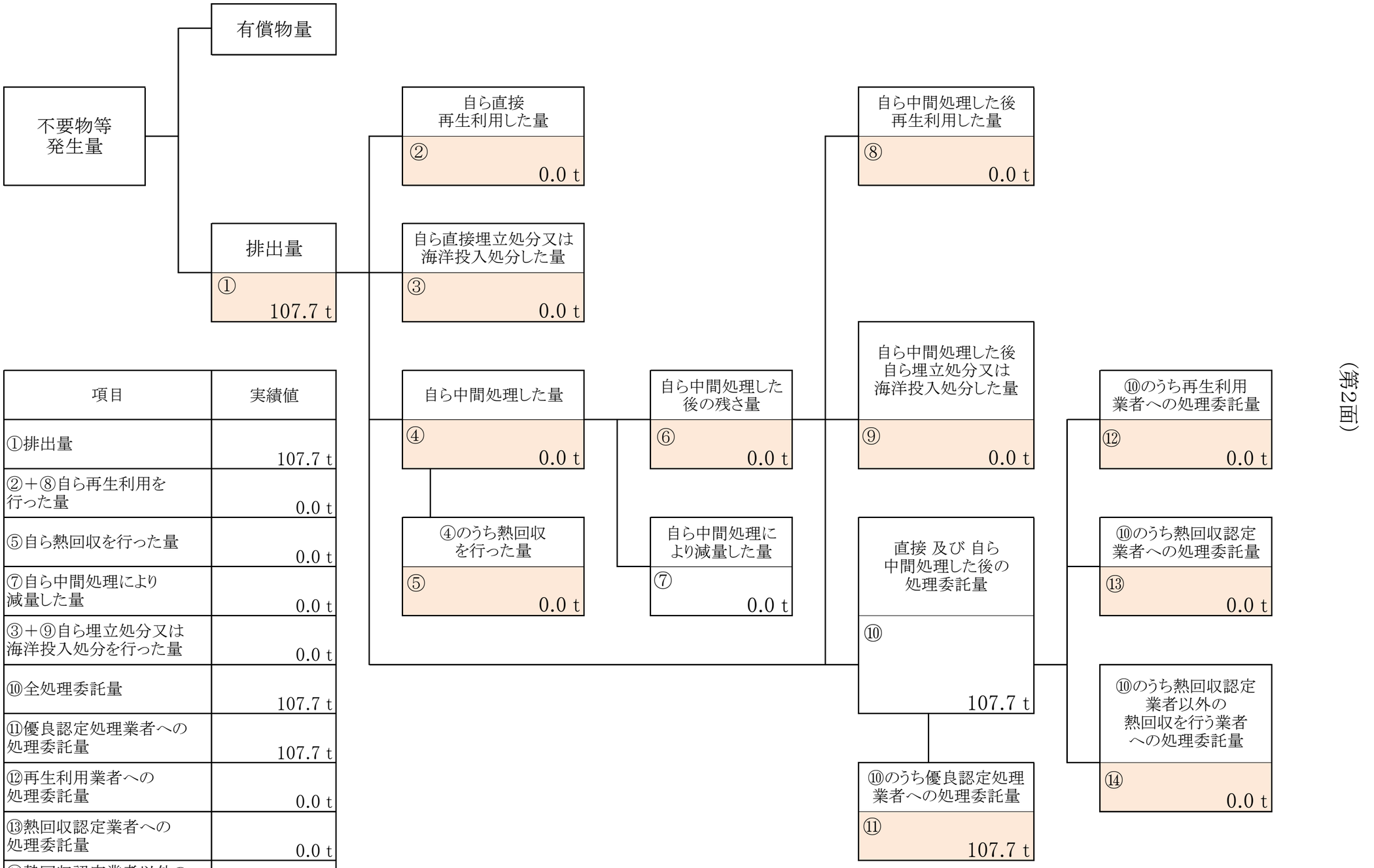


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有産業廃棄物**）

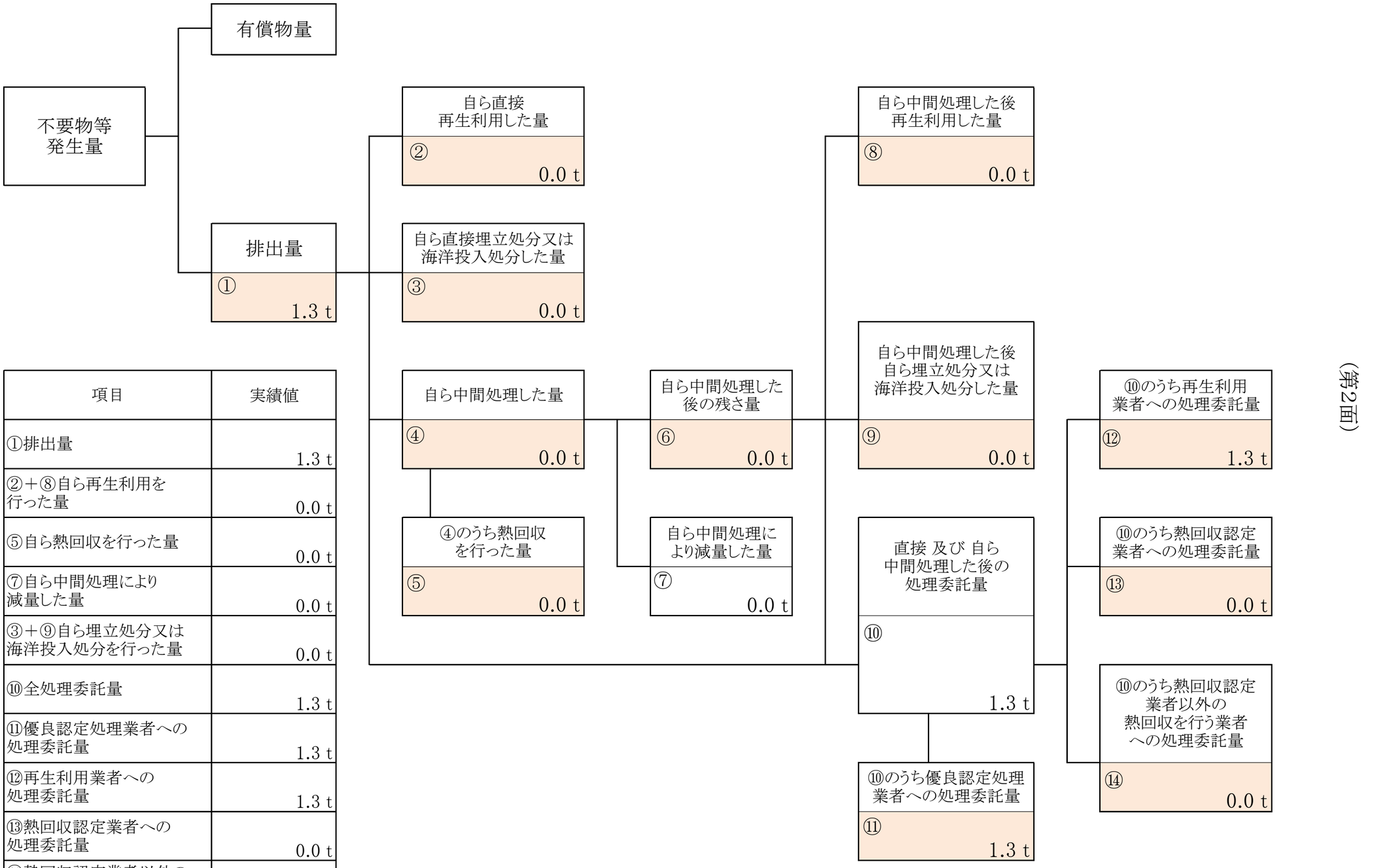


項目	実績値
①排出量	107.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	107.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	107.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

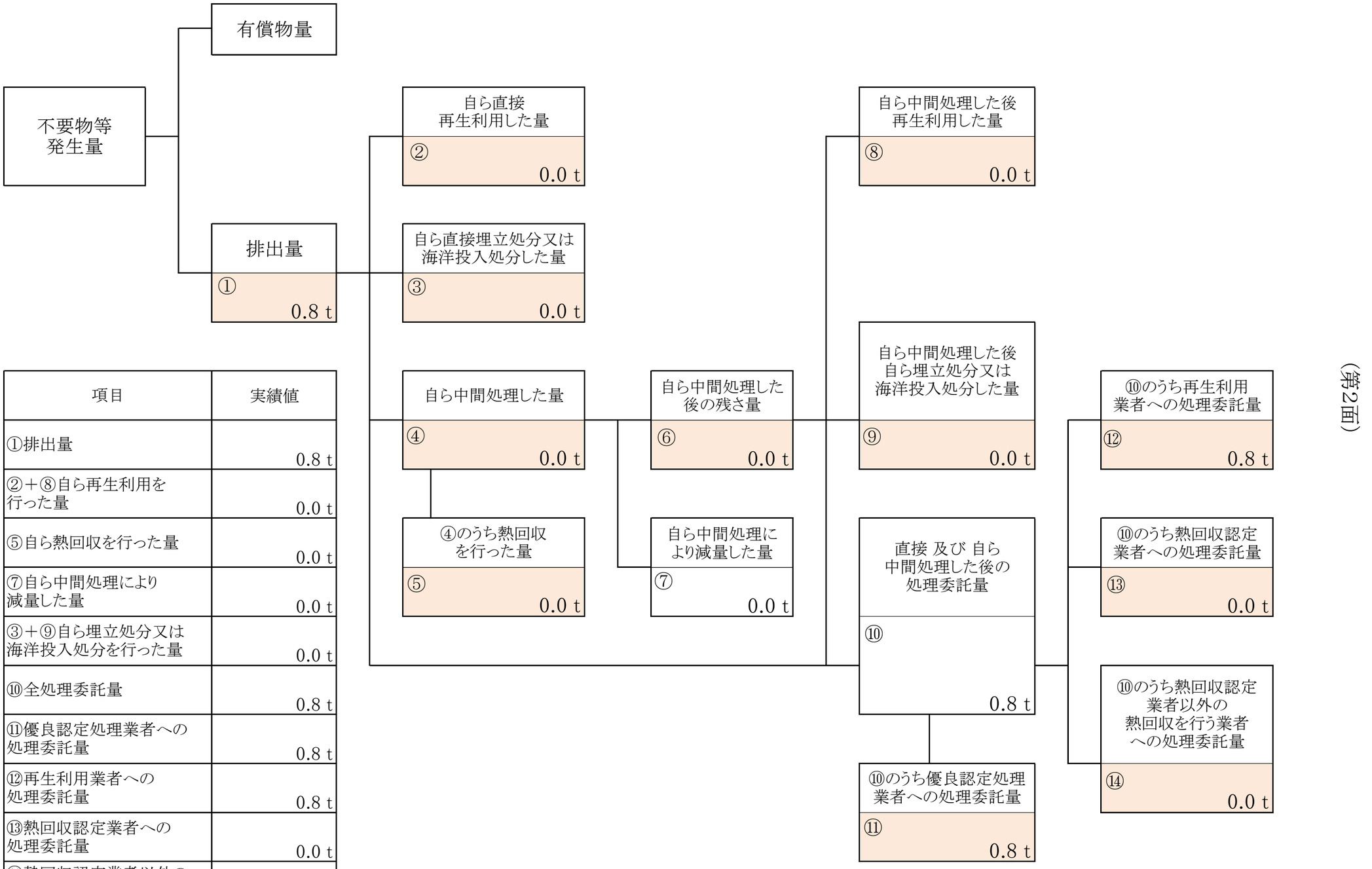


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

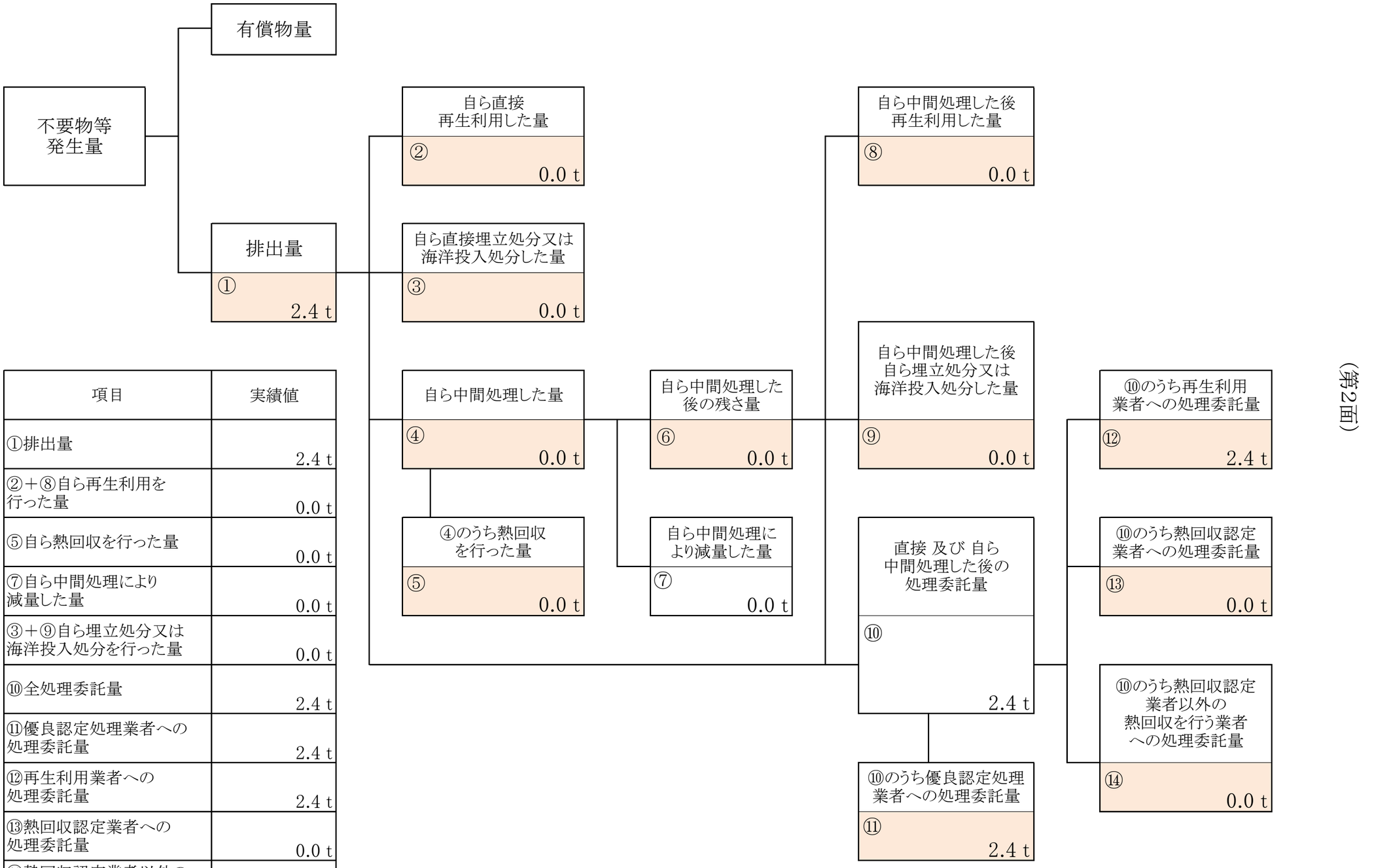


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）



項目	実績値
①排出量	2.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6　月　6　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒164-0001

住　所　東京都中野区中野4-10-2中野セントラルパーク サウス 15F

氏　名　株式会社オープンハウス・アーキテクト
代表取締役会長 兼 社長　長井 光去

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6627-0200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

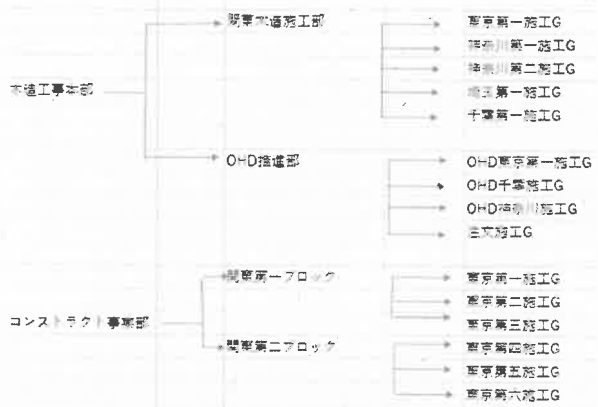
事業場の名称	株式会社オープンハウス・アーキテクト　千葉第一施工グループ・OHD千葉施工グループ
事業場の所在地	千葉県内各所
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	1,042億円（2024年9月期）
③ 従業員数	951名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃プラスチック類　→破砕・圧縮　→再利用 ・金属くず　→再利用 ・ガラス、陶磁器くず　→破砕　→再利用 ・コンクリートくず　→破砕　→再利用 ・紙くず　→破砕・圧縮　→再利用 ・木くず　→破砕　→再利用

（日本産業規格　A列4番）

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -7.6.-7 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
排出量	494 t	94 t

（これまでに実施した取組）
- 現場分別
- 発注数量の精度向上により産廃発生量の削減
- 構造体フルプレカット化を採用し、産廃発生量を抑制

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
排出量	490 t	90 t

（今後実施する予定の取組）
- 現場分別
- 発注数量の精度向上により産廃発生量の削減
- 構造体フルプレカット化を採用し、産廃発生量を抑制

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
石膏ボード、ダンボール、木くず、廃プラスチック、金属くず、ガラス等
現場分別に加え出来る限り混合を減らすことを指示

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
石膏ボード、ダンボール、木くず、廃プラスチック、金属くず、ガラス等
現場分別に加え出来る限り混合を減らすことを指示

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
全処理委託量	494 t	94 t
優良認定処理業者への処理委託量	83.3 t	30.2 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・現場分別
・発注数量の精度向上により産廃発生量の削減
・構造体フルプレカット化を採用し、産廃発生量を抑制

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	石膏ボード
		全処理委託量	490 t	90 t
		優良認定処理業者への処理委託量	83 t	30 t
		再生利用業者への処理委託量	5 t	5 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・現場分別 ・発注数量の精度向上により産廃発生量の削減 ・構造体フルプレカット化を採用し、産廃発生量を抑制		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	排　出　量	22.1 t	1.9 t	21.9 t	126.7 t	257.4 t	288.8 t	225 t	69.8 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	排　出　量	20 t	1 t	20 t	120 t	250 t	280 t	220 t	60 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	全処理委託量	22.1 t	1.9 t	21.9 t	126.7 t	257.4 t	288.8 t	225 t	69.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	21.9 t	0 t	257.4 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき	グラスウール	紙くず	管理型混合廃棄物	木くず	廃プラ	金属くず
	全処理委託量	20 t	1 t	20 t	120 t	250 t	280 t	220 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	0 t	20 t	1 t	250 t	1 t	1 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	0 t	0 t	1 t	0 t	1 t	1 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		排　出　量	0.3 t	259.6 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		排　出　量	0.3 t	255 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
	全処理委託量	0.3 t	259.6 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合物	新築系混合廃棄物						
	全処理委託量	0.3 t	255 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 6日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒164-0001
住 所　東京都中野区中野4-10-2中野セントラルパーク サウス 15F
氏 名　株式会社オープンハウス・アーキテクト
（法人にあっては、名称及び代表 長井 光夫
電話番号　03-6627-0200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社オープンハウス・アーキテクト 千葉第一施工グループ・OHD千葉施工グループ
事業場の所在地	千葉県内各所
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

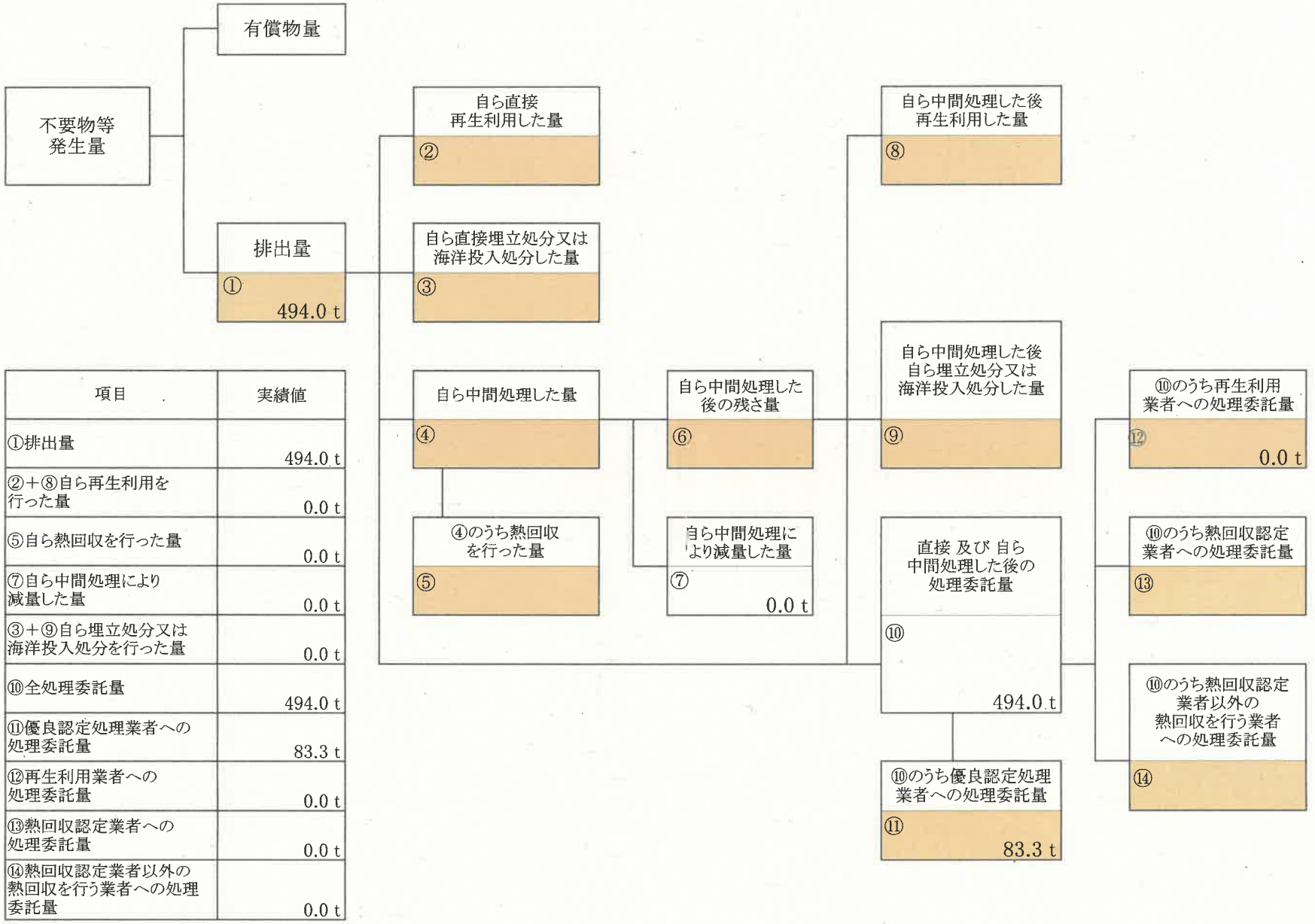
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2539.0 t	全処理委託量	2539.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2539.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -7.6.-7 収受

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず）

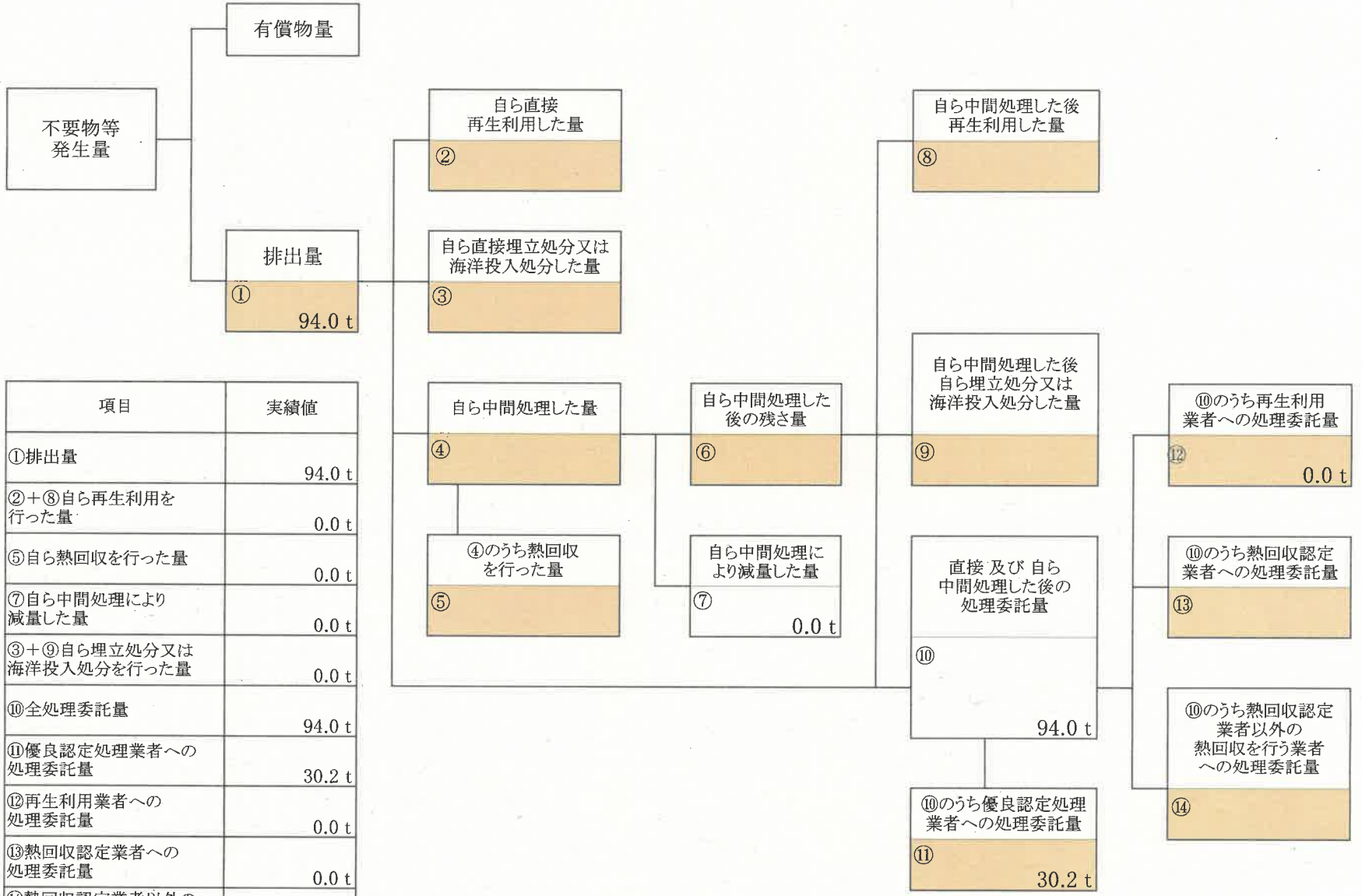


項目	実績値
①排出量	494.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	494.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石膏ボード）

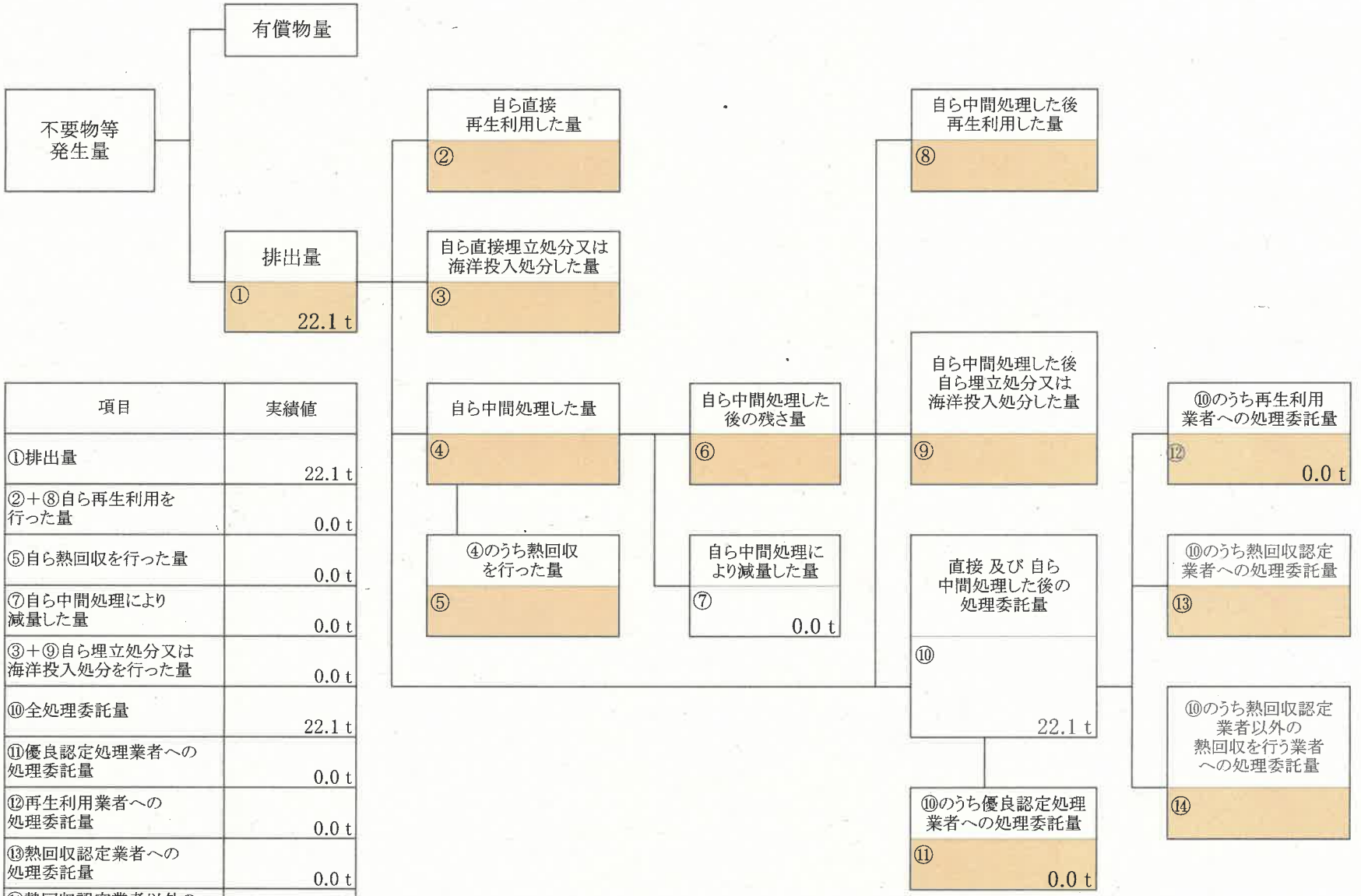


項目	実績値
①排出量	94.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート破片）

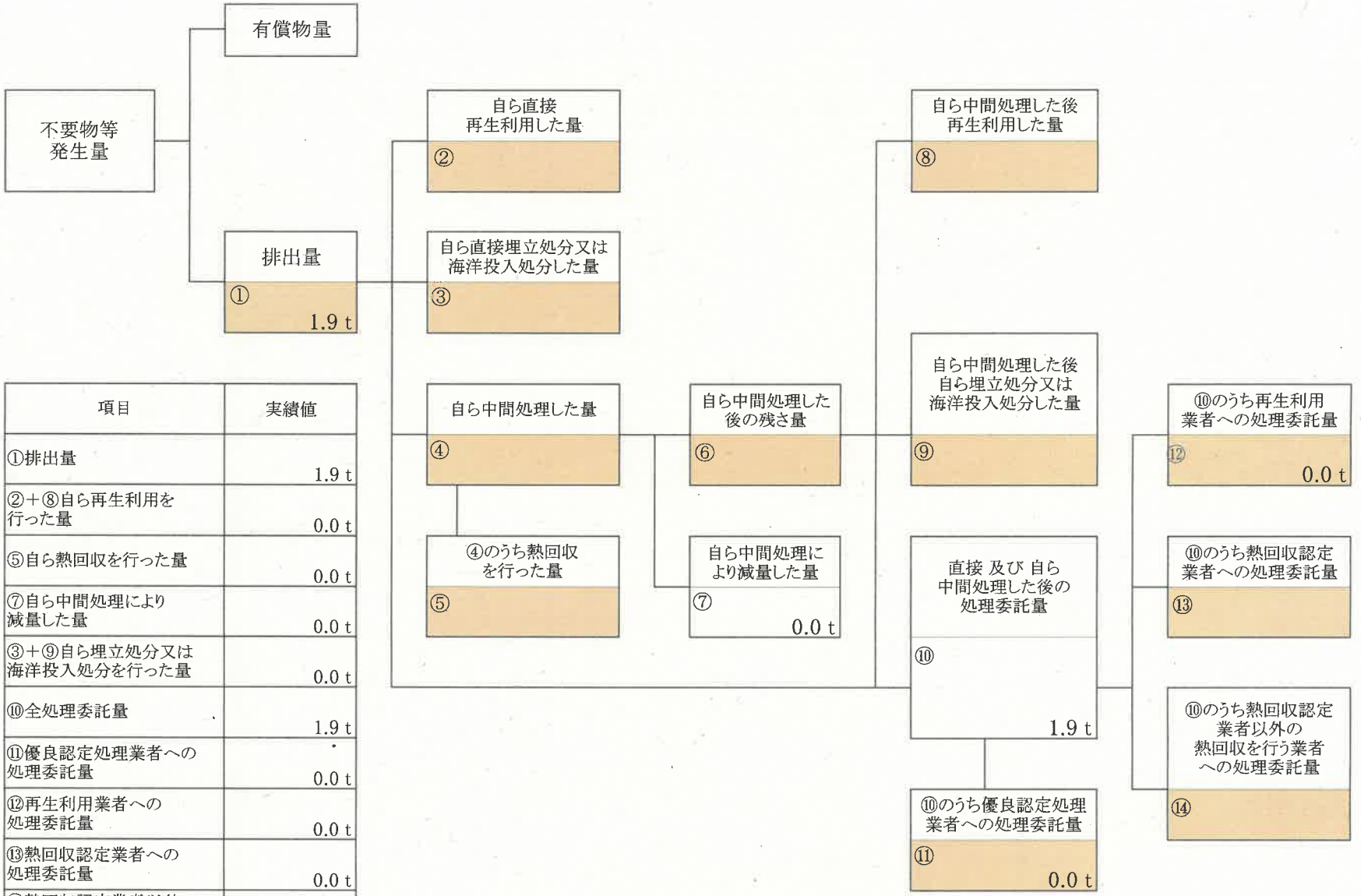


項目	実績値
①排出量	22.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき）

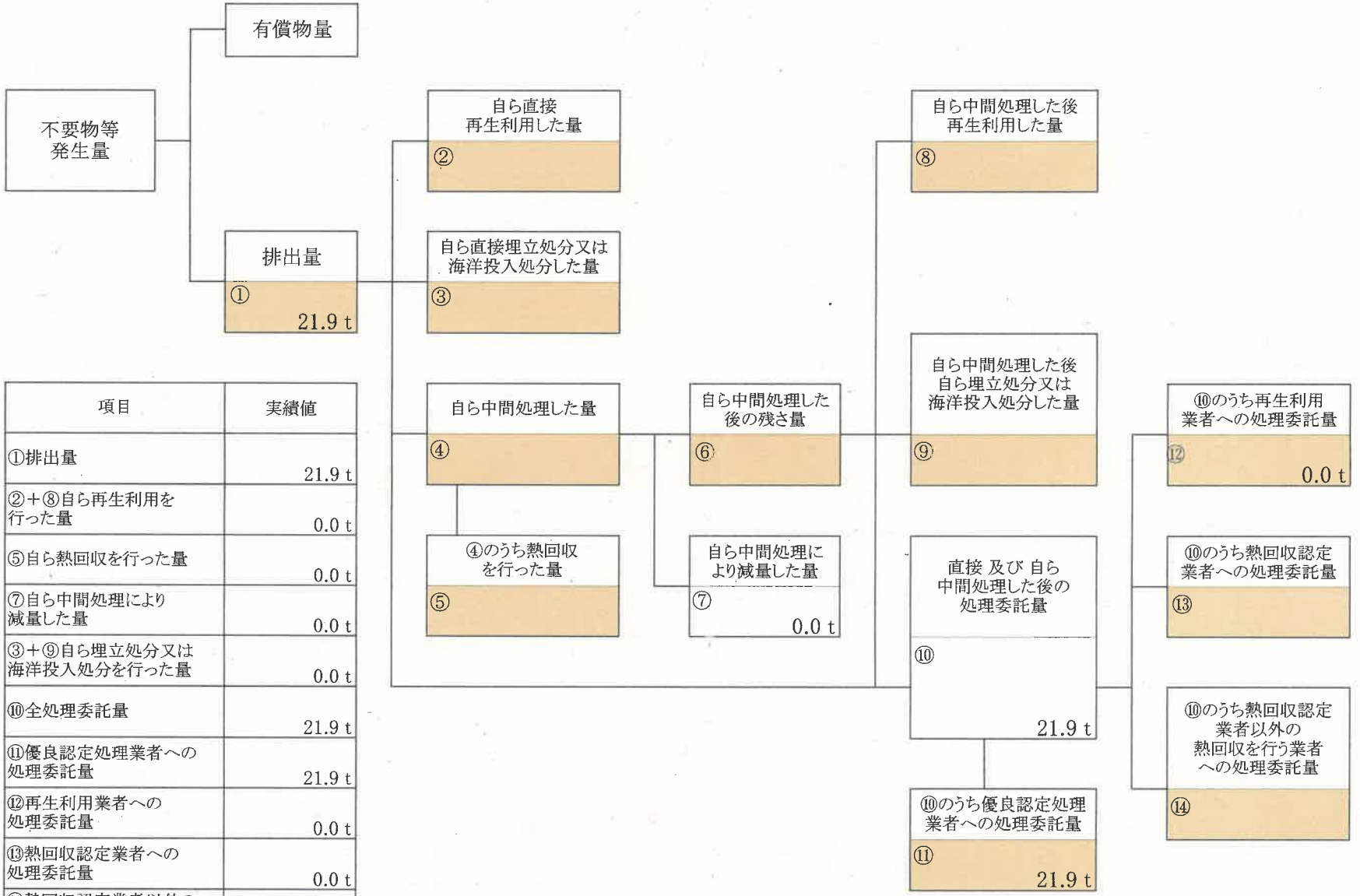


項目	実績値
①排出量	1.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**グラスウール**）

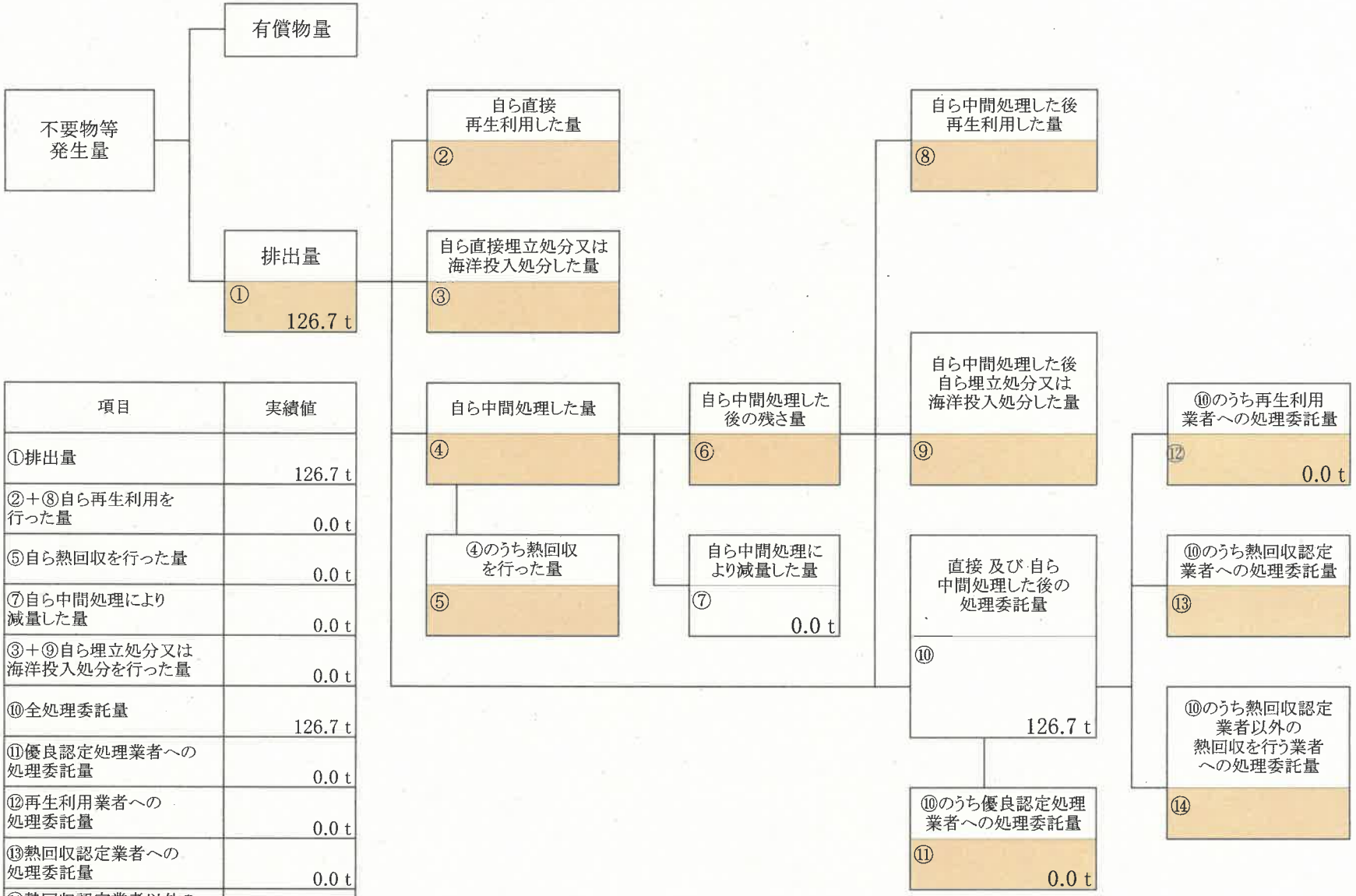


項目	実績値
①排出量	21.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず・段ボール**）

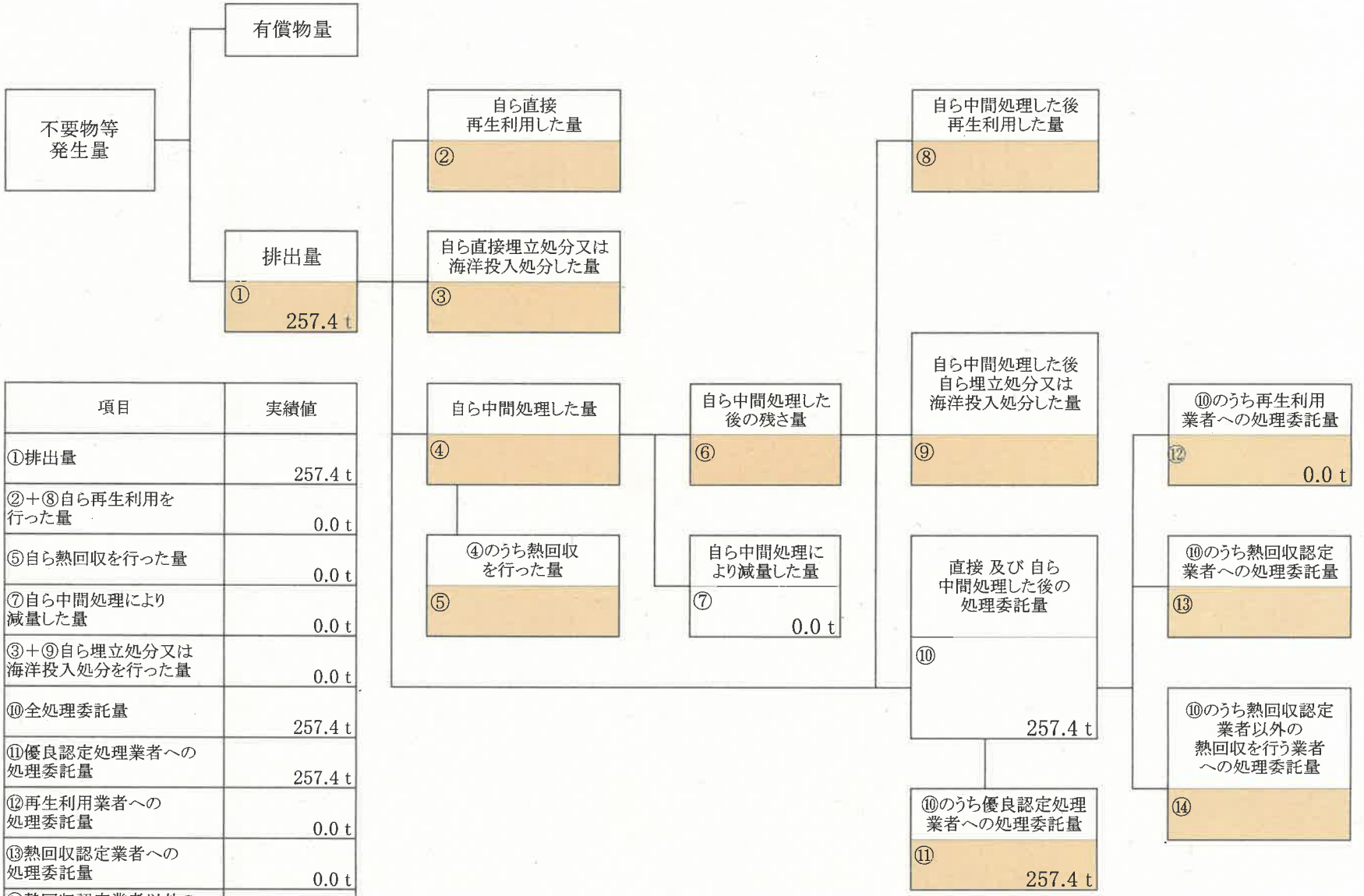


項目	実績値
①排出量	126.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	126.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

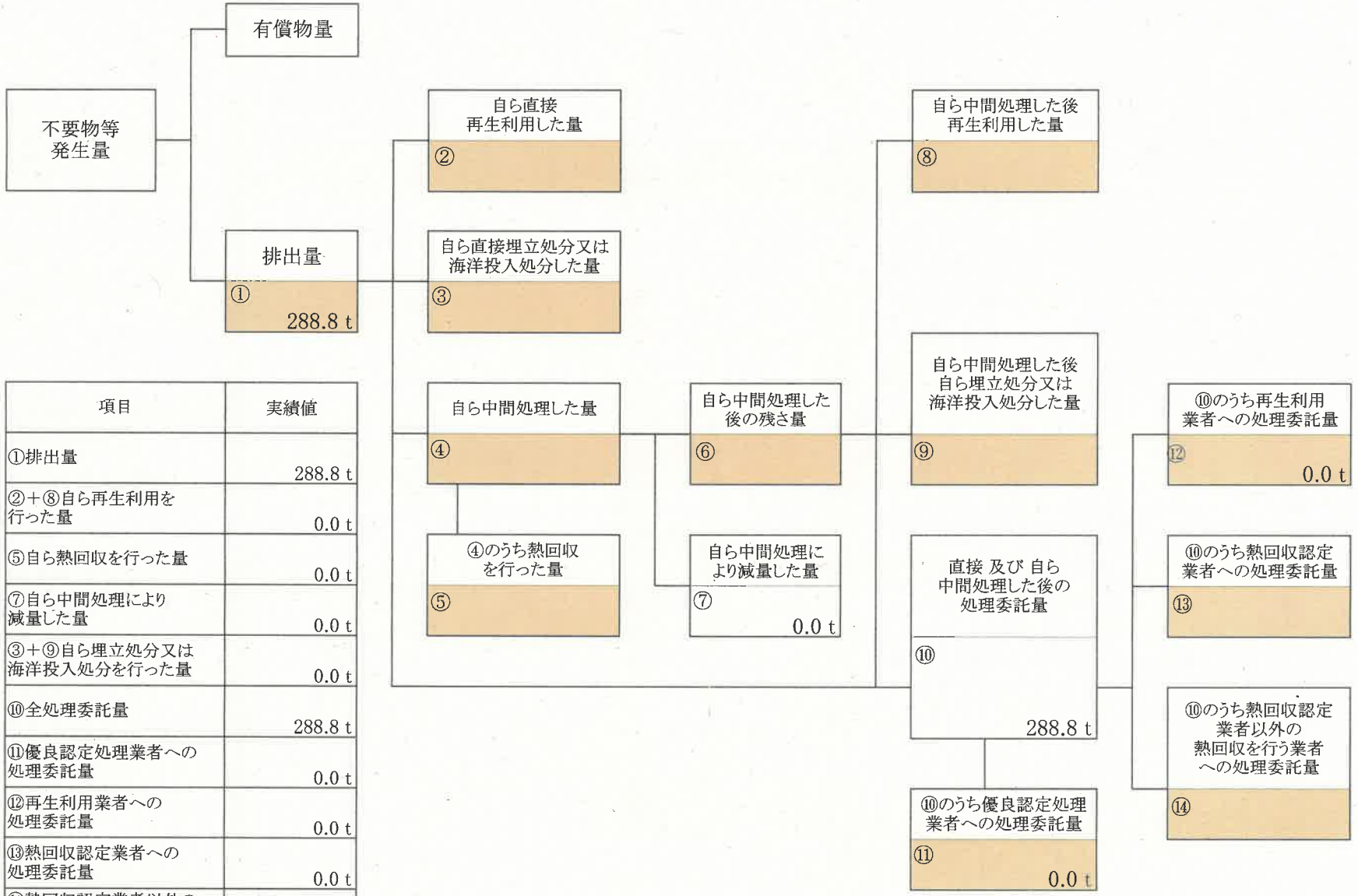


項目	実績値
①排出量	257.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	257.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	257.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

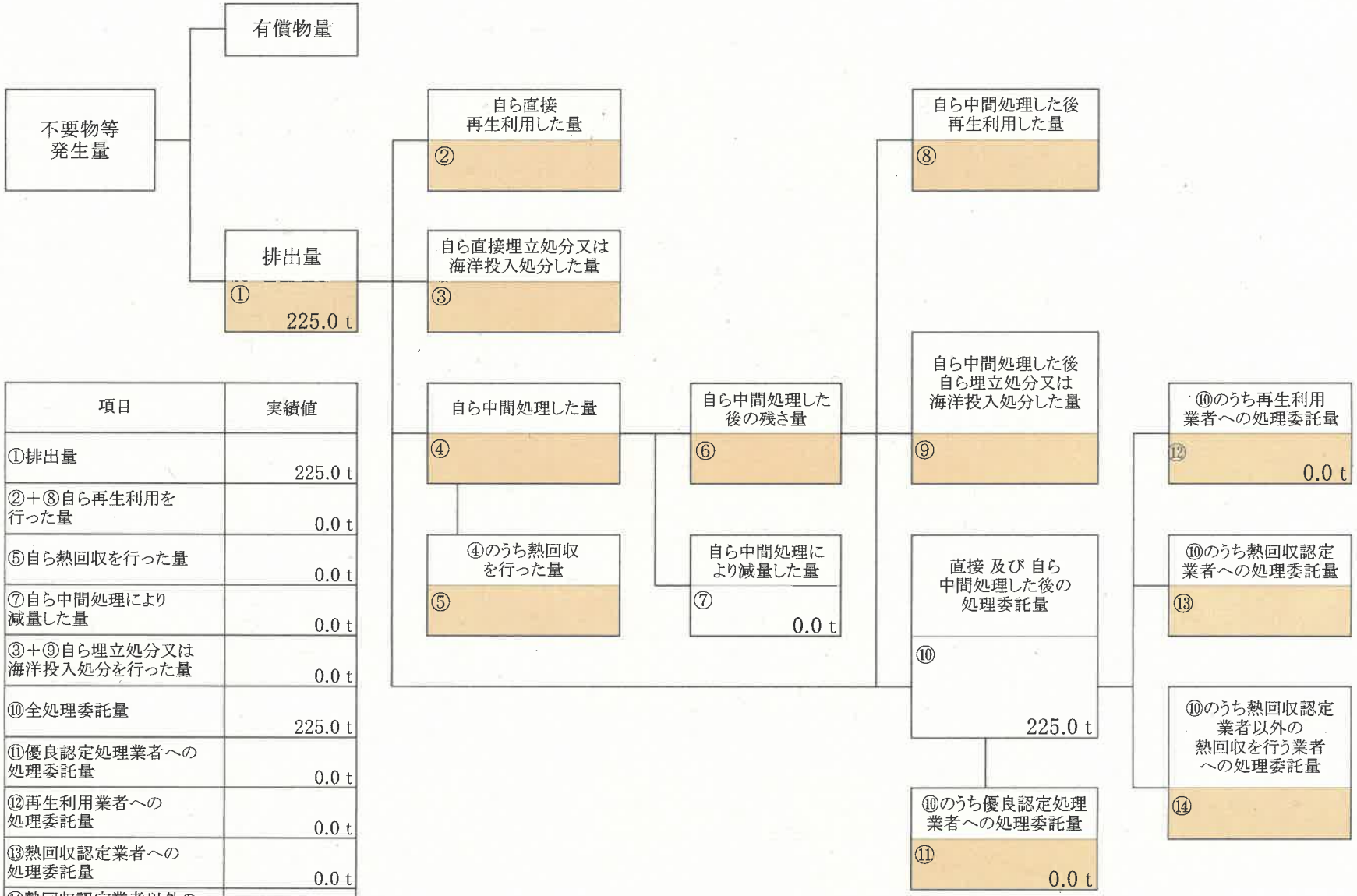


項目	実績値
①排出量	288.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	288.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

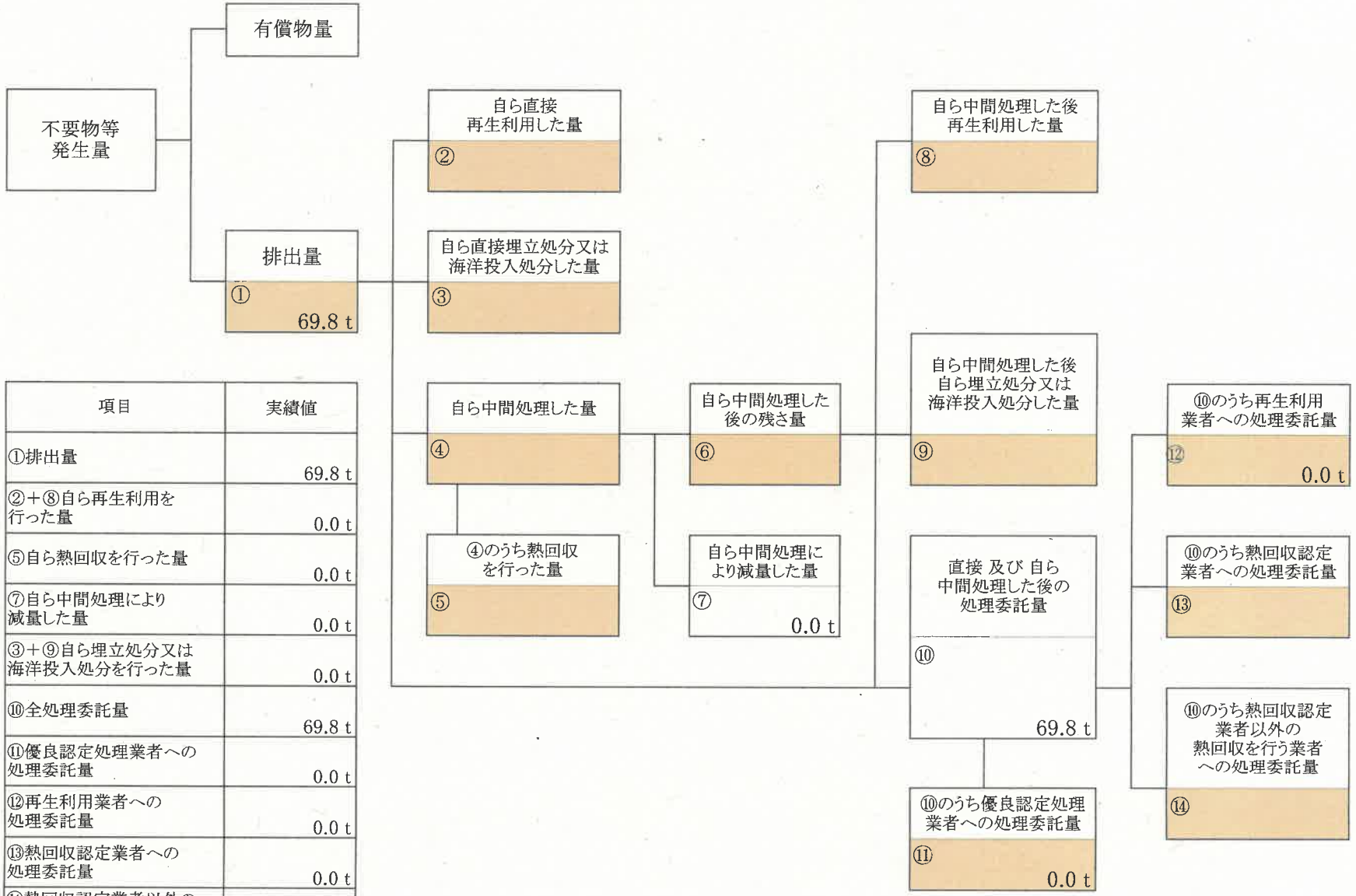


項目	実績値
①排出量	225.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	225.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

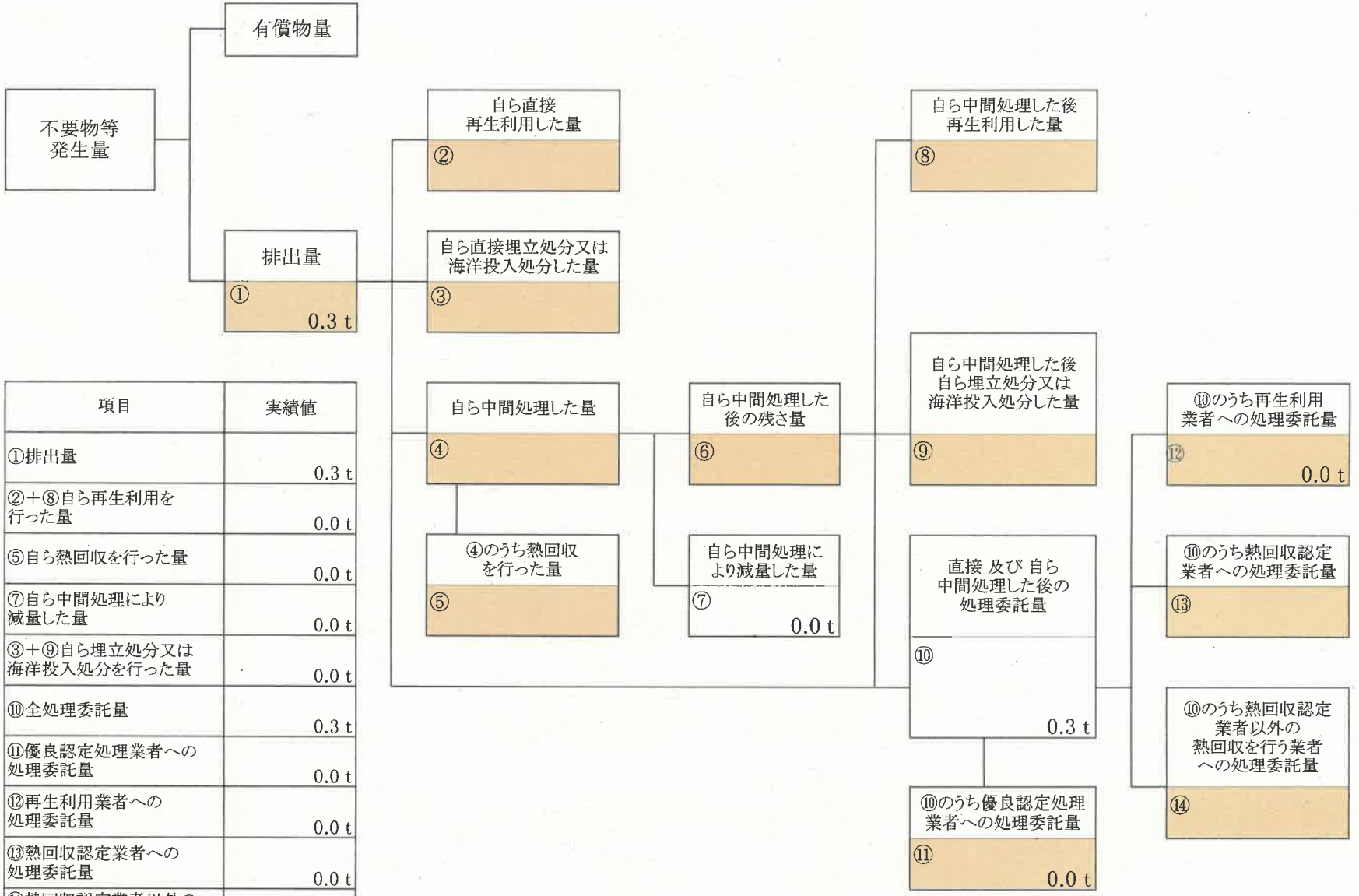


項目	実績値
①排出量	69.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	69.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合物**）

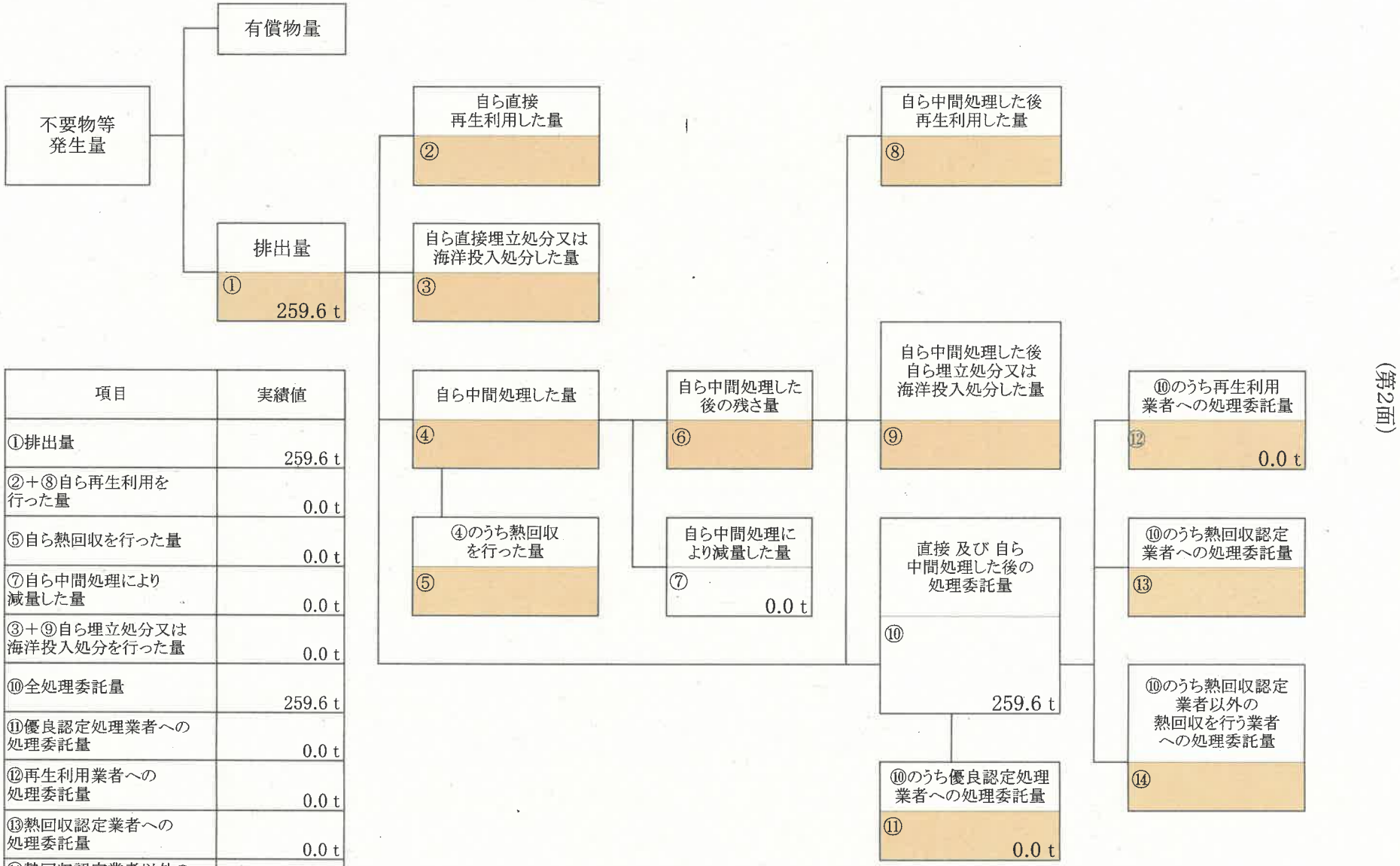


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**新築系混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	259.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	259.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒

住　所　東京都千代田区丸の内２丁目７番２号
ＪＰタワー20階

氏　名　株式会社オープンハウス・ディベロップメント
代表取締役　福岡良介

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3499-7703

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社オープンハウス・ディベロップメント 建設事業部　錦糸町事務所
事業場の所在地	事務所住所：東京都墨田区亀有4-5-4　ブルームビル２階 現場住所：市川市、船橋市、浦安市、千葉市、習志野市、松戸市、 鎌ケ谷市、八千代市、柏
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　　４０．６億円
③　従業員数	４１人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類　：　破砕・圧縮　→　再利用 紙くず　：　破砕・圧縮　→　再利用 木くず　：　破砕　→　再利用・燃料 金属くず　：　破砕　→　再利用 ガラスくず及び陶磁器くず　：　破砕　→　再利用 がれき類　：　破砕　→　再利用 混合廃棄物　：　破砕・圧縮　→　再利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	337 t	201.8 t
	（これまでに実施した取組） ・現場分別 ・発注数量精度向上による発生材削減 ・材料のプレファブ化による廃棄物削減 ・仮設材のリサイクル・リース品の利用による廃棄物削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	340 t	205 t
	（今後実施する予定の取組） ・現場分別 ・発注数量精度向上による発生材削減 ・材料のプレファブ化による廃棄物削減 ・仮設材のリサイクル・リース品の利用による廃棄物削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃石膏ボード、段ボール、木くず、廃プラスチック類、金属くず
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃石膏ボード、段ボール、木くず、廃プラスチック類、金属くず

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	337 t	201.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	107.5 t	119.5 t
再生利用業者への処理委託量	70.3 t	151.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	24.9 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	72.2 t	49.9 t

（これまでに実施した取組）

・分別と適切な保管による再生利用の推進
・発注数量精度向上による発生材削減
・材料のプレファブ化による廃棄物削減

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類		紙くず	
		全処理委託量＿	340	t	205	t
		優良認定処理業者への処理委託量	110	t	120	t
		再生利用業者への処理委託量	70	t	153	t
		認定熱回収業者への処理委託量	25	t	0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	73	t	50	t
		（今後実施する予定の取組） ・分別と適切な保管による再生利用の推進 ・発注数量精度向上による発生材削減 ・材料のプレファブ化による廃棄物削減				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

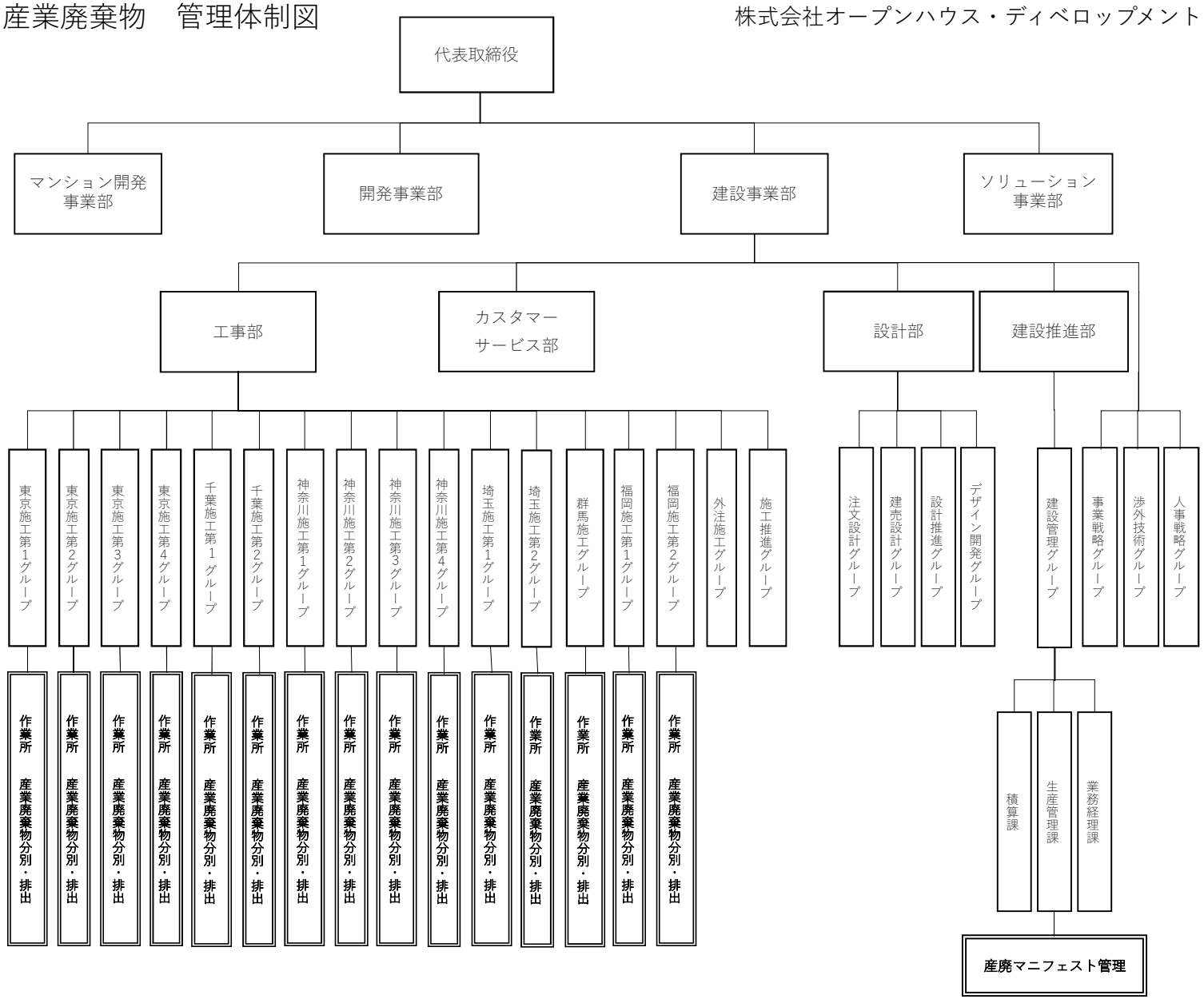
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		排　出　量	639.7 t	823.3 t	71.2 t	62 t	60.9 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		排　出　量	640 t	825 t	72 t	65 t	61 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず				
	全処理委託量	639.7 t	823.3 t	71.2 t	62 t	60.9 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	600 t	440.9 t	18.4 t	44.7 t	41.2 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	547.9 t	555.9 t	34.9 t	44.5 t	60.9 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	91.8 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス、陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず				
	全処理委託量	640 t	825 t	72 t	65 t	61 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	600 t	442 t	19 t	45 t	42 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	548 t	556 t	35 t	45 t	61 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	92 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

産業廃棄物　管理体制図

株式会社オープンハウス・ディベロップメント



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒

住 所　東京都千代田区丸の内2丁目7番2号
JPタワー20階

氏 名　株式会社オープンハウス・ディベロップメント
代表取締役　福岡良介

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3499-7703

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社オープンハウス・ディベロップメント 建設事業部　錦糸町事務所
事業場の所在地	事務所住所：東京都墨田区亀有4-5-4　ブルームビル2階 現場住所：市川市、船橋市、浦安市、千葉市、習志野市、松戸市、鎌ケ谷市、八千代市、柏
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

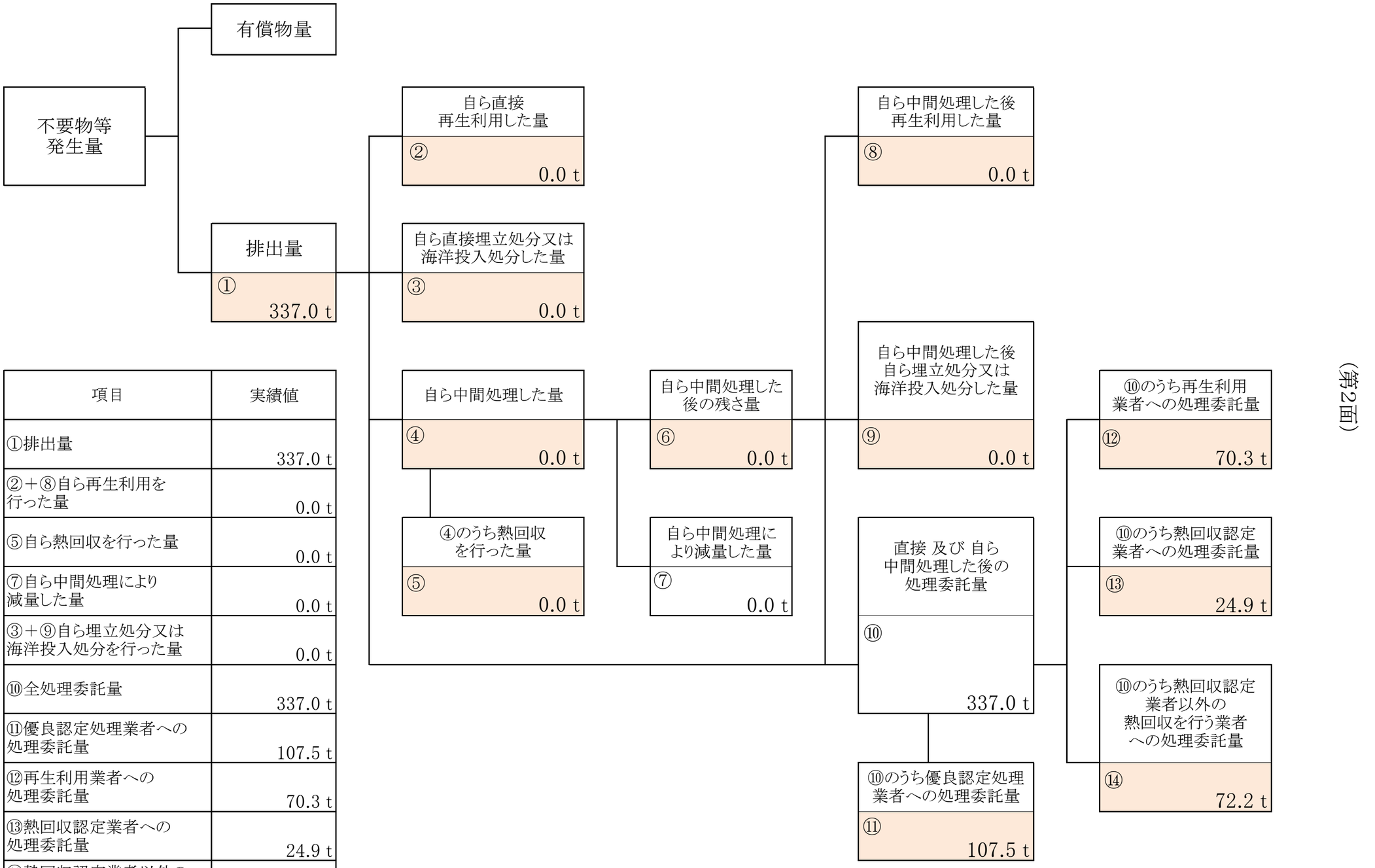
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2221.0ｔ	全処理委託量	2221.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	1291.5ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1599.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	37.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	330.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

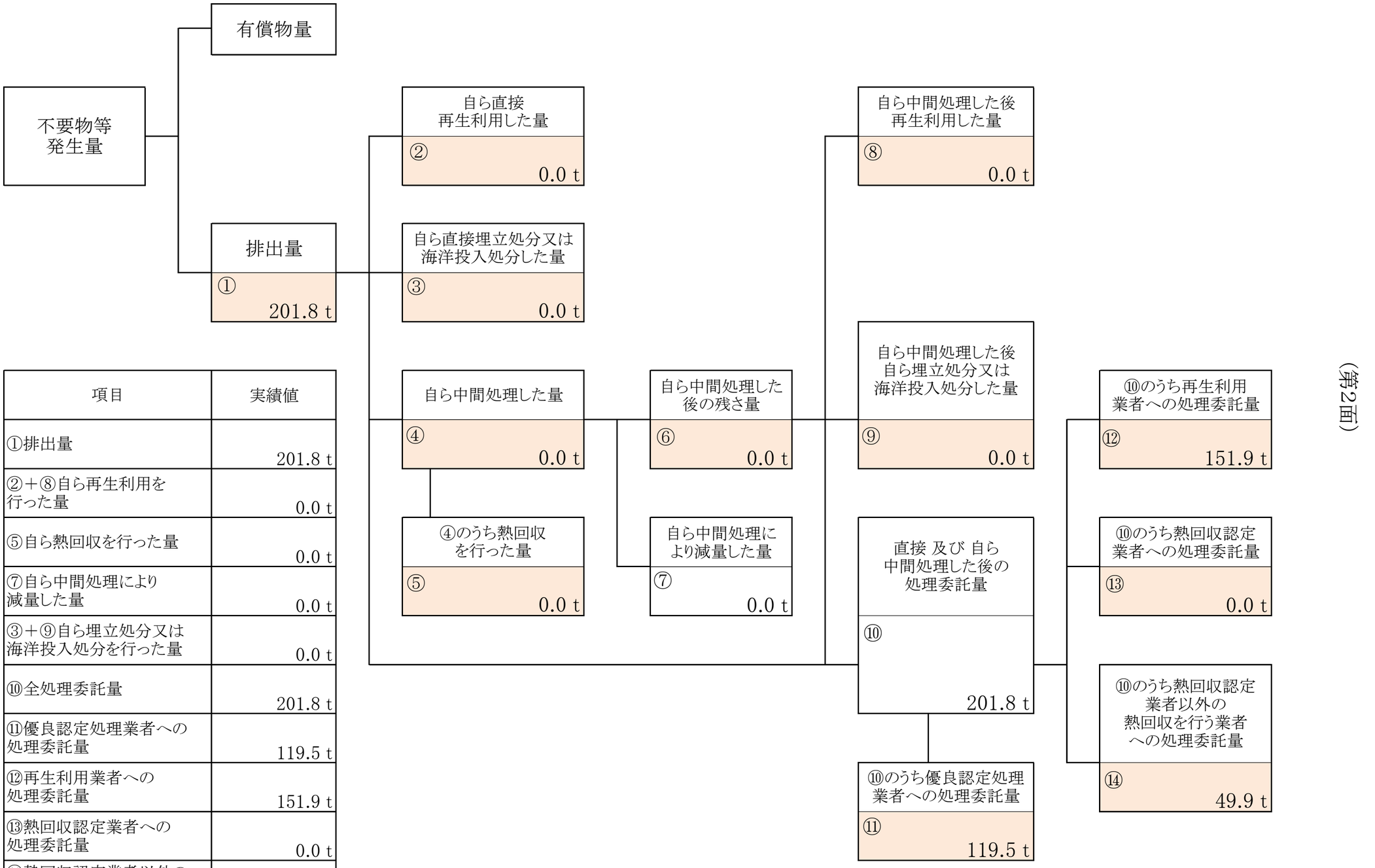


項目	実績値
①排出量	337.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	337.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	107.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	70.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	24.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	72.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

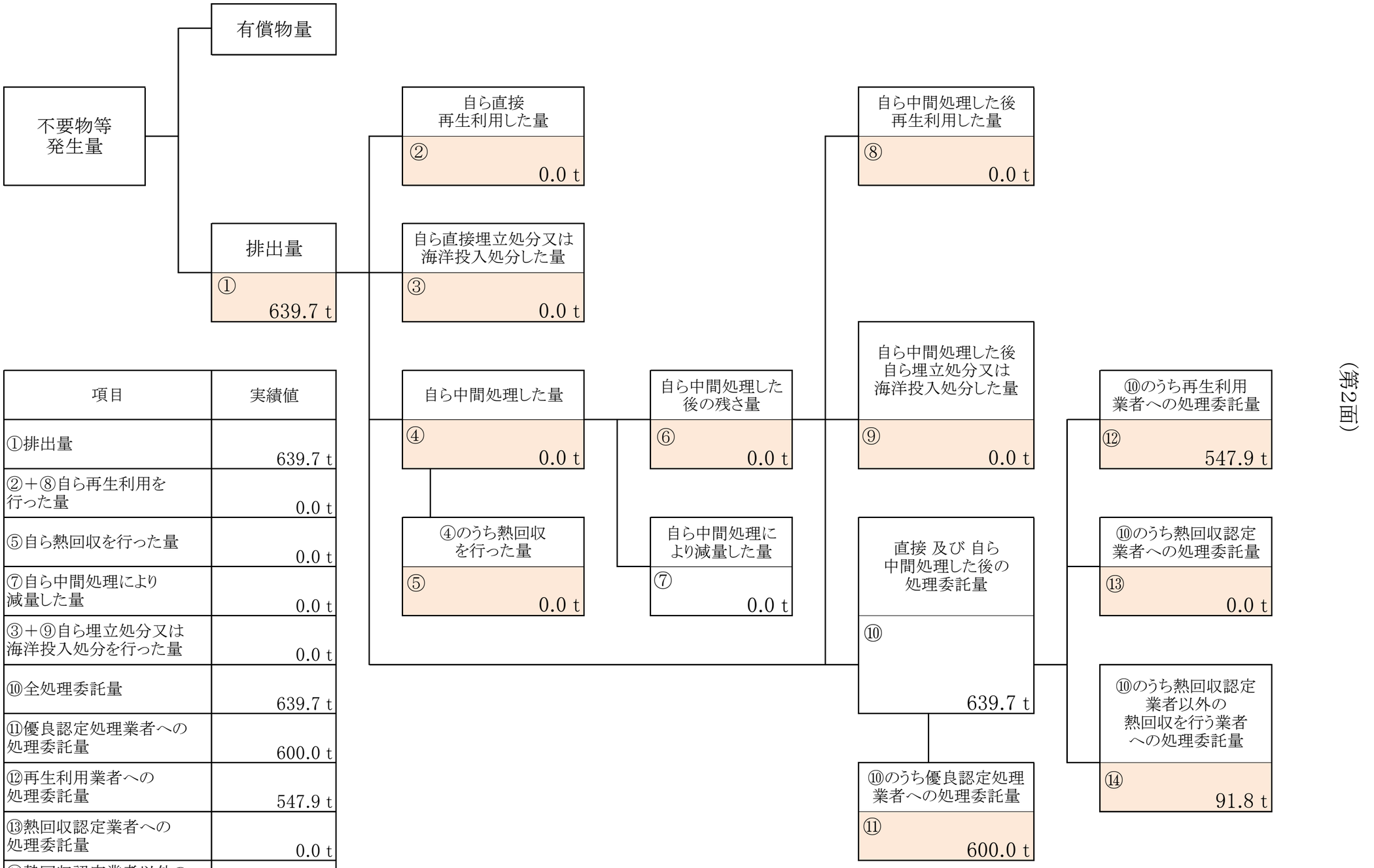


項目	実績値
①排出量	201.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	201.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	119.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	151.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	49.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

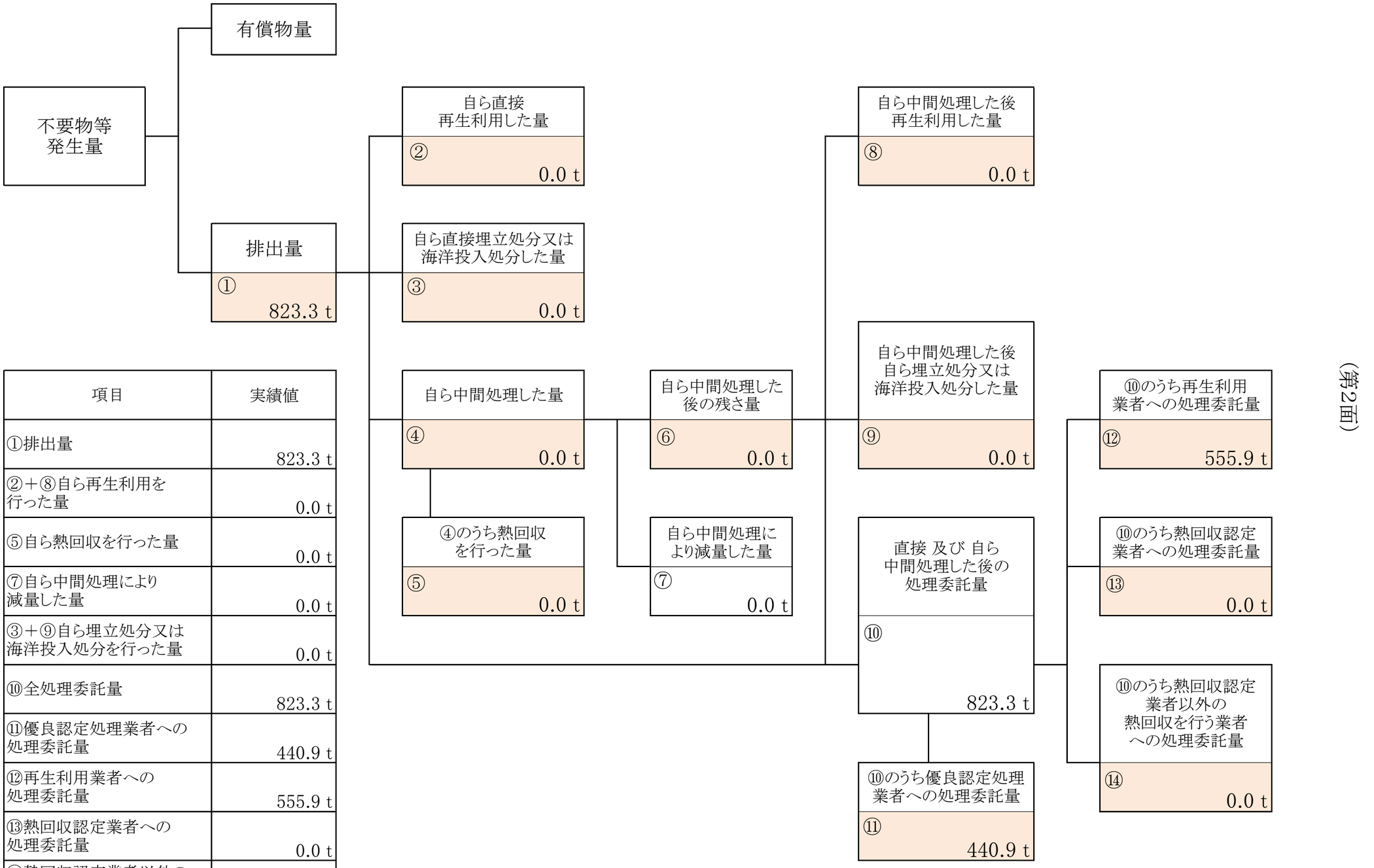


項目	実績値
①排出量	639.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	639.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	600.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	547.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	91.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス、陶磁器くず**）

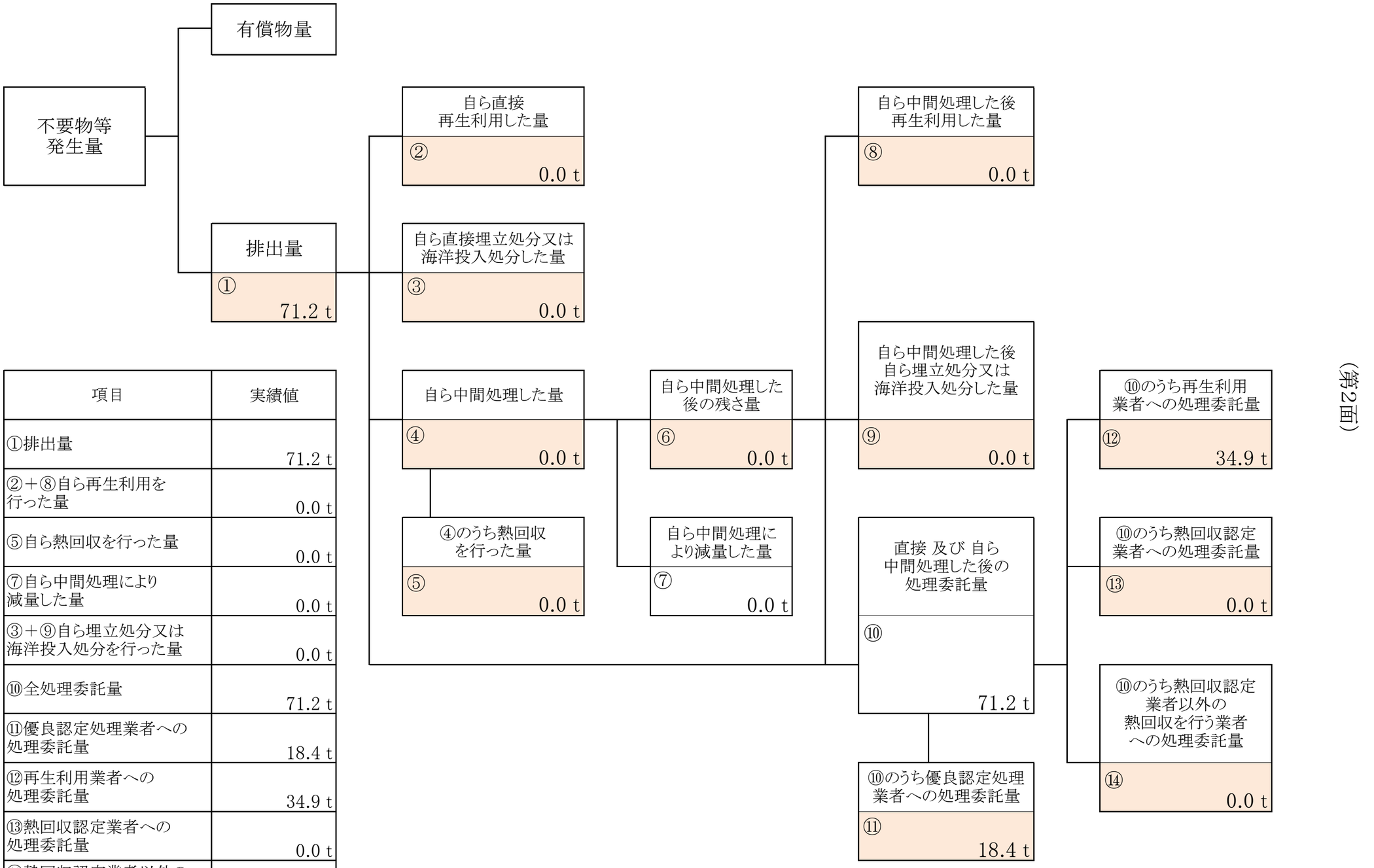


項目	実績値
①排出量	823.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	823.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	440.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	555.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

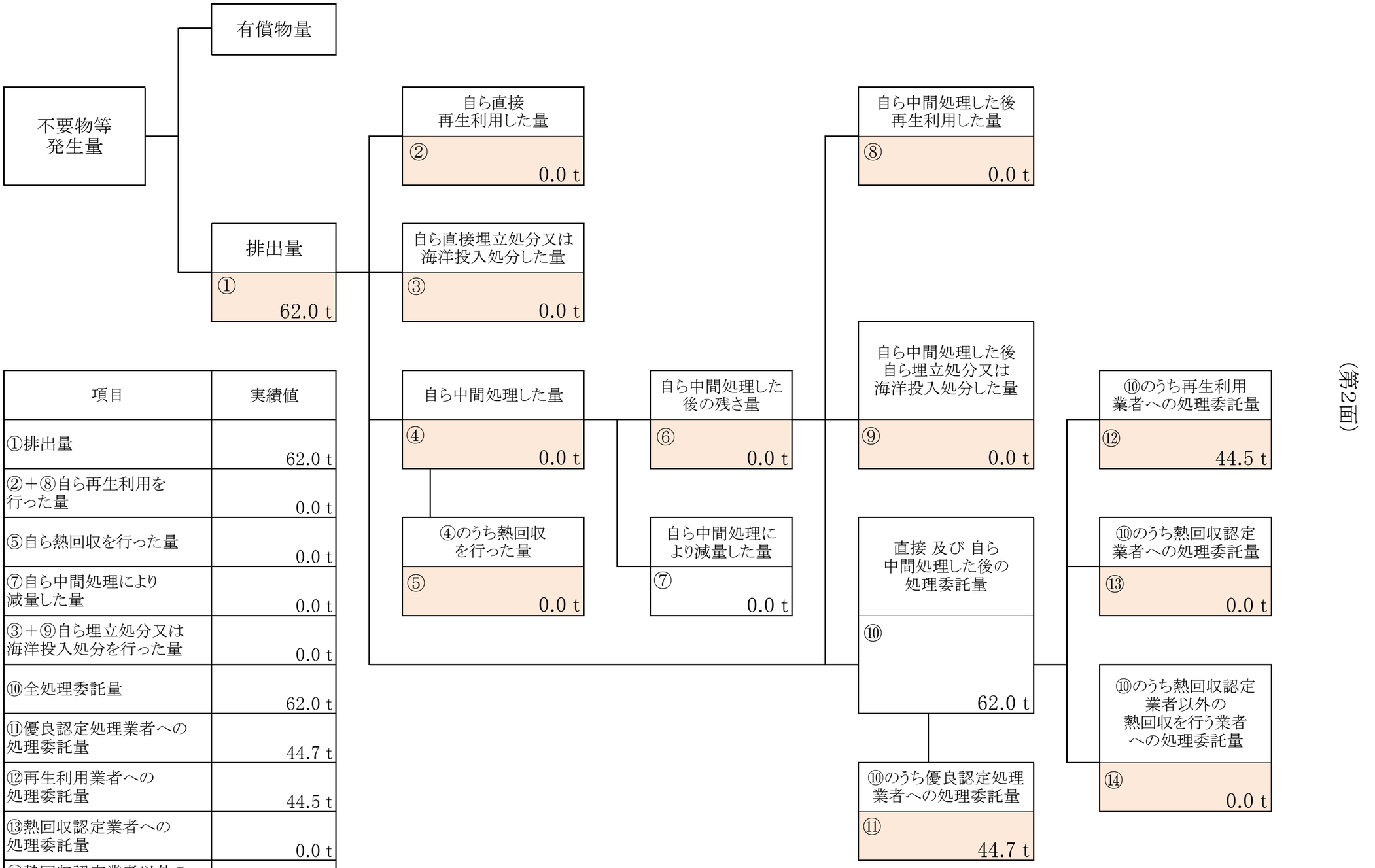


項目	実績値
①排出量	71.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	71.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	34.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

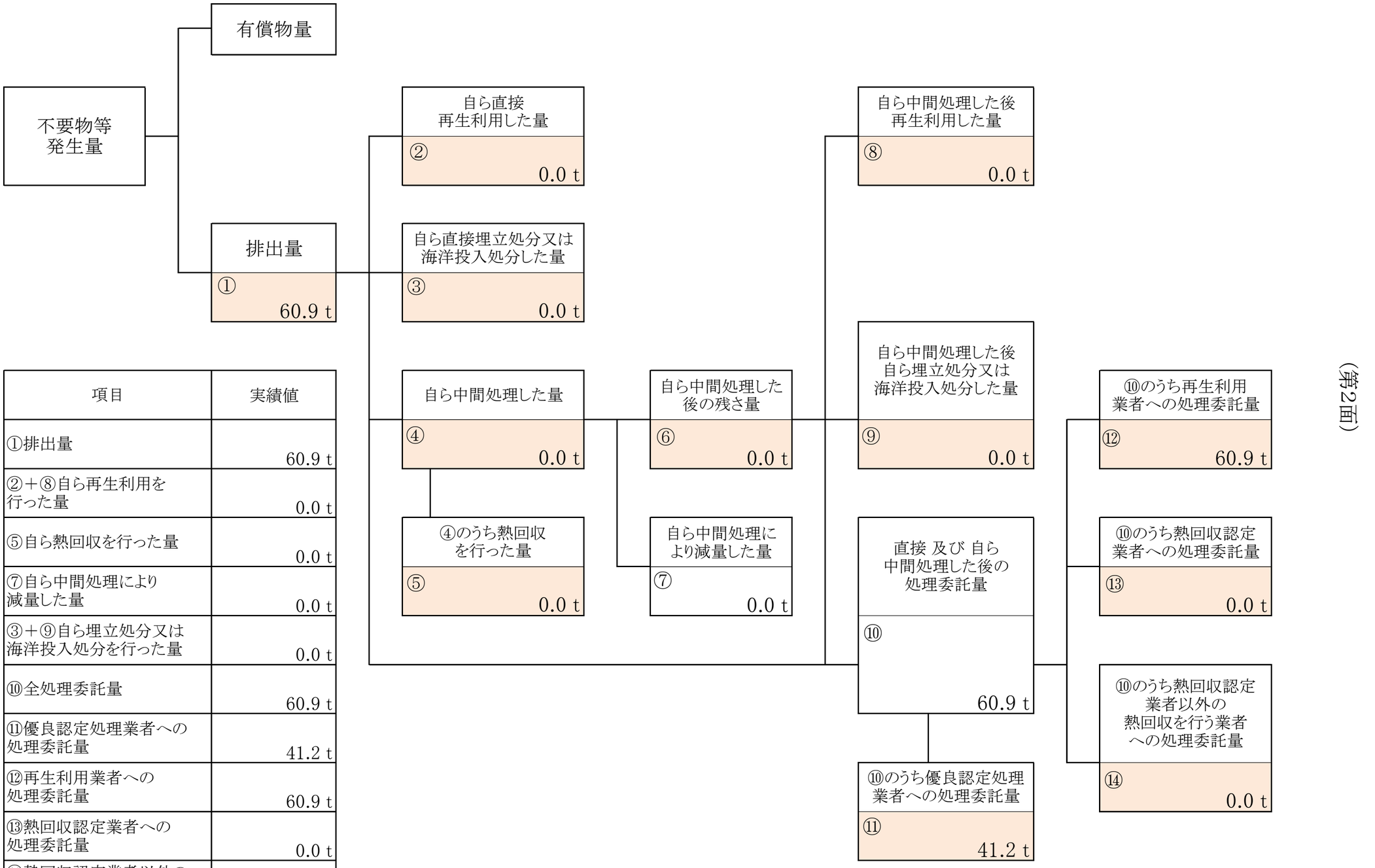


項目	実績値
①排出量	62.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）



項目	実績値
①排出量	60.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月15日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒288-0043

住　所　千葉県銚子市東芝町３番地の１

氏　名　岡田土建株式会社
代表取締役　岡田　知益

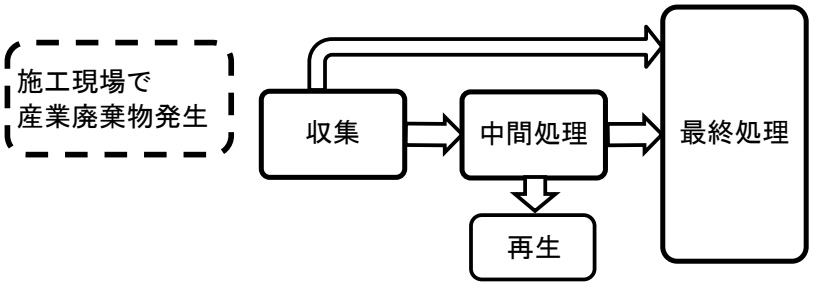
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４７９－２２－６４１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岡田土建株式会社
事業場の所在地	千葉県銚子市東芝町３番地の１
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

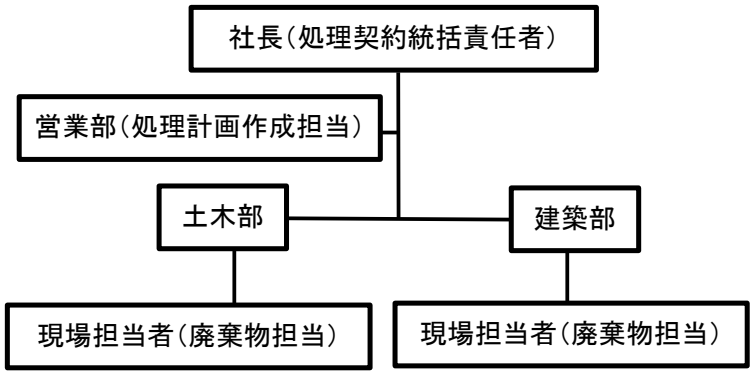
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	34億8,000万円
③　従業員数	33名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙集計表のとおり	
排出量	t	t

（これまでに実施した取組）
設計図書に基づき適正な処理を行う。
各現場において、産業廃棄物の種類ごとに集積場所を設け、分別を行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	別紙集計表のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）
現状の取組みを維持する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
各現場において、産業廃棄物の種類ごとに集積場所を設け、分別を行う。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状の取組みを維持する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 許可を受けた運搬業者及び処理業者と建設産業廃棄物委託契約に基づき紙マニフェストにより管理し、適切に委託を行っている。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙集計表のとおり	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 現状の取組みを維持する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
①現状	排出量	9.46 t	513.48 t	4.69 t	3.02 t	356.33 t	20.05 t	1.4 t	30.885 t	113.24 t	1.045 t	1.48 t	0.4 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
②計画	排出量	9 t	513 t	4 t	3 t	356 t	20 t	1 t	30 t	113 t	1 t	1 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	9.46 t	513.48 t	4.69 t	3.02 t	356.33 t	20.05 t	1.4 t	30.885 t	113.24 t	1.045 t	1.48 t	0.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	9.46 t	513.48 t	4.69 t	3.02 t	356.33 t	20.05 t	1.4 t	30.885 t	113.24 t	1.045 t	1.48 t	0.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	ゴムくず	金属くず	コンクリートがら	ﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄが	管理型混合廃棄物	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	がれき類	木くず	綿含有産業廃棄	紙くず
全処理委託量	9 t	513 t	4 t	3 t	356 t	20 t	1 t	30 t	113 t	1 t	1 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	9 t	513 t	4 t	3 t	356 t	20 t	1 t	30 t	113 t	1 t	1 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月１６日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-0006

住　所　千葉県松戸市大金平三丁目165番地

氏　名　株式会社岡本組
代表取締役社長　　谷　信一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047（343）5588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　岡本組
事業場の所在地	〒270-0006　千葉県松戸市大金平三丁目165番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	令和６年度　元請完成工事高　　１億９千万
③　従業員数	３３人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → アスコンがら → 委託処理(中間処理・破砕) 工事現場 → コンクリートがら → 委託処理(中間処理・破砕) 工事現場 → その他がれき類 → 委託処理(中間処理・破砕) 工事現場 → ガラス・陶磁器くず → 委託処理(中間処理・破砕) 工事現場 → 建設汚泥 → 委託処理(中間処理・脱水) 工事現場 → 建設混合廃棄物 → 委託処理(中間処理・圧縮)

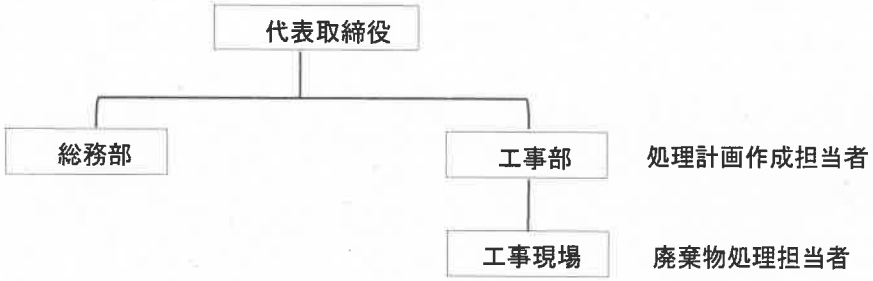
千葉県 -7.6.17 収受

（日本産業規格　A列4番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
排出量	537.3 t	155.5 t

（これまでに実施した取組）
・産業廃棄物種類ごとの分別、処分を実施。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
排出量	600 t	150 t

（今後実施する予定の取組）

・産業廃棄物ごとの分別。
・排出量については千葉県及び松戸市役所の発注工事などの受注状況により数量が大きく変わるので排出量の抑制は該当しない。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物ごとに現場内に仮置場を設置し分別。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物の種類が解るように標識を設置する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
全処理委託量	537.3 t	155.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	537.3 t	155.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・委託契約書に基づいて適正な産業廃棄物の処理が実施されているかの確認。
・処分場の場所と処分場の設備及び処分状況の確認。
・産業廃棄物の運搬車両が登録されているかの確認。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	コンクリートがら
		全処理委託量	600 t	150 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	600 t	150 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・当社は受注産業なので、受注した工事工種により産業廃棄物の数量が計画と実施で大きく相違がでます。従い廃棄物の低減は該当しませんので、今後も廃棄物の分別の徹底と、委託契約書に基づき適正な処分を実施します。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃油（作動油）
		排　出　量	447.7 t	2.6 t	3 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
		排　出　量	500 t	5 t	5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
全処理委託量	447.7 t	2.6 t	3 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	447.7 t	2.6 t	3 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	木くず	汚泥・廃ｱﾙｶﾘ	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	建設汚泥	建設混合廃棄物	綿含有産業廃棄	廃油（作動油）
全処理委託量	500 t	5 t	5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	500 t	5 t	5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月16日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-0006
住 所　千葉県松戸市大金平三丁目165番地
氏 名　株式会社岡本組 代表取締役社長 谷 信一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 047(343)5588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 岡本組
事業場の所在地	〒270-0006　千葉県松戸市大金平三丁目165番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

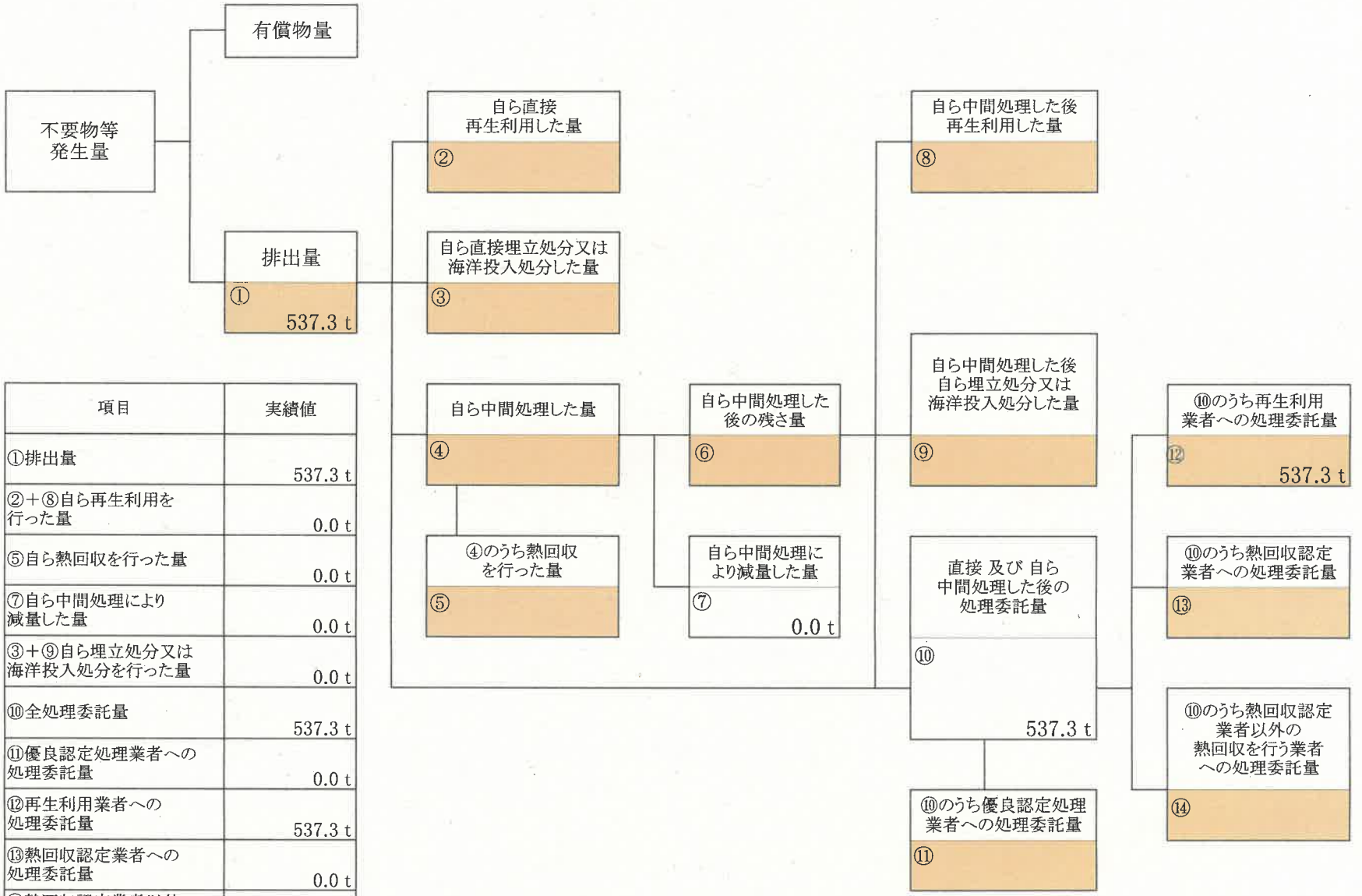
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1044.0 t	全処理委託量	1044.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1044.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

千葉県 -7.6.17 収受

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

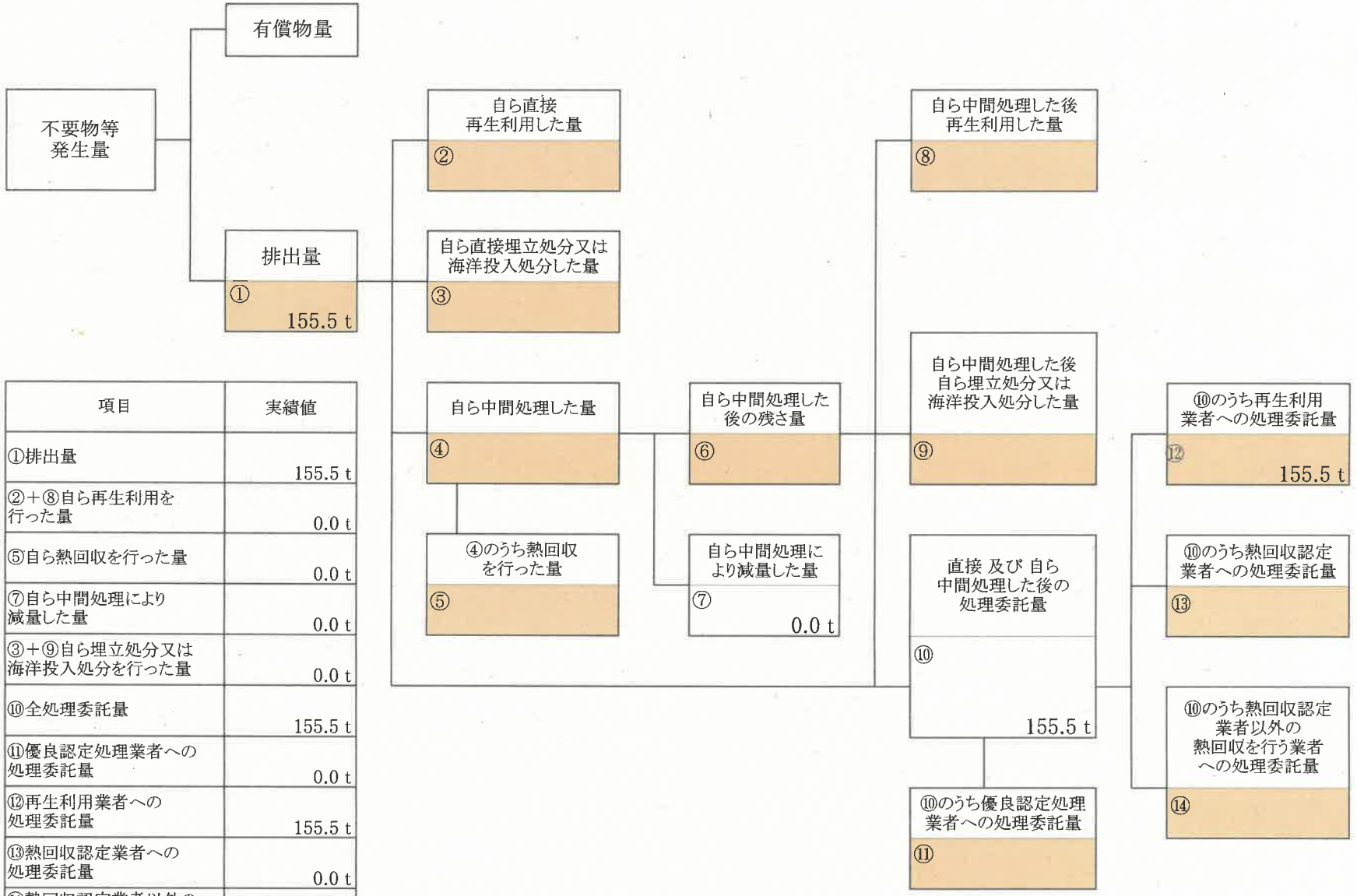


項目	実績値
①排出量	537.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	537.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	537.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

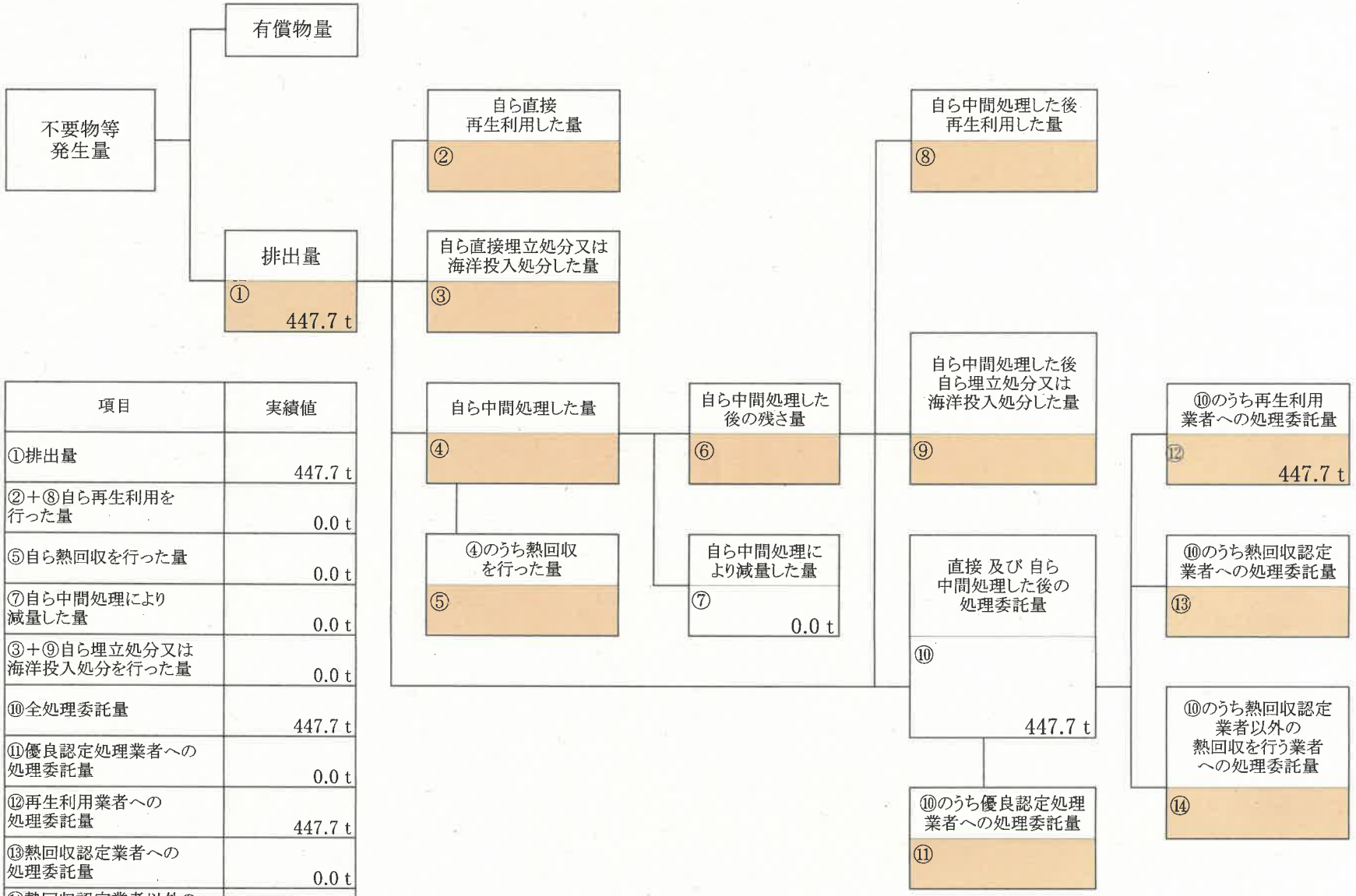


項目	実績値
①排出量	155.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	155.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	155.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

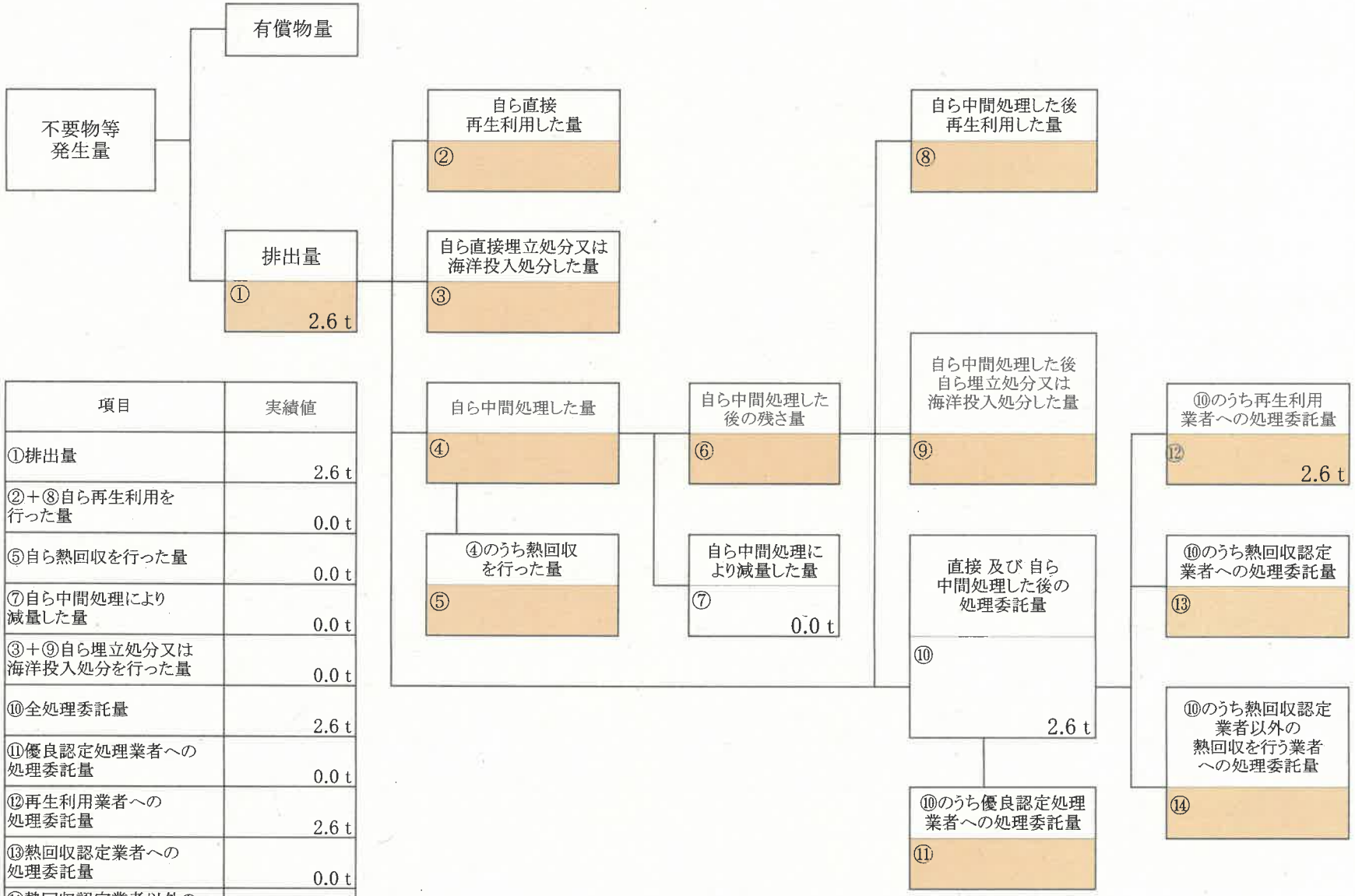


項目	実績値
①排出量	447.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	447.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	447.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

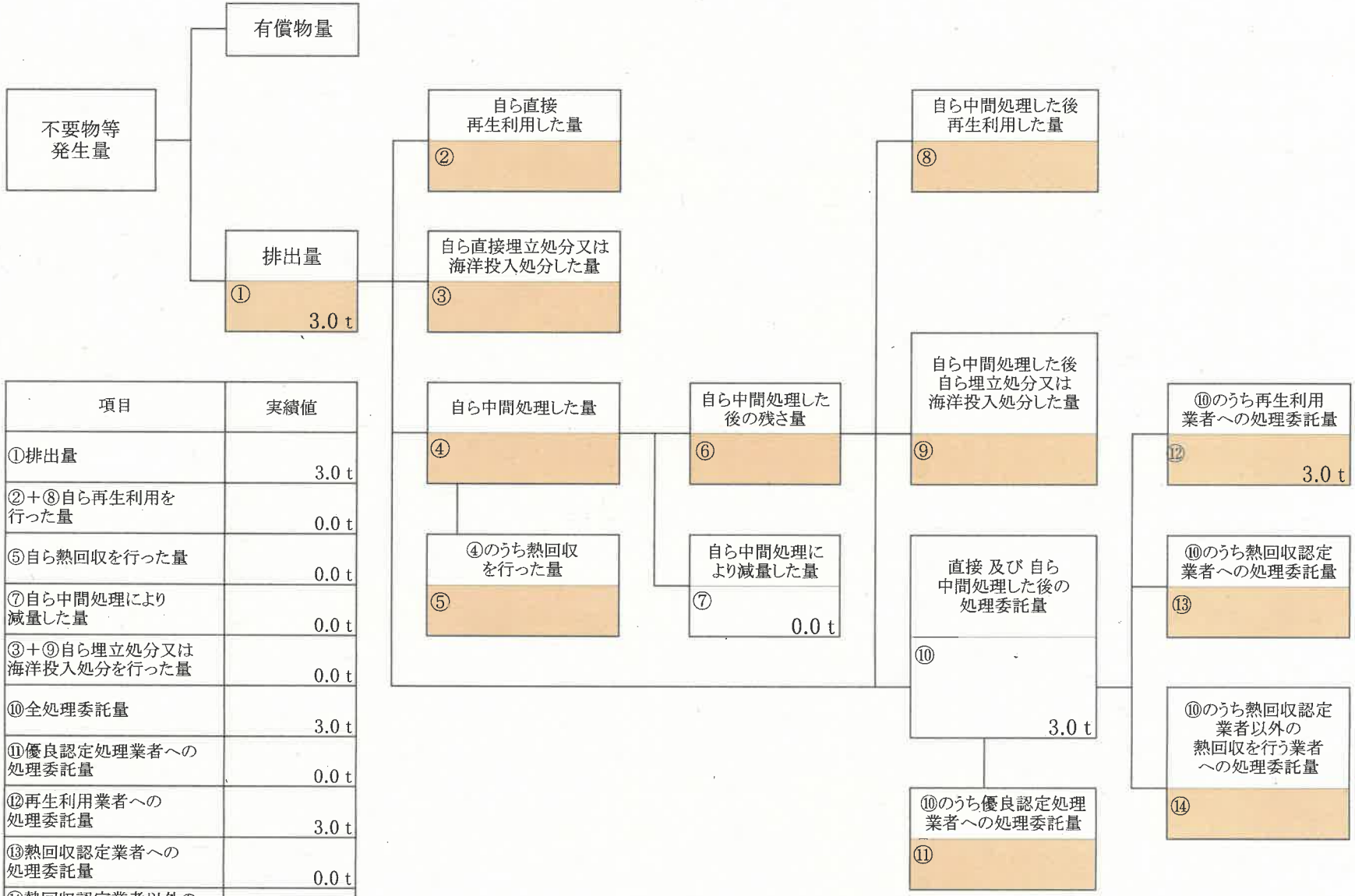


項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥・廃アルカリ**）

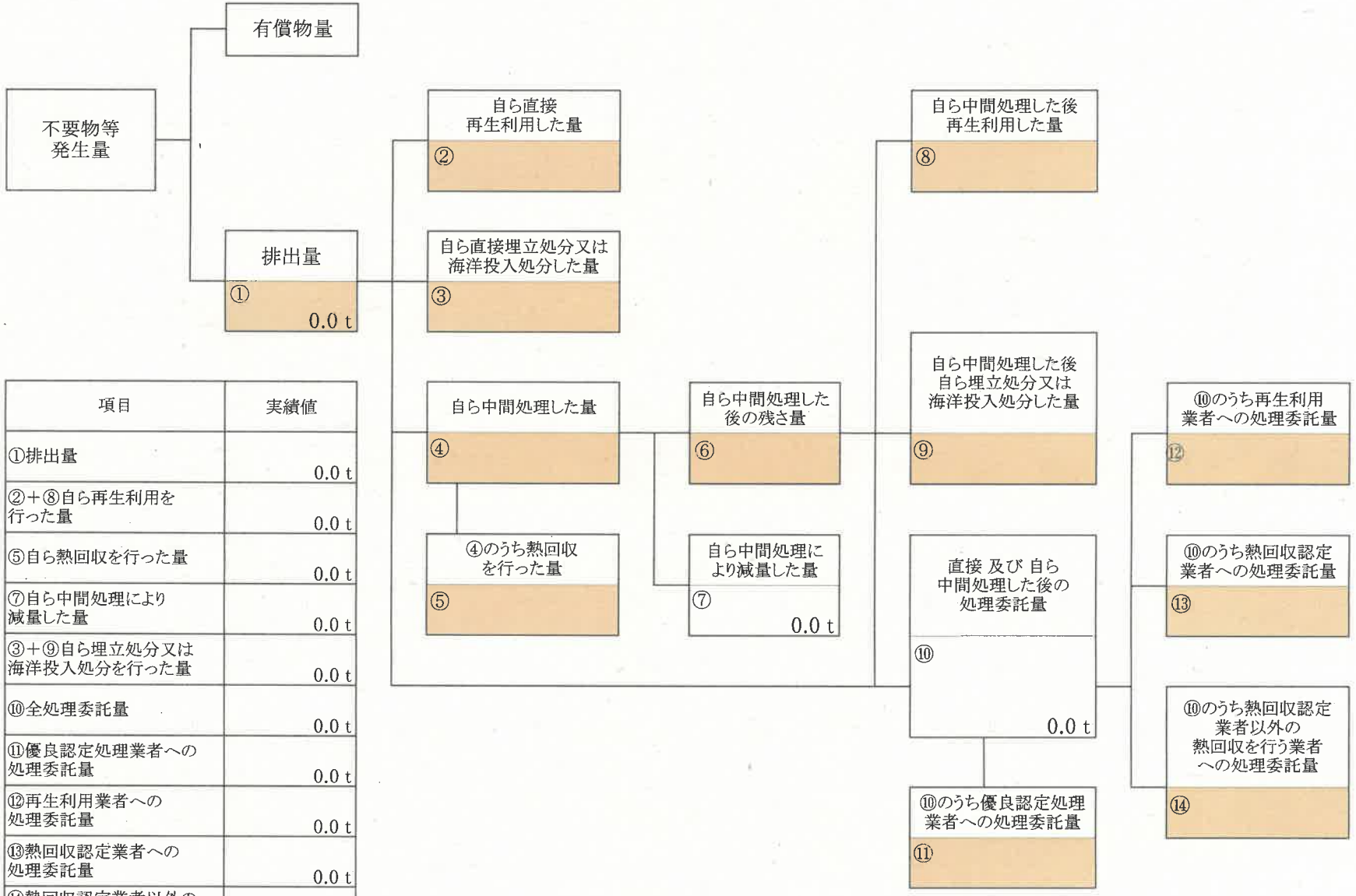


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず）

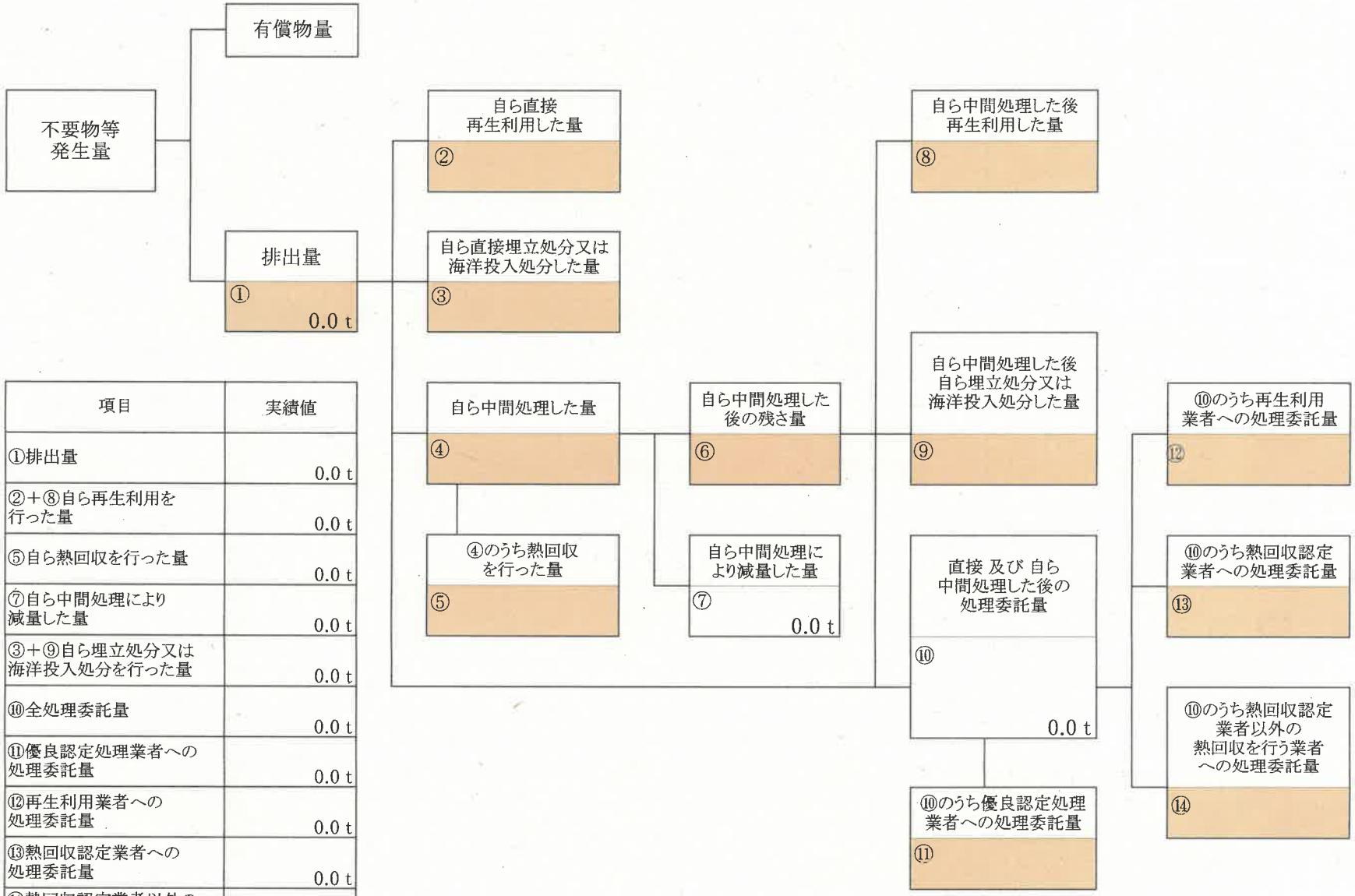


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

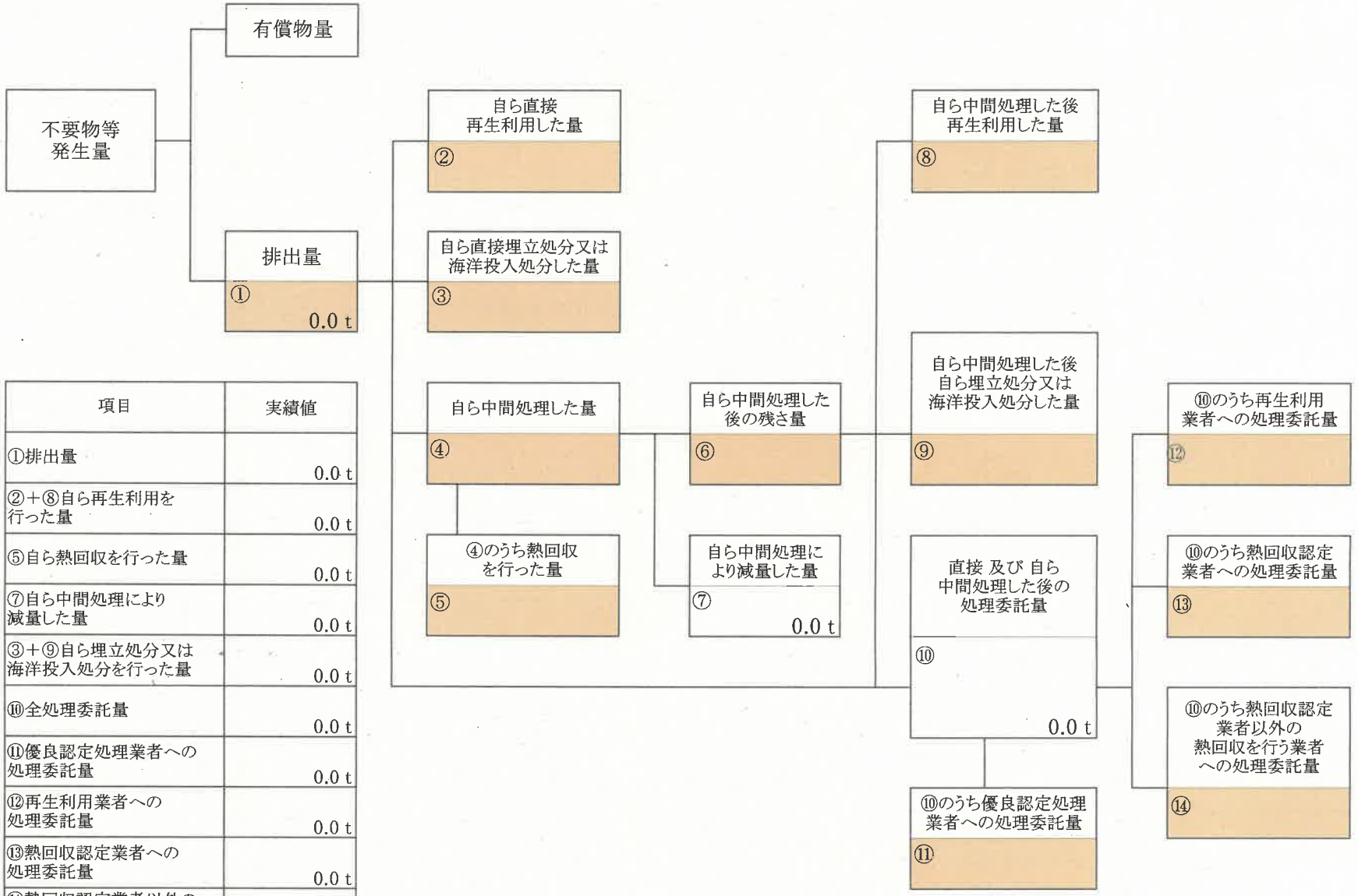


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合破棄物**）

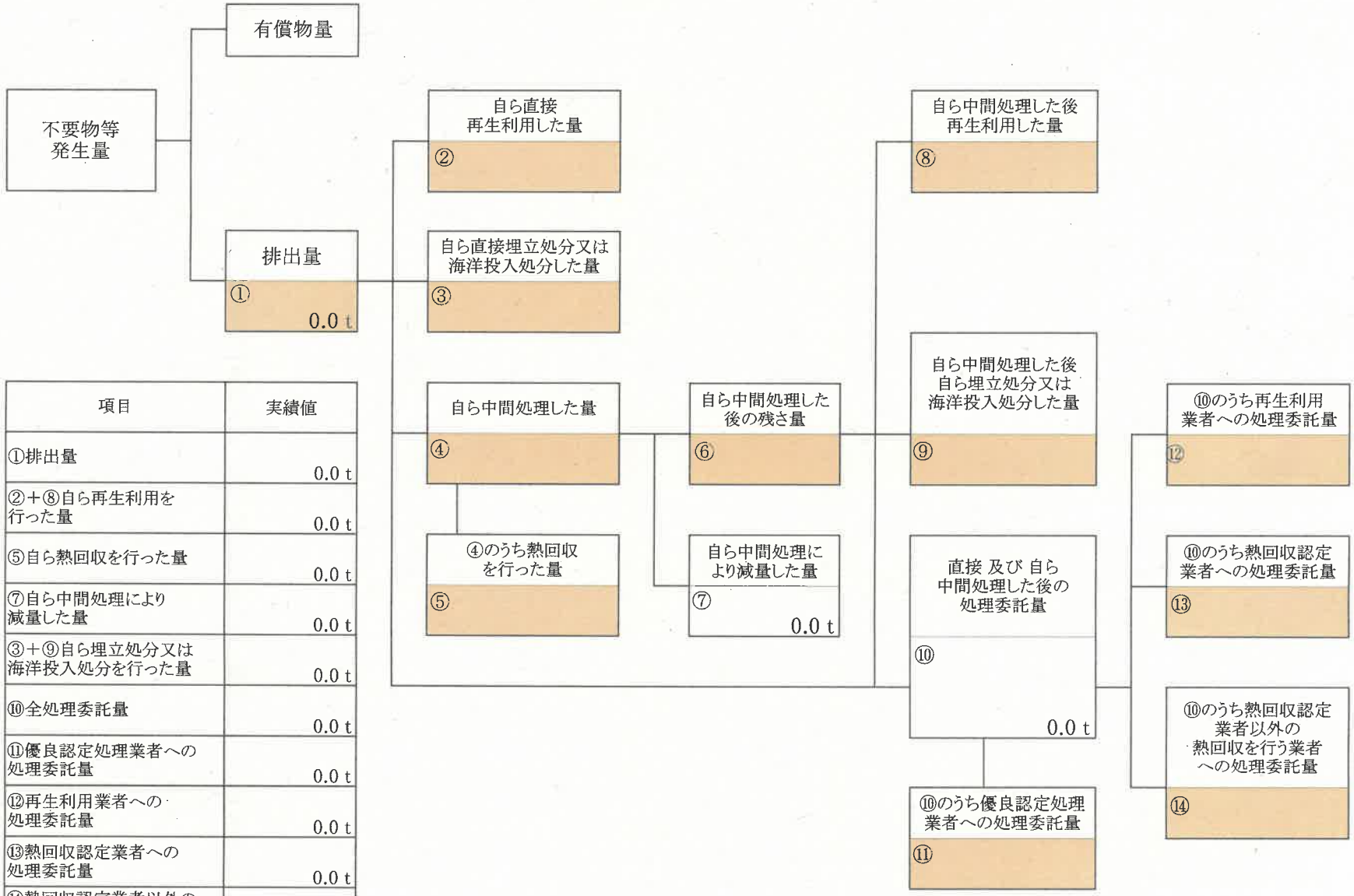


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物）

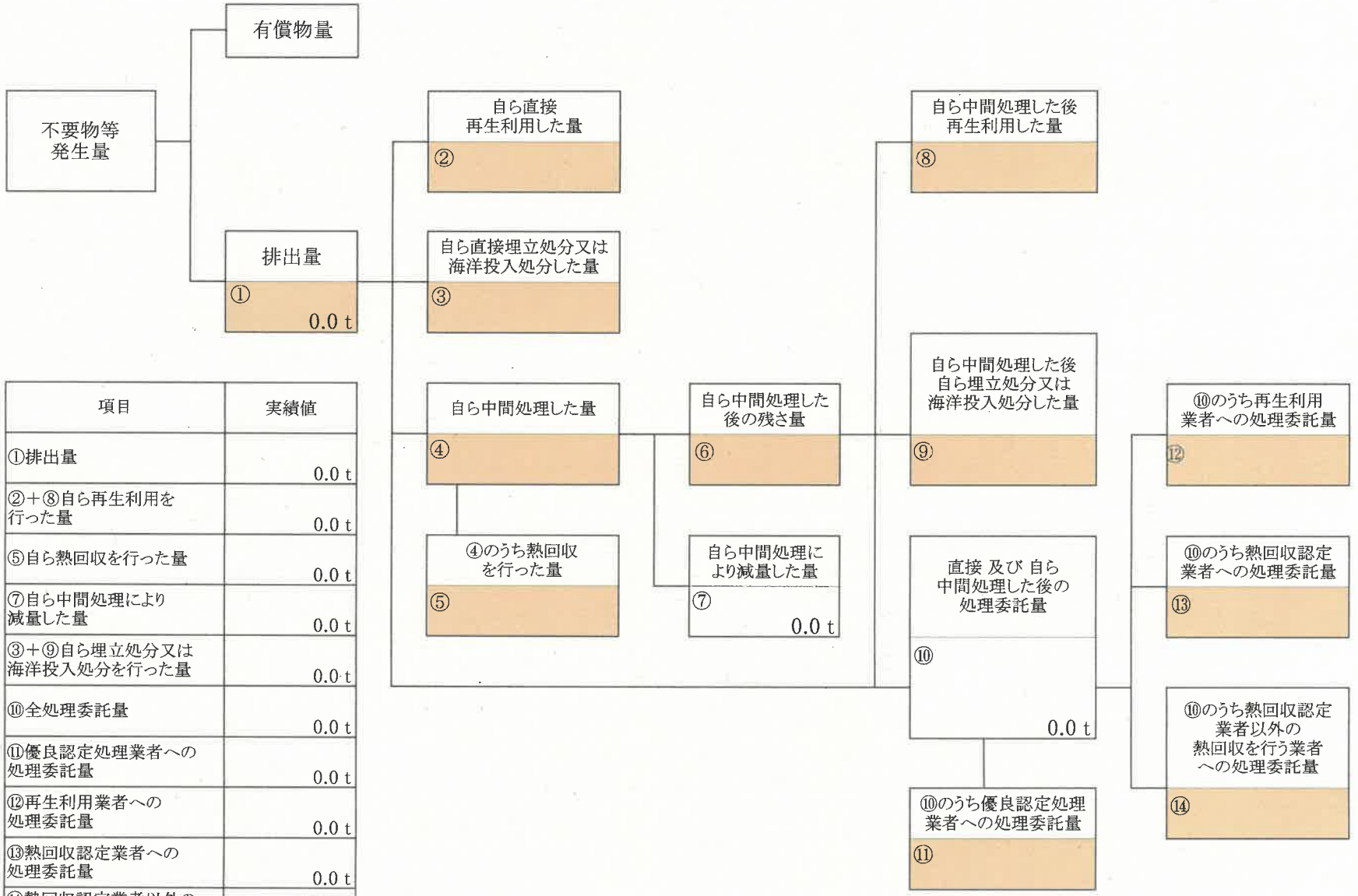


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油（作動油）**）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月11日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市中央区新町18-14 千葉新町ﾋﾞﾙ4F

氏 名　（株）奥村組 東日本支社 東関東支店

支店長 豊田　昭雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5427-2314

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社奥村組　東日本支社　東関東支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町18-14 千葉新町ﾋﾞﾙ4F
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	1767.2億円
③従業員数	１２００名(派遣含む)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・工事着手にあたり、施工方針検討会や施工計画検討会を開催し、産業廃棄物抑制の観点から施工方法、使用資材の検討を実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・資材等の削減について、簡易梱包及び無梱包の採用により梱包材の削減を図る
・施工法の変更、新工法の開発により、廃棄物発生量の抑制を図る

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・分別計画に基づき、再生可能品目（金属くず、ダンボール、ロックウール、ALC板、石膏ボード）、建設リサイクル法で定められている特定建設資材について再資源化を促進するため、分別の後混合廃棄物としての搬出を削減している
・一般廃棄物（生ごみ、新聞等の事務所ごみ）との区分を徹底

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・再資源化施設等への搬入には、適切な分別が要求されており、各現場において協力業者との密な打合せ及び教育等を徹底し、分別の促進を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら再生利用は実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も自ら再生利用は実施しない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら中間処理は実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も中間処理は実施しない		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・自ら埋立処理等は実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・今後も自ら埋立処理等は実施しない</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・処理内容を把握し処理業者と適正な委託契約を締結
・処理業者の定期的なパトロールを実施し、適正に処理されているかを確認
・特別管理産業廃棄物の適正な処理を確保
・処理業者による協力業者の教育を実施</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の要求事項を把握・順守する
・優良認定業者の把握及び処理委託の実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

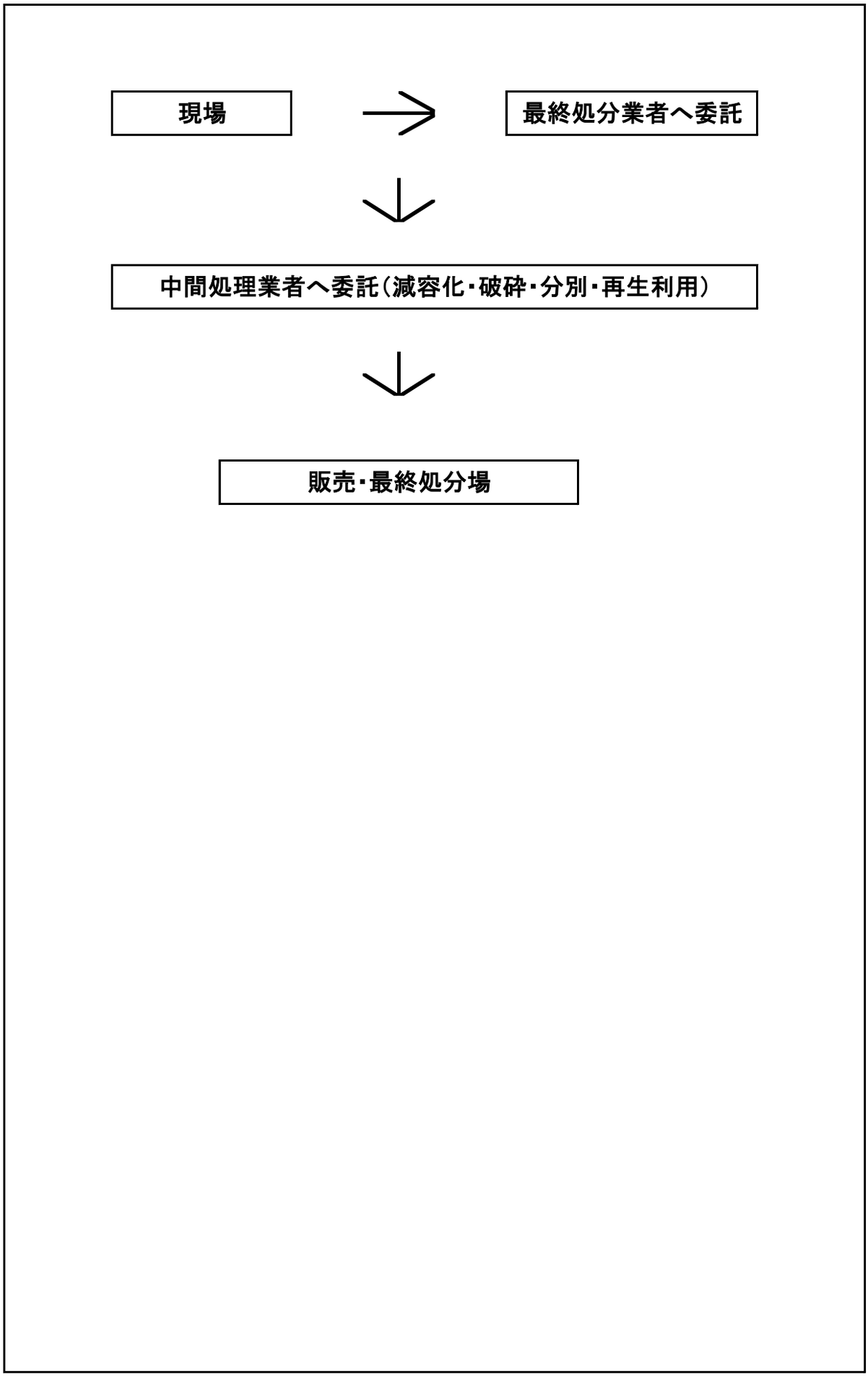
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

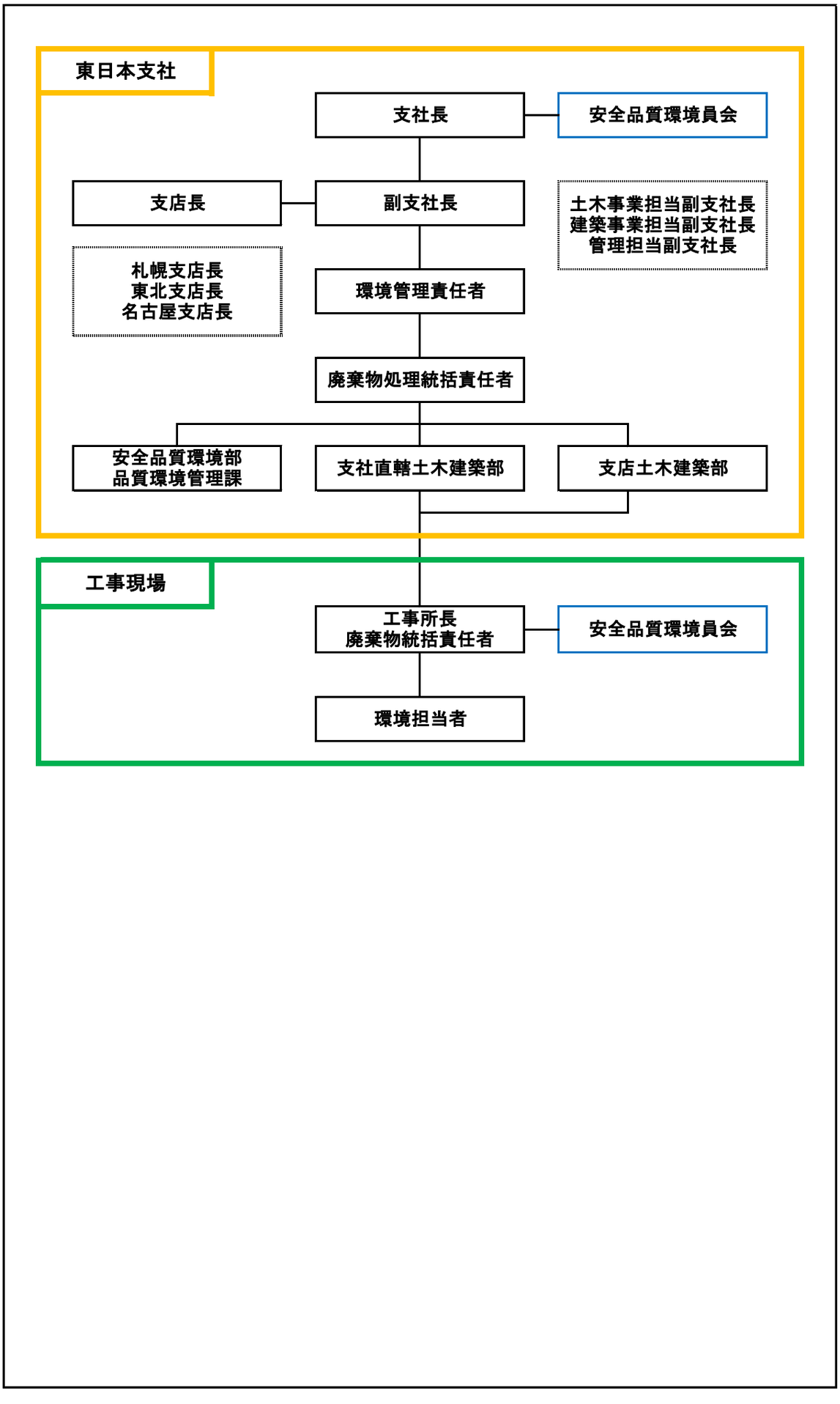
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図



別添２ 管理体制図


東日本支社
支社長
安全品質環境員会
支店長
副支社長
土木事業担当副支社長
建築事業担当副支社長
管理担当副支社長
札幌支店長
東北支店長
名古屋支店長
環境管理責任者
廃棄物処理統括責任者
安全品質環境部
品質環境管理課
支社直轄土木建築部
支店土木建築部
工事現場
工事所長
廃棄物統括責任者
安全品質環境員会
環境担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		排　出　量	4,559.75 t	1.80 t	423.12 t	92.16 t	557.83 t	3.50 t	400.50 t	190.20 t	1,113.70 t	329.88 t	1,245.42 t	0.39 t	90.27 t	4.00 t			
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		排　出　量	3,647.80 t	1.44 t	338.50 t	73.73 t	446.26 t	2.80 t	320.40 t	152.16 t	890.96 t	263.90 t	996.34 t	0.31 t	72.22 t	3.20 t			
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類				
全処理委託量	4,559.75 t	1.80 t	423.12 t	92.16 t	557.83 t	3.50 t	400.50 t	190.20 t	1,113.70 t	329.88 t	1,245.42 t	0.39 t	90.27 t	4.00 t				
優良認定処理業者への処理委託量	8.80 t	1.80 t	282.80 t	66.90 t	468.45 t	1.13 t	314.50 t	14.10 t	264.92 t	27.38 t	1,183.26 t	0.00 t	14.17 t	4.00 t				
再生利用業者への処理委託量	4,559.75 t	1.80 t	423.12 t	92.16 t	554.61 t	3.50 t	400.50 t	181.20 t	1,106.30 t	329.88 t	1,245.42 t	0.39 t	90.27 t	4.00 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類				
全処理委託量	3,647.80 t	1.44 t	338.50 t	73.73 t	446.26 t	2.80 t	320.40 t	152.16 t	890.96 t	263.90 t	996.34 t	0.31 t	72.22 t	3.20 t				
優良認定処理業者への処理委託量	7.04 t	1.44 t	226.24 t	53.52 t	374.76 t	0.90 t	251.60 t	11.28 t	211.94 t	21.90 t	946.61 t	0.00 t	11.34 t	3.20 t				
再生利用業者への処理委託量	3,647.80 t	1.44 t	338.50 t	73.73 t	443.69 t	2.80 t	320.40 t	144.96 t	885.04 t	263.90 t	996.34 t	0.31 t	72.22 t	3.20 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月11日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 千葉県千葉市中央区新町18-14 千葉新町ﾋﾞﾙ4F

氏 名 （株）奥村組 東日本支社 東関東支店

支店長 豊田 昭雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5427-2314

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社奥村組 東日本支社 東関東支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町18-14 千葉新町ﾋﾞﾙ4F
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

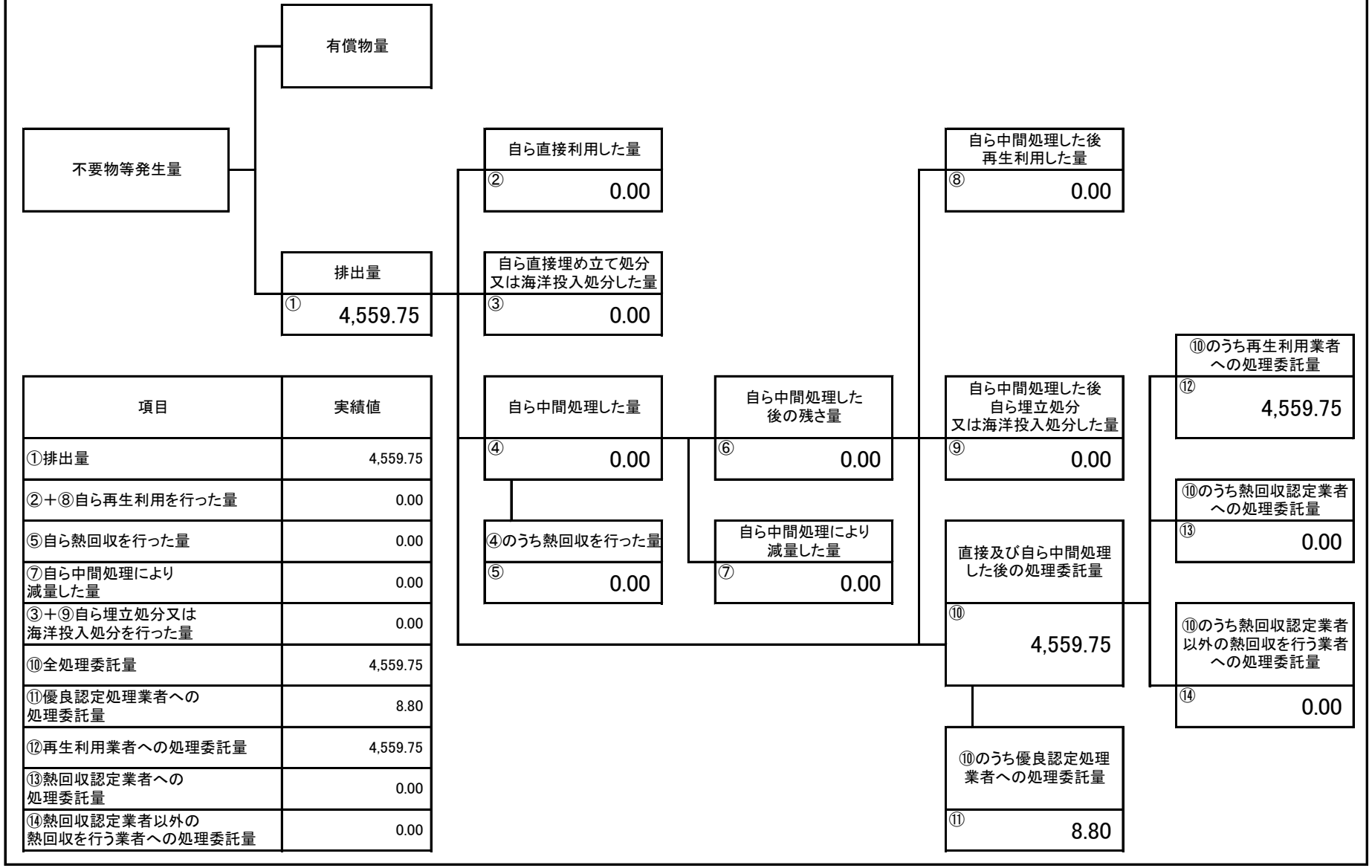
項目	目標値	項目	目標値
排出量	8,065.50 t	全処理委託量	8,065.50 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,511.97 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	8,065.50 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

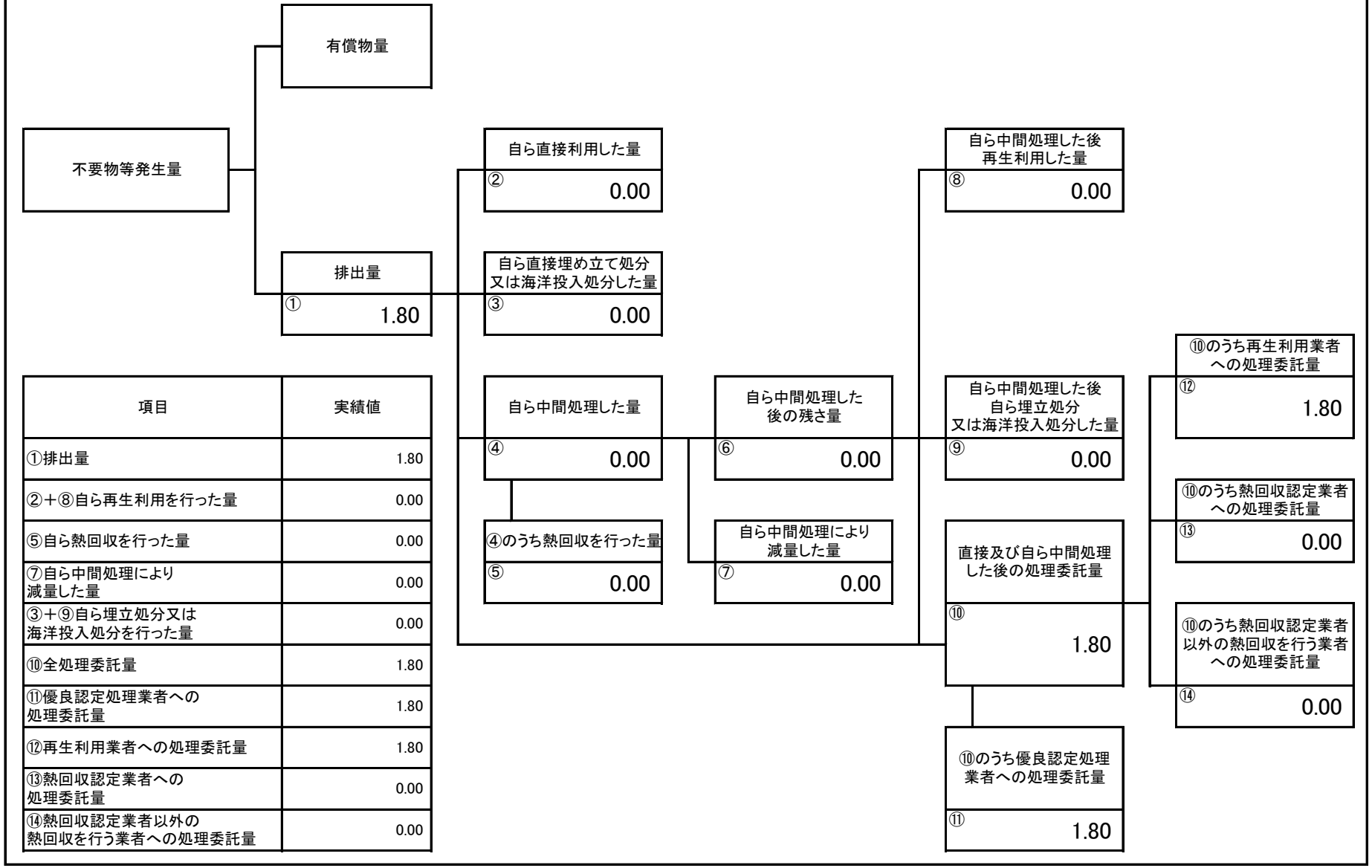


項目	実績値
①排出量	4,559.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,559.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.80
⑫再生利用業者への処理委託量	4,559.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

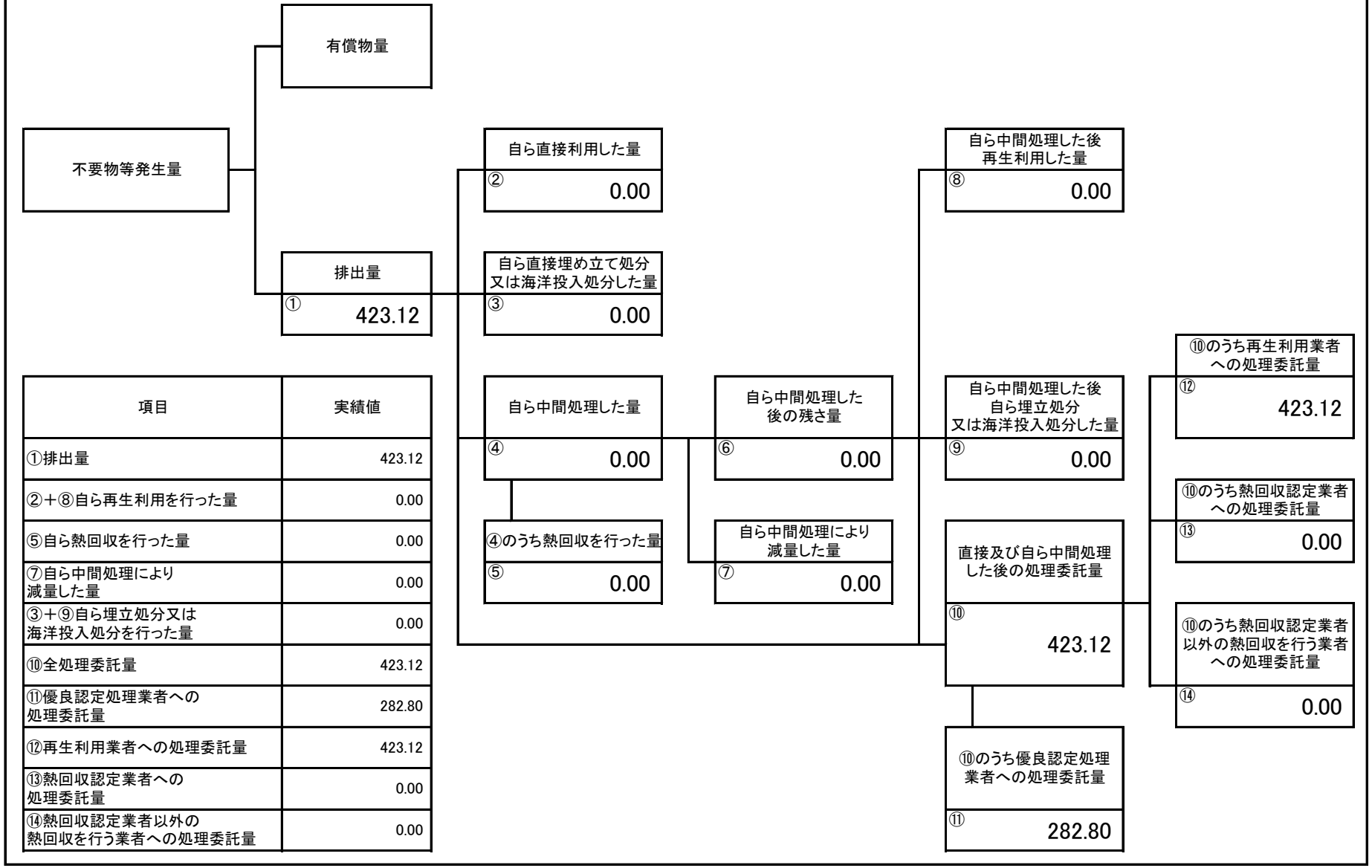


項目	実績値
①排出量	1.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.80
⑫再生利用業者への処理委託量	1.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

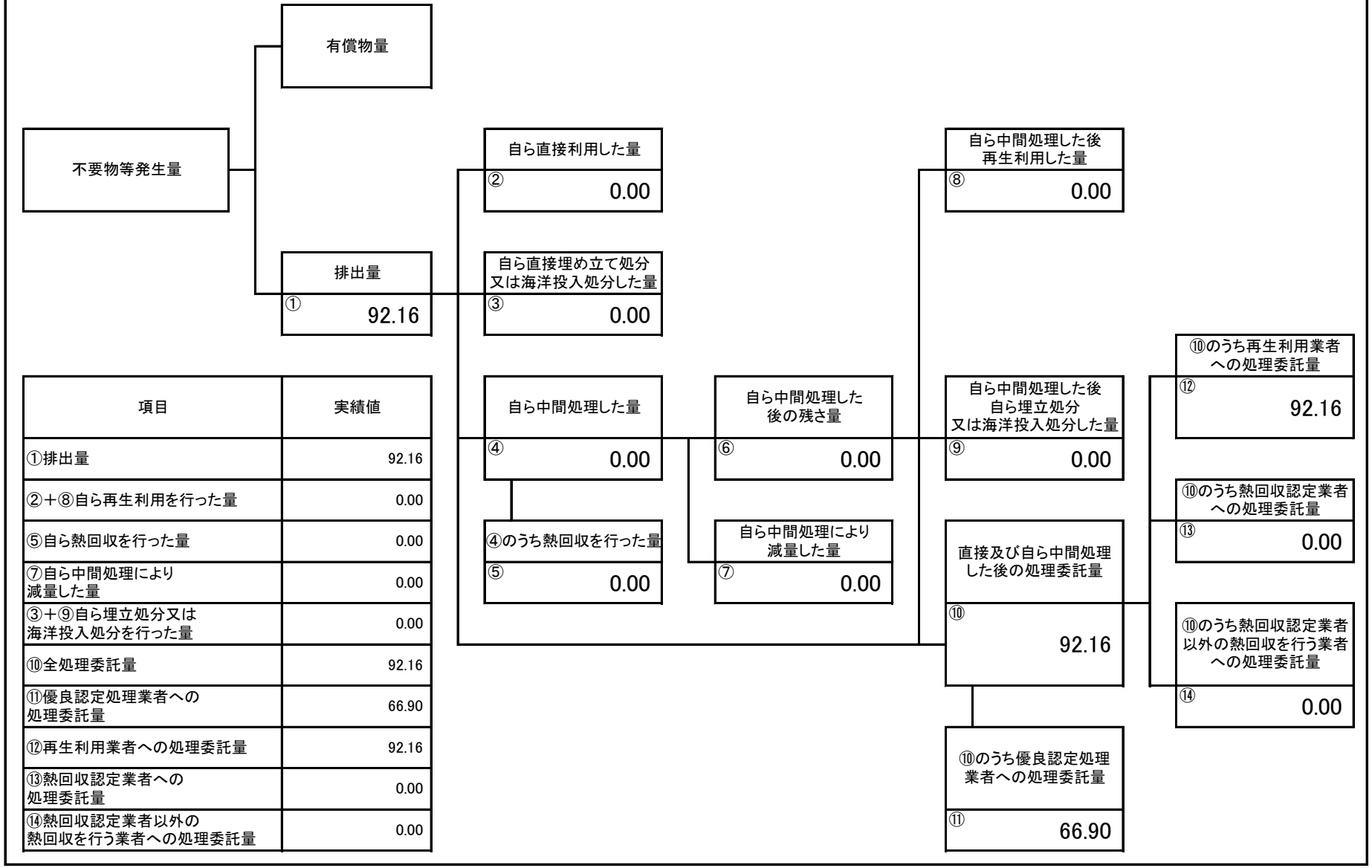


項目	実績値
①排出量	423.12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	423.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.80
⑫再生利用業者への処理委託量	423.12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類紙くず　　）

（単位：トン）

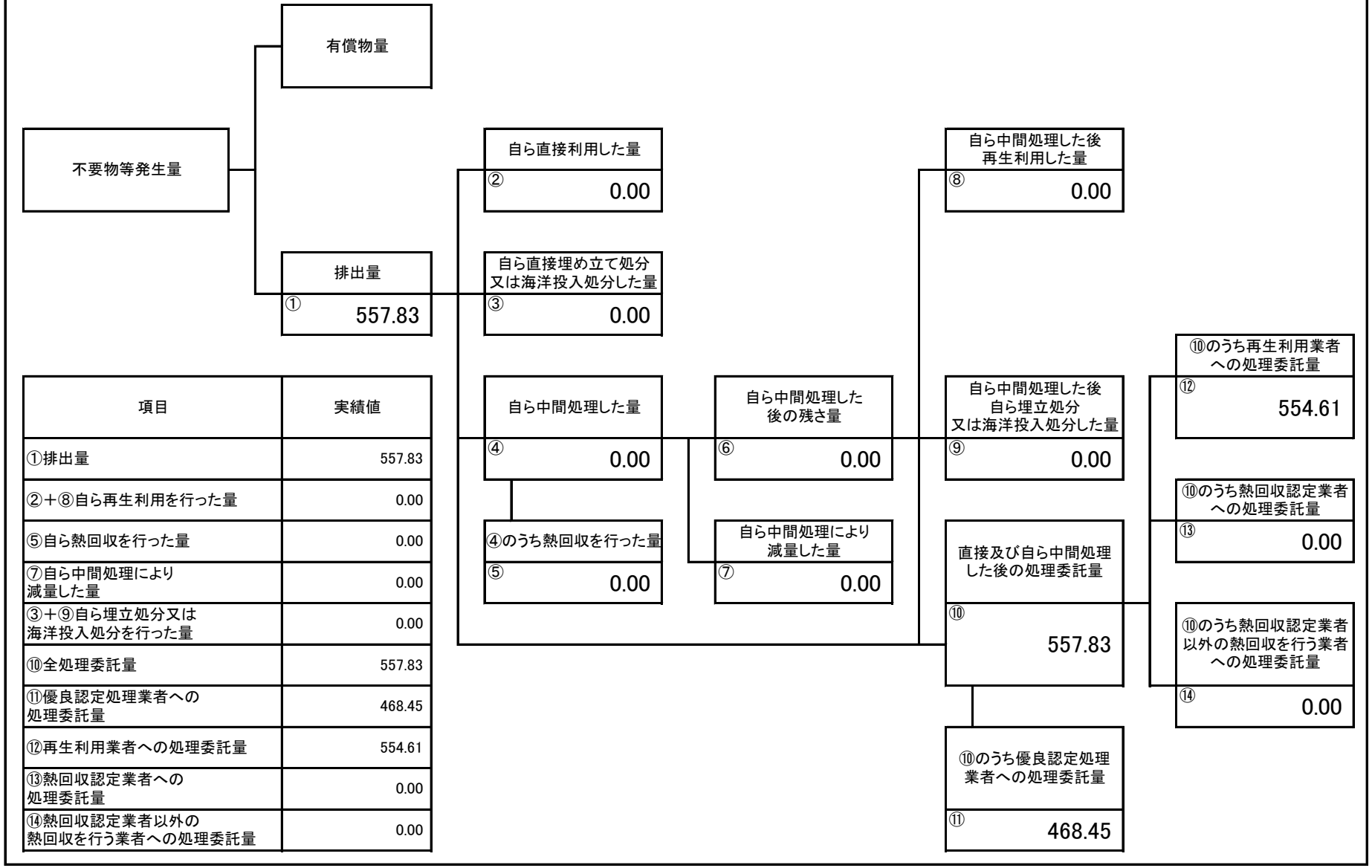


項目	実績値
①排出量	92.16
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	92.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.90
⑫再生利用業者への処理委託量	92.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

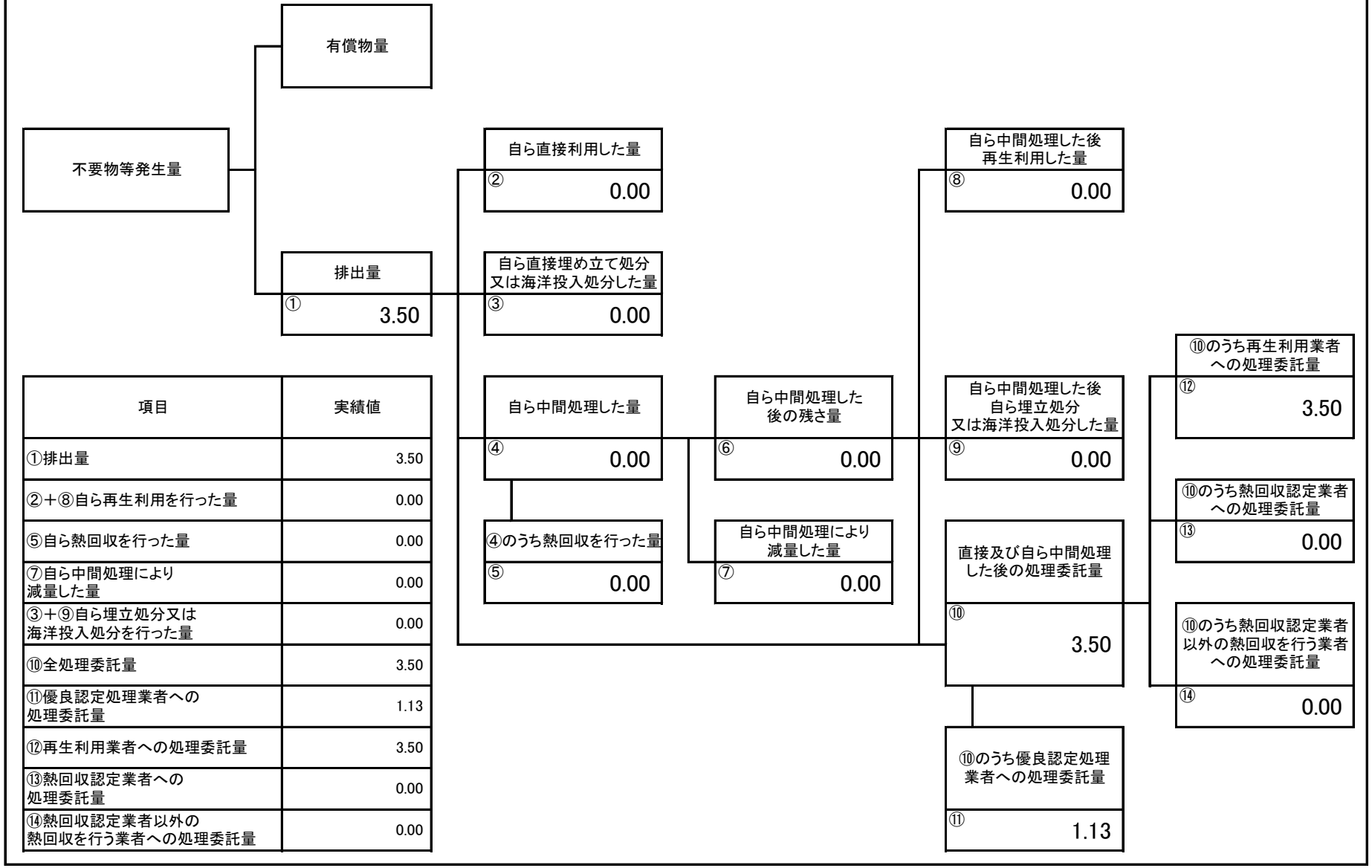


項目	実績値
①排出量	557.83
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	557.83
⑪優良認定処理業者への処理委託量	468.45
⑫再生利用業者への処理委託量	554.61
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

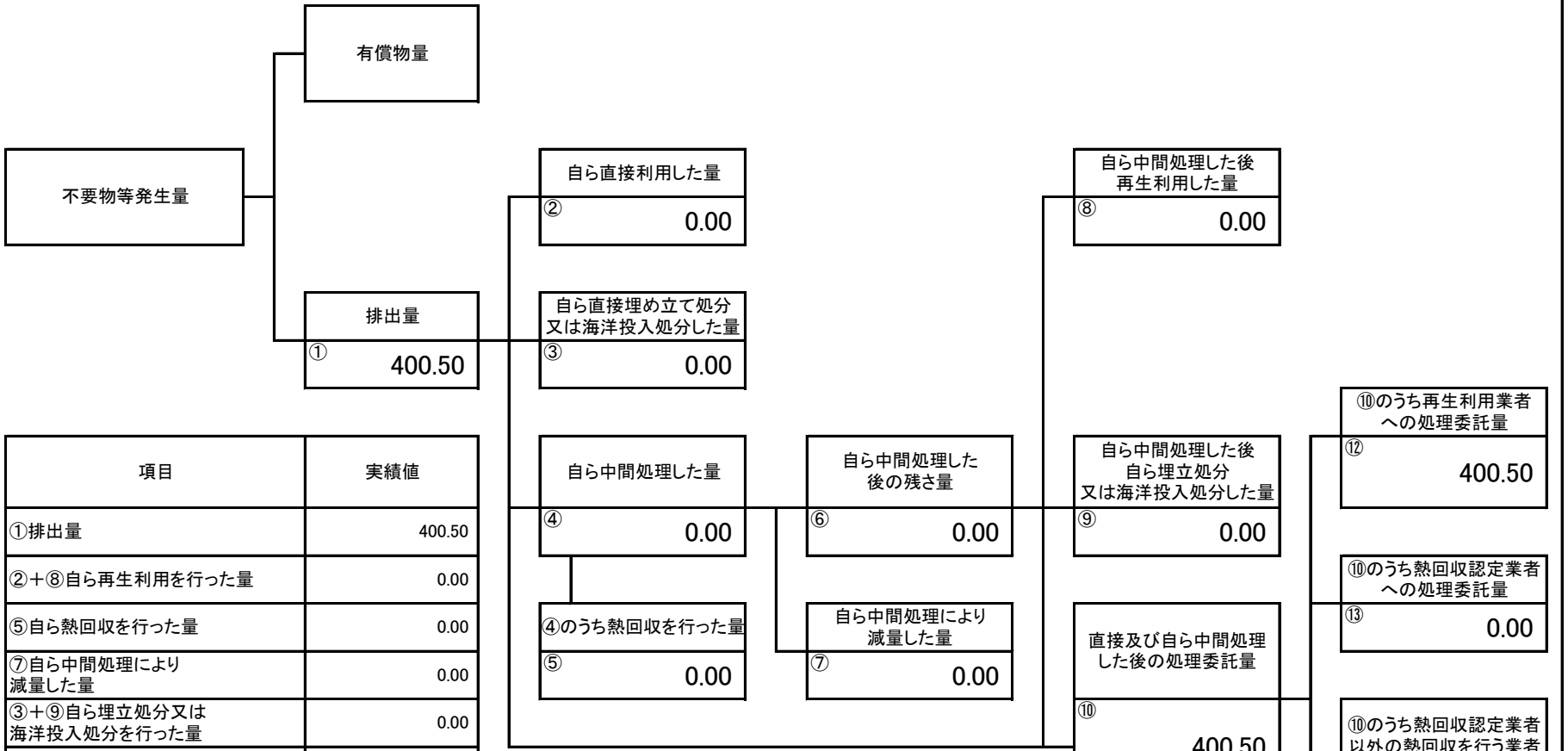


項目	実績値
①排出量	3.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.13
⑫再生利用業者への処理委託量	3.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

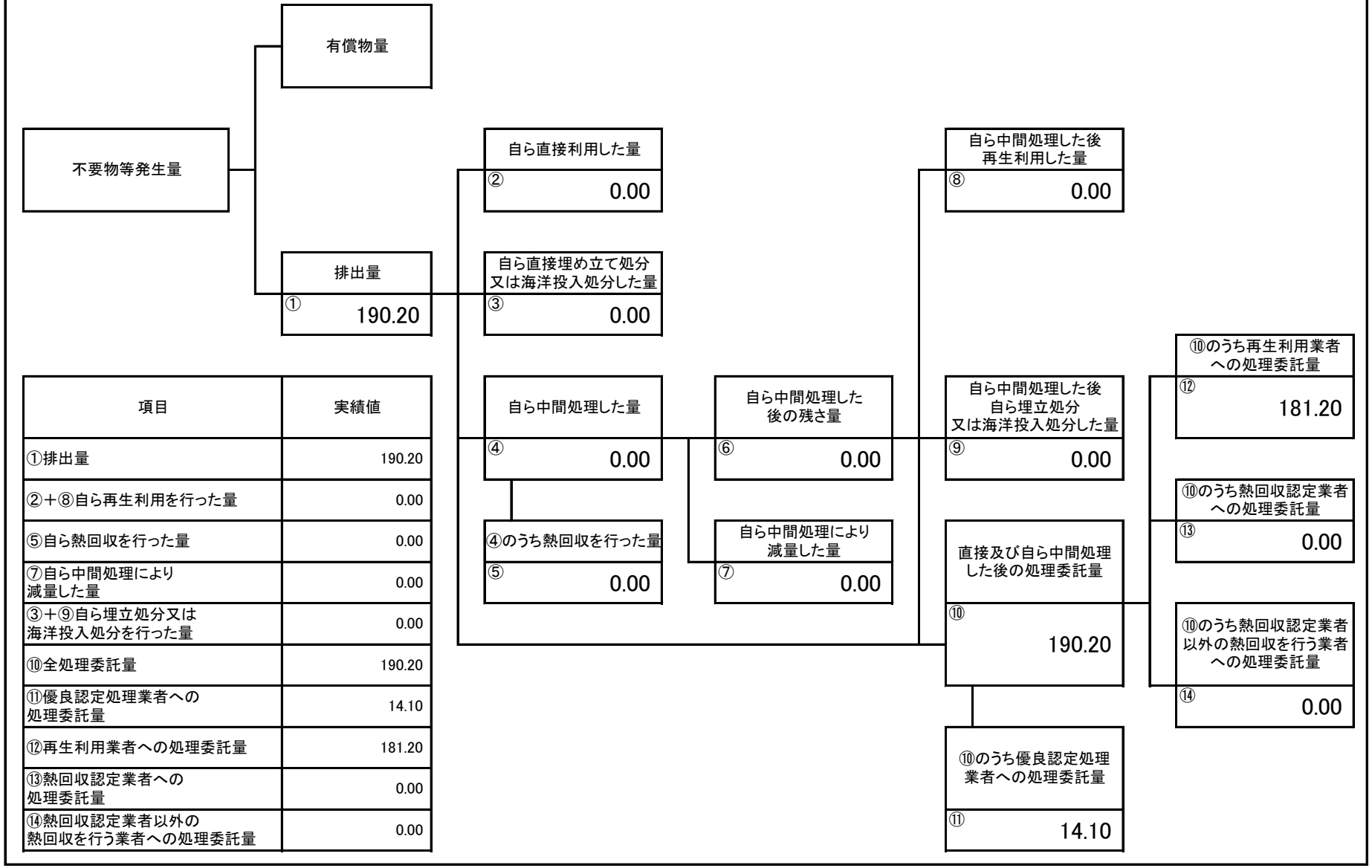


項目	実績値
①排出量	400.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	400.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	314.50
⑫再生利用業者への処理委託量	400.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

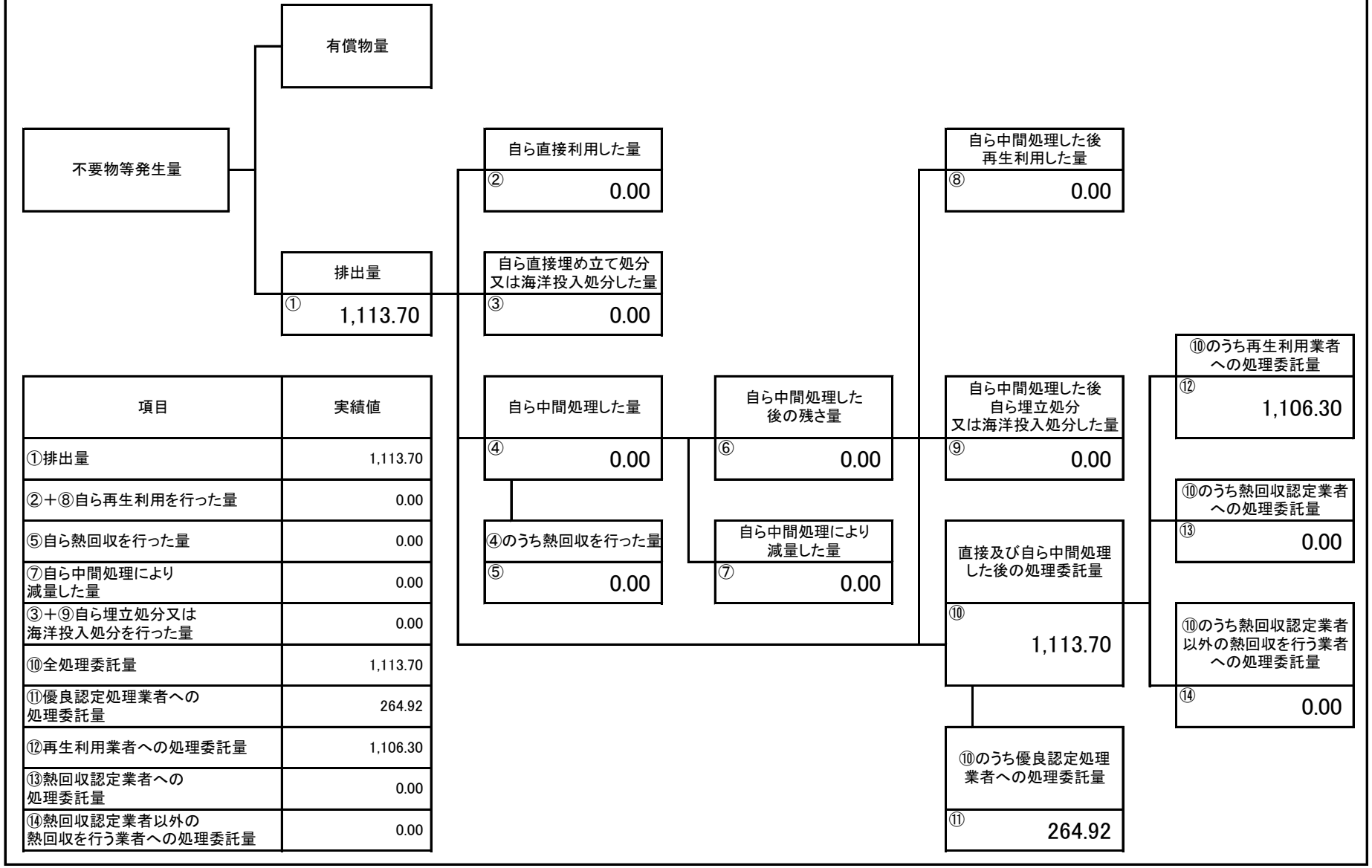


項目	実績値
①排出量	190.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	190.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.10
⑫再生利用業者への処理委託量	181.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

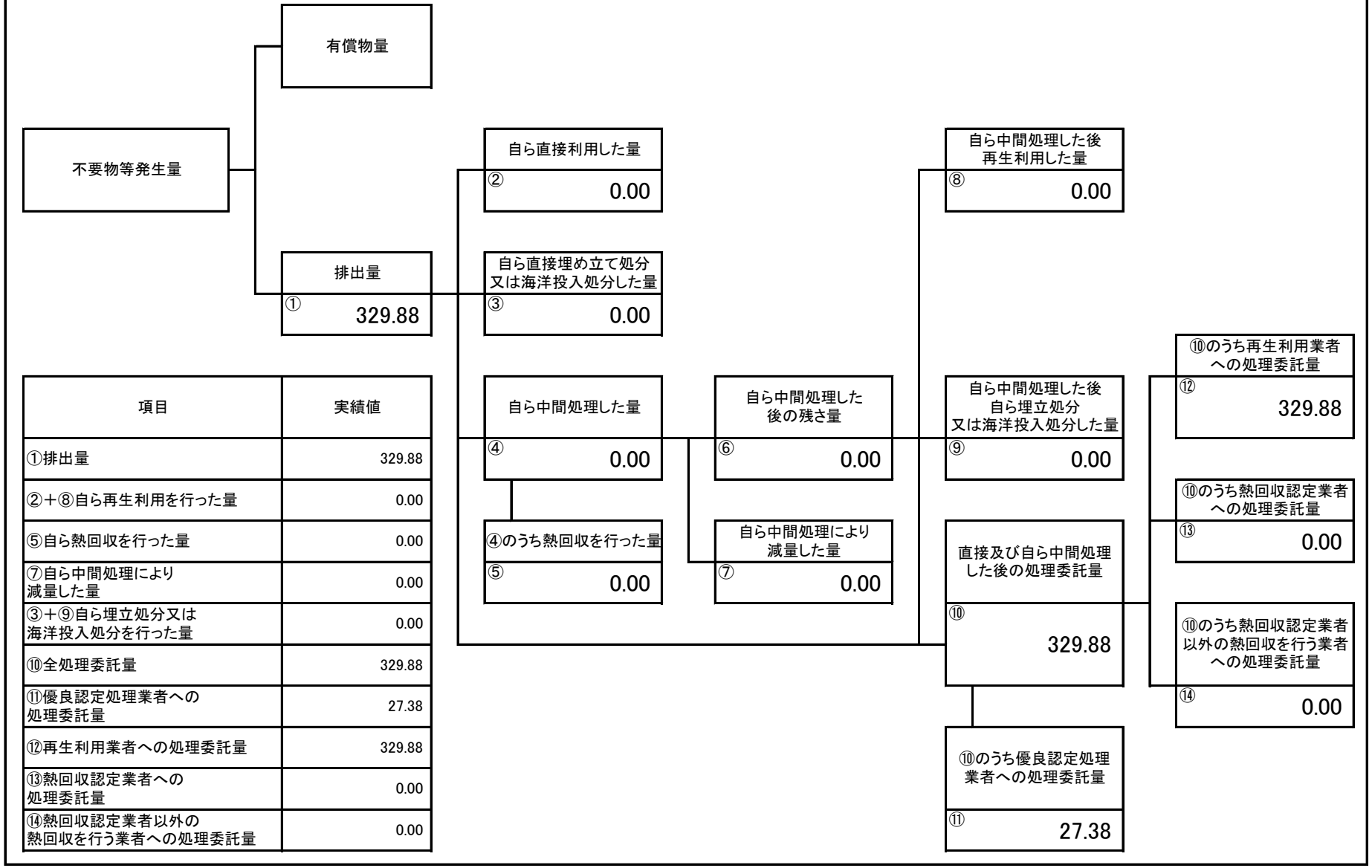


項目	実績値
①排出量	1,113.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,113.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	264.92
⑫再生利用業者への処理委託量	1,106.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

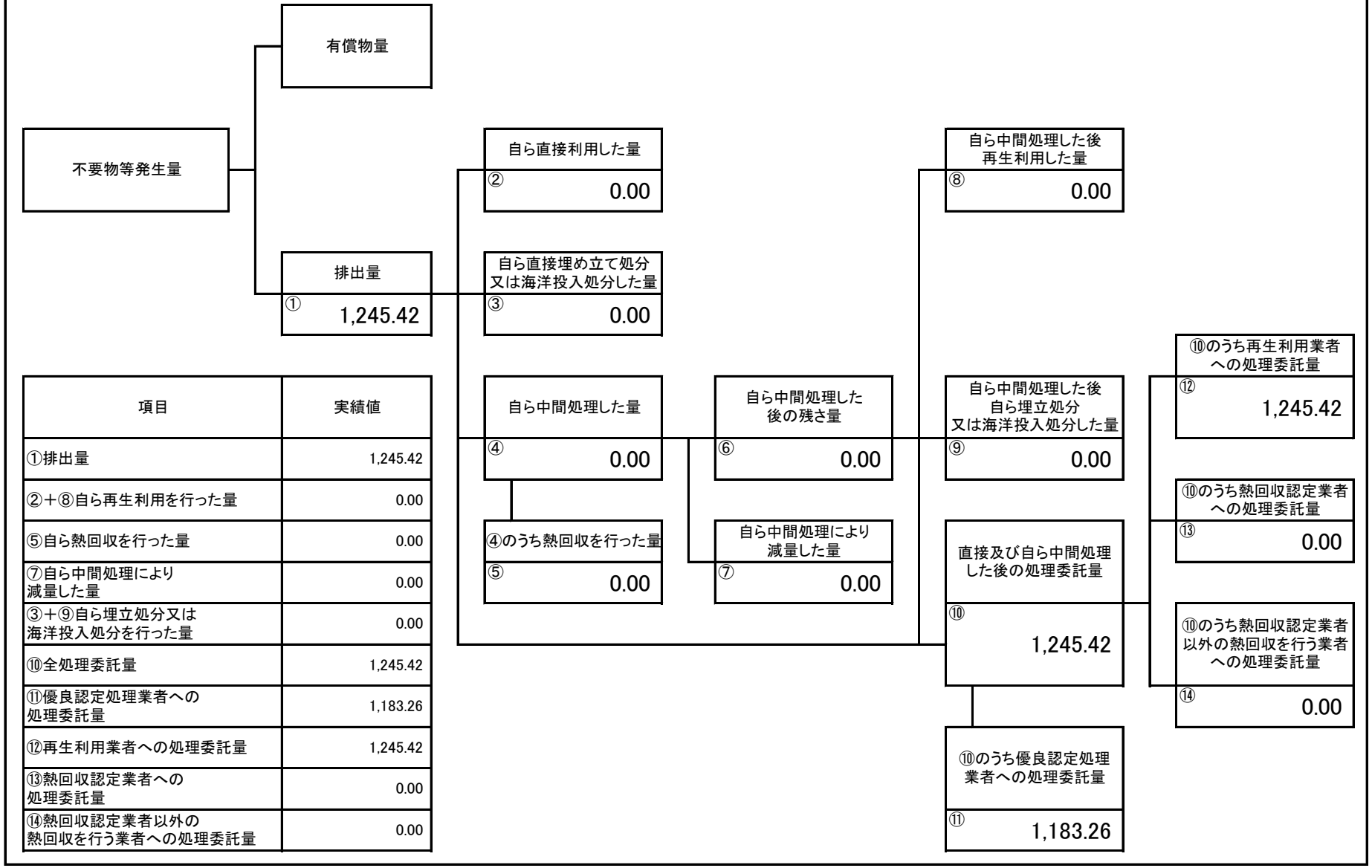


項目	実績値
①排出量	329.88
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	329.88
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.38
⑫再生利用業者への処理委託量	329.88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

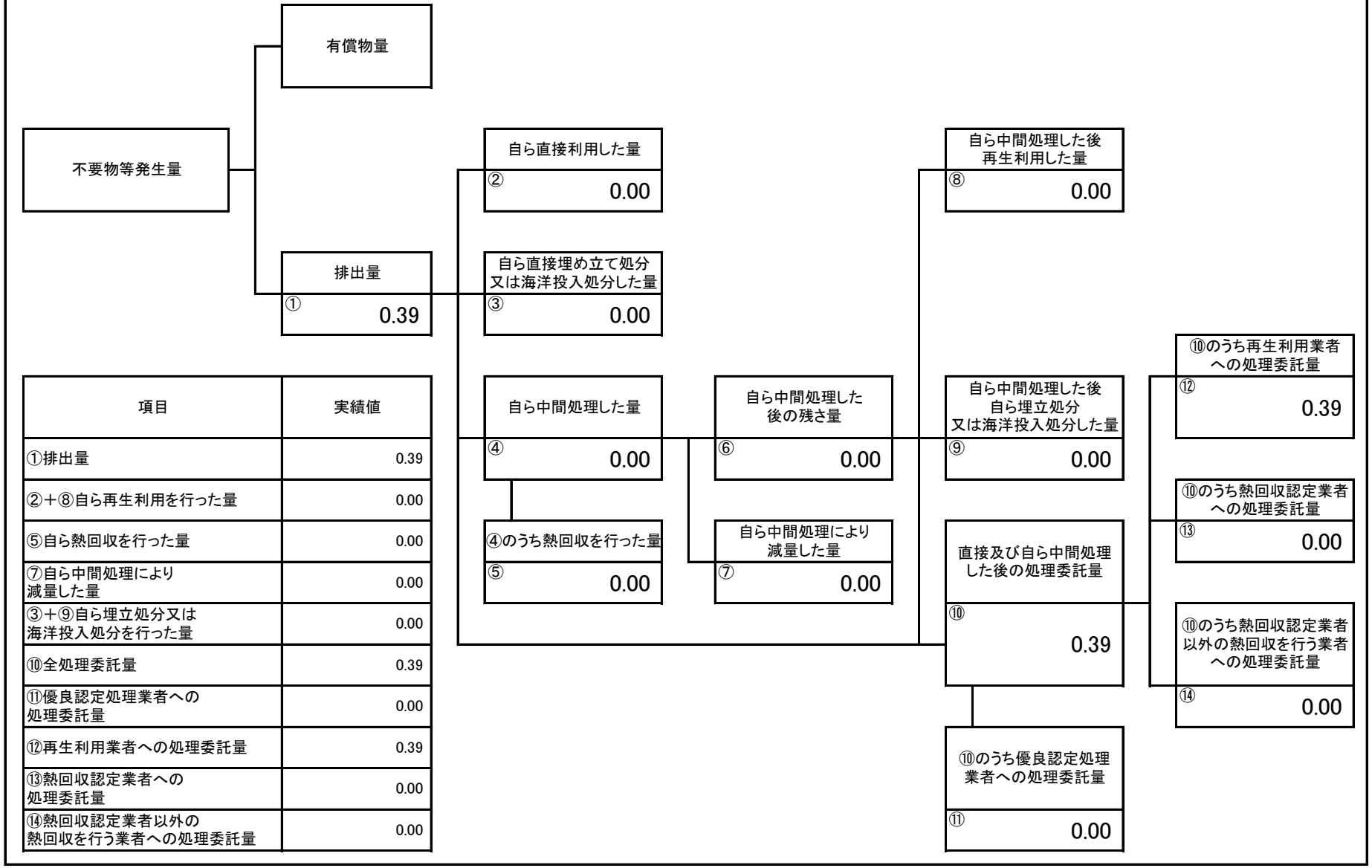


項目	実績値
①排出量	1,245.42
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,245.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,183.26
⑫再生利用業者への処理委託量	1,245.42
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

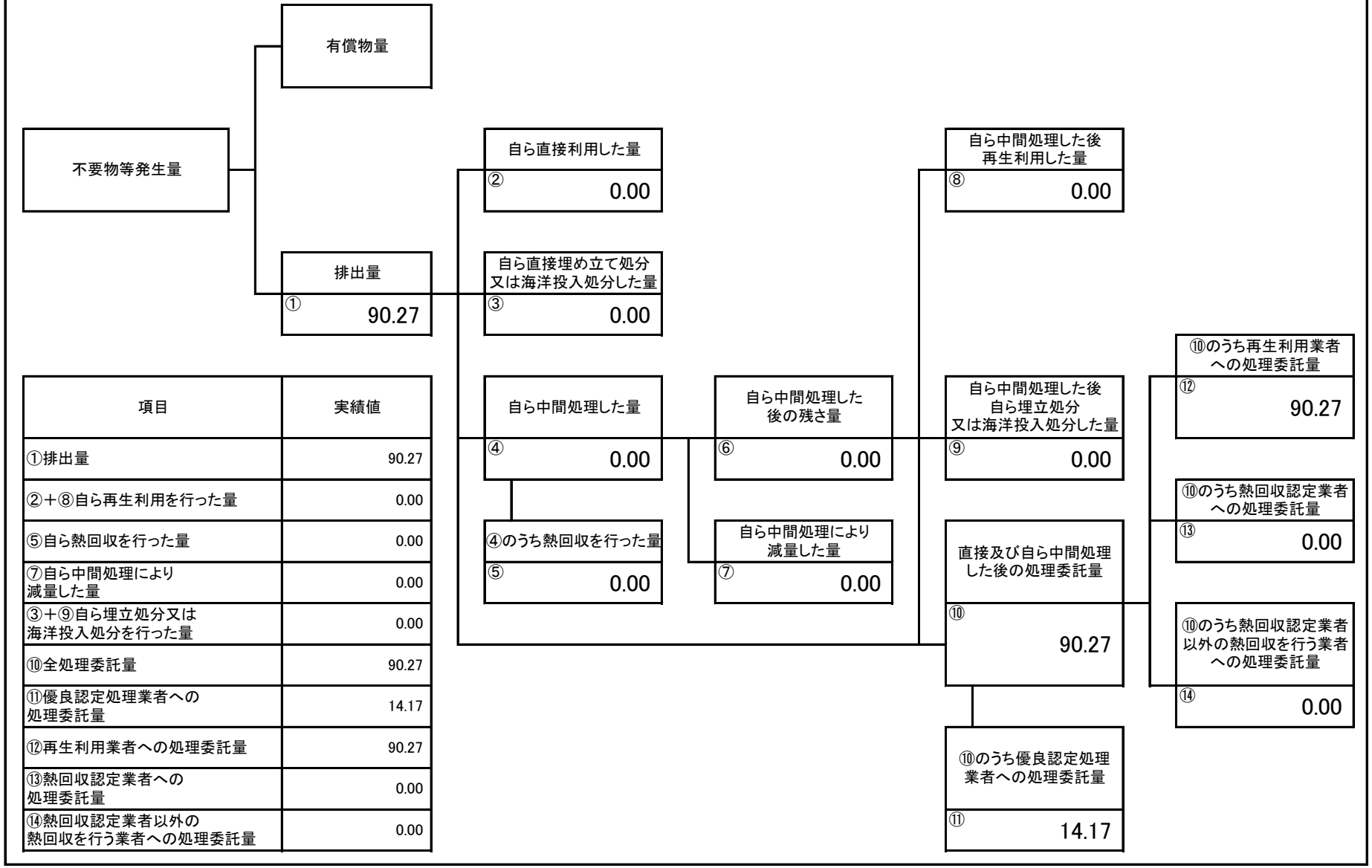


項目	実績値
①排出量	0.39
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.39
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.39
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

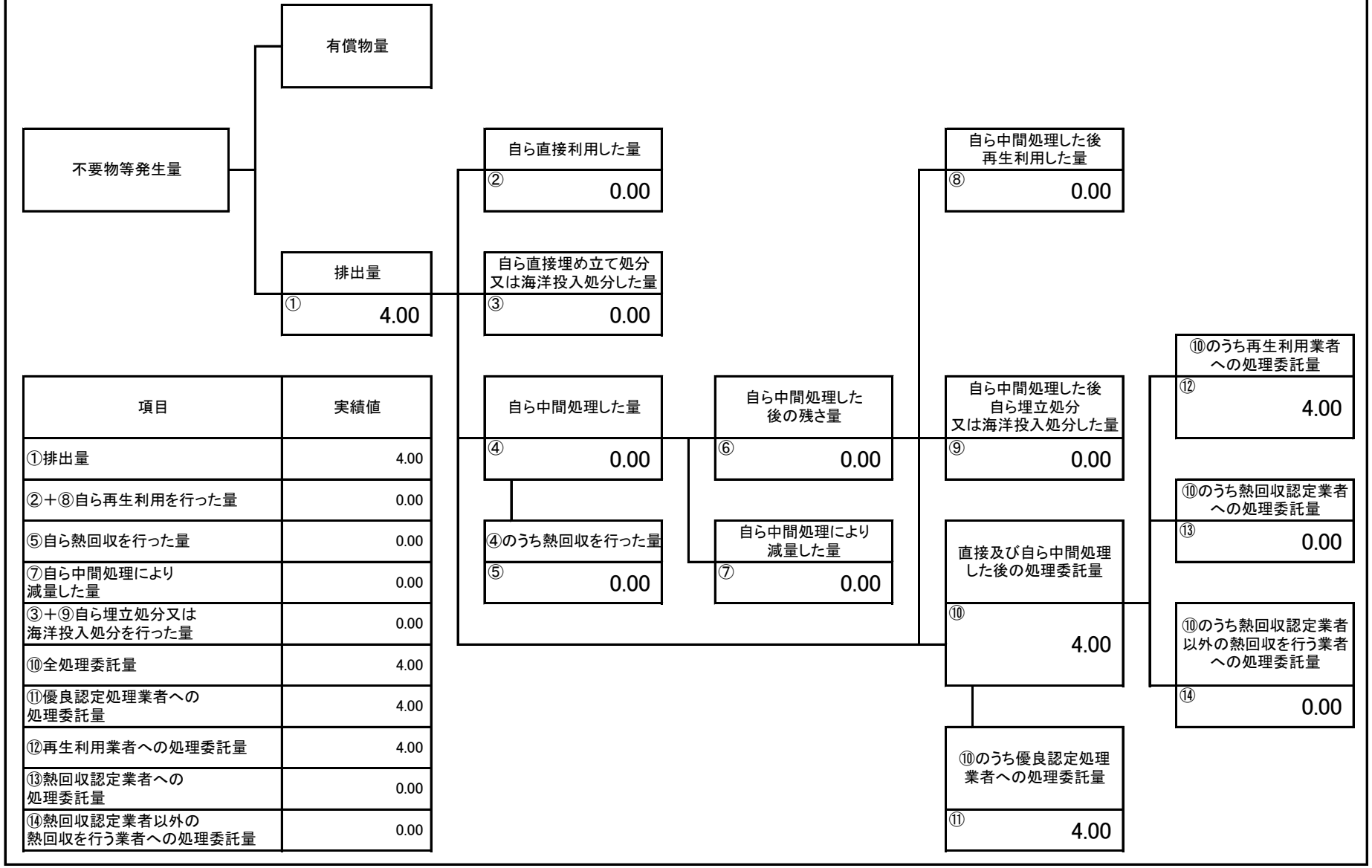


項目	実績値
①排出量	90.27
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	90.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.17
⑫再生利用業者への処理委託量	90.27
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃電池類　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	4.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.00
⑫再生利用業者への処理委託量	4.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年4月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-0017

住　所　千葉県松戸市幸谷２８１－２

法人名　小澤建設株式会社

代表者　小澤 盛明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-341-7973

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小澤建設株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市幸谷281-2
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　総合工事業　　中分類：
②事業の規模	元請完成工事高　２億円
③従業員数	１０人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	工事現場→アスファルト殻、コンクリート殻、汚泥、がれき類、木くず →再生利用委託

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

処理計画統括責任者　→　現場監督　→　事業管理部　→　環境管理課・処理計画作成担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
排出量	398.2 t	1415.9 t

（これまでに実施した取組）

請負工事の質と量による。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
排出量	390 t	1400 t

（今後実施する予定の取組）

請負工事の質と量による。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリート殻・アスファルト殻：
契約書に基づいて適正な委託処理を行う。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリート殻・アスファルト殻：
引き続き契約書に基づいて適正な委託処理を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリート殻	アスファルト殻
全処理委託量		398.2 t	1415.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	398.2 t	1415.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

契約書に基づいて適正な委託処理を行った。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト殻</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>390 t</td><td>1400 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
契約書に基づいて適正な委託処理を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		排　出　量	451.3　t	2.47　t	0.8　t	0　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		排　出　量	450　t	2　t	0.5　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず		その他　混合			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
	全処理委託量	451.3 t	2.47 t	0.8 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	451.3 t	2.47 t	0.8 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	その他　混合			
	全処理委託量	450 t	2 t	0.5 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	450 t	2 t	0.5 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-0017

住所 千葉県松戸市幸谷281－2

法人名 小澤建設株式会社

代表者 小澤 盛明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-341-7973

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	小澤建設株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市幸谷281-2
事業の種類	大分類　総合工事業　中分類
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

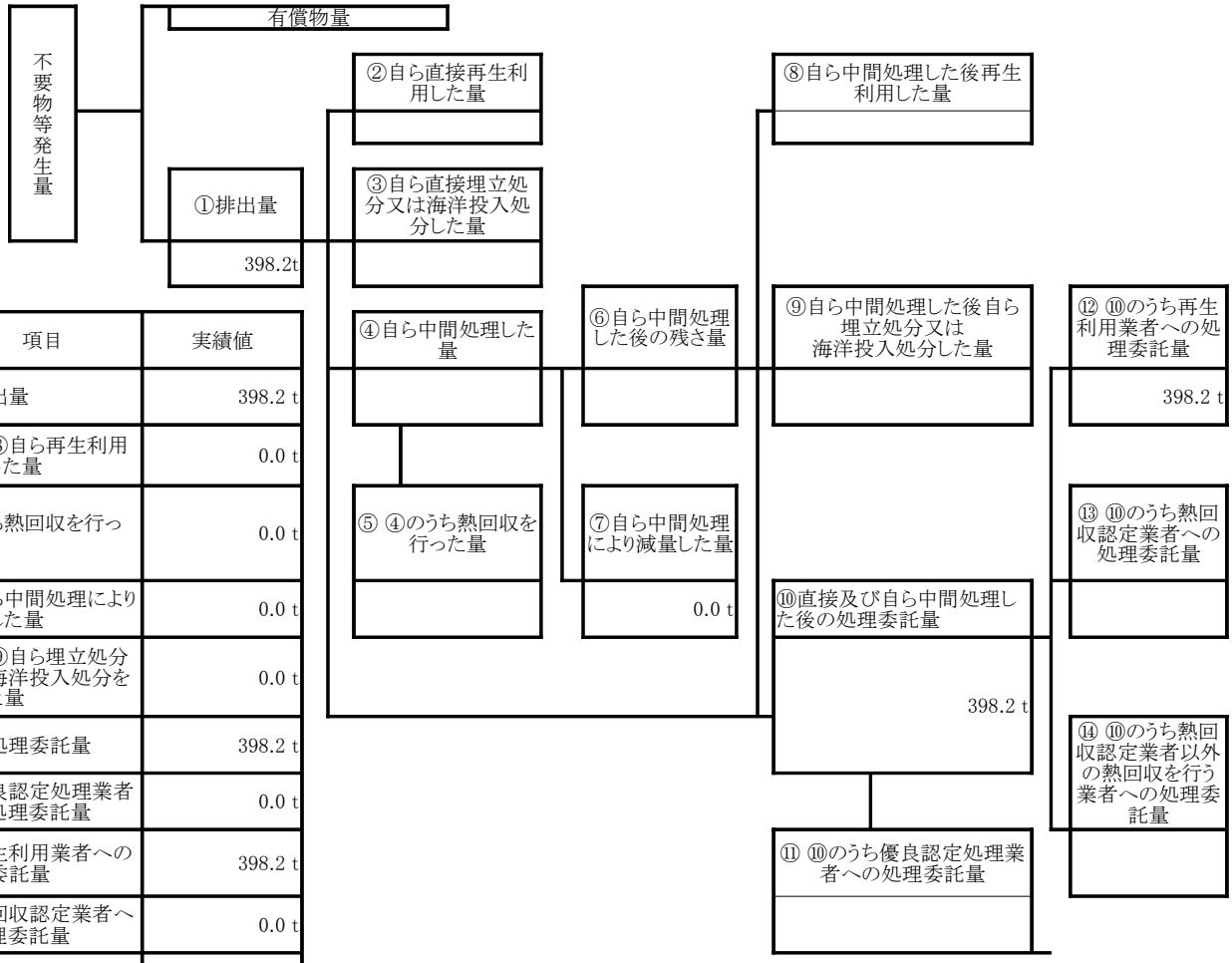
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1400 t	全処理委託量	1400 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

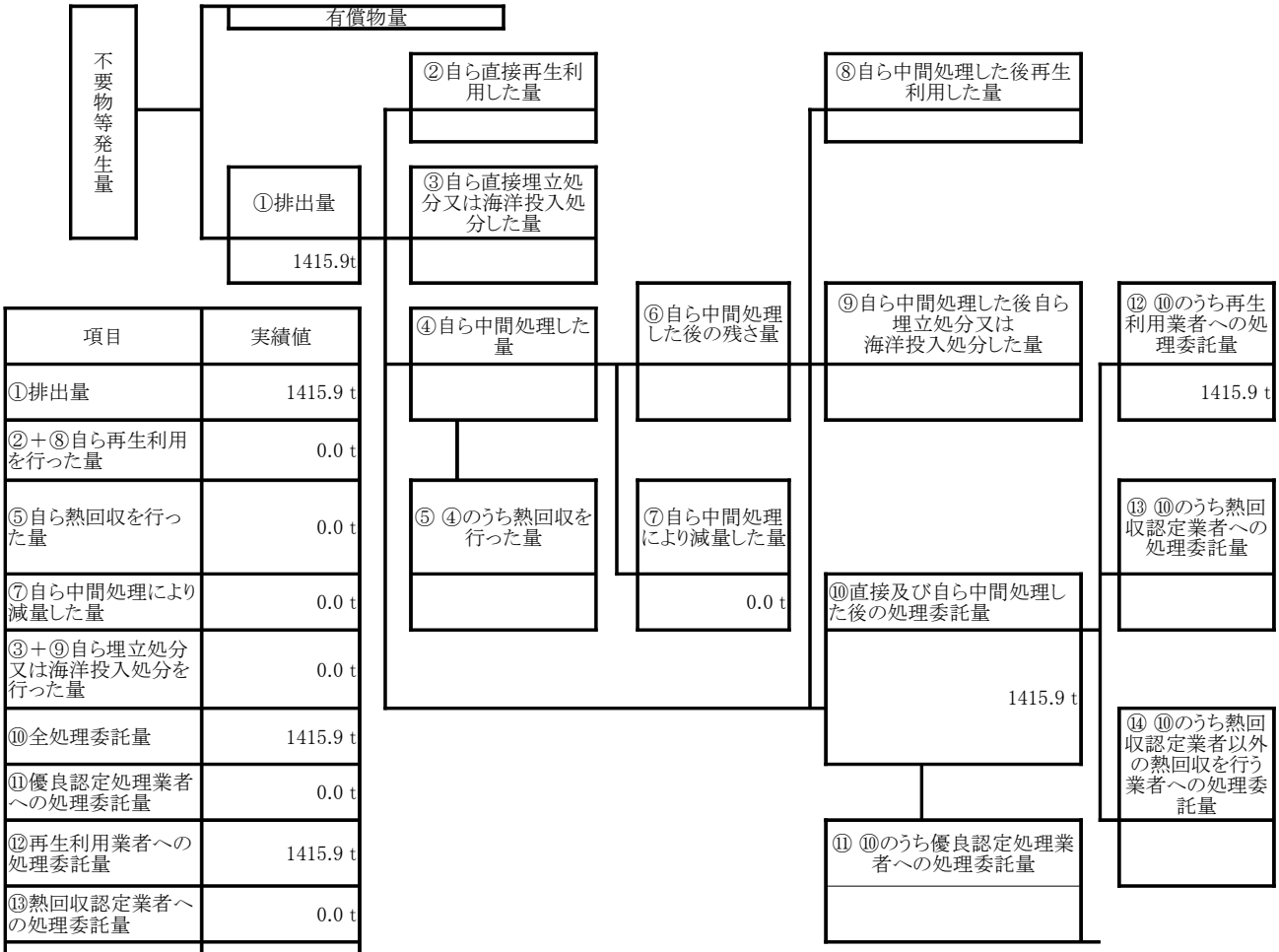


項目	実績値
①排出量	398.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	398.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	398.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



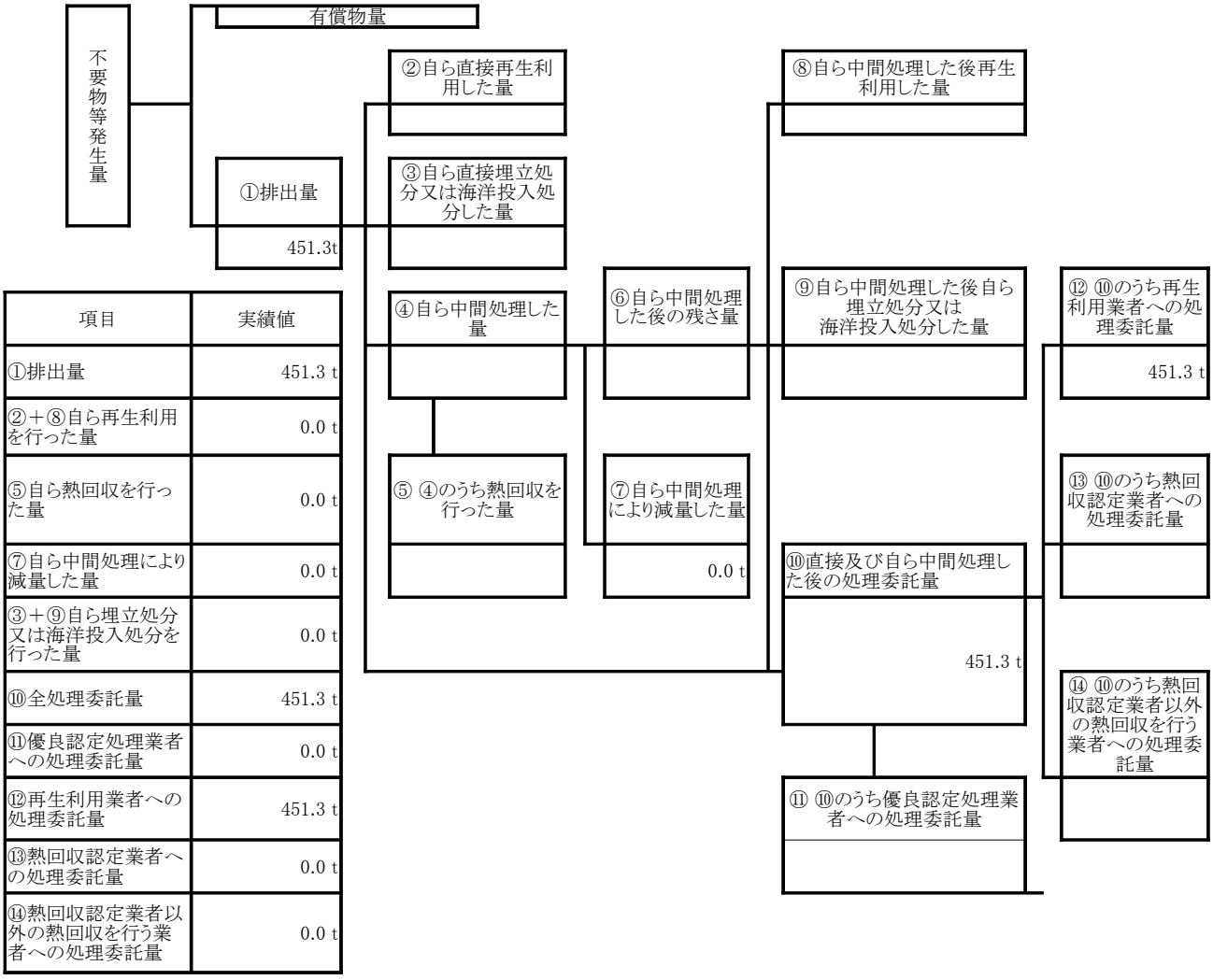
項目	実績値
①排出量	1415.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1415.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1415.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

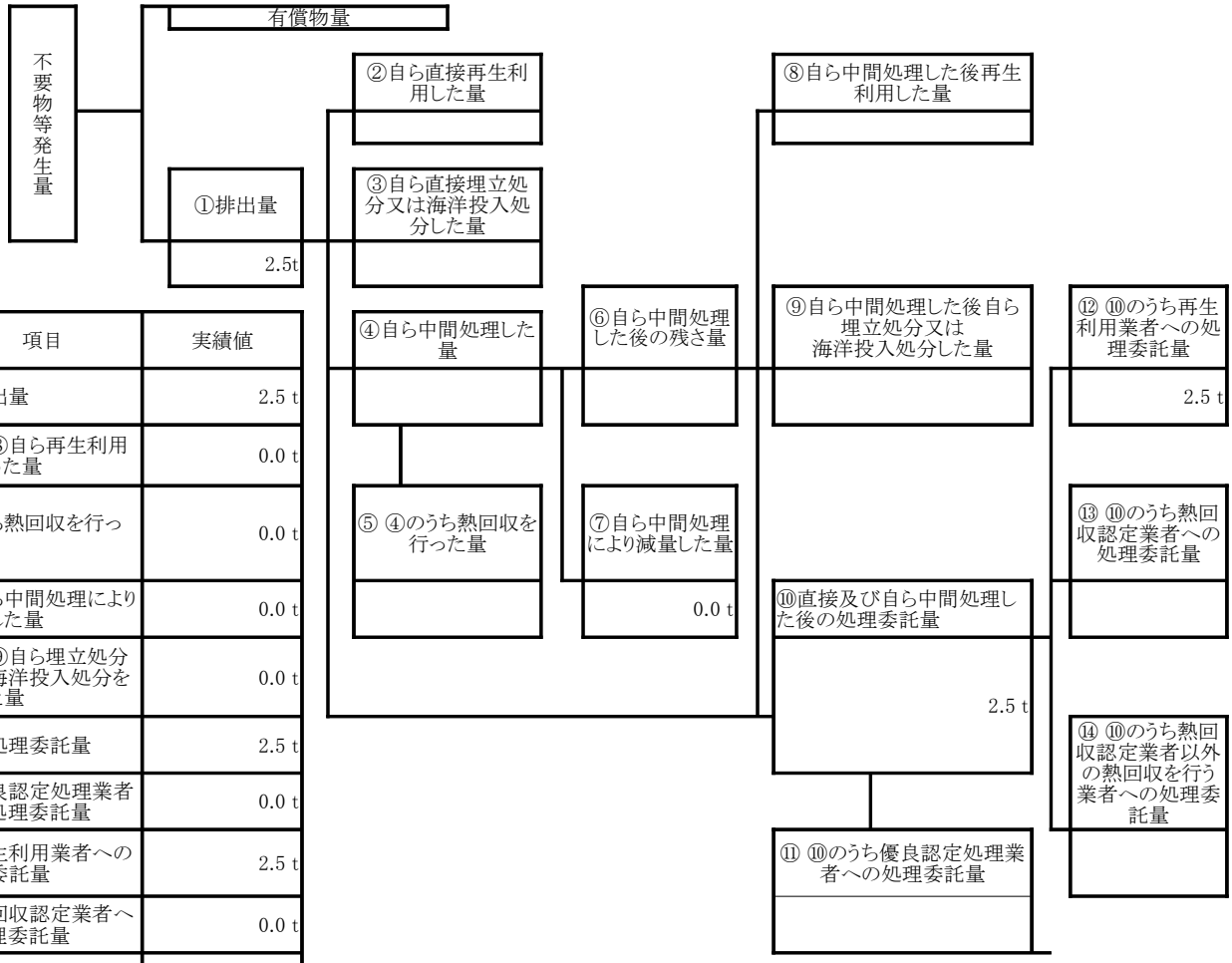


項目	実績値
①排出量	451.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	451.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	451.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



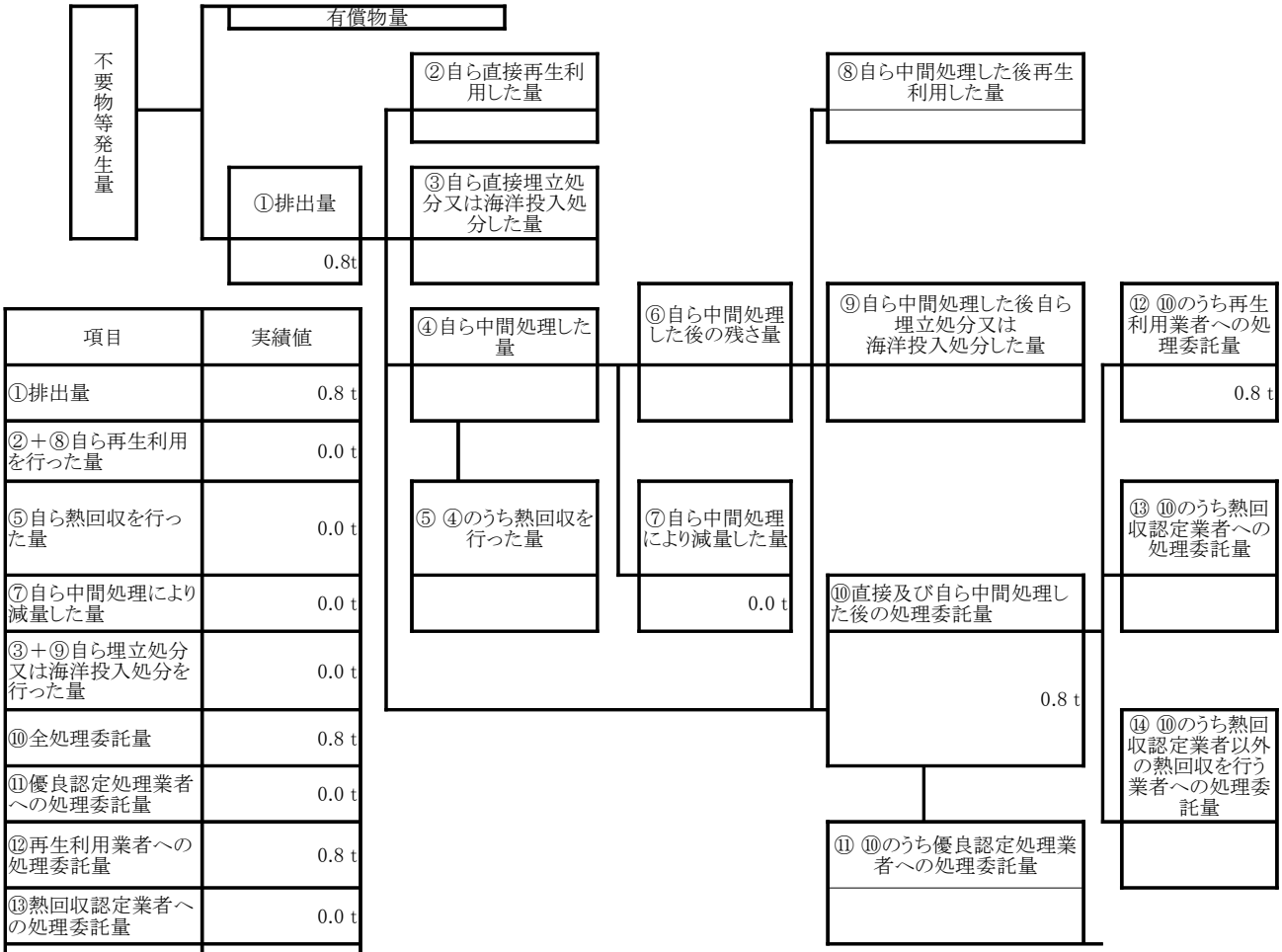
項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。